

**令和3年度実施
地震・津波県民意識調査
報告書**

令和4年3月

高知県危機管理部 南海トラフ地震対策課

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査の項目.....	3
III	調査結果の見方.....	5
IV	調査対象者の属性.....	6
V	調査結果〔解説・グラフ〕	
(1)	南海トラフ地震に関する認識について	
問2	南海トラフ地震について知っていたか.....	9
問3	自宅や地域にどのような危険があるか.....	11
問4	緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか.....	16
問5	主に情報をよく収集するメディアは何か.....	20
問6	南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか.....	24
問7	啓発テレビ番組やCMを魅力的でわかりやすくするには.....	30
問8	南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの.....	35
(2)	津波避難対策について	
問9	津波で浸水が予測される地域かどうか.....	41
問10	津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか.....	43
問11	津波が到達する時間を具体的に知っているか.....	45
問12	いつ避難するか.....	47
問13	すぐに避難しない理由.....	51
問14	避難場所を確認しているか.....	57
問15	どこに避難するか.....	59
問16	避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか.....	62
問17	要配慮者がいる場合に避難において支援の必要の有無.....	67
問18	要配慮者の避難を支援する体制ができているか.....	71

(3) 家庭での備えについて

問19	食料の備蓄状況.....	73
問20	備蓄していない理由.....	77
問21	飲料水の備蓄状況.....	79
問22	備蓄していない理由.....	83
問23	地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について.....	85
問24	携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況.....	88
問25	普段から医師に処方された薬を服用しているか、また持ち出せるか.....	90
問26	南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか.....	95
問27	現在服用中の薬を避難所等で確認できる手段.....	97
問28	スマートフォンでのお薬手帳（電子版）を利用したいか.....	99
問29	地震に備えるための保険や共済に加入しているか.....	101
問30	車に給油するタイミング.....	103
問31	ガソリンの給油量.....	105

(4) 地震の揺れ対策について

問32	家具や家電などを固定しているか.....	107
問33	固定していない家具や家電は何か.....	112
問34	固定していない理由.....	117
問35	補助制度を知っているか.....	122
問36	固定を促進するために県や市町村では何をすべきか.....	125
問37	自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか.....	130
問38	安全性の点検の実施状況.....	132
問39	点検していない理由.....	134
問40	危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを、安全なフェンスや生け垣などに 変える予定はあるか.....	136
問41	自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額.....	138

問42	補助制度を知っているか.....	140
問43	どのようにして知ったか.....	142
問44	倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか.....	147
問45	お住いの建築年と構造について.....	152
問46	専門家による耐震改修工事の自己負担許容額.....	157
問47	耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか.....	159
問48	耐震改修工事をしない理由.....	161
問49	耐震診断を受けない理由.....	162
問50	補助制度を知っているか.....	167
問51	どのようにして知ったか.....	170
問52	耐震改修工事や設計の自己負担許容額.....	175
問53	部分的な耐震対策を行う場合の自己負担額.....	178
問54	耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を 入れるべきものは何か.....	181

(5) 地震火災対策について

問55	地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか.....	186
問56	感震ブレーカーを知っているか.....	188
問57	感震ブレーカーを設置しているか.....	190
問58	感震ブレーカーを設置していない理由.....	192

(6) 避難生活について

問59	避難場所と避難所の役割の違いを知っているか.....	197
問60	自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか.....	200
問61	自家用車内やテントで避難生活を送る理由.....	203
問62	避難所生活での不安.....	209
問63	避難所の開設や運営にかかわりたいか.....	216

(7)	自主防災組織について	
問64	自主防災組織の活動への参加状況.....	218
問65	地域の自主防災組織の活動状況.....	220
問66	これからどういった活動に取り組んでいけばよいか.....	222
(8)	消防団について	
問67	消防団に入団しているか.....	227
問68	消防団に入団した理由.....	229
問69	どのようなイメージを持っているか.....	233
問70	どうすれば興味を持ってもらえると思うか.....	238
(9)	地域の防災力について	
問71	地域や職場の地震防災訓練への参加状況.....	243
問72	どのような訓練に参加したか.....	245
問73	どうすれば参加人数が増えると思うか.....	250
問74	地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か.....	255
(10)	南海トラフ地震臨時情報について	
問75	南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか.....	260
問76	事前避難対象地域かどうか.....	262
問77	市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか.....	264
(11)	県の施策について	
問78	県が行っている施策で特に力を入れるべきもの.....	266
VI	調査結果〔数表〕.....	270
VII	自由回答〔自由記述〕.....	352
VIII	自由回答〔その他〕.....	369
IX	調査票〔単純集計結果〕.....	394
X	経年変化.....	429
XI	参考資料〔調査票〕.....	485

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、防災意識や地震防災対策及び津波避難対策の現状を把握・分析するとともに、県民の行政機関への要望を知ることにより、今後の防災対策の進め方に反映させることを目的とする。

2. 調査の事項

- (1) 南海トラフ地震に関する認識について
- (2) 津波避難対策について
- (3) 家庭での備えについて
- (4) 地震の揺れ対策について
- (5) 地震火災対策について
- (6) 避難生活について
- (7) 自主防災組織について
- (8) 消防団について
- (9) 地域の防災力について
- (10) 南海トラフ地震臨時情報について
- (11) 県の施策について

3. 調査の対象

- (1) 対象地域 高知県全域
- (2) 対象者 満18歳以上の県民3,000人（対象地域のうち津波浸水想定が2 m以上の地域¹から1,500人、津波浸水想定が2 m未満の地域から1,500人）

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法（各市町村の「選挙人名簿」より）

5. 調査の方法

郵送調査とオンライン調査の併用

6. 調査の期間

令和3年7月30日（金）から同年9月12日（日）までの45日間

7. 実査および集計

株式会社 トミーコーポレーション

¹ 2 m以上の津波浸水が想定されている地域を含む大字単位で分類しているため、実際の津波浸水想定と異なる場合がある。

8. 調査票配布数と回収状況

配布数 3,000票

有効回収数 1,779票（有効回収率59.3%）

配布地域	配布数	回収数	回収率
津波浸水想定が2m以上の地域	1,500	885	59.0%
津波浸水想定が2m未満の地域	1,500	894	59.6%
合計	3,000	1,779	59.3%

Ⅱ 調査の項目

1. 調査の項目

(1) 南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか／主に情報をよく収集するメディアは何か／南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか／啓発テレビ番組やCMを魅力的でわかりやすくするには／南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの

(2) 津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／津波が到達する時間を具体的に知っているか／いつ避難するか／すぐに避難しない理由／避難場所を確認しているか／どこに避難するか／避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか／要配慮者がいる場合に避難において支援の必要性の有無／要配慮者の避難を支援する体制ができているか

(3) 家庭での備えについて

食料の備蓄状況／備蓄していない理由／飲料水の備蓄状況／備蓄していない理由／地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について／携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況／普段から医師に処方された薬を服用しているか、また持ち出せるか／南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか／現在服用中の薬を避難所等で確認できる手段／スマートフォンでのお薬手帳（電子版）を利用したいか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／車に給油するタイミング／ガソリンの給油量

(4) 地震の揺れ対策について

家具や家電などを固定しているか／固定していない家具や家電は何か／固定していない理由／補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか／自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを、安全なフェンスや生け垣などに変える予定はあるか／自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額／補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか／お住いの建築年と構造について／専門家による耐震改修工事の自己負担許容額／耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか／耐震改修工事をしない理由／耐震診断を受けない理由／補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／部分的な耐震対策を行う場合の自己負担額／耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を入れるものは何か

(5) 地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

(6) 避難生活について

避難場所と避難所の役割の違いを知っているか／自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか／自家用車内やテントで避難生活を送る理由／避難所生活での不安／避難所の開設や運営にかかわりたいか

(7) 自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからどういった活動に取り組んでいけばよいか

(8) 消防団について

消防団に入団しているか／消防団に入団した理由／どのようなイメージを持っているか／どうすれば興味を持ってもらえると思うか

(9) 地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

(10) 南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか／事前避難対象地域かどうか／市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか

(11) 県の施策について

県が行っている施策で特に力を入れるべきもの

Ⅲ 調査結果の見方

1. 「V 調査結果〔解説・グラフ〕」は「VI 調査結果〔数表〕」に基づき、要点を記述してあるので、「VI 調査結果〔数表〕」をあわせて参照すること。
2. 「VI 調査結果〔数表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（%）算出の基礎となっている。
3. 「VI 調査結果〔数表〕」に記入している数値は有効調査人数と各解答項目に対する回答人数、回答率であり、回答率は下記の式によって求めている。

$$\text{回答率（\%）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数点第2位を四捨五入し、表示している。

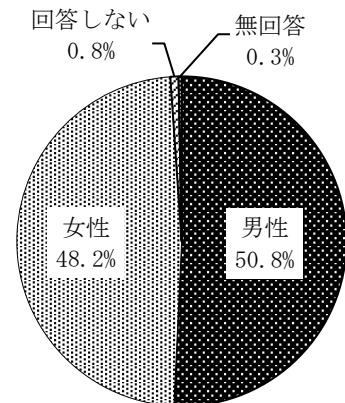
4. 質問への回答方法は「単数回答」、「複数回答」の2種類とする。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 質問のいくつかについては、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
7. 「X 経年変化」においては選択肢が変更されたため、単純な比較ができないものもある。
8. 各質問に対する集計は、対象者の属性別、回答者別（質問間クロス）で分析した。ただし、同居している家族の人数については、0人（独居）、家族ありの2種類にてクロス分析を行った。
 - ① 性 別 … 男性、女性、回答しないの3種別に分類
 - ② 年 代 別 … 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類
 - ③ 職 業 別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営業、会社員（役員を含む）、公務員、自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）、主婦・主夫、パート・アルバイト、学生、無職（すでに退職を含む）、その他の10種類に分類
 - ④ 同居している家族の人数 … 0人（独居）、1人、2人、3人、4人、5人、6人以上の7種類に分類
 - ⑤ 家族の状況 … 3歳以下の幼児、4歳以上で小学校入学前の子ども、小学生、70歳以上の人、日常生活で介護や支援を必要とする人、妊産婦、上記の人はいないの7種類に分類
 - ⑥ 浸水予測区域別 … 津波浸水想定が2m以上の地域を「浸水予測区域内」、それ以外の地域を「浸水予測区域外」とする

IV 調査対象者の属性

1. 対象者の特性

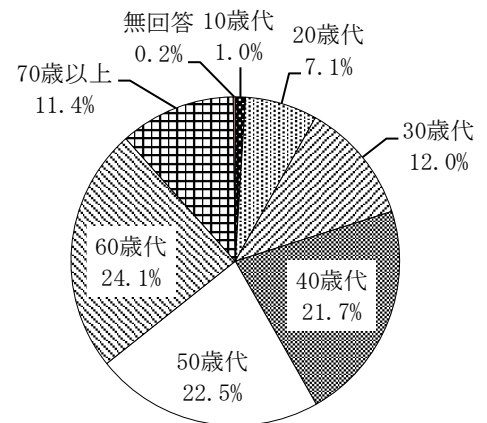
問1 ① 性別

区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	903	50.8
女性	857	48.2
回答しない	14	0.8
無回答	5	0.3
合計	1,779	100.0



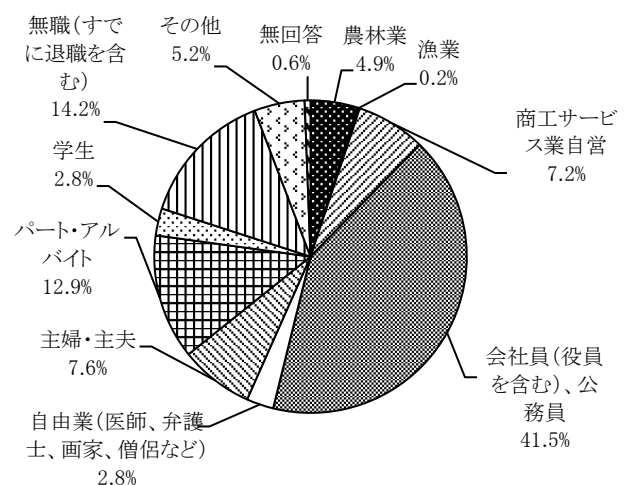
② 年齢

区分	回答数(人)	構成比(%)
10歳代	18	1.0
20歳代	126	7.1
30歳代	214	12.0
40歳代	386	21.7
50歳代	400	22.5
60歳代	428	24.1
70歳以上	203	11.4
無回答	4	0.2
合計	1,779	100.0



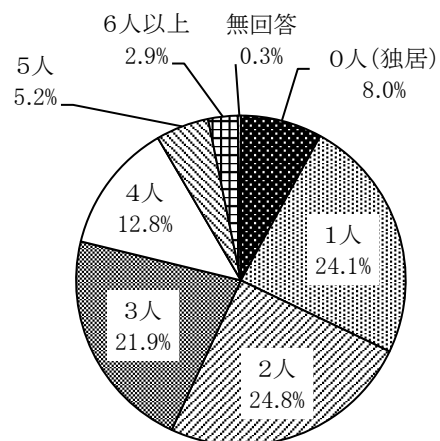
③ 職業

区分	回答数(人)	構成比(%)
農林業	88	4.9
漁業	4	0.2
商工サービス業自営	128	7.2
会社員(役員を含む)、公務員	739	41.5
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	2.8
主婦・主夫	136	7.6
パート、アルバイト	229	12.9
学生	49	2.8
無職(すでに退職を含む)	253	14.2
その他	92	5.2
無回答	11	0.6
合計	1,779	100.0



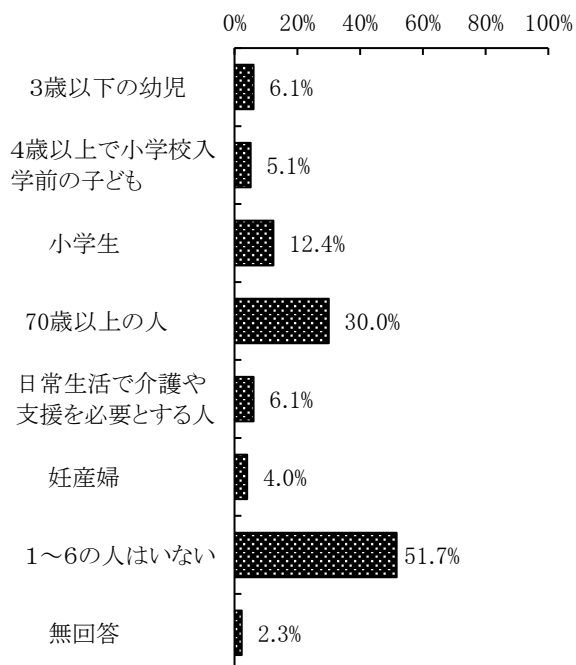
④ 同居しているご家族は何人いますか。

区分	回答数(人)	構成比 (%)
0人(独居)	143	8.0
1人	428	24.1
2人	441	24.8
3人	390	21.9
4人	227	12.8
5人	92	5.2
6人以上	52	2.9
無回答	6	0.3
合計	1,779	100.0



⑤ ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。(複数回答)

区分	回答数(人)	構成比 (%)
3歳以下の幼児	108	6.1
4歳以上で小学校入学前の子ども	90	5.1
小学生	221	12.4
70歳以上の人	533	30.0
日常生活で介護や支援を必要とする人	108	6.1
妊産婦	8	0.4
1～6の人はいない	920	51.7
無回答	41	2.3
合計	1,779	



V 調査結果

[解説・グラフ]

問1-②×回答方法 年齢と回答方法のクロス分析

回答方法については、「郵送」は70歳代が98.0%と最も高く、「メールフォーム」は10歳代が55.6%と最も高くなっている。

また、10歳代では、「メールフォーム」の割合が「郵送」よりも高くなっている。

上段：人数
下段：%

		回答方法	
		郵送	メールフォーム
問1-②年齢	10歳代	8 44.4	10 55.6
	20歳代	89 70.6	37 29.4
	30歳代	139 65.0	75 35.0
	40歳代	280 72.5	106 27.5
	50歳代	319 79.8	81 20.3
	60歳代	386 90.2	42 9.8
	70歳以上	199 98.0	4 2.0
	無回答	4 100.0	- -

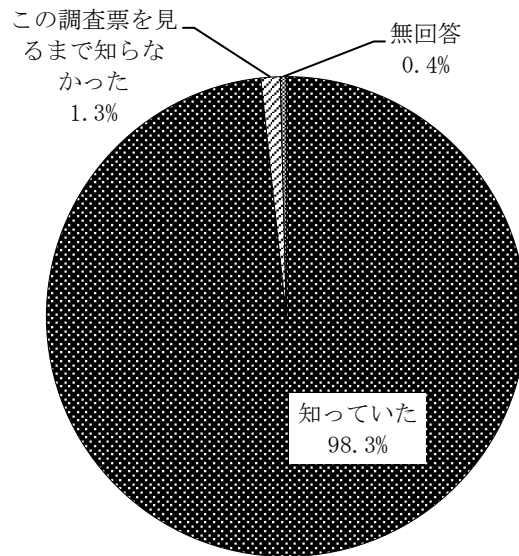
(1) 南海トラフ地震に関する認識について

問2 南海トラフ地震について知っていたか

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。

南海トラフ地震について、「知っていた」が98.3%となっており、大多数の方が認識している一方、「この調査票を見るまで知らなかった」が1.3%となっている。

《 総 合 》



(n = 1,779)

【前回比較】

「知っていた」は、平成30年度は97.5%であったが、令和3年度は98.3%と0.8ポイント増加している。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向であり、性別で大きな差はない。

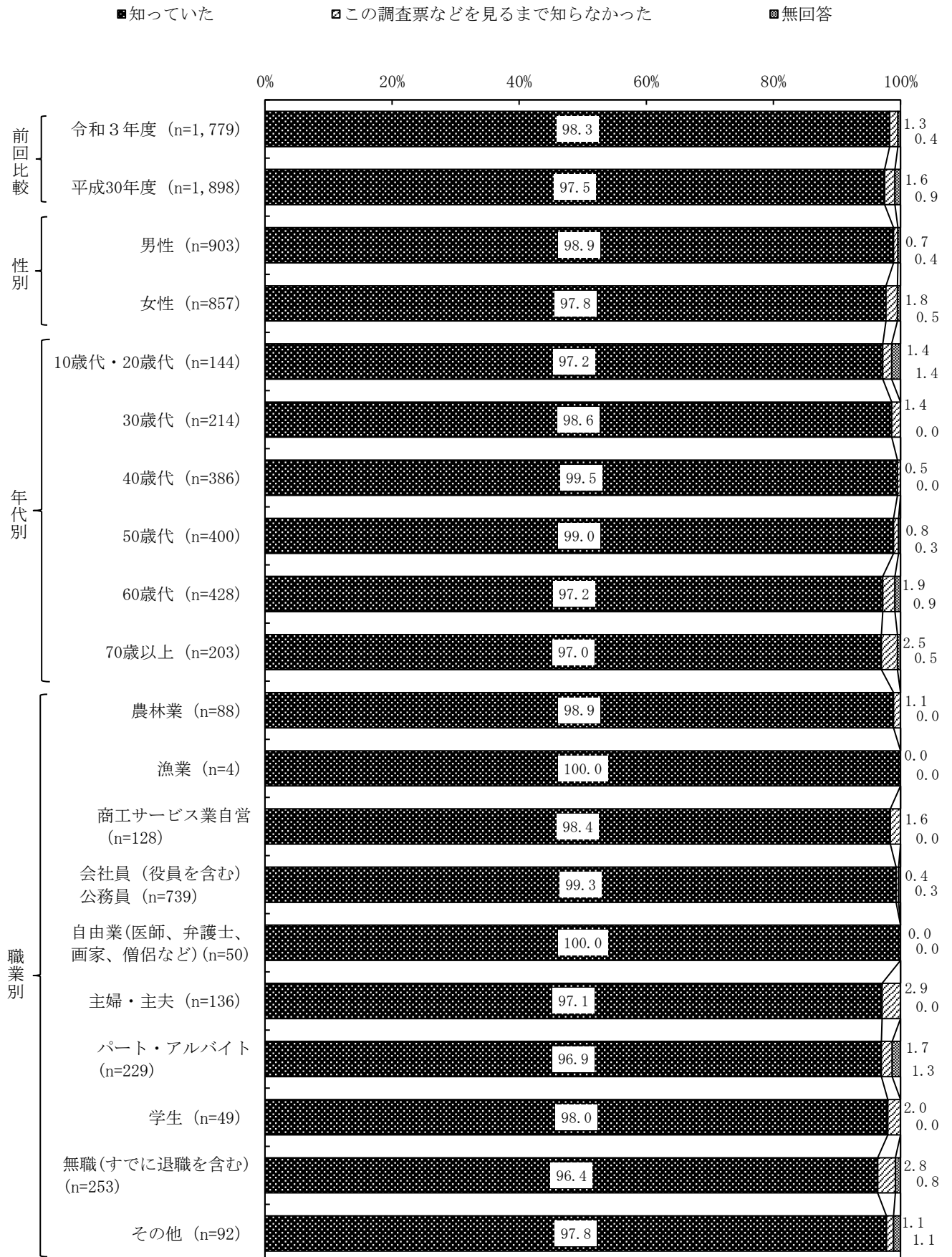
【年代別】

すべての年代で「知っていた」の割合が高くなっているが、中でも40歳代、50歳代の割合が高くなっている。

【職業別】

「知っていた」が漁業と自由業で100.0%、会社員、公務員で99.3%とかなり高い割合である一方、「この調査票などを見るまで知らなかった」は、主婦・主夫で2.9%、無職で2.8%、学生で2.0%と他の職業と比較して多い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問3 自宅や地域にどのような危険があるか

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

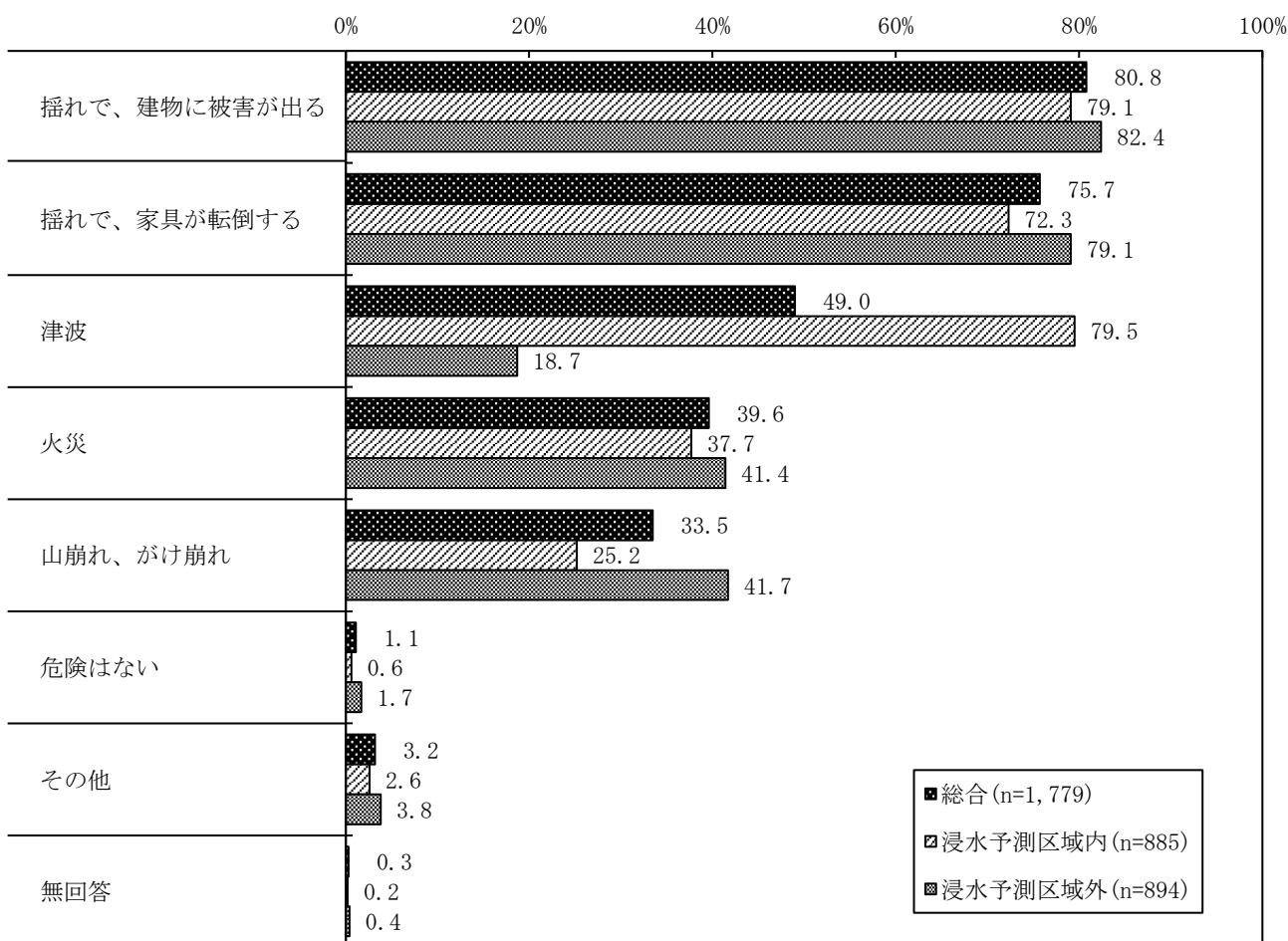
南海トラフ地震で起きた場合の自宅や地域の危険は、「揺れで、建物に被害が出る」が80.8%と最も高く、次いで「揺れで、家具が転倒する」75.7%、「津波」49.0%と続いている。

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内では「津波」が79.5%と最も高く、次いで「揺れで、建物に被害が出る」が79.1%、「揺れで、家具が転倒する」が72.3%と続いている。

浸水予測区域外では、「揺れで、建物に被害が出る」が82.4%と最も高く、次いで「揺れで、家具が転倒する」が79.1%、「山崩れ、がけ崩れ」が41.7%と続いている。

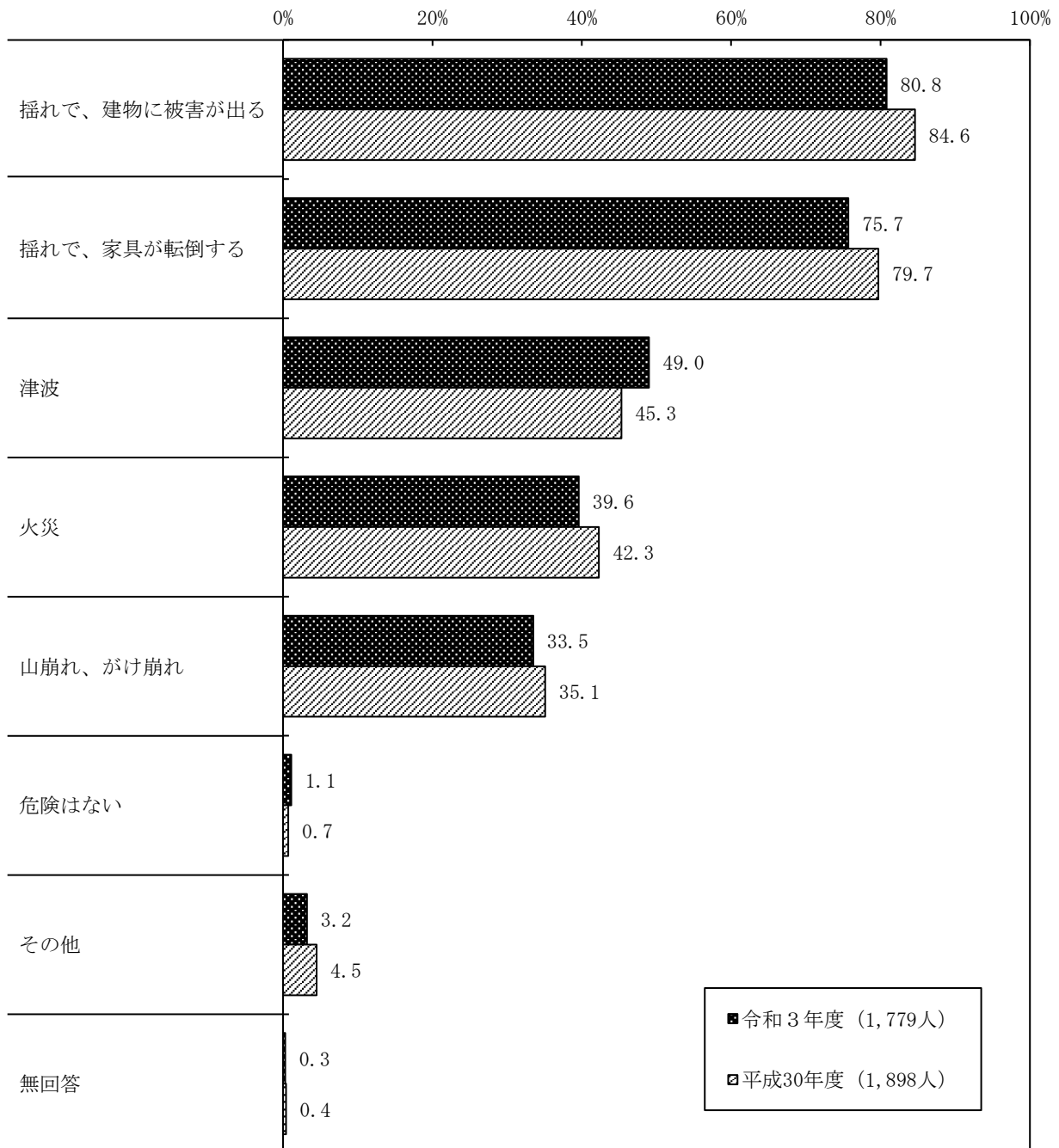
《 総合・浸水予測区域別 》



【前回比較】

平成30年と同じ傾向で、差はほとんどない。

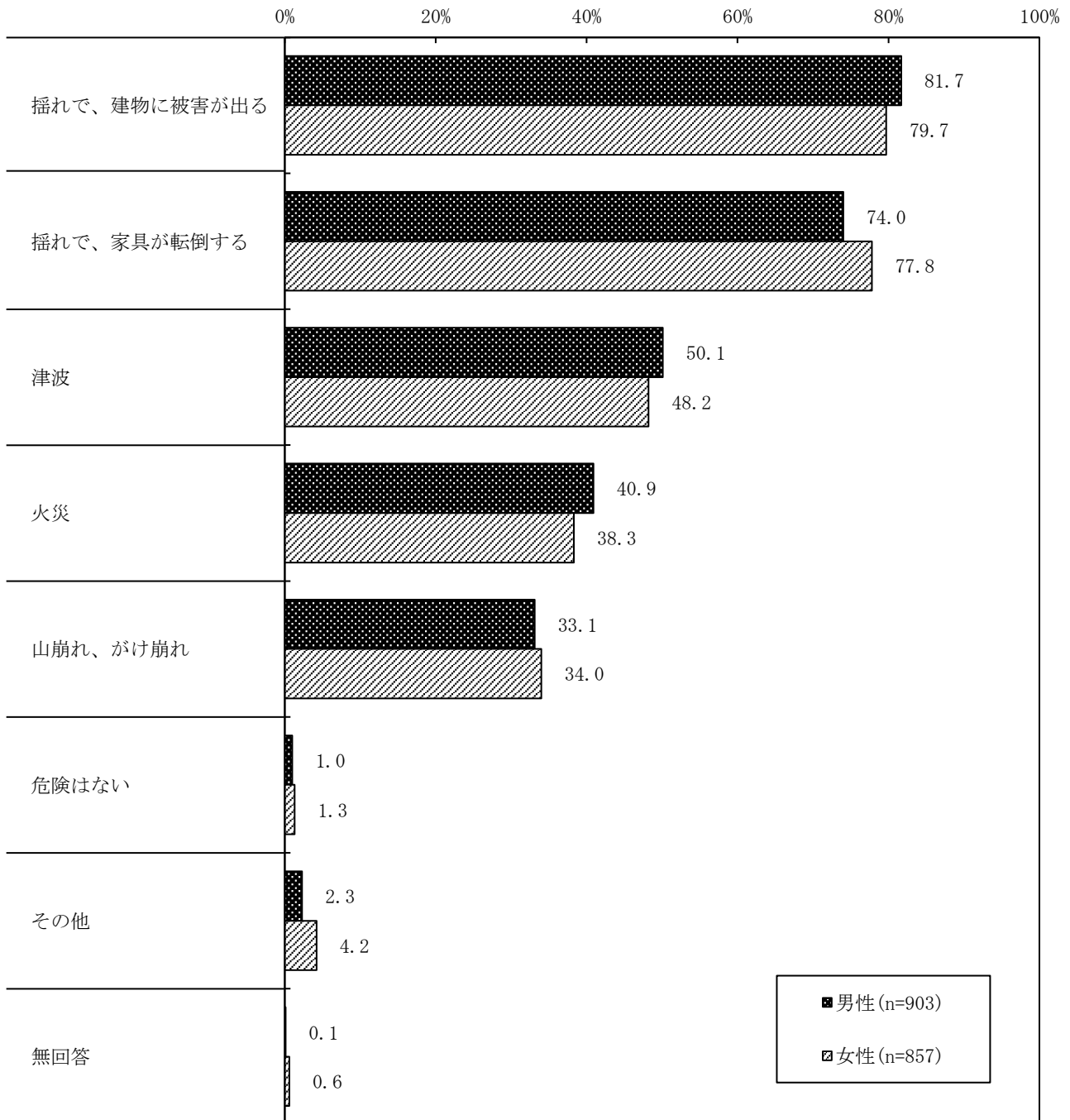
《 前 回 比 較 》



【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

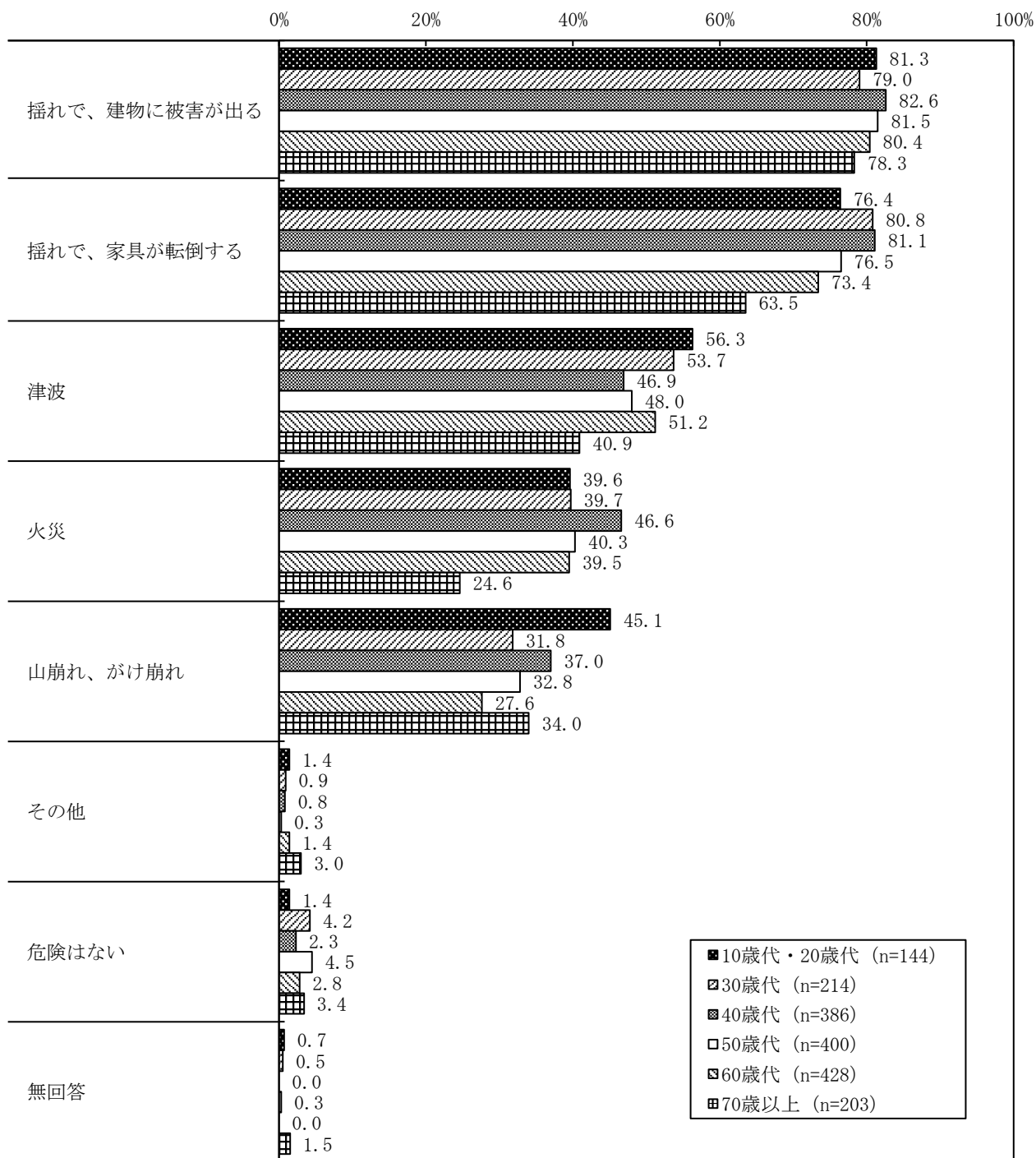
《 性別 》



【年代別】

30歳代を除くすべての年代で「揺れで、建物に被害が出る」が、30歳代では「揺れで、家具が転倒する」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

学生を除くすべての職業で「揺れで、建物に被害が出る」が最も高く、学生では「揺れで、家具が転倒する」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

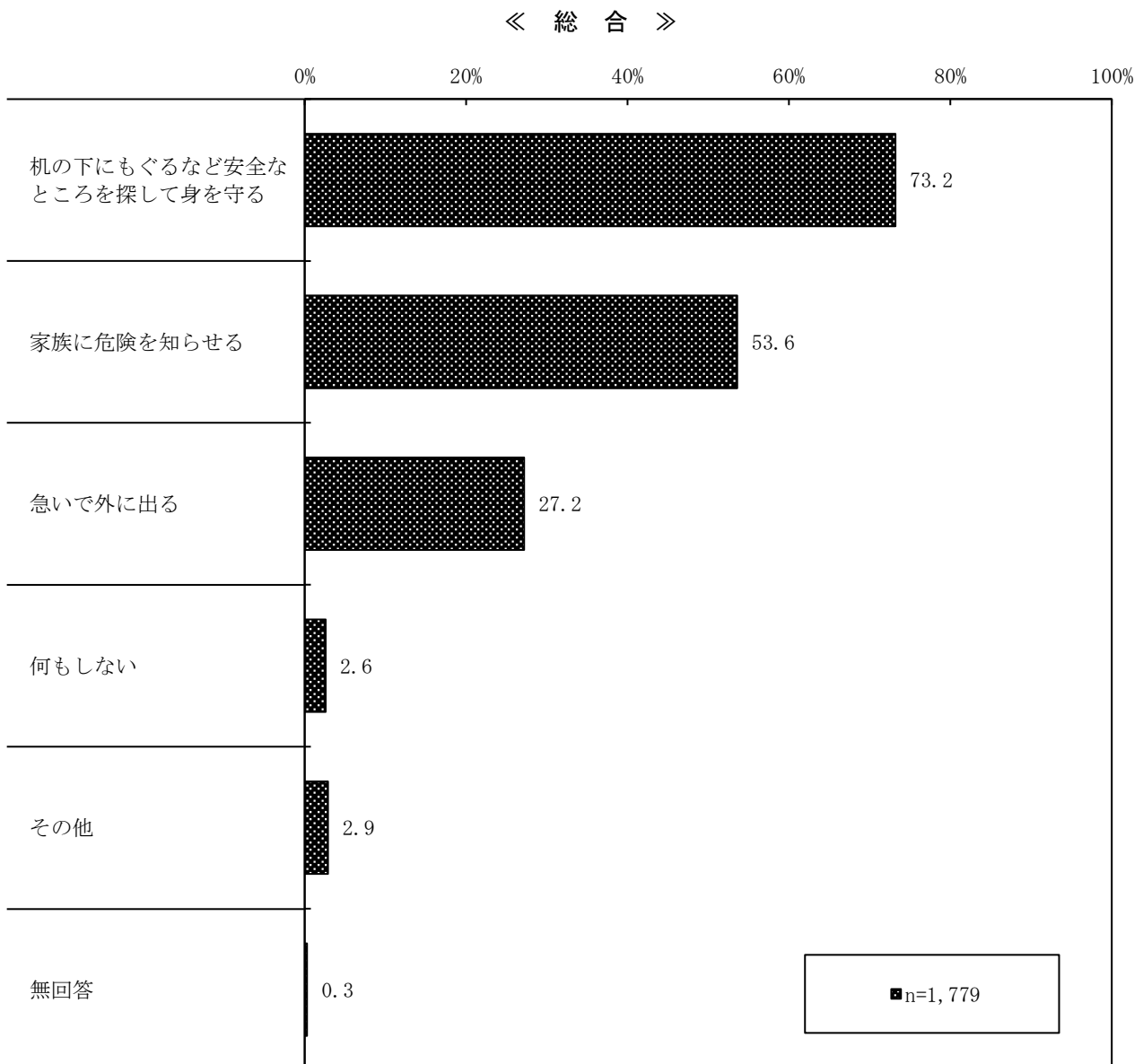
(単位：%)

項目 属性	揺れで、 建物に被害が出る	揺れで、 家具が転倒する	津波	火災	山崩れ、 がけ崩れ	危険はない	その他	無回答
農林業 (n=88)	78.4	65.9	33.0	31.8	46.6	1.1	1.1	1.1
漁業 (n=4)	100.0	50.0	100.0	25.0	50.0	-	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	83.6	79.7	53.1	46.1	25.8	0.8	0.8	-
会社員 (役員を含む)、公 務員 (n=739)	81.9	79.4	50.6	43.4	32.3	0.5	3.1	0.3
自由業 (医師、弁護士、画 家、僧侶など) (n=50)	78.0	70.0	54.0	32.0	32.0	2.0	6.0	-
主婦・主夫 (n=136)	81.6	71.3	40.4	33.8	32.4	3.7	3.7	-
パート・アルバイト (n=229)	79.5	78.2	53.7	36.7	34.1	0.4	3.1	-
学生 (n=49)	77.6	83.7	55.1	46.9	44.9	2.0	2.0	-
無職 (すでに退職を含む) (n=253)	79.4	68.8	47.4	34.4	31.2	2.0	5.1	0.8
その他 (n=92)	77.2	70.7	42.4	38.0	42.4	1.1	3.3	1.1

問4 緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

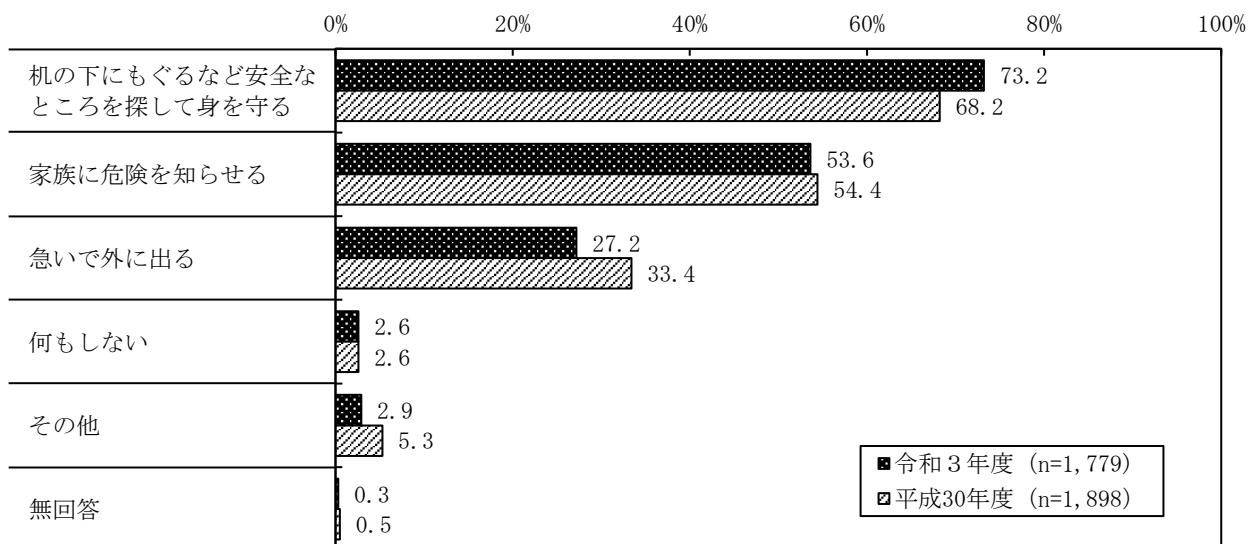
地震速報を受け取った時の行動としては、「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が73.2%と最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」が53.6%、「急いで外に出る」が27.2%と続いている。



【前回比較】

「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が5ポイント増加し、逆に「急いで外に出る」が6.2ポイント減少しており、まずは自身の安全を確保するという意識が高まってきた結果と思われる。

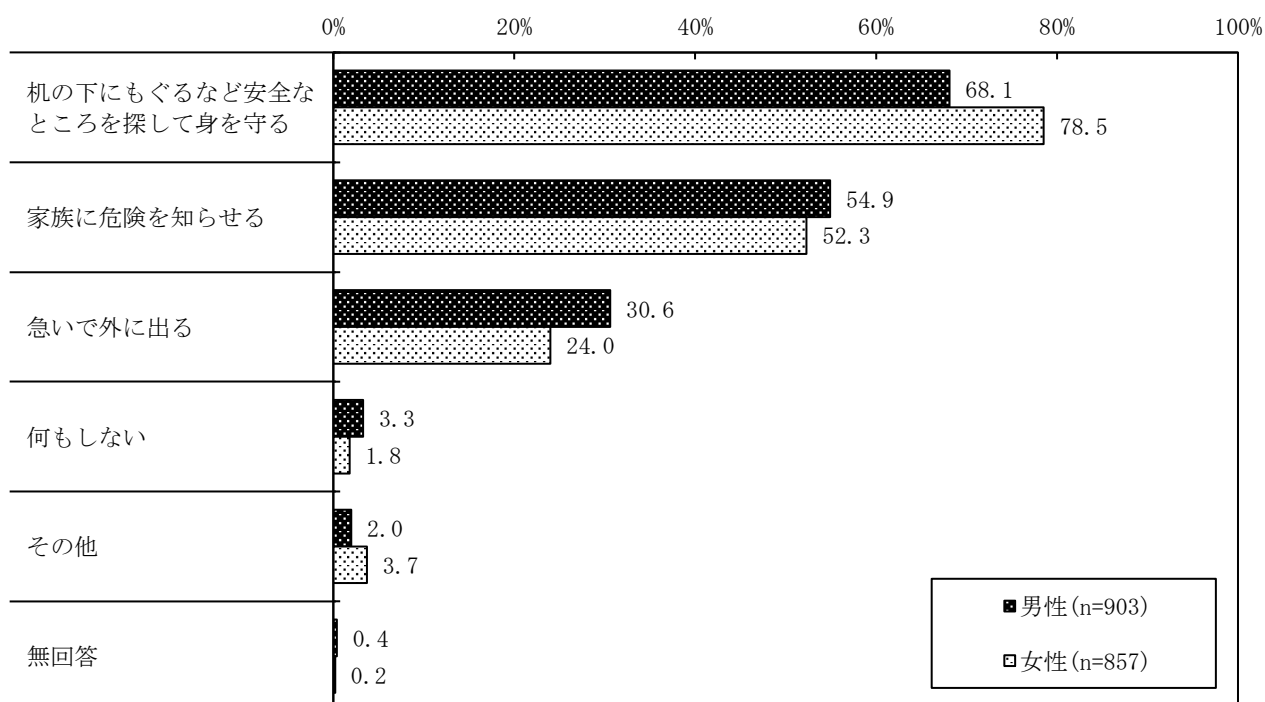
《 前 回 比 較 》



【性別】

「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」は女性の方が10.4ポイント高くなっている。一方、「急いで外に出る」では、男性の方が6.6ポイント高くなっている。

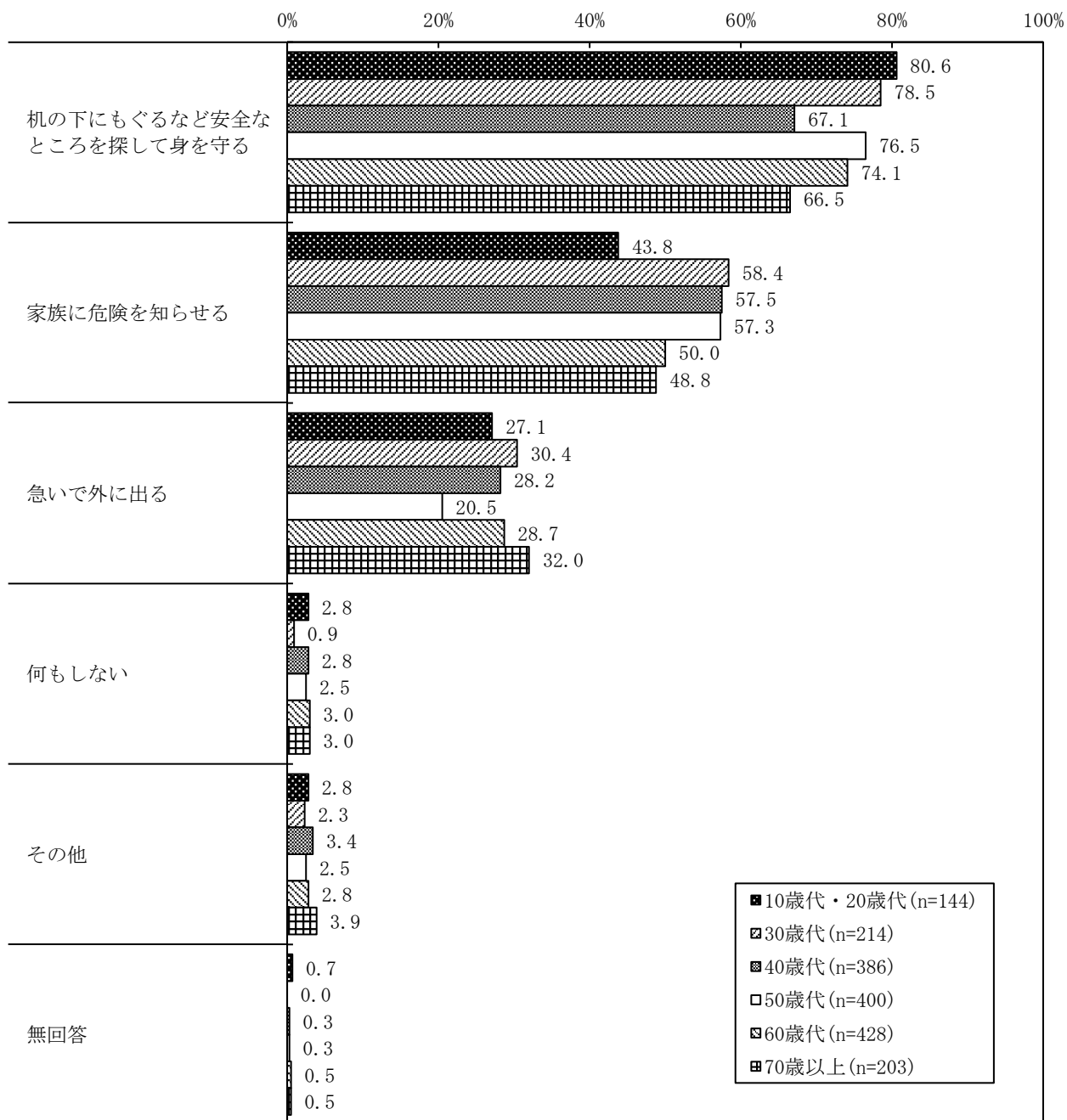
《 性 別 》



【年代別】

すべての年代で「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高くなっており、中でも10歳代・20歳代では80.6%と高いが、40歳代と70歳以上では70%を下回っている。

《 年代別 》



【職業別】

農林業を除くすべての職業で「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が、農林業では「家族に危険を知らせる」が最も高くなっている。

「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」では、ほとんどの職業で70%を超えているが、農林業では54.5%、無職では66.0%と他の職業と比べて低くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

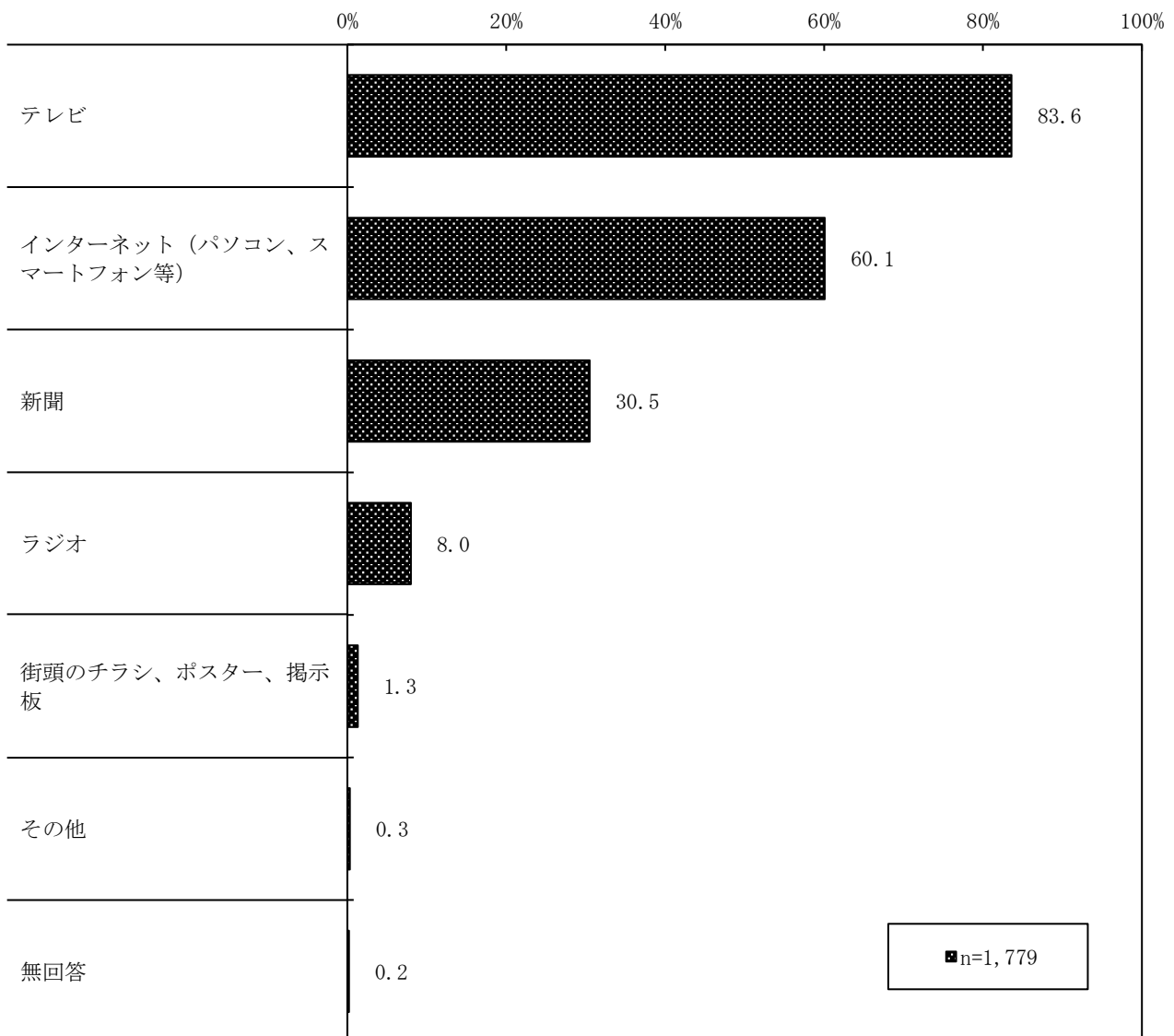
属 性	機の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	家族に危険を知らせる	急いで外に出る	何もしない	その他	無回答
農林業(n=88)	54.5	60.2	43.2	-	2.3	1.1
漁業(n=4)	100.0	50.0	50.0	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	75.0	55.5	24.2	3.9	0.8	-
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	75.9	57.5	24.6	2.7	2.7	0.3
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	72.0	46.0	24.0	2.0	2.0	-
主婦・主夫(n=136)	82.4	53.7	24.3	2.2	2.9	-
パート・アルバイト(n=229)	70.3	52.4	28.8	1.7	3.5	-
学生(n=49)	87.8	42.9	28.6	4.1	6.1	-
無職(すでに退職を含む)(n=253)	66.0	46.2	31.6	3.6	3.6	0.4
その他(n=92)	76.1	45.7	26.1	2.2	3.3	2.2

問5 主に情報をよく収集するメディアは何か

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

主に情報を収集するメディアとしては「テレビ」が83.6%で最も高く、「インターネット」60.1%、「新聞」30.5%と続いている。

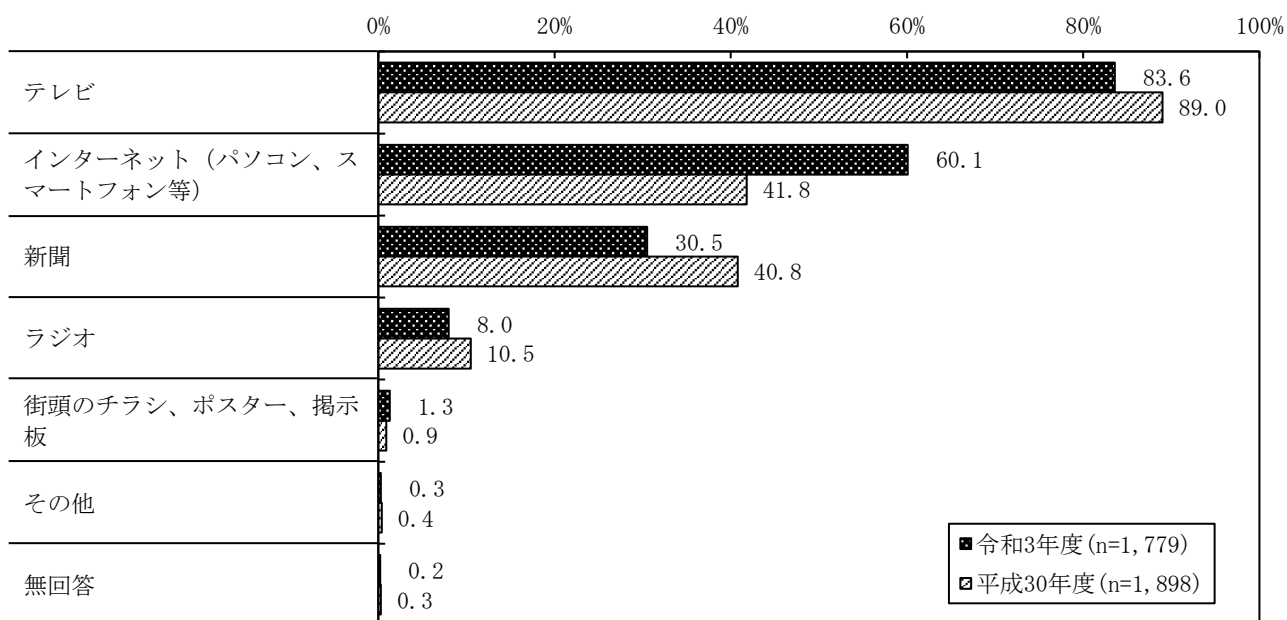
《 総合 》



【前回比較】

「総合」と同じ傾向にあるが、「テレビ」は前回から5.4ポイント、「新聞」は10.3ポイント減少しているのに対し、「インターネット」は18.3%増加している。

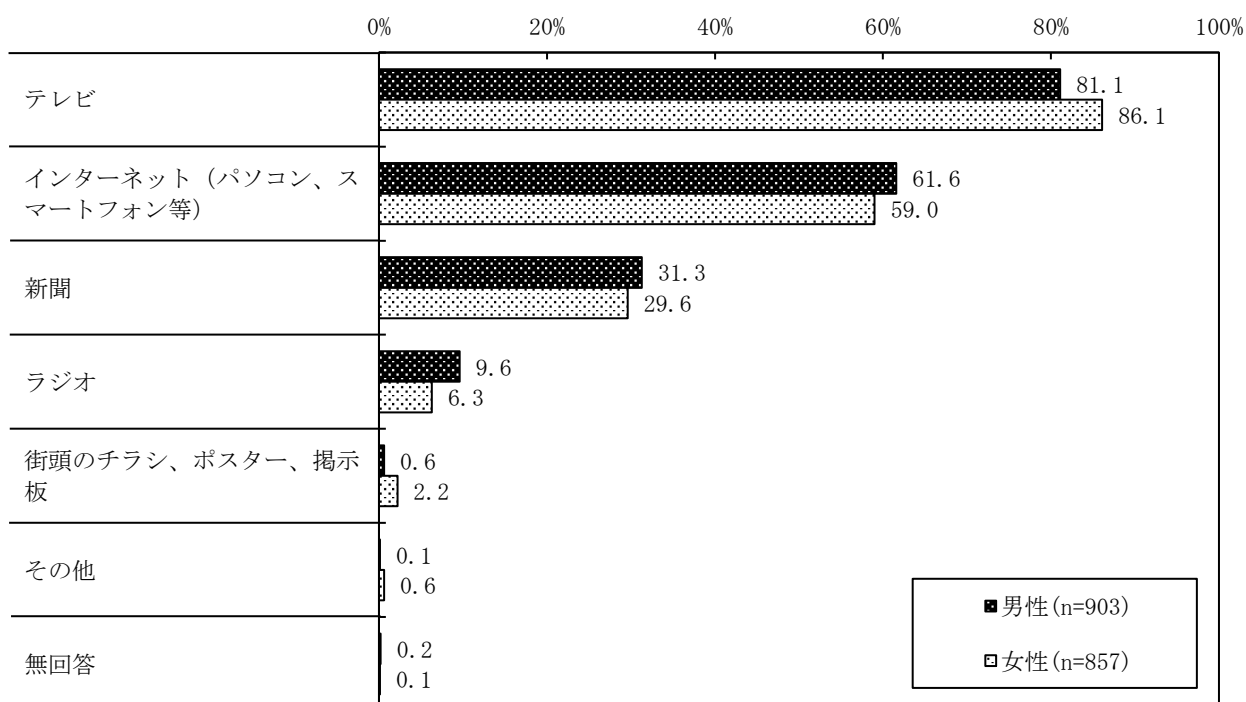
《 前 回 比 較 》



【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向であり、性別で大きな差はない。

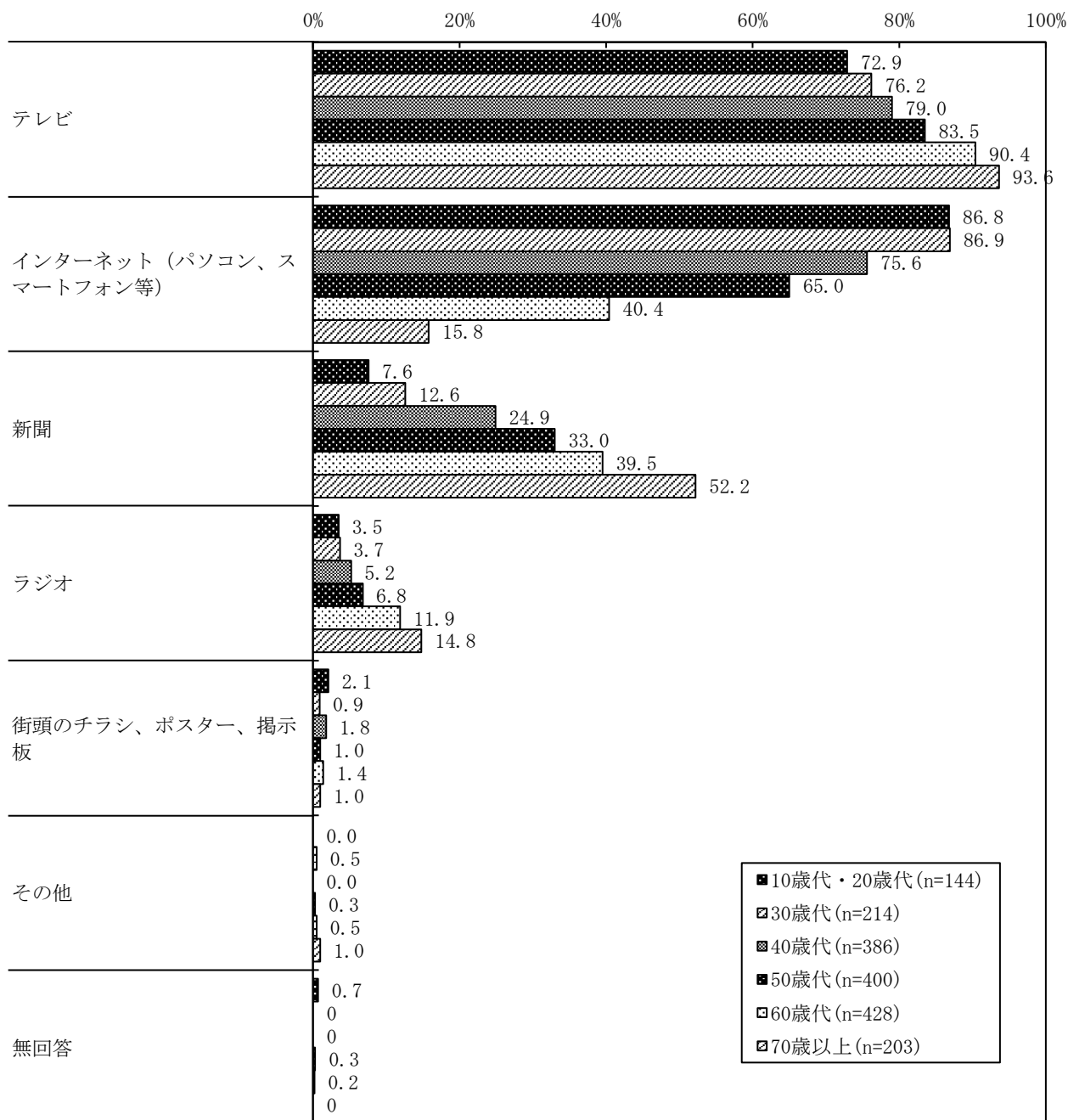
《 性 別 》



【年代別】

テレビはすべての年代で高い割合になっているが、「新聞」は年代が上がるほど割合が高くなる傾向が、「インターネット」は年代が上がるほど割合が低くなる傾向が強く出ている。

《 年 代 別 》



【職業別】

すべての職業で「テレビ」が最も高くなっており、漁業、主婦・主夫では90%以上と他の職業より高い割合となっている。

また、「インターネット」では会社員、公務員、学生が他の職業より割合が高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

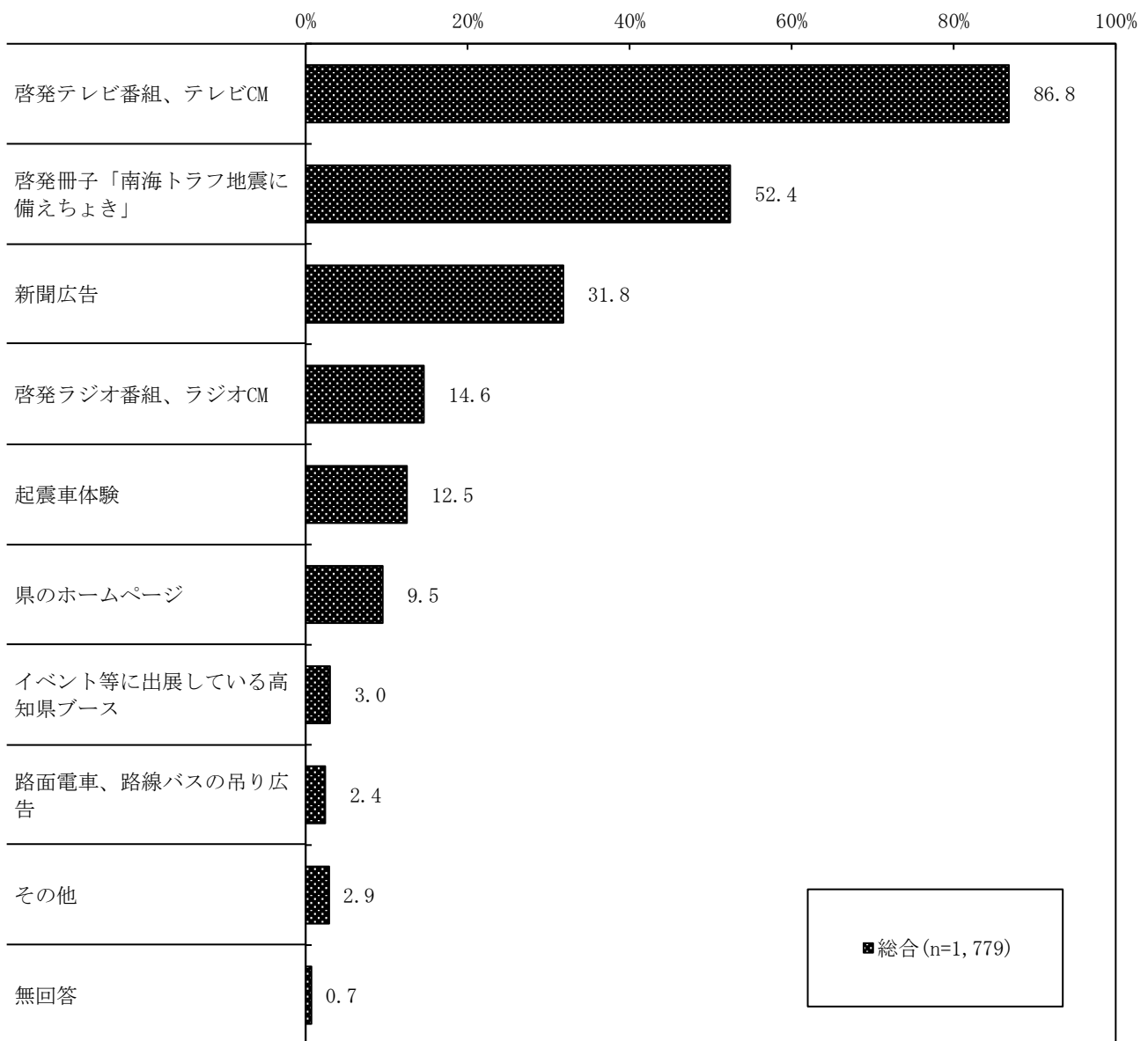
項 目 属 性	テレビ	インターネット (パソコン、スマートフォン等)	新聞	ラジオ	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	その他	無回答
農林業(n=88)	81.8	40.9	43.2	17.0	-	-	-
漁業(n=4)	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	82.8	54.7	37.5	12.5	0.8	-	-
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	81.3	74.3	27.5	6.1	0.9	0.1	0.1
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	78.0	52.0	40.0	6.0	2.0	-	-
主婦・主夫(n=136)	91.9	43.4	43.4	5.9	2.2	-	-
パート・アルバイト(n=229)	83.4	62.4	21.4	8.7	1.7	0.4	-
学生(n=49)	83.7	87.8	10.2	-	2.0	-	-
無職(すでに退職を含む)(n=253)	89.7	31.2	37.5	10.7	2.4	1.2	0.4
その他(n=92)	77.2	64.1	20.7	7.6	1.1	1.1	1.1

問6 南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

印象に残っている南海トラフ地震の啓発活動は、「啓発テレビ番組、テレビCM」が86.8%と最も高く、次いで「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」52.4%、「新聞広告」31.8%と続いている。

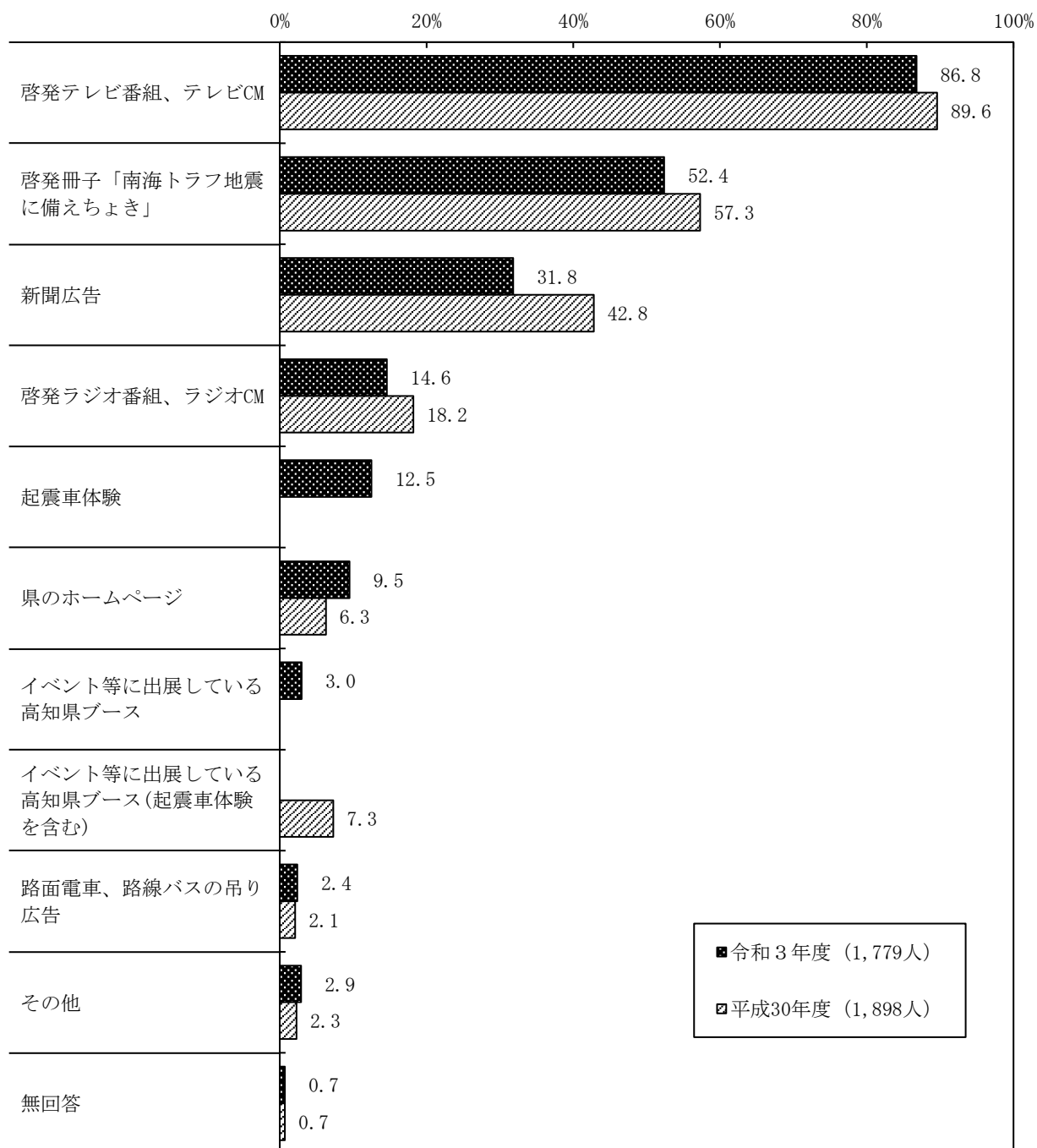
《 総 合 》



【前回比較】

「総合」と同じ傾向で大きな差は見られないが、「新聞広告」は前回から11ポイントと大きく減少している。

《 前 回 比 較 》

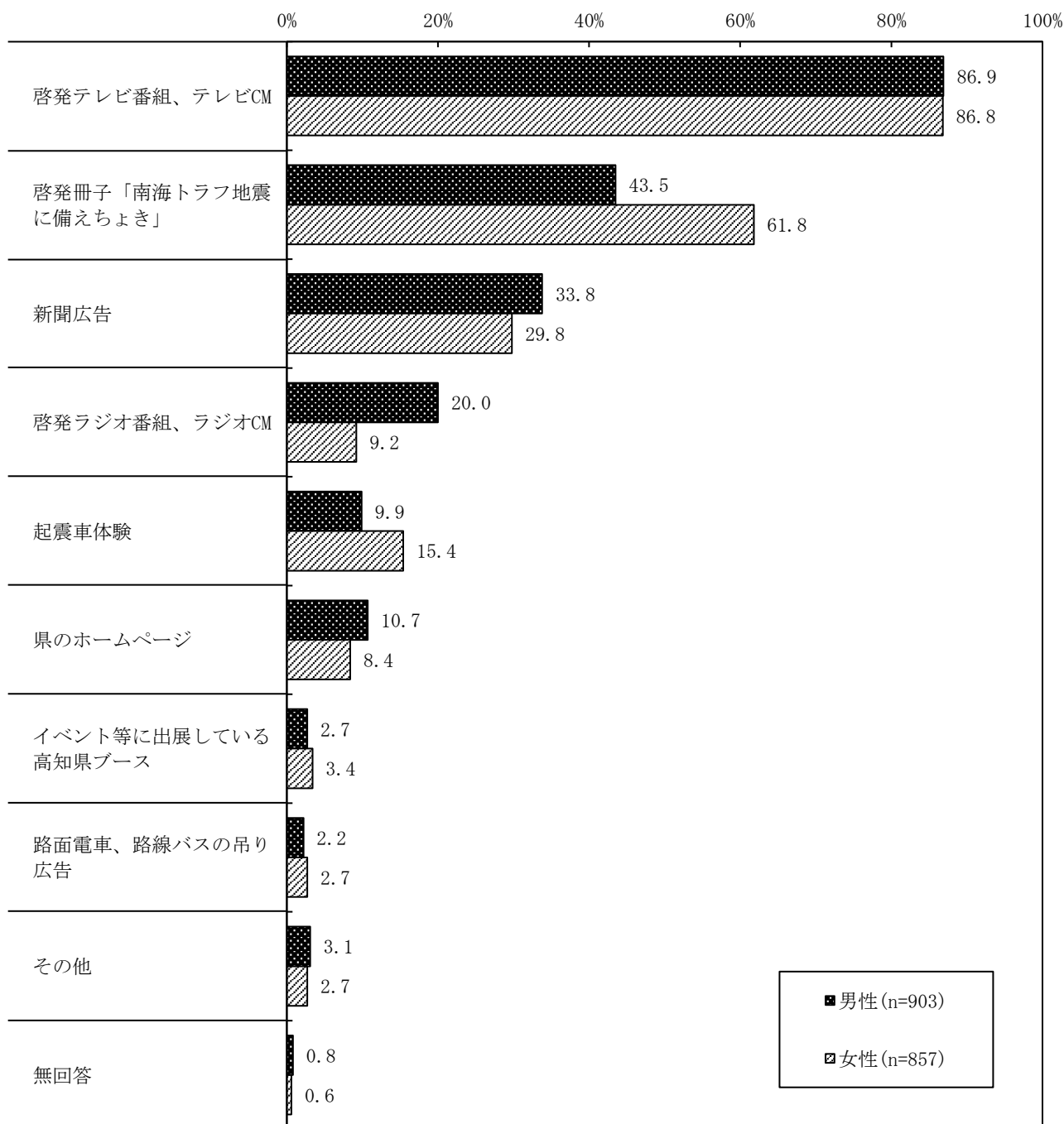


※「起震車体験」と「イベント等に出展している高知県ブース」は平成30年度では一つの項目としていたが、令和3年度から別の項目とした。

【性別】

最も高い「啓発テレビ番組、テレビCM」では男女の差はほとんど無いが、「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」では男性43.5%、女性61.8%と女性の方が18.3ポイント高く、「啓発ラジオ番組、ラジオCM」では、男性20.0%、女性9.2%と男性の方が10.8ポイント高くなっている。

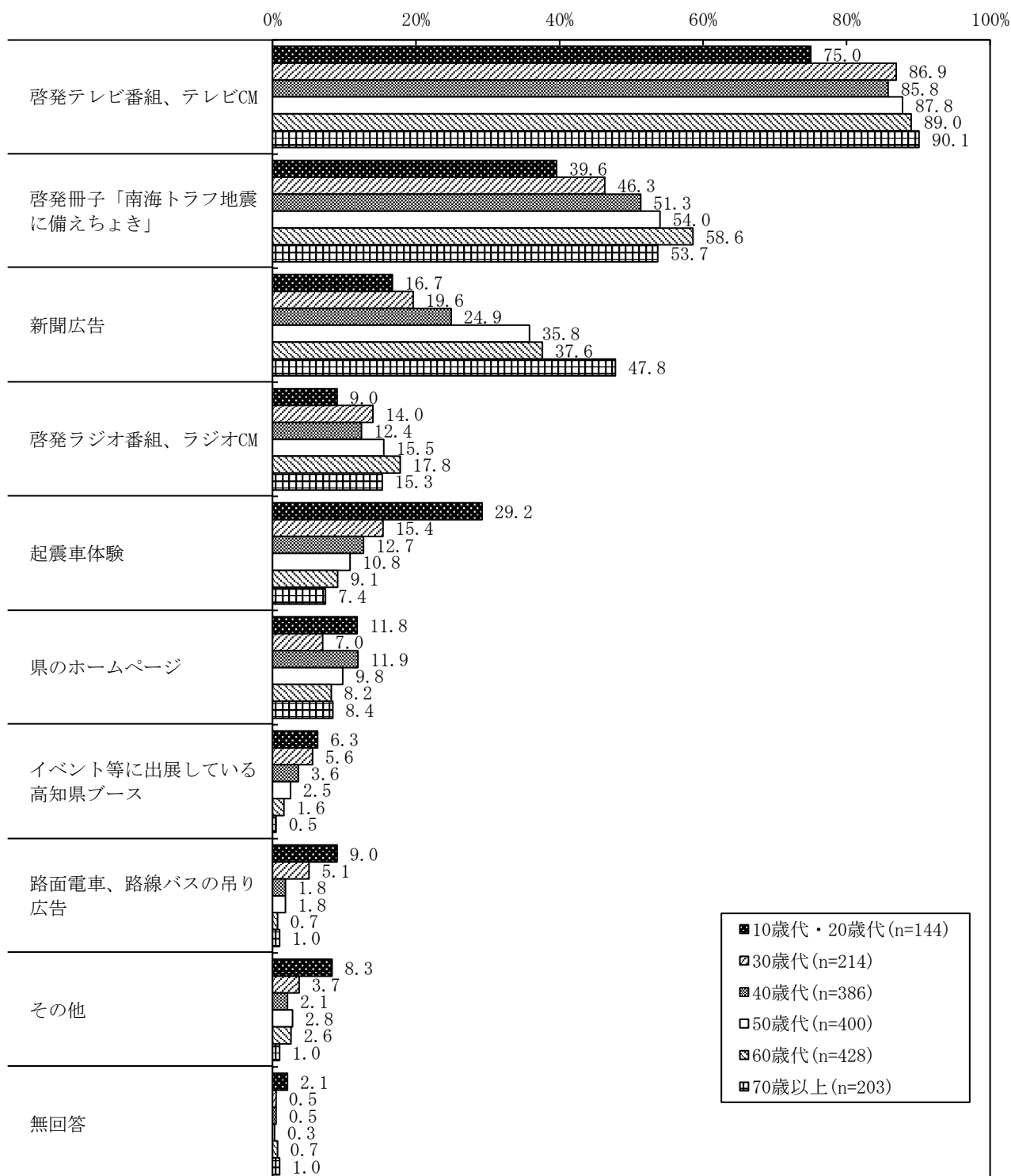
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「啓発テレビ番組、テレビCM」が最も高くなっているが、10歳代・20歳代は75%と他の年代層よりも低い割合になっている。「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちよき』」も同様に10歳代・20歳代が他の年代より低い。「新聞広告」は、年代が高いほど割合が高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

すべての職業で「啓発テレビ番組、テレビCM」が最も高くなっている。

主婦・主夫では「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちよき』」が69.1%と、他の職業に比べ高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	啓発テレビ番組、 テレビCM	啓発冊子「南海トラフ地震に 備えちよき」	新聞広告	啓発ラジオ番組、 ラジオCM	起震車体験	県のホームページ	イベント等に出展している 高知県ブース	路面電車、路線バスの吊り広告	その他	無回答
農林業(n=88)	85.2	50.0	28.4	33.0	13.6	4.5	2.3	-	1.1	1.1
漁業(n=4)	75.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	85.2	47.7	40.6	19.5	9.4	5.5	2.3	1.6	1.6	0.8
会社員(役員を含む)、 公務員(n=739)	86.1	49.4	28.7	15.0	13.5	12.7	3.8	3.1	3.0	0.3
自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など) (n=50)	90.0	54.0	26.0	12.0	10.0	2.0	2.0	-	2.0	2.0
主婦・主夫(n=136)	92.6	69.1	40.4	7.4	8.1	5.1	1.5	-	1.5	-
パート・アルバイト (n=229)	85.6	58.1	26.2	10.5	12.2	8.3	2.2	2.6	3.5	0.9
学生(n=49)	77.6	46.9	34.7	8.2	32.7	12.2	8.2	12.2	8.2	-
無職(すでに退職を含 む)(n=253)	89.3	55.7	37.5	13.4	9.5	8.7	1.2	2.4	2.8	1.6
その他(n=92)	85.9	44.6	29.3	17.4	15.2	8.7	5.4	-	5.4	1.1

問5×問6 普段、情報をよく収集するメディアと印象に残っている南海トラフ地震対策の啓発との
クロス分析

普段、情報をよく収集するメディアの種類にかかわらず、最も印象に残っている啓発は、「啓発テレビ番組、テレビCM」となっており、ほとんどのメディアで80%を超えている。

また、「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちよき』」もほとんどのメディアで50%を超えている。

上段：人数
下段：%

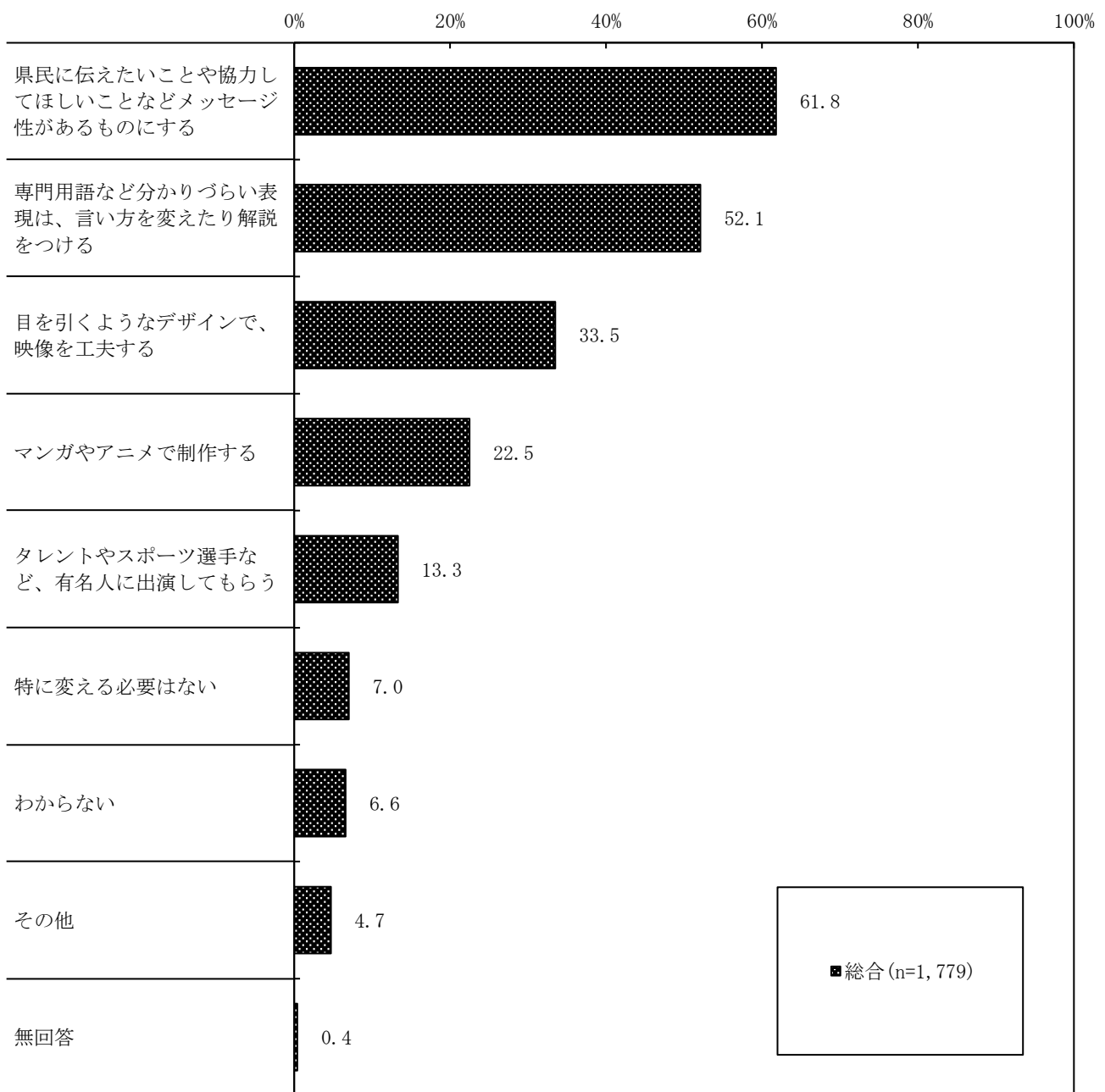
		問6									
		啓発テレビ番組、 テレビCM	啓発ラジオ番組、 ラジオCM	新聞広告	路面電車、 路線バスの吊り広告	県のホームページ	啓発冊子「南海トラフ地震に備えちよき」	知県ブース イベント等に出展している高	起震車体験	その他	無回答
問5	新聞	469 86.5	72 13.3	307 56.6	5 0.9	49 9.0	304 56.1	8 1.5	60 11.1	7 1.3	1 0.2
	テレビ	1,355 91.1	208 14.0	498 33.5	34 2.3	141 9.5	798 53.7	41 2.8	170 11.4	37 2.5	5 0.3
	ラジオ	116 81.7	87 61.3	35 24.6	2 1.4	11 7.7	75 52.8	1 0.7	16 11.3	1 0.7	- -
	インターネット (パソコン、スマートフォン等)	916 85.6	127 11.9	266 24.9	38 3.6	121 11.3	565 52.8	44 4.1	161 15.0	41 3.8	6 0.6
	街頭のチラシ、ポスター、 掲示板	19 79.2	3 12.5	7 29.2	3 12.5	6 25.0	16 66.7	3 12.5	2 8.3	2 8.3	1 4.2
	その他	4 66.7	- -	2 33.3	- -	- -	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	- -
	無回答	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	2 66.7

問7 啓発テレビ番組やCMを魅力的でわかりやすくするには

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的でわかりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。
(3つまで〇)

啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的でわかりやすくする方法は、「県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする」が61.8%と最も高く、次いで「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」52.1%、「目を引くようなデザインで、映像を工夫する」33.5%と続いている。

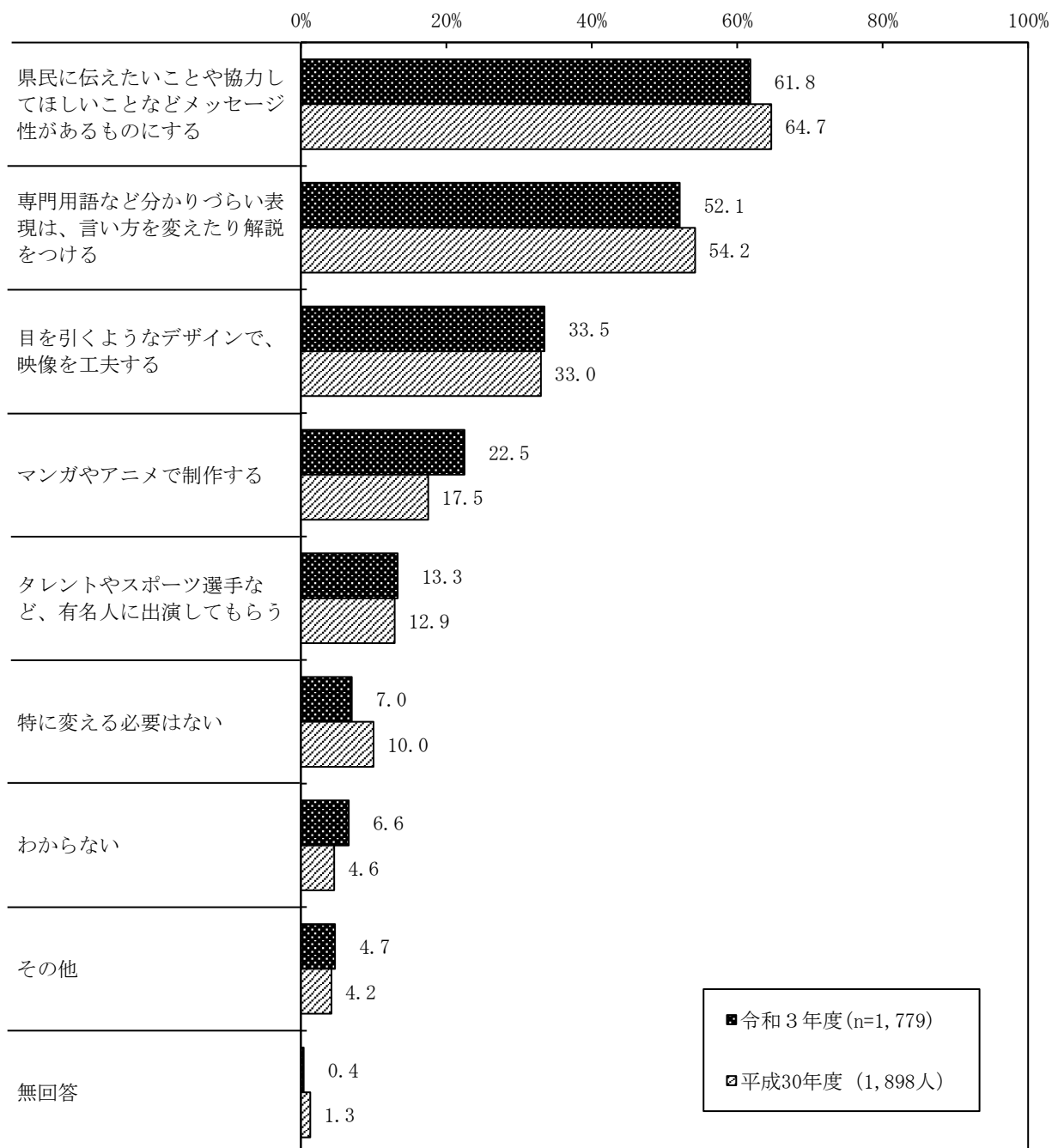
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度も平成30年度と同じ傾向で、差はほとんどない。

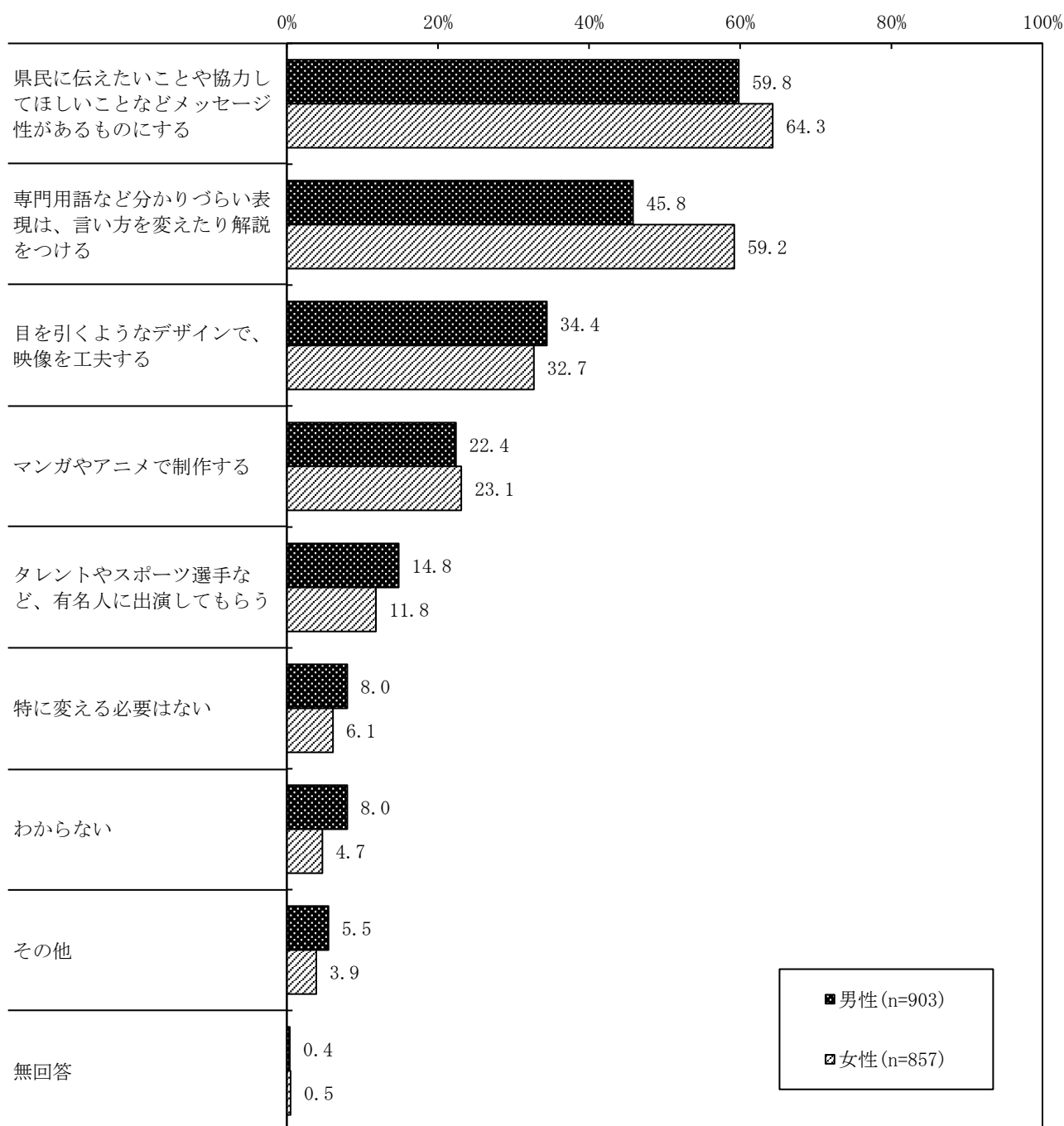
《 前 回 比 較 》



【性別】

男女ともに同じ傾向であるが、「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」では、女性が59.2%、男性が45.8%と女性の方が13.4ポイント高くなっている。

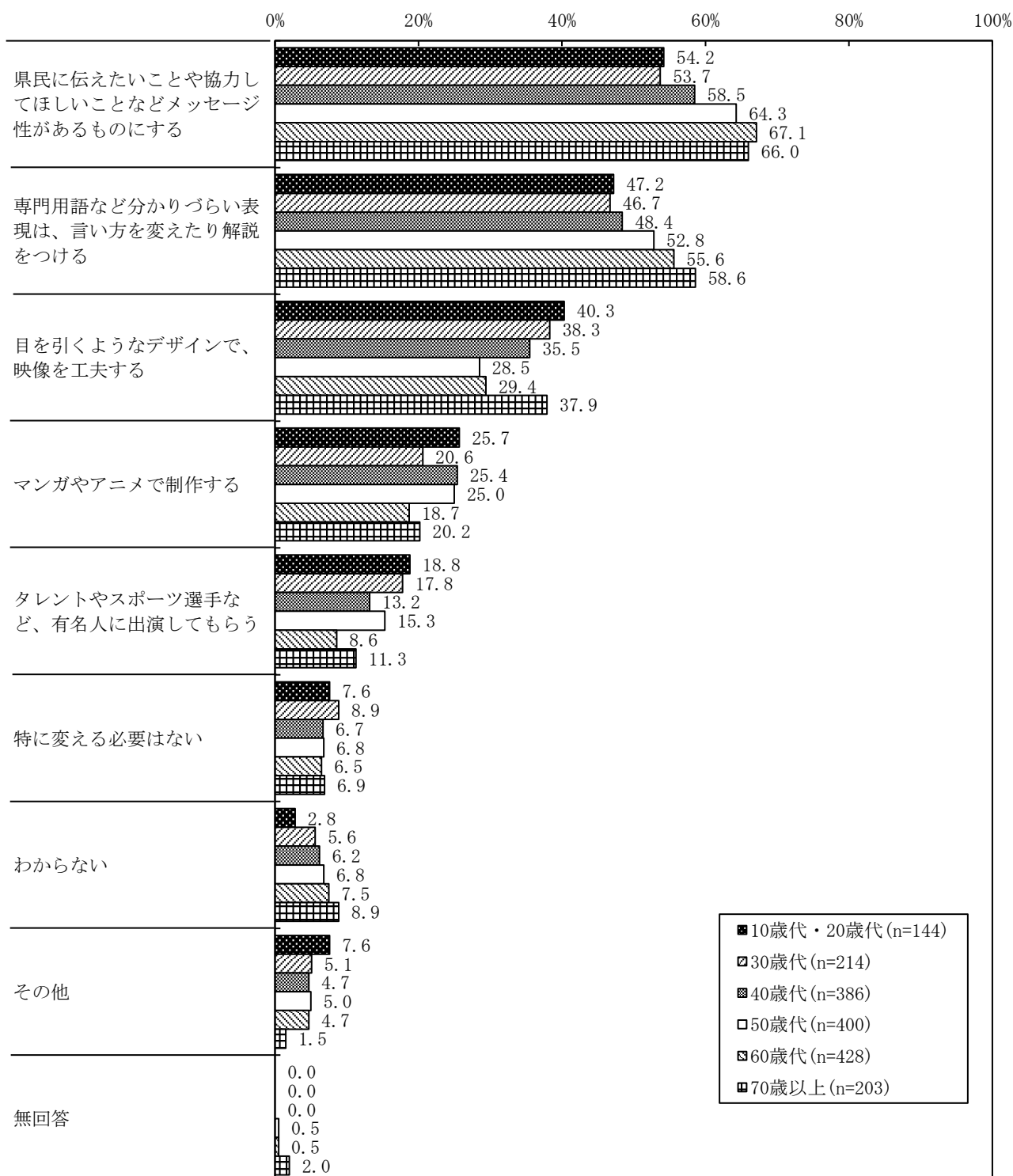
《 性別 》



【年代別】

「県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする」や「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」では年代が高い方が割合が高い傾向にある。一方「目を引くようなデザインで、映像を工夫する」、「マンガやアニメで制作する」、「タレントやスポーツ選手など、有名人に出演してもらう」では、年代が低い方が割合が高くなる傾向にある。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業とパート・アルバイトを除くすべての職業で「県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする」が、漁業では「マンガやアニメで制作する」が、パート・アルバイトでは「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする	専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける	目を引くようなデザインで、映像を工夫する	マンガやアニメで制作する	タレントやスポーツ選手など、有名人に出演してもらう	特に変える必要はない	わからない	その他	無回答
農林業(n=88)	60.2	47.7	33.0	19.3	10.2	6.8	8.0	5.7	1.1
漁業(n=4)	50.0	25.0	-	75.0	50.0	25.0	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	64.8	60.2	32.8	25.8	7.8	8.6	9.4	3.9	-
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	60.1	44.4	34.6	23.3	16.6	7.2	5.5	5.8	0.3
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	64.0	52.0	30.0	24.0	6.0	-	10.0	6.0	2.0
主婦・主夫(n=136)	65.4	63.2	32.4	17.6	11.0	8.8	6.6	2.2	-
パート・アルバイト(n=229)	57.6	60.3	29.3	22.3	10.5	6.6	6.6	3.5	-
学生(n=49)	59.2	49.0	44.9	24.5	14.3	12.2	-	8.2	-
無職(すでに退職を含む)(n=253)	65.6	56.9	34.0	21.7	11.9	4.7	8.7	3.6	0.8
その他(n=92)	67.4	57.6	32.6	21.7	14.1	8.7	6.5	3.3	2.2

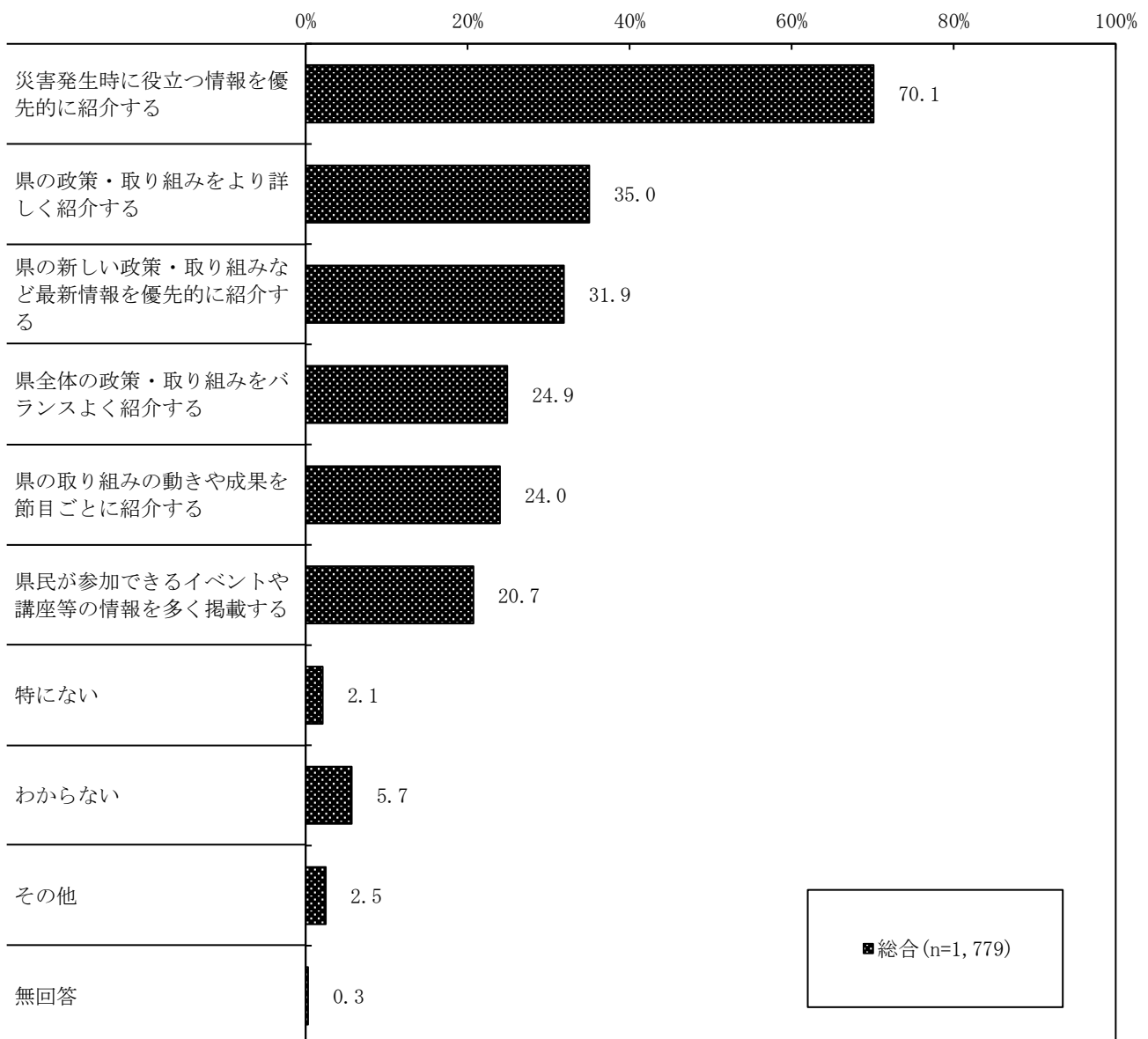
問8 南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。（3つまで○）

南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために中心に取り上げるべきものは、「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が70.1%と最も高く、次いで「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」35.0%、「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」31.9%と続いている。

特に「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」は、二番目に高い「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」より35.1ポイント高い。

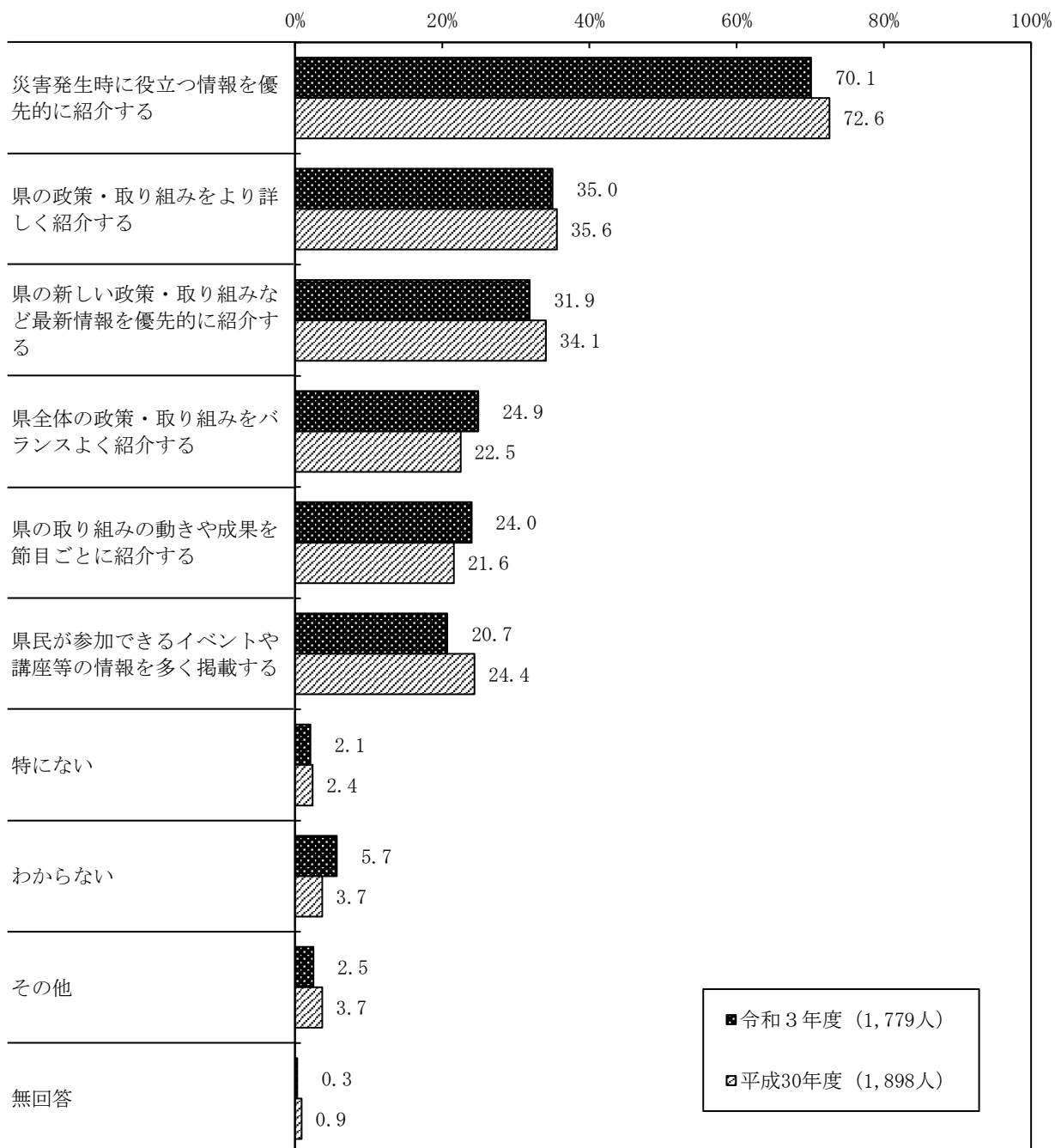
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度も平成30年度と同じ傾向で、大きな差は見られない。

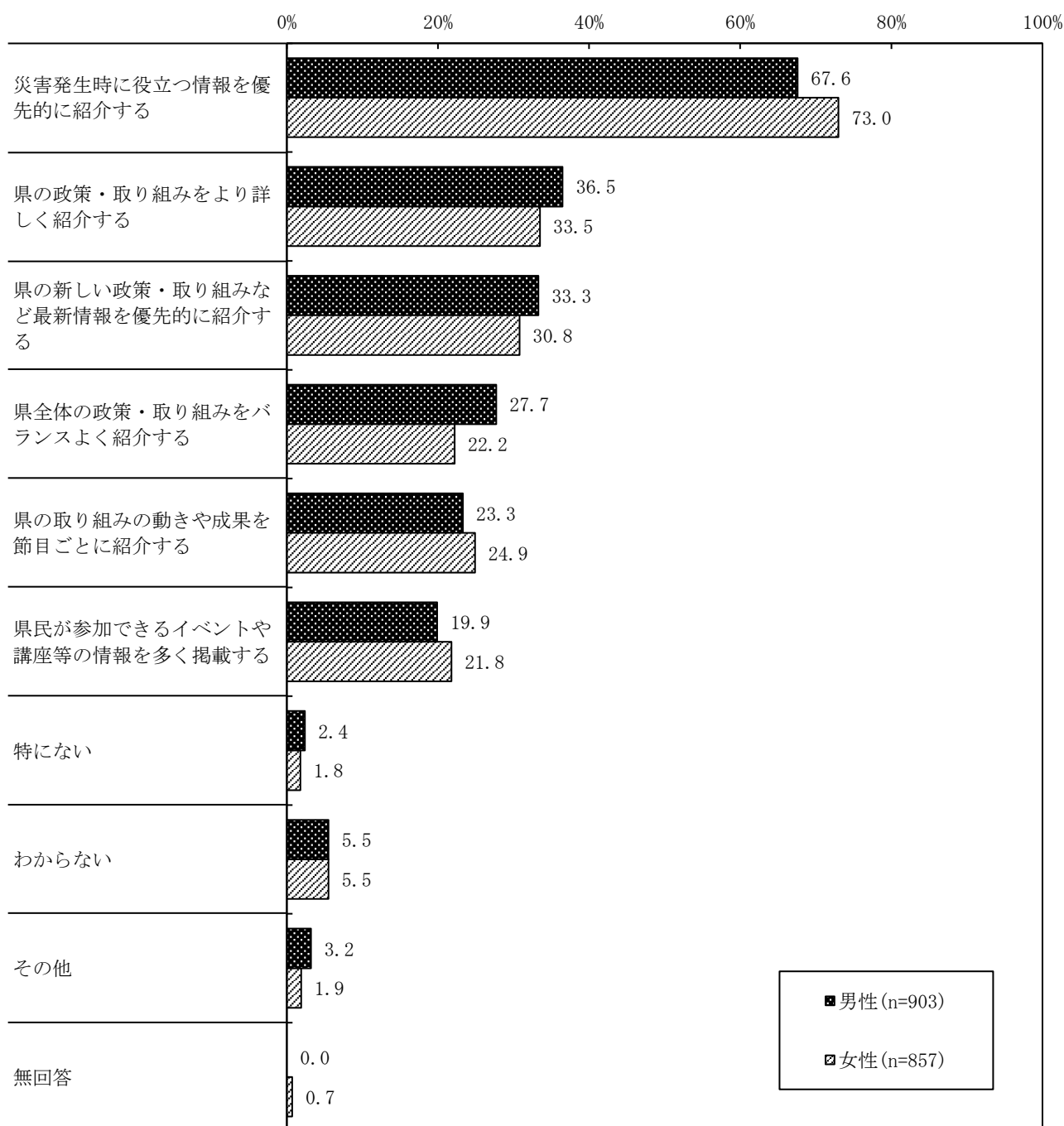
◀ 前回比較 ▶



【性別】

最も高い「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」では女性の方が5.4ポイント高くなっており、「県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する」では男性の方が5.5ポイント高くなってている。他の選択肢ではそれほど大きな差はない。

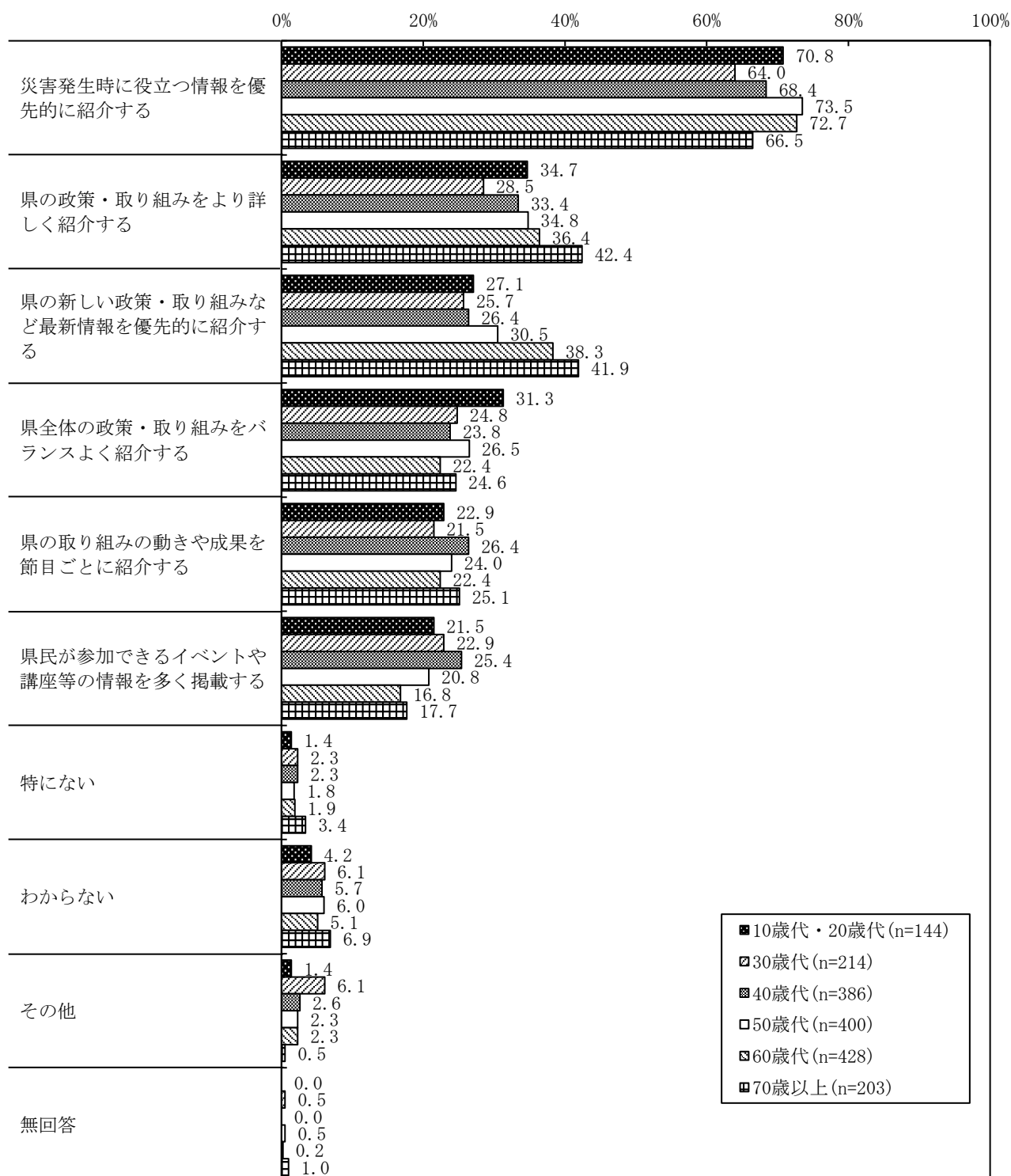
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が60%以上と最も高くなっている。「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」、「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」では、年代が高い方が割合も高くなる傾向である。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業を除くすべての職業で「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が、漁業では「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する	県の政策・取り組みをより詳しく紹介する	県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する	県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する	県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する	特にない	わからない	その他	無回答
農林業(n=88)	67.0	37.5	37.5	25.0	27.3	13.6	2.3	4.5	2.3	-
漁業(n=4)	50.0	75.0	100.0	-	25.0	-	-	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	73.4	30.5	28.9	24.2	21.1	20.3	1.6	10.2	0.8	-
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	71.2	33.0	30.0	26.0	25.2	23.0	2.0	4.5	3.2	0.3
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	62.0	32.0	40.0	20.0	14.0	30.0	-	4.0	2.0	-
主婦・主夫(n=136)	69.9	37.5	33.8	22.1	25.0	18.4	3.7	8.8	1.5	0.7
パート・アルバイト(n=229)	67.2	35.8	26.2	23.6	22.7	21.8	1.7	4.4	3.5	-
学生(n=49)	77.6	49.0	32.7	30.6	18.4	20.4	-	2.0	-	-
無職(すでに退職を含む)(n=253)	68.8	36.0	35.6	26.1	26.5	16.6	3.6	7.1	1.6	0.8
その他(n=92)	71.7	34.8	39.1	19.6	18.5	20.7	1.1	7.6	3.3	1.1

問5×問8 普段、情報をよく収集するメディアと広報活動の充実のために中心に取り上げるべきものとのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアの種類にかかわらず、中心に取り上げるべきものとして、「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が、「その他」を除くメディアで約70%以上と最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

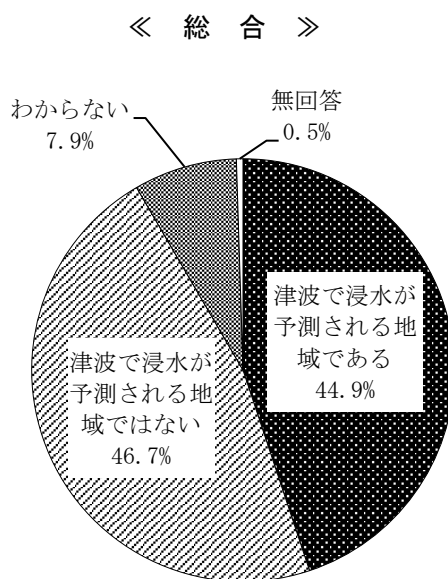
		問8									
		県の政策・取り組みをより詳しく紹介する	県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する	県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する	県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する	県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する	特になし	わからない	その他	無回答
問5	新聞	200 36.9	153 28.2	211 38.9	137 25.3	385 71.0	104 19.2	10 1.8	21 3.9	13 2.4	1 0.2
	テレビ	541 36.4	382 25.7	497 33.4	352 23.7	1,078 72.5	298 20.0	26 1.7	80 5.4	35 2.4	4 0.3
	ラジオ	62 43.7	31 21.8	56 39.4	43 30.3	96 67.6	32 22.5	4 2.8	11 7.7	1 0.7	-
	インターネット (パソコン、スマートフォン等)	360 33.6	255 23.8	304 28.4	259 24.2	759 70.9	251 23.5	23 2.1	58 5.4	34 3.2	2 0.2
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	12 50.0	2 8.3	10 41.7	6 25.0	19 79.2	10 41.7	-	1 4.2	-	-
	その他	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	3 50.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	-	-
	無回答	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3

(2) 津波避難対策について

問9 津波で浸水が予測される地域かどうか

問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

「津波で浸水が予測される地域である」は44.9%、「津波で浸水が予測される地域ではない」は46.7%と合計して91.6%の方が自宅がどのような地域にあるか認識しているが、まだ7.9%の方が「わからない」と答えている。

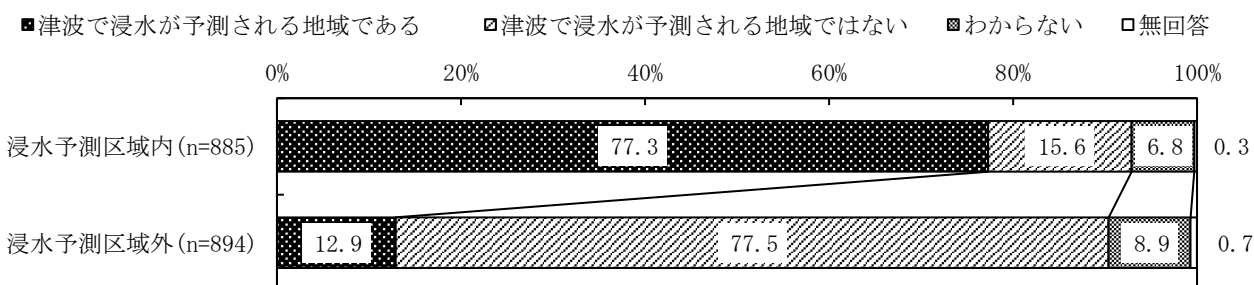


(n=1,779)

【浸水予測区域別】

「わからない」が浸水予測区域内では6.8%、浸水予測区域外では8.9%となっており、浸水予測区域外の方がわずかに多くなっている。

《 浸水予測区域別 》



※浸水区域については、県の被害想定により2m以上の津波浸水が予測されている地域を含む大字単位で分類しています。一部の地域では実際の浸水予測区域と異なる場合があります。

【前回比較】

令和3年後と平成30年度は同じ傾向で、「わからない」が微増となっている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

【年代別】

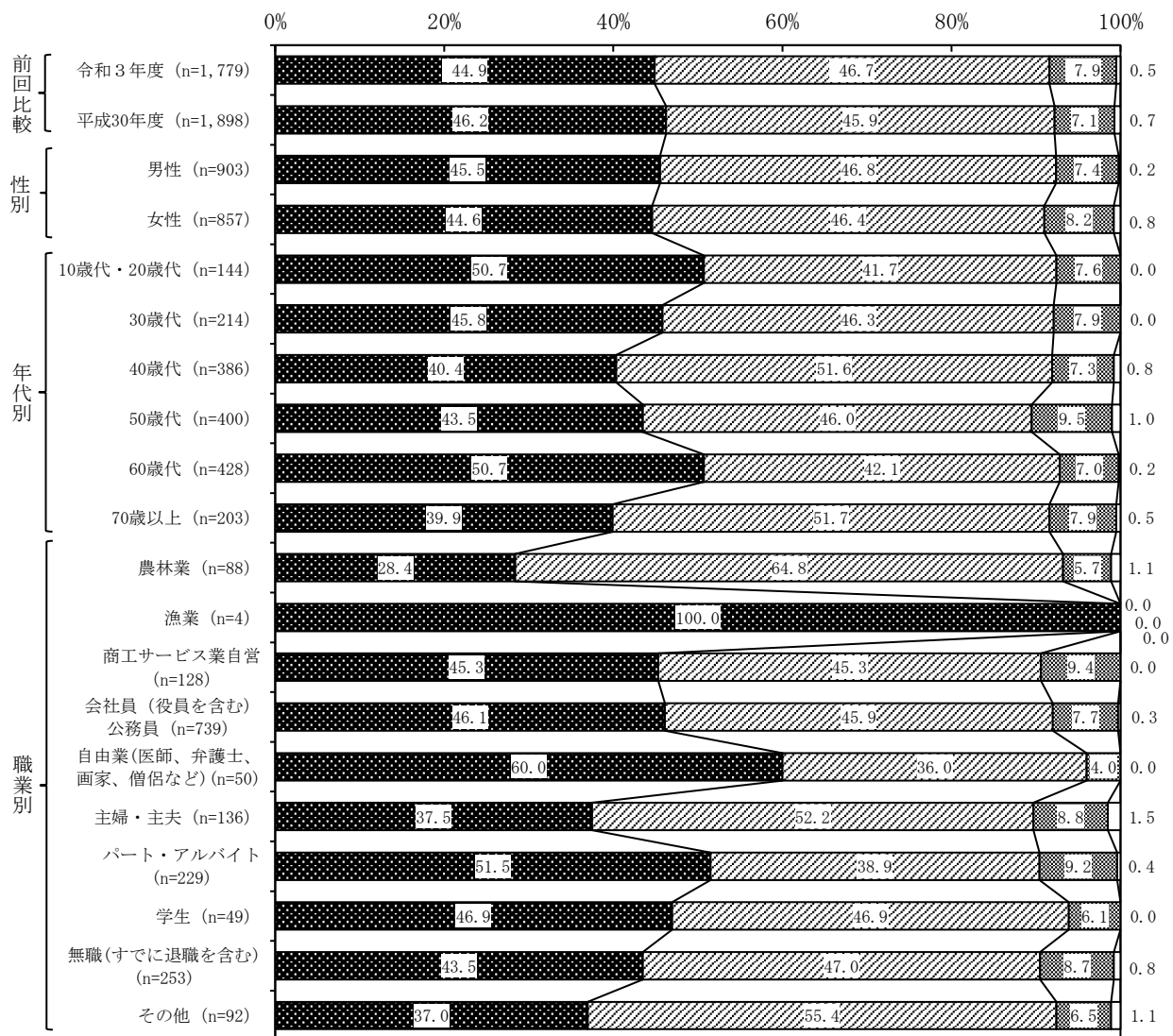
「わからない」は、50歳代のみ9.5%と、総合及び他の年代より高くなっている。

【職業別】

商工サービス業自営、主婦・主夫、パート・アルバイト、無職では9%前後と他の職業より高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

■津波で浸水が予測される地域である □津波で浸水が予測される地域ではない ▨わからない □無回答



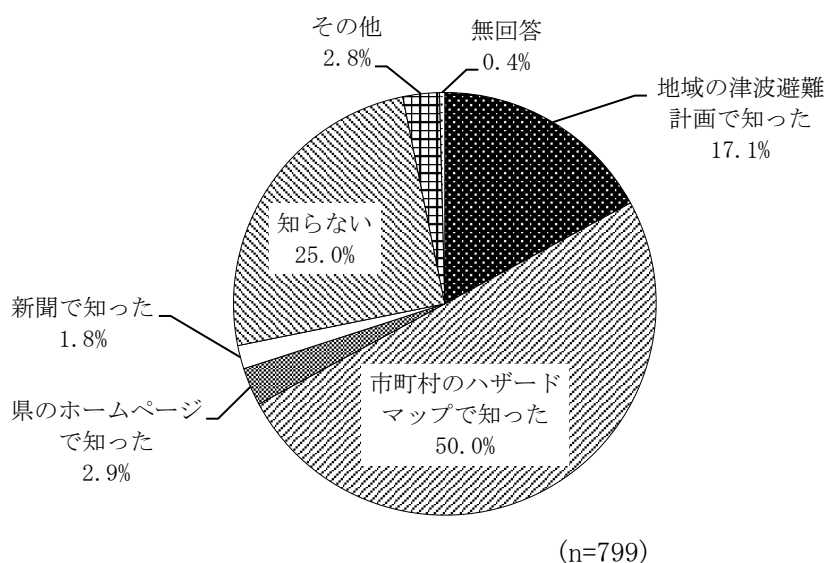
問 10 津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか

問 10 問 9 で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

津波が到達する時間や浸水する深さを知っているかについては、「市町村のハザードマップで知った」が50.0%と最も高く、「知っている」と答えた方は全体の71.8%となっているが、「知らない」が25.0%を占めており、引き続き周知徹底が必要となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度では、「市町村のハザードマップで知った」が11.8ポイント増加しているが、「知っている」と回答した人数自体にあまり差はない。一方「知らない」と回答した方は平成30年度と比べて4.9ポイント増加している。

【性別】

「知らない」の割合が女性では28.0%と男性の22.1%よりも5.9ポイント高くなっている。

【年代別】

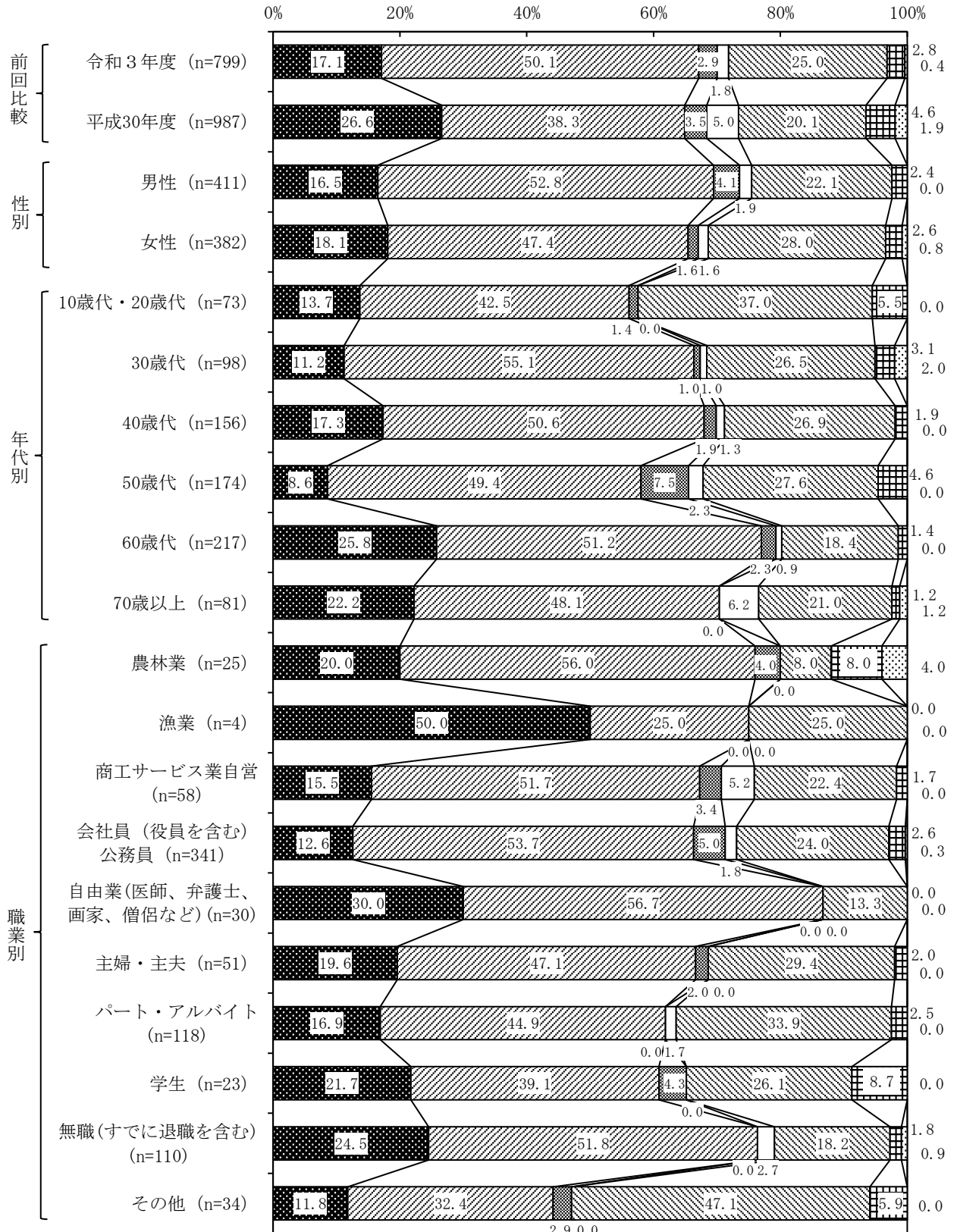
10歳代・20歳代では「知らない」と回答した方が37.0%と他の年代と比べても高い割合になっている。

【職業別】

「知らない」はその他が47.1%と最も高く、一番低い農林業の8.0%とは39.1ポイントもの差がある。また、主婦・主夫、パート・アルバイトも「知らない」が約30%となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 地域の津波避難計画で知った
- 市町村のハザードマップで知った
- 県のホームページで知った
- 新聞で知った
- 知らない
- その他
- 無回答



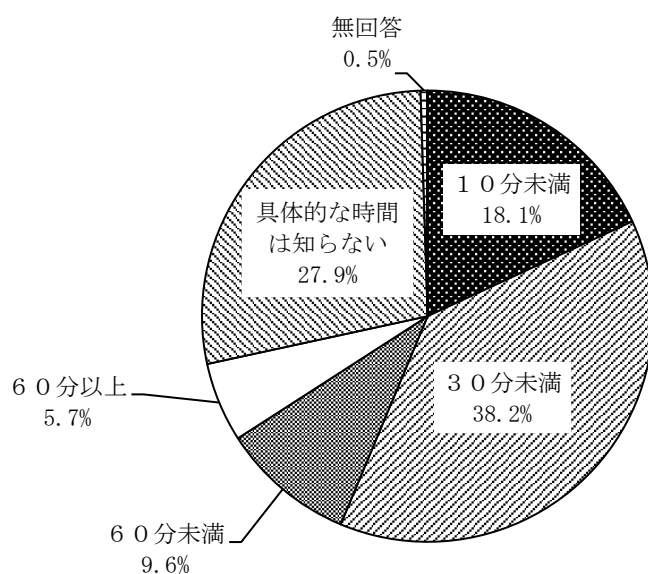
問11 津波が到達する時間を具体的に知っているか

問11 問10で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

津波の到達する時間を具体的に知っているかについては、「10分未満」～「60分以上」の知っていると回答した人の割合は、71.6%であり、「具体的な時間は知らない」は27.9%となっている。

《 総 合 》



(n=574)

【性別】

「具体的な時間は知らない」は、男性が24.2%、女性が31.7%と女性の方が7.5ポイント高い。

【年代別】

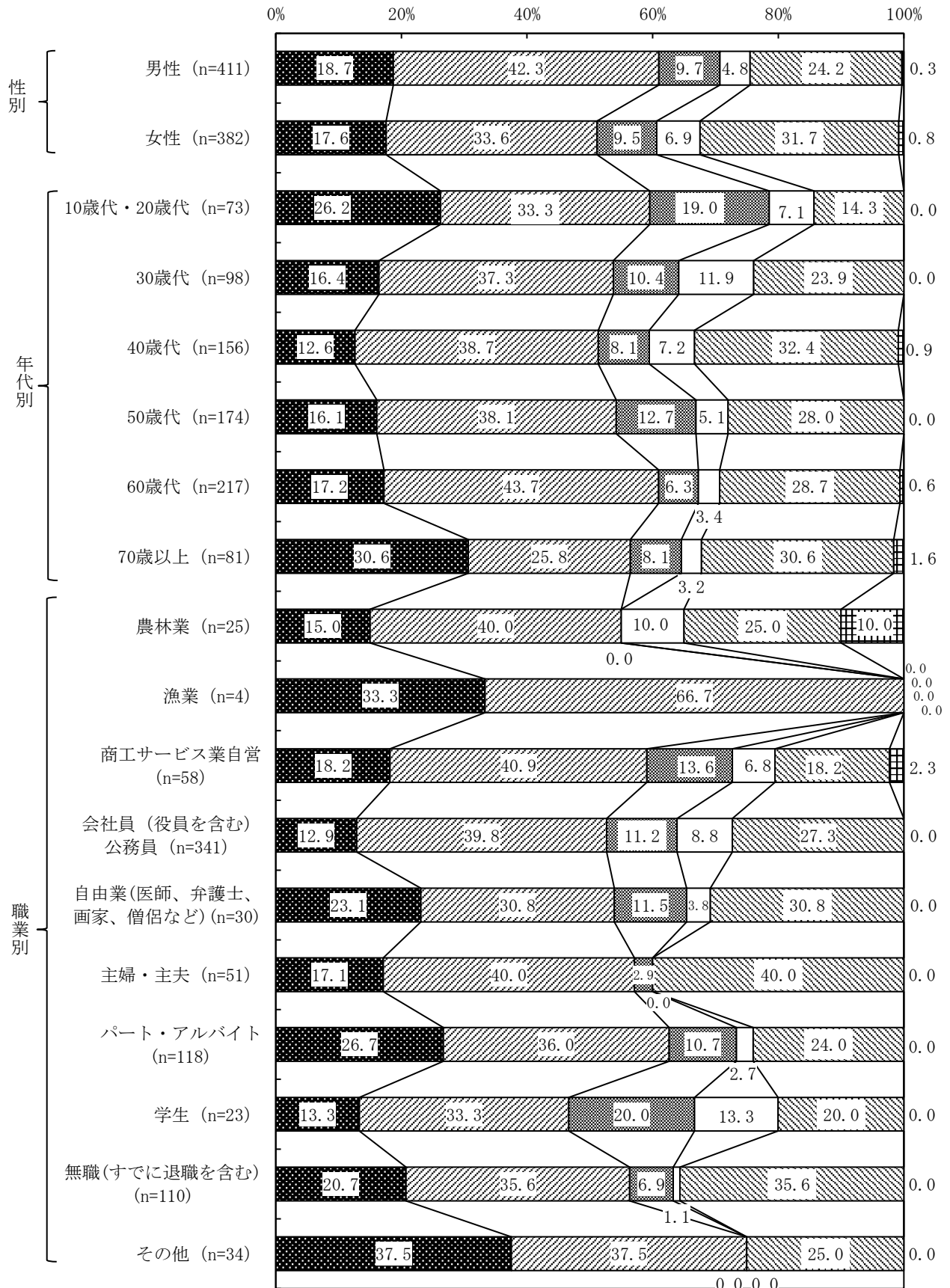
「知らない」は40歳代と70歳以上で30%を超えている。一方10歳代・20歳代では14.3%と全年代の中で最も低くなっている。

【職業別】

「知らない」は自由業で30.8%、主婦・主夫で40.0%、無職で35.6%と、総合より高くなっている。

◀ 性別・年代別・職業別 ▶

■ 10分未満 ▨ 30分未満 ▩ 60分未満 □ 60分以上 ◻ 具体的な時間は知らない ▩ 無回答

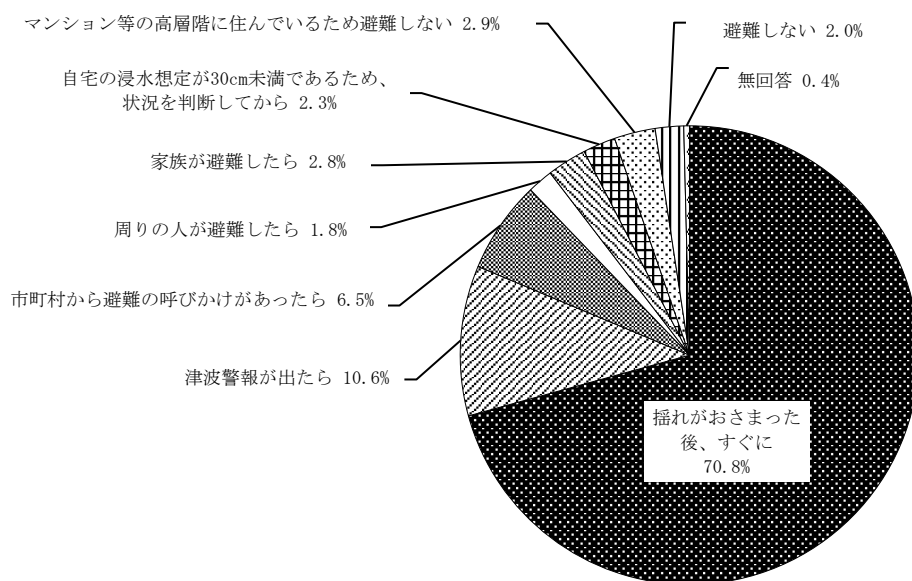


問12 いつ避難するか

問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

津波からの避難については、「揺れがおさまった後、すぐに」が70.8%と最も高く、次いで「津波警報が出たら」10.6%、「市町村から避難の呼びかけがあったら」6.5%と続いている。

《 総 合 》



(n=799)

【前回比較】

「揺れがおさまった後、すぐに」が令和3年度では70.8%と、平成30年度の68.8%よりも増加している。

【性別】

「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんどない。

【年代別】

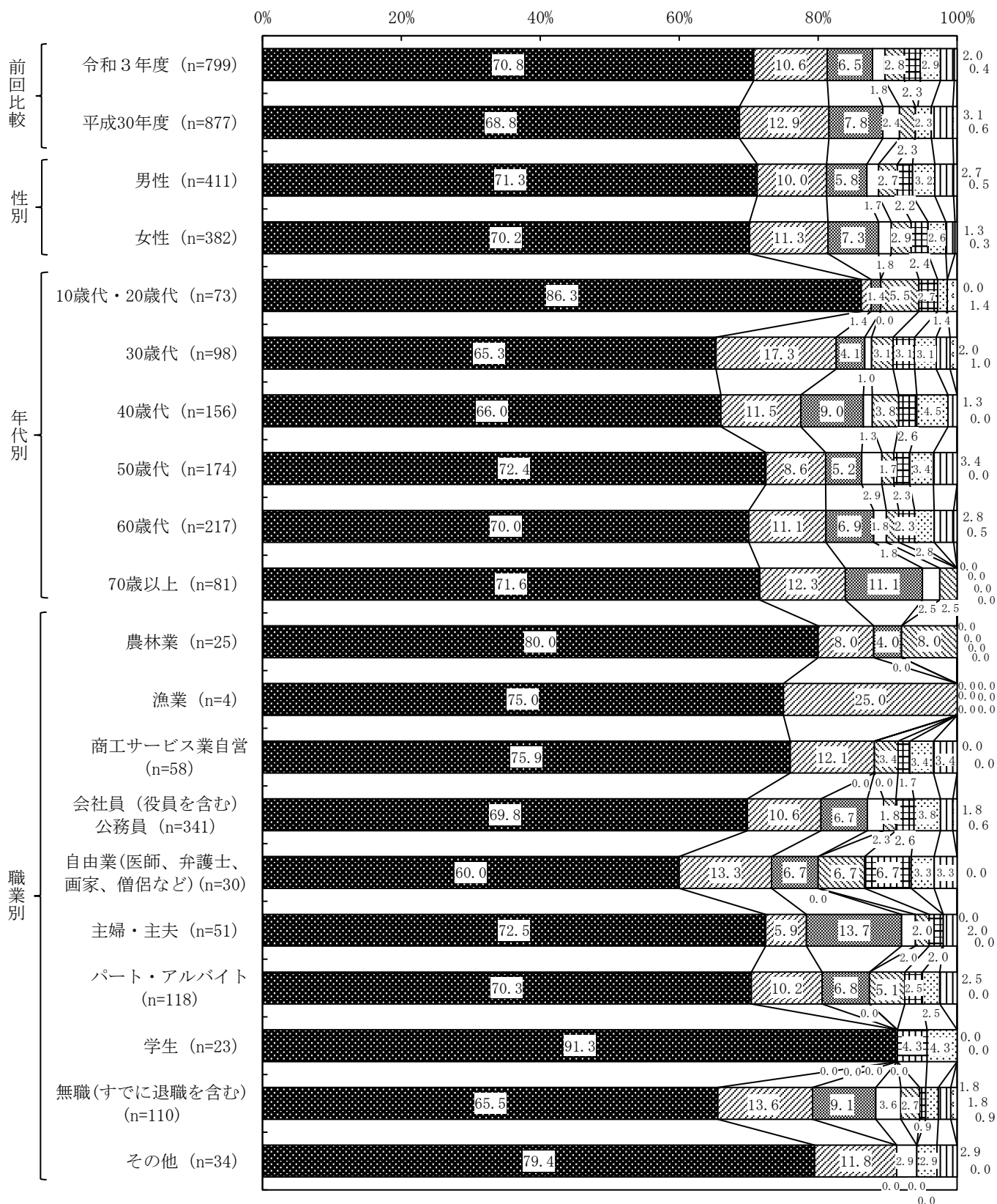
30歳代では「揺れがおさまった後、すぐに」が65.3%と年代別で最も低く、「津波警報が出たら」では17.3%と年代別で最も高い割合となっている。

【職業別】

「揺れがおさまった後、すぐに」は、学生が91.3%と最も高く、最も低い自由業の60.0%とは31.3ポイントの差がある。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 揺れがおさまった後、すぐに
- 津波警報が出たら
- 市町村から避難の呼びかけがあったら
- 周りの人が避難したら
- 家族が避難したら
- 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから
- マンション等の高層階に住んでいるため避難しない
- 避難しない
- 無回答



問5×問12 普段、情報をよく収集するメディアといつ避難するかとのクロス分析

いつ避難するかという問いのすべての回答において、普段、情報をよく収集するメディアは「テレビ」が最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

		問5						
		新聞	テレビ	ラジオ	インターネット スマートフォン等	板 街頭のチラシ、ポスター、 掲示	その他	無回答
問 12	揺れがおさまった後、 すぐに	183 32.3	466 82.3	45 8.0	323 57.1	5 0.9	1 0.2	- -
	津波警報が出たら	18 21.2	74 87.1	6 7.1	57 67.1	2 2.4	1 1.2	- -
	市町村から避難の呼び かけがあったら	22 42.3	45 86.5	1 1.9	27 51.9	1 1.9	- -	- -
	周りの人が避難したら	3 21.4	13 92.9	2 14.3	8 57.1	- -	- -	- -
	家族が避難したら	4 18.2	16 72.7	2 9.1	13 59.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5
	自宅の浸水想定が30cm 未満であるため、状況 を判断してから	6 33.3	15 83.3	1 5.6	10 55.6	- -	- -	- -
	マンション等の高層階 に住んでいるため避難 しない	7 30.4	20 87.0	1 4.3	16 69.6	1 4.3	- -	- -
	避難しない	1 6.3	16 100.0	2 12.5	11 68.8	- -	- -	- -
	無回答	- -	2 66.7	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -

問11×問12 津波が到達する時間を具体的に知っているかといつ避難するかとのクロス分析

すべての津波が到達する時間で、「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

		問12								
		揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら	家族が避難したら	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	避難しない	無回答
問 11	10分未満	87	9	4	1	1	1	-	1	-
		83.7	8.7	3.8	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-
	30分未満	180	23	3	-	4	3	4	1	1
		82.2	10.5	1.4	-	1.8	1.4	1.8	0.5	0.5
	60分未満	37	6	3	-	1	4	4	-	-
		67.3	10.9	5.5	-	1.8	7.3	7.3	-	-
	60分以上	18	4	4	-	-	3	3	1	-
54.5		12.1	12.1	-	-	9.1	9.1	3.0	-	
具体的な時間は知らない	99	16	18	5	8	6	3	5	-	
	61.9	10.0	11.3	3.1	5.0	3.8	1.9	3.1	-	
無回答	2	-	-	-	1	-	-	-	-	
	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-	-	

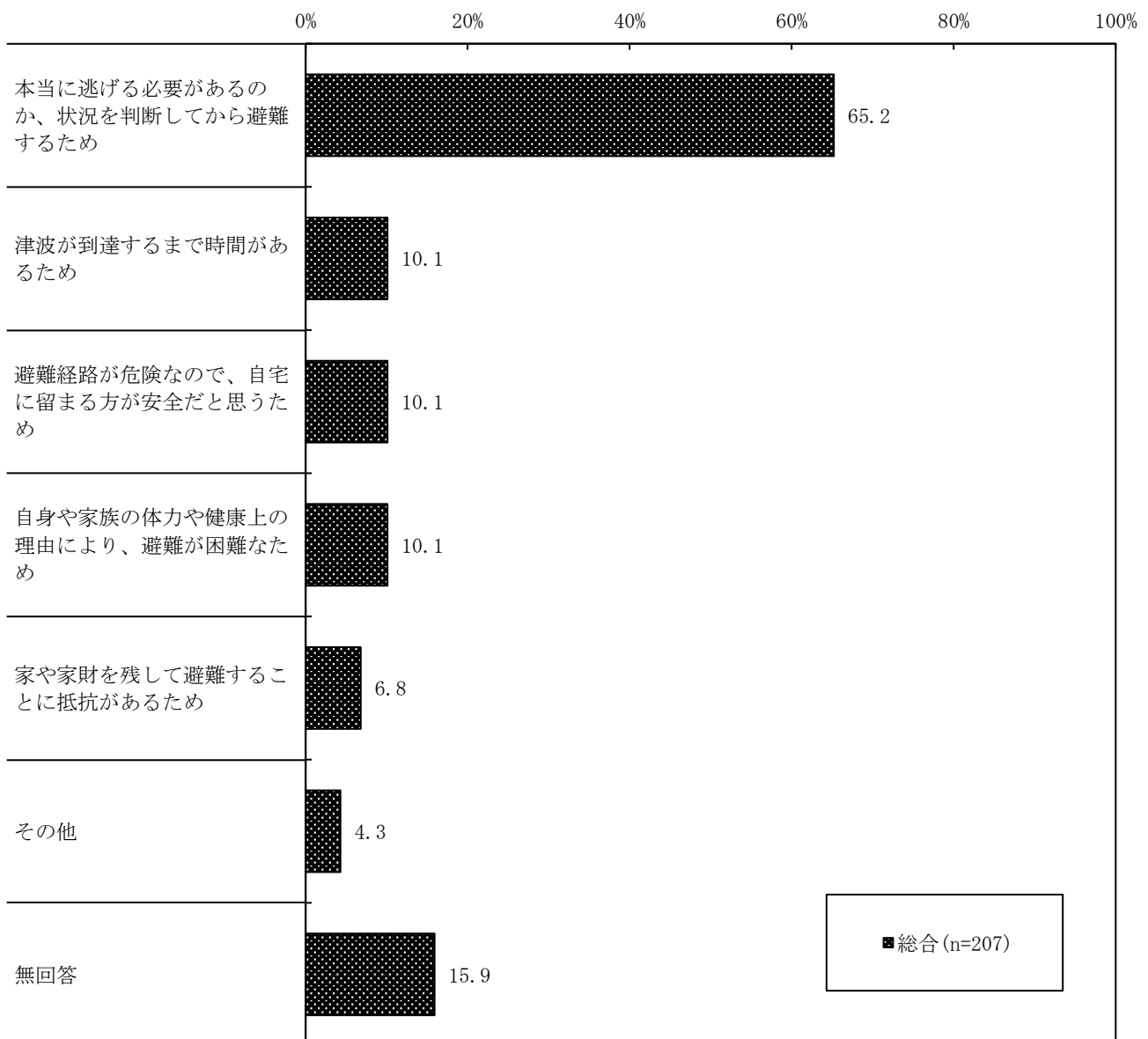
問13 すぐに避難しない理由

問13 問12で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

すぐに避難しない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

すぐに避難しない理由としては、「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が65.2%と最も高く、次いで「津波が到達するまで時間があるため」、「避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため」、「自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため」が10.1%と同率で続いている。状況の判断が遅くなり、被害が大きくなるように啓発していく必要がある。

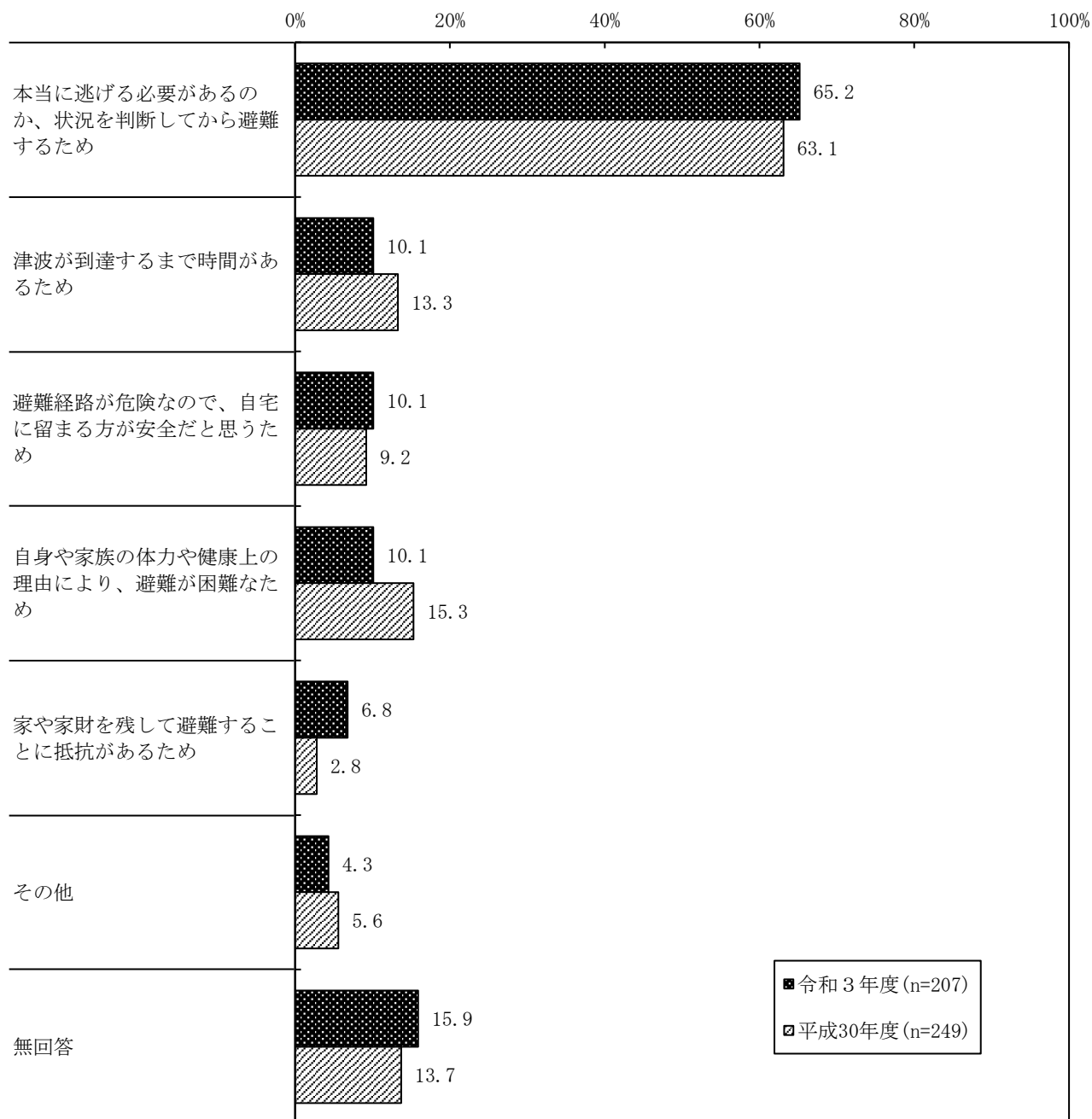
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度では「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」は平成30年度より増加している。「津波が到達するまで時間があるため」、「自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため」では令和3年度の方が減少している。

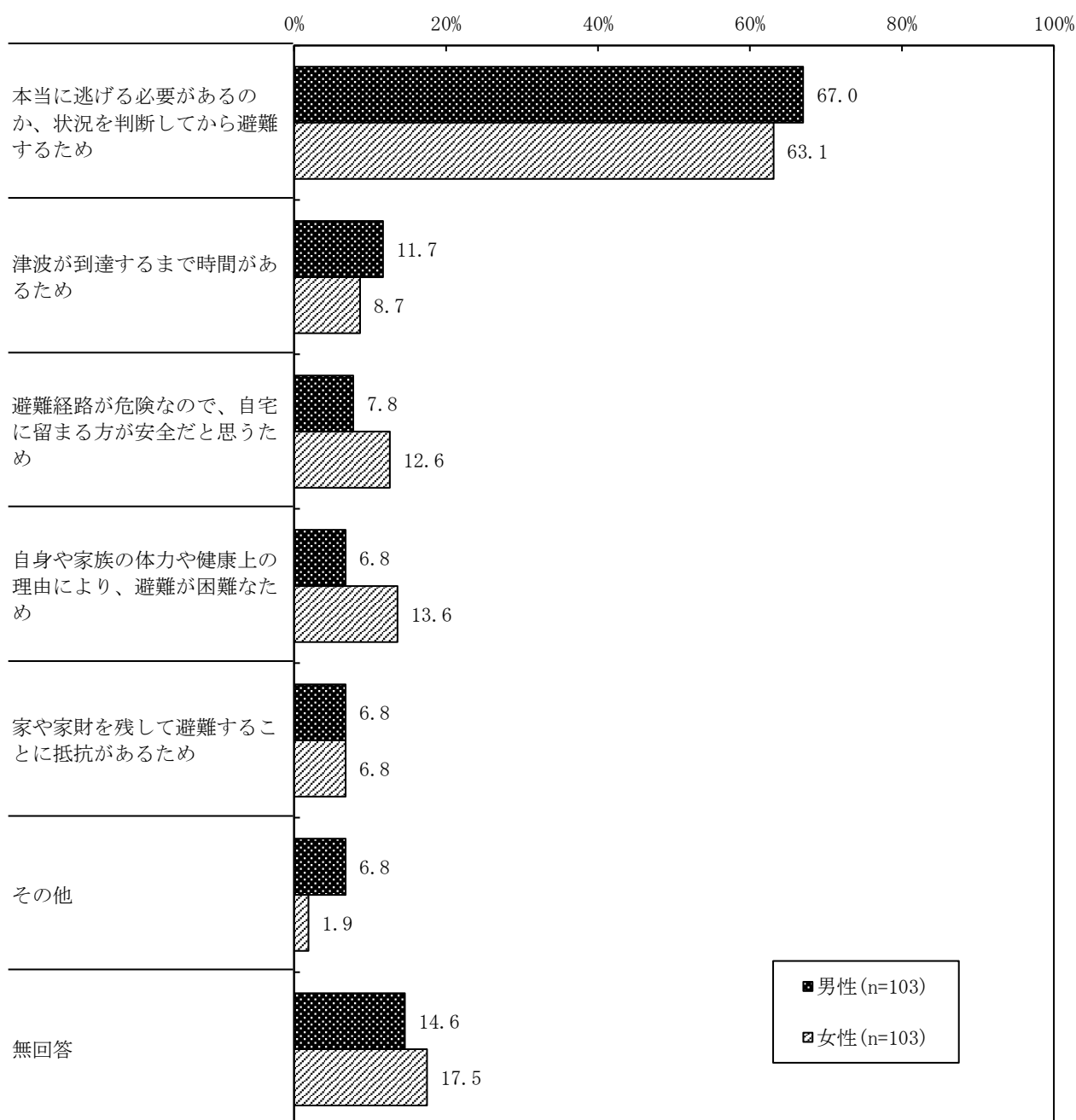
《 前 回 比 較 》



【性別】

「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」と「津波が到達するまで時間があるため」は男性の方が高く、「避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため」と「自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため」では女性の方が高くなっている。

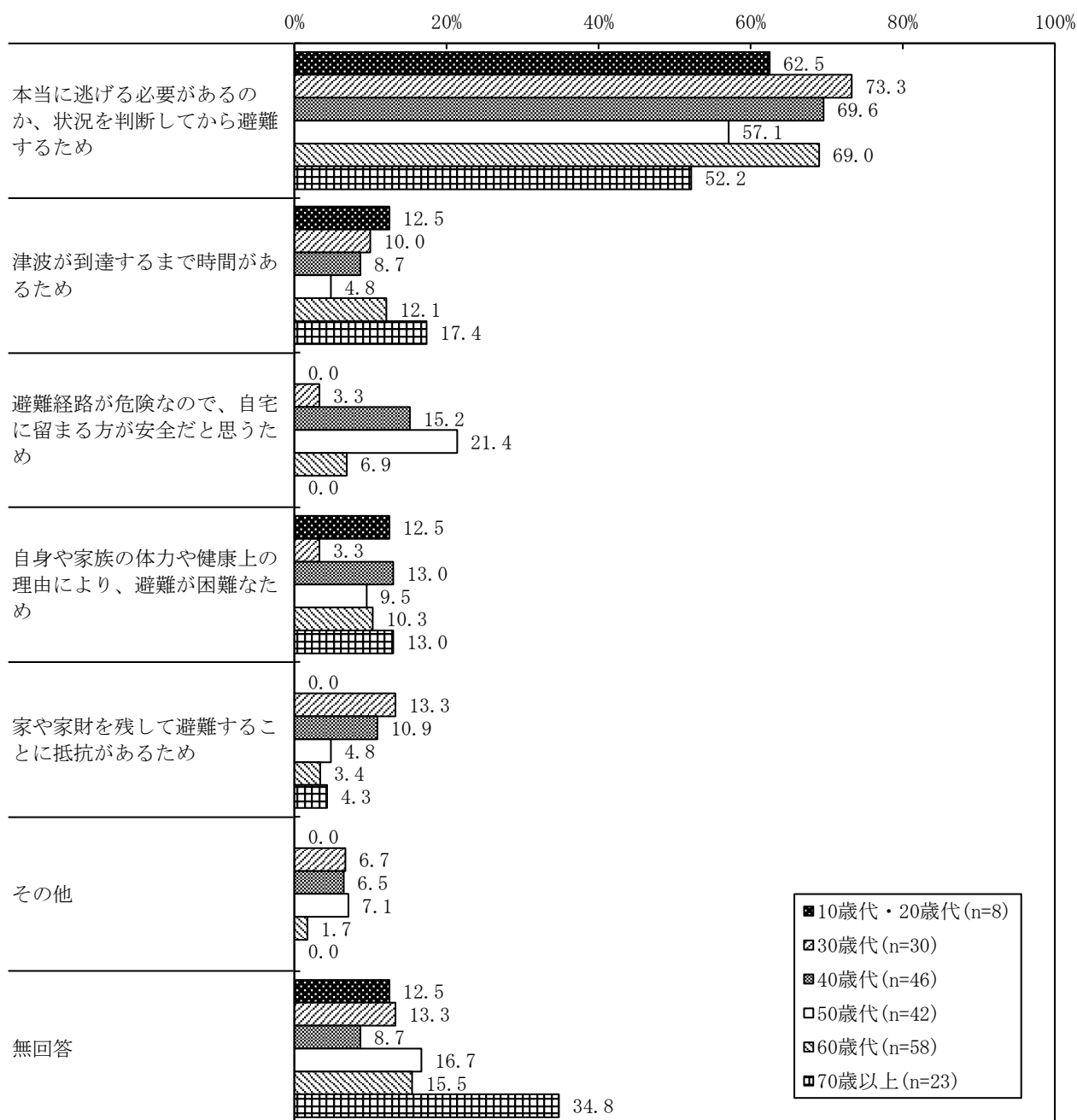
《 性別 》



【年代別】

「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」はすべての年代で50%を超える高い割合となっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

すべての職業で、「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため	津波が到達するまで時間があるため	避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため	自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため	家や家財を残して避難することに抵抗があるため	その他	無回答
農林業(n=5)	60.0	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0
漁業(n=1)	100.0	-	-	-	100.0	-	-
商工サービス業自営(n=12)	66.7	-	25.0	8.3	-	8.3	16.7
会社員(役員を含む)、公務員(n=88)	68.2	10.2	9.1	8.0	6.8	5.7	13.6
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=11)	63.6	-	18.2	9.1	9.1	-	18.2
主婦・主夫(n=14)	78.6	7.1	21.4	7.1	7.1	-	21.4
パート・アルバイト(n=32)	62.5	15.6	6.3	12.5	9.4	3.1	15.6
学生(n=1)	100.0	-	-	-	-	-	-
無職(すでに退職を含む)(n=35)	57.1	5.7	5.7	17.1	2.9	-	20.0
その他(n=6)	66.7	33.3	16.7	-	-	16.7	-

問11×問13 津波が到達する時間を具体的に知っているかとすぐに避難しない理由とのクロス分析

すべての津波が到達する時間で、「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

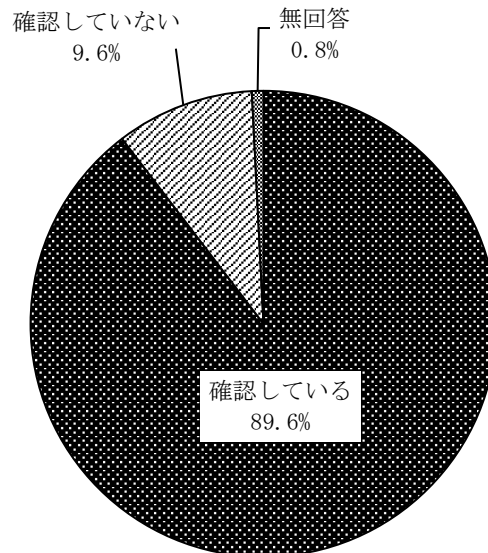
		問13						
		津波が到達するまで時間があるため	本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため	避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため	自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため	家や家財を残して避難することに抵抗があるため	その他	無回答
問11	10分未満	1 5.9	11 64.7	- -	4 23.5	- -	1 5.9	3 17.6
	30分未満	5 14.7	26 76.5	4 11.8	1 2.9	2 5.9	2 5.9	3 8.8
	60分未満	1 7.1	6 42.9	3 21.4	3 21.4	- -	- -	2 14.3
	60分以上	3 25.0	11 91.7	2 16.7	- -	2 16.7	- -	- -
	具体的な時間は知らない	5 8.6	30 51.7	5 8.6	8 13.8	2 3.4	2 3.4	16 27.6
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

問14 避難場所を確認しているか

問14 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

津波からの避難場所の確認については、「確認している」が89.6%、「確認していない」が9.6%となっており、引き続き避難場所の周知徹底が必要である。

《 総 合 》



(n = 773)

【前回比較】

平成30年度より「確認している」が2.8ポイント減少しており、「確認していない」では3.4ポイント増加している。

【性別】

「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんど無い。

【年代別】

70歳以上は「確認している」が92.6%と他の年代と比べて高くなっている。一方、30歳代は「確認している」が86.2%と最も低くなっている。

【職業別】

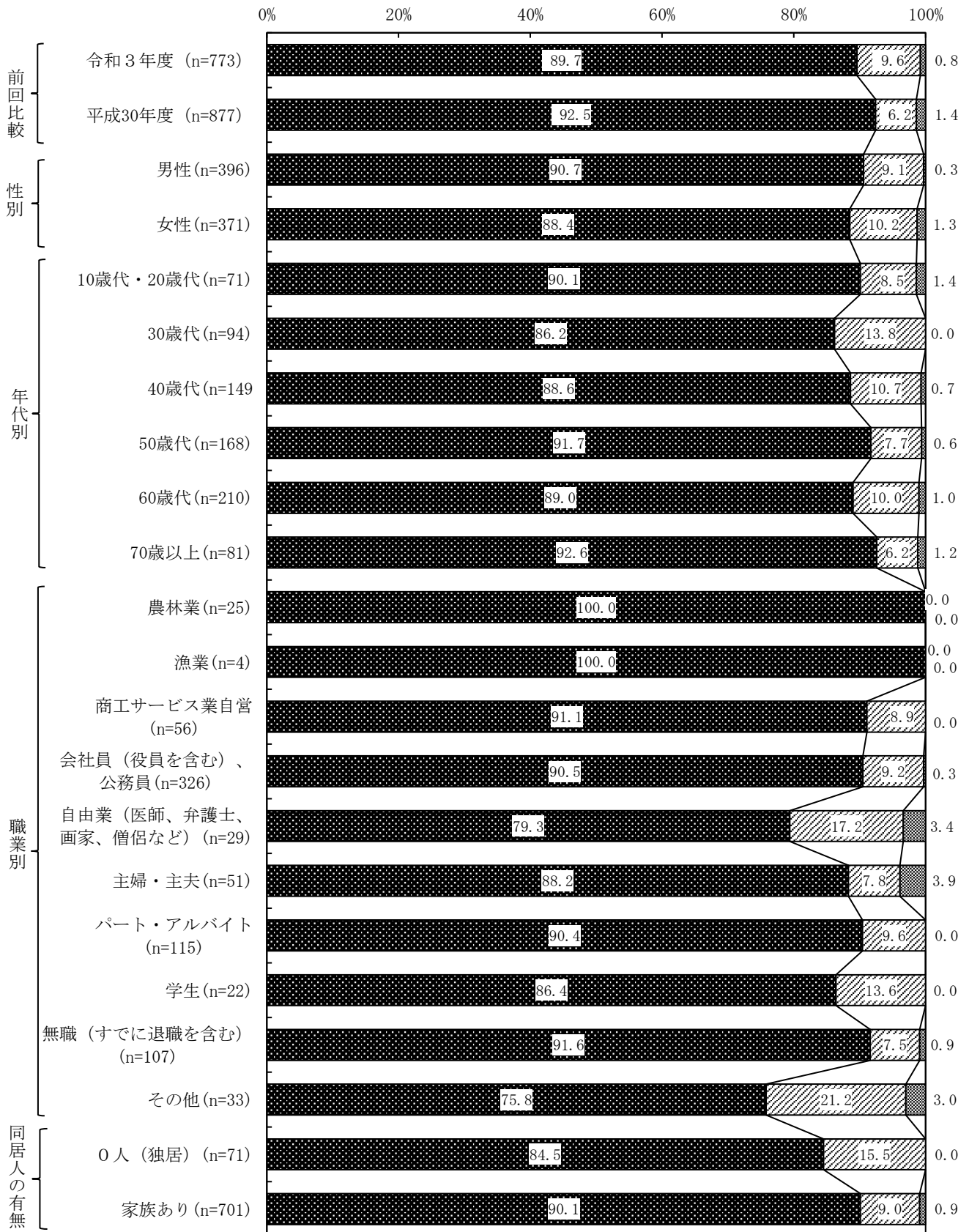
自由業、学生及びその他は、「確認していない」が10%を超えており他の職業と比べて高くなっている。

【同居人の有無別】

「確認している」は家族あり世帯で90.1%と、独居世帯の84.5%より5.6ポイント高く、「確認していない」では独居世帯の方が15.5%と家族あり世帯の9.0%より6.5ポイント高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別・同居人の有無別 ▶

■ 確認している □ 確認していない ▨ 無回答

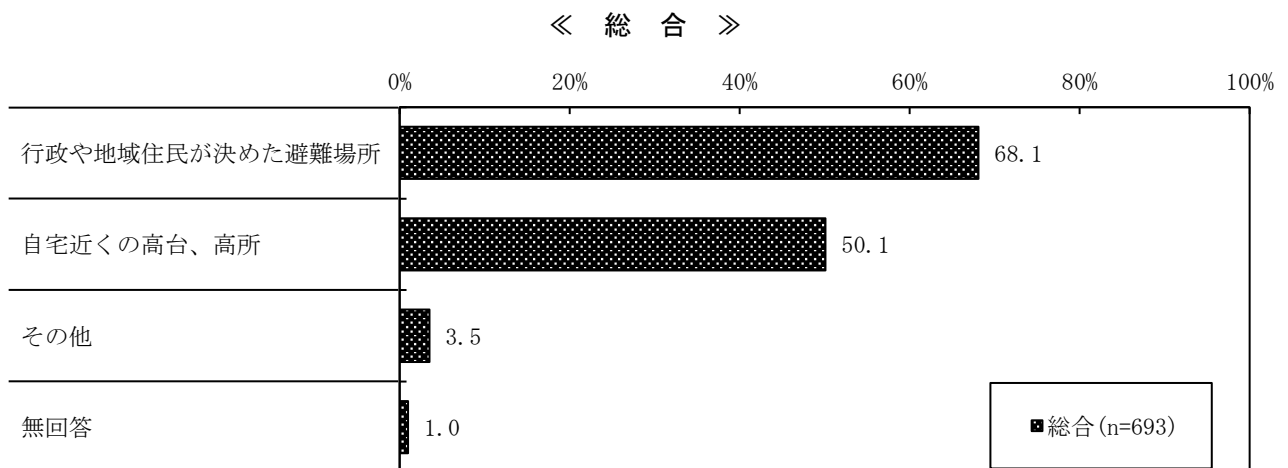


問15 どこに避難するか

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。あなたはどこに避難しますか。

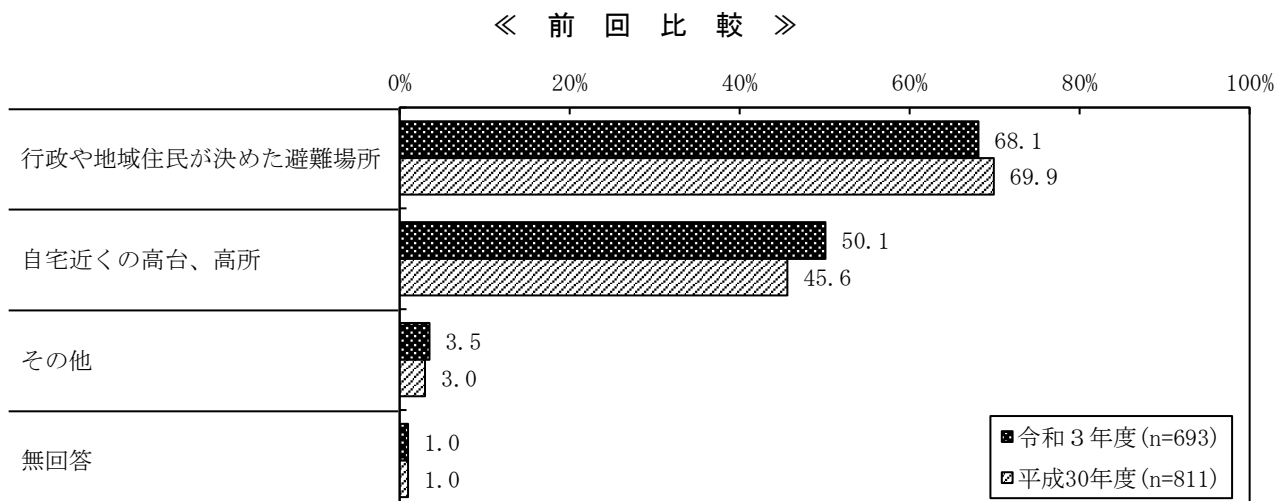
(当てはまるものすべてに○)

避難する場所は、「行政や地域住民が決めた避難場所」が68.1%、「自宅近くの高台、高所」が50.1%となっている。



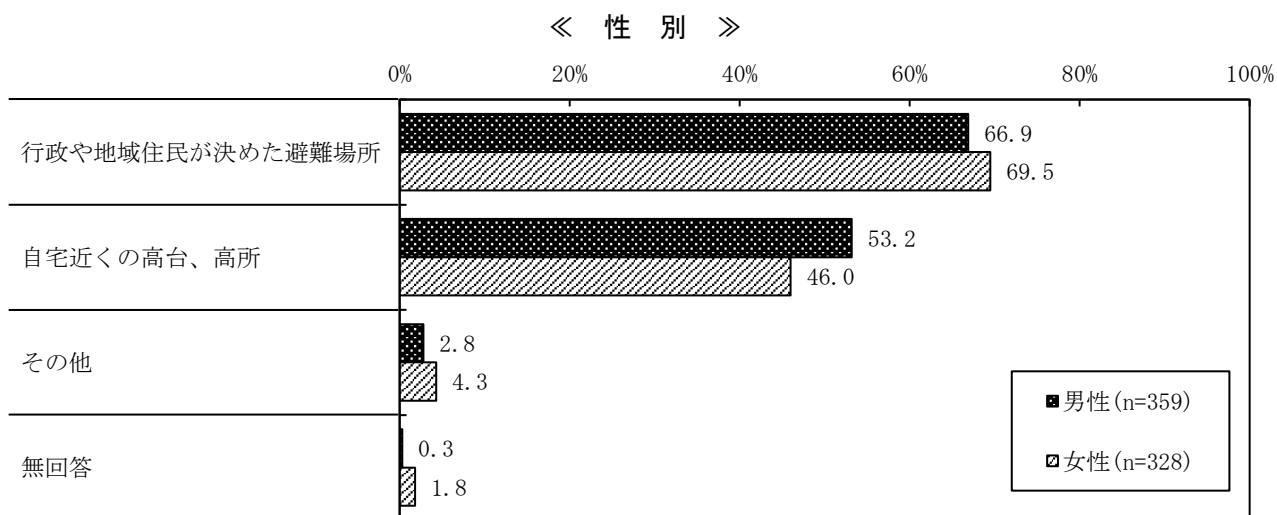
【前回比較】

令和3年度では、平成30年度より「行政や地域住民が決めた避難場所」が減少し、「自宅近くの高台、高所」は増加している。



【性別】

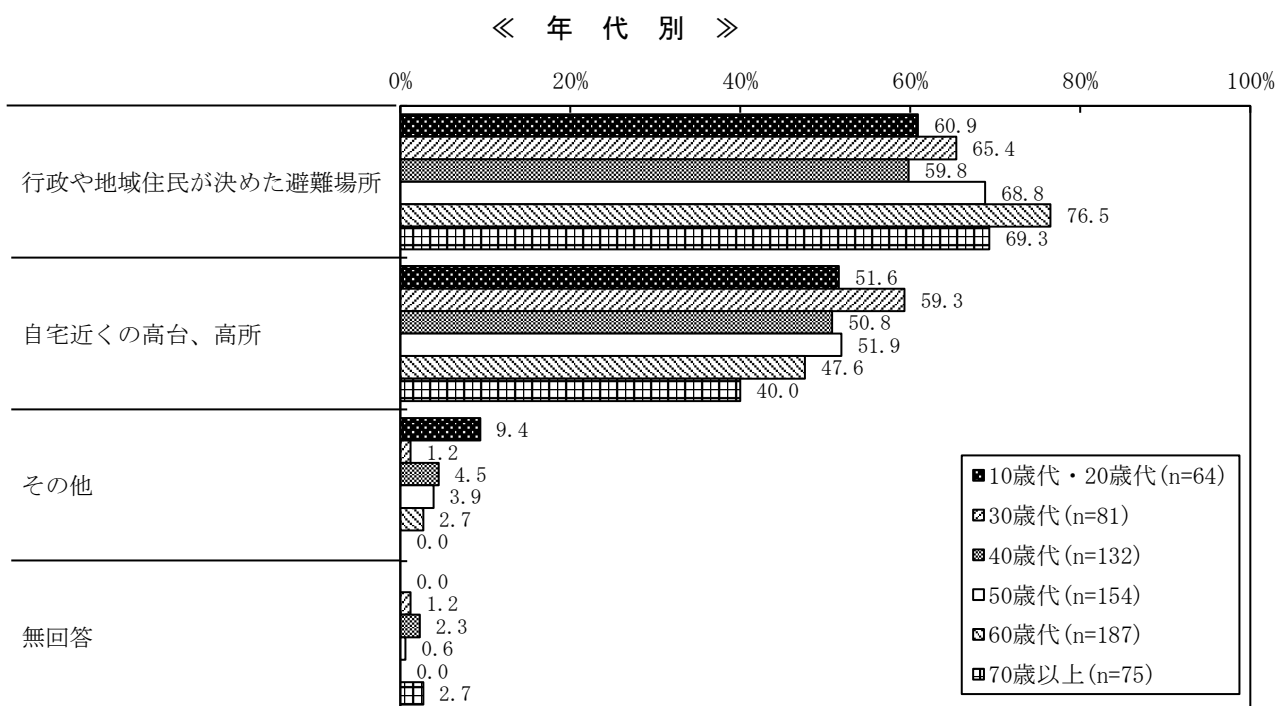
「行政や地域住民が決めた避難場所」では男性が66.9%、女性が69.5%と、女性の方が2.6ポイント高くなっており、「自宅近くの高台、高所」は、男性が53.2%、女性が46.0%と男性の方が7.2ポイント高くなっている。



【年代別】

「行政や地域住民が決めた避難場所」は、50歳代、60歳代、70歳以上で約70%となって、特に60歳代は76.5%と最も高い。

「自宅近くの高台、高所」は、60歳代、70歳以上で50%を下回っており、70歳以上は40.0%と最も低い割合となっている。



【職業別】

農林業とパート・アルバイトを除くすべての職業区分で、「行政や地域住民が決めた避難場所」が最も高く、農林業、パート・アルバイトでは「自宅近くの高台、高所」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

属性 \ 項目	行政や地域住民が決めた避難場所	自宅近くの高台、高所	その他	無回答
農林業 (n=25)	56.0	64.0	-	-
漁業 (n=4)	100.0	75.0	-	-
商工サービス業自営 (n=51)	66.7	52.9	2.0	2.0
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=295)	69.5	46.8	5.1	0.7
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=23)	65.2	56.5	-	-
主婦・主夫 (n=45)	77.8	40.0	4.4	-
パート・アルバイト (n=104)	59.6	64.4	1.9	1.9
学生 (n=19)	63.2	52.6	5.3	-
無職 (すでに退職を含む) (n=98)	72.4	42.9	1.0	2.0
その他 (n=25)	64.0	48.0	8.0	-

問16 避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか

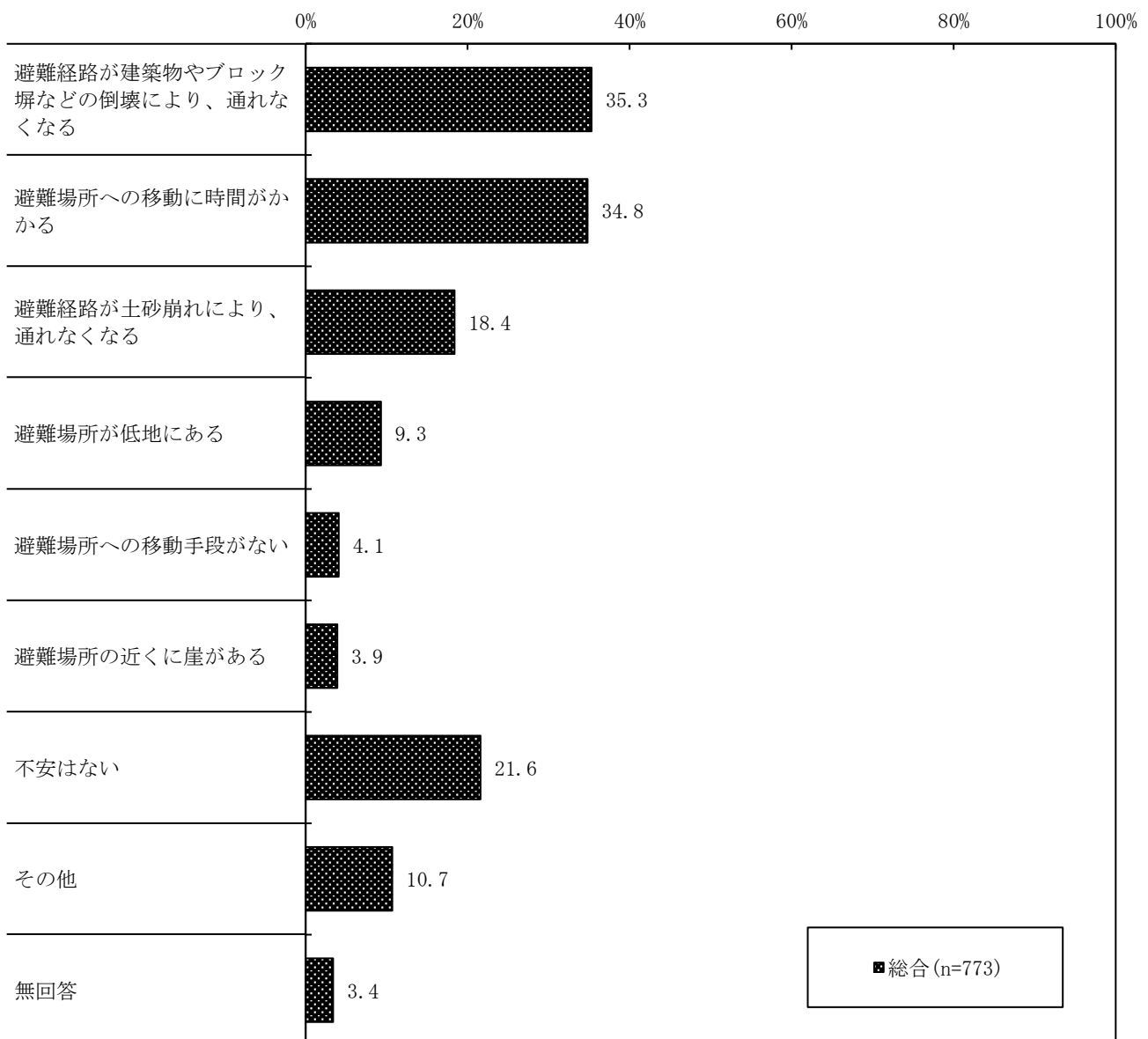
問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

避難経路に対する不安は、「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が35.3%で最も高く、次いで「避難場所への移動に時間がかかる」34.8%、「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」18.4%と続いている。

避難場所に対する不安は、「避難場所が低地にある」が9.3%、「避難場所の近くに崖がある」3.9%となっている。

「不安はない」は21.6%にとどまって、引き続き、避難場所や避難経路の安全対策が求められる。

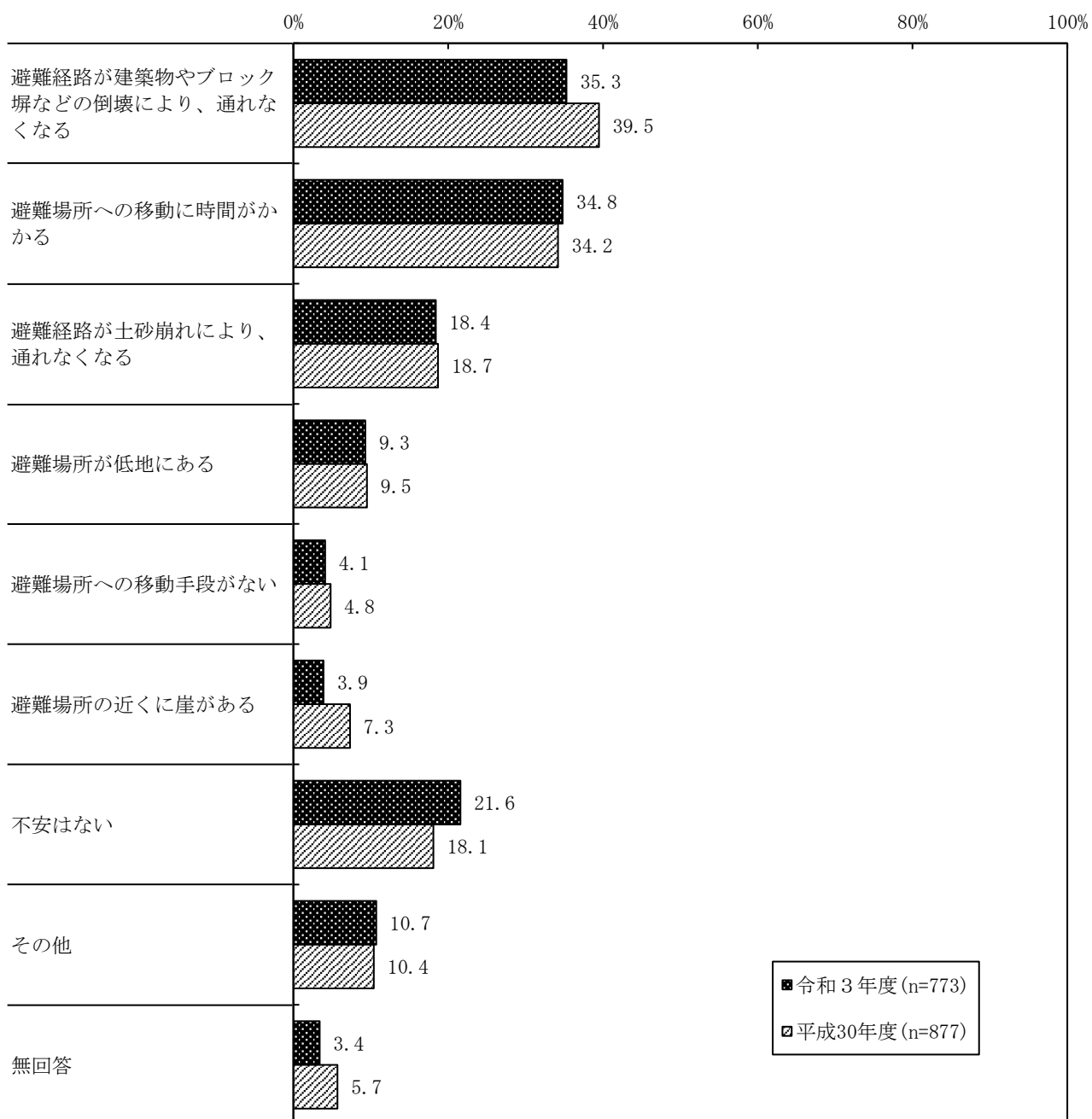
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度では、平成30年度より「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が4.2ポイント、「避難場所の近くに崖がある」は3.4ポイント減少している。「不安はない」は3.5ポイント増加している。それ以外に関しては差はほとんど無い。

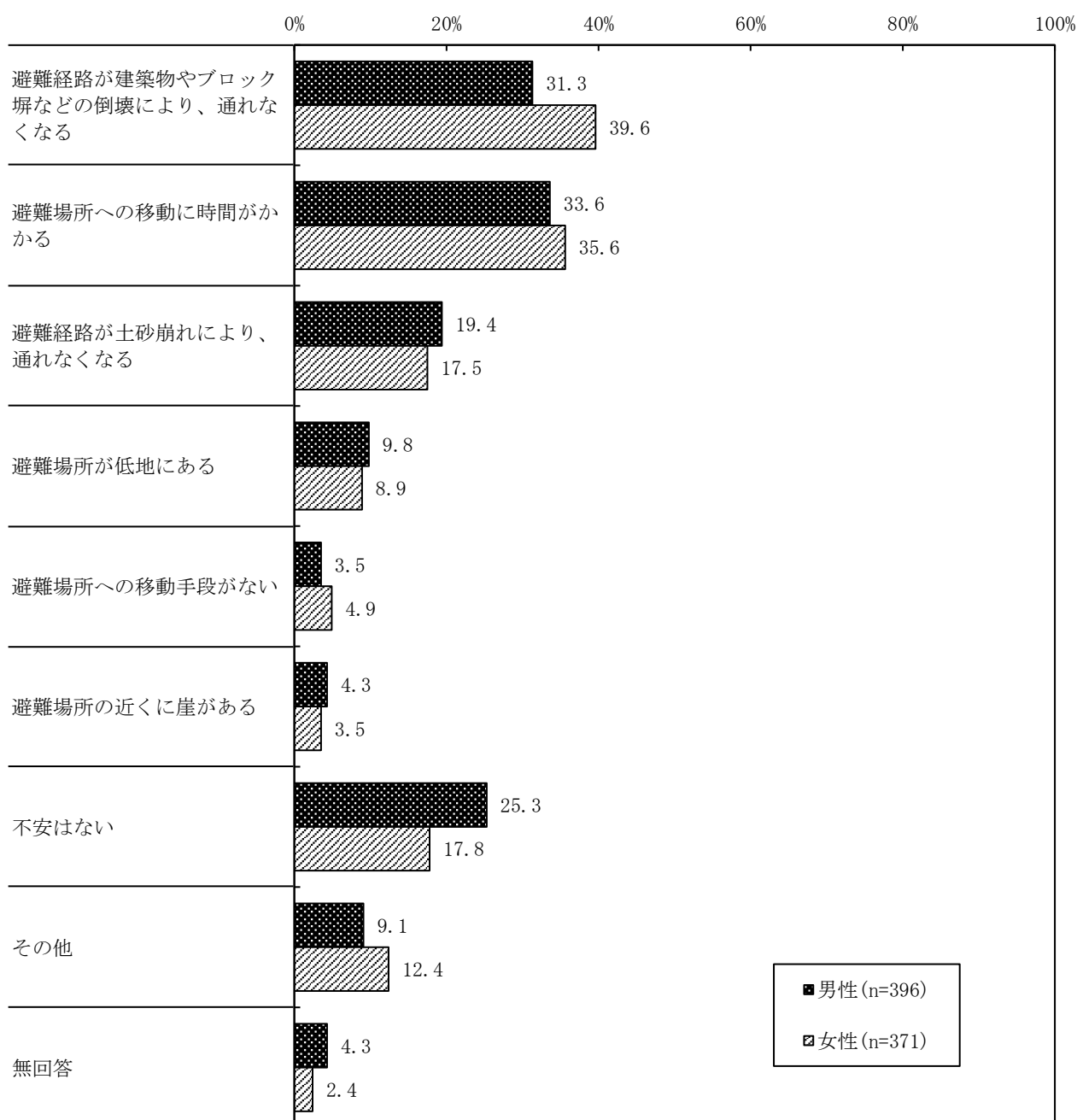
《 前 回 比 較 》



【性別】

「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」は男性31.3%、女性39.6%と女性の方が8.3ポイント高く、「不安はない」は男性25.3%、女性17.8%と男性の方が7.5ポイント高くなっている。それ以外は性別による差はほとんどない。

《 性別 》

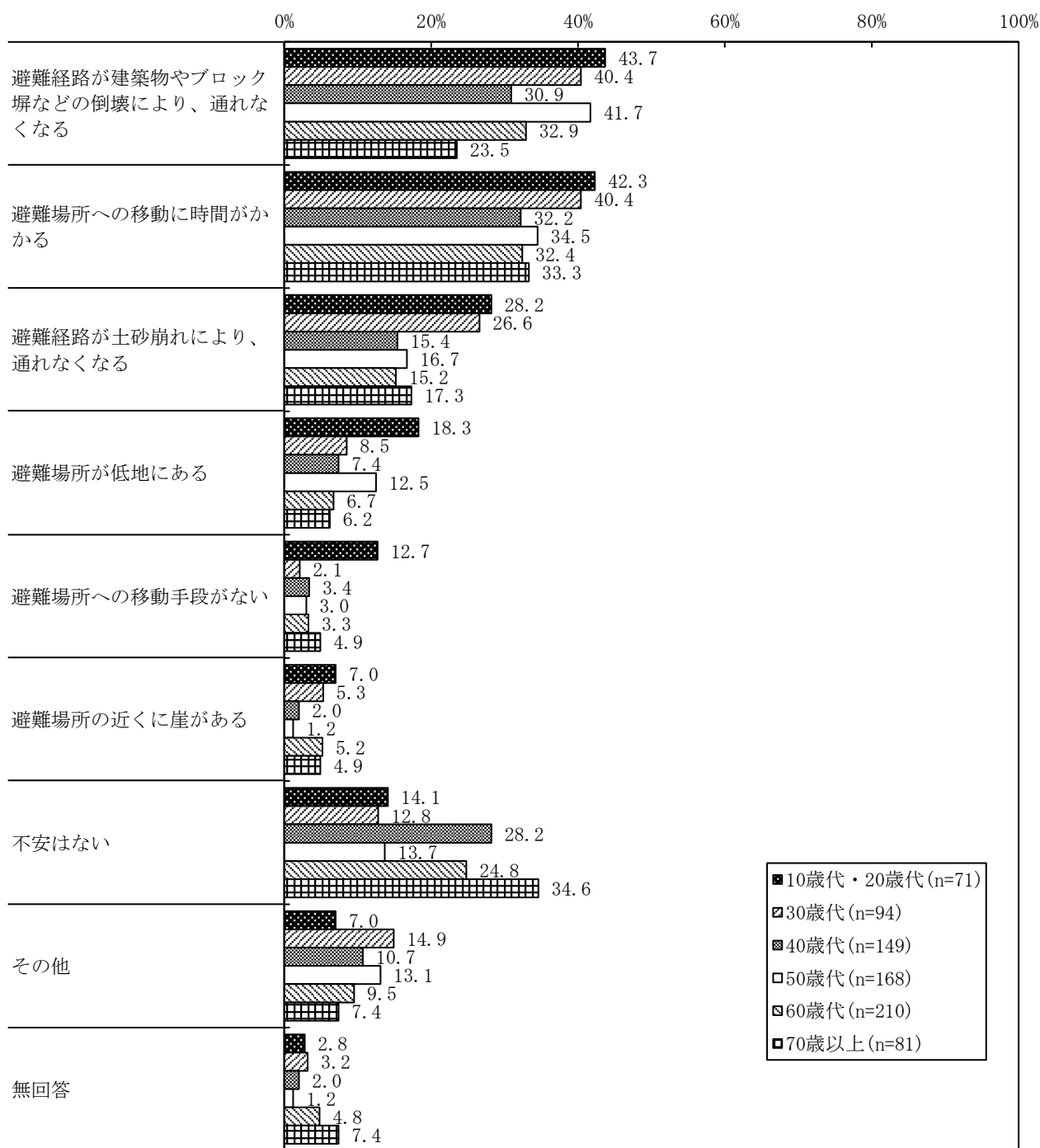


【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代、50歳代、60歳代では「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が、同率での30歳代、40歳代、70歳以上は「避難場所への移動に時間がかかる」が最も高くなっている。

また、10歳代・20歳代では「避難場所が低地にある」、「避難場所への移動手段がない」の割合が他の年代よりも高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

会社員、公務員、自由業、主婦・主夫、パート・アルバイト、学生、その他では「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が、農林業、漁業、商工サービス業自営、無職は「避難場所への移動に時間がかかる」が、また、自由業では同率で「不安はない」の割合が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	避難場所への移動に時間がかかる	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	避難場所が低地にある	避難場所への移動手段がない	避難場所の近くに崖がある	不安はない	その他	無回答
農林業 (n=25)	28.0	32.0	20.0	4.0	4.0	4.0	28.0	8.0	4.0
漁業 (n=4)	-	75.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-
商工サービス業自営 (n=56)	37.5	39.3	21.4	10.7	-	3.6	19.6	10.7	1.8
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=326)	34.0	33.4	17.5	9.8	3.4	3.1	24.5	13.8	2.1
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=29)	27.6	13.8	20.7	13.8	3.4	10.3	27.6	6.9	6.9
主婦・主夫 (n=51)	35.3	25.5	21.6	3.9	3.9	2.0	27.5	13.7	2.0
パート・アルバイト (n=115)	47.0	40.9	14.8	8.7	4.3	5.2	13.9	6.1	1.7
学生 (n=22)	45.5	31.8	36.4	22.7	18.2	-	13.6	13.6	4.5
無職 (すでに退職を含む) (n=107)	29.9	41.1	16.8	6.5	6.5	3.7	22.4	5.6	8.4
その他 (n=33)	30.3	24.2	18.2	15.2	-	6.1	12.1	15.2	6.1

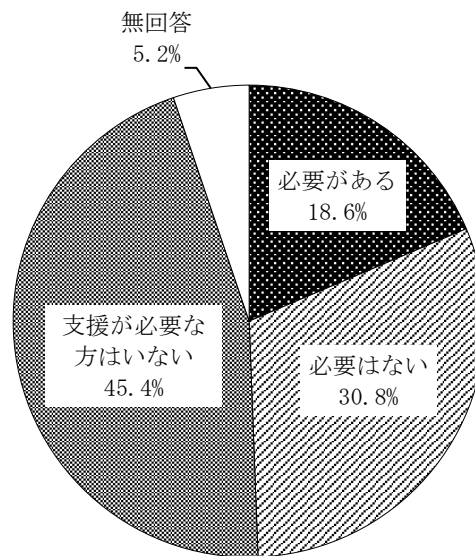
問17 要配慮者がいる場合に避難において支援の必要の有無

問17 同居するご家族の中に（ご自身を含む）、自力で避難することが難しい高齢者や障害者などの方がいらっしゃる場合、避難場所までの避難について家族以外の誰かの支援が必要ですか。

（ひとつだけ○）

避難場所までの避難について誰かの支援が必要かでは、「必要がある」18.6%、「必要はない」30.8%、「支援が必要な方はいない」は45.4%となっている。

《 総 合 》



（n = 773）

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向にある。

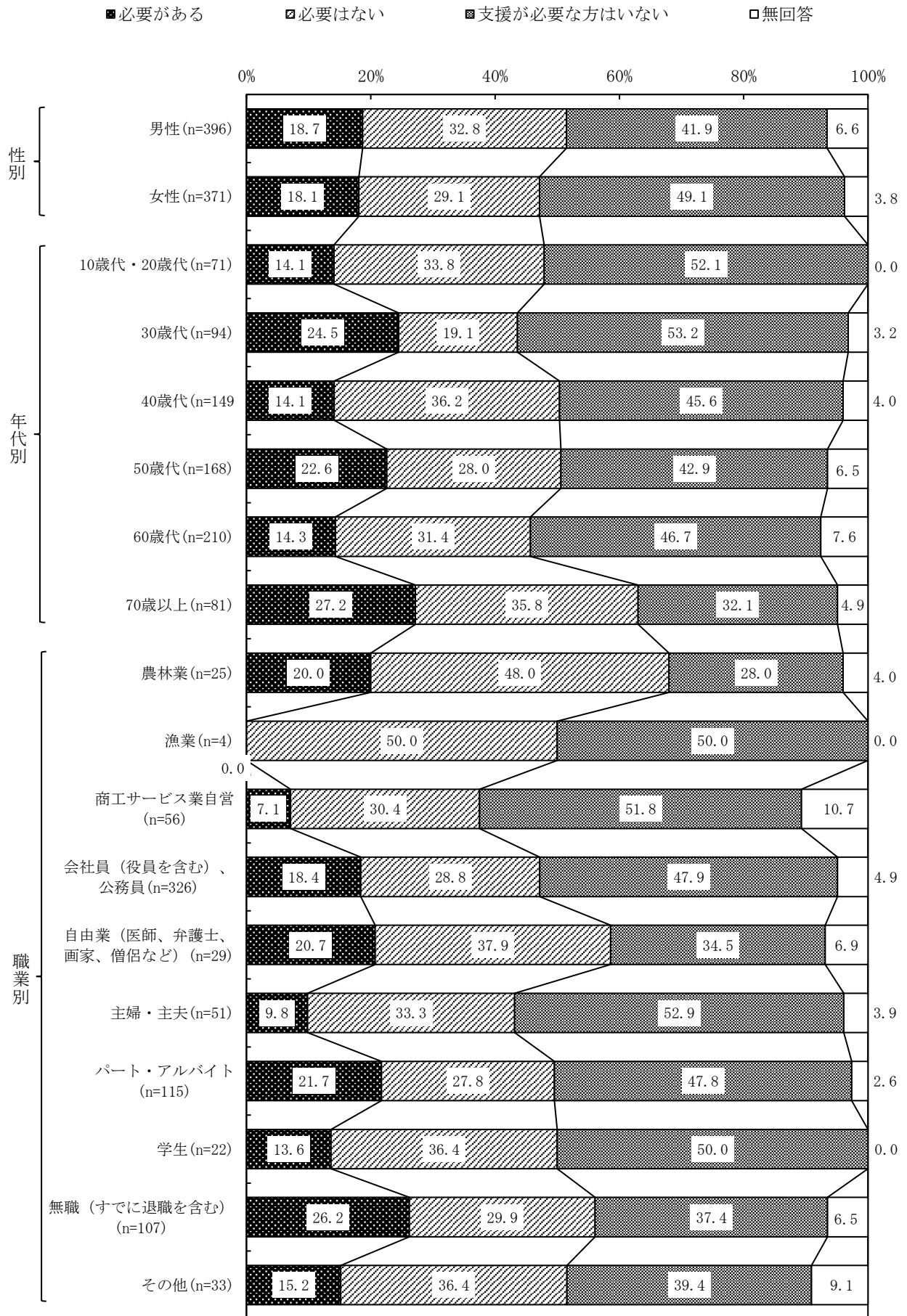
【年代別】

70歳以上は、「必要がある」は他の年代と比較して割合が高くなっている。

【職業別】

無職は、「必要がある」は他の職業と比較して割合が高くなっている。

《 性別・年代別・職業別 》



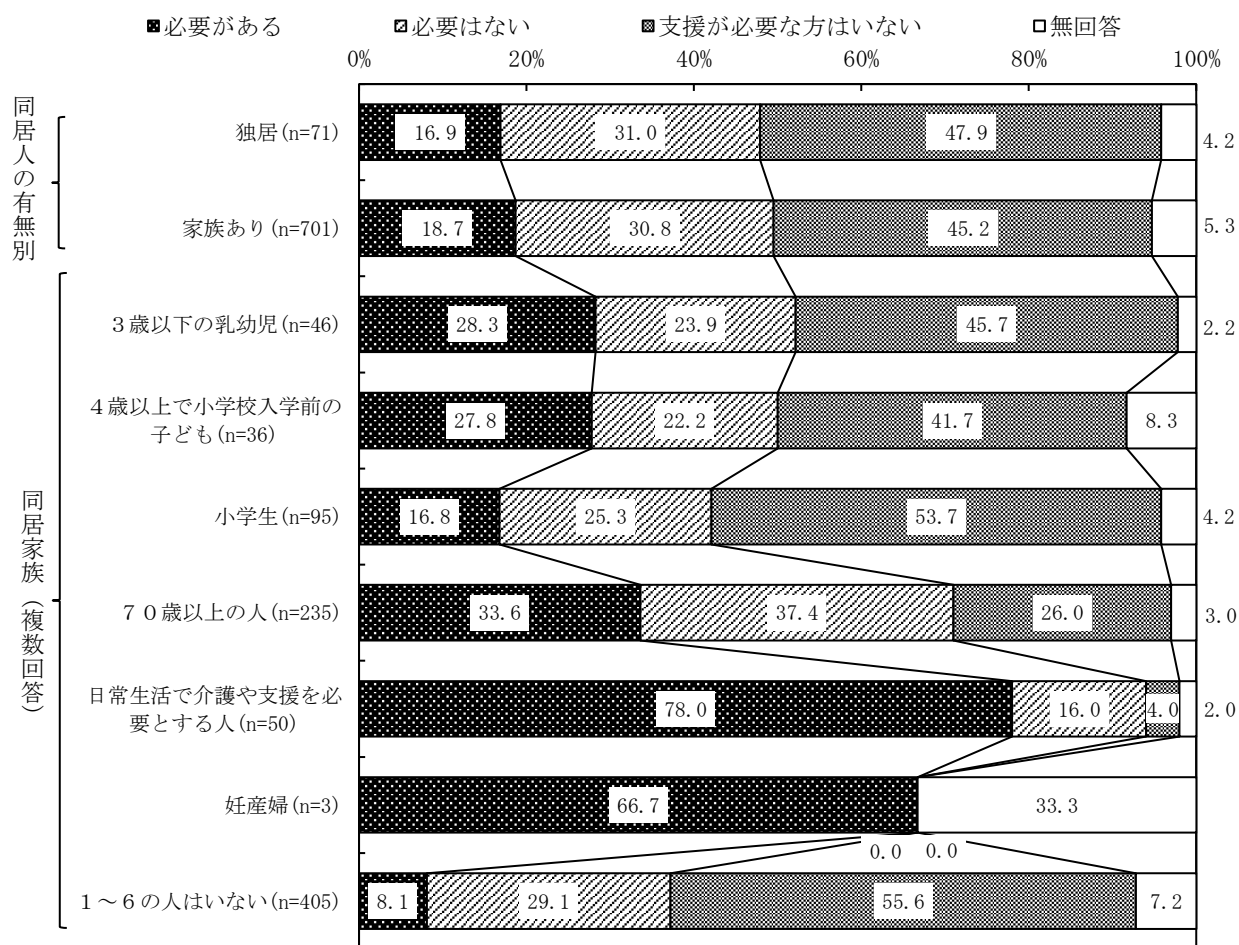
【同居人の有無別】

独居世帯も家族あり世帯も「総合」と同じ傾向で、差はほとんど無い。

【同居家族別】

日常生活で介護や支援を必要とする人、妊産婦で「必要がある」の割合が高い。

《 世帯人数別・同居家族別 》



問6×問17 南海トラフ地震の啓発で印象に残っているものと要配慮者がいる場合に避難において支援の必要の有無とのクロス分析

南海トラフ地震の啓発で印象に残っているものすべてで「支援が必要な方はいない」の割合が最も高く、次いで「必要はない」、「必要がある」と続いている。

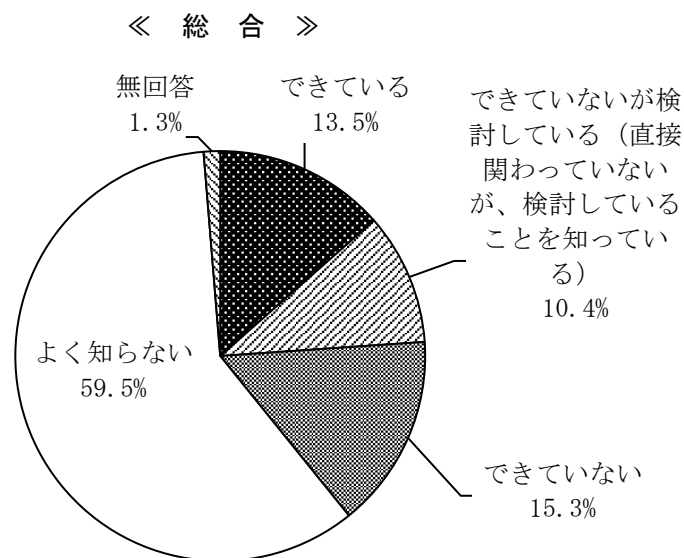
上段：人数
下段：%

		問6									
		啓発テレビ番組、テレビCM	啓発ラジオ番組、ラジオCM	新聞広告	路面電車、路線バスの吊り広告	県のホームページ	啓発冊子「南海トラフ地震に備えちよき」	県ブース イベント等に出展している高知	起震車体験	その他	無回答
問 17	必要がある	125 86.8	12 8.3	51 35.4	4 2.8	13 9.0	73 50.7	2 1.4	20 13.9	5 3.5	1 0.7
	必要はない	210 88.2	37 15.5	74 31.1	5 2.1	24 10.1	119 50.0	10 4.2	22 9.2	9 3.8	3 1.3
	支援が必要な方はいない	306 87.2	46 13.1	107 30.5	7 2.0	38 10.8	190 54.1	12 3.4	47 13.4	13 3.7	2 0.6
	無回答	30 75.0	4 10.0	11 27.5	- -	4 10.0	24 60.0	1 2.5	1 2.5	2 5.0	1 2.5

問18 要配慮者の避難を支援する体制ができているか

問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。（ひとつだけ〇）

避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制については、「よく知らない」が59.5%と最も高く、次いで「できていない」15.3%、「できている」13.5%と続いており、「よく知らない」、「できていない」が合わせて74.8%となっている。



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度では、平成30年度と比べ「できている」が5.4ポイント増加し、「できていない」は8.6ポイント減少している。一方「よく知らない」はほとんど差はない。

【性別】

「よく知らない」は、男性は54.9%、女性は64.4%と女性の方が9.5ポイント高い。

【年代別】

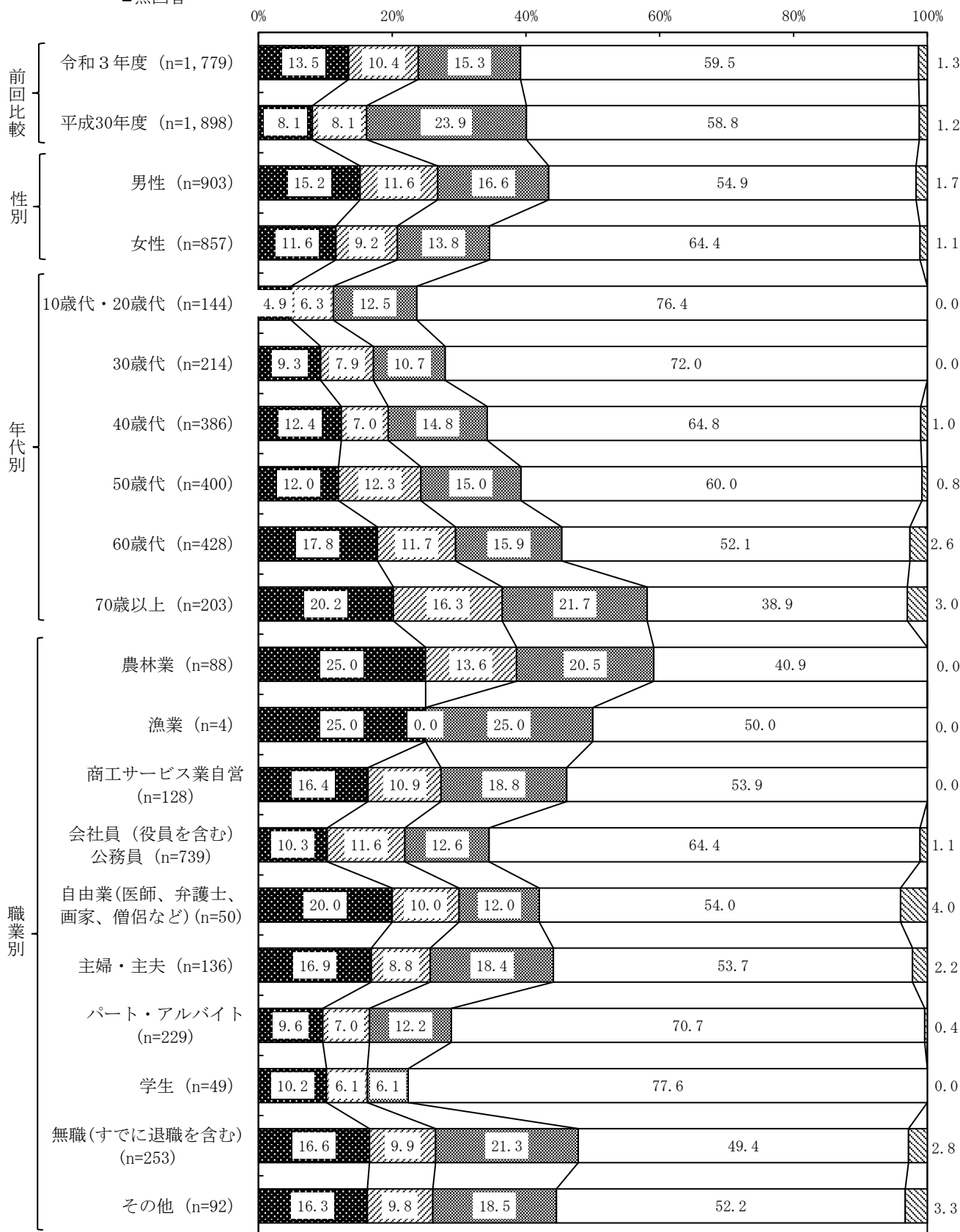
「よく知らない」は年代が低いほど割合が高くなっており、最も高い10歳代・20歳代と最も低い70歳以上では、37.5ポイントの差がある。

【職業別】

「できている」は農林業、漁業、自由業で20%を超えている。「よく知らない」は、パート・アルバイト、学生が70%を超えており、特に高い。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- できている
- ▨できていないが検討している（直接関わっていないが、検討していることを知っている）
- ▩できていない
- よく知らない
- 無回答



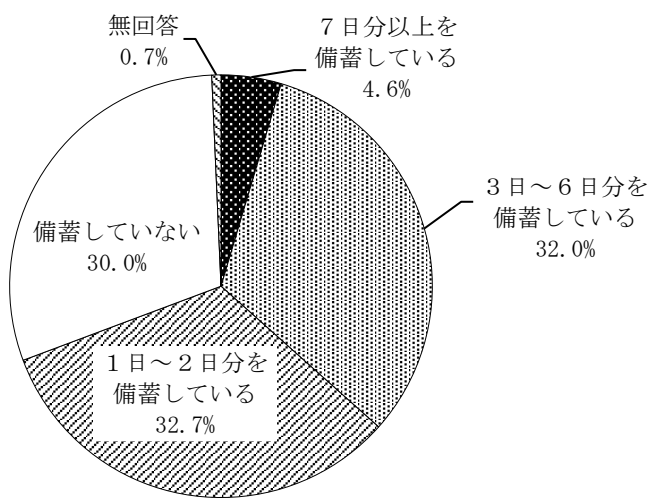
(3) 家庭での備えについて

問19 食料の備蓄状況

問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。)(ひとつだけ〇)

食料の備蓄状況では、「1日～2日分を備蓄している」が32.7%と最も高く、次いで「3日～6日分を備蓄している」32.0%、「備蓄していない」30.0%と続いている。

《 総 合 》



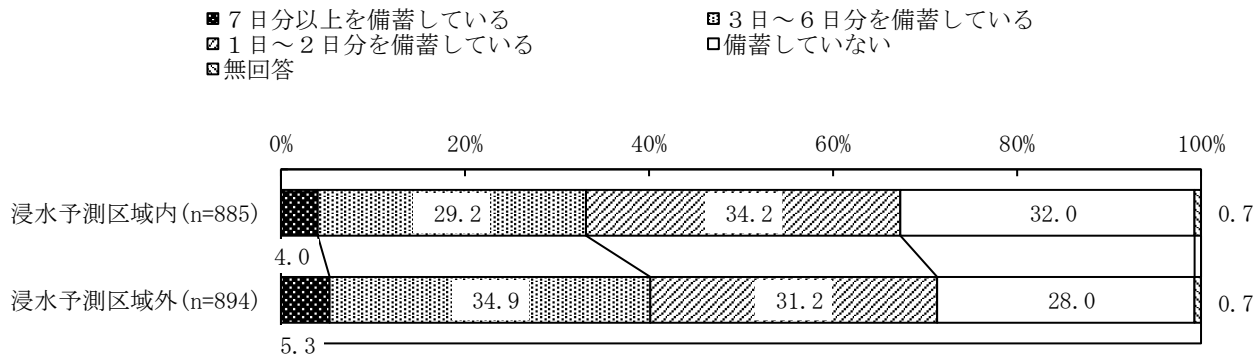
(n=1,779)

【浸水予測区域別】

浸水予測区域外の方が、浸水予測区域内よりも備蓄している割合が4ポイント高い。

備蓄している割合としては、浸水予測区域内では「1日～2日分を備蓄している」が34.2%、浸水予測区域外では「3日～6日分を備蓄している」は34.3%と最も高くなっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

平成30年と比較すると、「備蓄している」の割合が5.8ポイント増加している。3日分以上を備蓄している割合は16.2ポイント増加している。

【性別】

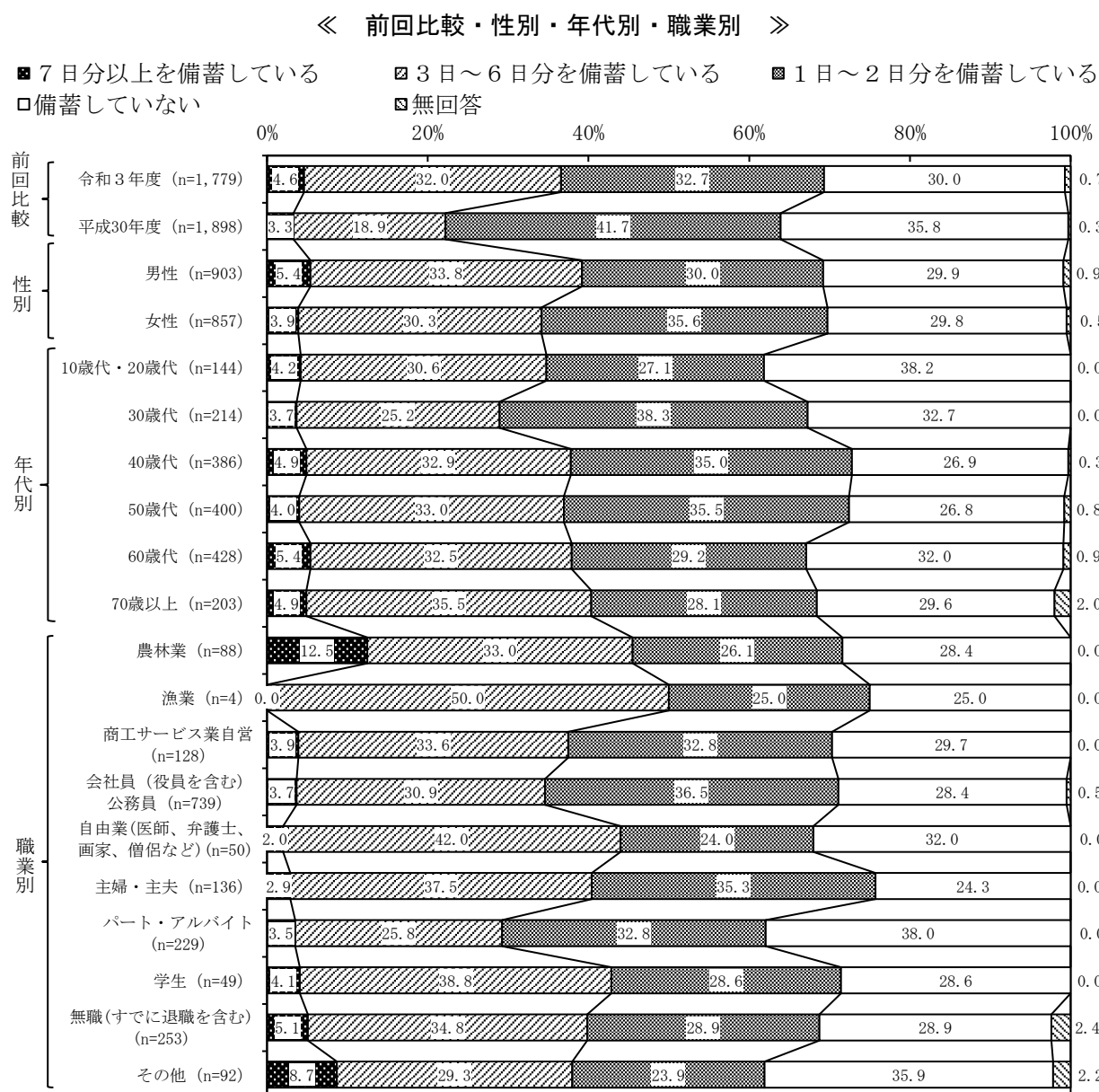
男女とも「備蓄している」割合は約70%となっているが、男性の方が「3日分以上備蓄している」割合が5ポイント高い。

【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代、60歳代は「備蓄していない」の割合が30%を超えている。

【職業別】

農林業は「7日分以上を備蓄している」割合が他の職業より高くなっている。



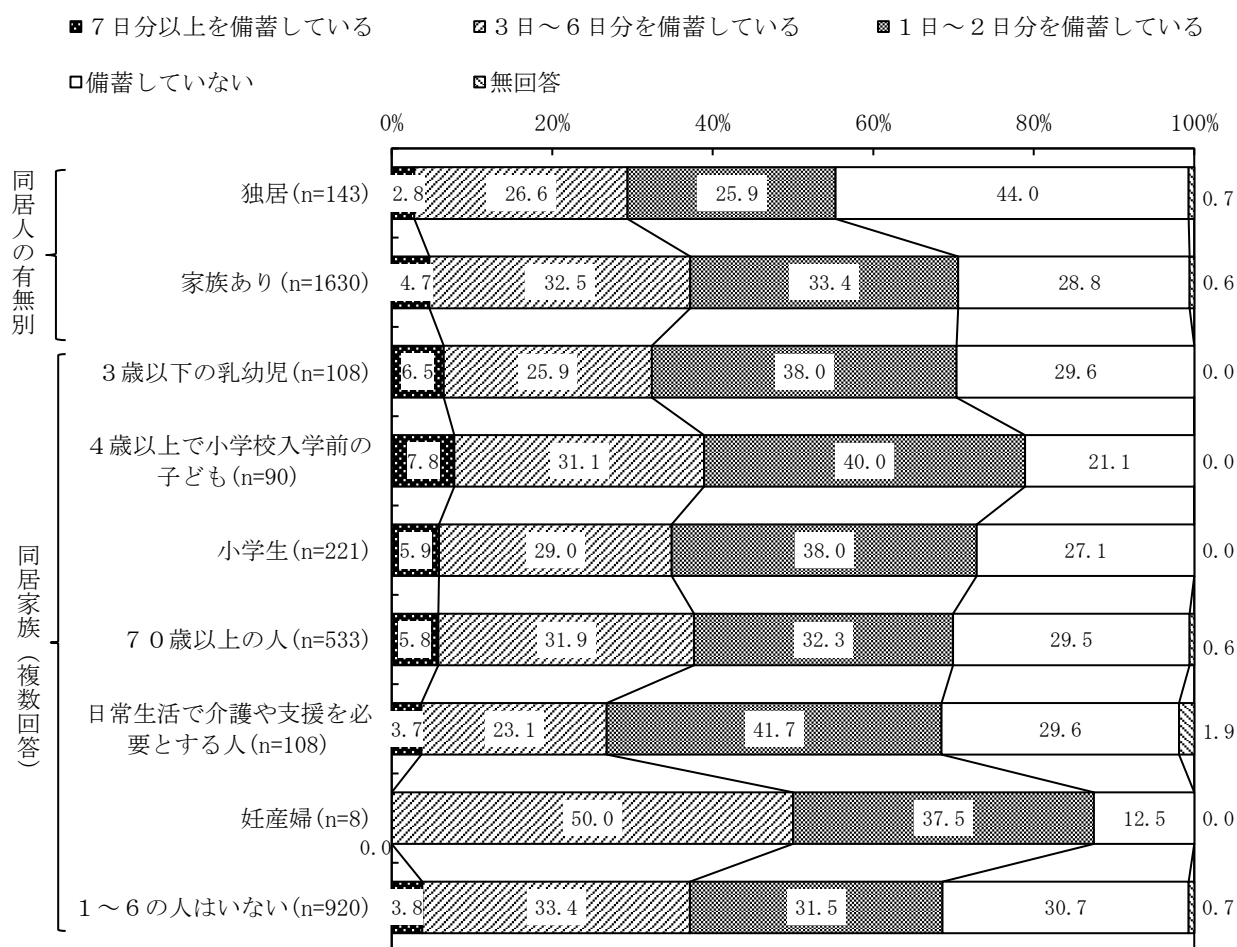
【同居人の有無別】

「備蓄していない」は独居世帯で44.0%と、家族あり世帯の22.8%より15.2ポイント高くなっている。

【同居家族別】

同居家族別では「備蓄していない」がほとんどの層で総合の30%を下回っており、特に「妊産婦」では12.5%となっている。

《世帯人数別・同居家族別・同居人の有無別》



問5×問19 普段、情報をよく収集するメディアと食料の備蓄状況とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」、「その他」と回答した方は「3日～6日分を備蓄している」が、「テレビ」、「インターネット（パソコン、スマートフォン等）」と回答した方は「1日～2日分を備蓄している」が、「ラジオ」と回答した方は「備蓄していない」の割合が最も高かった。

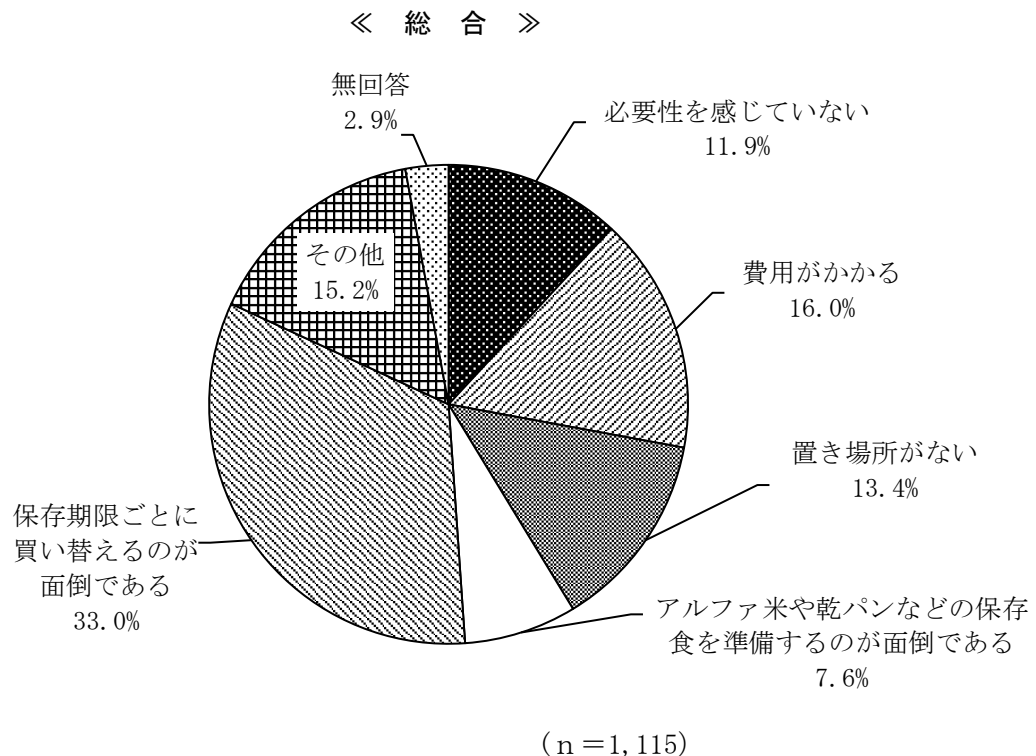
上段：人数
下段：%

		問5						
		新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (パソコン、スマートフォン等)	板 街頭のチラシ、 ポスター、 掲示	その他	無回答
問 19	7日分以上を備蓄している	24 29.3	65 79.3	9 11.0	44 53.7	3 3.7	2 2.4	- -
	3日～6日分を備蓄している	197 34.6	469 82.3	43 7.5	353 61.9	9 1.6	2 0.4	- -
	1日～2日分を備蓄している	168 28.9	493 84.7	38 6.5	368 63.2	5 0.9	1 0.2	1 0.2
	備蓄していない	150 28.1	452 84.8	48 9.0	303 56.8	6 1.1	1 0.2	- -
	無回答	3 25.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	1 8.3	- -	2 16.7

問20 備蓄していない理由

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

食料を3日分以上備蓄していない理由として、「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が33.0%と最も高く、「費用がかかる」16.0%、「置き場所がない」13.4%と続いている。



【前回比較】

令和3年度では「必要性を感じていない」が前回から5.7ポイント低くなっているが、「置き場所がない」が4.9ポイント高くなっている。

【性別】

男性では「必要性を感じない」が15.7%と、女性の8.4%よりも7.3ポイント高くなっており、女性では「費用が掛かる」が18.6%と、男性の12.6%よりも6ポイント高くなっている。

【年代別】

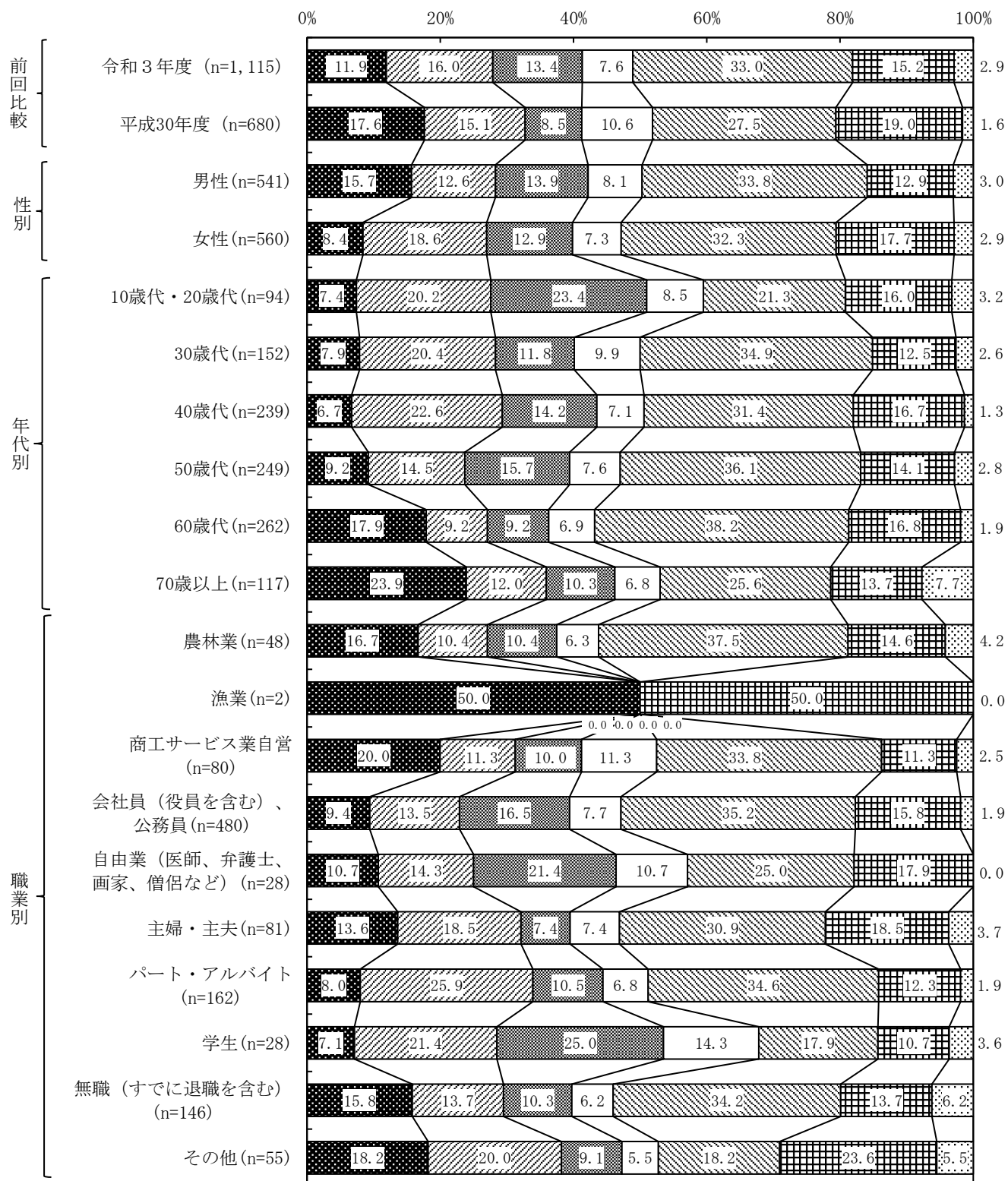
10歳代・20歳代から40歳代までは、「費用がかかる」が総合より4ポイント以上高くなっている。また、「置き場所がない」は10歳代・20歳代で総合より10ポイント高く、「必要性を感じていない」は60歳代では総合より6ポイント、70歳以上では12ポイント高くなっている。

【職業別】

学生とその他を除くすべての職業で「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高く、学生では「置き場所がない」が、その他では「その他」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 必要性を感じていない
- 置き場所がない
- 保存期限ごとに買い替えるのが面倒である
- 無回答
- 費用がかかる
- アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である
- その他



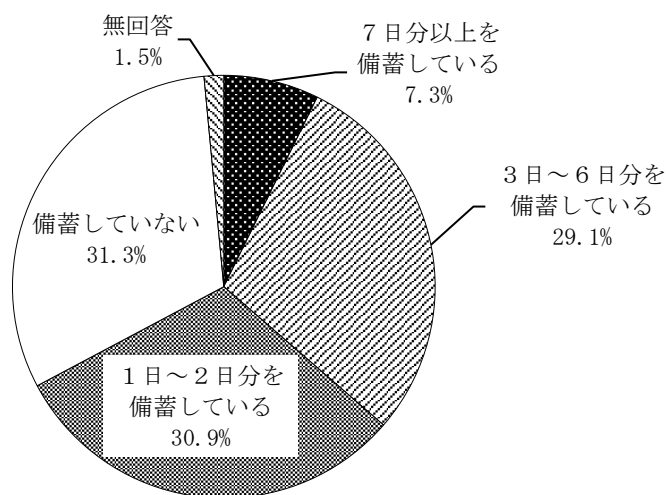
※前回比較について、平成30年度は「備蓄していない」と回答した人を本問の対象とし、令和3年度は「1～2日分を備蓄している」と回答した人及び「備蓄していない」と回答した人を対象としている。

問21 飲料水の備蓄状況

問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)(ひとつだけ○)

飲料水の備蓄状況は、「備蓄していない」が31.3%と最も高く、次いで「1日～2日分を備蓄している」30.9%、「3日～6日分を備蓄している」29.1%と続いている。

《 総合 》



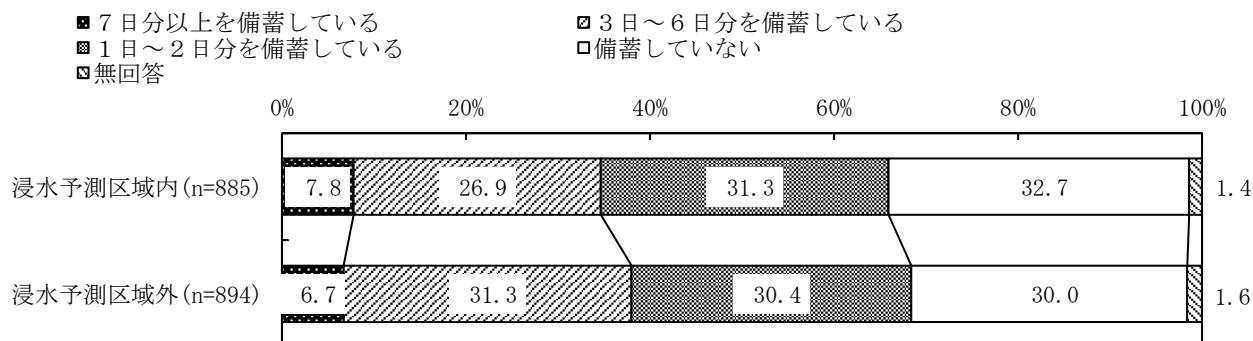
(n=1,779)

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内では「備蓄していない」が32.7%と最も高く、3日分以上の備蓄に関しても浸水予測区域外より低い割合となっている。

浸水予測区域外では「3日～6日分を備蓄している」が31.3%と最も高く、次いで「1日～2日分を備蓄している」が30.4%となっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度は、3日分以上備蓄している割合が平成30年度より16.2ポイント高くなっている。

【性別】

「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんど見られない。

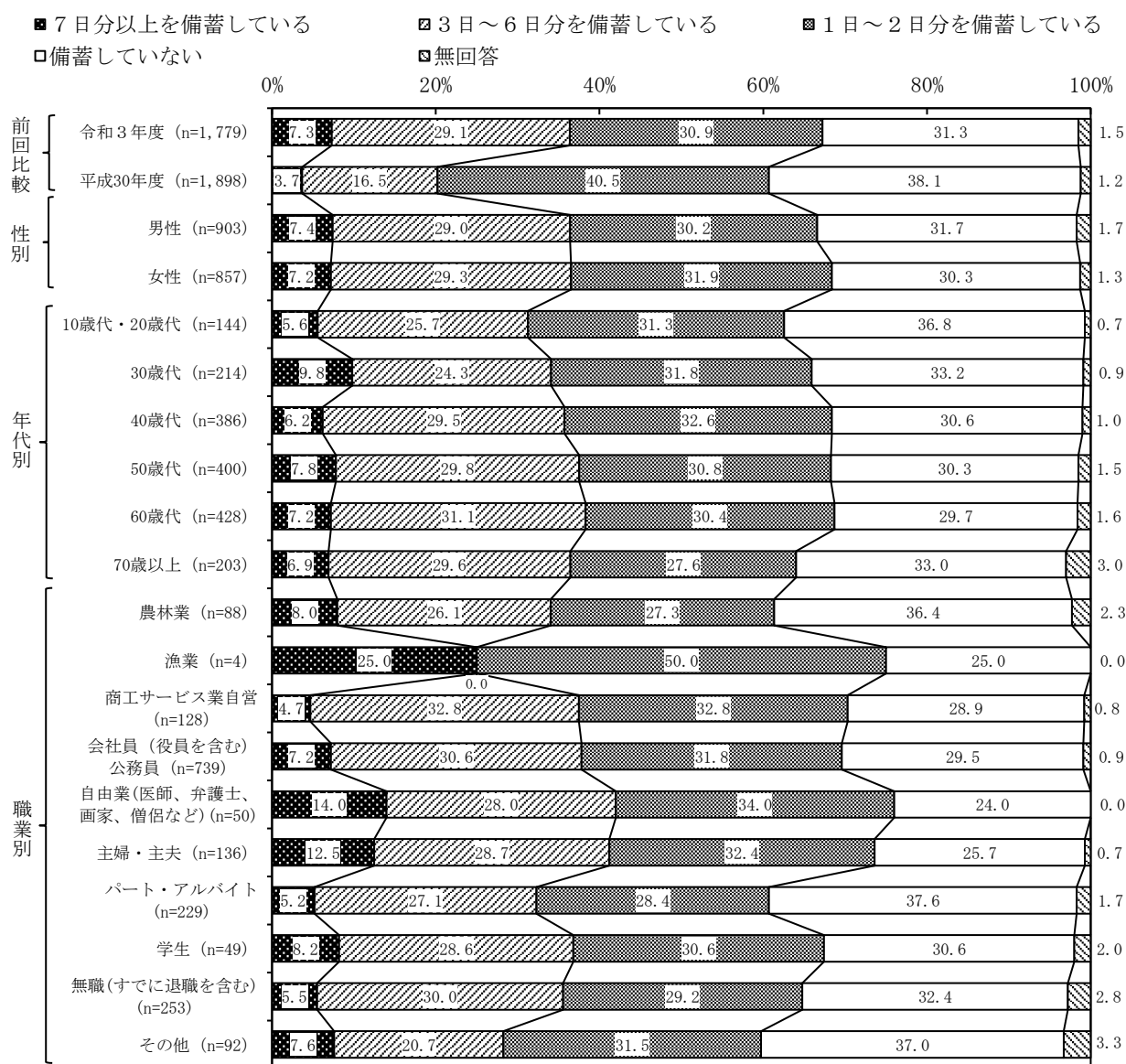
【年代別】

10歳代・20歳代から60歳代までは年代が高くなるほど3日以上の備蓄の割合が高くなる傾向にある。また、10歳代・20歳代、30歳代及び70歳以上は「備蓄していない」割合が他の年代より高くなっている。

【職業別】

農林業、パート・アルバイト、その他では「備蓄していない」が36%以上と他の職業より高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



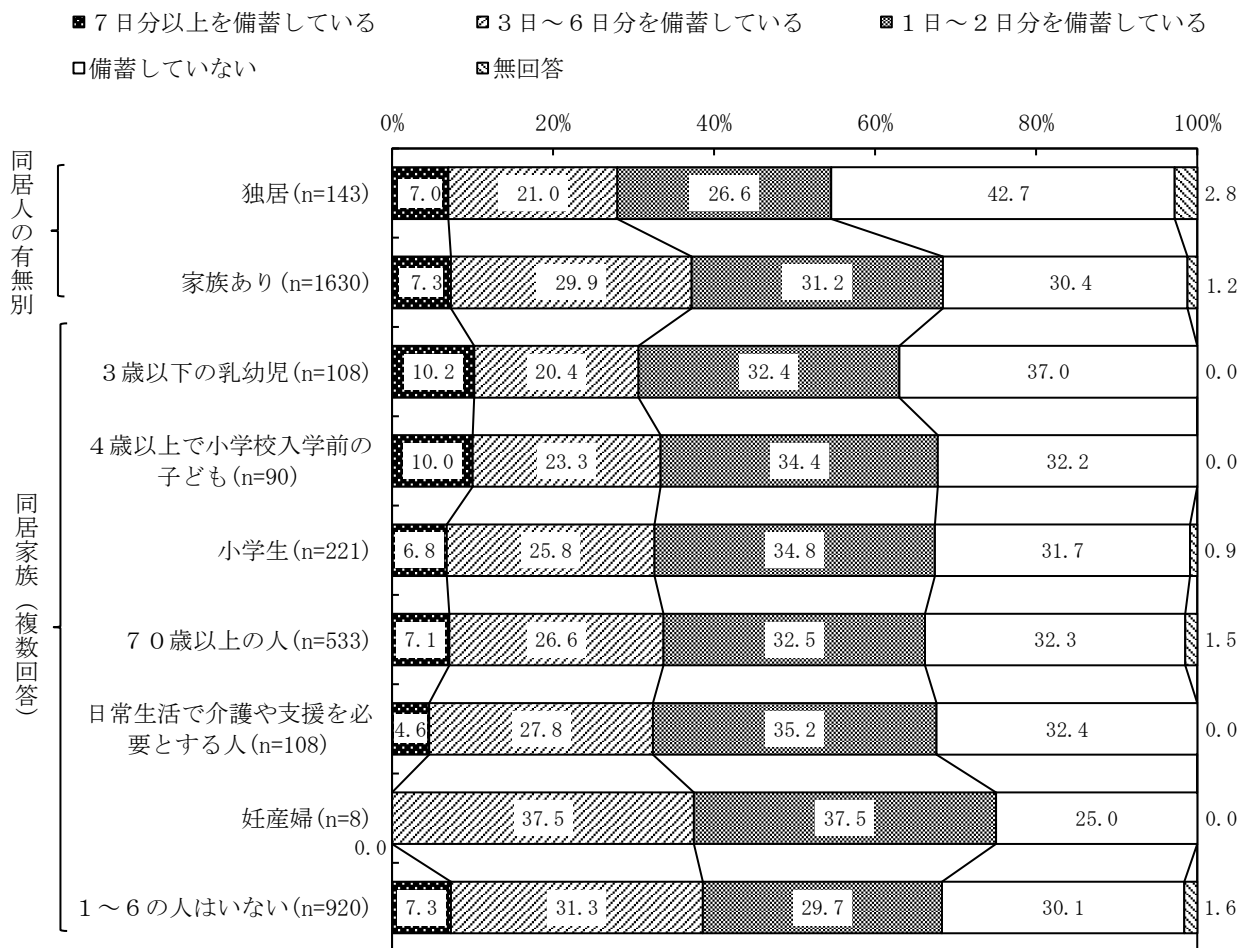
【同居人の有無別】

独居世帯では「備蓄していない」が42.7%と、家族あり世帯の30.4%より12.3ポイント高い。

【同居家族別】

「妊産婦」で飲料水を備蓄している割合が他の家族形態よりも高い割合となっている。

◀ 同居人の有無別・同居家族別 ▶



問5×問21 普段、情報をよく収集するメディアと飲料水の備蓄状況とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「インターネット（パソコン、スマートフォン）」と回答した方は「1日～2日分を備蓄している」が、「テレビ」と回答した方は「備蓄していない」が、「ラジオ」、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」、「その他」と回答した方は「3日～6日分を備蓄している」と「備蓄していない」が同率で最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

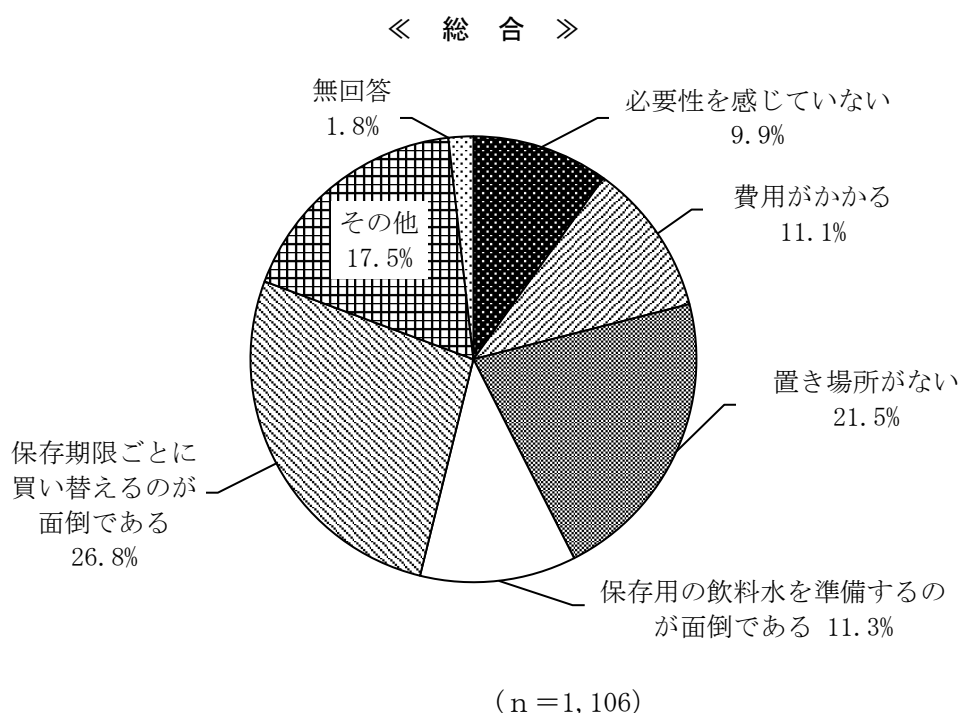
		問5						
		新聞	テレビ	ラジオ	インターネット （パソコン、 スマートフォン等）	板 街頭のチラシ、 ポスター、 掲示	その他	無回答
問 21	7日分以上を備蓄している	48 37.2	106 82.2	9 7.0	73 56.6	- -	1 0.8	- -
	3日～6日分を備蓄している	161 31.1	425 82.0	48 9.3	329 63.5	9 1.7	2 0.4	2 0.4
	1日～2日分を備蓄している	170 31.0	464 84.5	31 5.6	343 62.5	5 0.9	1 0.2	- -
	備蓄していない	158 28.4	473 84.9	48 8.6	313 56.2	9 1.6	2 0.4	- -
	無回答	5 19.2	19 73.1	6 23.1	12 46.2	1 3.8	- -	1 3.8

問22 備蓄していない理由

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日以上飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

飲料水を3日以上備蓄していない理由は、「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が26.8%と最も高く、次いで「置き場所がない」21.5%、「その他」17.5%と続いている。

「その他」の記入内容別では、「井戸水、山の水、川の水を使う」が47件と全体の24.2%を占めており、他の理由としては、「必要性を感じているができていない」が19件(9.8%)、「期限切れで買い替えできていない」が9件(4.6%)などがある。



【前回比較】

令和3年度では、新しく追加した項目である「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が26.8%と最も高くなっている。「必要性を感じていない」は前回から10.5ポイント減少している。

【性別】

「必要性を感じていない」は、男性が13.4%と、女性の6.6%より6.8ポイント高く、「置く場所がない」は女性が26.3%と、男性の17.2%より9.1ポイント高くなっている。

【年代別】

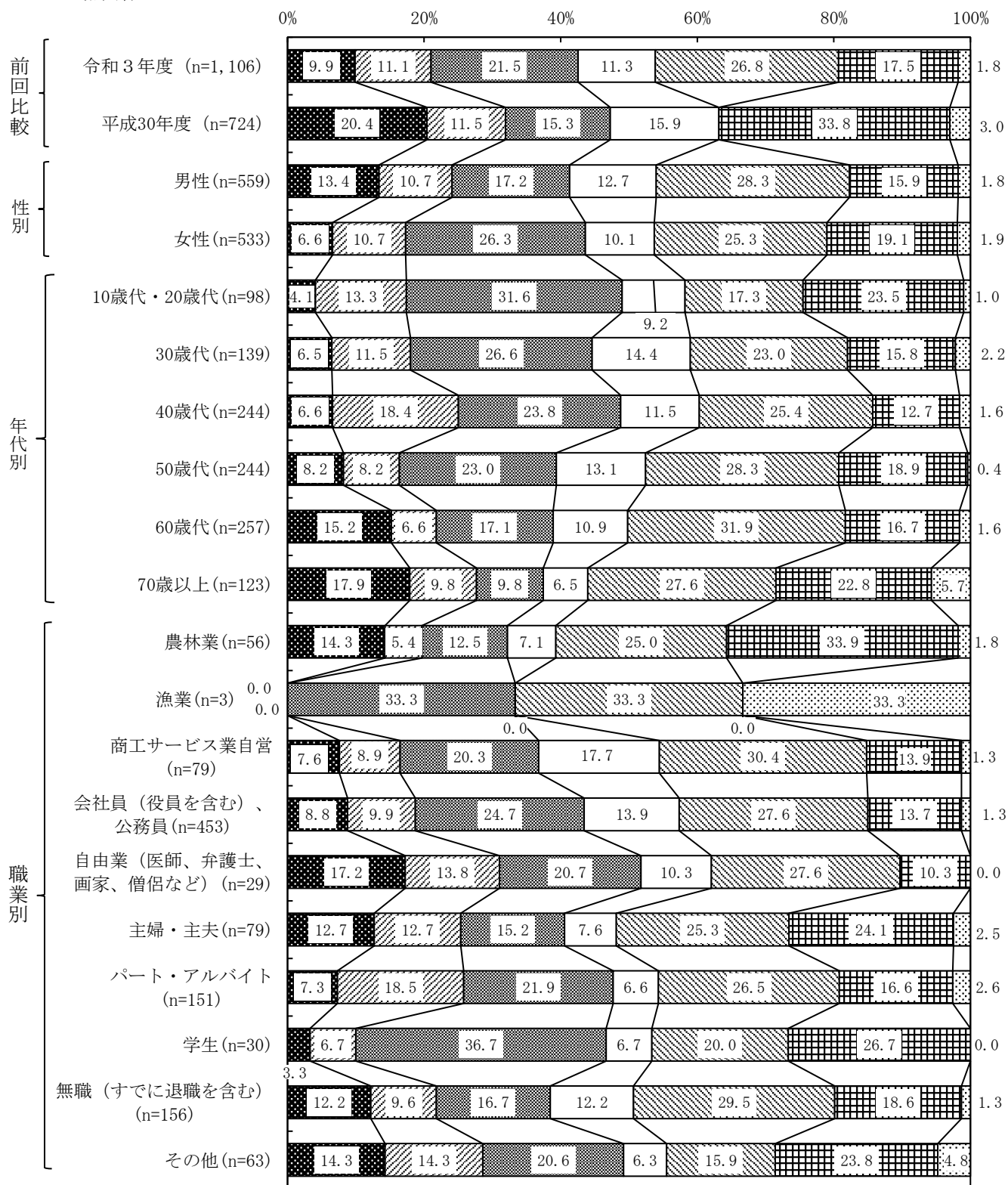
「必要性を感じていない」は、年代が上がるほど割合も高くなっている。

【職業別】

農林業、学生、その他を除くすべての職業で「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高く、農林業、その他では「その他」が、学生では「置き場所がない」が最も高い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 必要性を感じていない
- 費用がかかる
- 置き場所がない
- 保存用の飲料水を準備するのが面倒である
- 保存期限ごとに買い替えるのが面倒である
- その他
- 無回答



※前回比較について、平成30年度は「備蓄していない」と回答した人を本問の対象とし、令和3年度は「1～2日分を備蓄している」と回答した人及び「備蓄していない」と回答した人を対象としている。

問23 地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について

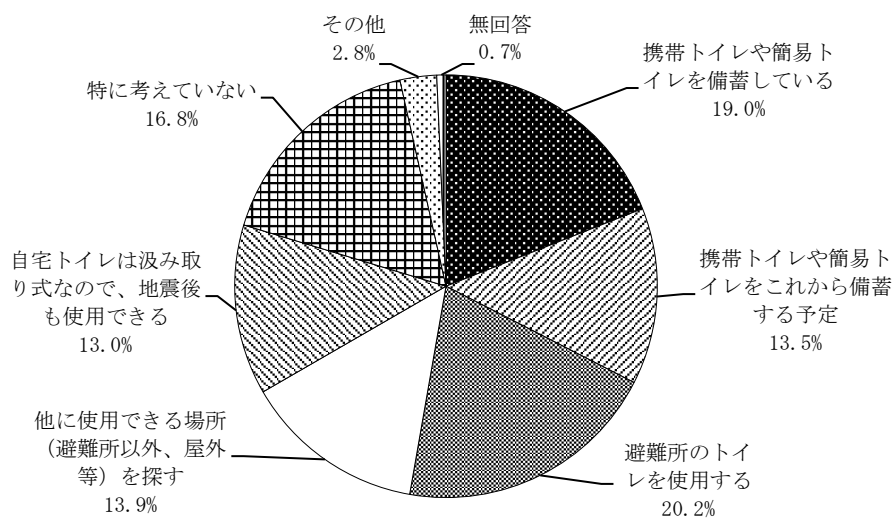
問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。

あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。

(ひとつだけ〇)

地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応としては、「避難所のトイレを使用する」が20.2%と最も高く、次いで「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」19.0%、「特に考えていない」16.8%と続いている。

《 総合 》



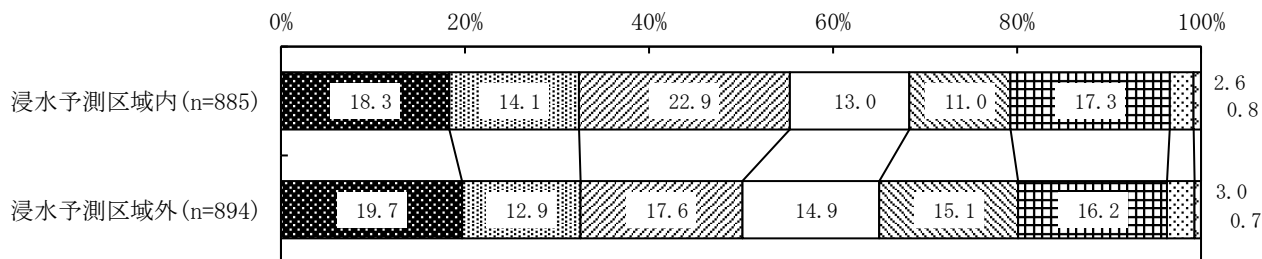
(n=1,779)

【浸水予測区域別】

「避難所のトイレを使用する」は、浸水予想区域内では22.9%と、浸水予想区域外の17.6%より5.3ポイント高くなっている。。

《 浸水予測区域別 》

- 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している
- ▣ 避難所のトイレを使用する
- ▨ 自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる
- その他
- ▤ 携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定
- ▧ 他に使用できる場所 (避難所以外、屋外等)を探す
- ▩ 特に考えていない
- 無回答



【前回比較】

「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」は、令和3年度では19.0%と、平成30年度の11.4%より7.6ポイント増加し、「これから備蓄する予定」は令和3年度では13.5%と、平成30年度の10.3%より3.2ポイント増加しているが、「特に考えていない」は前回と同程度となっている。

【性別】

「他に使用できる場所（避難所以外、屋外等）を探す」は、男性が17.3%と、女性の10.6%より6.7ポイント高くなっている。

【年代別】

50歳代を除くすべての年代で「避難所のトイレを使用する」が最も高く、50歳代は「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」が最も高くなっている。

【職業別】

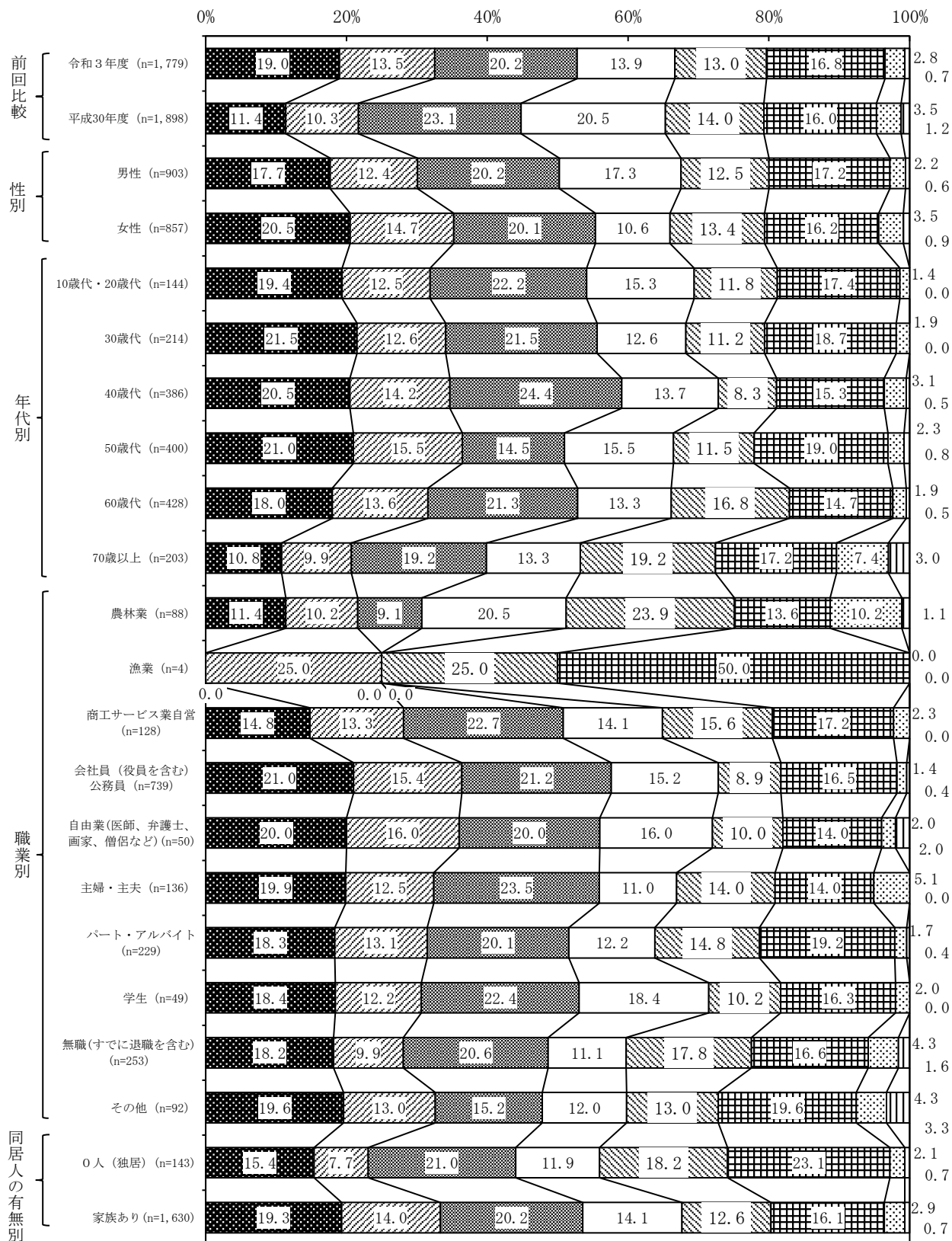
農林業、漁業及びその他を除くすべての職業で「避難所のトイレを使用する」が最も高くなっている。

【同居人の有無別】

独居世帯は「特に考えていない」が23.1%と、家族あり世帯の16.1%より7ポイント高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別・同居人の有無別 ▶

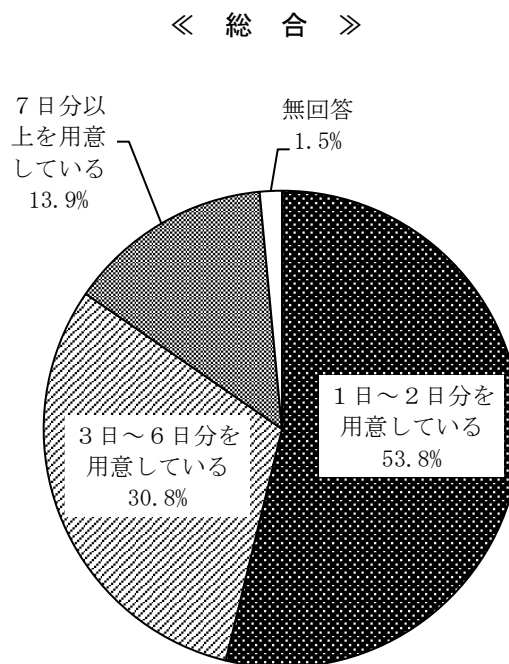
- 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している
- 避難所のトイレを使用する
- 自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる
- その他
- 携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定
- 他に使用できる場所（避難所以外、屋外等）を探す
- 特に考えていない
- 無回答



問24 携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況

問24 問23で「3 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。どのくらい備蓄していますか。(ひとつだけ○)

トイレの備蓄状況については、「1日～2日分を用意している」が53.8%と最も高く、次いで「3日～6日分を用意している」は30.8%、「7日以上を用意している」は13.9%となっている。



(n = 338)

【前回比較】

「1日～2日分を用意している」は前回から11.9ポイントと減少し、「3日～6日分を用意している」は5.8ポイント、「7日以上を用意している」は6ポイント増加している。

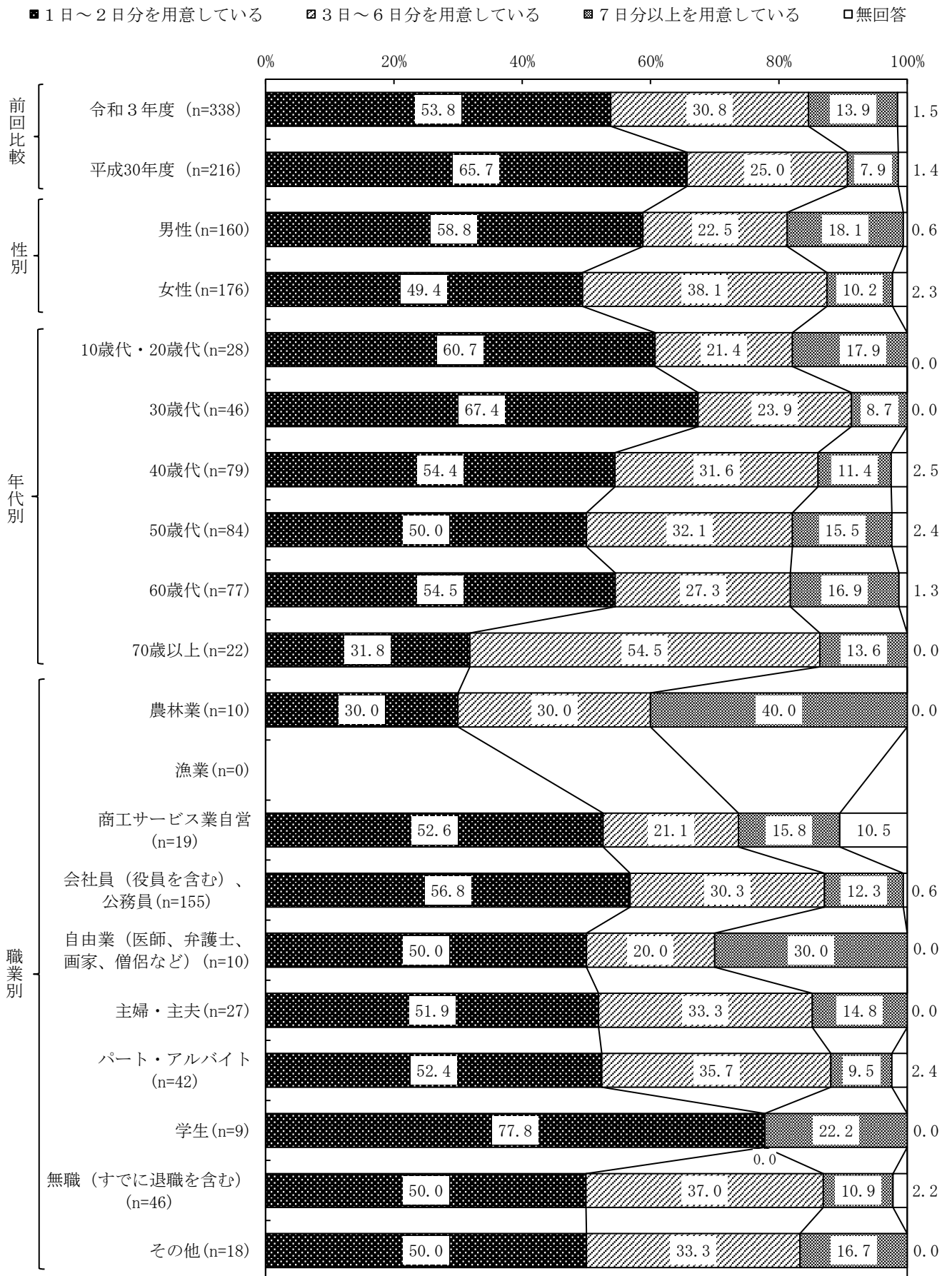
【性別】

男性は「1～2日分を用意している」割合及び「7日以上を用意している」割合が女性より高く、女性は「3～6日分を用意している」が男性より高い。

【年代別】

70歳以上は、「3～6日分を用意している」割合及び「7日以上を用意している」割合が合わせて68.1%となっており、他の年代に比べて特に高い。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問25 普段から医師に処方された薬を服用しているか、また持ち出せるか

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

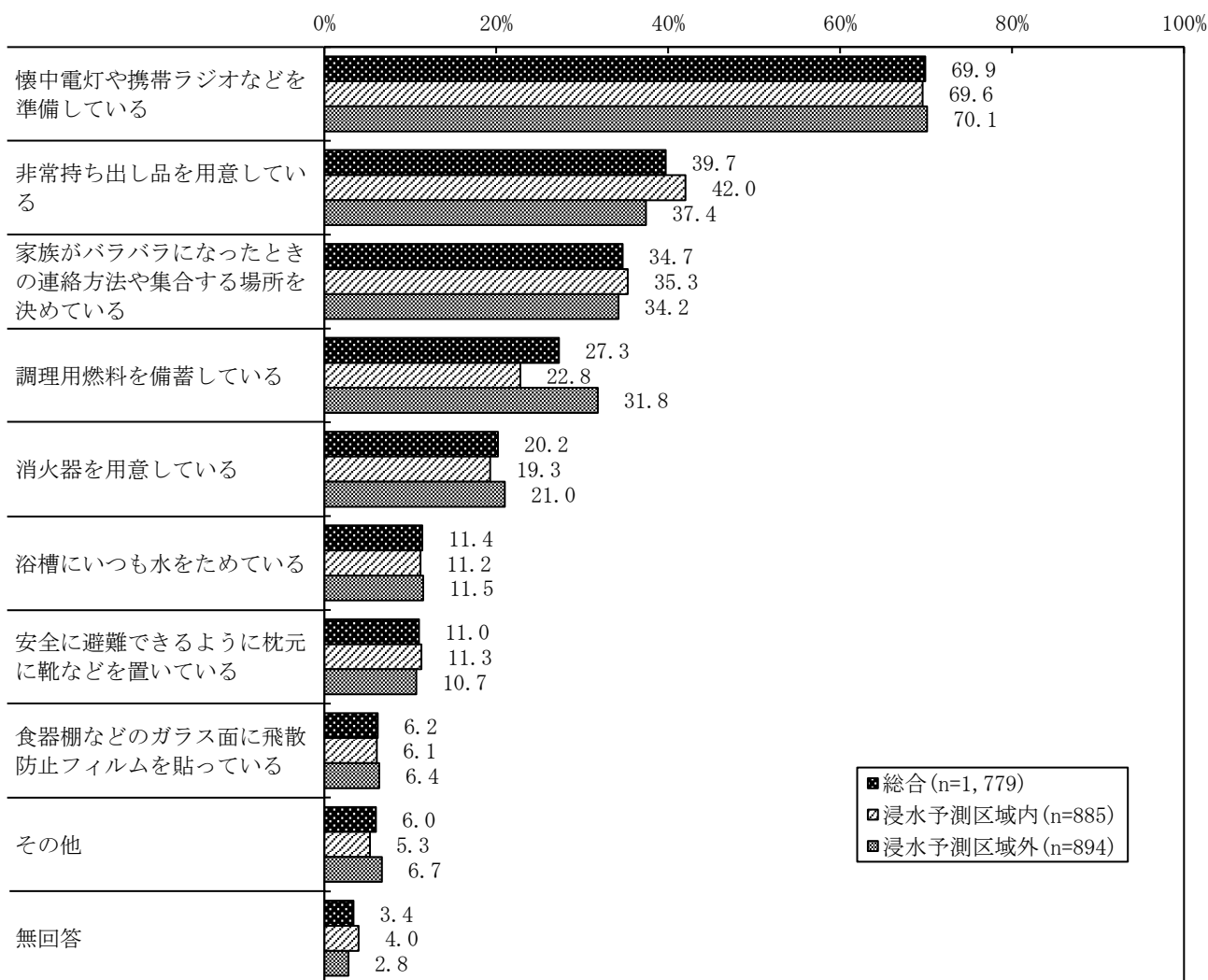
(当てはまるものすべてに○)

南海トラフ地震への備えとしては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が69.9%と最も高く、次いで「非常持ち出し品を用意している」39.7%、「家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている」34.7%と続いている。

【浸水予測区域別】

「非常持ち出し品を用意している」割合は、浸水予測区域内の方が4.6ポイント高く、「調理用燃料を備蓄している」割合は、浸水想定区域外の方が9ポイント高くなっている。

《 総合・浸水予測区域別 》

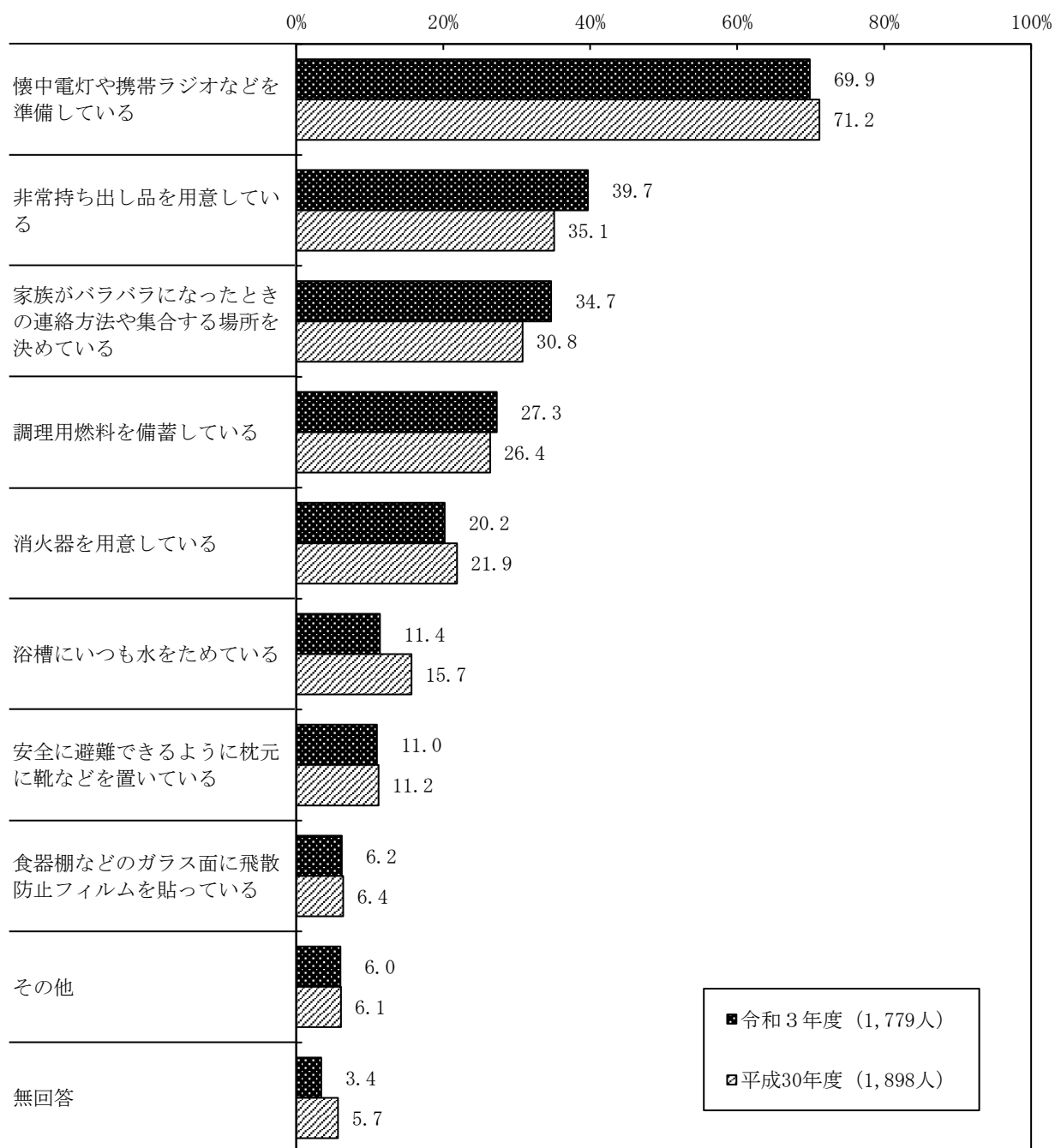


【前回比較】

「非常持ち出し品を用意している」は前回から4.6ポイント、「家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている」は3.9ポイント高くなっている。

一方、「浴槽にいつも水をためている」は4.3ポイント低くなっている。

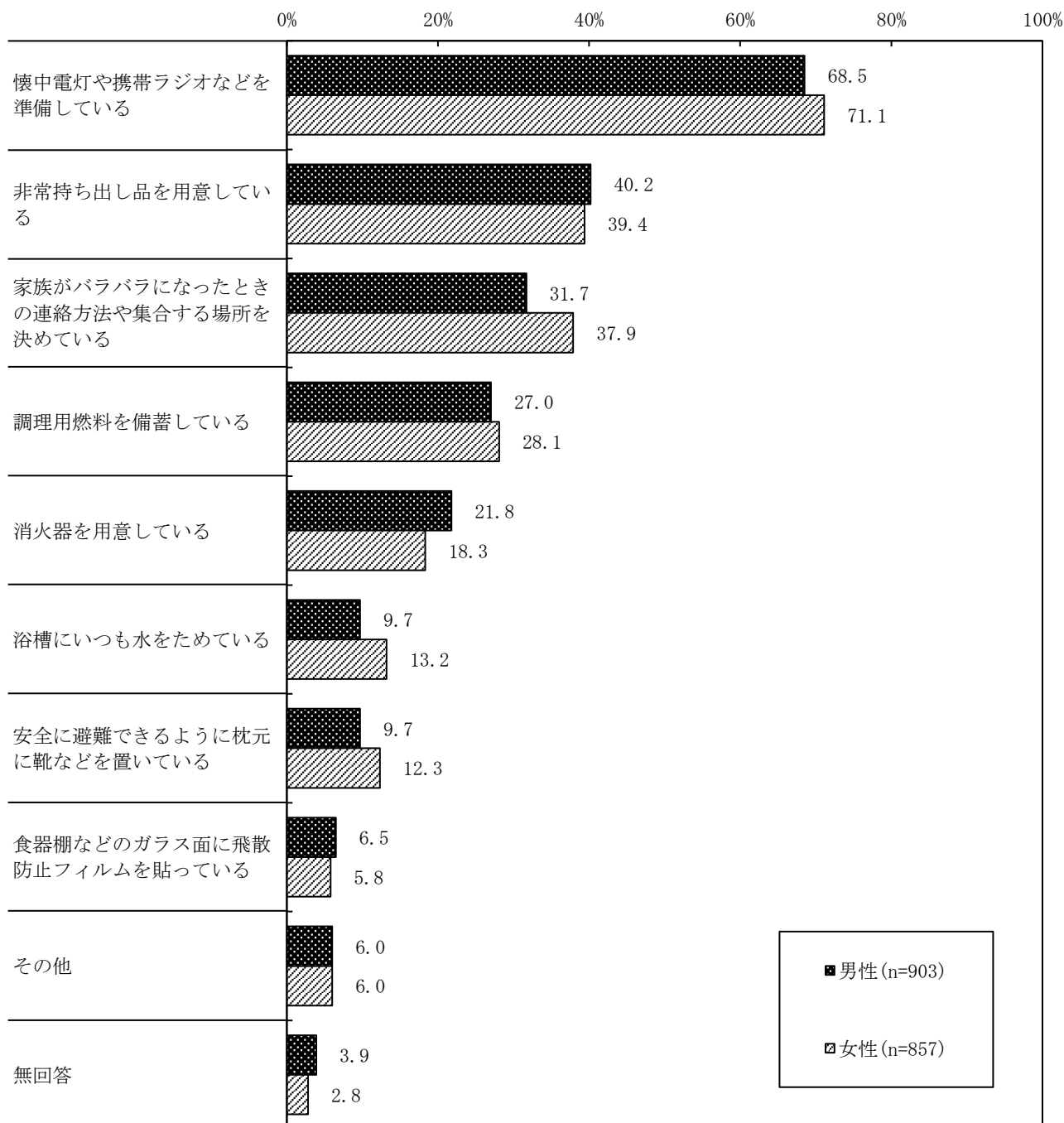
《 前 回 比 較 》



【性別】

「家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている」では、男性は31.7%、女性は37.9%と、女性の方が6.2ポイント高くなっている。

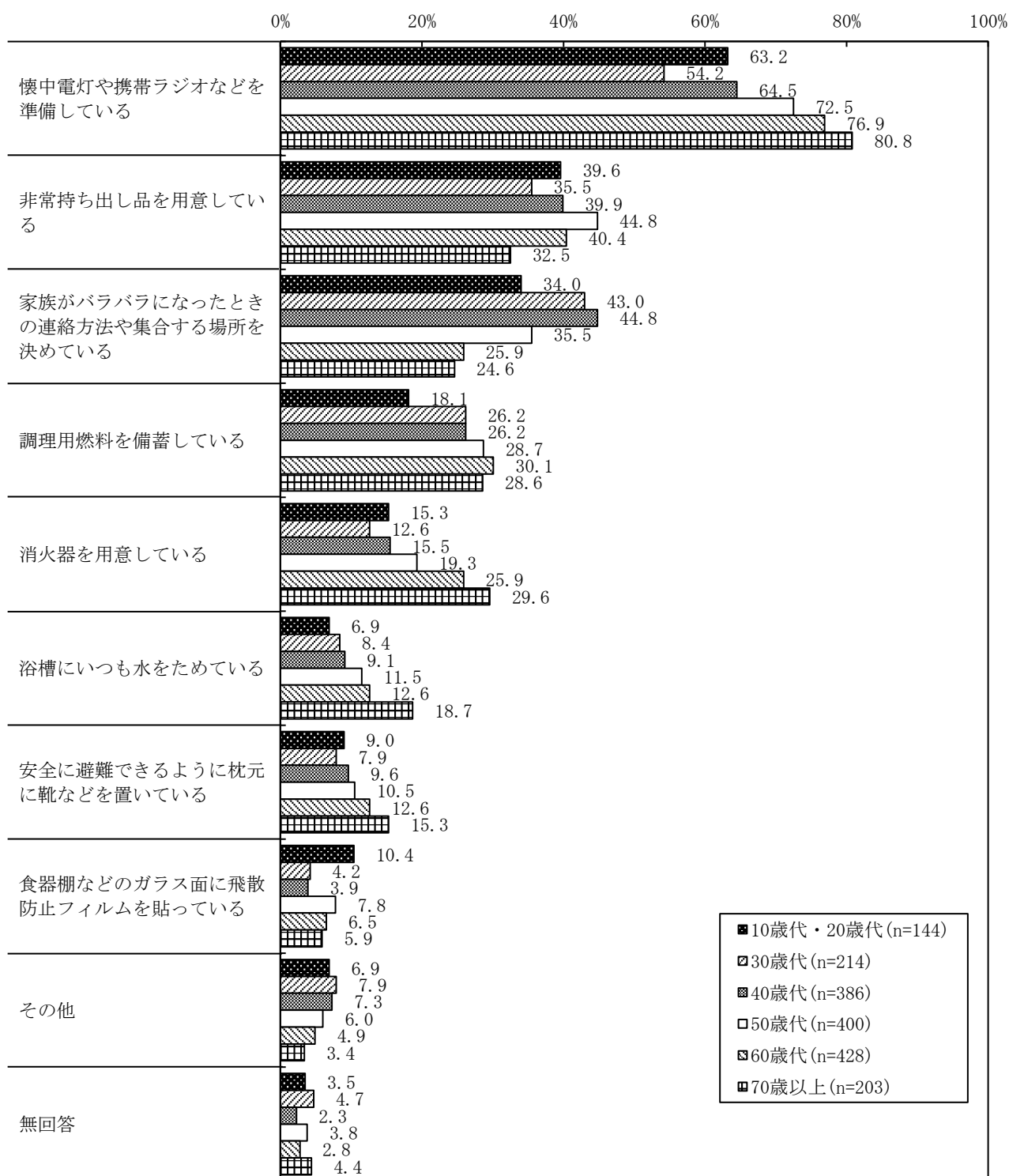
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっており、特に年代の高いほど割合も高い傾向にあり、70歳以上では80.8%となっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

すべての年代で「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっている。学生は、「非常持ち出し品を用意している」割合が53.1%と、すべての職業の中で唯一50%を超えている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

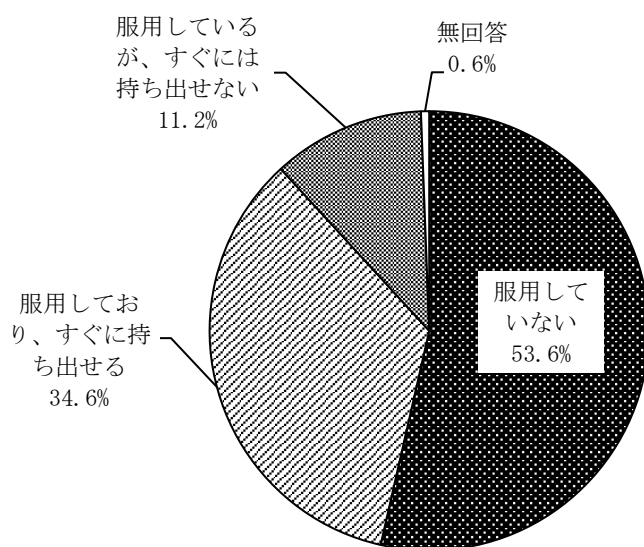
属性	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	非常持ち出し品を用意している	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	調理用燃料を備蓄している	消火器を用意している	浴槽にいつも水をためている	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	その他	無回答
農林業(n=88)	73.9	25.0	29.5	31.8	28.4	15.9	10.2	5.7	6.8	2.3
漁業(n=4)	50.0	-	-	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0
商工サービス業自営(n=128)	71.9	34.4	28.1	32.0	25.0	11.7	13.3	7.0	1.6	3.9
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	65.1	43.7	39.2	26.8	16.5	8.5	8.7	5.3	6.8	3.1
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	72.0	38.0	24.0	32.0	42.0	16.0	8.0	10.0	4.0	10.0
主婦・主夫(n=136)	77.9	39.7	37.5	33.1	27.9	14.7	13.2	6.6	3.7	0.7
パート・アルバイト(n=229)	70.3	35.8	40.6	25.3	12.2	13.5	12.2	4.4	5.7	2.2
学生(n=49)	63.3	53.1	44.9	18.4	20.4	6.1	14.3	6.1	8.2	2.0
無職(すでに退職を含む)(n=253)	78.3	36.0	20.2	24.9	26.9	15.4	14.6	9.5	6.3	5.9
その他(n=92)	67.4	43.5	35.9	27.2	14.1	7.6	10.9	5.4	8.7	2.2

問26 南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか

問26 普段から医師により処方された薬を服用していますか。また、服用している場合、南海トラフ地震が起きたら、すぐに持ち出せますか（外出時も含めます）。（ひとつだけ○）

処方薬は「服用していない」が53.6%となっており、「服用しており、すぐに持ち出せる」は34.6%、「服用しているが、すぐには持ち出せない」は11.2%となっている。

《 総 合 》



(n = 1, 779)

【前回比較】

処方薬を服用している人のうち、「すぐに持ち出せる」と回答した人の割合と「すぐには持ち出せない」と回答した人の割合は、前回と同程度となっている。

【性別】

性別による大きな差は見られない。

【年代別】

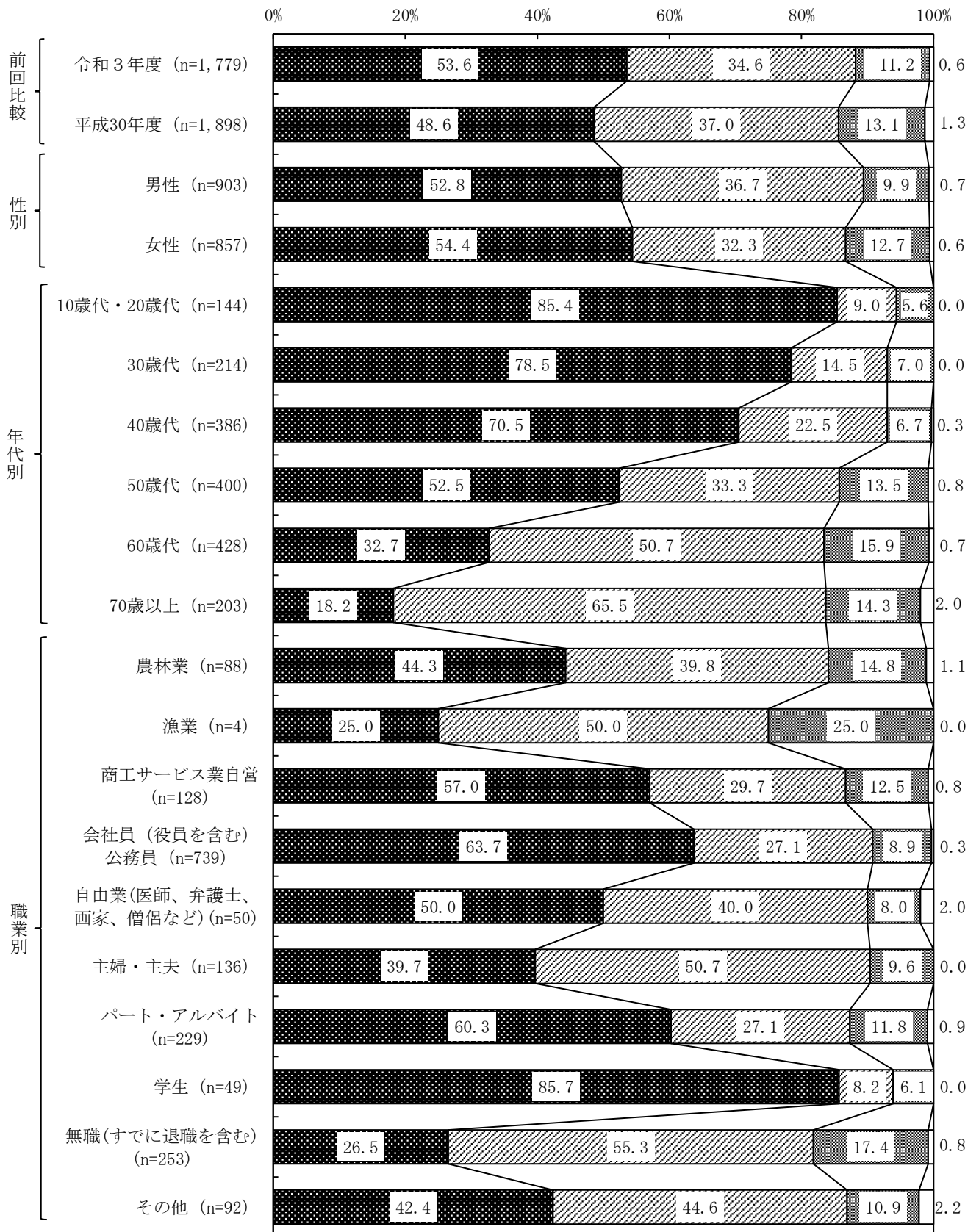
年代が上がるほど、処方薬を服用している割合が高くなっており、「服用しており、すぐに持ち出せる」と回答した割合も高くなっている。

【職業別】

学生は、他の職業に比べて処方薬を服用している人の割合は低いですが、服用している人のうち「すぐには持ち出せない」人の割合は高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

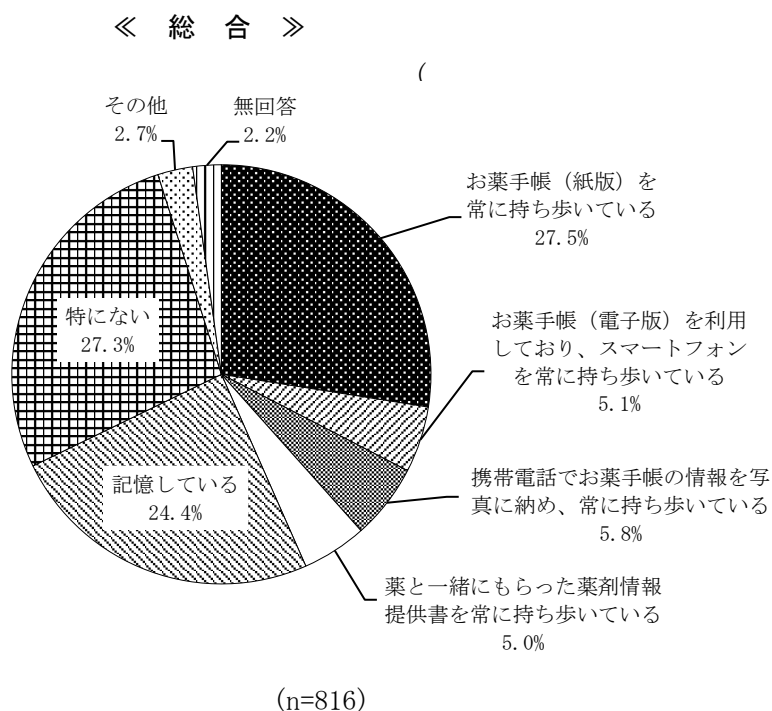
■服用していない □服用しており、すぐに持ち出せる ■服用しているが、すぐには持ち出せない □無回答



問27 現在服用中の薬を避難所等で確認できる手段

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。(ひとつだけ○)

現在服用している処方薬を避難所等で確認できる手段としては、「お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている」が27.5%と最も高く、次いで「特にない」27.3%、「記憶している」24.4%と続いている。



【前回比較】

令和3年度と平成30年度で比較すると、「お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている」が7.1ポイント減少しており、「お薬手帳（電子版）を利用して、スマートフォンを常に持ち歩いている」は2.5ポイント、「記憶している」は3ポイント増加している。「特にない」も3ポイント増加している。

【性別】

男性では「特にない」が31.7%となっており、女性の22.3%より9.4ポイント高くなっており、女性では「お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている」が32.6%と男性の22.4%より10.4ポイント高い。

【年代別】

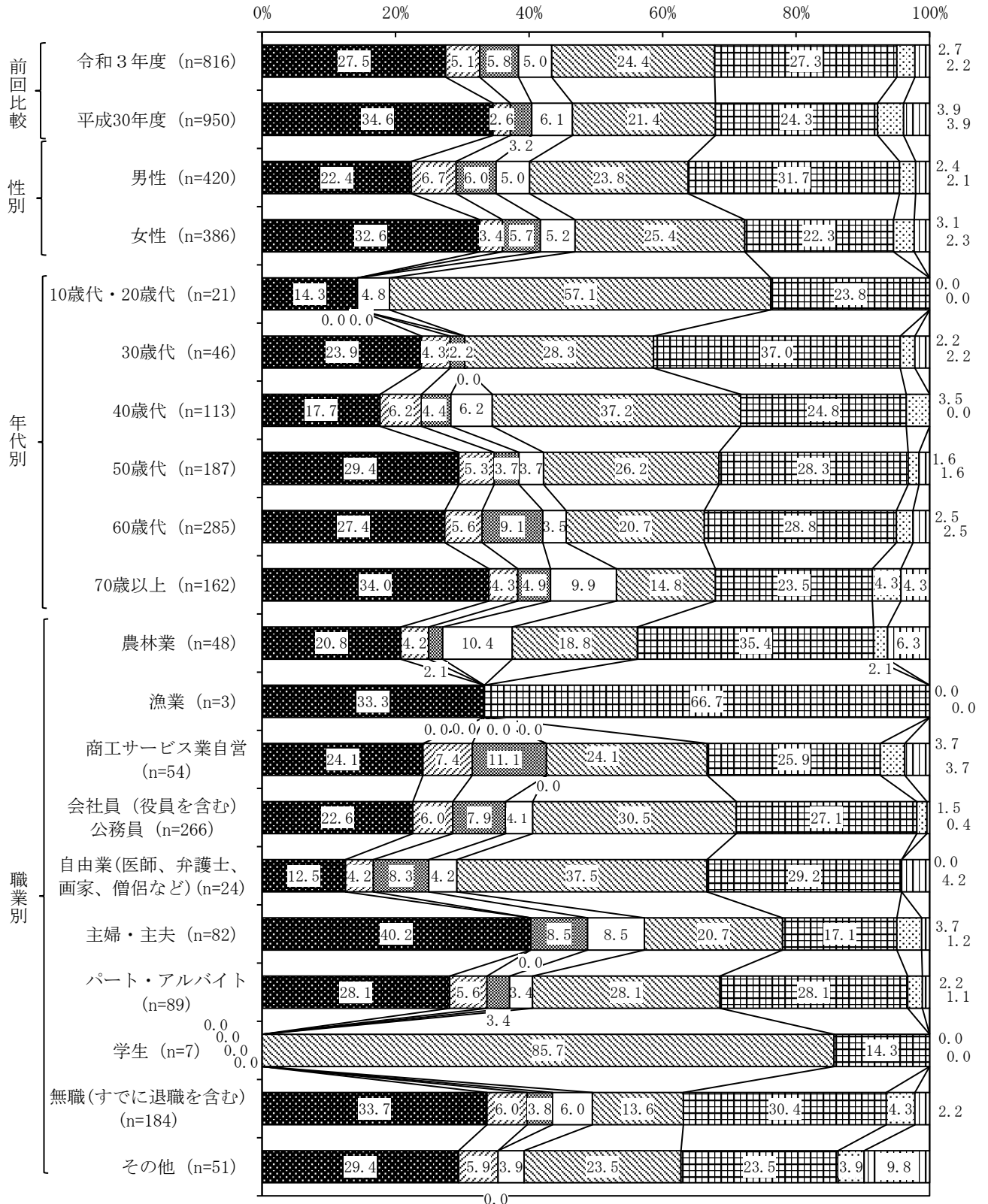
10歳代・20歳代では「記憶している」が57.1%と最も高くなっており、他の年代と比べても特に高い。

【職業別】

「お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている」は主婦・主夫が40.2%と特に高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている
- お薬手帳（電子版）を利用しており、スマートフォンを常に持ち歩いている
- 携帯電話でお薬手帳の情報を写真に納め、常に持ち歩いている
- 薬と一緒にもらった薬剤情報提供書を常に持ち歩いている
- 記憶している
- 特にない
- その他
- 無回答

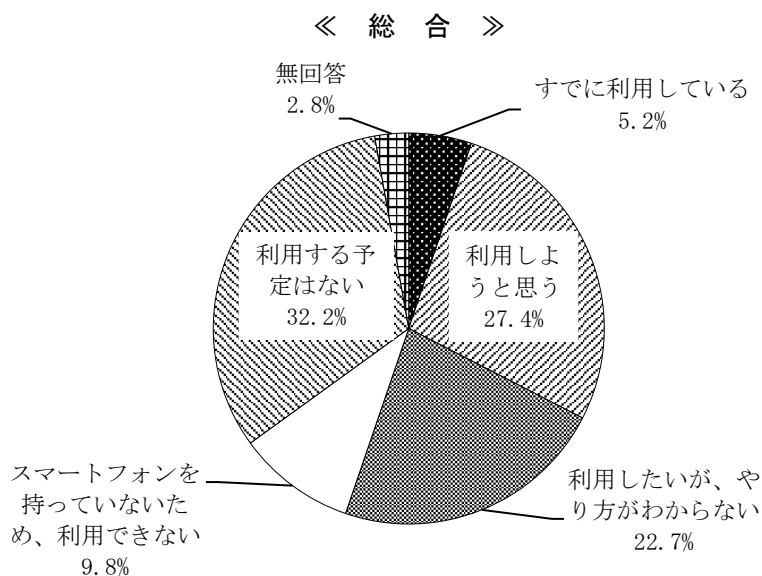


問28 スマートフォンでのお薬手帳（電子版）を利用したいか

問28 お薬手帳（電子版）は、スマートフォン内で情報管理ができるため、ご自身に加え、ご家族の服薬情報も保管でき、携帯性が高いため、災害時には大変有用なツールとなりますが、あなたは利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

※お薬手帳（電子版）はスマートフォンでのみ利用可能

お薬手帳のスマートフォンでの利用意向は、「利用する予定はない」が32.2%で最も高く、次いで「利用しようと思う」27.4%、「利用したいが、やり方がわからない」22.7%と続いている。



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度では平成30年度と比較して、「利用しようと思う」が8.7ポイント上昇し、「スマートフォンを持っていないため、利用できない」が14.6ポイント低くなっている。

【性別】

男性は、「利用する予定はない」が34.4%と女性の29.4%より5ポイント高くなっており、女性は、「利用したいが、やり方がわからない」が25.8%と男性の19.8%より6ポイント高くなっている。

【年代別】

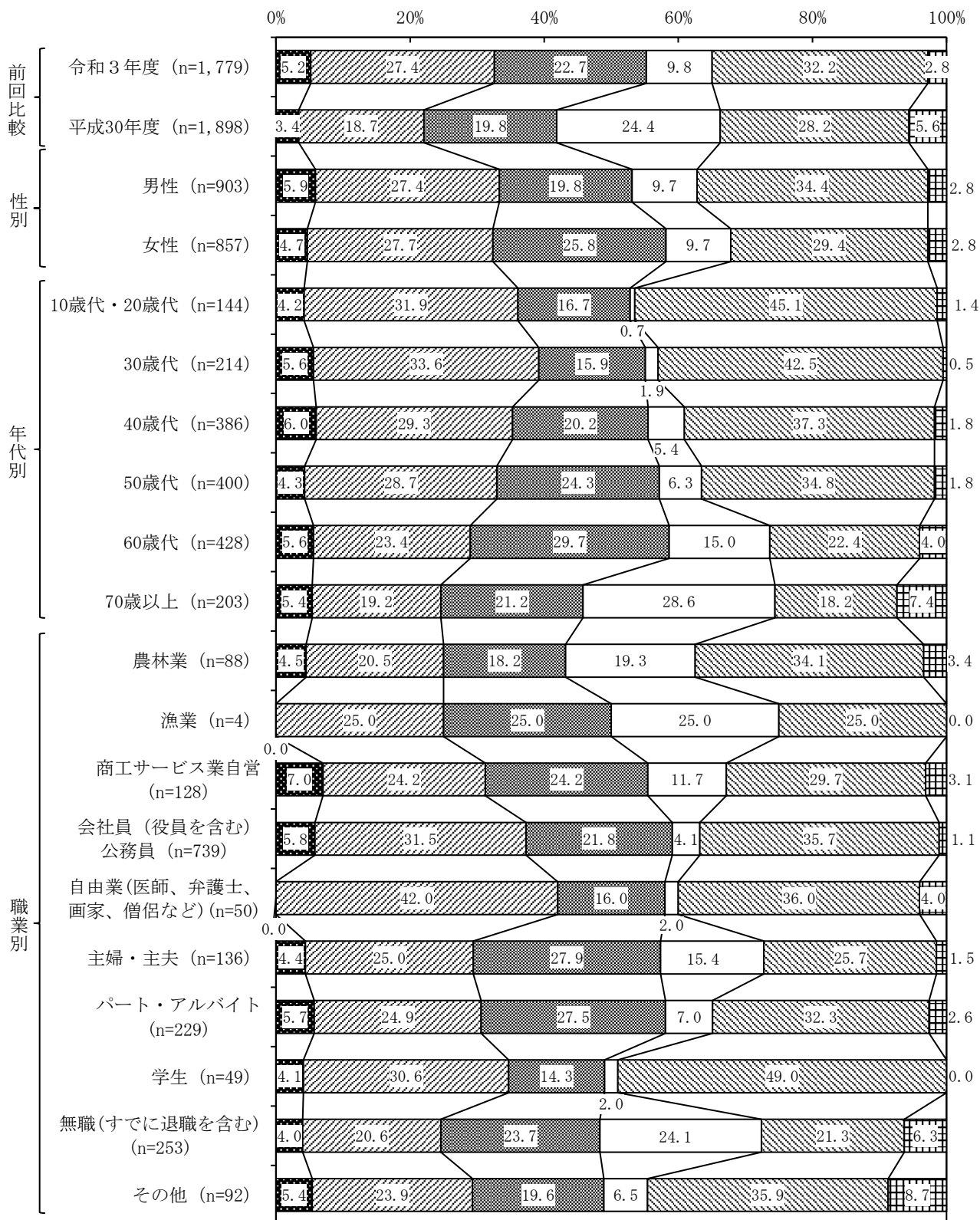
「利用する予定はない」は、年代が下がるほど割合が高く、10歳代・20歳代が45.1%で最も高い。

【職業別】

自由業は「利用しようと思う」の割合が42.0%と最も高く、学生は「利用する予定はない」が49.0%と最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

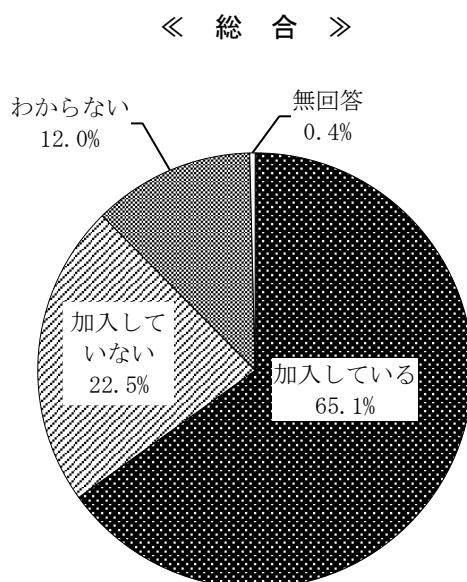
- すでに利用している
- 利用しようと思う
- 利用したいが、やり方がわからない
- スマートフォンを持っていないため、利用できない
- 利用する予定はない
- 無回答



問29 地震に備えるための保険や共済に加入しているか

問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

地震に備えるための保険や共済などの加入状況は、「加入している」が65.1%と最も高く、次いで「加入していない」22.5%、「わからない」12.0%となっている。



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度は、平成30年度と比較して、大きな差はない。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

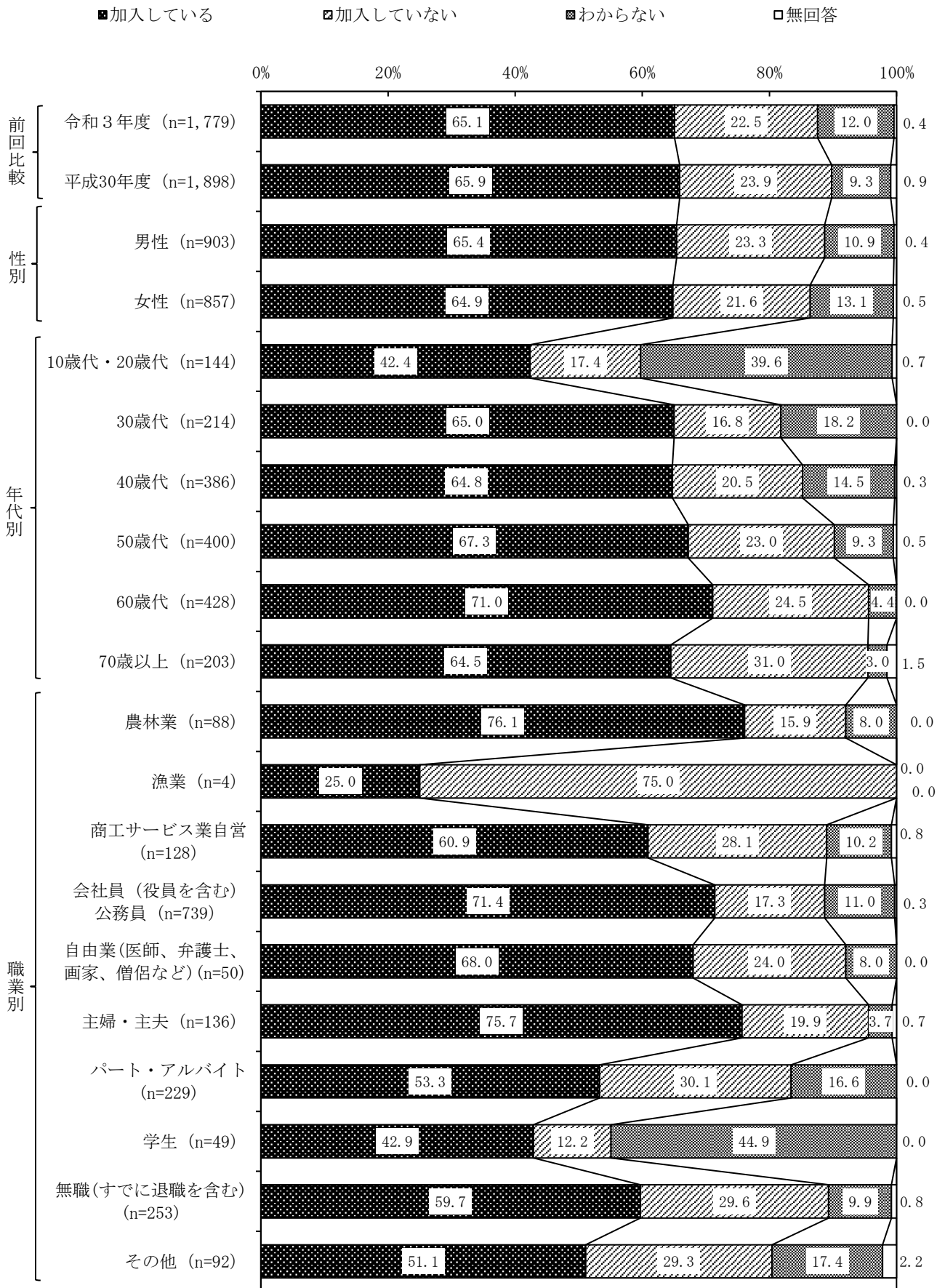
【年代別】

10歳代・20歳代は「わからない」の割合が他の年代と比較して最も高い。「加入している」では60歳代が71.0%と最も高くなっている。

【職業別】

漁業と学生を除くすべての職業区分で「加入している」が最も高くなっている。

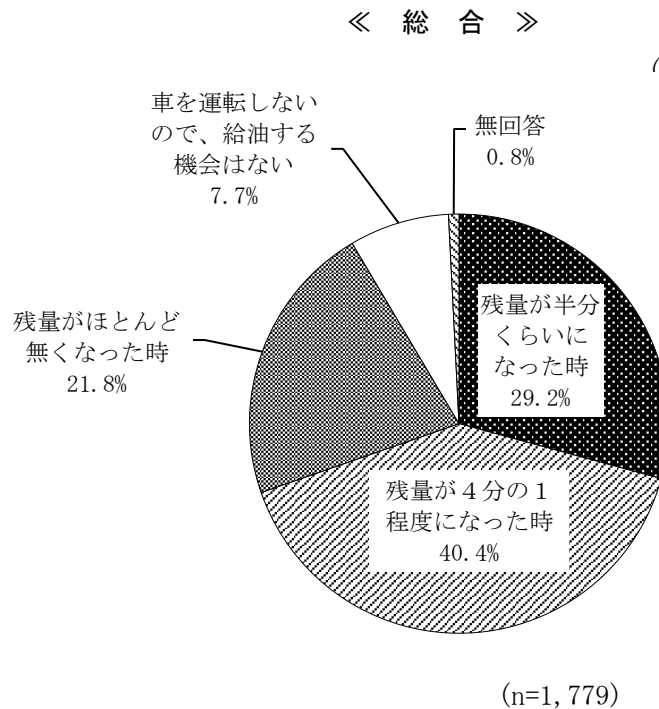
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問30 車に給油するタイミング

問30 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(ひとつだけ○)

車に給油するタイミングは、「残量が4分の1程度になった時」が40.4%と最も高く、次いで「残量が半分くらいになった時」29.2%、「残量がほとんど無くなった時」21.8%となっている。



【前回比較】

令和3年度は平成30年度と比較して、「残量が半分くらいになった時」が9.5ポイント高くなり、「残量がほとんど無くなった時」は5.3ポイント低くなっている。

【性別】

「残量が半分くらいになった時」は性別による差はほとんどない。女性は「車を運転しないので、給油する機会はない」と回答した人の割合が男性より6.2ポイント高い。

【年代別】

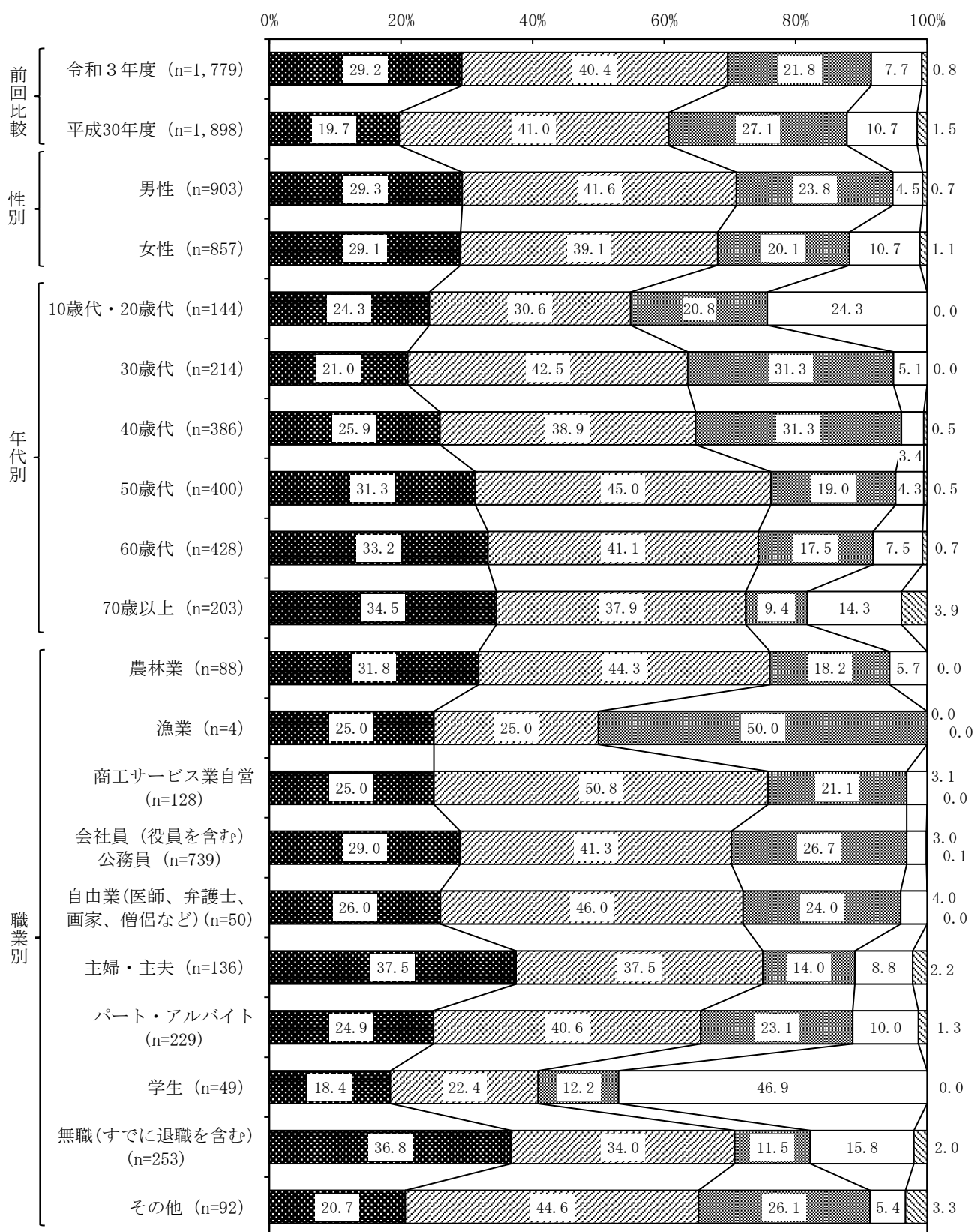
すべての年代で「残量が4分の1程度になった時」が最も高くなっているが、30歳代、40歳代では「残量がほとんど無くなった時」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「残量が半分くらいになった時」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

【職業別】

漁業は「残量がほとんど無くなった時」、学生は「車を運転しないので、給油する機会はない」、無職は「残量が半分くらいになった時」、それ以外の職業は「残量が4分の1程度になった時」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 残量が半分くらいになった時
- ▨ 残量が4分の1程度になった時
- ▩ 残量がほとんど無くなった時
- 車を運転しないので、給油する機会はない
- ◻ 無回答

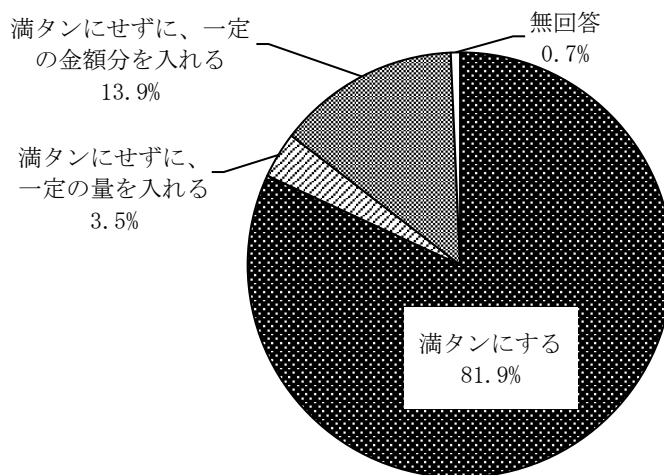


問31 ガソリンの給油量

問31 問30で「1. 残量が半分くらいになった時」、「2. 残量が4分の1程度になった時」、「3. 残量がほとんど無くなった時」と回答した人におたずねします。普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。（ひとつだけ○）

ガソリンスタンドで給油する量は、「満タンにする」が81.9%と最も高く、次いで「満タンにせずに、一定の金額分を入れる」13.9%、「満タンにせずに、一定の量を入れる」3.5%となっている。

《 総 合 》



(n = 1,627)

【前回比較】

令和3年度と平成30年度では、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

【年代別】

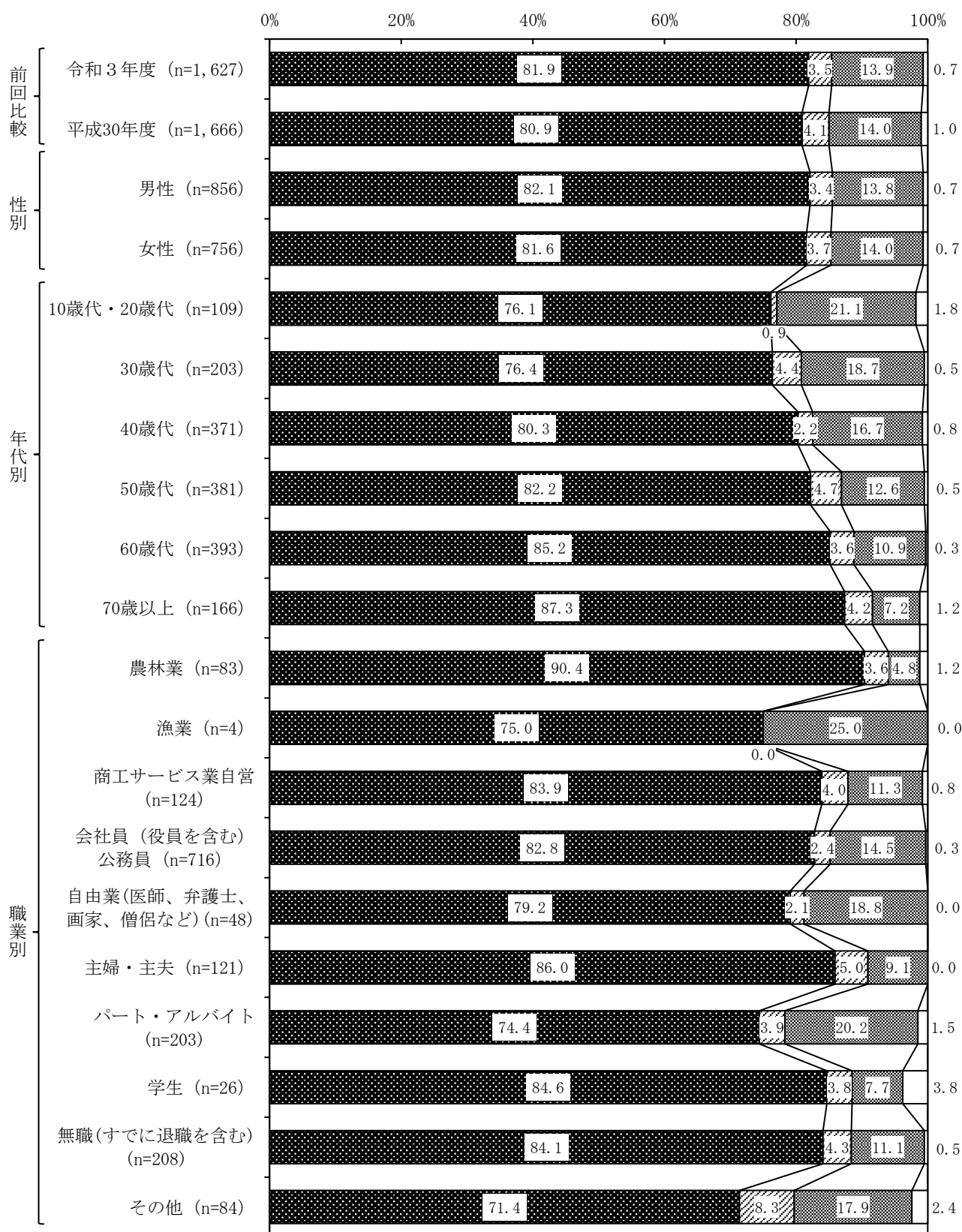
すべての年代で「満タンにする」が最も高く、年代が高くなれば割合も高い傾向にある。

【職業別】

すべての職業で「満タンにする」が最も高く、いずれも70%を超えている

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

■満タンにする ▨満タンにせずに、一定の量を入れる ▩満タンにせずに、一定の金額分を入れる □無回答

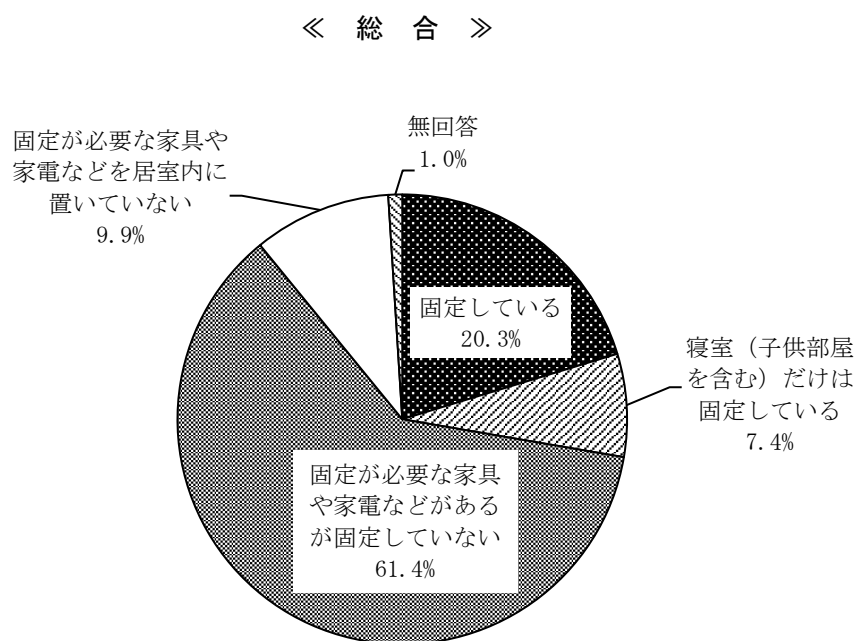


(4) 地震の揺れ対策について

問32 家具や家電などを固定しているか

問32 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

家具や家電の固定については、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が61.4%と最も高く、次いで「固定している」20.3%、「固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない」9.9%と続いている。



(n=1,779)

【前回比較】

「固定している」は、令和3年度が20.3%、平成30年度で17.1%と、3.2ポイント増加している。

【性別】

男性は「固定している」は21.9%と、女性の18.4%よりも3.5ポイント高くなっており、それ以外では大きな差は見られない。

【年代別】

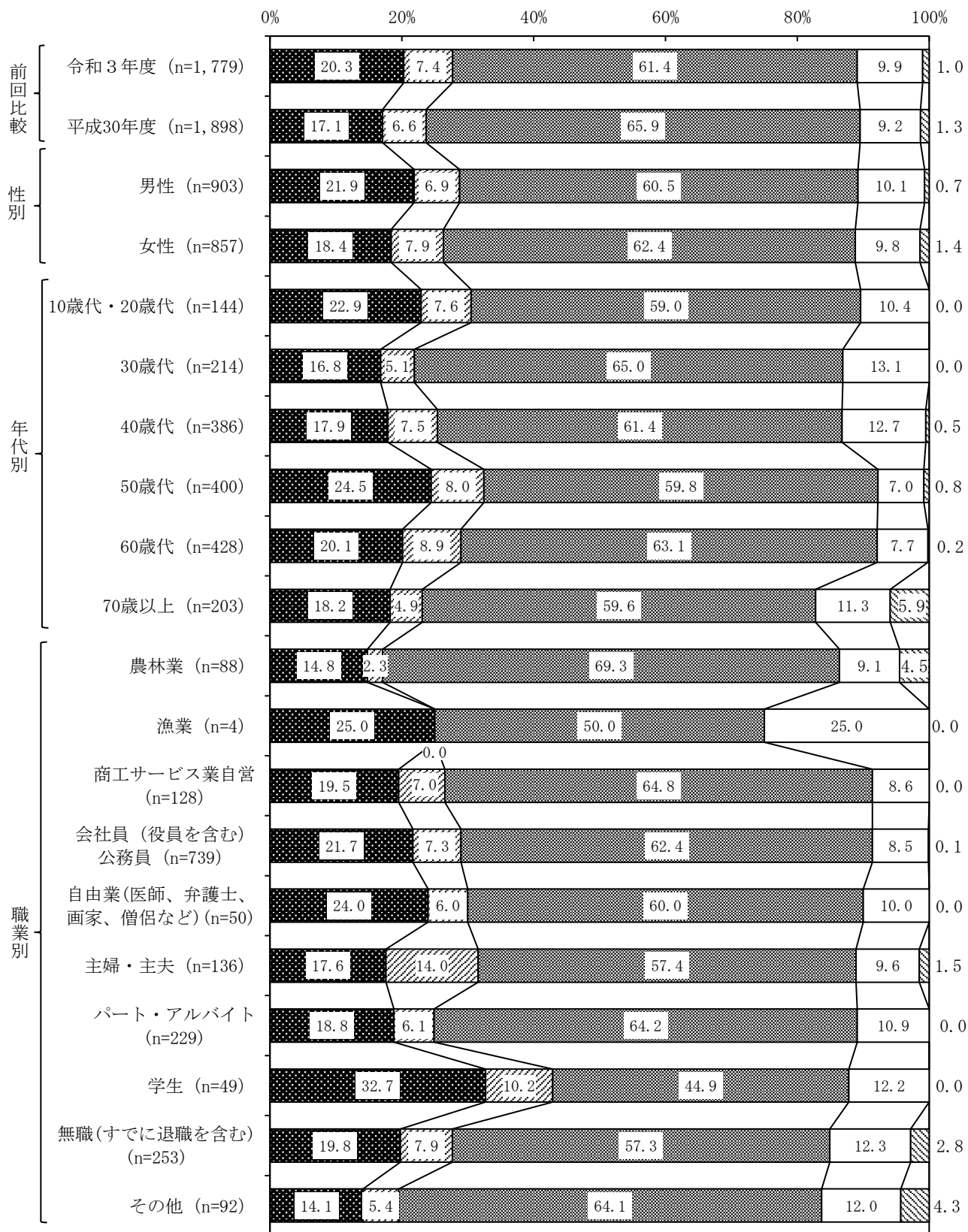
すべての年代で「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。また、50歳代では「固定している」が他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

すべての職業で、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。また、学生は「固定している」が他の職業よりも高い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 固定している
- 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している
- 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない
- 固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない
- 無回答



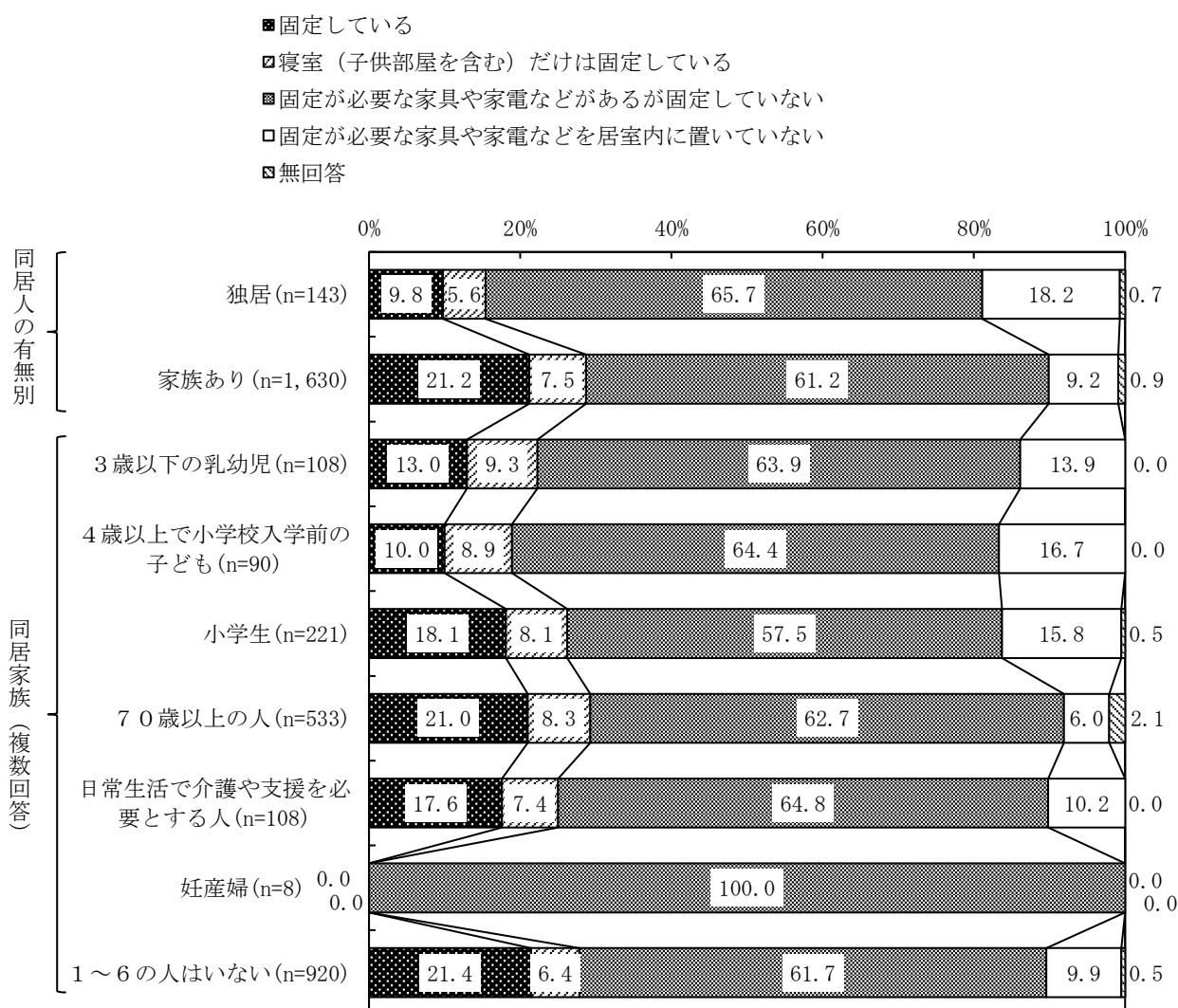
【同居人の有無別】

同居人の有無にかかわらず、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高いが、家族あり世帯では「固定している」が21.2%と、独居世帯の9.8%より11.4ポイント高くなっている。

【同居家族別】

「妊産婦」は、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が100.0%と、他の同居家族別と比較しても高い割合となっている。

《同居人の有無別・同居家族別》



問3 × 問32 危機意識と家具等の固定とのクロス分析

「自宅や地域にどのような危険があるか」という問いに対して「揺れで、家具が転倒する」と回答した方のうち「固定している」と回答した方は19.3%となっており、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」の約3分の1にとどまっている。

上段：人数

下段：%

		問32				
		固定している	は寝室（子供部屋を含む）だけは固定している	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	無回答
問3	揺れで、建物に被害が出る	281 19.6	106 7.4	922 64.2	118 8.2	10 0.7
	揺れで、家具が転倒する	260 19.3	98 7.3	881 65.4	100 7.4	8 0.6
	火災	145 20.6	50 7.1	457 64.9	49 7.0	3 0.4
	津波	184 21.1	63 7.2	532 61.1	87 10.0	5 0.6
	山崩れ、がけ崩れ	118 19.8	45 7.6	370 62.1	56 9.4	7 1.2
	危険はない	6 30.0	1 5.0	8 40.0	4 20.0	1 5.0
	その他	12 21.1	2 3.5	38 66.7	5 8.8	- -
	無回答	1 16.7	- -	2 33.3	- -	3 50.0

問5×問32 普段、情報をよく収集するメディアと家具や家電などを固定しているかとのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアすべてで「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高い割合となっている。

上段：人数
下段：%

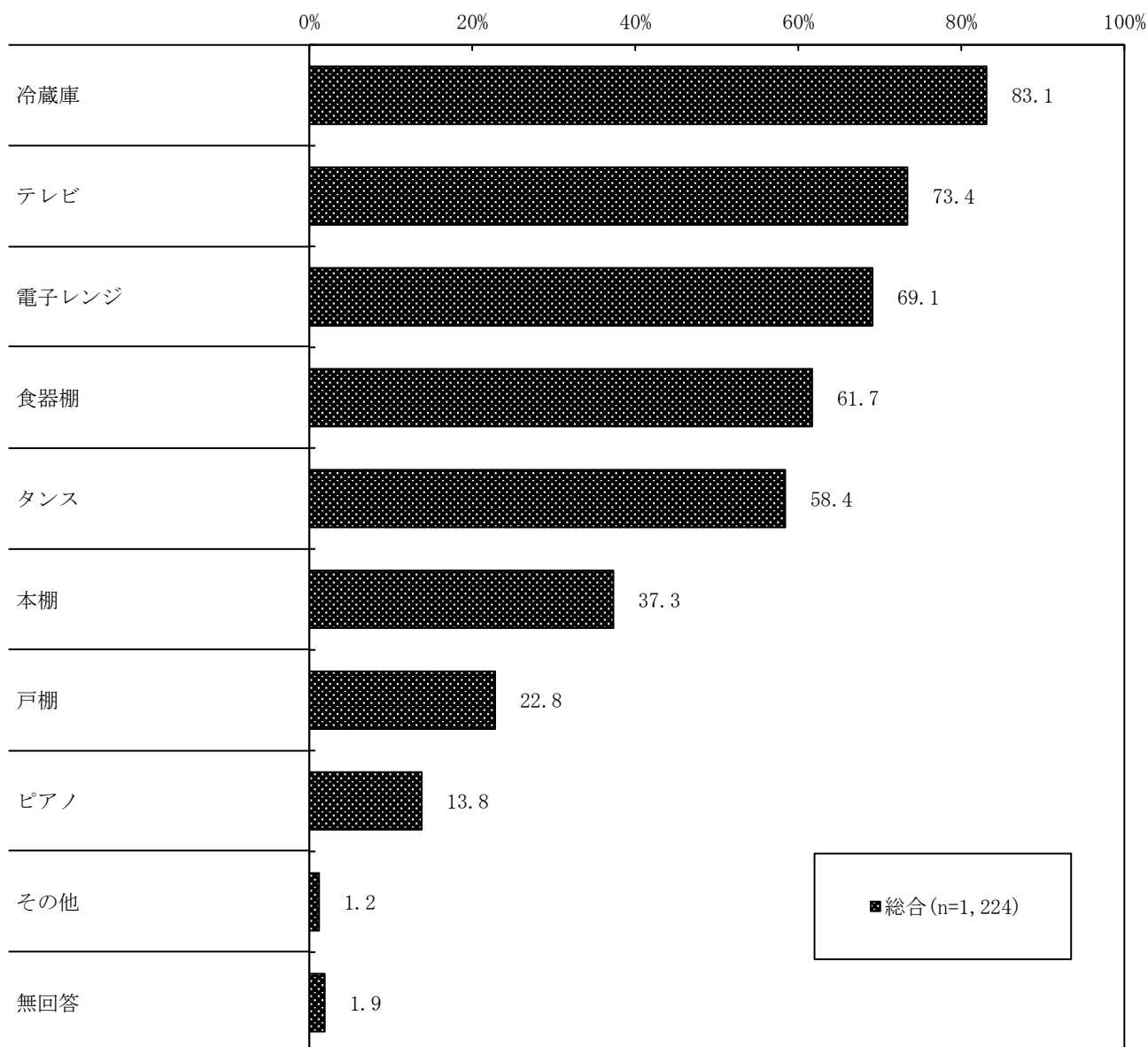
		問5						
		新聞	テレビ	ラジオ	インターネット （パソコン、スマートフォン等）	板 街頭のチラシ、ポスター、掲示	その他	無回答
問 32	固定している	126 34.9	294 81.4	22 6.1	223 61.8	6 1.7	1 0.3	1 0.3
	寝室（子供部屋を含む） だけは固定している	43 32.8	110 84.0	14 10.7	83 63.4	2 1.5	1 0.8	- -
	固定が必要な家具や家電 などがあるが固定していない	318 29.1	934 85.5	87 8.0	651 59.6	13 1.2	3 0.3	- -
	固定が必要な家具や家電 などを居室内に置いていない	49 27.8	136 77.3	13 7.4	109 61.9	2 1.1	1 0.6	1 0.6
	無回答	6 33.3	13 72.2	6 33.3	4 22.2	1 5.6	- -	1 5.6

問33 固定していない家具や家電は何か

問33 問32で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。固定していない家具や家電などとは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

固定していない家具や家電は、「冷蔵庫」が83.1%と最も高く、次いで、「テレビ」73.4%、「電子レンジ」69.1%と続いている。

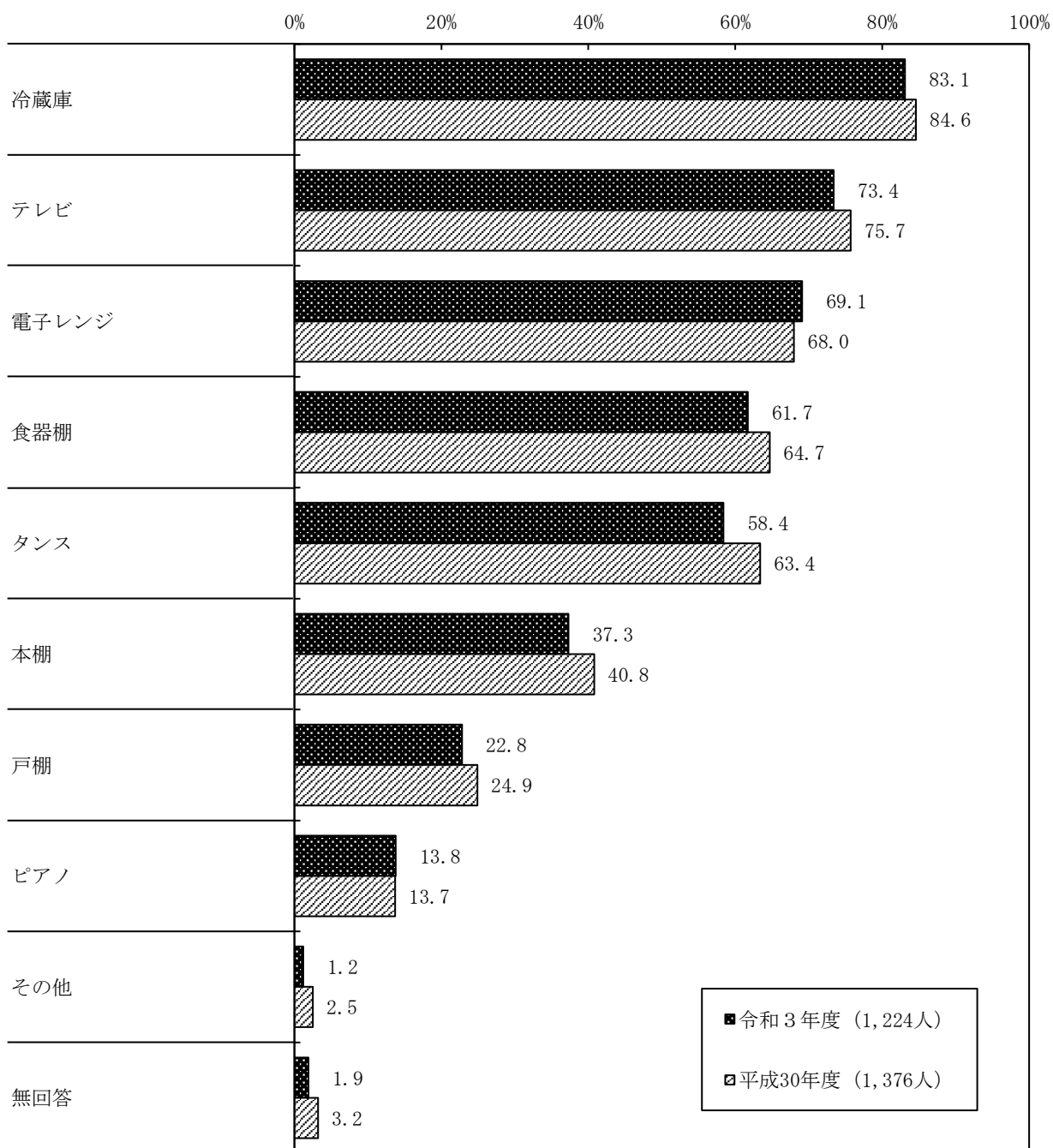
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度と平成30年度では、あまり大きな差は見られなかった。

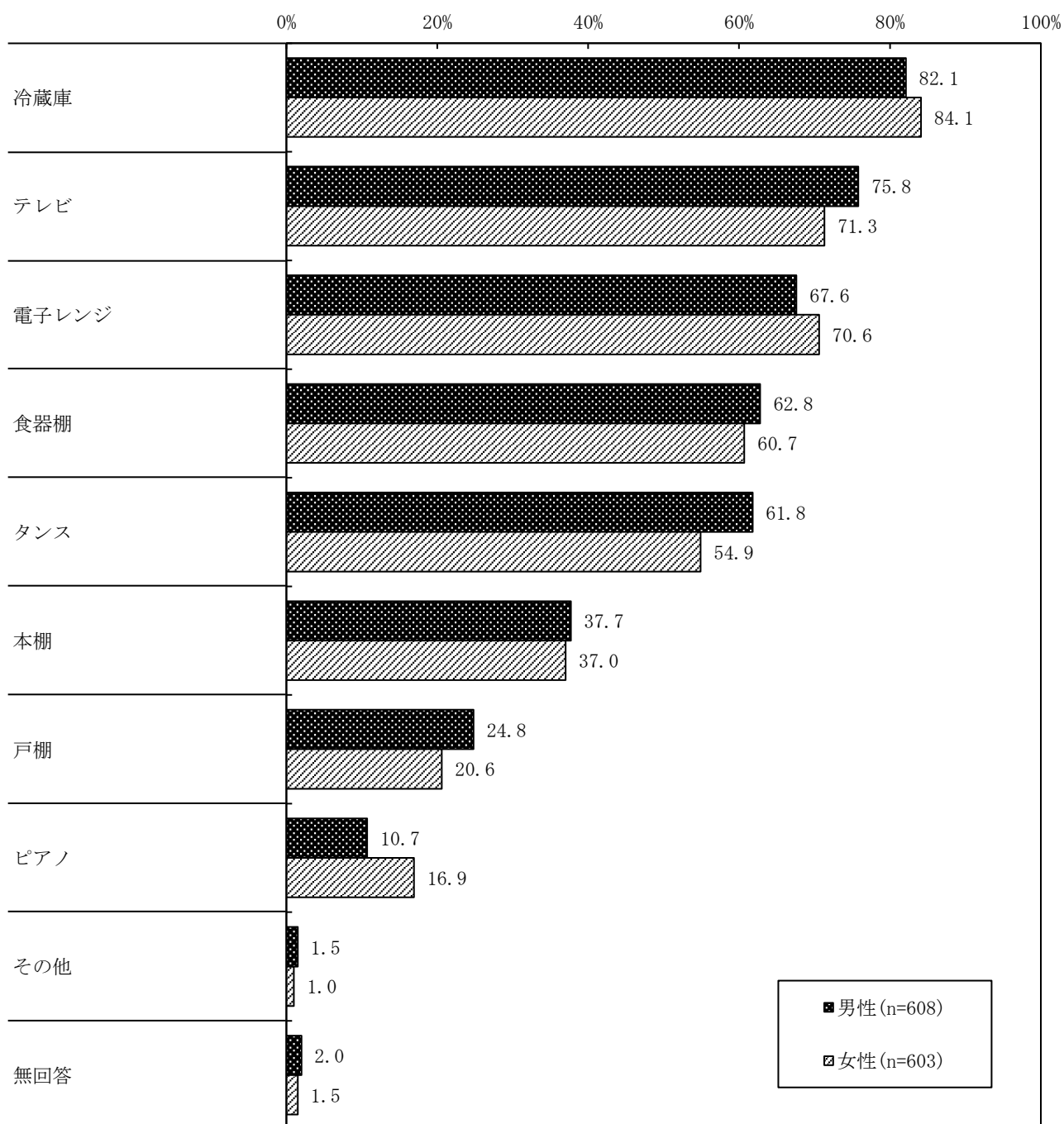
《 前 回 比 較 》



【性別】

「冷蔵庫」、「電子レンジ」、「ピアノ」では女性が、「テレビ」、「食器棚」、「タンス」、「戸棚」では男性が高くなっている。

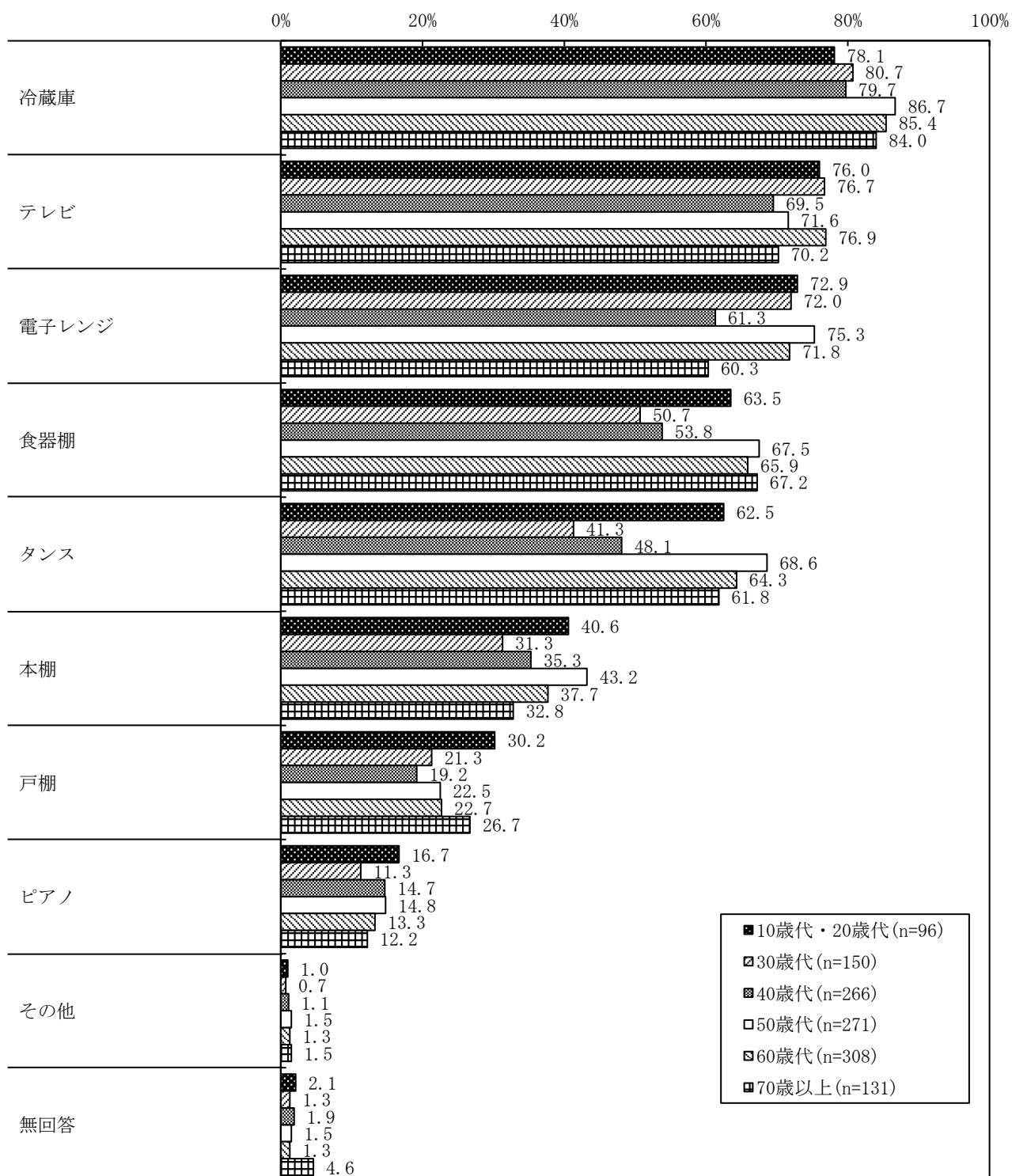
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「冷蔵庫」が最も高くなっている。また、50歳代は「電子レンジ」が、50歳代以外の年代は「テレビ」が2番目に高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

学生を除くすべての職業で「冷蔵庫」が、学生は「電子レンジ」が最も高くなっている。また、農林業及び商工サービス業自営は「タンス」が他の職業よりも高い割合となっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

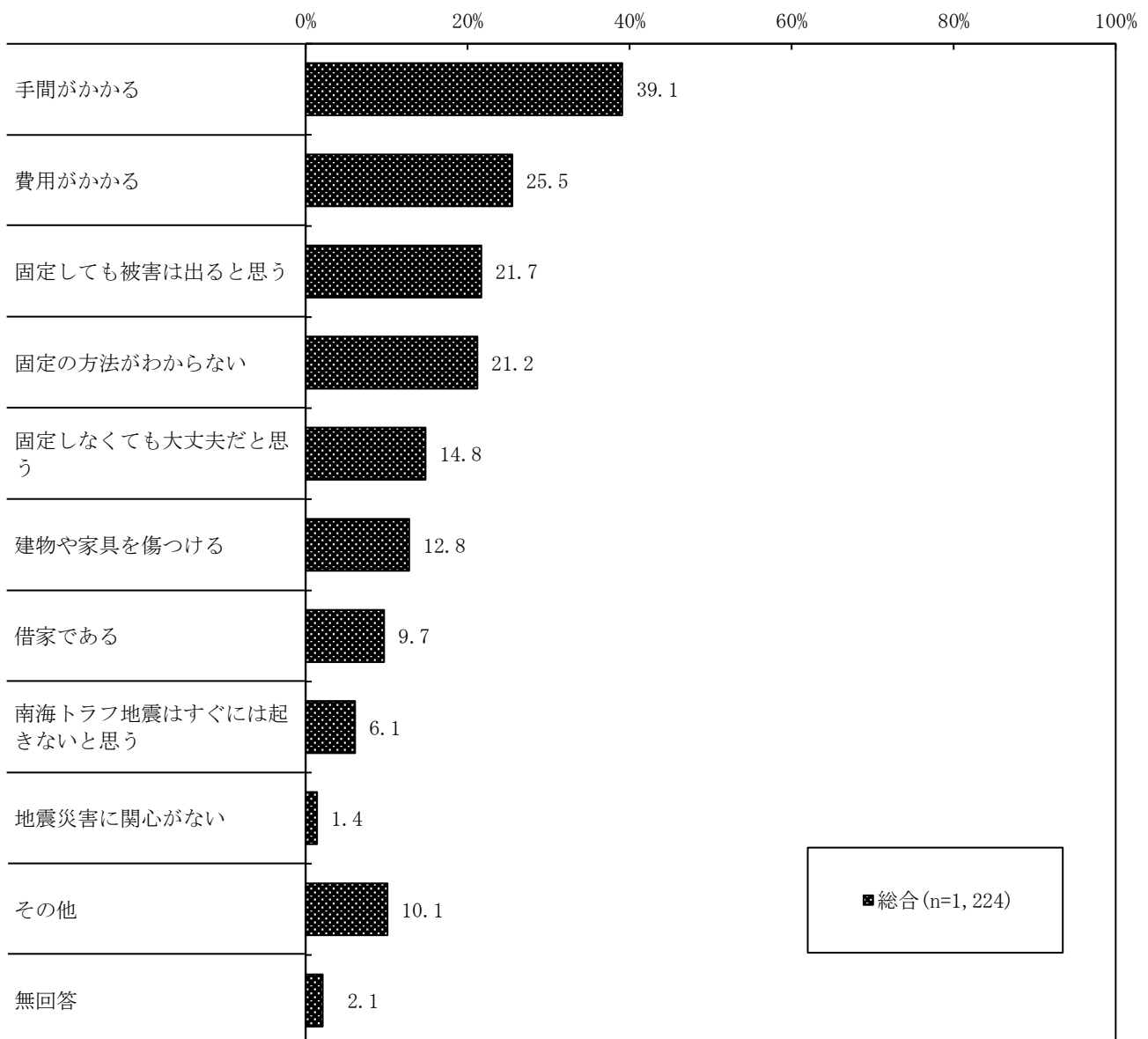
項 目 属 性	冷蔵庫	テレビ	電子レンジ	食器棚	タンス	本棚	戸棚	ピアノ	その他	無回答
農林業(n=63)	79.4	76.2	61.9	68.3	71.4	33.3	19.0	12.7	1.6	1.6
漁業(n=2)	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-
商工サービス業自営(n=92)	85.9	75.0	72.8	68.5	68.5	53.3	32.6	10.9	1.1	1.1
会社員(役員を含む)、公務員(n=515)	81.9	73.4	66.8	58.4	56.5	37.7	20.0	14.8	1.0	2.3
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=33)	75.8	63.6	69.7	72.7	57.6	39.4	30.3	9.1	3.0	9.1
主婦・主夫(n=97)	88.7	61.9	74.2	60.8	45.4	30.9	18.6	14.4	1.0	1.0
パート・アルバイト(n=161)	82.0	73.9	67.1	60.2	58.4	36.6	19.3	12.4	0.6	-
学生(n=27)	70.4	77.8	85.2	55.6	59.3	40.7	33.3	25.9	-	-
無職(すでに退職を含む)(n=165)	86.7	77.0	69.7	65.5	61.2	33.3	30.9	12.1	1.8	2.4
その他(n=64)	85.9	75.0	76.6	60.9	59.4	35.9	21.9	17.2	3.1	1.6

問34 固定していない理由

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

家具を固定していない理由は、「手間がかかる」が39.1%と最も高く、次いで「費用がかかる」25.5%、「固定しても被害は出ると思う」21.7%と続いている。

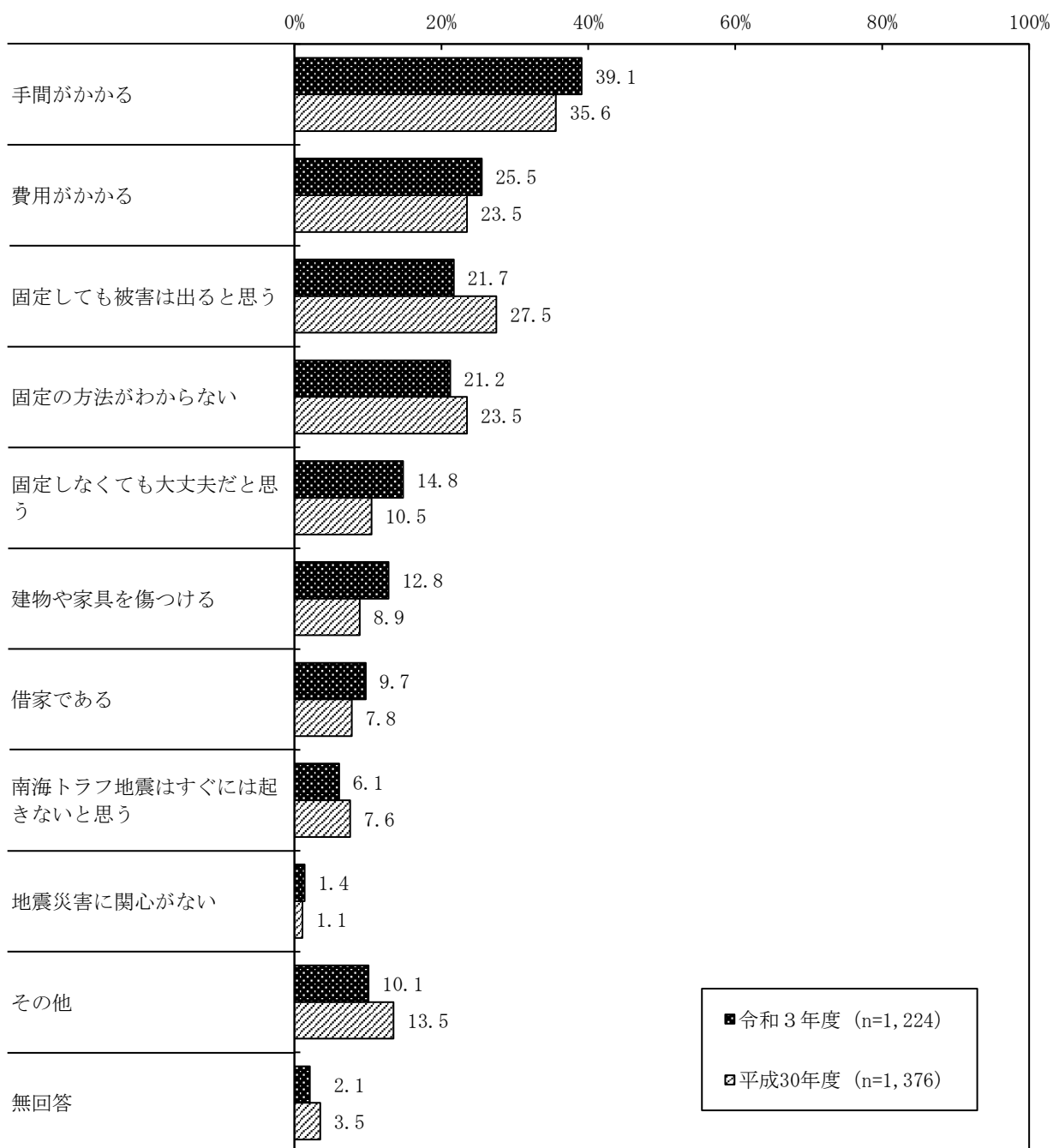
《 総 合 》



【前回比較】

多くの項目で前回よりも割合が増加している。一方、「固定しても被害は出ると思う」は21.7%で、平成30年度の27.5%より5.8ポイント低くなっている。

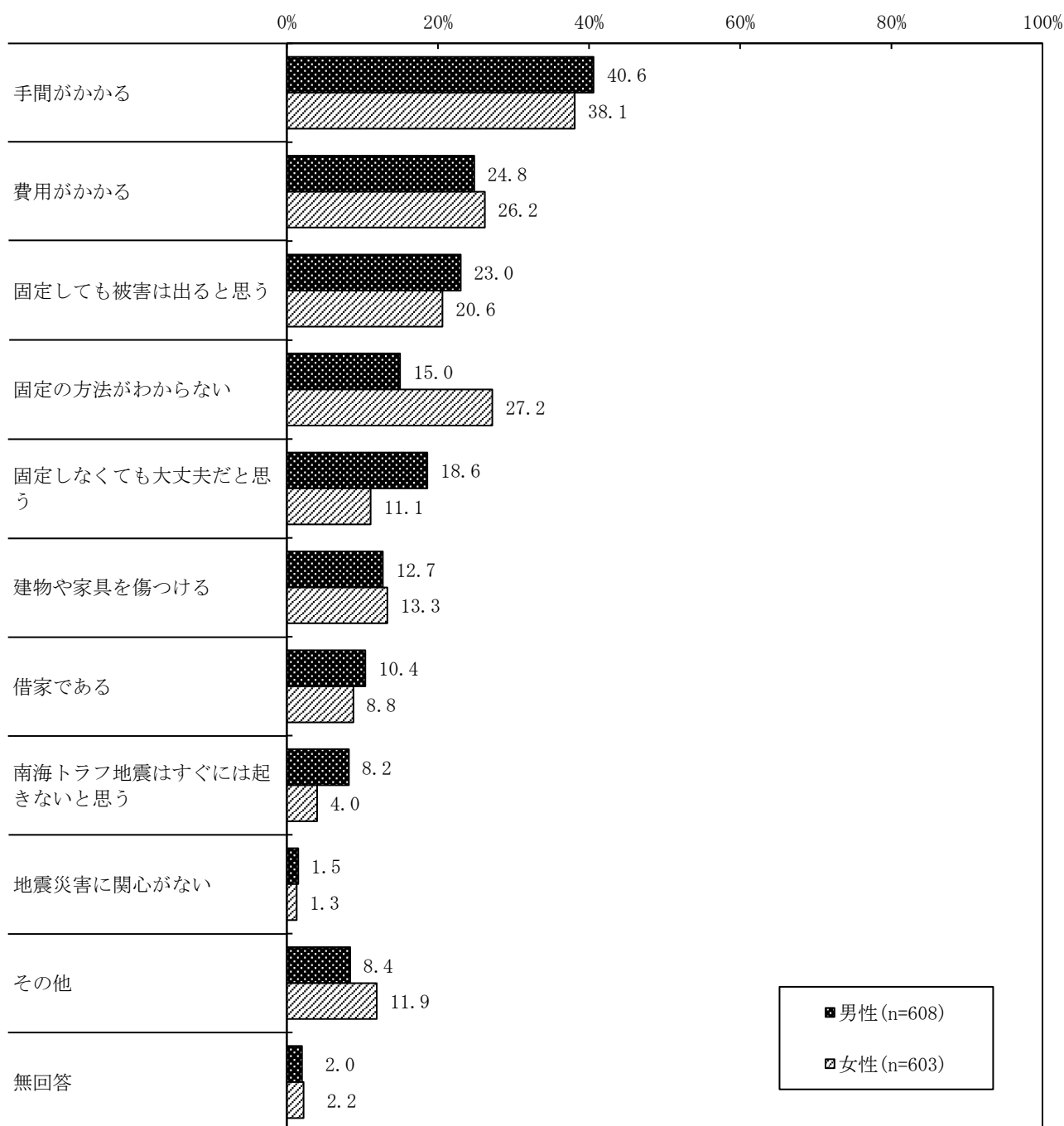
《 前 回 比 較 》



【性別】

男性は女性に比べて「固定しなくても大丈夫だと思う」が7.5ポイント高く、女性は男性に比べて「固定の方法がわからない」が12.2ポイント高くなっている。

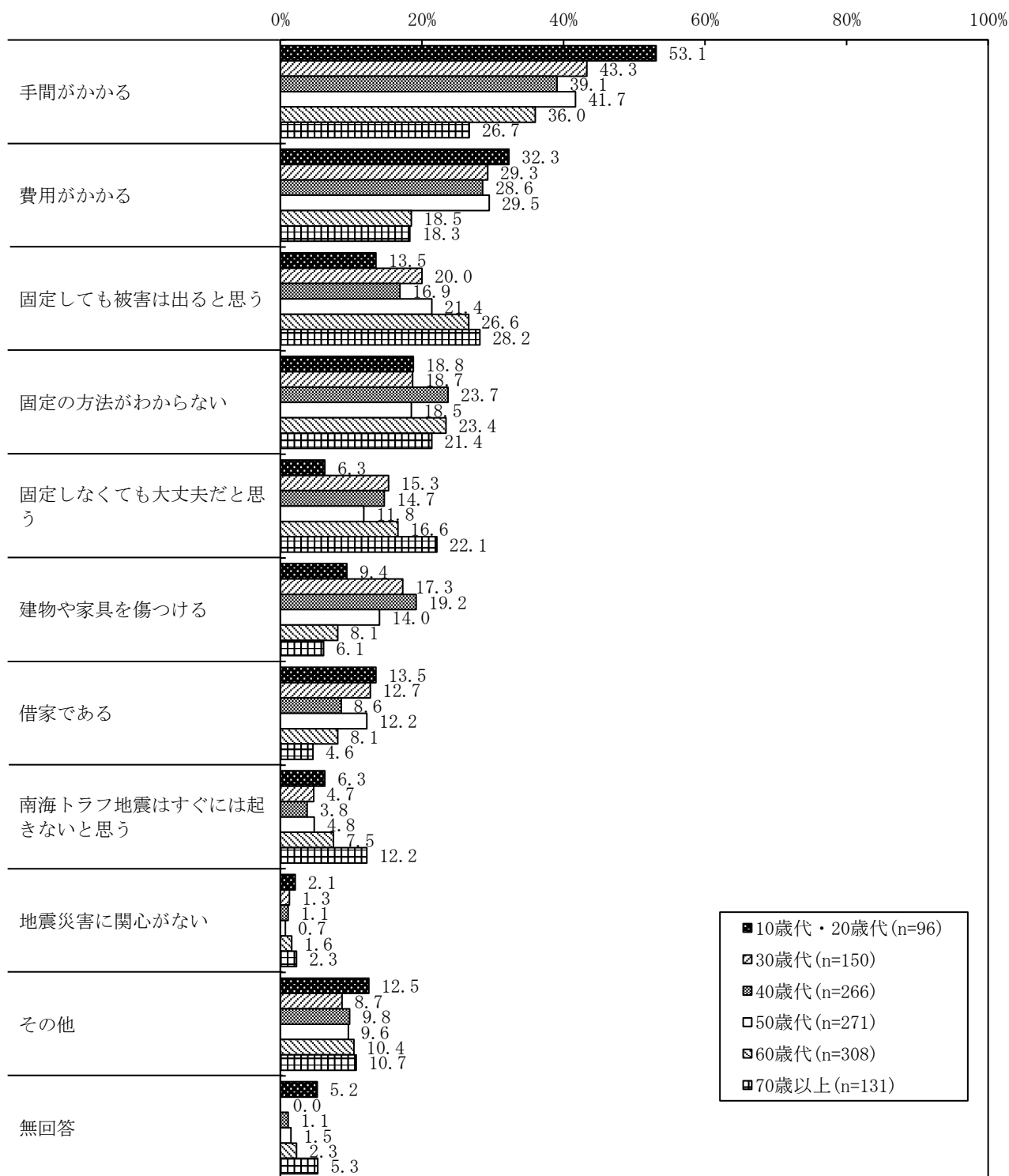
《 性別 》



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「手間がかかる」が最も高く、10歳代・20歳代では50%を超えている。

《 年 代 別 》



【職業別】

その他以外のすべての職業で「手間がかかる」が、その他は「費用がかかる」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	手間がかかる	費用がかかる	固定しても被害は出ると思う	固定の方法がわからない	固定しなくても大丈夫だと思う	建物や家具を傷つける	借家である	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答
農林業 (n=63)	38.1	22.2	19.0	12.7	19.0	9.5	6.3	11.1	-	7.9	4.8
漁業 (n=2)	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=92)	43.5	20.7	25.0	20.7	15.2	9.8	4.3	9.8	3.3	7.6	1.1
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=515)	42.1	26.8	17.7	18.4	15.9	16.9	9.3	5.6	1.6	9.3	1.2
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=33)	39.4	15.2	24.2	18.2	15.2	3.0	9.1	12.1	-	12.1	3.0
主婦・主夫 (n=97)	32.0	14.4	19.6	25.8	17.5	14.4	8.2	6.2	1.0	7.2	2.1
パート・アルバイト (n=161)	34.8	28.6	27.3	26.1	8.7	11.8	13.0	4.3	0.6	10.6	2.5
学生 (n=27)	51.9	33.3	14.8	18.5	3.7	7.4	7.4	-	-	22.2	11.1
無職 (すでに退職を含む) (n=165)	35.8	24.2	26.7	24.8	17.6	7.3	8.5	6.1	1.8	12.1	3.0
その他 (n=64)	34.4	37.5	28.1	23.4	9.4	10.9	21.9	4.7	1.6	12.5	1.6

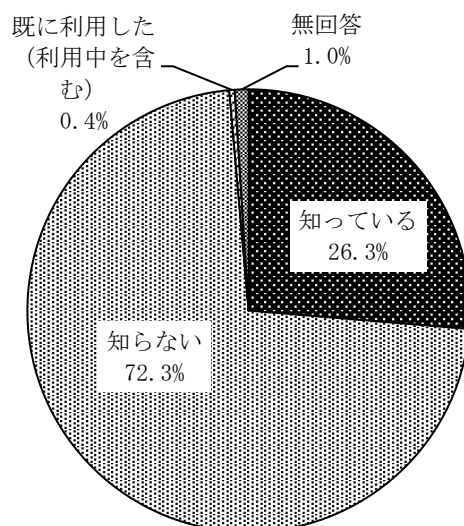
問35 補助制度を知っているか

問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

家具固定の補助制度は「知らない」が72.3%と最も高く、次いで「知っている」26.3%、「既に利用した(利用中を含む)」0.4%と続いている。

《 総 合 》



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度では「知っている」が26.3%と、平成30年度の21.7%より4.6ポイント高くなっている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

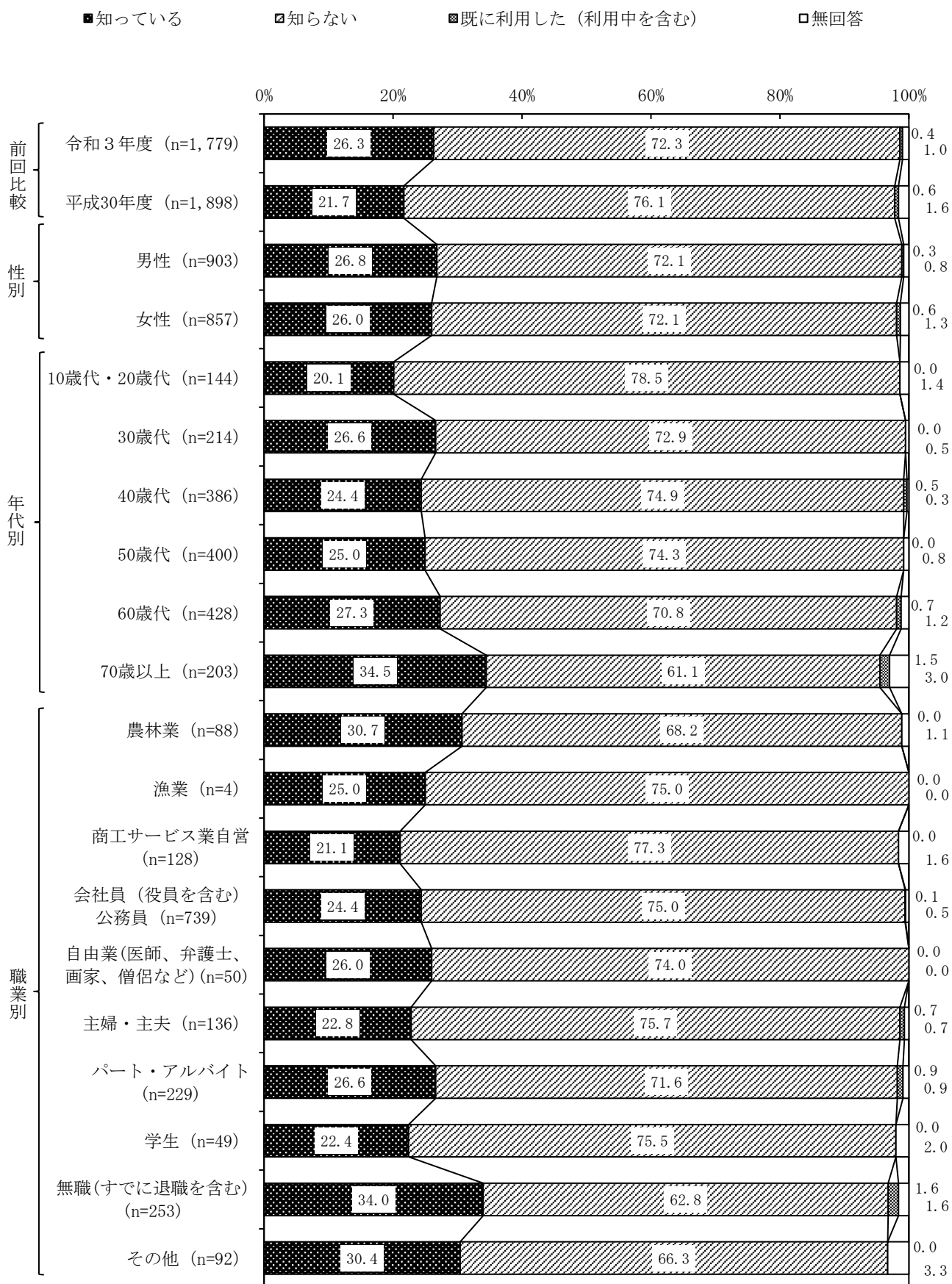
【年代別】

70歳以上は「知っている」が34.5%と、他の年代と比べて最も高い割合となっている。

【職業別】

農林業、無職、その他は「知っている」が30%を超えており、他の職業より割合が高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問34×問35 家具等を固定していない理由と補助制度の認知度とのクロス分析

「家具を固定していない理由」という問いに対して、「費用がかかる」と回答したうち、補助制度を「知らない」と回答した方は78.8%となっている。

上段：人数
下段：%

		問35			
		知っている	知らない	既にご利用した (利用中を含む)	無回答
問 34	建物や家具を傷つける	30 19.1	127 80.9	- -	- -
	固定の方法がわからない	44 17.0	213 82.2	- -	2 0.8
	借家である	31 26.1	88 73.9	- -	- -
	費用がかかる	63 20.2	246 78.8	- -	3 1.0
	手間がかかる	100 20.9	378 78.9	1 0.2	- -
	固定しなくても大丈夫 だと思う	52 28.7	127 70.2	1 0.6	1 0.6
	固定しても被害は出 ると思う	62 23.4	200 75.5	1 0.4	2 0.8
	南海トラフ地震はすぐ には起きないと思う	18 24.0	57 76.0	- -	- -
	地震災害に関心がない	3 17.6	14 82.4	- -	- -
	その他	32 25.8	90 72.6	- -	2 1.6
	無回答	9 34.6	16 61.5	- -	1 3.8

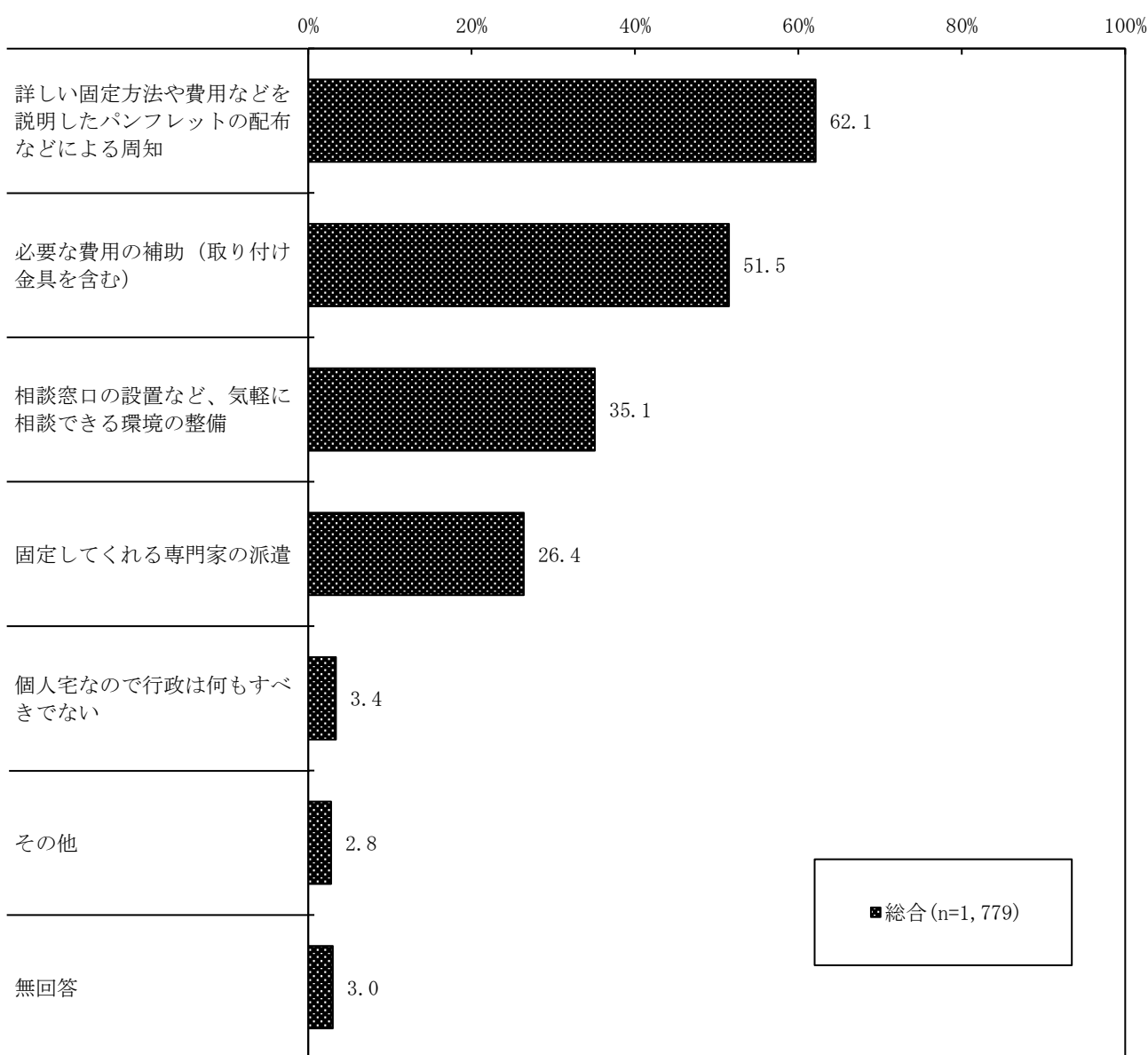
問36 固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

固定を促進するために県や市町村で行うことは、「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が62.1%と最も高く、次いで「必要な費用の補助(取り付け金具を含む)」51.5%、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」35.1%と続いている。

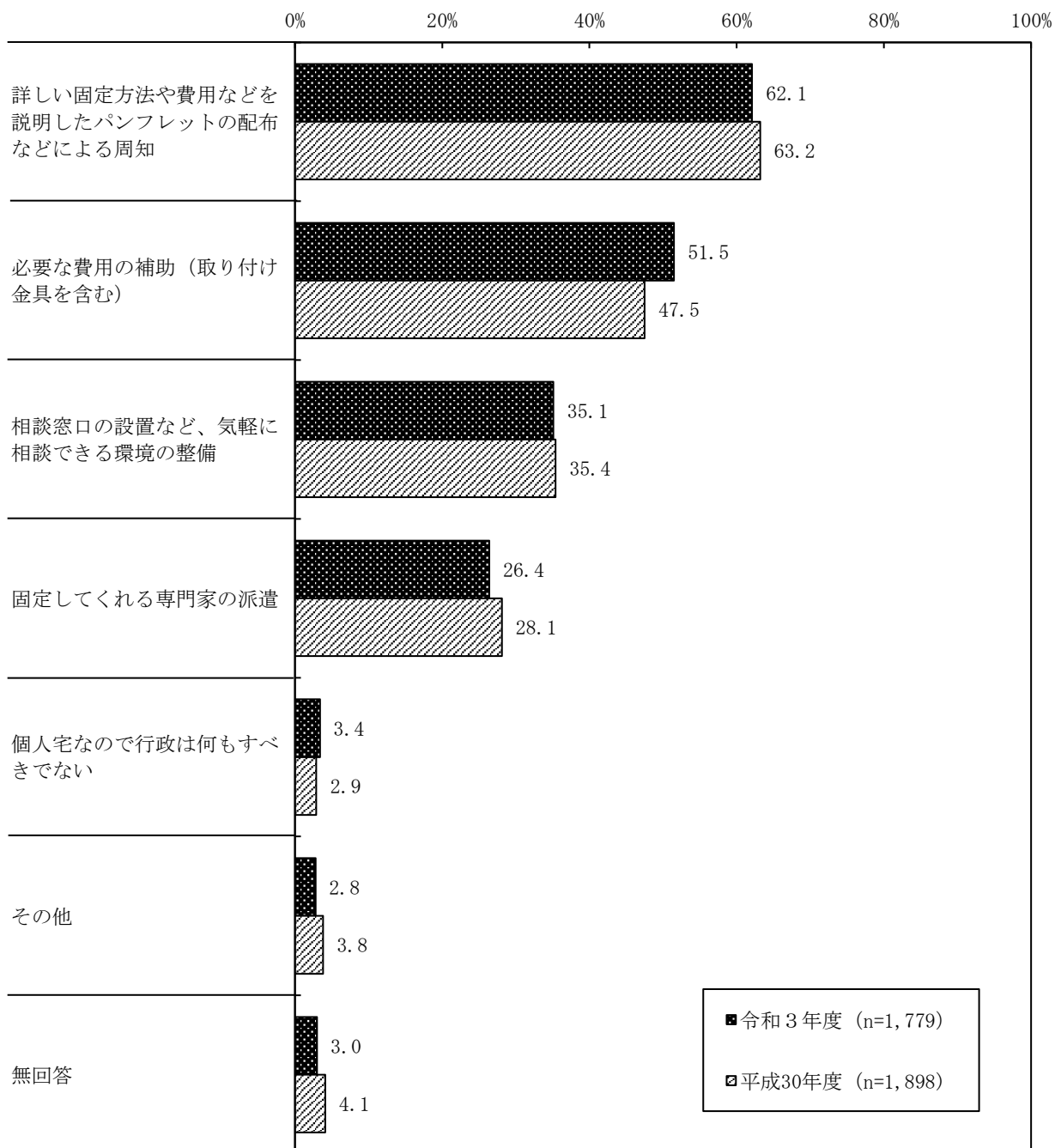
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度と平成30年度は、ともに同じ傾向で、大きな違いは見られないが、「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」では、令和3年度が51.5%、平成30年度が47.5%と4ポイント高くなっている。

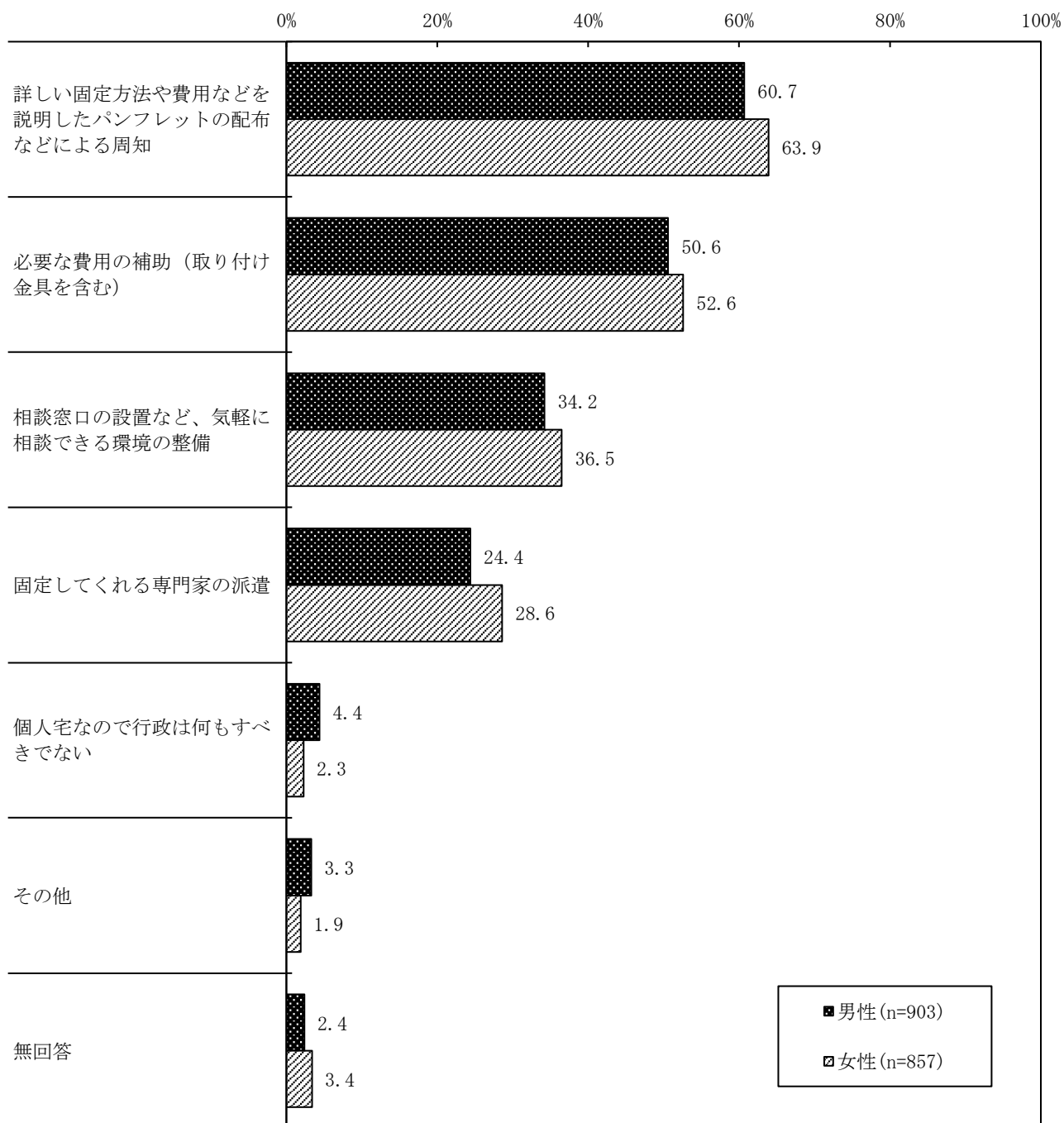
《 前 回 比 較 》



【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、ほとんど違いは見られない。上位4項目で、女性の方が男性より割合が高くなっている。

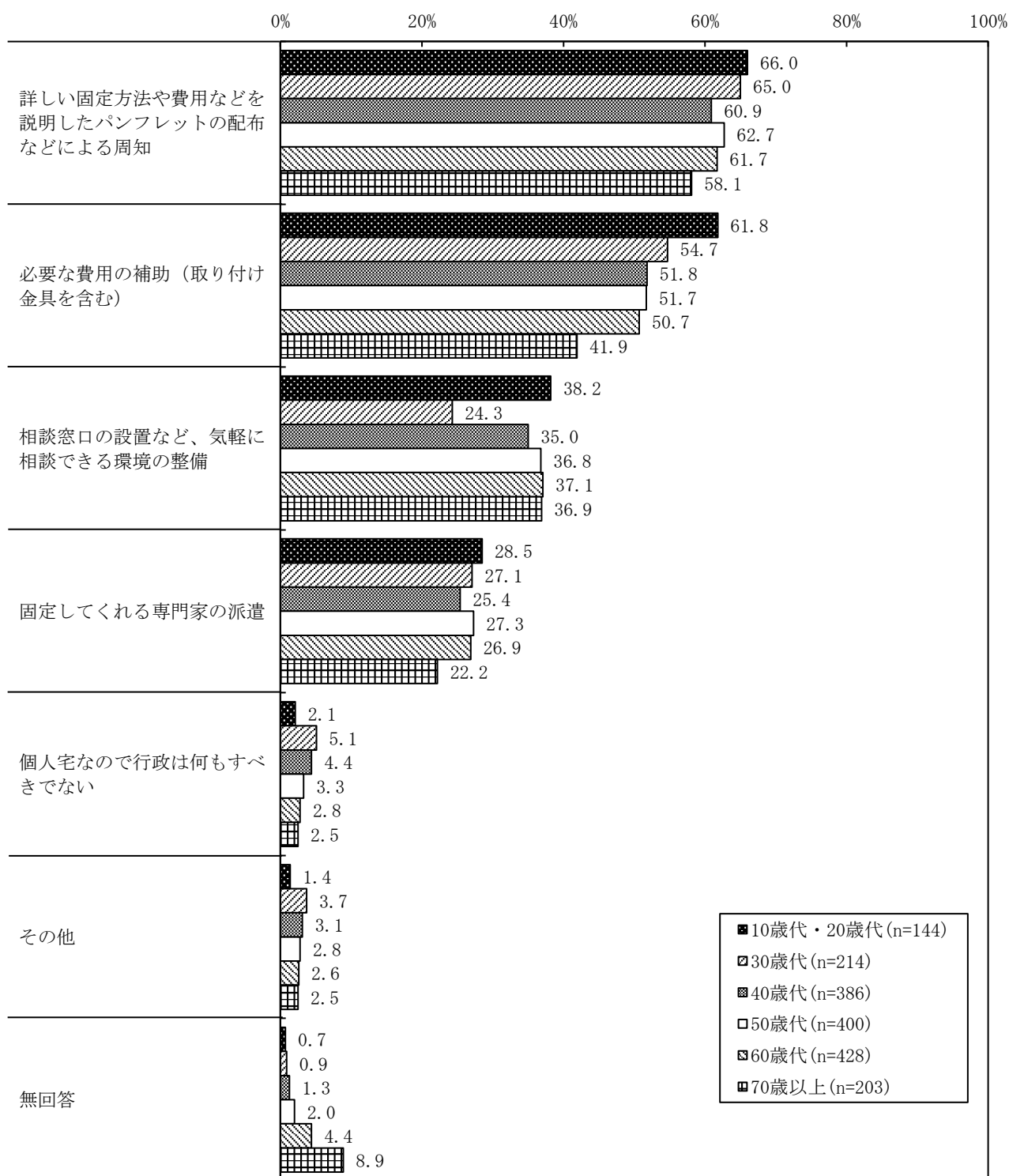
《 性別 》



【年代別】

「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」と「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」では、年代が上がるほど割合が低くなる傾向にある。

《 年 代 別 》



【職業別】

すべての職業で、「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

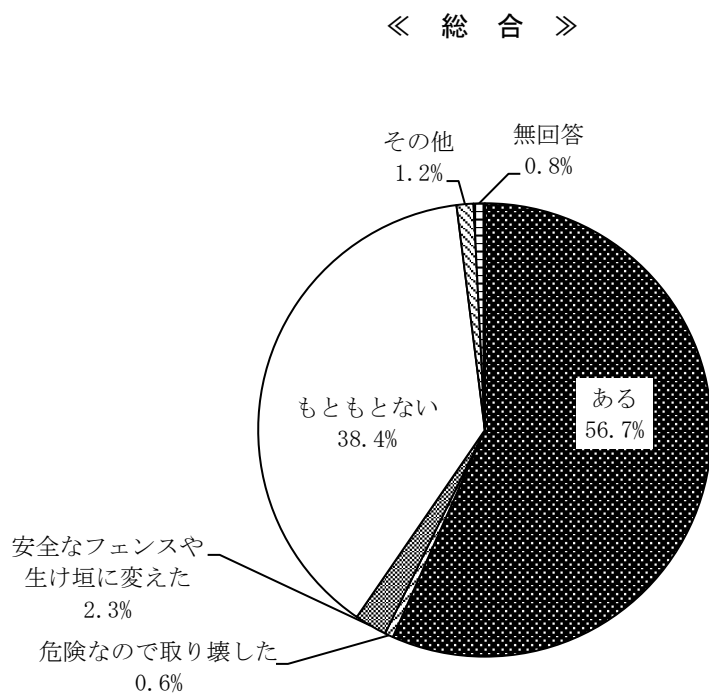
(単位：%)

項 目 属 性	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知	必要な費用の補助（取り付け金具を含む）	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	固定してくれる専門家の派遣	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答
農林業 (n=88)	47.7	37.5	33.0	18.2	4.5	2.3	8.0
漁業 (n=4)	50.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	59.4	52.3	30.5	24.2	3.1	3.1	6.3
会社員（役員を含む）、公務員 (n=739)	64.1	54.5	33.6	27.7	3.4	3.1	0.9
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など） (n=50)	56.0	42.0	34.0	30.0	12.0	-	4.0
主婦・主夫 (n=136)	67.6	41.9	35.3	24.3	1.5	2.2	4.4
パート・アルバイト (n=229)	59.0	52.8	41.9	25.3	3.5	2.6	1.3
学生 (n=49)	63.3	57.1	44.9	40.8	4.1	2.0	-
無職（すでに退職を含む） (n=253)	63.6	50.2	34.8	22.1	1.6	3.6	5.5
その他 (n=92)	59.8	55.4	34.8	31.5	5.4	1.1	6.5

問37 自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

ブロック塀や石瓶、門柱の有無では「ある」が56.7%と最も高く、次いで「もともとない」38.4%、「安全なフェンスや生け垣に変えた」2.3%と続いている。



(n = 1, 779)

【前回比較】

令和3年度では、「ある」が56.6%と平成30年度の61.7%より5.1ポイント低く、「もともとない」が38.4%と平成30年度の33.3%より5.1ポイント高くなっている。

【性別】

「ある」は男性54.7%、女性58.5%と、女性の方が3.8ポイント高く、「もともとない」は、男性41.2%、女性35.6%と、男性の方が5.6ポイント高くなっている。

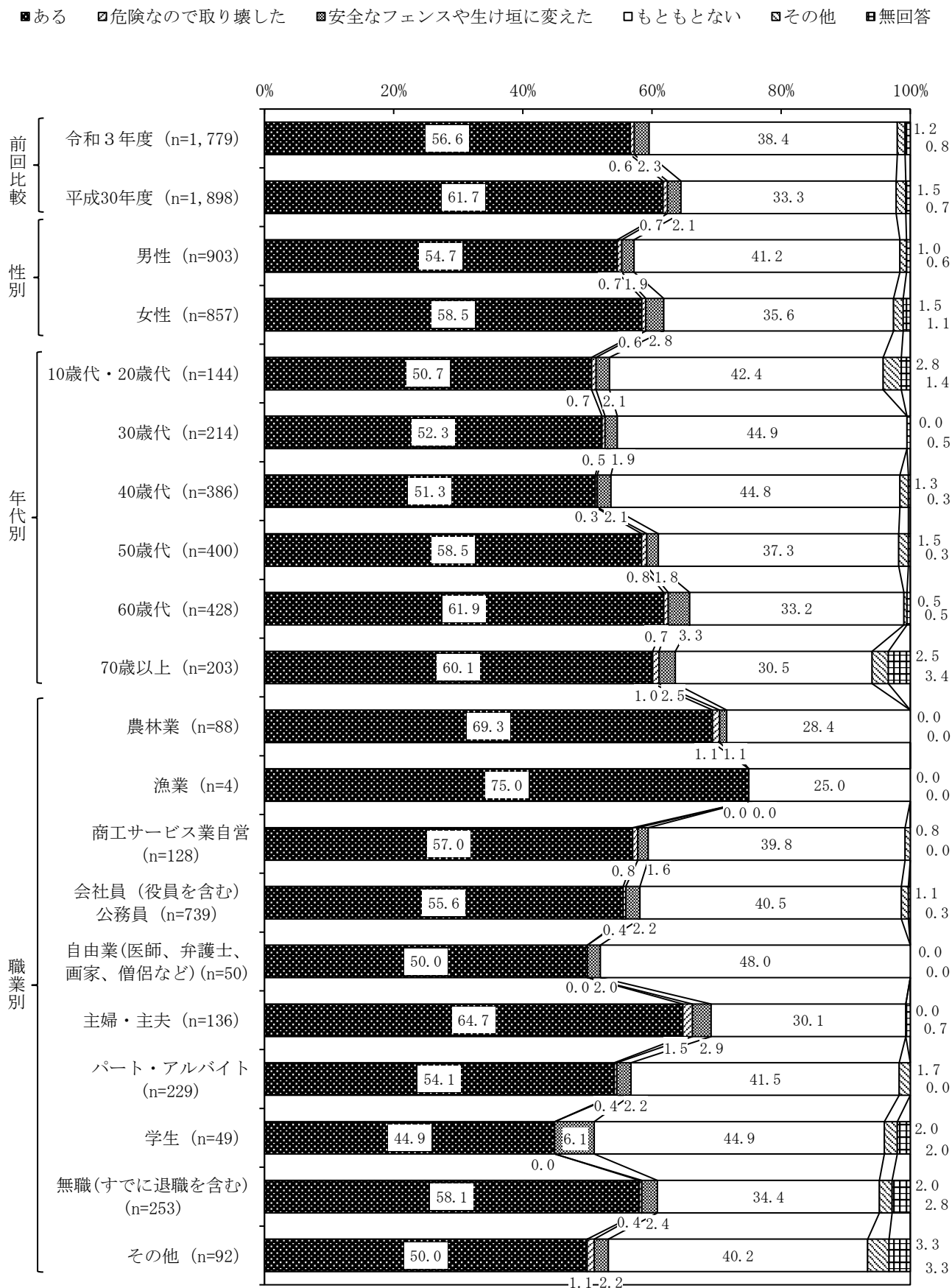
【年代別】

「ある」は、年代が上がるほど割合も高い傾向にある。

【職業別】

農林業、漁業、主婦・主夫は、「ある」の割合が60%を超えており、他の職業より高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

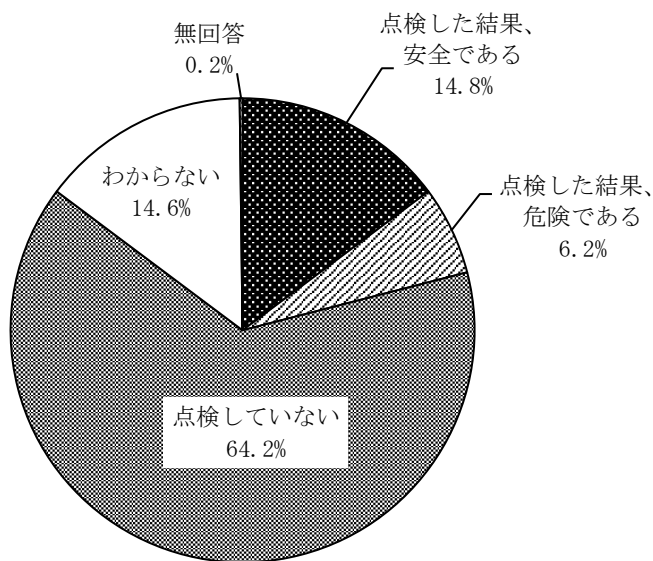


問38 安全性の点検の実施状況

問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

安全性の点検の実施状況は、「点検していない」が64.2%と最も高く、次いで「点検した結果、安全である」14.8%、「わからない」14.6%と続いている。

《 総 合 》



(n=1,007)

【前回比較】

令和3年度と平成30年度は、同じ傾向にあり、大きな差も見られない。

【性別】

男女とも「点検していない」が最も高く、60%を超えている。「点検した結果、安全である」は男性18.4%、女性11.4%と、男性の方が7ポイント高くなっている。

【年代別】

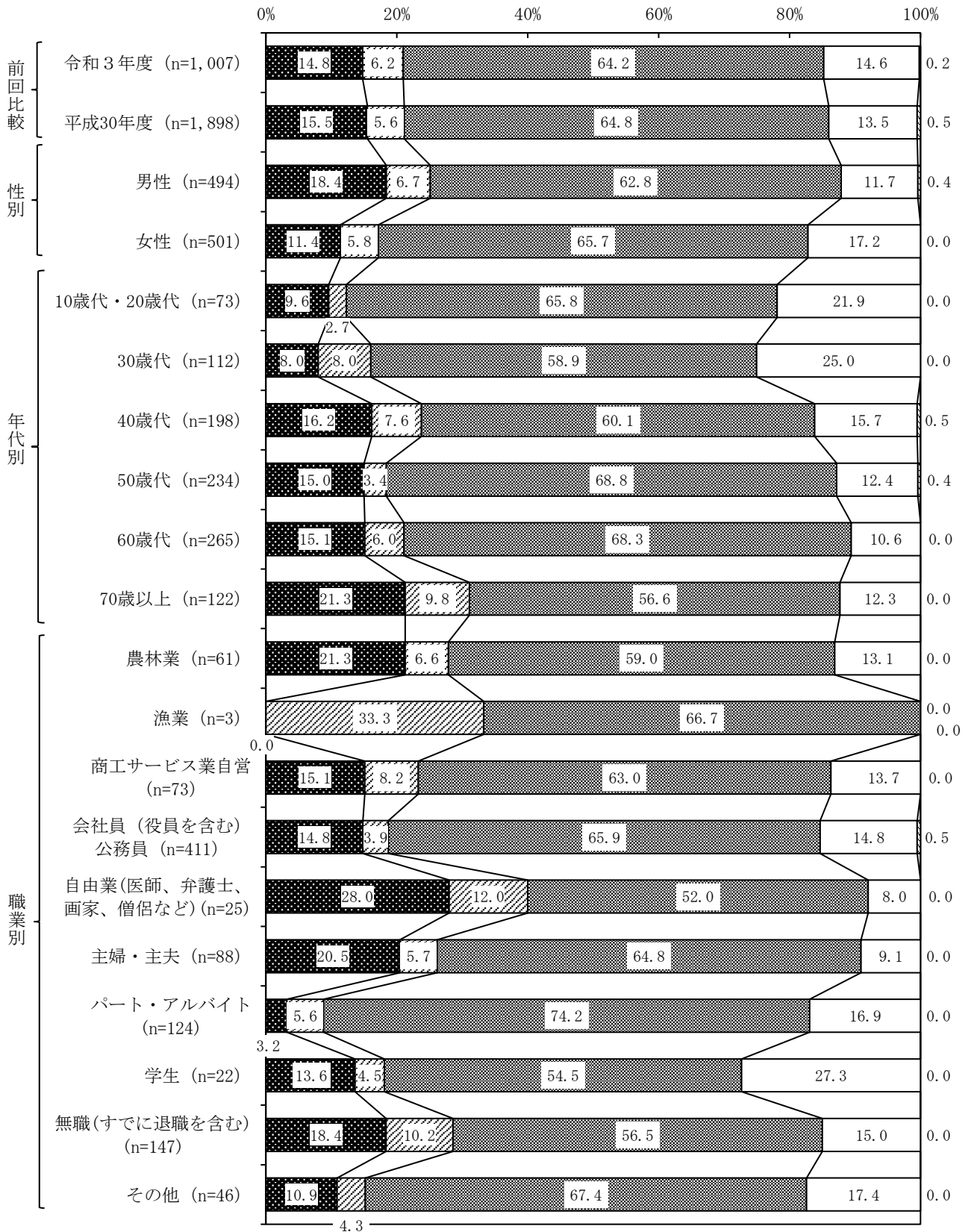
70歳以上は、「点検した結果、安全である」が21.3%と、他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

学生は、「わからない」が27.3%と、他の職業では10%台が多い中、より高い割合となっている。

《前回比較・性別・年代別・職業別》

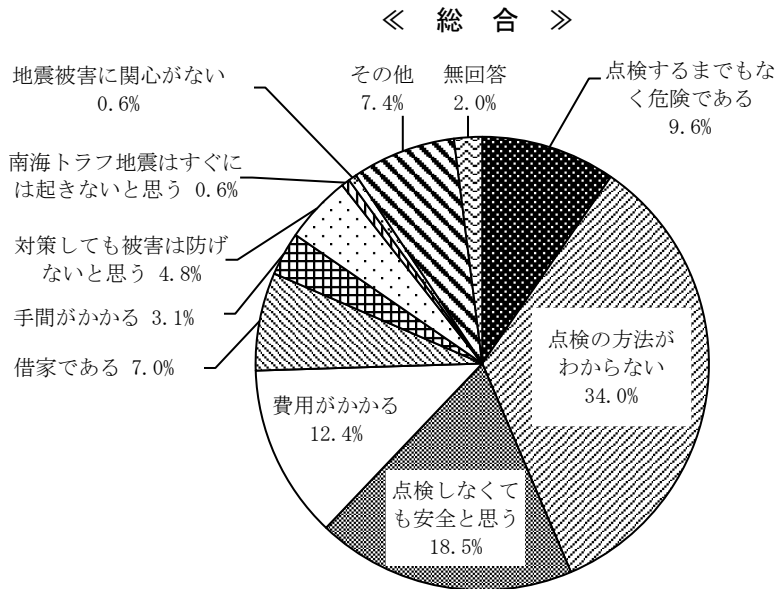
■点検した結果、安全である □点検した結果、危険である ■点検していない □わからない □無回答



問39 点検していない理由

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

ブロック塀や石瓶、門柱などを点検していない理由は、「点検の方法がわからない」が34.0%と最も高く、次いで「点検しなくても安全と思う」18.5%、「費用がかかる」12.4%と続いている。



(n = 647)

【前回比較】

「点検するまでもなく危険である」は、令和3年度では9.6%、平成30年度は12.9%と3.3ポイント低くなっている。「点検の方法がわからない」では、令和3年度では34.0%、平成30年度は30.0%と4ポイント高くなっている。

【性別】

「点検の方法がわからない」は、男性31.9%、女性35.9%と、女性の方が4ポイント高い。

【年代別】

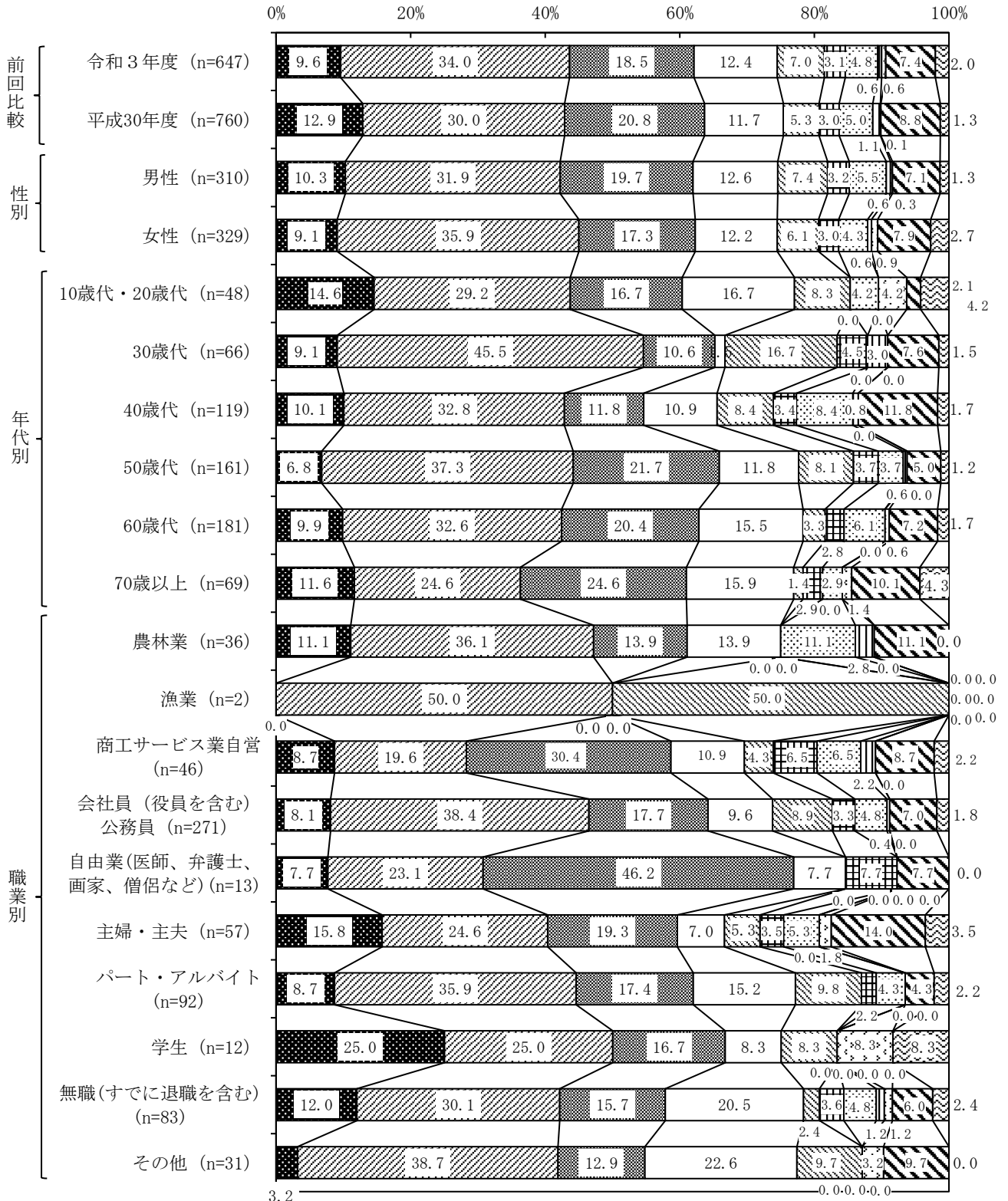
「点検の方法がわからない」は、30歳代が45.5%と、他の年代より高い割合となっており、一番低い70歳以上と比較すると、20.9ポイントの差がある。

【職業別】

商工サービス業自営と自由業を除くすべての職業で、「点検の方法がわからない」が最も高く、商工サービス業自営と自由業は「点検しなくても安全と思う」が最も高くなっている。

《前回比較・性別・年代別・職業別》

- 点検するまでもなく危険である
- 点検しなくても安全と思う
- 借家である
- 対策しても被害は防げないと思う
- 地震被害に関心がない
- 無回答
- 点検の方法がわからない
- 費用がかかる
- 手間がかかる
- 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う
- その他

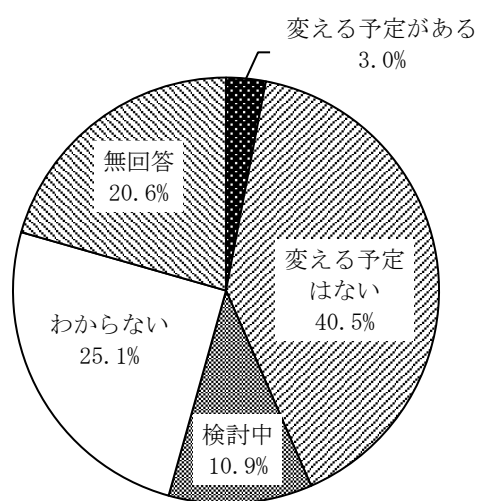


問40 危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを、安全なフェンスや生け垣などに変える予定はあるか

問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などの安全対策は、「変える予定はない」が40.5%と最も高く、次いで「わからない」25.1%、「検討中」10.9%と続いている。「変える予定である」は3.0%と低い割合にとどまっている。

《 総 合 》



(n=709)

【前回比較】

「変える予定はない」は、令和3年度では40.5%と、平成30年度の44.6%から4.1ポイント減少している。「わからない」は、令和3年度は25.1%、平成30年度は19.7%と5.4ポイント増加している。

【性別】

男女ともに同じ傾向で、「変える予定がある」は、男性が4.1%、女性が2.0%と、男性の方が2.1ポイント高い。

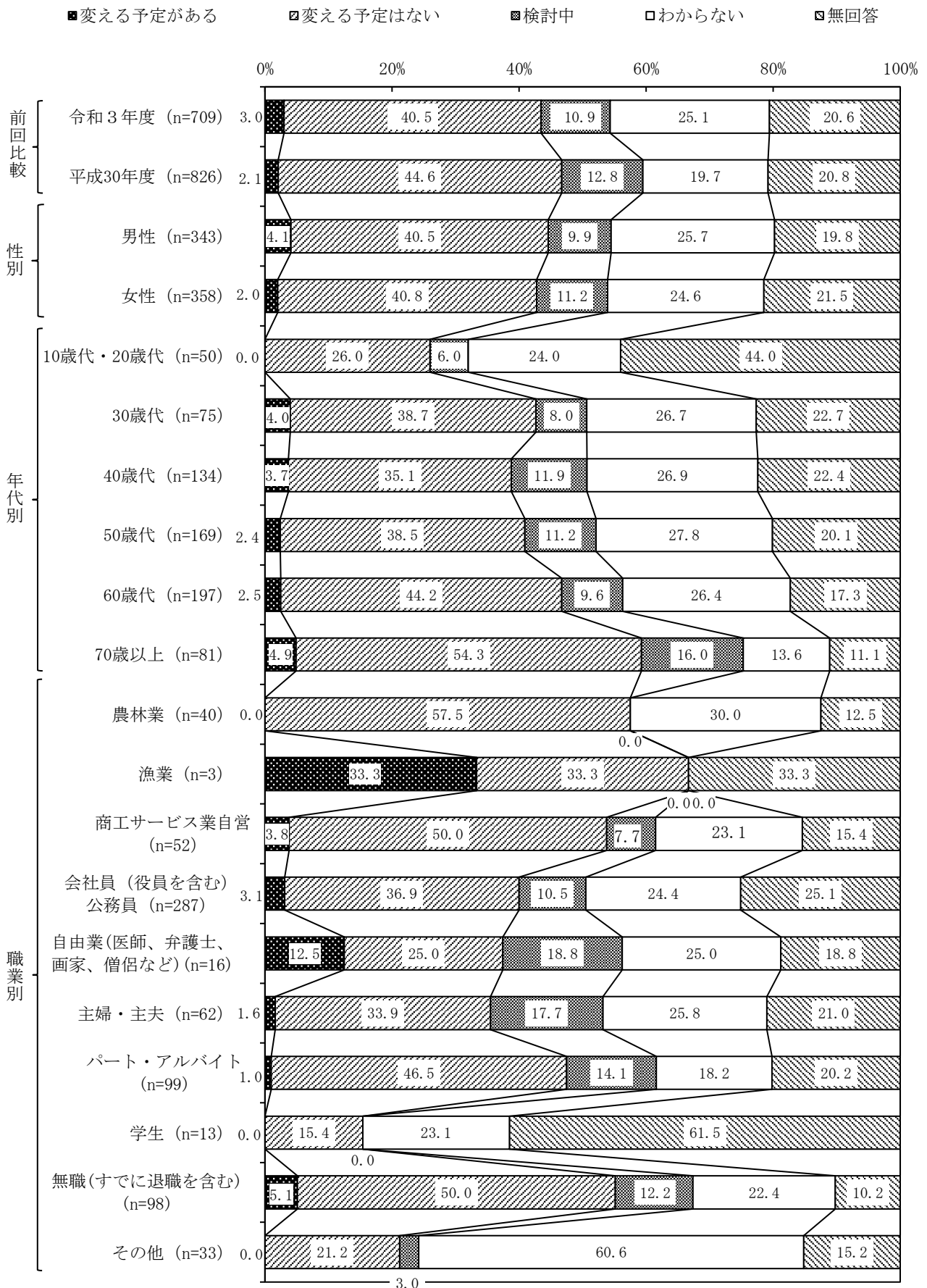
【年代別】

「変える予定はない」は、年代が上がるほど割合も高い傾向にある。

【職業別】

その他以外のすべての職業で「変える予定はない」が最も高く（同率を含む）、その他では「わからない」が最も高くなっている。

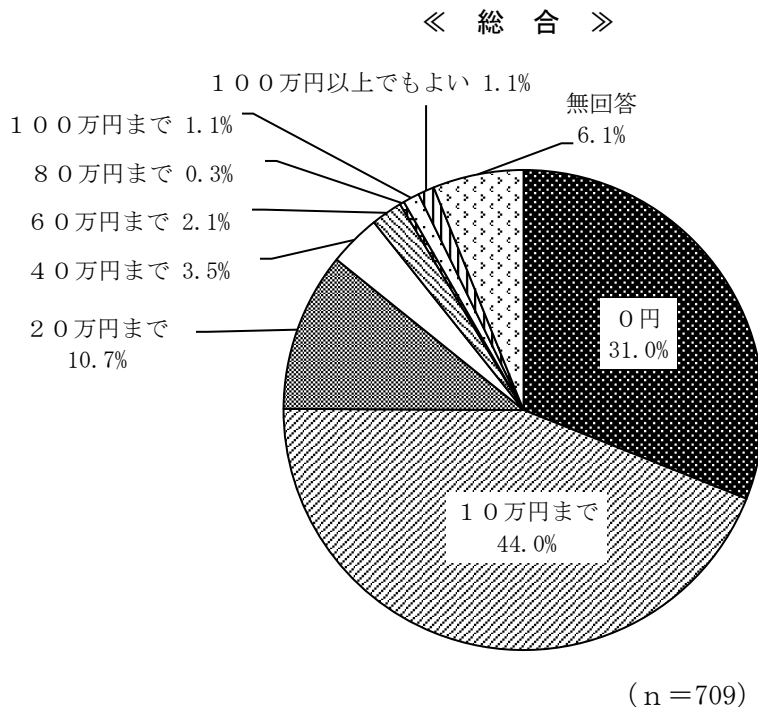
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問41 自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額

問41 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額は、「10万円まで」が44.0%と最も高く、次いで「0円」31.0%、「20万円まで」10.7%と続いている。



【性別】

男性は、女性に比べて「0円」、「20万円まで」でそれぞれ2.8ポイント、3.3ポイント高くなっており、女性は「10万円まで」で男性より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】

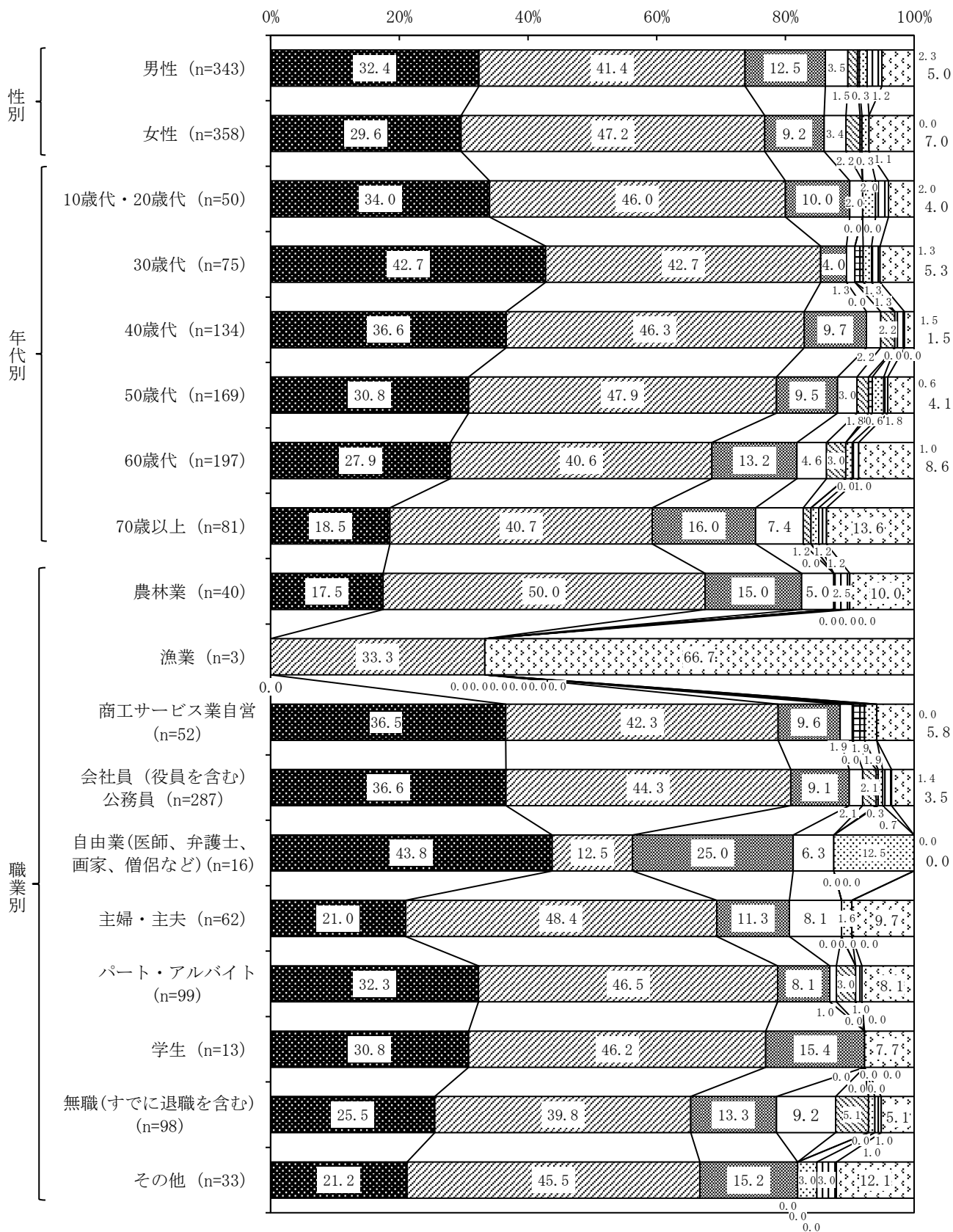
「0円」は、10歳代・20歳代を除いて、年代が低いほど割合が高くなる傾向にある。

【職業別】

自由業を除くすべての職業で「10万円まで」が最も高く、自由業は「0円」が最も高くなっている。

◀ 性別・年代別・職業別 ▶

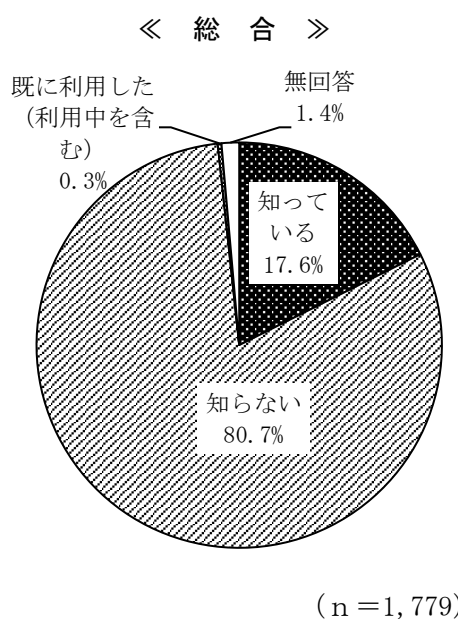
- 0円
- 40万円まで
- ▣ 100万円まで
- ▤ 10万円まで
- ▥ 60万円まで
- ▦ 100万円以上でもよい
- ▧ 20万円まで
- ▨ 80万円まで
- ▩ 無回答



問42 補助制度を知っているか

問42 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしていますか。（ひとつだけ○）※市町村によっては補助制度がない場合があります。

緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などへの安全対策のための補助制度は、「知らない」が80.7%と最も高く、次いで「知っている」17.6%、「既に利用した（利用中を含む）」0.3%と続いている。



【前回比較】

令和3年度と平成30年度には、大きな差は見られない。

【性別】

「知っている」は、男性は18.8%、女性は16.7%と男性の方が2.1ポイント高くなっている。

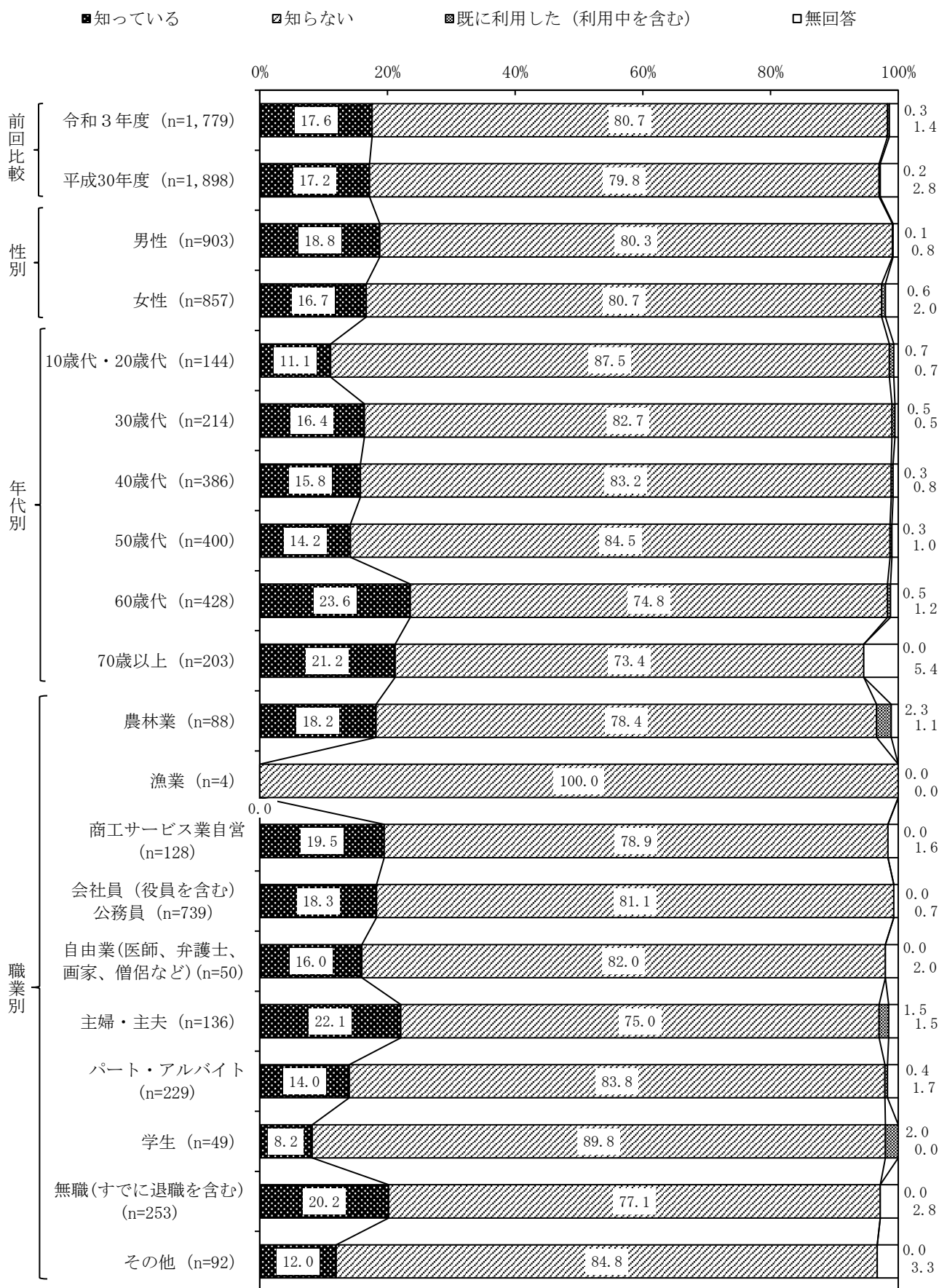
【年代別】

「知っている」は、60歳代、70歳以上で20%を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっている。

【職業別】

「知っている」は、主婦・主夫と無職が20%を超えており、他の職業と比べて割合が高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

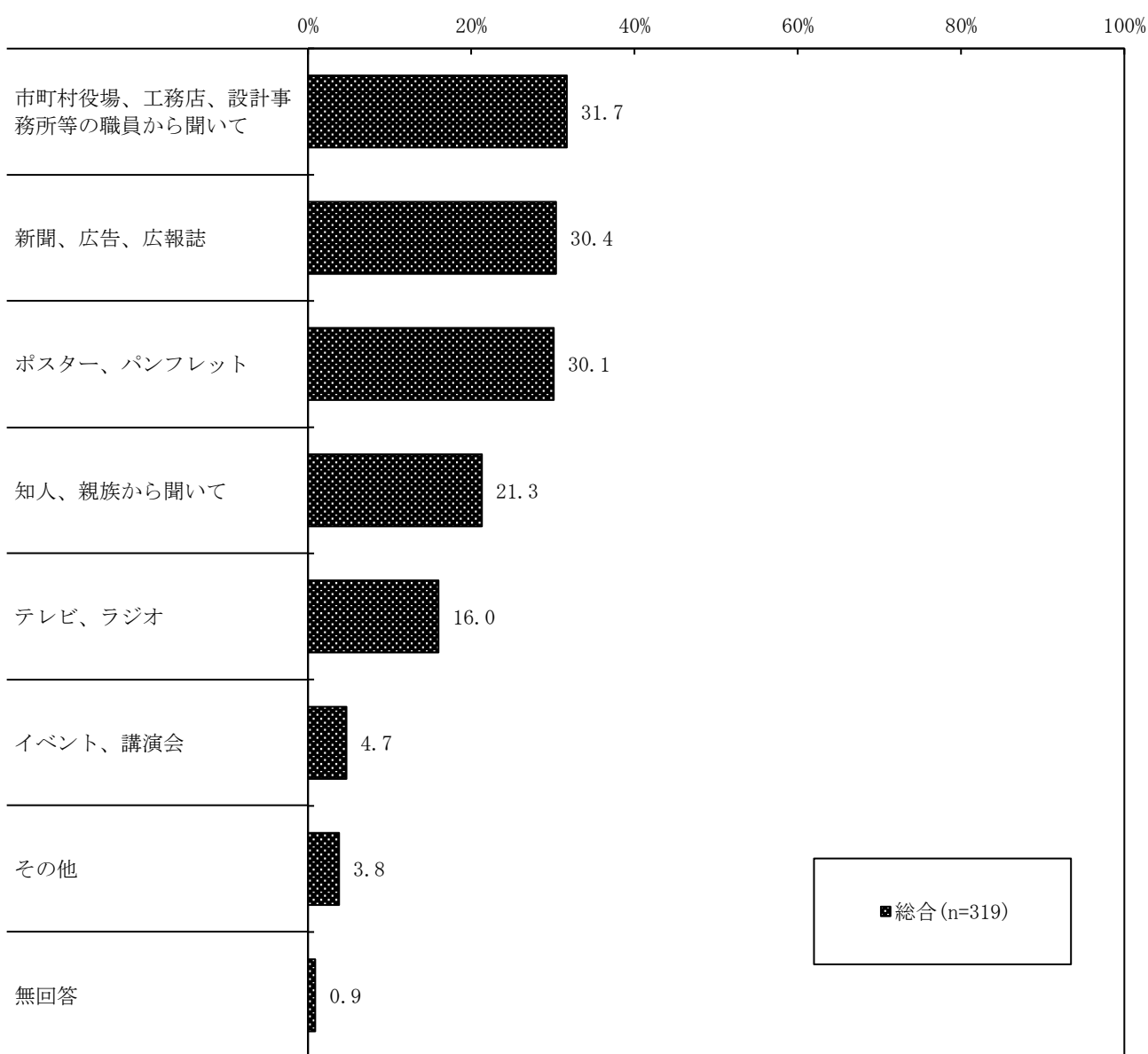


問43 どのようにして知ったか

問43 問42で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

どのように補助制度を知ったかは、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が31.7%と最も高く、次いで「新聞、広告、広報誌」30.4%、「ポスター、パンフレット」が30.1%と続いている。

《 総 合 》

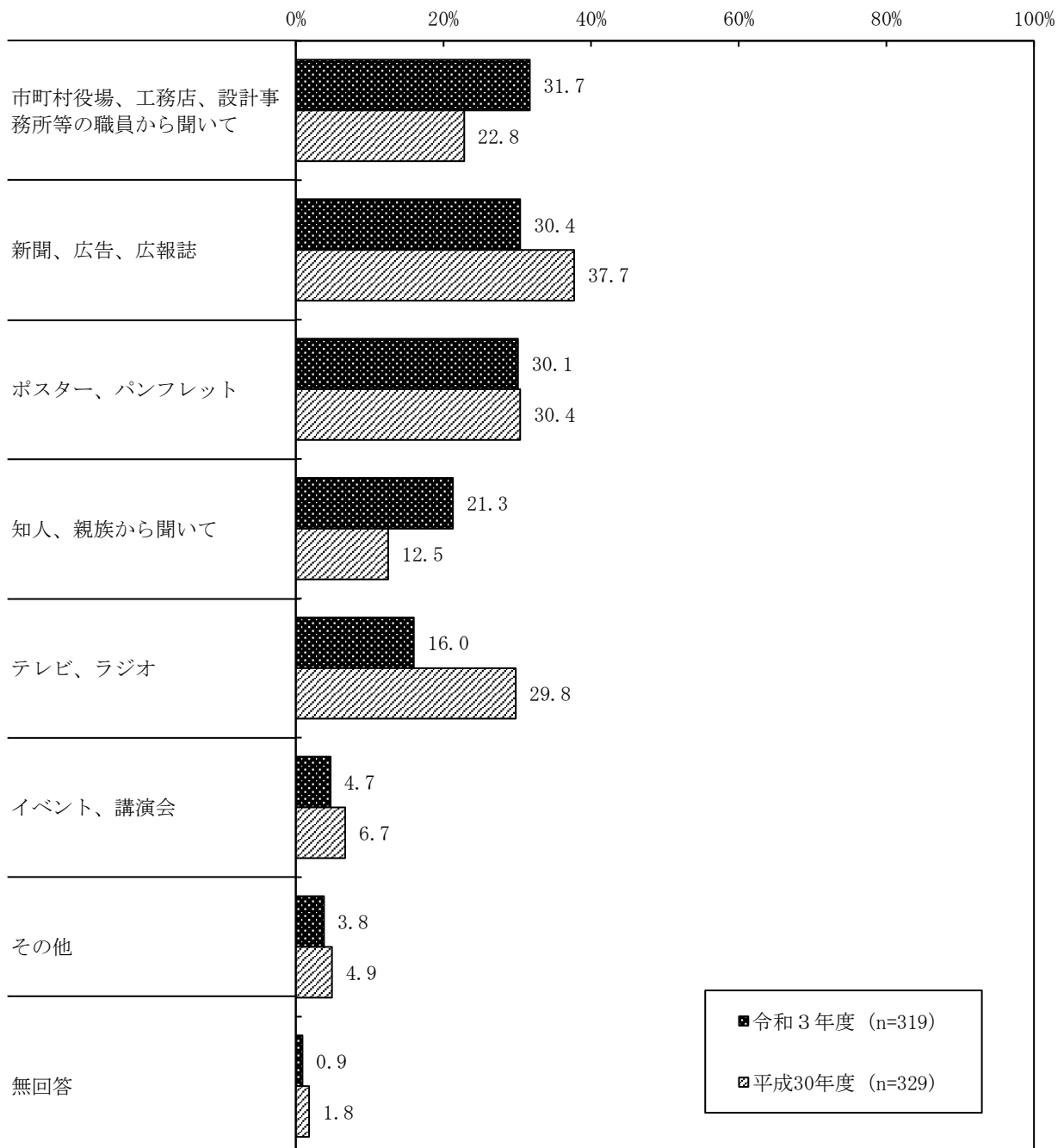


【前回比較】

「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」は8.9ポイント、「知人、親族から聞いて」は8.8ポイント、平成30年度よりも高くなっている。

「新聞、広告、広報誌」は7.3ポイント、「テレビ、ラジオ」は13.8ポイント、平成30年度より低くなっている。

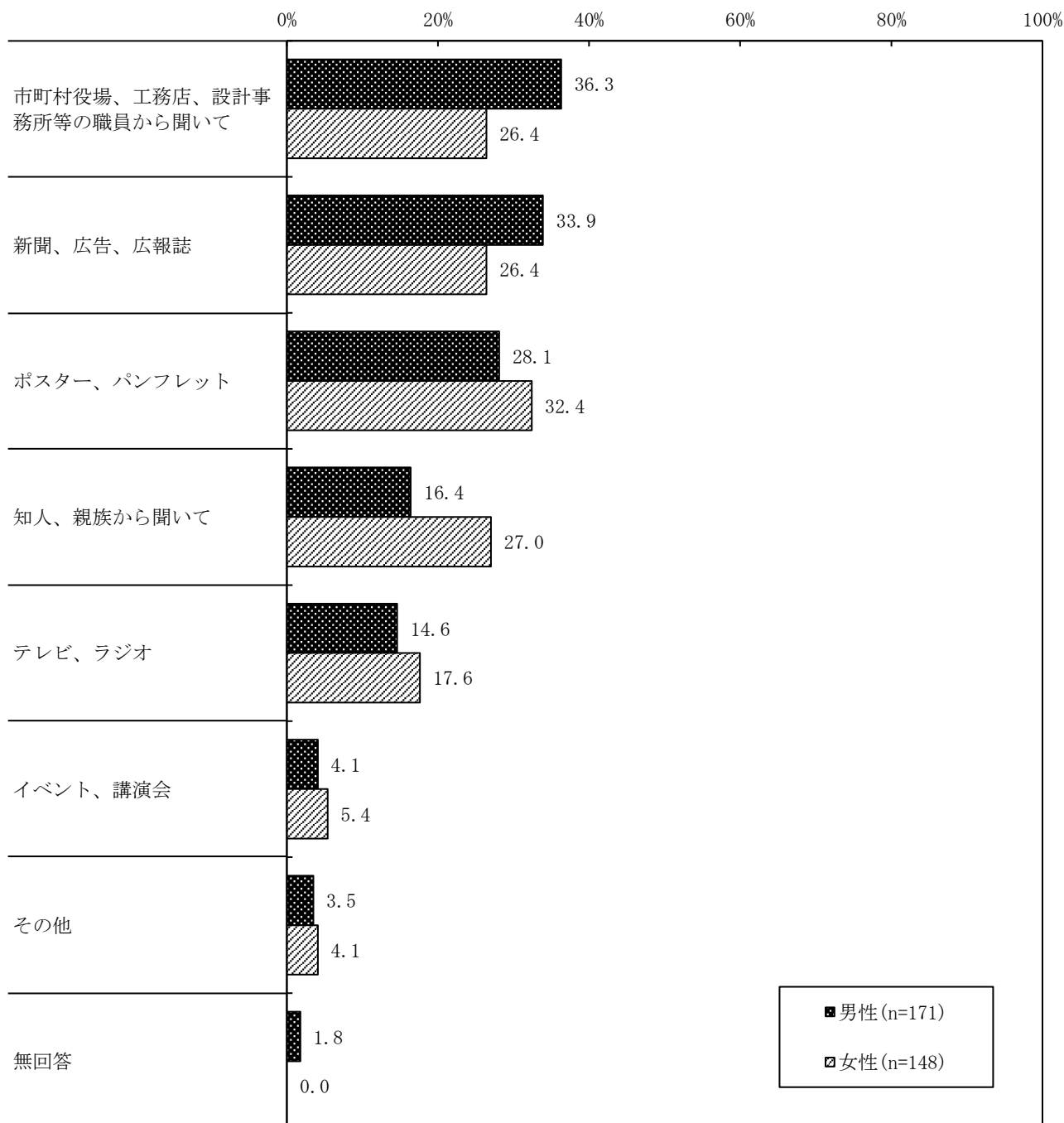
◀ 前回比較 ▶



【性別】

男性は、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が最も高く、「新聞、広告、広報誌」「ポスター、パンフレット」の順となっているが、女性は「ポスター・パンフレット」が最も高く、「知人、親族から聞いて」、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」、「新聞、広告、広報誌」の順となっている。

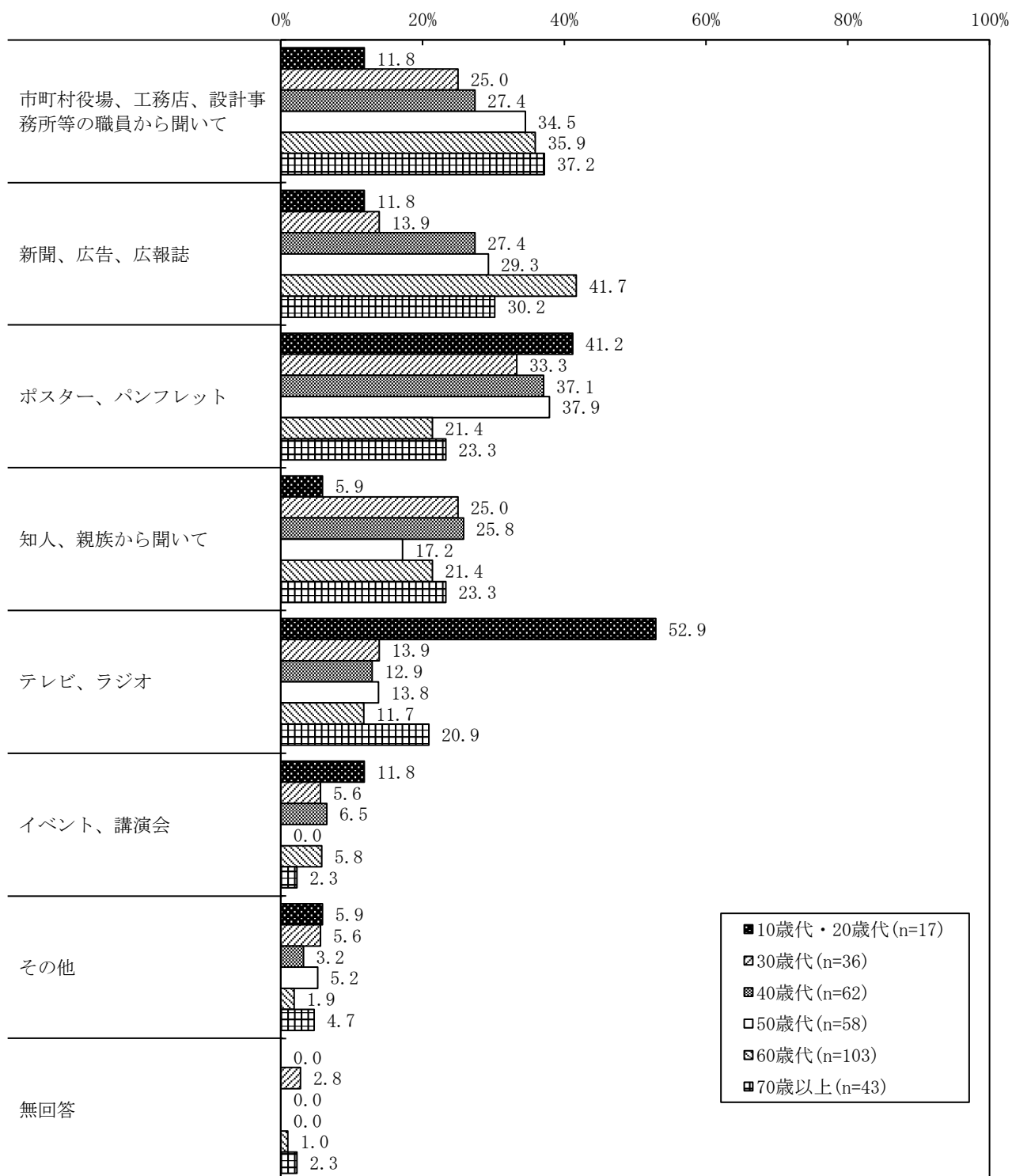
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代は、「テレビ、ラジオ」が突出して高く、30歳代、40歳代、50歳代では、「ポスター、パンフレット」が、60歳代は、「新聞、広告、広報誌」が、70歳以上は、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が最も高くなっている。

《 年代別 》



【職業別】

農林業、無職では、「新聞、広告、広報誌」が、商工サービス業自営、その他は「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が、会社員、学生は、「ポスター、パンフレット」が、主婦・主夫は、「知人、親族から聞いて」が、自由業は、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と「新聞、広告、広報誌」が、パート・アルバイト、は、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と「ポスター、パンフレット」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

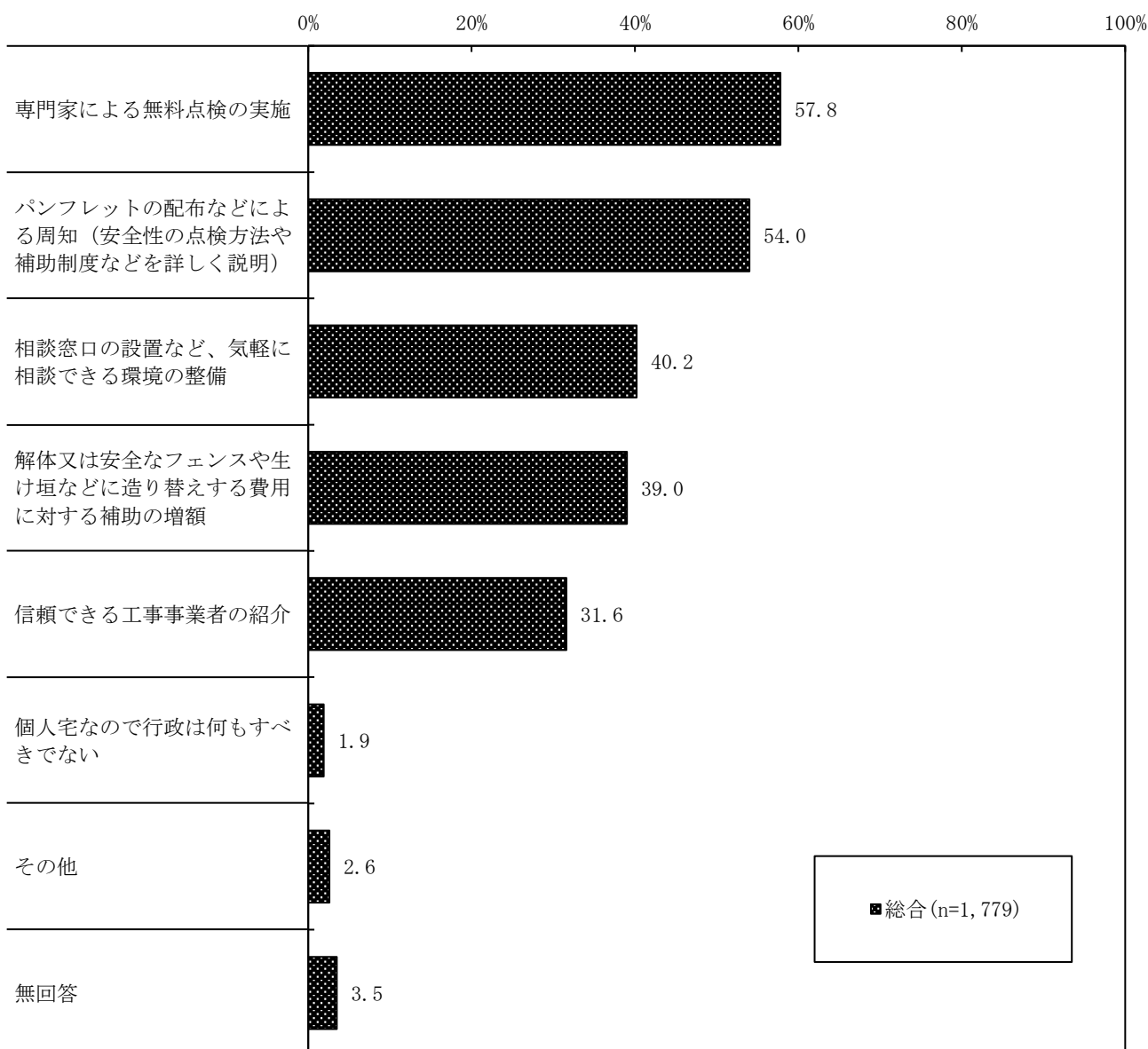
項 目 属 性	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	新聞、広告、広報誌	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	テレビ、ラジオ	イベント、講演会	その他	無回答
農林業 (n=18)	33.3	55.6	22.2	16.7	5.6	5.6	5.6	-
漁業 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=25)	40.0	24.0	24.0	32.0	20.0	-	8.0	-
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=135)	28.1	25.2	34.1	20.0	16.3	4.4	2.2	0.7
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=8)	37.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5
主婦・主夫 (n=32)	28.1	31.3	28.1	43.8	18.8	3.1	3.1	-
パート・アルバイト (n=33)	39.4	30.3	39.4	12.1	12.1	9.1	6.1	-
学生 (n=5)	-	20.0	80.0	-	40.0	20.0	20.0	-
無職 (すでに退職を含む) (n=51)	33.3	39.2	21.6	15.7	21.6	5.9	2.0	2.0
その他 (n=11)	36.4	27.3	18.2	27.3	-	-	9.1	-

問44 倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

問44 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために県や市町村が行うべきことは、「専門家による無料点検の実施」が57.8%と最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」54.0%、相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」40.2%と続いている。

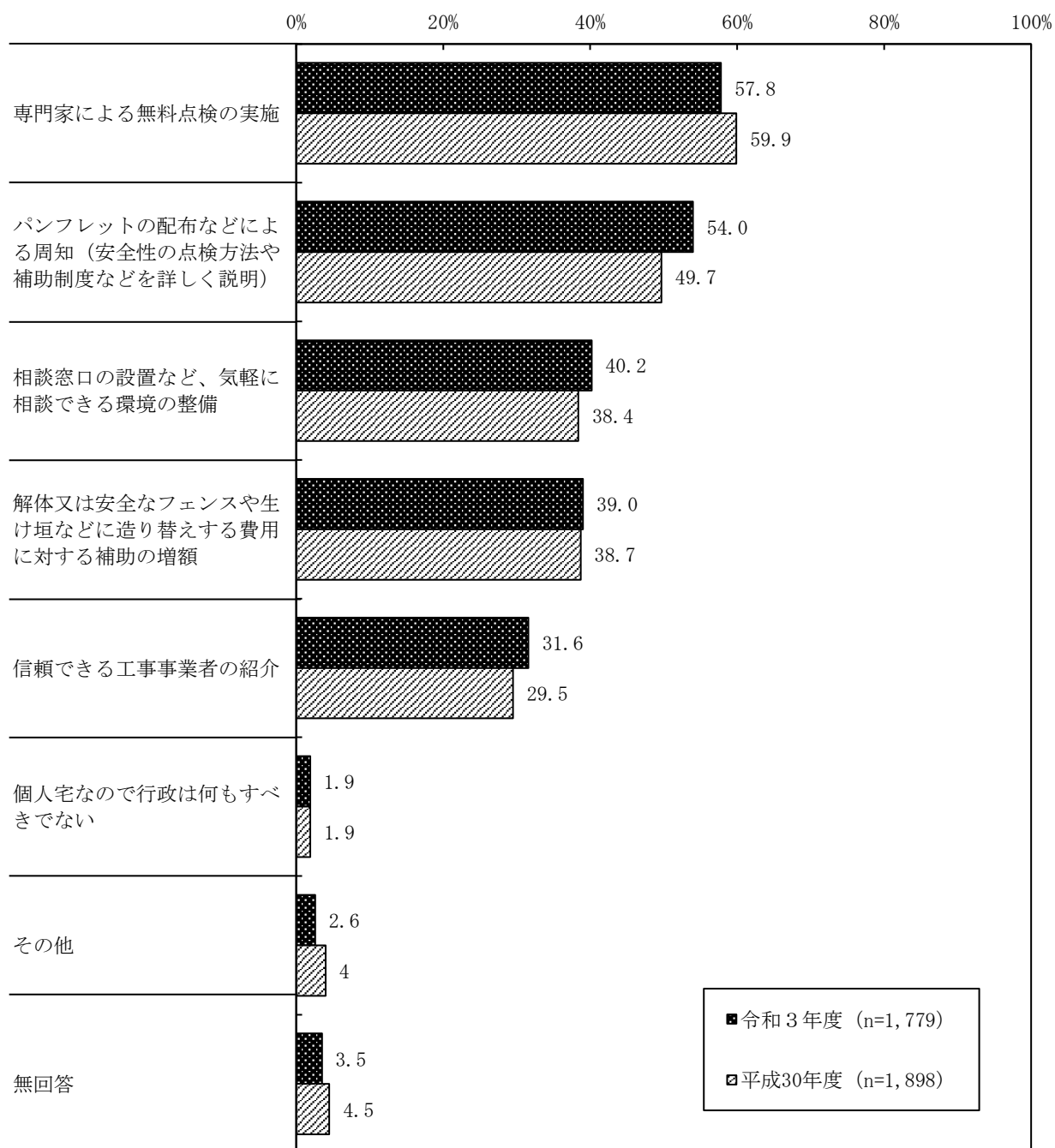
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度と平成30年度は、同じ傾向にある。「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」は、令和3年度54.0%、平成30年度49.7%と令和3年度の方が4.3ポイント高くなっている。

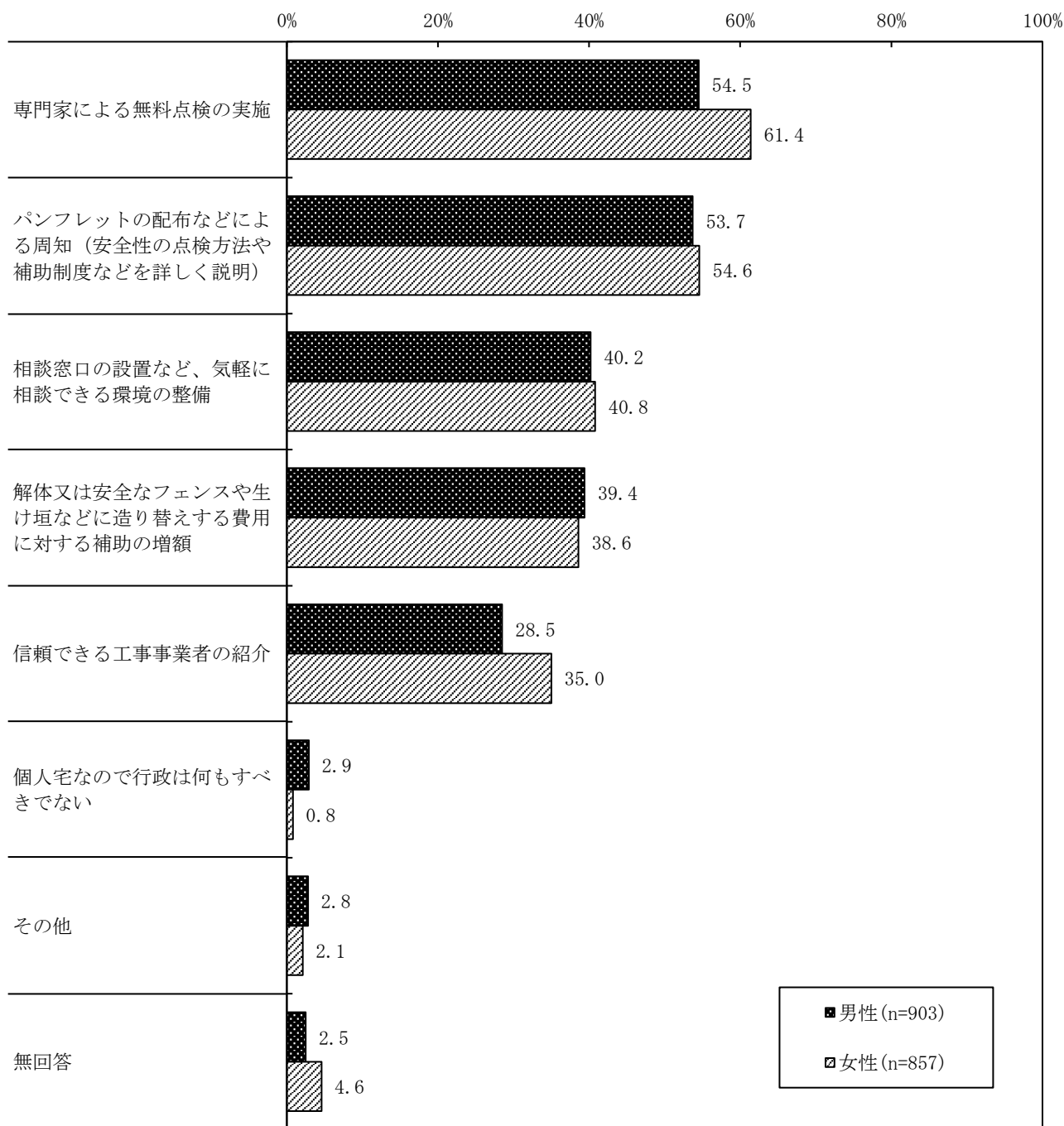
《 前 回 比 較 》



【性別】

「専門家による無料点検の実施」は、男性54.5%、女性61.4%と女性の方が6.9ポイント高く、「信頼できる工事事業者の紹介」は男性28.5%、女性35.0%と女性の方が6.5ポイント高い。

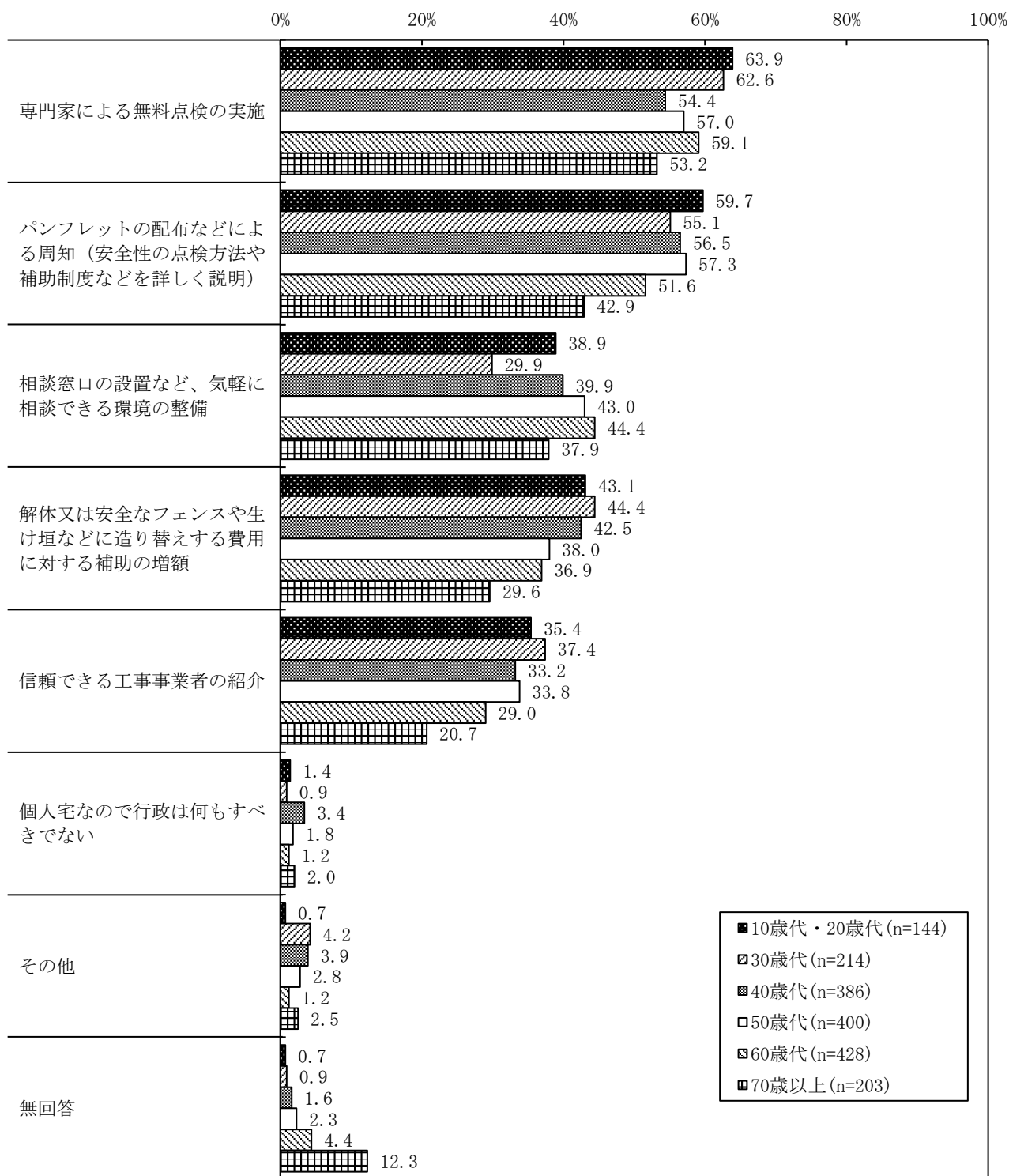
《 性別 》



【年代別】

40歳代、50歳代は「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」が、それ以外の年代は「専門家による無料点検の実施」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業は「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」と「解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替えする費用に対する補助の増額」が、商工サービス業自営と学生は「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」が、それ以外の職業は「専門家による無料点検の実施」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

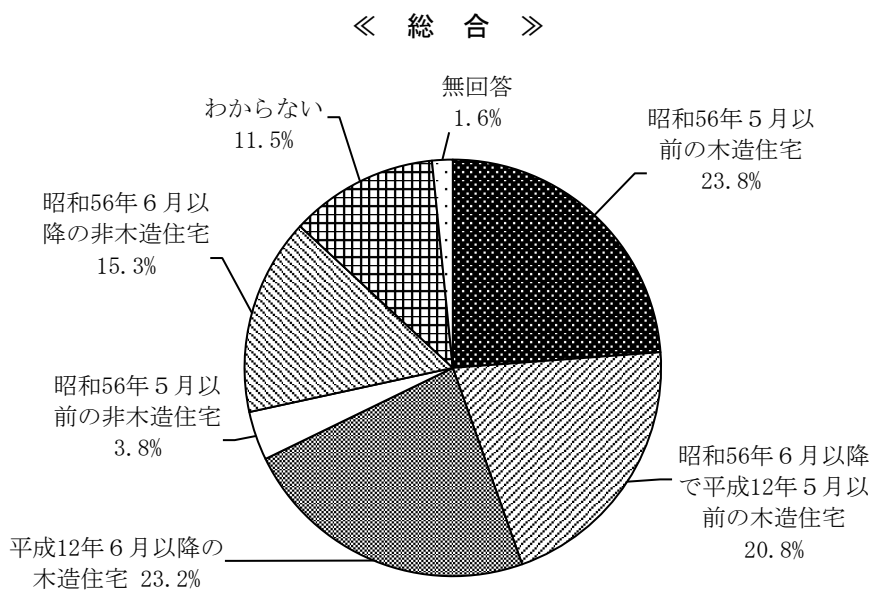
(単位：%)

項 目 属 性	専門家による無料点検の実施	パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替えする費用に対する補助の増額	信頼できる工事事業者の紹介	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答
農林業 (n=88)	48.9	45.5	38.6	37.5	18.2	1.1	4.5	4.5
漁業 (n=4)	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	53.1	54.7	35.9	37.5	33.6	1.6	0.8	3.9
会社員（役員を含む）、公務員 (n=739)	57.8	56.7	40.1	41.5	36.0	1.9	3.0	1.8
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など） (n=50)	60.0	58.0	46.0	40.0	34.0	2.0	2.0	2.0
主婦・主夫 (n=136)	58.1	56.6	39.7	33.8	27.9	-	1.5	6.6
パート・アルバイト (n=229)	63.3	51.5	41.5	37.1	33.2	1.3	2.2	3.9
学生 (n=49)	63.3	65.3	44.9	36.7	30.6	2.0	2.0	-
無職（すでに退職を含む） (n=253)	56.5	47.8	41.9	36.8	23.7	2.4	2.4	5.9
その他 (n=92)	57.6	51.1	34.8	39.1	28.3	4.3	4.3	6.5

問45 住まいの建築年と構造について

問45 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（ひとつだけ〇）

住まいの建築年と構造については「昭和56年5月以前の木造住宅」が23.8%と最も高く、次いで「平成12年6月以降の木造住宅」23.2%、「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」20.8%と続いている。



(n = 1, 779)

【前回比較】

令和3年度では、「昭和56年5月以前の木造住宅」が7.3ポイント、「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が3.9ポイント低くなり、「平成12年6月以降の木造住宅」は5.6ポイント高くなっている。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向になっており、性別による大きな差は見られない。

【年代別】

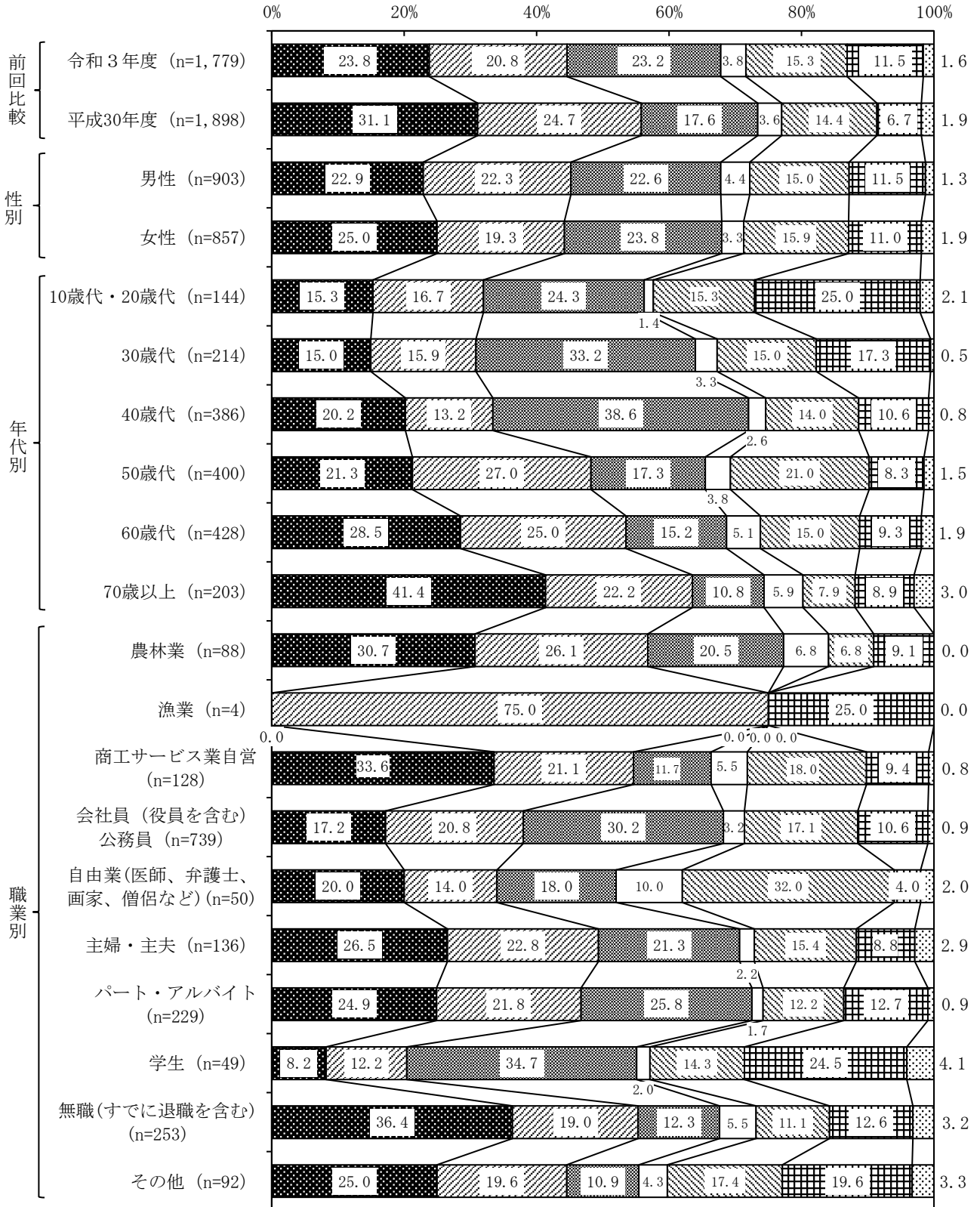
10歳代・20歳代は「わからない」が、30歳代、40歳代は「平成12年6月以降の木造住宅」が、50歳代は「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が、60歳代、70歳以上は「昭和56年5月以前の木造住宅」が最も高い。

【職業別】

農林業、商工サービス業自営、主婦・主夫、無職は「昭和56年5月以前の木造住宅」が、漁業は「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が、会社員、パート・アルバイト、学生は「平成12年6月以降の木造住宅」が、自由業は「昭和56年6月以降の非木造住宅」が最も高い。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 昭和56年5月以前の木造住宅
- 昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅
- 平成12年6月以降の木造住宅
- 昭和56年5月以前の非木造住宅
- 昭和56年6月以降の非木造住宅
- わからない
- 無回答



問37×問45 ブロック塀の有無と住まいの築年数とのクロス分析

自宅内の敷地内にあるブロック塀や石塀、門柱について「ある」と回答した方は「昭和56年5月以前の木造住宅」が29.9%と最も高く、次いで「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」24.2%、「平成12年6月以降の木造住宅」18.9%と続いている。

上段：人数
下段：%

		問45						
		昭和56年5月以前の木造住宅	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅	平成12年6月以降の木造住宅	昭和56年5月以前の非木造住宅	昭和56年6月以降の非木造住宅	わからない	無回答
問37	ある	301 29.9	244 24.2	190 18.9	33 3.3	121 12.0	108 10.7	10 1.0
	危険なので取り壊した	2 18.2	4 36.4	2 18.2	- -	1 9.1	2 18.2	- -
	安全なフェンスや生け垣に変えた	8 19.5	5 12.2	18 43.9	2 4.9	5 12.2	2 4.9	1 2.4
	もともとない	104 15.2	112 16.4	196 28.7	31 4.5	140 20.5	88 12.9	13 1.9
	その他	5 22.7	3 13.6	5 22.7	- -	5 22.7	3 13.6	1 4.5
	無回答	4 28.6	2 14.3	1 7.1	2 14.3	- -	2 14.3	3 21.4

問38×問45 ブロック塀や石塀、門柱の地震時の安全性と住まいの築年数とのクロス分析

自宅内の敷地内にあるブロック塀や石塀、門柱について「点検した結果、安全である」と回答した方は「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が29.5%と最も高く、「点検した結果、危険である」、「点検していない」、「わからない」と回答した方は、「昭和56年5月以前の木造住宅」が最も高かった。

上段：人数
下段：%

		問45						
		昭和56年5月以前の木造住宅	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅	平成12年6月以降の木造住宅	昭和56年5月以前の非木造住宅	昭和56年6月以降の非木造住宅	わからない	無回答
問38	点検した結果、安全である	21 14.1	44 29.5	41 27.5	3 2.0	30 20.1	8 5.4	2 1.3
	点検した結果、危険である	29 46.8	17 27.4	2 3.2	4 6.5	6 9.7	4 6.5	- -
	点検していない	206 31.8	161 24.9	122 18.9	24 3.7	67 10.4	60 9.3	7 1.1
	わからない	45 30.6	22 15.0	24 16.3	2 1.4	17 11.6	36 24.5	1 0.7
	無回答	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -

問42×問45 ブロック塀の解体や改修費用と住まいの築年数とのクロス分析

市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしているのを「知っている」と回答した人の住まいは「平成12年6月以降の木造住宅」が26.8%と最も高かった。

また、「知らない」と回答した人の住まいは「昭和56年5月以前の木造住宅」が23.8%と最も高かった。

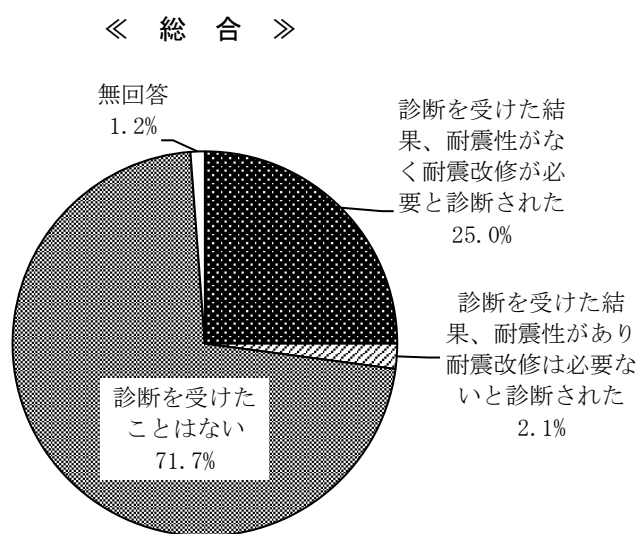
上段：人数
下段：%

		問45						
		昭和56年5月以前の木造住宅	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅	平成12年6月以降の木造住宅	昭和56年5月以前の非木造住宅	昭和56年6月以降の非木造住宅	わからない	無回答
問42	知っている	77 24.6	62 19.8	84 26.8	11 3.5	62 19.8	14 4.5	3 1.0
	知らない	341 23.8	304 21.2	325 22.6	55 3.8	207 14.4	187 13.0	16 1.1
	既に利用した(利用中を含む)	2 33.3	2 33.3	- -	- -	1 16.7	1 16.7	- -
	無回答	4 16.0	2 8.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	9 36.0

問46 専門家による耐震診断を受けたことがあるか

問46 問45で「1. 昭和56年5月以前の木造住宅」と回答した人におたずねします。専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。（ひとつだけ〇）

専門家による耐震診断を受けたことがあるかどうかは、「診断を受けたことはない」が71.7%と最も高く、次いで「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」25.0%、「診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された」2.1%となっている。



(n = 424)

【前回比較】

令和3年度と平成30年度は、同じ傾向で、大きな差も見られなかった。

【性別】

「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」は、男性23.2%、女性27.1%と、女性の方が3.9ポイント高く、「診断を受けたことはない」は男性74.4%、女性69.2%と男性の方が5.2ポイント高くなっている。

【年代別】

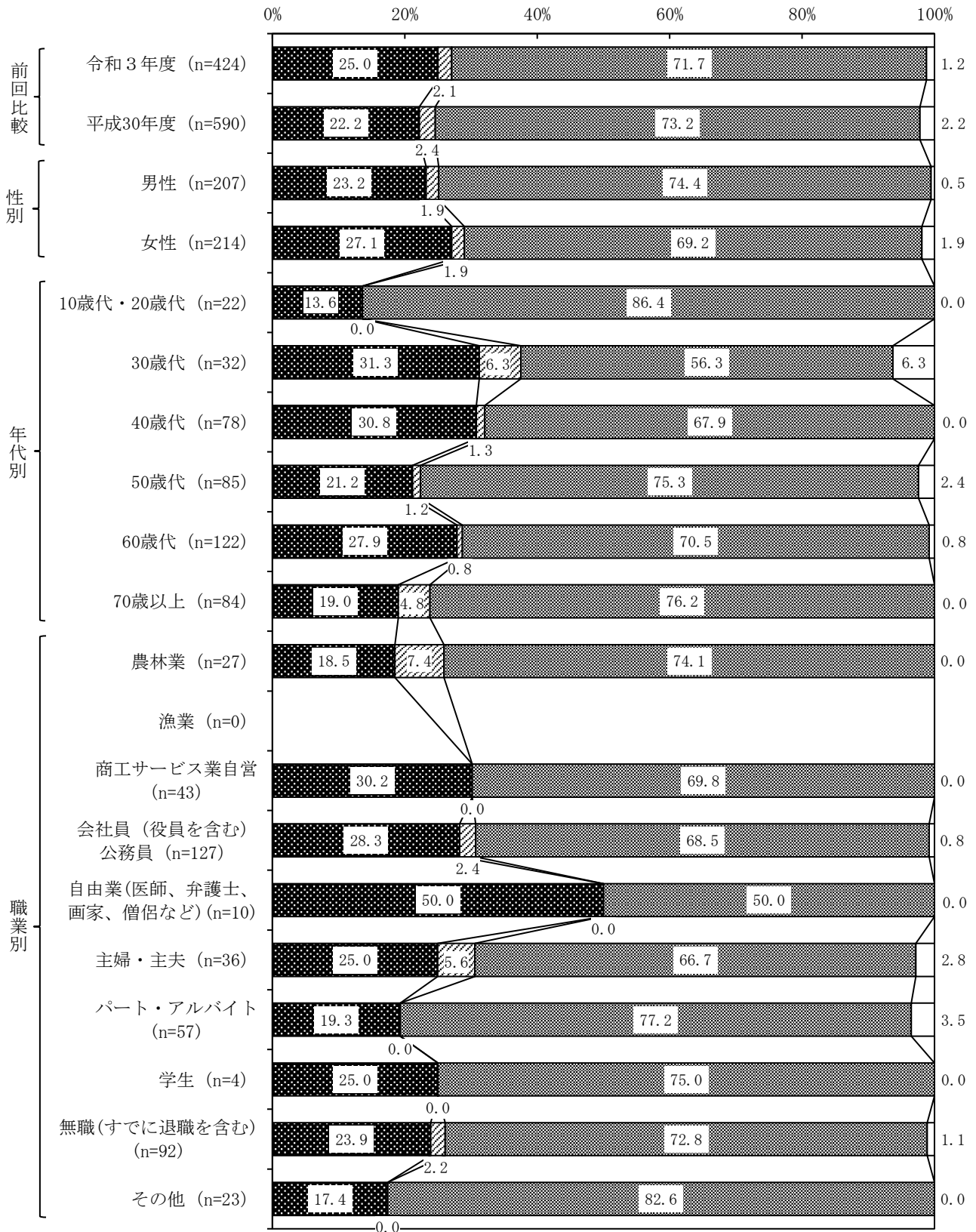
すべての年代で「診断を受けたことはない」が最も高い。30歳代、40歳代は「耐震診断を受けた」割合が30%を超えており、他の年代に比べて割合が高い。

【職業別】

すべての職業で「診断を受けたことはない」が最も高い。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された
- ▣ 診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された
- ▨ 診断を受けたことはない
- 無回答

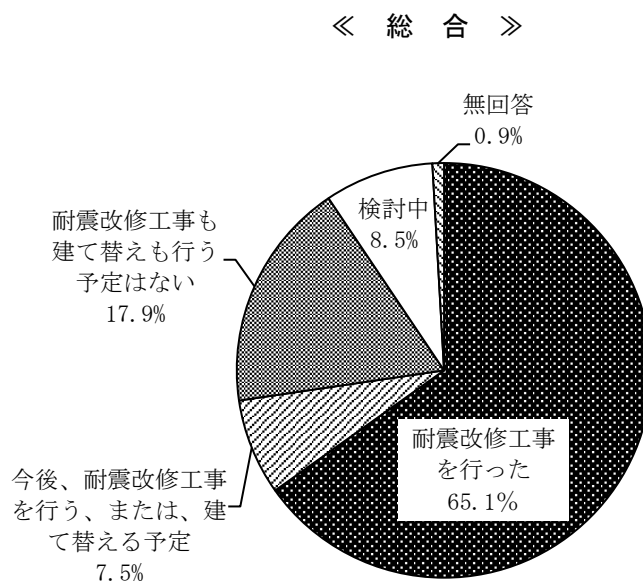


問47 耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか

問47 問46で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。(ひとつだけ○)

耐震改修が必要と診断された人の対応は、「耐震改修工事を行った」が65.1%と最も高く、次いで「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」17.9%、「検討中」8.5%と続いている。



(n = 106)

【前回比較】

「耐震改修工事を行った」は、令和3年度は65.1%と平成30年度の43.5%より21.6ポイント高くなっている。

【性別】

「耐震改修工事を行った」は、男性は56.3%、女性は72.4%と女性の方が16.1ポイント高い。

【年代別】

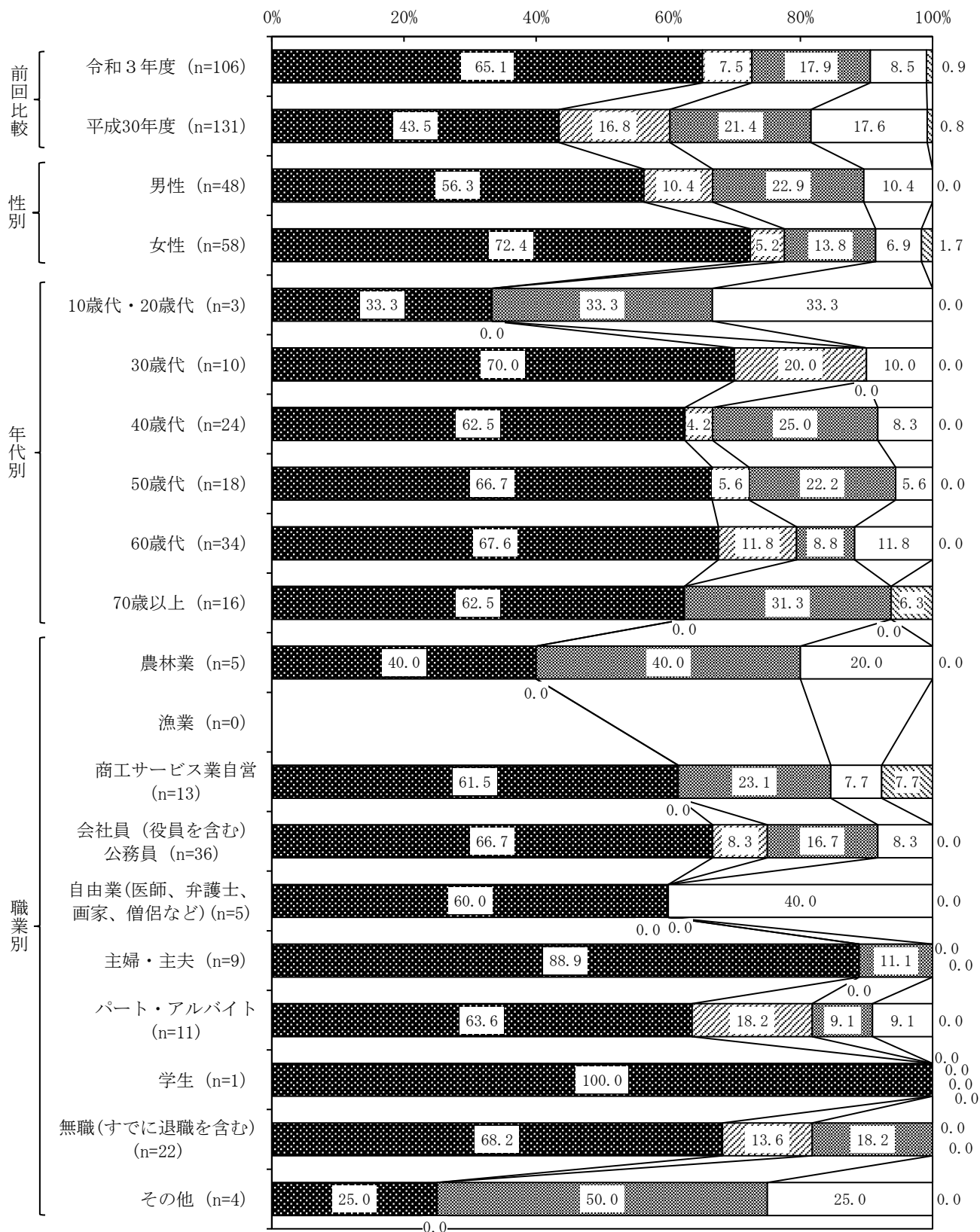
すべての年代で「耐震改修工事を行った」が最も高い。70歳以上は「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が30%を超えており、他の年代に比べて特に高い。

【職業別】

その他は「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が、それ以外の職業は「耐震改修工事を行った」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 耐震改修工事を行った
- 今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定
- 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない
- 検討中
- 無回答



問48 耐震改修工事をしない理由

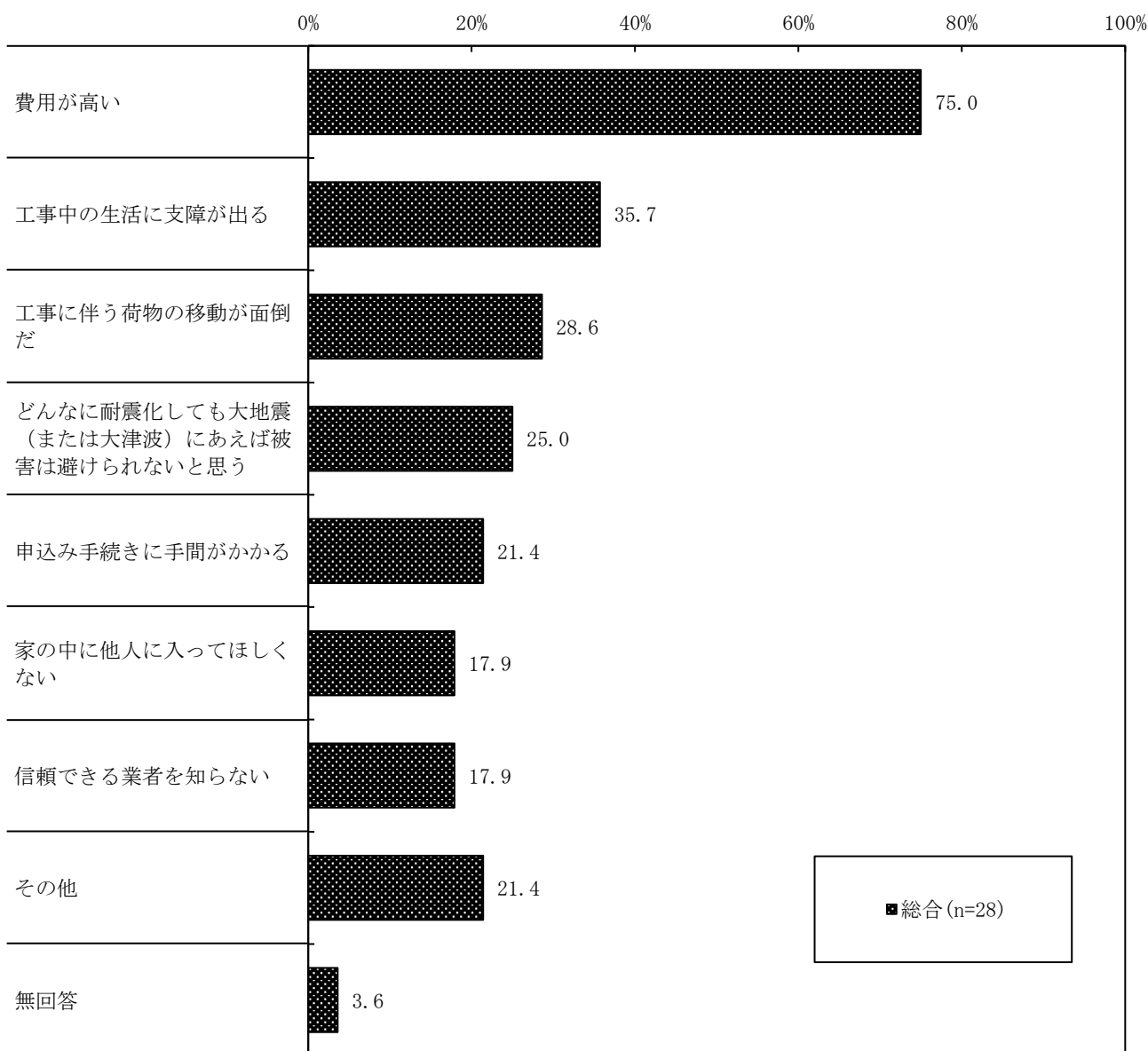
問48 問47で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

耐震改修工事をしない理由は、「費用が高い」が75.0%と最も高く、次いで「工事中の生活に支障が出る」35.7%、「工事に伴う荷物の移動が面倒だ」28.6%と続いている。

「費用が高い」は、2番目に高い「工事中の生活に支障が出る」と比べて39.3ポイント高い。

《 総 合 》



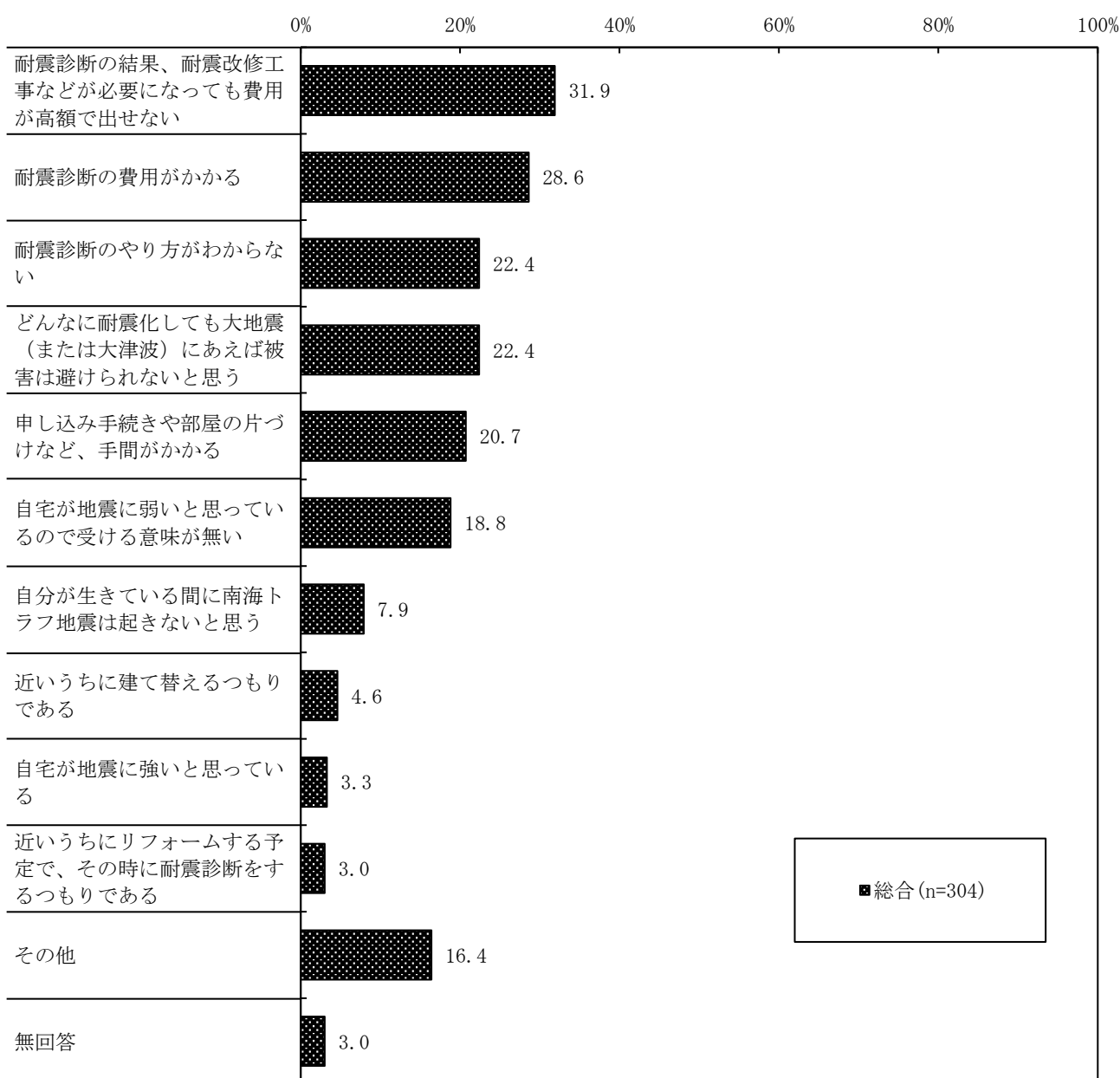
問49 耐震診断を受けていない理由

問49 問46で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。(当てはまるものすべてに○)

耐震診断を受けていない理由は、「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が31.9%と最も高く、次いで「耐震診断の費用がかかる」28.6%、「耐震診断のやり方がわからない」と「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が同率で22.4%と続いている。

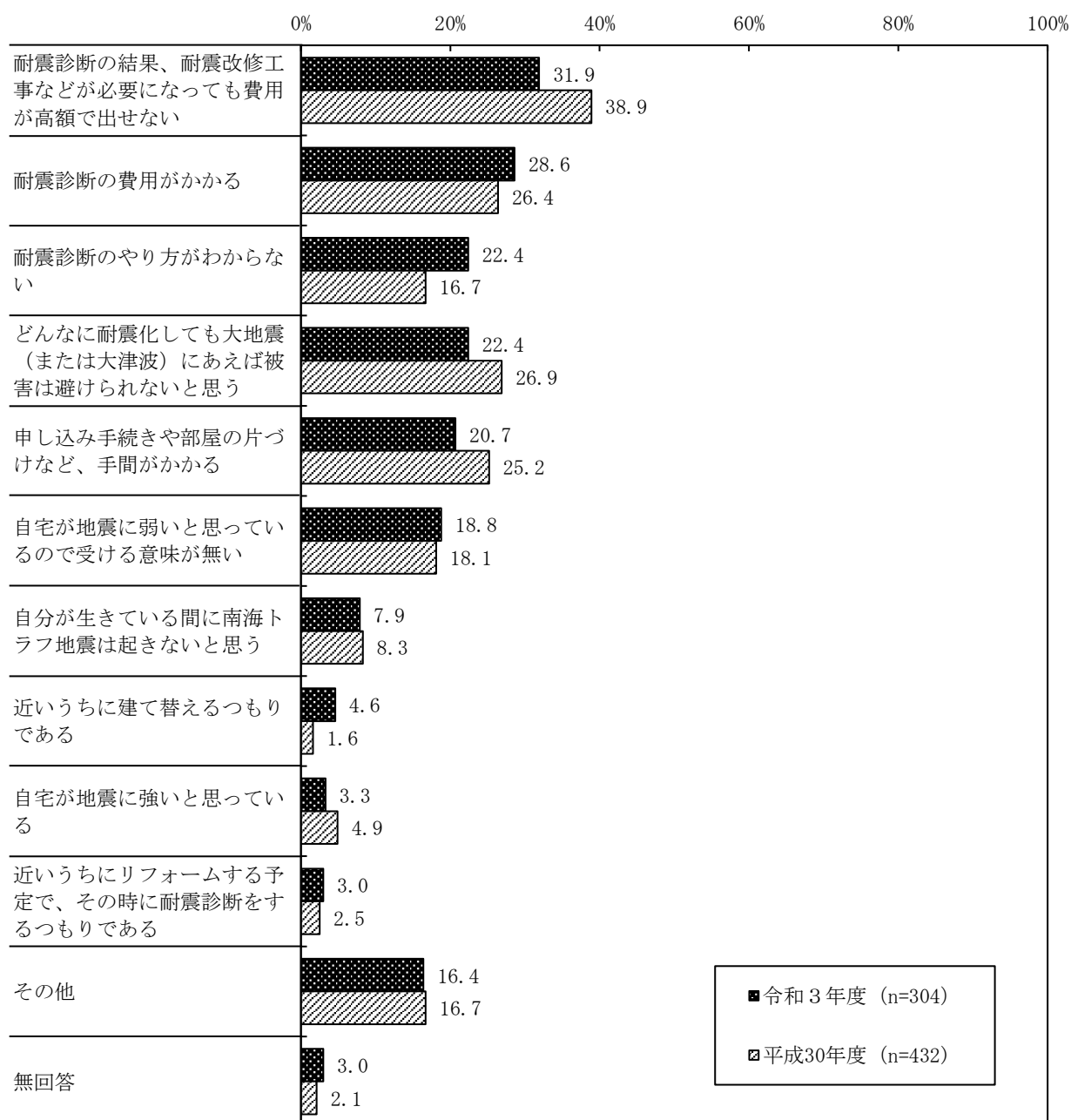
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が最も高いが、令和3年度は平成30年度より7ポイント減少している。平成30年度では、2番目が「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」、3番目が「耐震診断の費用がかかる」となっているが、令和3年度では、2番目は「耐震診断の費用がかかる」、3番目が同率で「耐震診断のやり方がわからない」と「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」となっている。

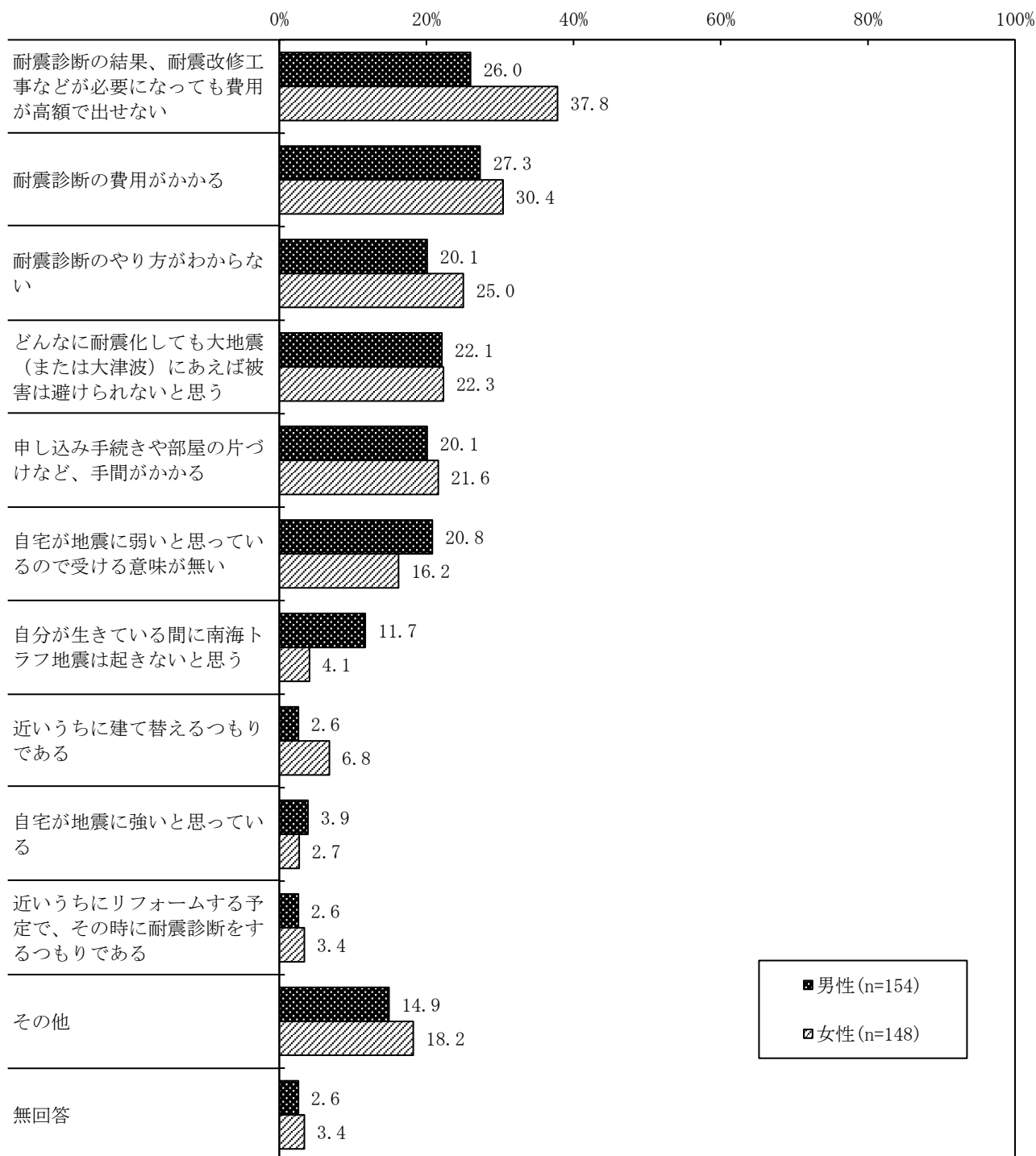
《 前 回 比 較 》



【性別】

「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」は、男性は26.0%、女性は37.8%と、女性の方が11.8ポイント高くなっている。

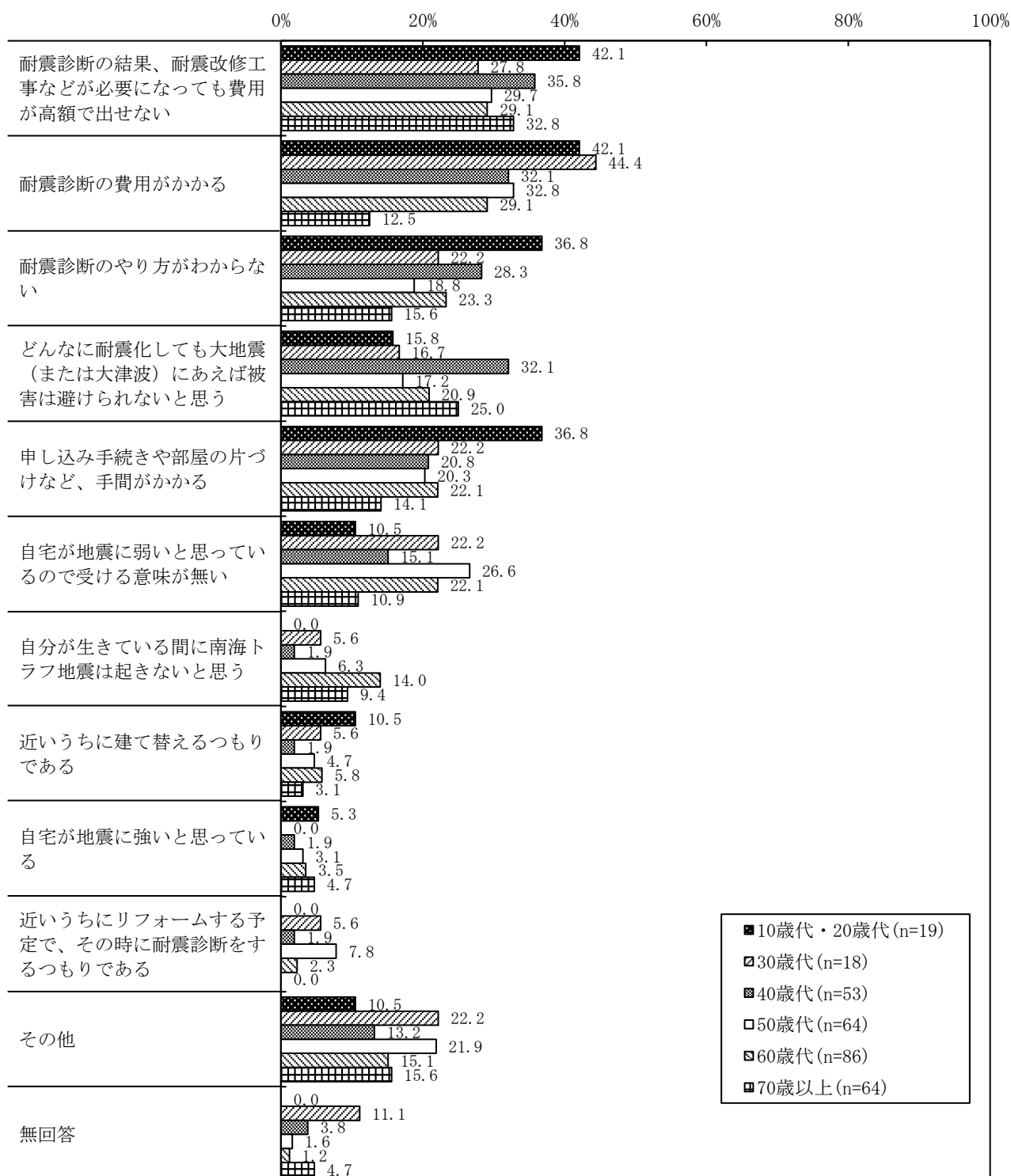
《 性別 》



【年代別】

40歳代、70歳以上は「耐震診断の結果、耐震改修工事が必要になっても費用が高額で出せない」が、30歳代、50歳代は「耐震診断の費用がかかる」が、10歳代・20歳代、60歳代は同率で「耐震診断の結果、耐震改修工事が必要になっても費用が高額で出せない」と「耐震診断の費用がかかる」が最も高くなっている。10歳代・20歳代は、「耐震診断のやり方が分からない」、「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」が他の年代に比べて高い割合となっている。

《 年代別 》



【職業別】

農林業、商工サービス業自営、主婦・主夫、学生、無職は「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が、会社員、公務員は「耐震診断の費用がかかる」が、パート・アルバイト、その他は「耐震診断のやり方がわからない」が、自由業は「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

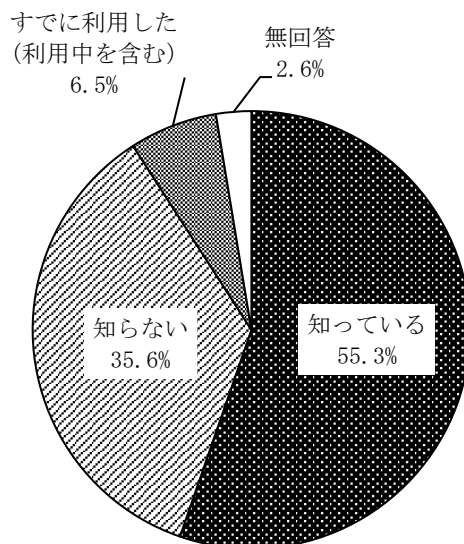
項 目 属 性	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	耐震診断の費用がかかる	耐震診断のやり方がわからない	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	近いうちに建て替えるつもりである	自宅が地震に強いと思っている	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	その他	無回答
農林業 (n=20)	35.0	15.0	5.0	10.0	25.0	15.0	10.0	-	5.0	-	25.0	10.0
漁業 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=30)	33.3	30.0	23.3	26.7	26.7	13.3	3.3	6.7	6.7	3.3	10.0	6.7
会社員（役員を含む）、公務員 (n=87)	27.6	32.2	20.7	14.9	20.7	19.5	6.9	6.9	2.3	4.6	17.2	3.4
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など） (n=5)	20.0	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-
主婦・主夫 (n=24)	54.2	20.8	12.5	33.3	25.0	8.3	4.2	4.2	4.2	8.3	12.5	-
パート・アルバイト (n=44)	18.2	27.3	29.5	27.3	18.2	20.5	11.4	4.5	-	2.3	22.7	2.3
学生 (n=3)	100.0	66.7	66.7	-	33.3	66.7	-	-	-	-	33.3	-
無職（すでに退職を含む） (n=67)	32.8	29.9	25.4	26.9	17.9	23.9	10.4	3.0	6.0	1.5	13.4	-
その他 (n=19)	31.6	26.3	31.6	26.3	10.5	15.8	10.5	-	-	-	15.8	5.3

問50 補助制度を知っているか

問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

補助制度の認知状況は、「知っている」が55.3%と最も高く、次いで「知らない」35.6%、「すでに利用した（利用中を含む）」6.5%となっている。

《 総 合 》



(n = 492)

【前回比較】

令和3年度は「知っている」の割合が55.3%と、平成30年度の60.5%と比べて5.2ポイント減少している。

【性別】

「知らない」は、男性は40.1%、女性は31.4%と、男性の方が8.7ポイント高くなっている。

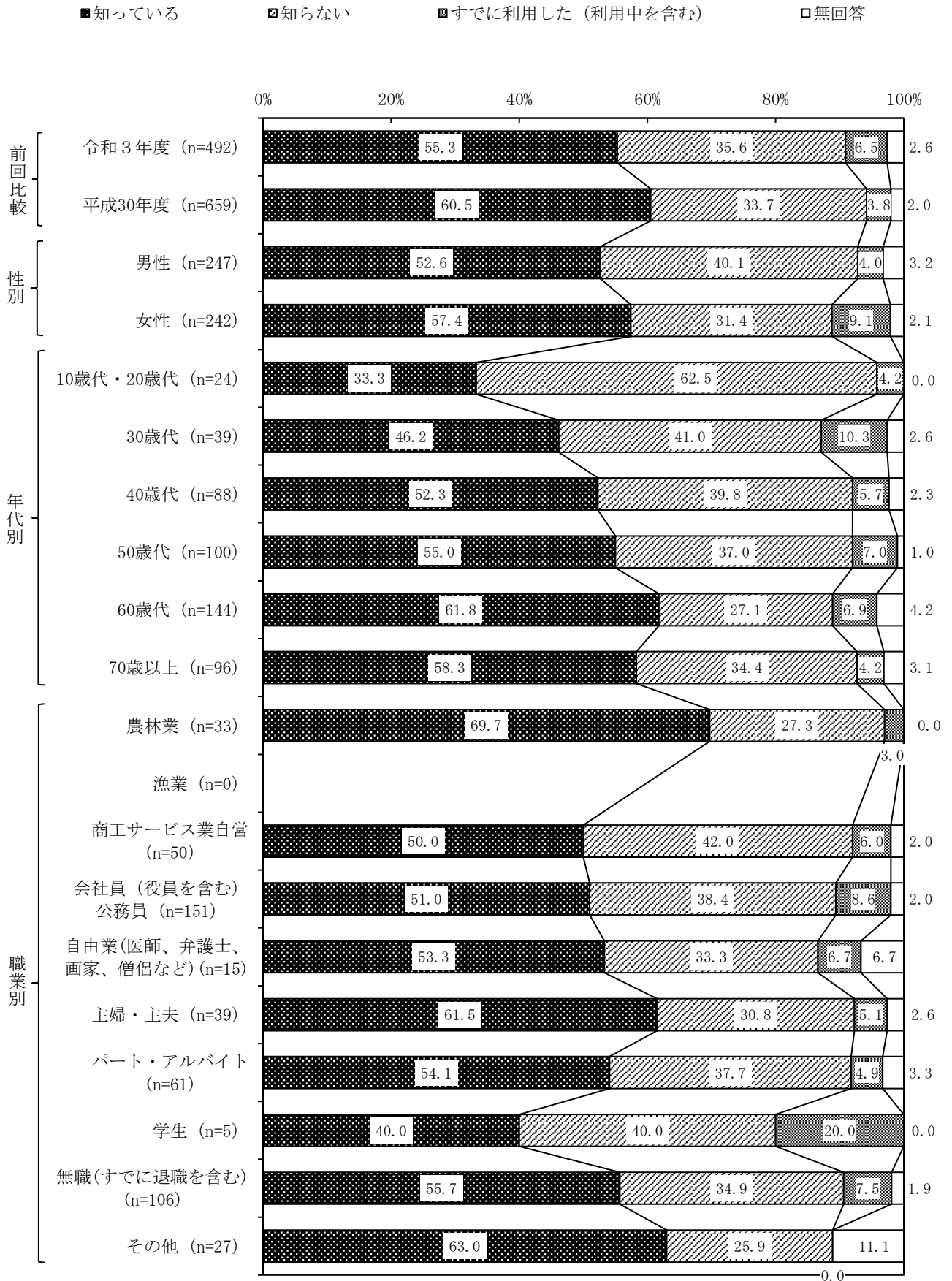
【年代別】

10歳代・20歳代は「知らない」が、それ以外の年代は「知っている」が最も高くなっている。

【職業別】

すべての職業で、「知っている」が最も高くなっている。学生は40.0%と他の職業より低い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問49×問50 耐震診断を受けていない理由と補助制度の認知度とのクロス分析

「耐震診断を受けていない理由」として、「耐震診断の費用がかかる」と回答した人のうち、補助制度を「知らない」と回答した方は52.9%となっている。

上段：人数
下段：%

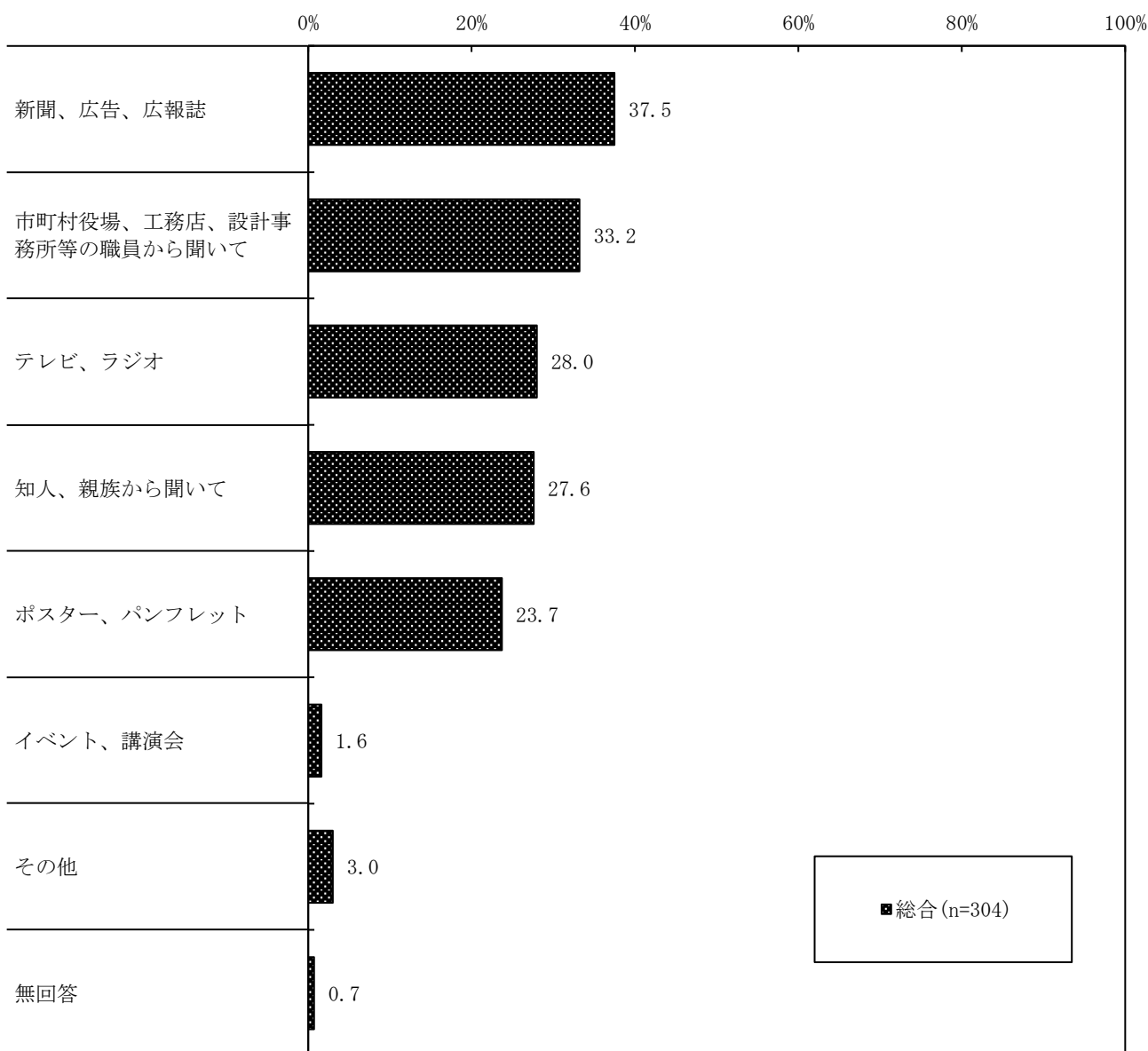
		問50			
		知っている	知らない	すでに利用した (利用中を含む)	無回答
問 49	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	11 45.8	12 50.0	-	1 4.2
	自宅が地震に強いと思っている	7 70.0	3 30.0	-	-
	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	32 56.1	24 42.1	-	1 1.8
	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	33 52.4	29 46.0	-	1 1.6
	耐震診断の費用がかかる	40 46.0	46 52.9	-	1 1.1
	耐震診断のやり方がわからない	25 36.8	42 61.8	-	1 1.5
	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	6 66.7	3 33.3	-	-
	近いうちに建て替えるつもりである	7 50.0	7 50.0	-	-
	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	54 55.7	42 43.3	-	1 1.0
	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	46 67.6	21 30.9	-	1 1.5
	その他	27 54.0	21 42.0	-	2 4.0
	無回答	2 22.2	5 55.6	-	2 22.2

問51 どのようにして知ったか

問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

どのように補助制度を知ったかについては、「新聞、広告、広報誌」が37.5%と最も高く、次いで「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」33.2%、「テレビ、ラジオ」28.0%と続いている。

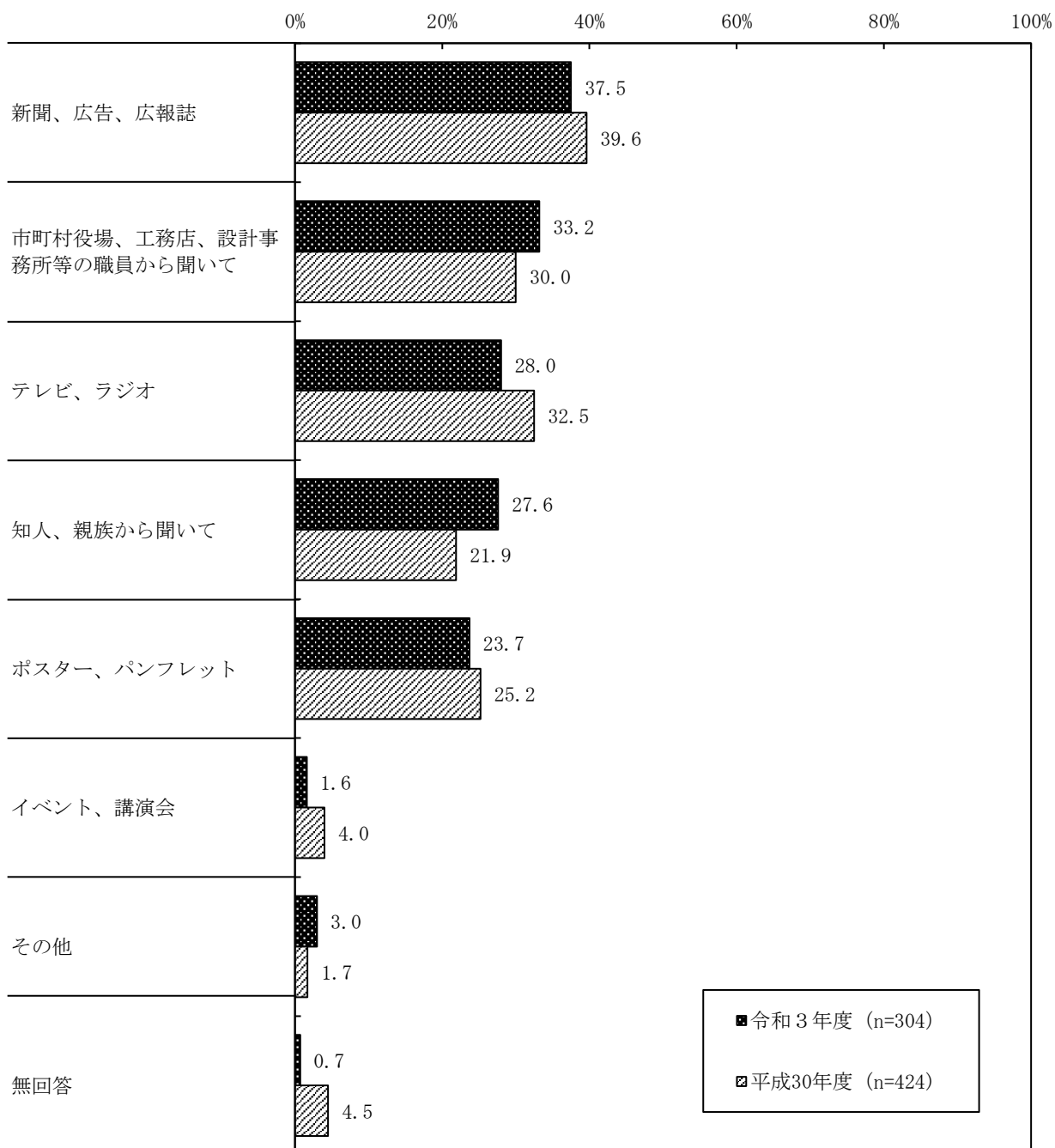
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに「新聞、広告、広報誌」が最も高くなっている。「テレビ、ラジオ」は、平成30年度に比べて4.5ポイント減少し、「知人、親族から聞いて」は5.7ポイント増加している。

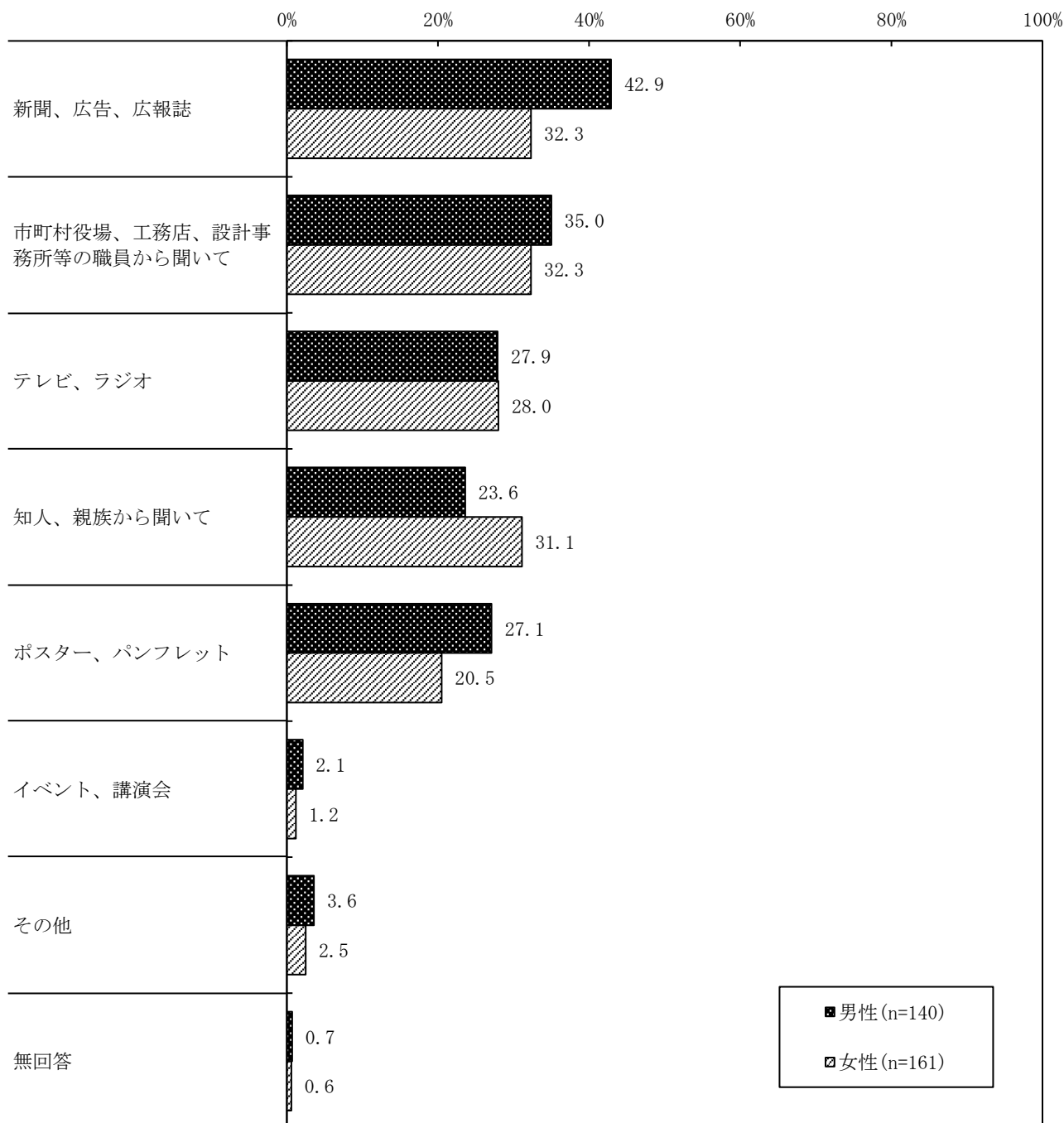
《 前 回 比 較 》



【性別】

「新聞、広告、広報誌」は男性42.9%、女性32.3%と男性の方が10.6ポイント、「ポスター、パンフレット」は、男性27.1%、女性20.5%と男性の方が6.6ポイント高くなっている。「知人、親族から聞いて」は、男性23.6%、女性31.1%と女性の方が7.5ポイント高くなっている。

《 性別 》

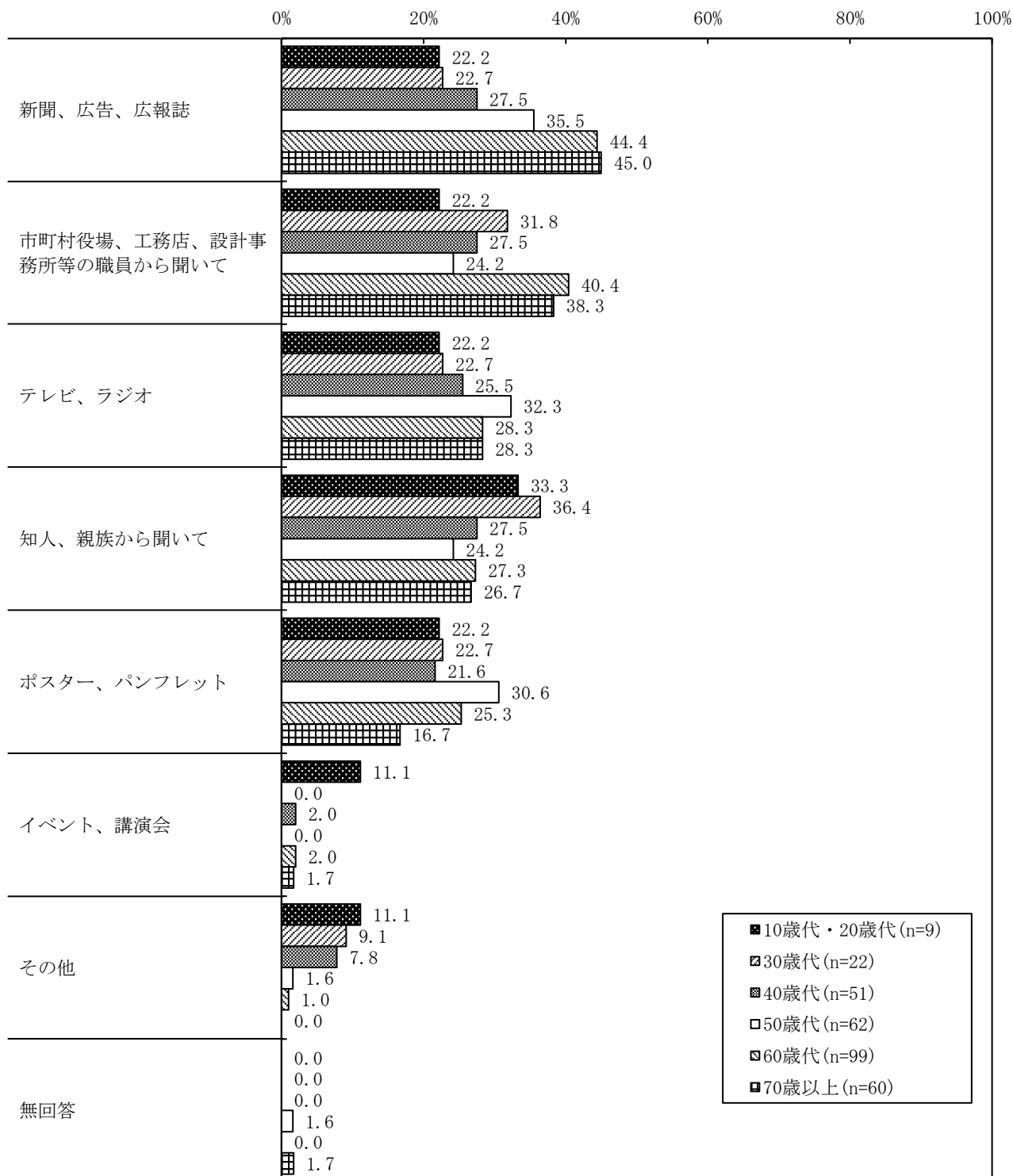


【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代は「知人、親族から聞いて」が、40歳代は同率で「新聞、広告、広報誌」、
「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」、「知人、親族から聞いて」が、50歳代、
60歳代、70歳以上は「新聞、広告、広報誌」が最も高くなっている。

「新聞、広告、広報誌」は、年代が上がるほど割合も高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

農林業、商工サービス業自営、無職、その他は「新聞、広告、広報誌」が、パート・アルバイト、学生は「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が、会社員、公務員は同率で「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と「知人、親族から聞いて」が、自由業は同率で「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と「ポスター、パンフレット」が、主婦・主夫は同率で「新聞、広告、広報誌」と「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

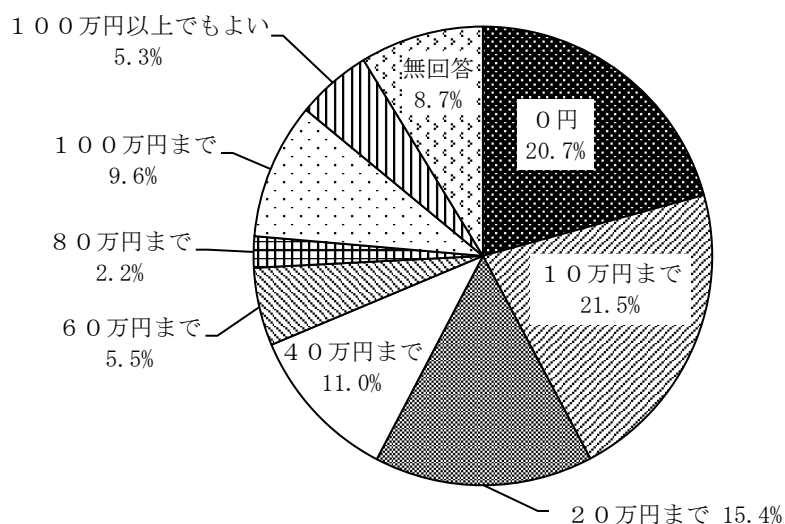
項 目 属 性	新聞、 広告、 広報誌	市町村役場、 工務店、 設計事務所等 の職員 から 聞いて	テレビ、 ラジオ	知人、 親族 から 聞いて	ポスター、 パンフレット	イベント、 講演会	その他	無 回 答
農林業 (n=24)	37.5	25.0	20.8	29.2	16.7	-	-	4.2
漁業 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=28)	42.9	35.7	35.7	17.9	17.9	3.6	-	-
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=90)	26.7	28.9	23.3	28.9	26.7	2.2	4.4	1.1
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=9)	33.3	44.4	11.1	11.1	44.4	-	-	-
主婦・主夫 (n=26)	50.0	50.0	30.8	38.5	11.5	3.8	-	-
パート・アルバイト (n=36)	36.1	38.9	27.8	25.0	36.1	-	2.8	-
学生 (n=3)	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-
無職 (すでに退職を含む) (n=67)	44.8	34.3	31.3	26.9	20.9	-	4.5	-
その他 (n=17)	47.1	11.8	35.3	35.3	23.5	-	5.9	-

問52 耐震改修工事や設計の自己負担許容額

問52 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

耐震改修工事や設計の自己負担許容額は、「10万円まで」が21.5%と最も高く、次いで「0円」20.7%、「20万円まで」15.4%と続いている。

《 総 合 》



(n = 492)

【前回比較】

令和3年度は平成30年度と比べ、「0円」、「10万円まで」が増加し、20万円以上が減少している。

【性別】

男性は、女性に比べて「0円」が7.8ポイント、「100万円以上でもよい」が4.8ポイント高くなっている。女性は、男性に比べて「20万円まで」が3.6ポイント、「40万円まで」が2.7ポイント高くなっている。

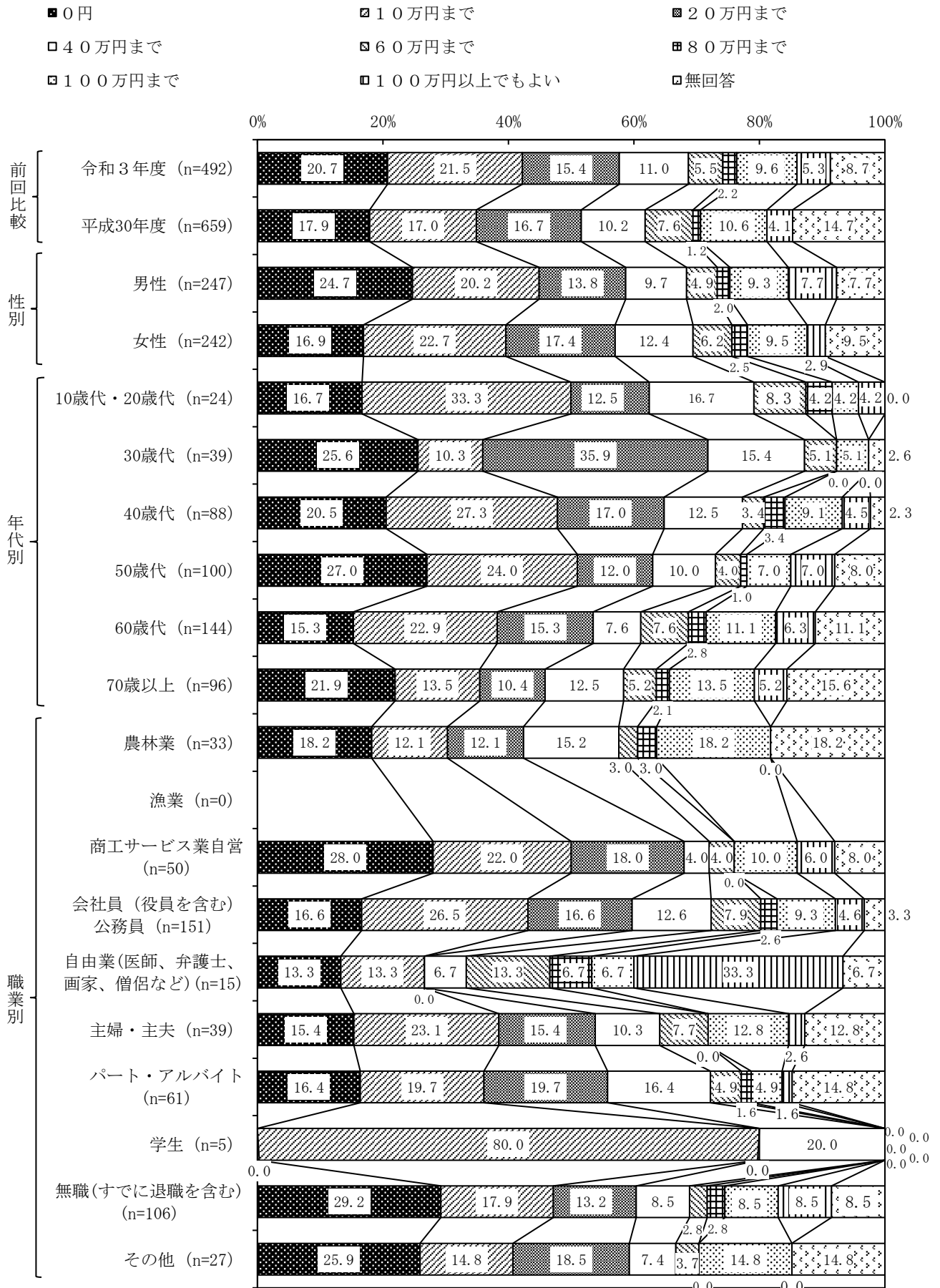
【年代別】

10歳代・20歳代、40歳代、60歳代は「10万円まで」が、30歳代は「20万円まで」が、50歳代、70歳以上は「0円」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、商工サービス業自営、無職、その他は「0円」が、会社員、公務員、主婦・主夫、学生は「10万円まで」が、パート・アルバイトは同率で「10万円まで」と「20万円まで」が、自由業は「100万円以上でもよい」が最も高くなっている。自由業は33.3%と他の職業が10%以下の中、3倍以上の割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問45×問52 住宅の建築時期と耐震改修工事と設計の自己負担許容額のクロス分析

建築時期が「昭和56年5月以前の木造住宅」の方では「10万円まで」、「昭和56年5月以前の非木造住宅」の方は「0円」の割合が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

		問52								
		0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答
問 45	昭和56年5月以前の木造住宅	90 21.2	95 22.4	65 15.3	45 10.6	23 5.4	10 2.4	41 9.7	20 4.7	35 8.3
	昭和56年5月以前の非木造住宅	12 17.6	11 16.2	11 16.2	9 13.2	4 5.9	1 1.5	6 8.8	6 8.8	8 11.8

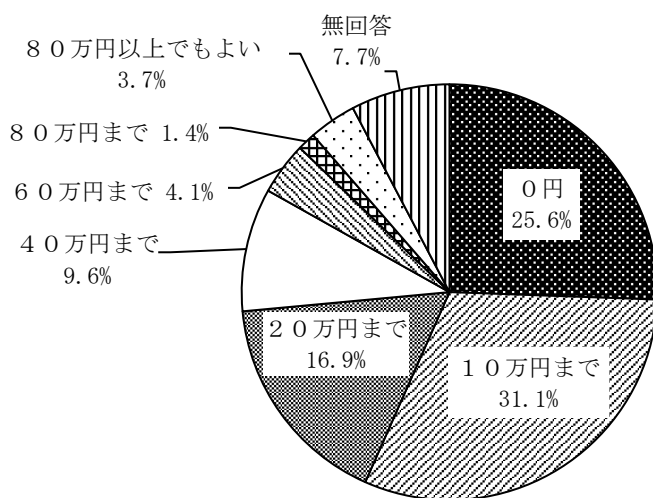
問53 部分的な耐震対策を行う場合の自己負担許容額

問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッドの設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

※耐震シェルター、耐震ベッドは、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守るもの

部分的な耐震対策を行う場合の自己負担許容額は、「10万円まで」が31.1%と最も高く、次いで「0円」25.6%、「20万円まで」16.9%と続いている。

《 総 合 》



(n = 492)

【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに同じ傾向にあるが、「0円」では、令和3年度は6.2ポイント増加している。

【性別】

男性は、「0円」が最も高く、女性より11ポイント高い。女性は、「10万円まで」が最も高く、男性より8.5ポイント高い。

【年代別】

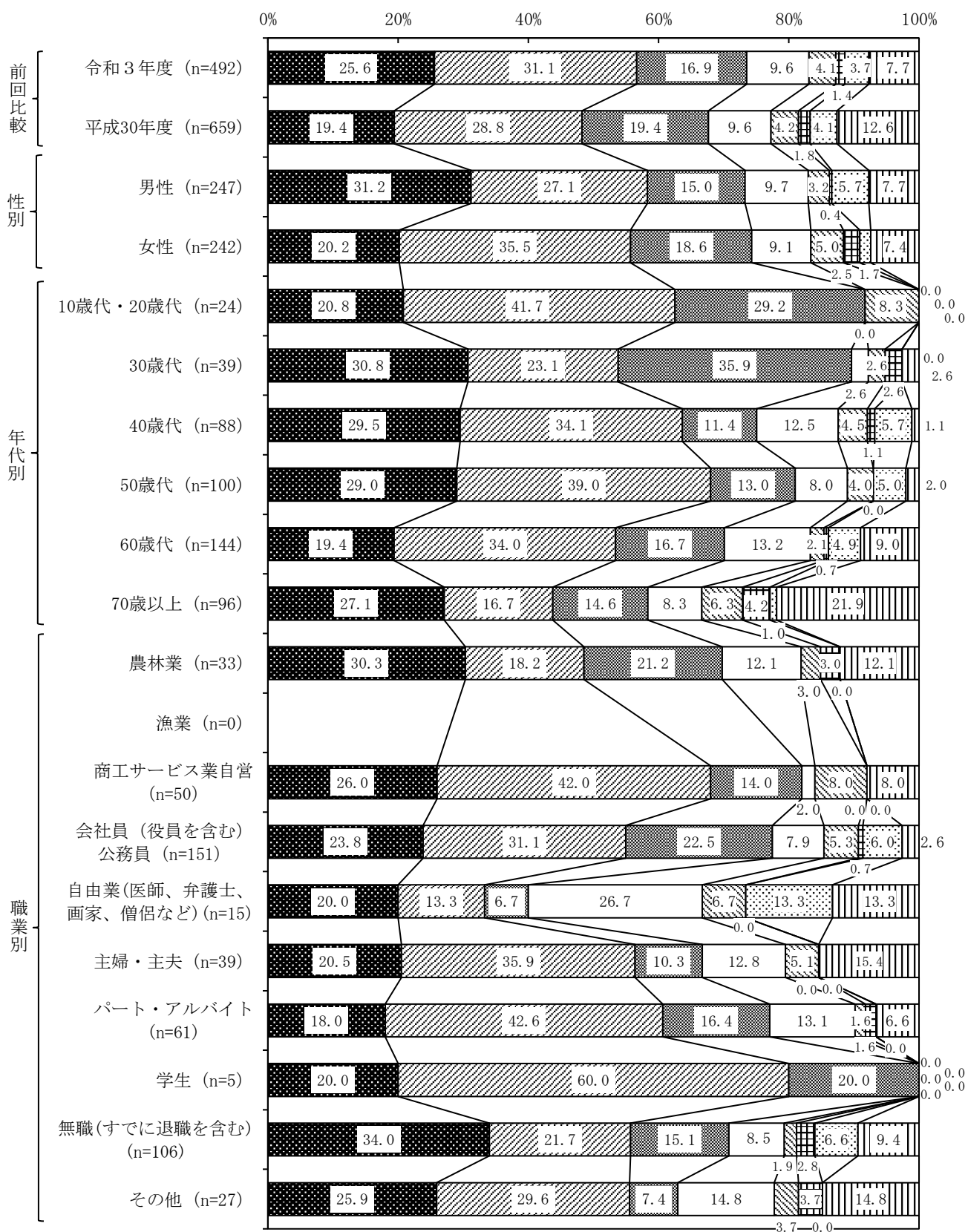
10歳代・20歳代、40歳代、50歳代、60歳代は「10万円まで」が、30歳代は「20万円まで」が、70歳以上は「0円」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、無職は「0円」が、自由業は「40万円まで」が、それ以外の職業は「10万円まで」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 0円
- ▨ 10万円まで
- ▩ 20万円まで
- 40万円まで
- ▩ 60万円まで
- ▨ 80万円まで
- ▩ 80万円以上でもよい
- 無回答



問45×問53 住宅の建築時期と耐震対策の自己負担許容額とのクロス分析

建築時期が「昭和56年5月以前の木造住宅」の方では「10万円まで」、「昭和56年5月以前の非木造住宅」の方は「0円」の割合が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

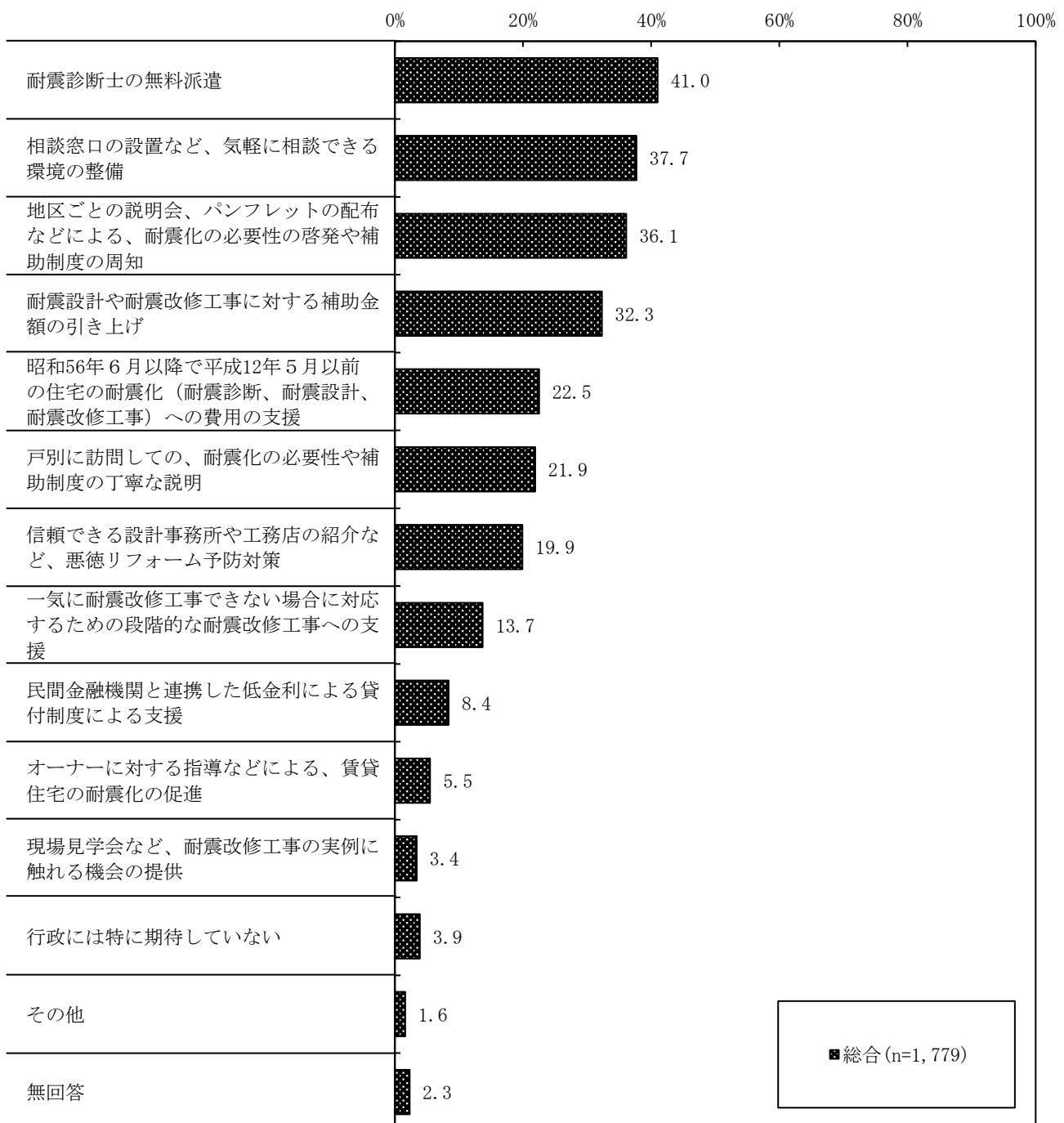
		問53								
		0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答
問 45	昭和56年5月以前の木造住宅	108 25.5	139 32.8	67 15.8	39 9.2	18 4.2	7 1.7	15 3.5	31 7.3	
	昭和56年5月以前の非木造住宅	18 26.5	14 20.6	16 23.5	8 11.8	2 2.9	- -	3 4.4	7 10.3	

問54 耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を入れるべきものは何か

問54 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

耐震化を促進するために県が市町村等と協力して行う施策は、「耐震診断士の無料派遣」が41.0%と最も高く、次いで「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」37.7%、「地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知」36.1%と続いている。

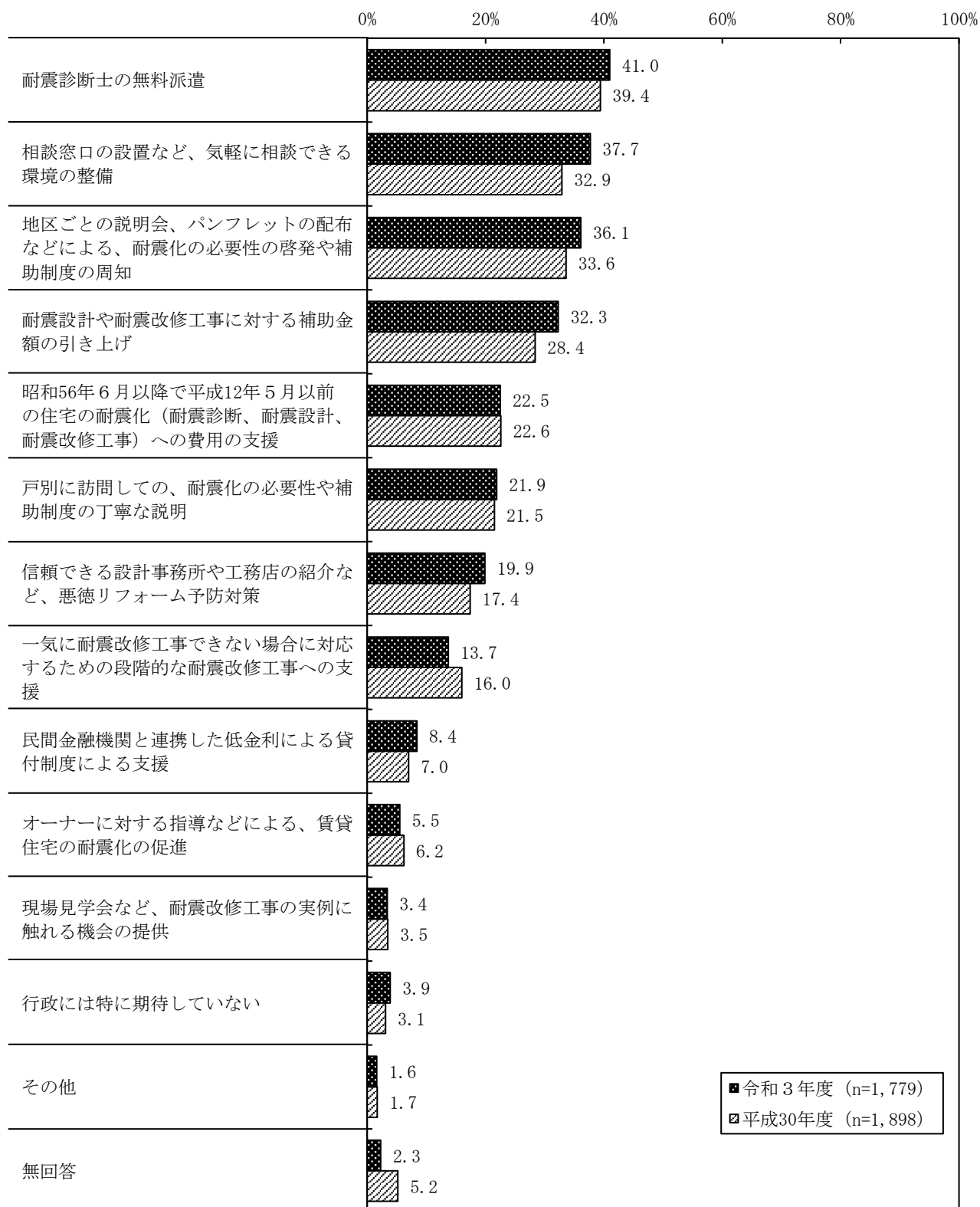
《 総 合 》



【前回比較】

「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」は4.8ポイント、「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」は3.9ポイント増加している。

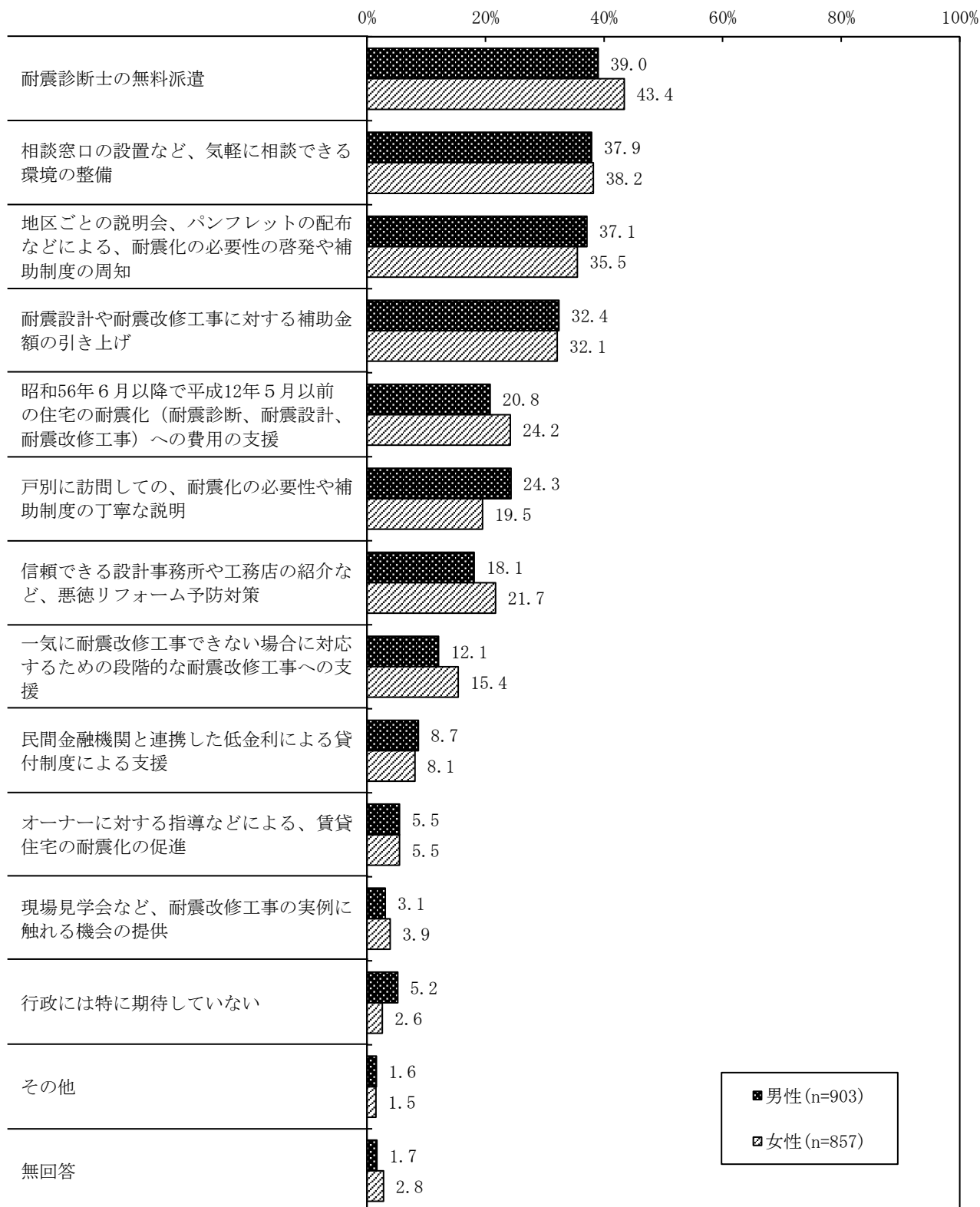
◀ 前回比較 ▶



【性別】

男女ともに最も高い「耐震診断士の無料派遣」は、男性39.0%、女性43.4%と女性の方が4.4ポイント高くなっている。

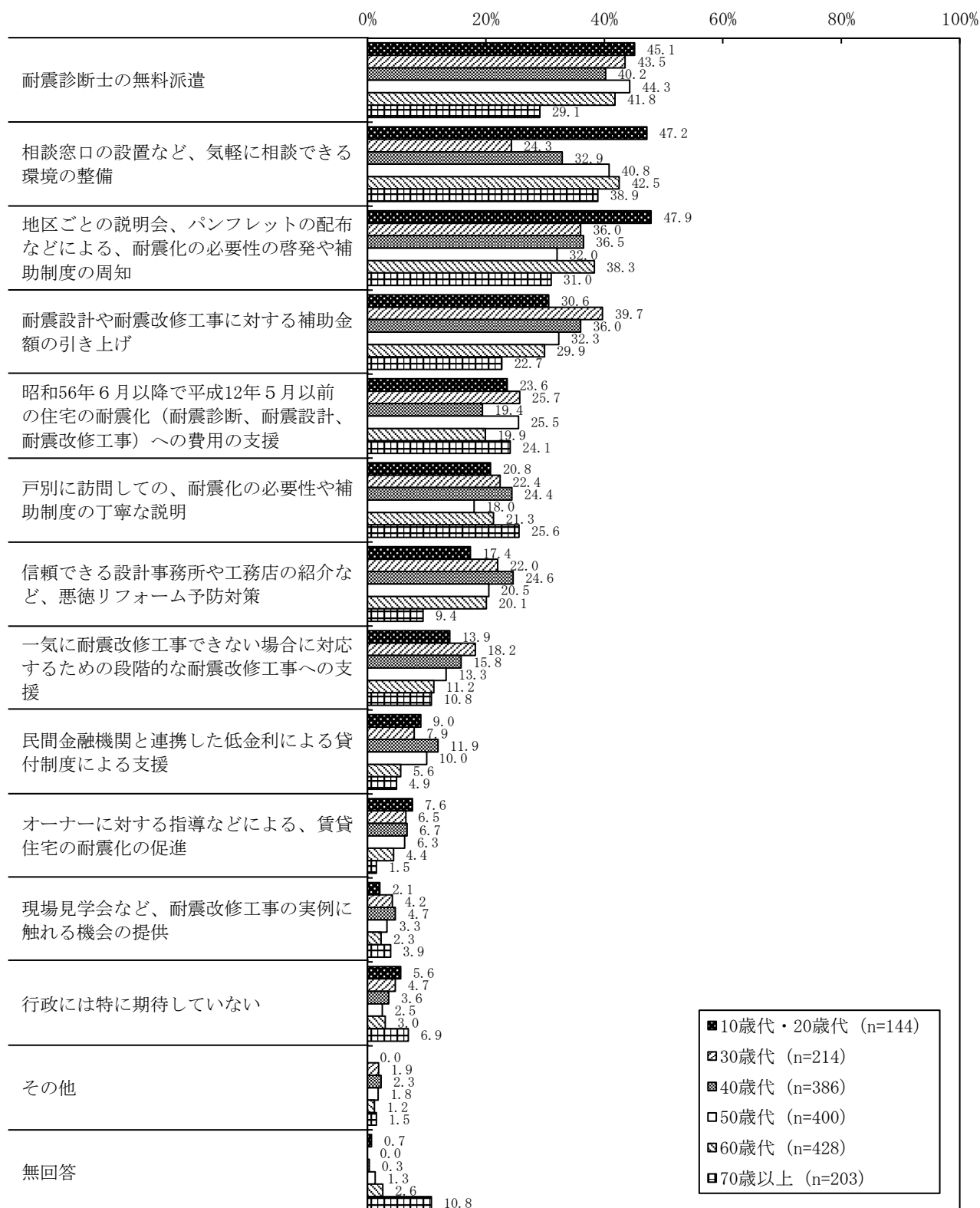
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代は「地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知」が最も高く、他の年代と比べても特に高い。30歳代、40歳代、50歳代は「耐震診断士の無料派遣」が、60歳代、70歳以上は「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

農林業、自由業は「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が、無職は「地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知」が、漁業は同率で、「耐震診断士の無料派遣」、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」、「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」が、商工サービス業自営は同率で、「耐震診断士の無料派遣」、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が、それ以外の職業は、「耐震診断士の無料派遣」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項目 属性	耐震診断士の無料派遣	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震設計、耐震改修工事)への費用の支援	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	進	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	現場見学会など、耐震改修工事の事例に触れる機会の提供	行政には特に期待していない	その他	無回答
農林業 (n=88)	27.3	37.5	34.1	28.4	18.2	19.3	21.6	9.1	12.5	-	8.0	5.7	2.3	8.0	
漁業(n=4)	50.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	
商工サービス業自営 (n=128)	37.5	37.5	31.3	32.0	24.2	19.5	19.5	18.8	8.6	3.9	2.3	3.1	0.8	0.8	
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	44.4	35.0	39.0	33.2	21.0	23.7	21.4	13.9	9.7	6.9	3.2	3.4	1.9	0.5	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	38.0	54.0	40.0	36.0	28.0	22.0	26.0	10.0	8.0	2.0	2.0	2.0	-	-	
主婦・主夫(n=136)	40.4	39.7	27.2	27.2	26.5	21.3	19.9	16.9	8.1	3.7	3.7	1.5	2.2	4.4	
パート・アルバイト(n=229)	41.9	40.2	31.4	34.9	24.0	17.0	19.2	13.1	7.9	5.7	4.4	2.6	1.3	1.7	
学生(n=49)	53.1	51.0	44.9	32.7	24.5	26.5	16.3	16.3	4.1	2.0	-	6.1	-	-	
無職(すでに退職を含む)(n=253)	36.4	36.8	39.5	28.5	19.8	20.9	17.4	10.7	4.3	5.5	2.8	6.7	1.2	4.7	
その他(n=92)	37.0	35.9	32.6	34.8	30.4	25.0	17.4	15.2	9.8	8.7	4.3	4.3	2.2	7.6	

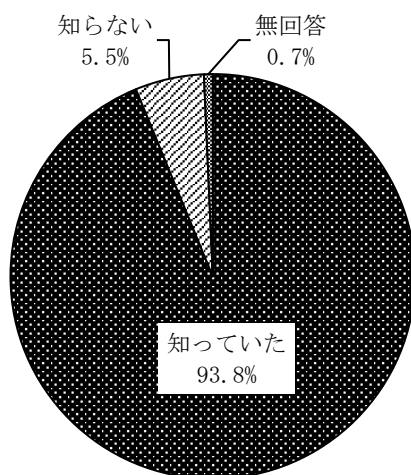
(5) 地震火災対策について

問55 地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか

問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることについては、93.8%が「知っていた」と回答し、「知らない」と回答は5.5%だった。

《 総 合 》



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度、平成30年度とも同じ傾向で、大きな差は見られなかった。

【性別】

「知らない」は女性が7.0%と、男性の4.0%より3ポイント高くなっている。

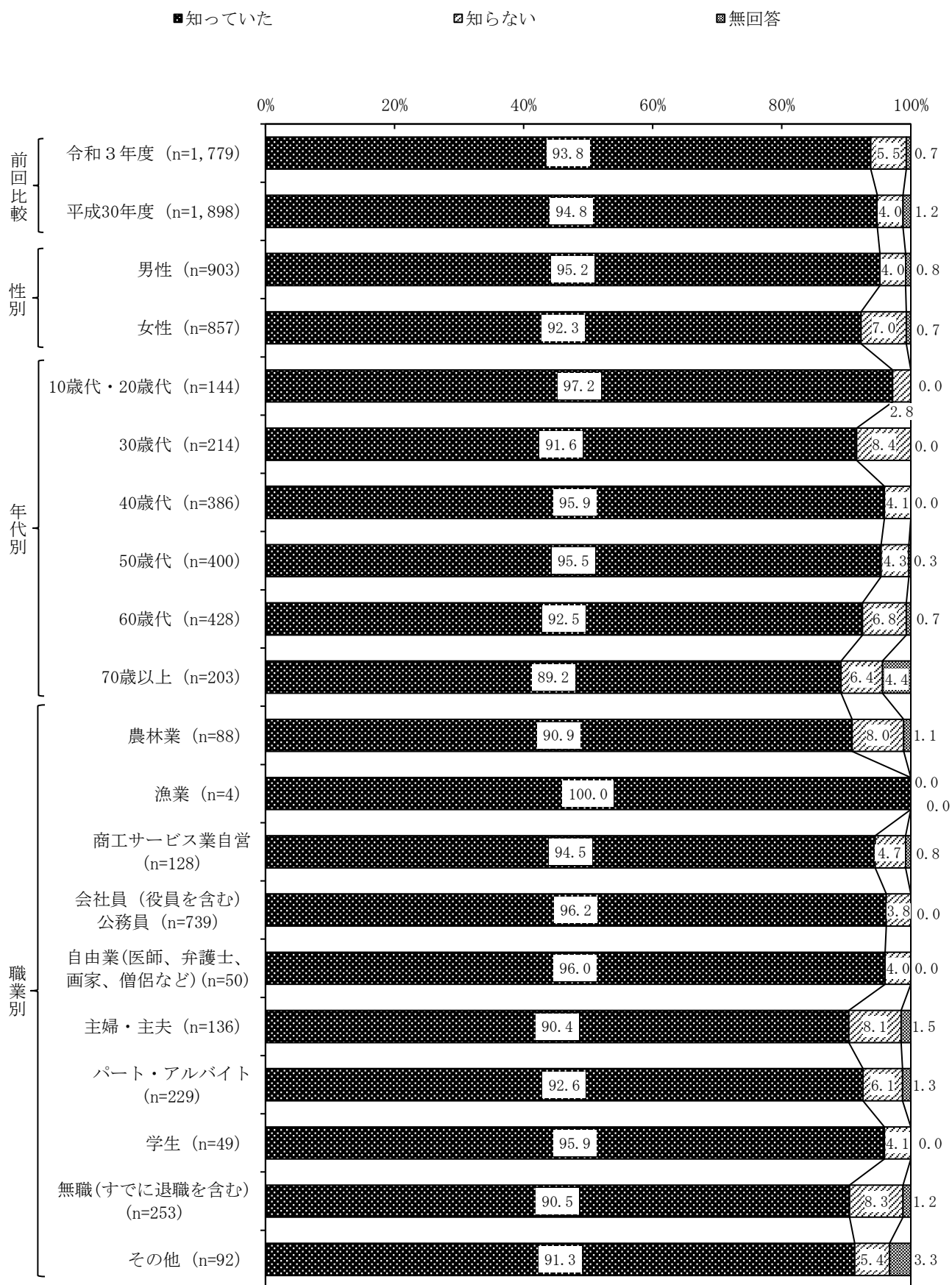
【年代別】

30歳代の「知らない」は8.4%と他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

農林業、主婦・主夫、無職は、「知らない」の割合が8%を超えており、他の職業よりも高い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

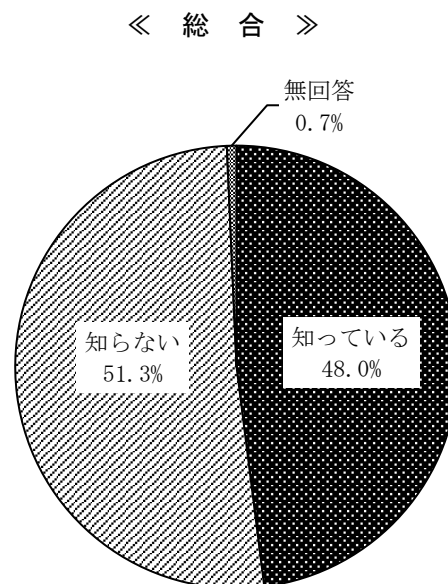


問56 感震ブレーカーを知っているか

問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー」を知っていますか。

(ひとつだけ○)

感震ブレーカーについては、「知っている」が48.0%、「知らない」が51.3%となっている。



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに同じ傾向で、大きな違いは見られない。

【性別】

「知っている」は、男性は55.9%、女性は39.4%と男性の方が16.5ポイント高くなっている。

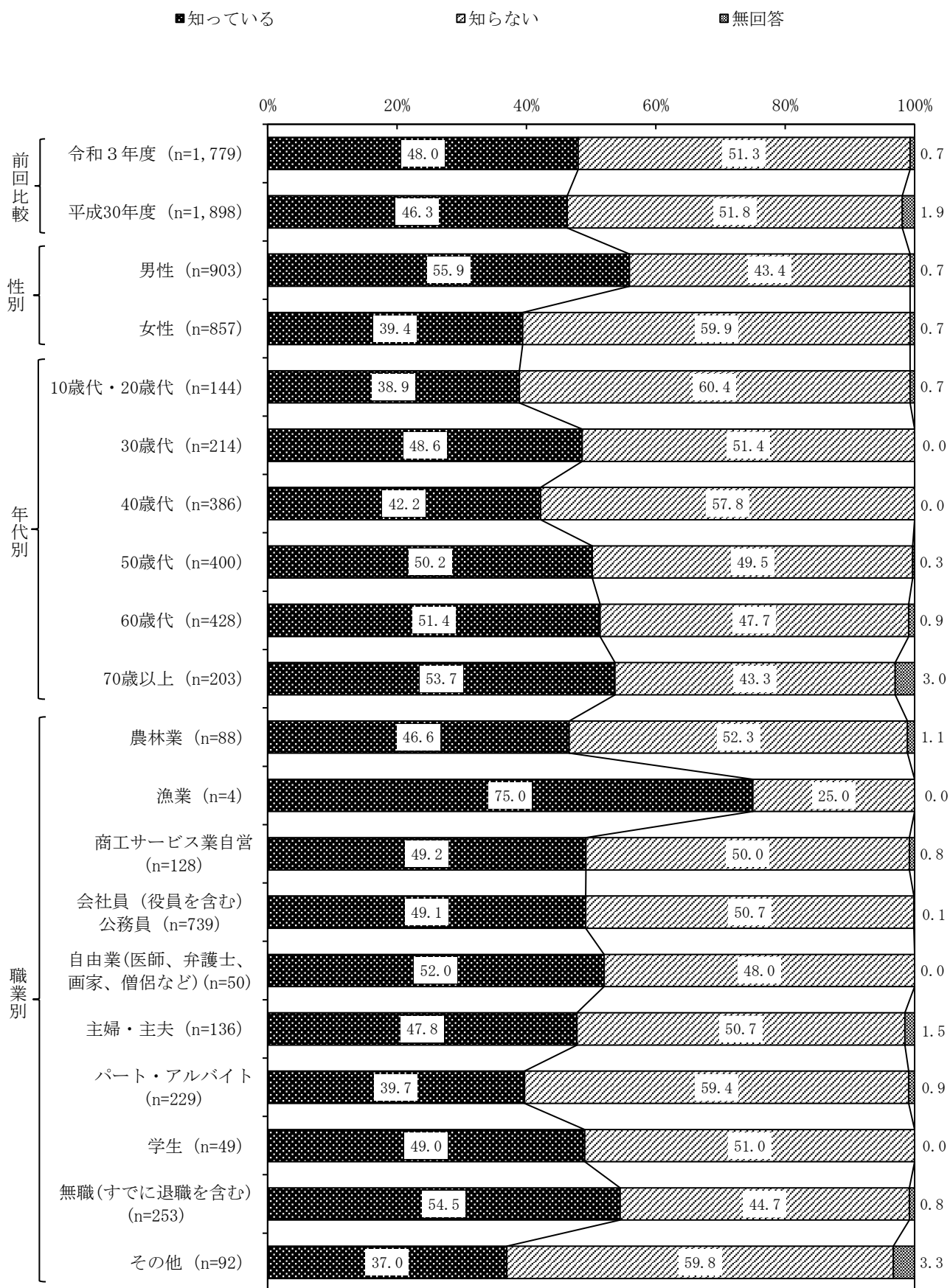
【年代別】

いずれの年代でも約半数が「知らない」と回答しており、10歳代・20歳代では6割を超えている。

【職業別】

漁業を除くすべての職業で約半数が「知らない」と回答しており、パート・アルバイト、その他では約6割となっている。

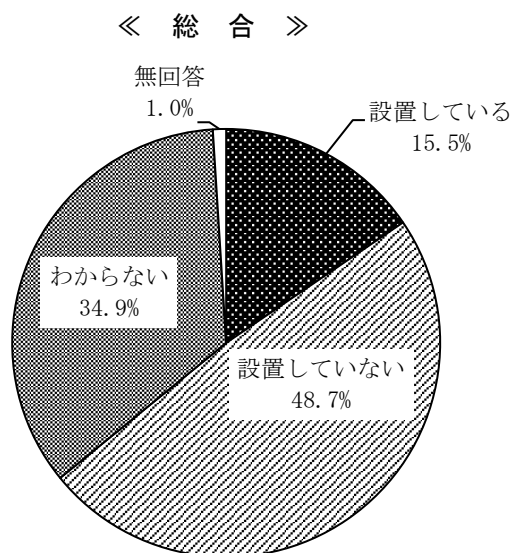
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問57 感震ブレーカーを設置しているか

問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

感震ブレーカーの設置については、「設置していない」が48.7%と最も高く、次いで「わからない」34.9%、「設置している」は15.5%となっている。



(n=1,779)

【前回比較】

「設置していない」は、令和3年度は48.7%と、平成30年度は56.1%より7.4ポイント減少しているが、「わからない」が6.6ポイント増加している。

【性別】

男女とも「設置している」は同じ割合となっている。男性は5割以上が「設置していない」と回答しており、女性は「設置していない」と「わからない」が約4割で同程度となっている。

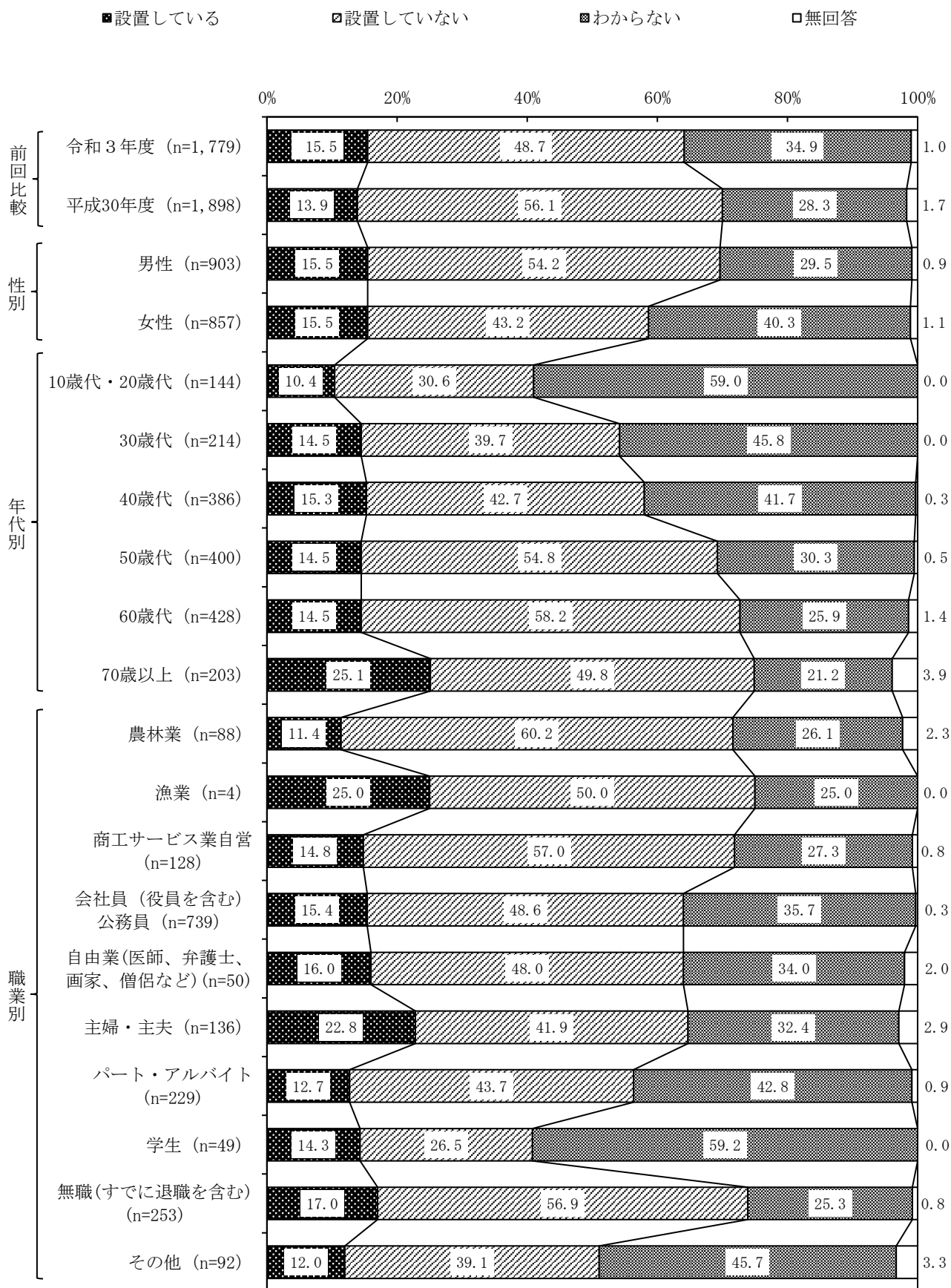
【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代は「わからない」が、40歳代から70歳以上までは「設置していない」が高くなっている。また70歳以上は、「設置している」が25.1%と他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

学生、その他は、「わからない」が、それ以外の職業は「設置していない」の割合が高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



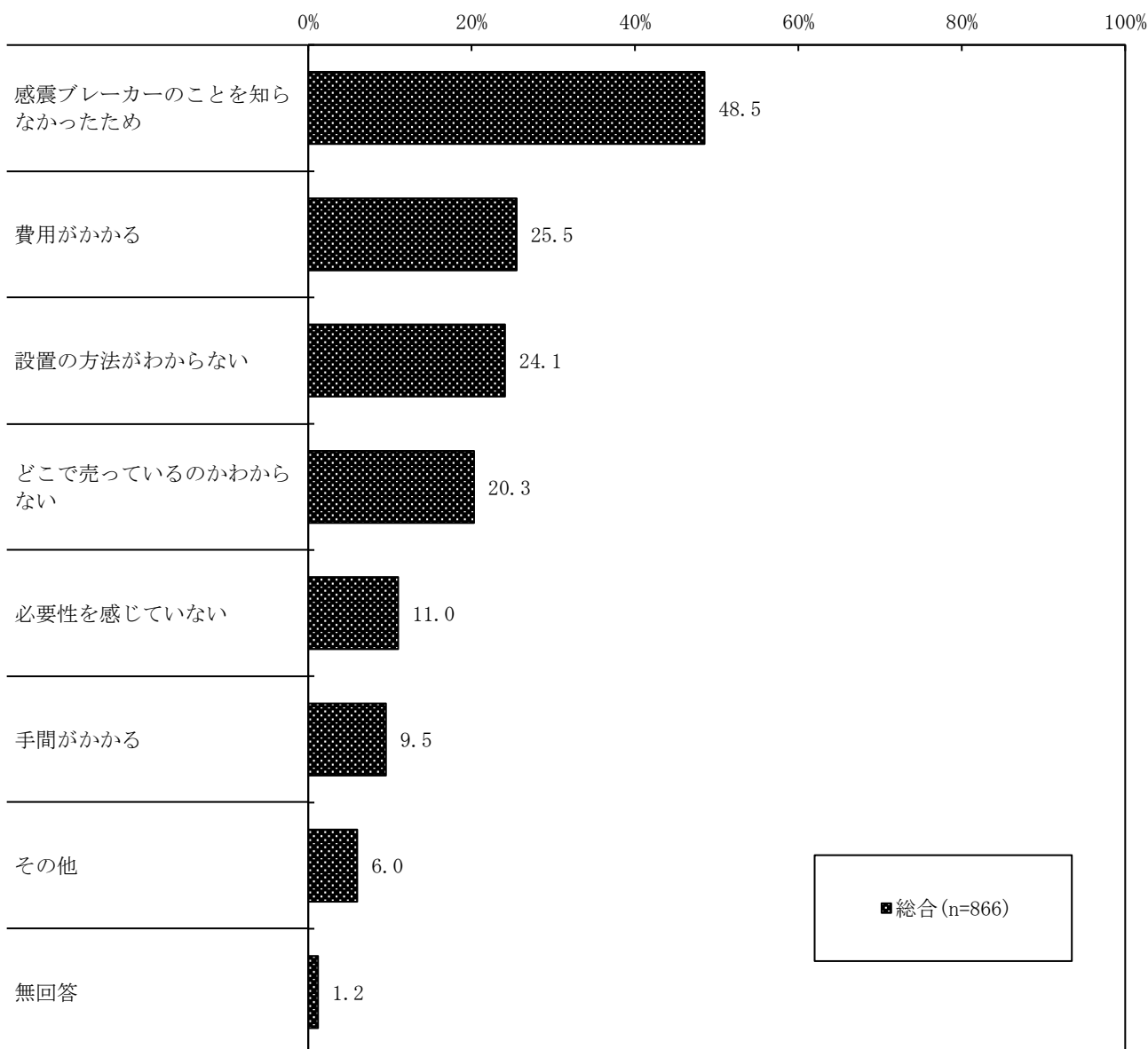
問58 感震ブレーカーを設置していない理由

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

感震ブレーカーを設置していない理由は、「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が48.5%と最も高く、次いで「費用がかかる」25.5%、「設置の方法がわからない」24.1%と続いている。

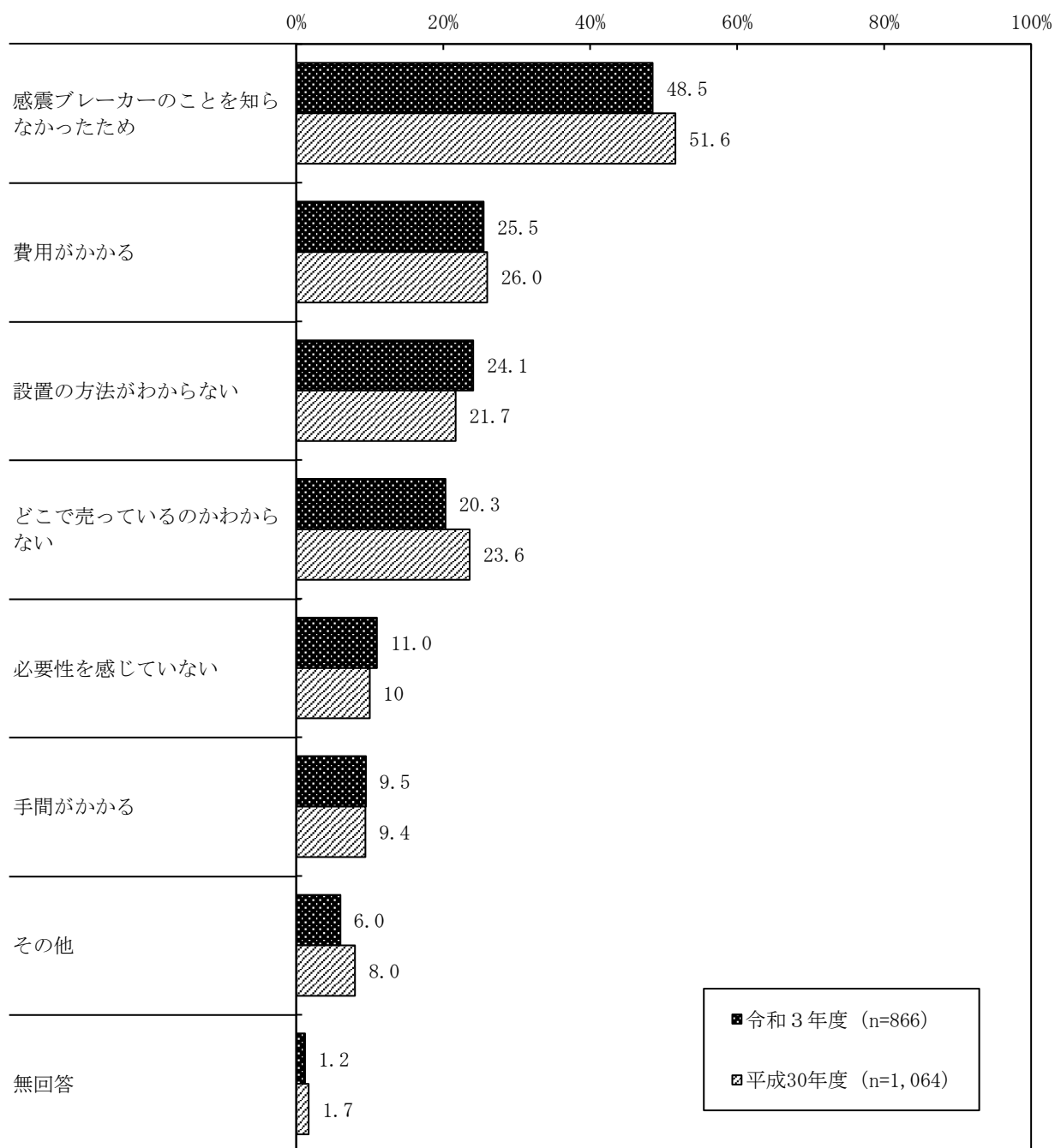
《 総 合 》



【前回比較】

平成30年度では3番目に高かった「どこで売っているのかわからない」は、令和3年度は4番目と順位が下がっている。

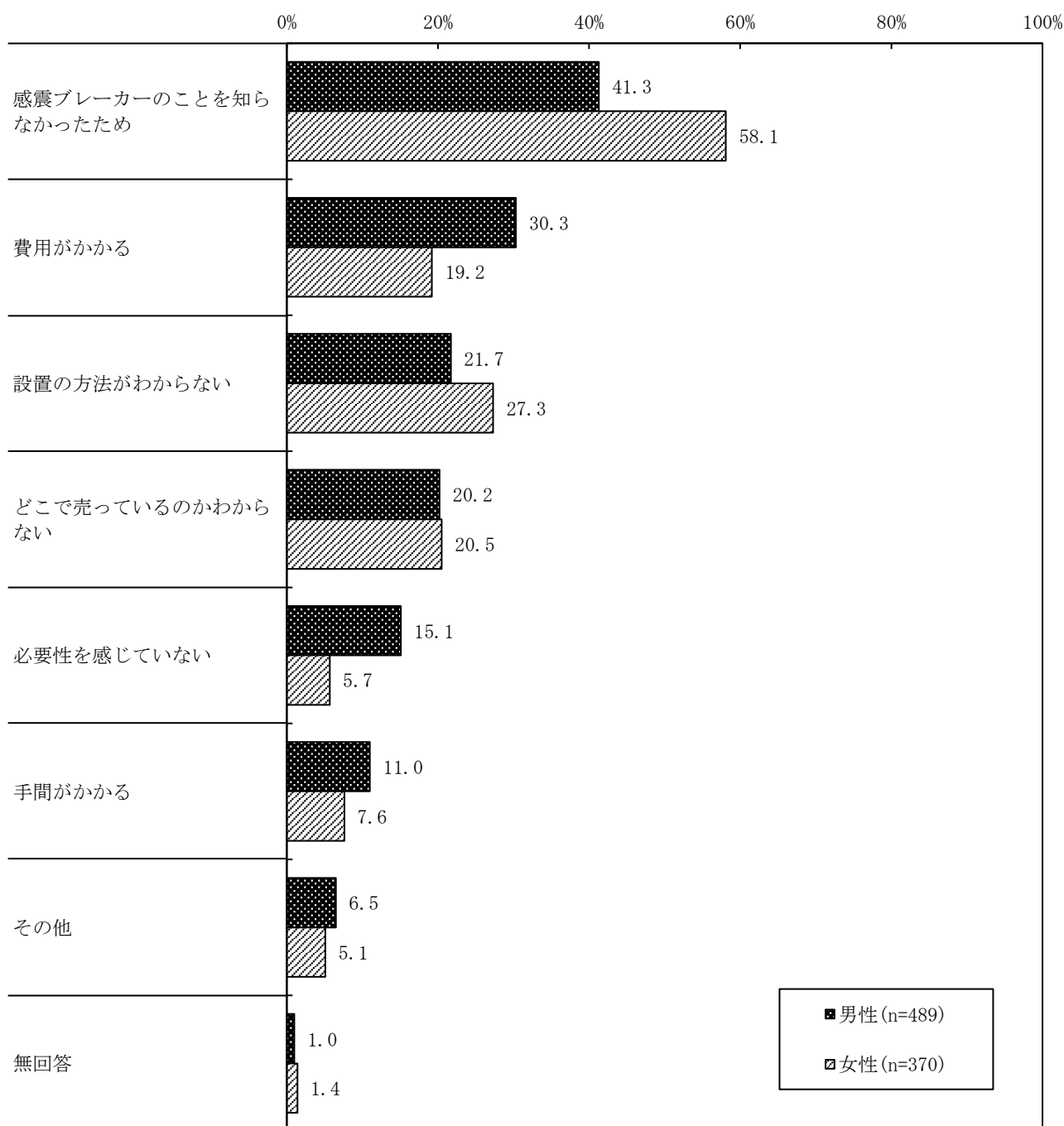
《 前 回 比 較 》



【性別】

「感震ブレーカーのことを知らなかったため」は、男性は41.3%、女性の方は58.1%と女性の方が16.8ポイント高くなっている。男性は、女性に比べて「費用がかかる」が11.1ポイント、「必要性を感じていない」が9.4ポイント高くなっている。女性は、男性に比べて「設置の方法がわからない」が5.6ポイント高くなっている。

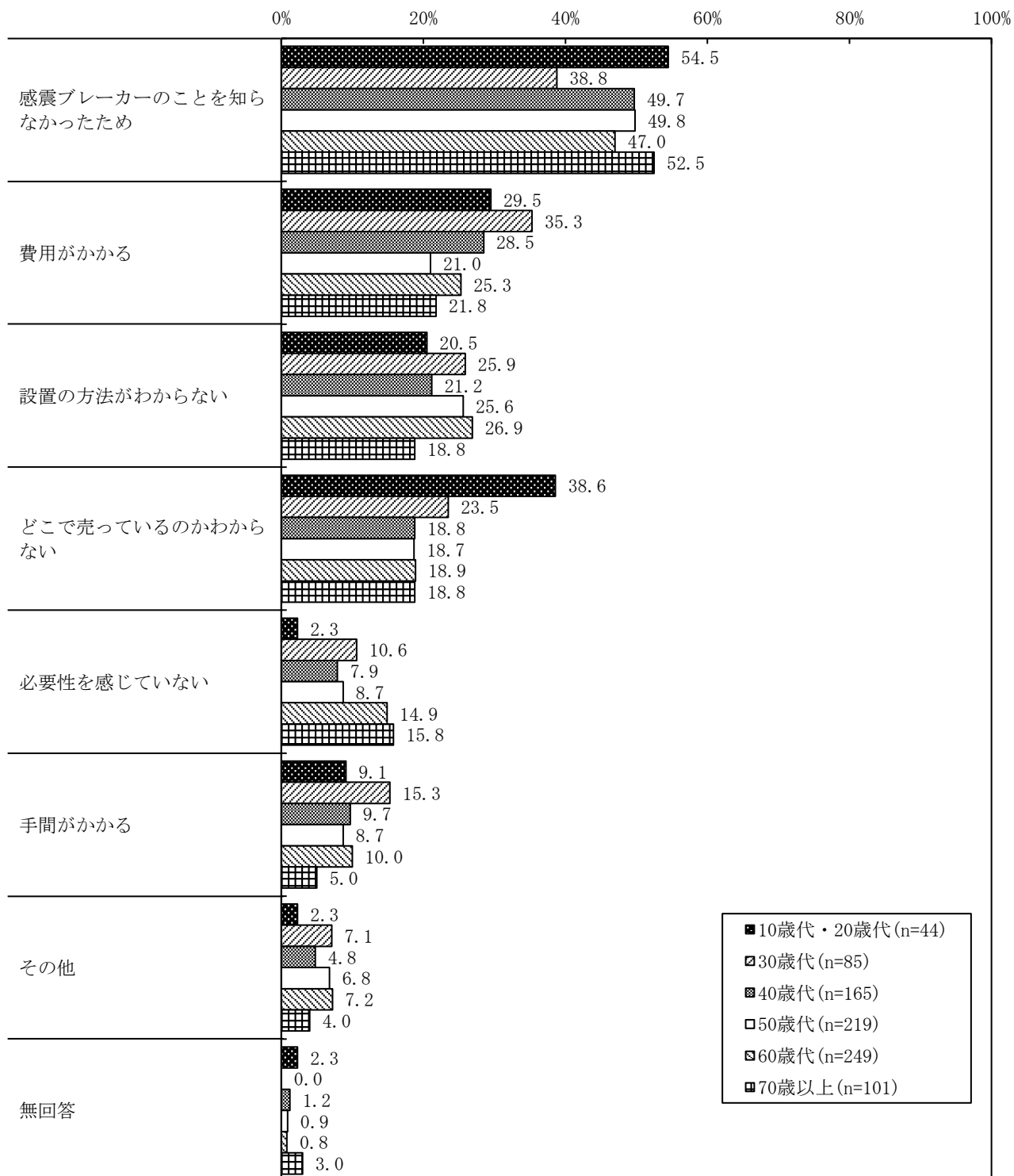
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が最も高くなっている。10歳代・20歳代は、「どこで売っているのかわからない」が38.6%と他の年代と比べて高く、30歳代は、「費用がかかる」が35.3%と他の年代と比べて高く、50歳代は、「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が49.8%と他の年代と比べて高い。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業を除くすべての職業で「感震ブレイカーのことを知らなかったため」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

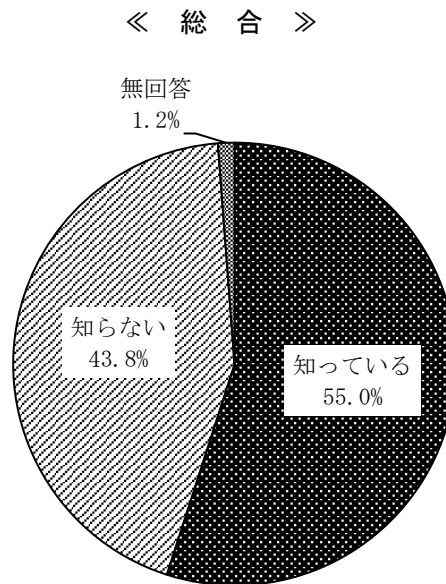
項 目 属 性	感震ブレイカーのことを知らなかったため	費用がかかる	設置の方法がわからない	どこで売っているかわからない	必要性を感じていない	手間がかかる	その他	無回答
農林業 (n=53)	50.9	18.9	18.9	22.6	17.0	13.2	3.8	1.9
漁業 (n=2)	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-
商工サービス業自営 (n=73)	47.9	28.8	21.9	17.8	13.7	1.4	4.1	1.4
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=359)	45.7	27.3	23.4	18.9	11.4	10.6	5.0	1.1
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=24)	37.5	16.7	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	-
主婦・主夫 (n=57)	56.1	12.3	29.8	22.8	1.8	8.8	10.5	-
パート・アルバイト (n=100)	57.0	22.0	30.0	18.0	8.0	8.0	4.0	-
学生 (n=13)	61.5	38.5	15.4	38.5	-	7.7	-	7.7
無職 (すでに退職を含む) (n=144)	43.1	33.3	25.7	24.3	13.9	11.8	7.6	2.1
その他 (n=36)	63.9	13.9	13.9	8.3	2.8	2.8	11.1	-

(6) 避難生活について

問59 避難場所と避難所の役割の違いを知っているか

問59 避難場所と避難所は役割が違うことをご存知ですか。(ひとつだけ○)

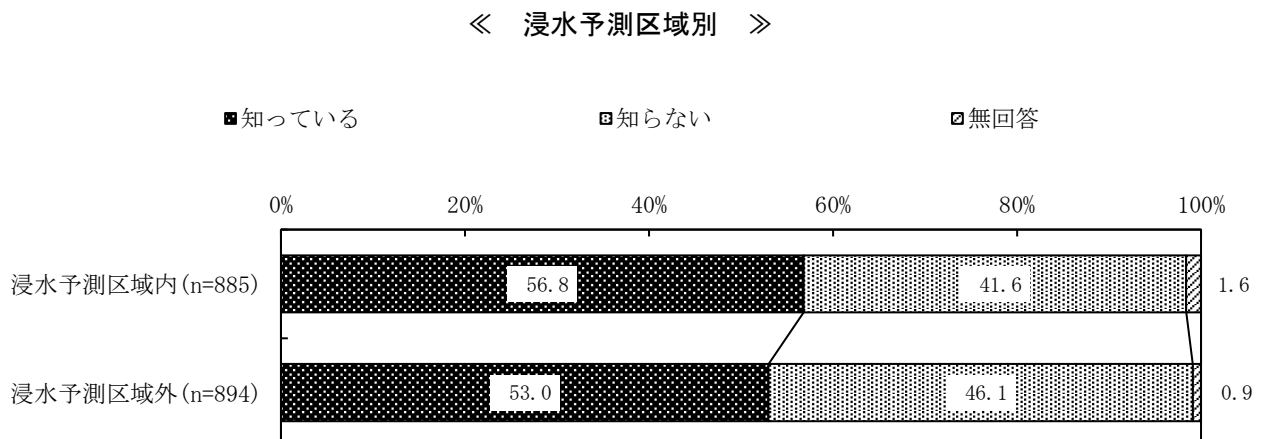
避難場所と避難所の役割の違いについては、「知っている」が55.0%で、「知らない」が43.8%となっている。



(n = 1, 779)

【浸水予測区域別】

「知っている」は浸水予測区域内で56.8%、浸水予測区域外では53.0%となっており、浸水予測区域内の方が3.8ポイント高くなっている。



【性別】

「知っている」は、男性は56.3%、女性は53.6%と、男性の方が2.7ポイント高くなっている。

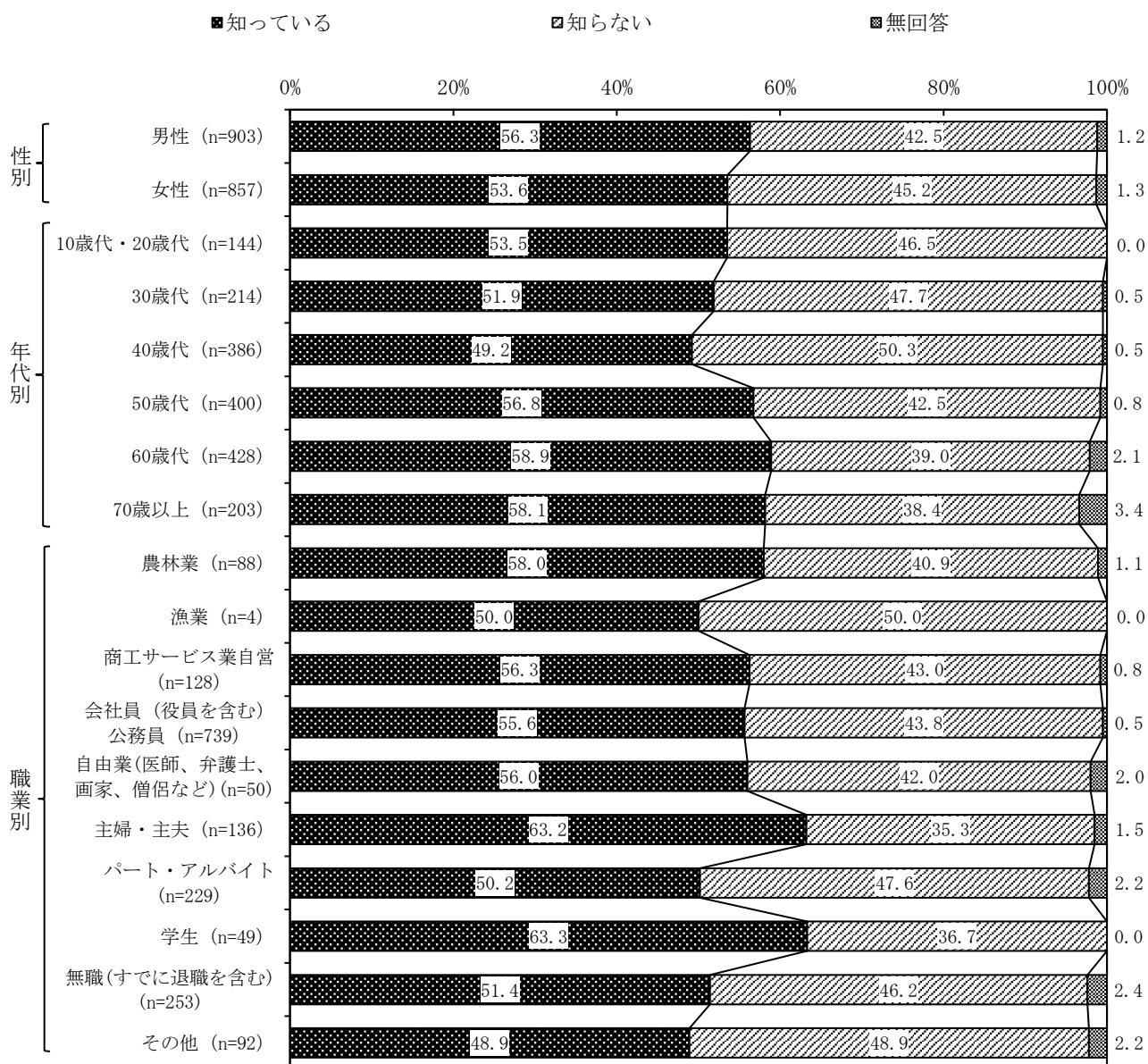
【年代別】

40歳代を除くすべての年代では「知っている」が、40歳代では「知らない」が高くなっている。

【職業別】

漁業、その他は、「知っている」、「知らない」両方とも同じ割合で、それ以外の職業別は「知っている」の方が高くなっている。

《 性別・年代別・職業別 》



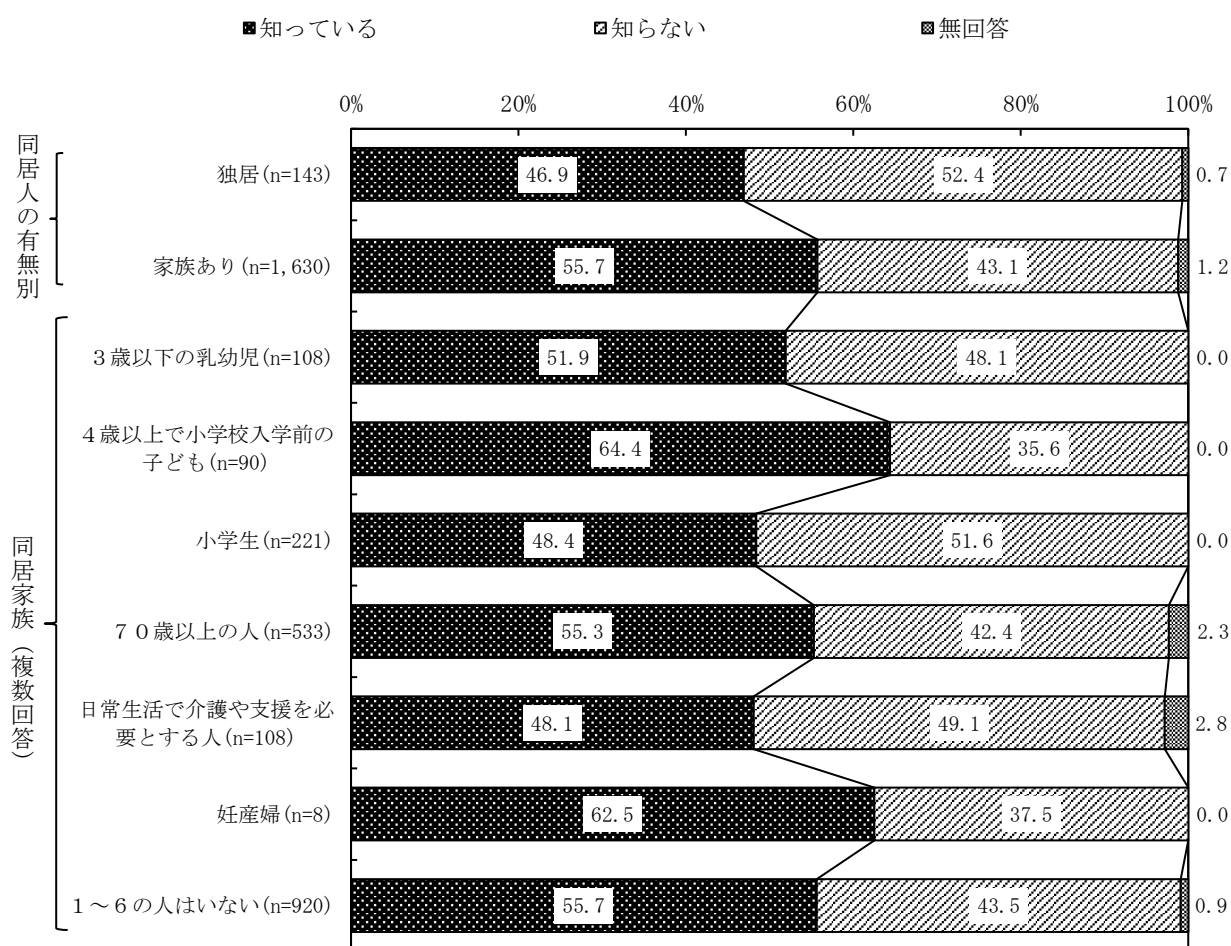
【同居人の有無別】

「知っている」は独居世帯では46.9%、家族あり世帯は55.7%と家族あり世帯の方が8.8ポイント高くなっている。

【同居家族別】

「知っている」は、「4歳以上で小学校入学前の子ども」と「妊産婦」は60%をこえており、他の同居家族別と比べても高い割合となっている。

《 世帯人数別・同居家族別 》

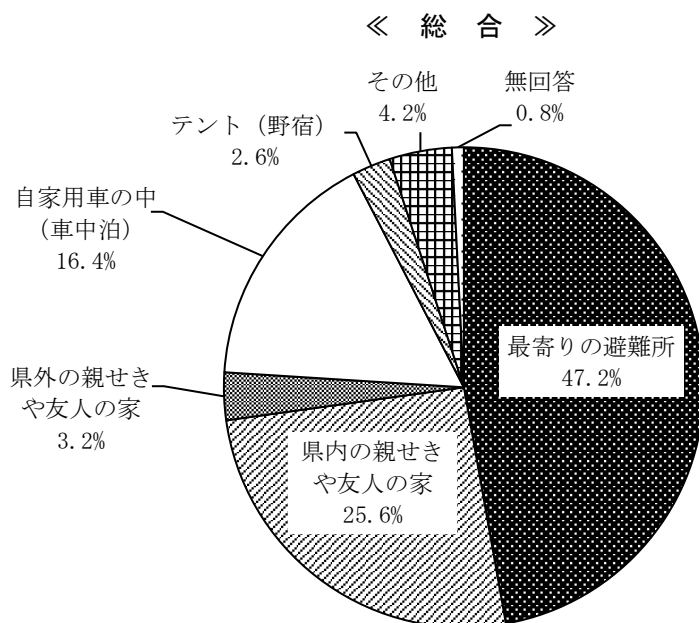


問60 自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか

問60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。

(ひとつだけ○)

避難生活を送る場所は、「最寄りの避難所」が47.2%と最も高く、次いで「県内の親せきや友人の家」25.6%、「自家用車の中（車中泊）」16.4%と続いている。



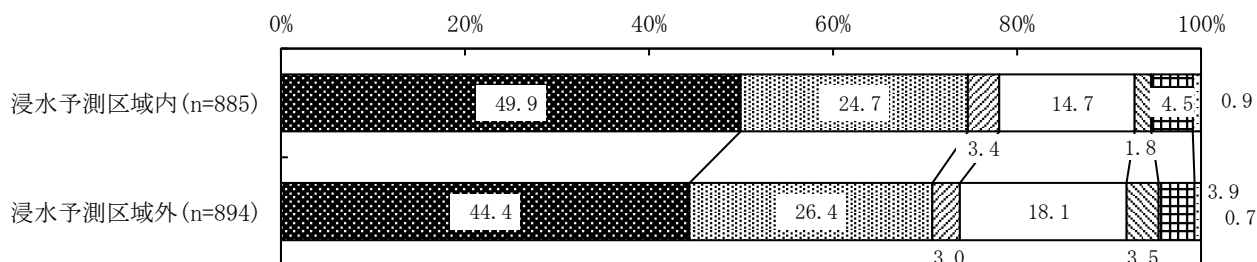
(n = 1, 779)

【浸水予測区域別】

「最寄りの避難所」は、浸水予測区域内49.9%、浸水予測区域外44.4%と浸水予測区域内の方が5.5ポイント高くなっている。「自家用車の中（車中泊）」は、浸水予測区域内14.7%、浸水予測区域外18.1%と浸水予測区域外の方が3.4ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》

- 最寄りの避難所
- ▨ 県内の親せきや友人の家
- ▩ 県外の親せきや友人の家
- 自家用車の中 (車中泊)
- ▧ テント (野宿)
- その他
- 無回答



【前回比較】

令和3年度は、「最寄りの避難所」が9.7ポイント減少し、「県内の親せきや友人の家」で6.1ポイント、「自家用車の中（車中泊）」で6ポイント増加している。

【性別】

「自家用車の中（車中泊）」は、男性は14.3%、女性は18.6%と女性の方が4.3ポイント高い。

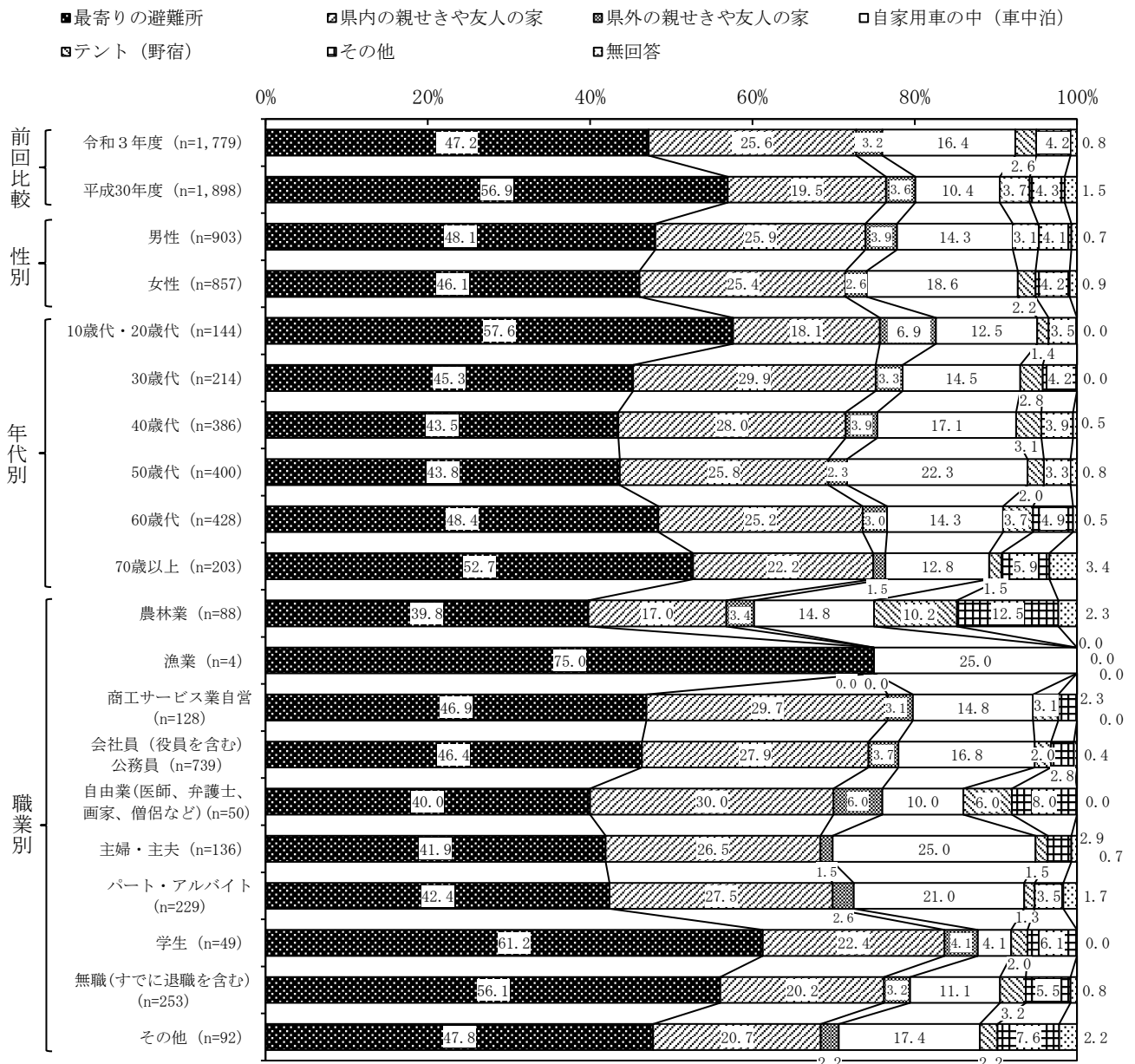
【年代別】

すべての年代で、「最寄りの避難所」が最も高くなっている。

【職業別】

すべての職業で、「最寄りの避難所」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



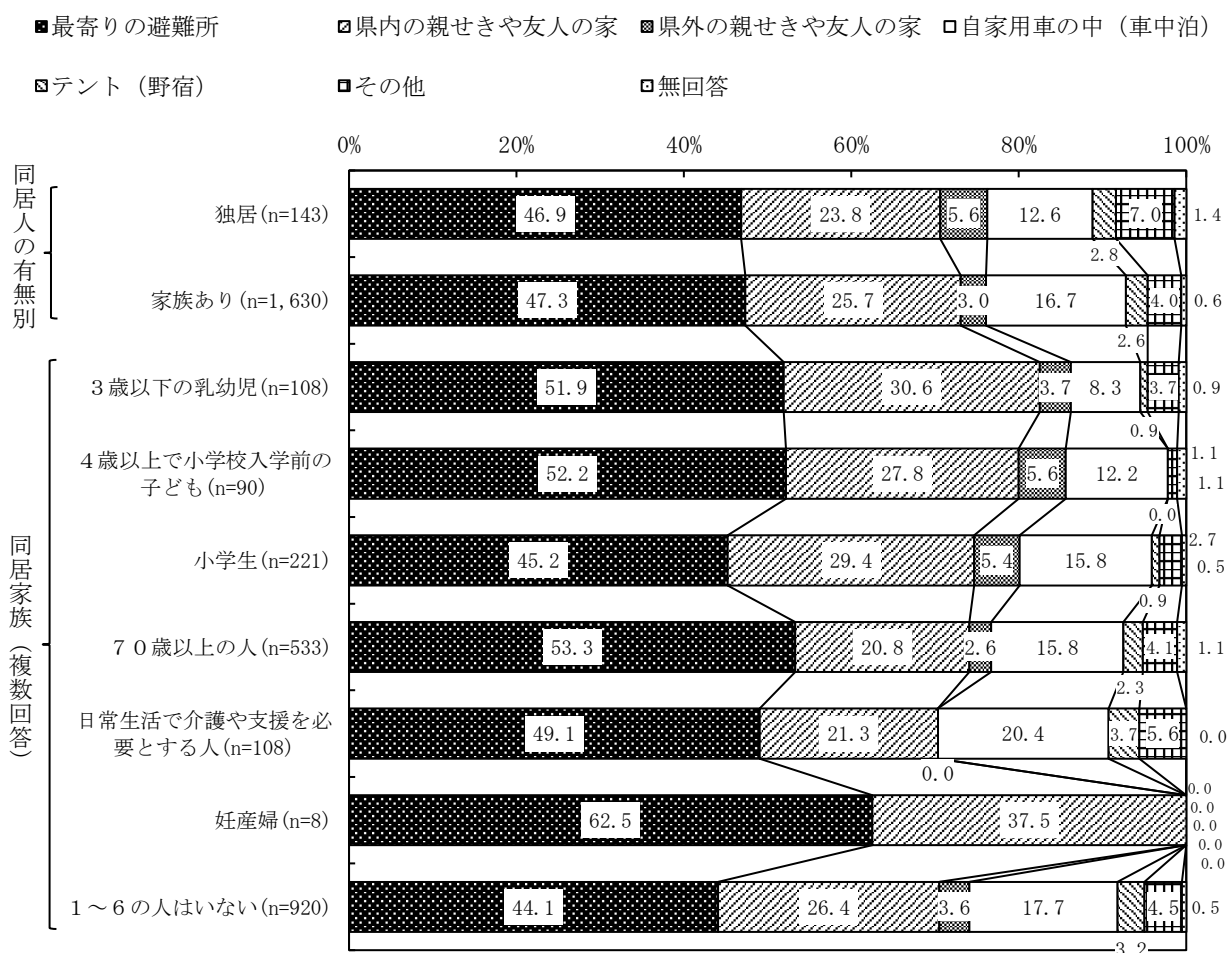
【同居人の有無別】

「自家用車の中（車中泊）」は独居世帯で12.6%、家族あり世帯で16.7%と、家族あり世帯の方が4.1ポイント高くなっている。

【同居家族別】

いずれの家族構成でも「最寄りの避難所」が最も高くなっている。

《 世帯人数別・同居家族別 》

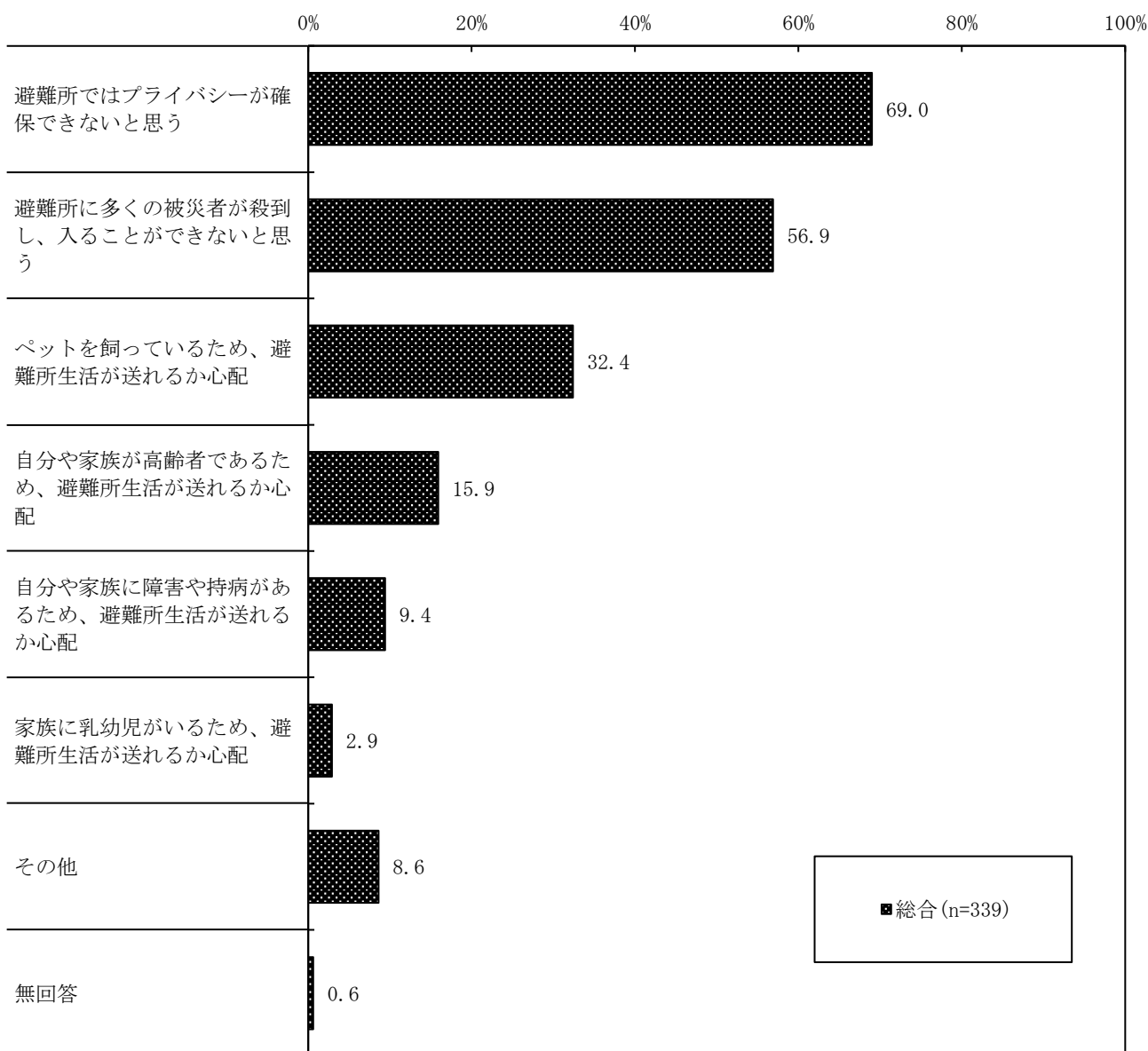


問61 自家用車内やテントで避難生活を送る理由

問61 問60で「4. 自家用車の中（車中泊）」、「5. テント（野宿）」と回答した人におたずねします。
 自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか（3つまで○）

自家用車内やテントで避難生活を送る理由としては、「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が69.0%と最も高くなっている。次いで「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」56.9%、「ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配」32.4%と続いている。

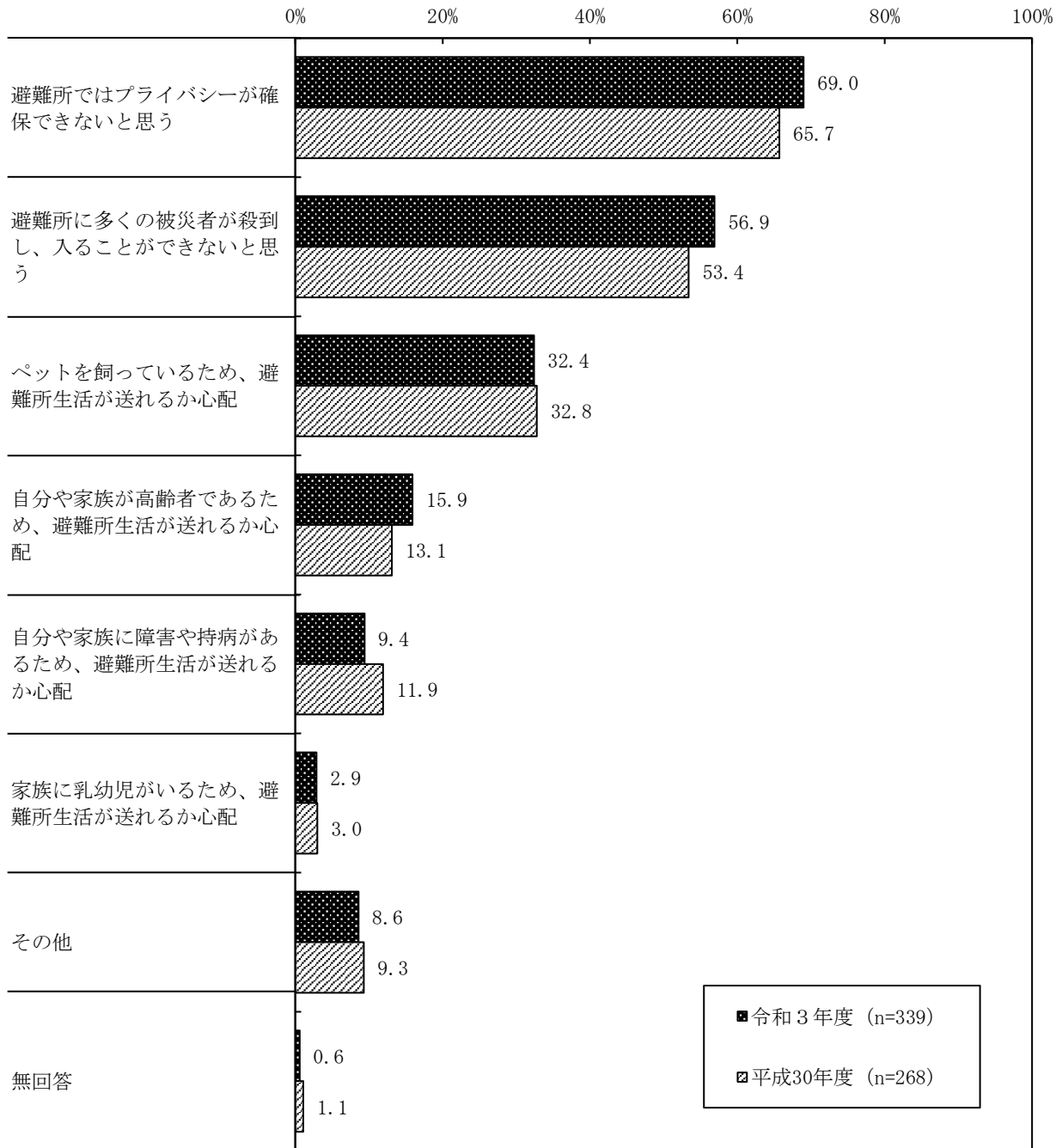
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに同じ傾向で、大きな差は見られない。

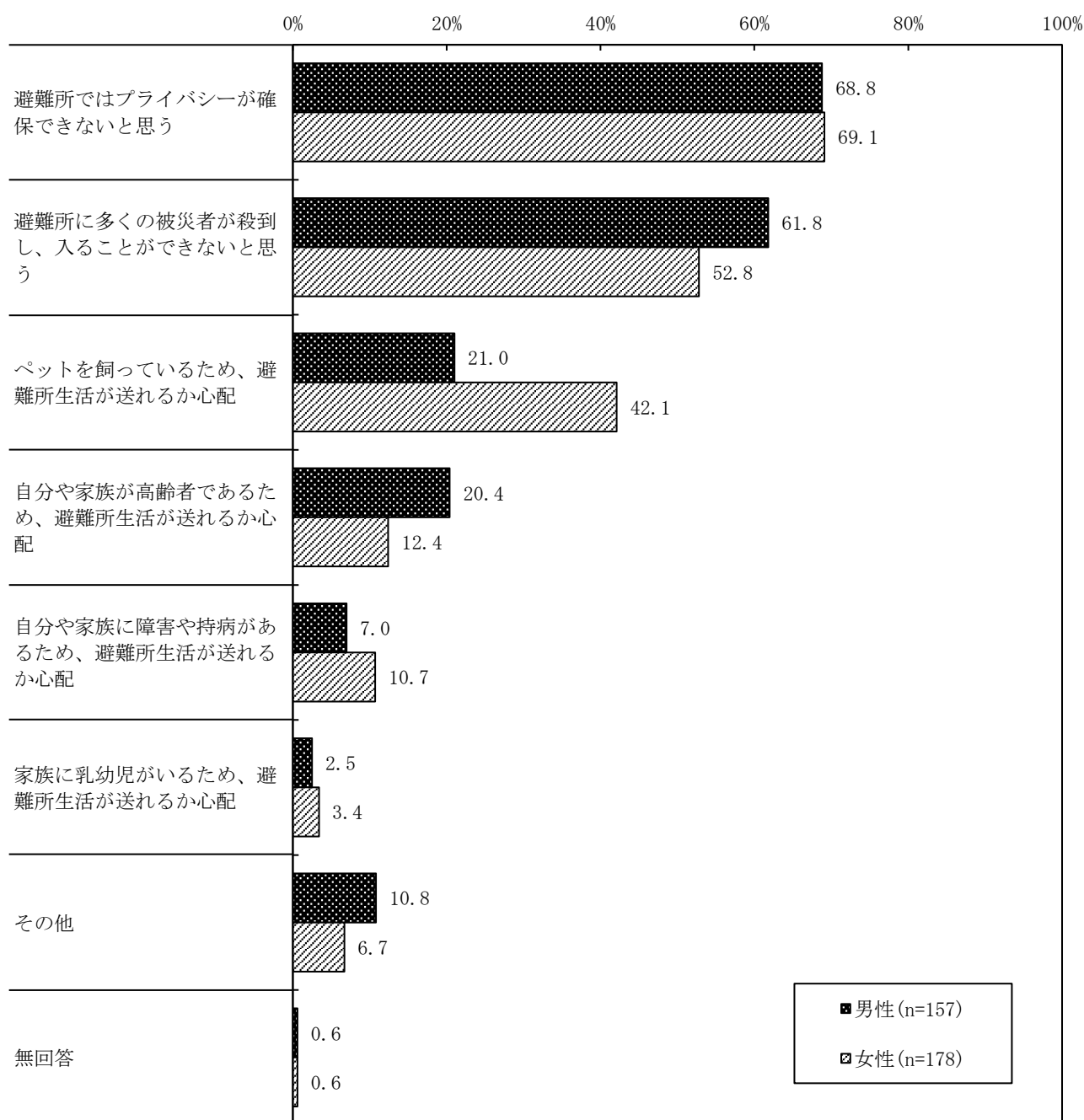
《 前 回 比 較 》



【性別】

最も割合の高い「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」は性別による差は見られない。
 「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」と「自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配」は男性の方が高く、「ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配」と「自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活が送れるか心配」は女性の方が高くなっている。特に、「ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配」は男性21.0%、女性42.1%と、女性は男性の2倍ほど高い割合となっている。

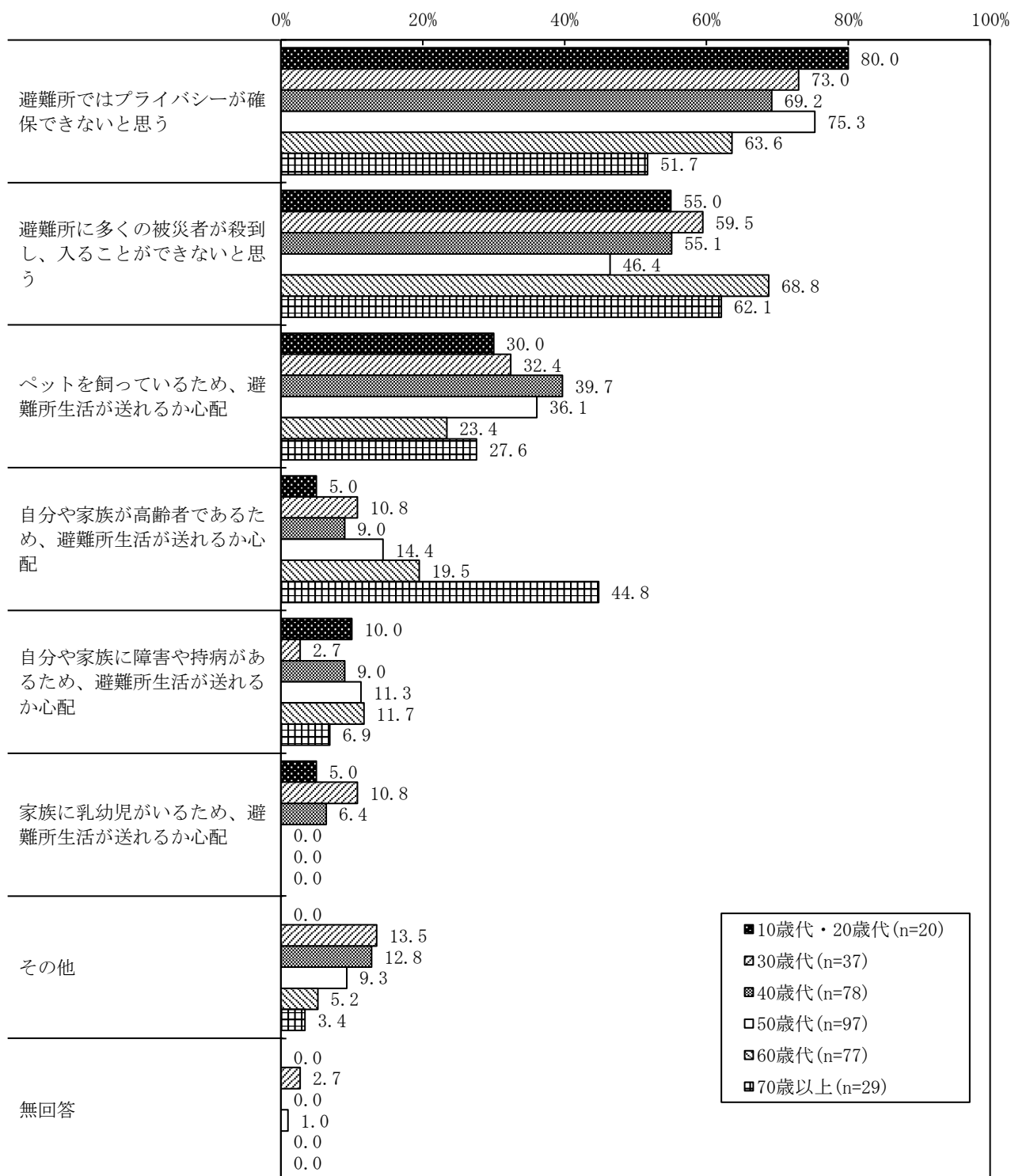
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代から50歳代までは、「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が、60歳代、70歳以上は「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」が最も高くなっている。

《 年代別 》



【職業別】

農林業、自由業、主婦・主夫は、「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」が、それ以外の職業は「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	避難所ではプライバシーが確保できないと思う	避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う	ペットを飼っているため、避難所生活を送れるか心配	自分や家族が高齢者であるため、避難所生活を送れるか心配	自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活を送れるか心配	家族に乳幼児がいるため、避難所生活を送れるか心配	その他	無回答
農林業 (n=22)	45.5	54.5	27.3	31.8	9.1	-	9.1	-
漁業 (n=1)	100.0	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=23)	65.2	60.9	34.8	21.7	8.7	-	-	-
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=139)	71.2	54.7	32.4	15.1	6.5	5.8	12.2	-
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=8)	62.5	87.5	-	25.0	-	-	-	-
主婦・主夫 (n=36)	63.9	69.4	44.4	11.1	11.1	2.8	2.8	-
パート・アルバイト (n=51)	80.4	56.9	29.4	5.9	9.8	2.0	7.8	3.9
学生 (n=3)	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-	-
無職 (すでに退職を含む) (n=36)	66.7	52.8	22.2	25.0	25.0	-	8.3	-
その他 (n=18)	66.7	44.4	50.0	16.7	5.6	-	11.1	-

【同居人の有無別】

独居世帯、家族あり世帯ともに、「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が最も高くなっている。

【同居家族別】

「3歳以下の乳幼児」は、「家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配」が、「4歳以上で小学校入学前の子ども」と「小学生」は、「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」が、それ以外の同居家族別は、「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が最も高くなっている。

◀ 同居人の有無別・同居家族別 ▶

(単位：%)

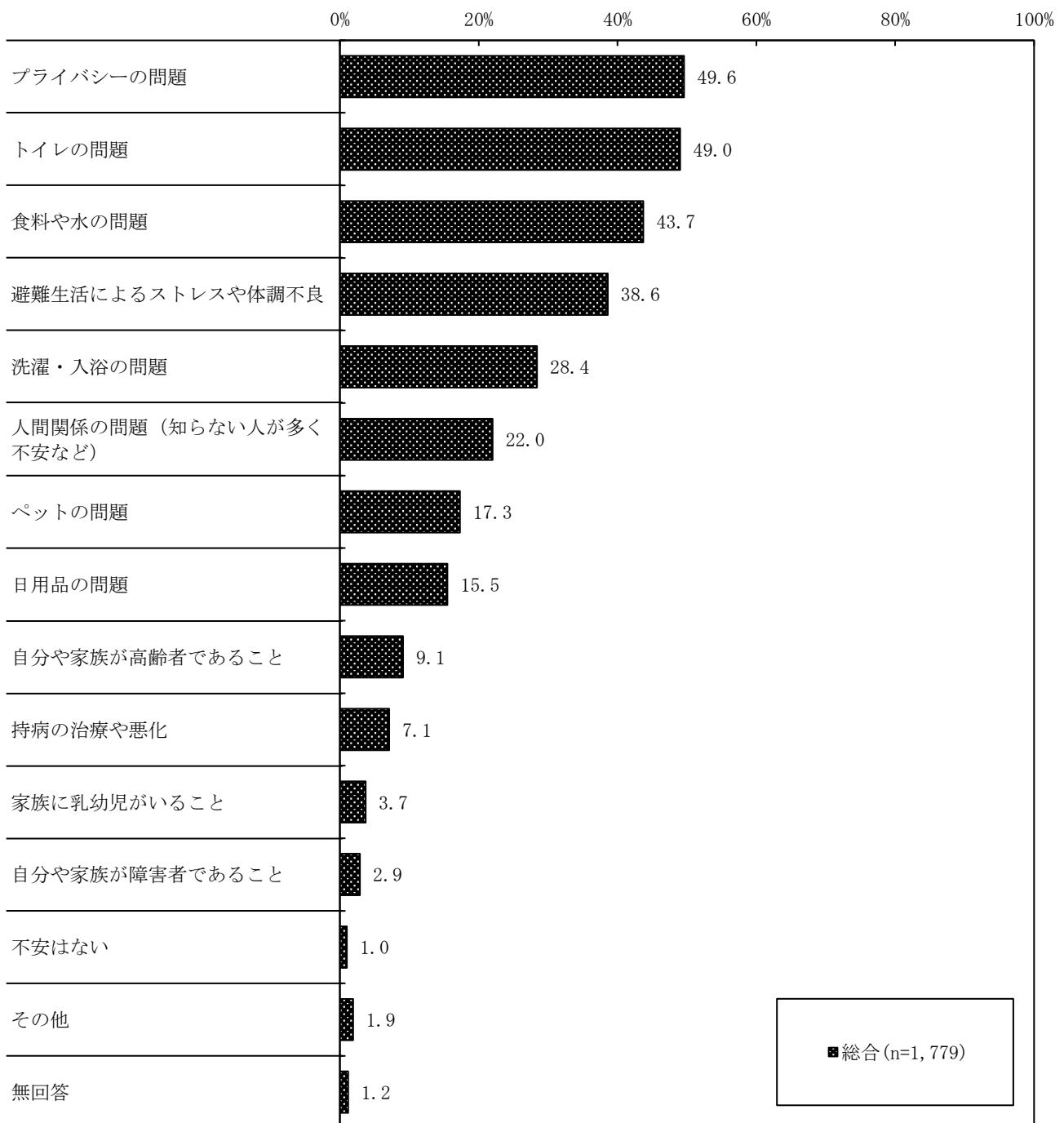
項目 属性	避難所ではプライバシーが確保できないと思う	避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う	ペットを飼っているため、避難所生活を送れるか心配	自分や家族が高齢者であるため、避難所生活を送れるか心配	自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活を送れるか心配	家族に乳幼児がいるため、避難所生活を送れるか心配	その他	無回答
独居 (n=22)	59.1	50.0	13.6	13.6	9.1	-	13.6	-
家族あり (n=316)	70.4	58.3	16.1	17.3	9.4	9.2	8.7	0.4
3歳以下の乳幼児 (n=10)	50.0	50.0	30.0	-	10.0	70.0	10.0	-
4歳以上で小学校入学前の子ども (n=11)	72.7	81.8	18.2	9.1	-	54.5	27.3	-
小学生 (n=37)	62.2	64.9	40.5	13.5	13.5	16.2	10.8	-
70歳以上の人 (n=96)	70.8	49.0	35.4	39.6	18.8	1.0	5.2	1.0
日常生活で介護や支援を必要とする人 (n=26)	65.4	38.5	26.9	38.5	38.5	3.8	7.7	-
妊産婦 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
1～6の人はいない (n=192)	69.8	60.9	30.7	6.3	3.1	-	8.9	0.5

問62 避難所生活での不安

問62 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

避難所生活での不安は、「プライバシーの問題」が49.6%、次いで「トイレの問題」49.0%、「食料や水の問題」43.7%と続いている。

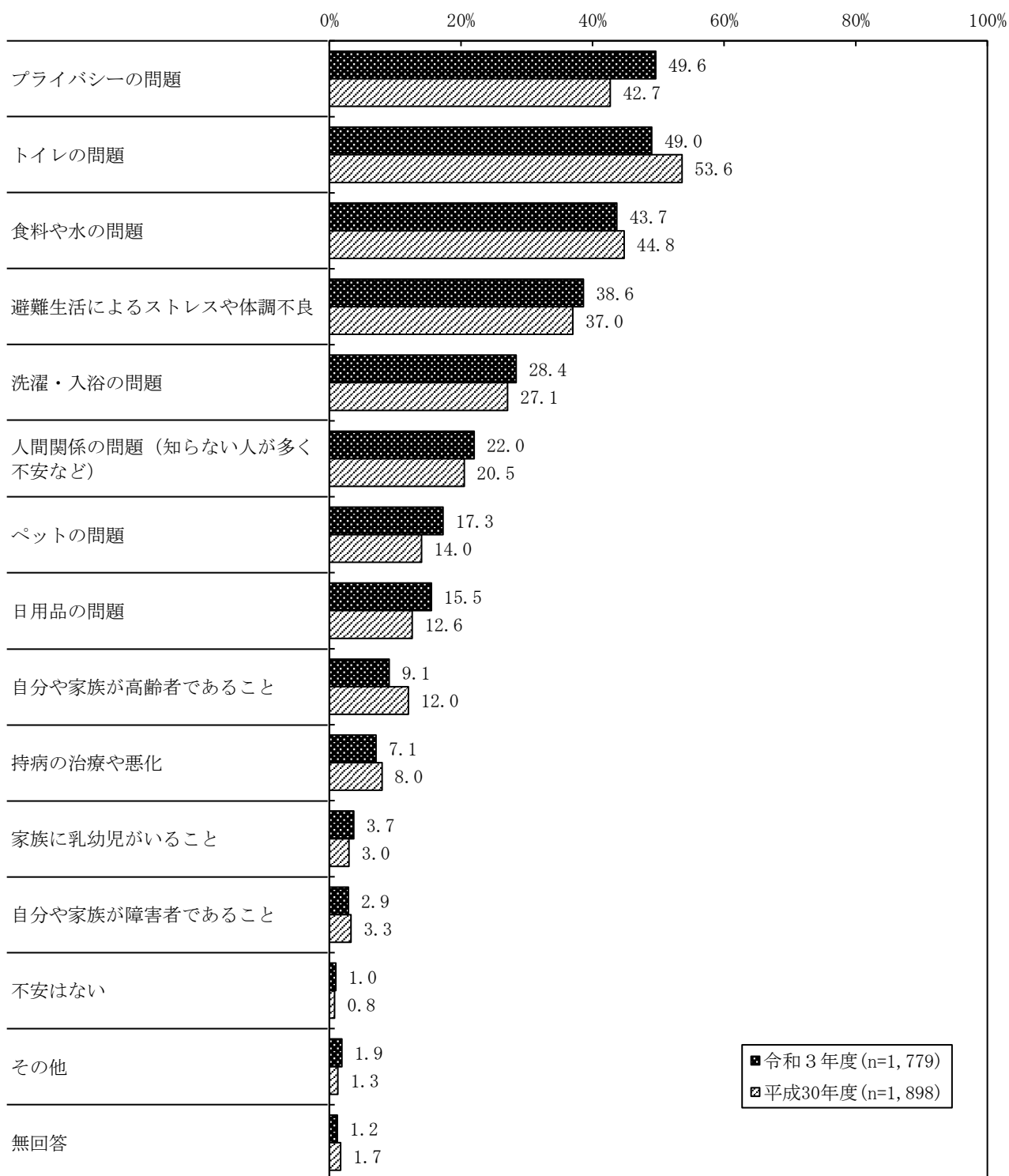
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度は、「プライバシーの問題」が49.6%と最も高く、平成30年度では最も高かった「トイレの問題」よりも高くなっている。

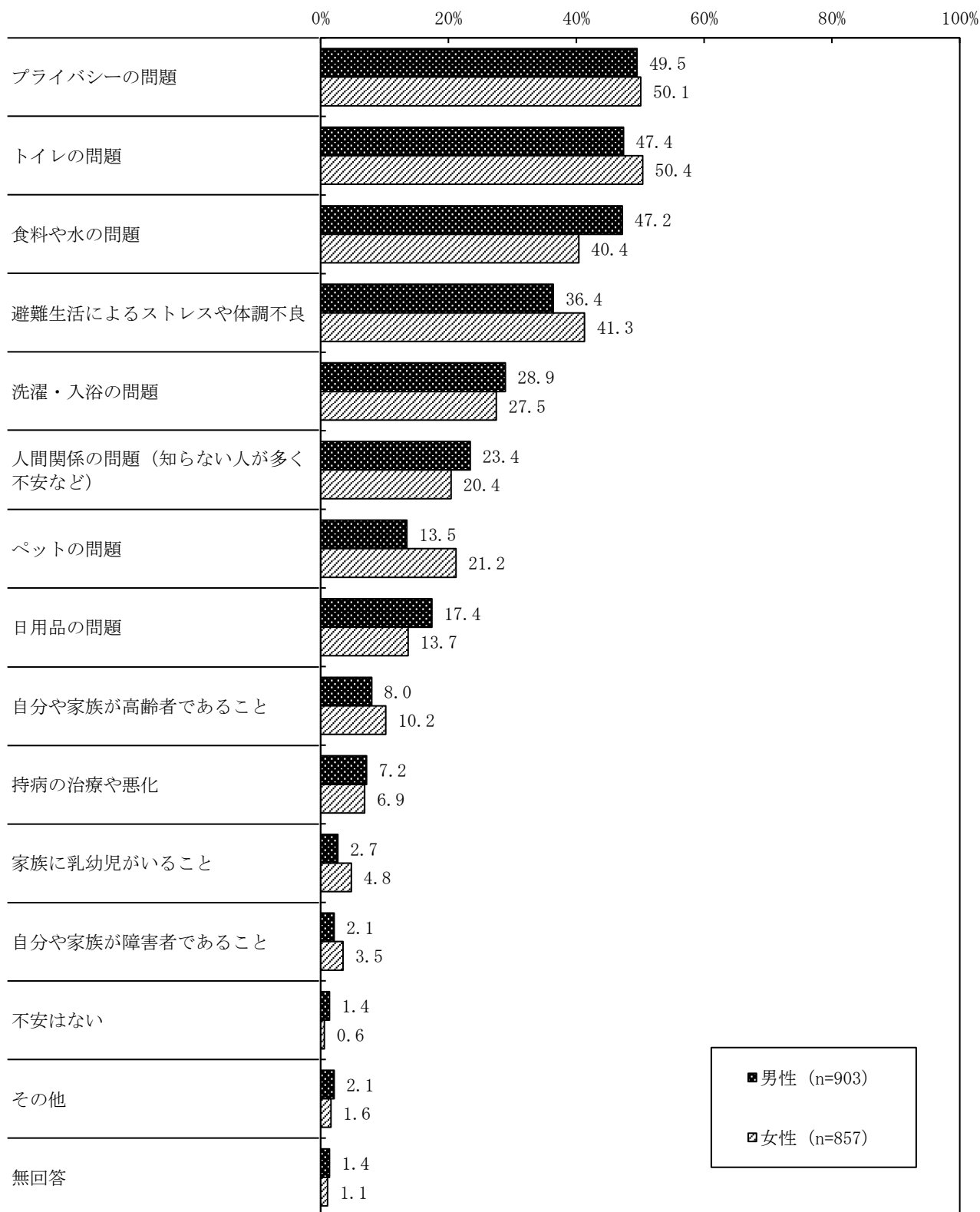
《 前 回 比 較 》



【性別】

男性は、「食料や水の問題」で女性より6.8ポイント高く、女性は「トイレの問題」で男性より3ポイント、「避難生活によるストレスや体調不良」で男性より4.9ポイント高くなっている。

《 性別 》

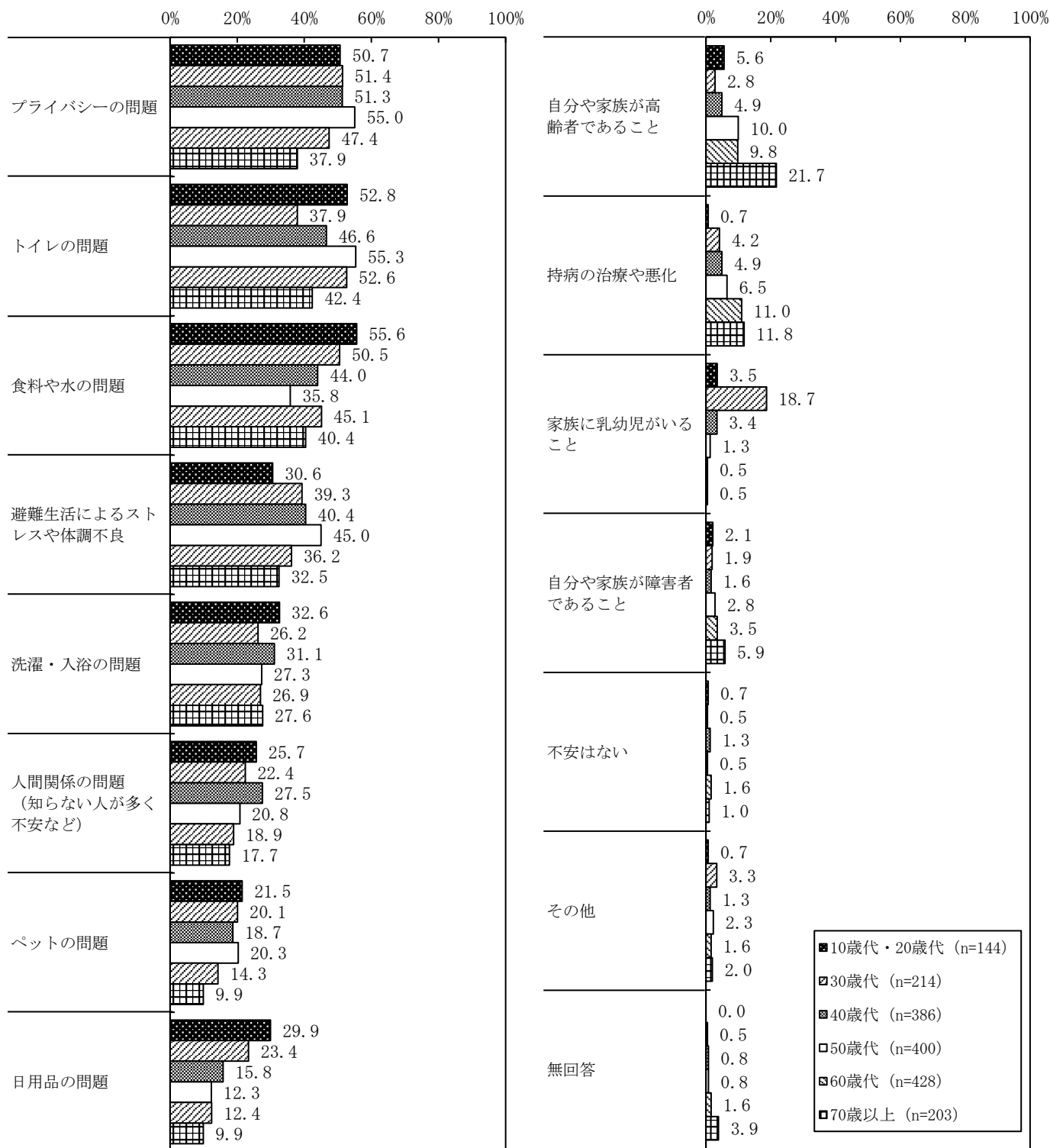


【年代別】

10歳代・20歳代は「食料や水の問題」が、30歳代、40歳代は「プライバシーの問題」が、50歳代、60歳代、70歳以上は「トイレの問題」が最も高くなっている。

「プライバシーの問題」では、ほとんどの年代で約50%となっているが、70歳以上は37.9%と、10ポイント以上低い割合となっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

農林業、商工サービス業自営、会社員、公務員、パート・アルバイトでは、「プライバシーの問題」が、自由業、主婦・主夫、学生は「トイレの問題」が、漁業、無職は、「食料や水の問題」が、その他は同率で、「食料や水の問題」と「避難生活によるストレスや体調不良」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	プライバシーの問題	トイレの問題	食料や水の問題	避難生活によるストレスや体調不良	洗濯・入浴の問題	人間関係の問題 (知らない人が多く不安など)	ペットの問題	日用品の問題	自分や家族が高齢者であること	持病の治療や悪化	家族に乳幼児がいること	自分や家族が障害者であること	不安はない	その他	無回答
農林業(n=88)	45.5	40.9	39.8	38.6	30.7	13.6	19.3	20.5	12.5	6.8	1.1	1.1	1.1	4.5	3.4
漁業(n=4)	75.0	50.0	100.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	51.6	47.7	41.4	39.8	29.7	15.6	21.1	14.1	10.9	6.3	0.8	1.6	2.3	0.8	-
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	53.9	51.7	43.3	38.8	31.3	25.8	17.5	17.5	6.0	5.4	5.0	0.9	0.8	1.2	0.8
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	42.0	60.0	48.0	32.0	34.0	14.0	10.0	22.0	10.0	4.0	4.0	-	4.0	2.0	-
主婦・主夫(n=136)	46.3	49.3	37.5	41.9	27.2	22.1	19.1	12.5	8.8	10.3	4.4	4.4	0.7	-	1.5
パート・アルバイト(n=229)	53.3	47.2	43.2	44.1	21.0	21.4	20.1	13.1	7.9	4.4	5.2	2.6	1.3	1.3	0.9
学生(n=49)	46.9	61.2	55.1	32.7	38.8	22.4	16.3	28.6	8.2	2.0	2.0	2.0	-	2.0	-
無職(すでに退職を含む)(n=253)	41.5	43.5	47.4	31.2	22.5	21.7	11.1	9.9	17.0	13.4	0.8	8.7	0.8	3.2	2.0
その他(n=92)	41.3	42.4	44.6	44.6	30.4	16.3	20.7	13.0	9.8	9.8	4.3	5.4	-	6.5	4.3

【同居人の有無別】

家族ありの世帯は、独居世帯に比べて「避難生活によるストレスや体調不良」で6.2ポイント、「ペットの問題」で9ポイント高く、独居世帯は、家族あり世帯に比べて「洗濯・入浴の問題」は4.9ポイント、「人間関係の問題（知らない人が多く不安など）」は5.7ポイント高くなっている。

【同居家族別】

「3歳以下の乳幼児」と「妊産婦」は「食料や水の問題」と「家族に乳幼児がいること」で50%以上と、他よりも高い割合となっている。

◀ 同居人の有無別・同居家族別 ▶

(単位：%)

項目 属性	プライバシーの問題	トイレの問題	食料や水の問題	避難生活によるストレスや体調不良	洗濯・入浴の問題	人間関係の問題（知らない人が多く不安など）	ペットの問題	日用品の問題	自分や家族が高齢者であること	持病の治療や悪化	家族に乳幼児がいること	自分や家族が障害者であること	不安はない	その他	無回答
0人（独居） (n=143)	46.2	44.8	45.5	32.9	32.9	27.3	9.1	16.8	9.1	9.1	-	3.5	1.4	1.4	0.7
家族あり (n=1,630)	49.9	49.3	43.6	39.1	28.0	21.6	18.1	15.4	9.1	6.9	4.0	2.8	1.0	1.9	1.2
3歳以下の乳幼児 (n=108)	47.2	40.7	53.7	32.4	19.4	22.2	12.0	25.0	2.8	2.8	50.9	0.9	-	3.7	-
4歳以上で小学校入学前の子ども (n=90)	44.4	38.9	47.8	41.1	20.0	24.4	14.4	15.6	2.2	5.6	33.3	-	-	5.6	1.1
小学生 (n=221)	52.9	44.3	48.4	40.7	33.5	28.1	12.2	20.4	2.7	4.1	11.8	2.7	0.5	2.3	0.5
70歳以上の 人(n=533)	45.2	48.0	39.8	39.4	27.0	18.8	16.7	11.4	22.3	9.4	0.6	4.3	0.8	1.3	1.9
日常生活で介護や支援を必要とする人 (n=108)	37.0	50.0	34.3	31.5	20.4	13.9	15.7	13.9	35.2	9.3	1.9	23.1	1.9	2.8	0.9
妊産婦(n=8)	37.5	37.5	62.5	25.0	12.5	25.0	-	25.0	-	-	62.5	-	-	-	-
1～6の人は いない (n=920)	53.5	51.5	44.7	39.2	29.8	22.6	19.0	16.6	3.3	6.7	0.1	1.0	1.2	1.5	1.1

問60×問62 避難生活を送る場所と避難所生活の不安点とのクロス分析

避難生活を送る場所を「県内の親せきや友人の家」とした方は、「トイレの問題」が49.9%と最も高い割合となっており、「最寄りの避難所」、「県外の親せきや友人の家」、「自家用車の中（車中泊）」、「テント（野宿）」を選んだ方は、「プライバシーの問題」を最も高い割合であげている。

上段：人数

下段：%

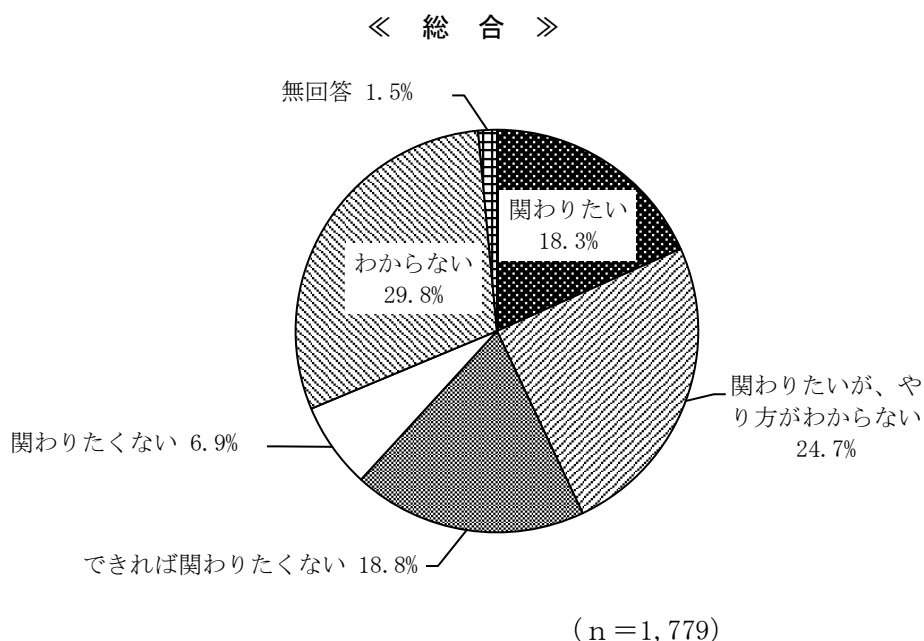
		問62															
		食料や水の問題	日用品の問題	プライバシーの問題	人間関係の問題（知らない人が多く不安など）	トイレの問題	洗濯・入浴の問題	避難生活によるストレスや体調不良	持病の治療や悪化	自分や家族が高齢者であること	自分や家族が障害者であること	家族に乳幼児がいること	ペットの問題	不安はない	その他	無回答	
問60	最寄りの避難所	391 46.6	139 16.6	433 51.6	167 19.9	424 50.5	243 29.0	334 39.8	62 7.4	92 11.0	18 2.1	41 4.9	110 13.1	3 0.4	15 1.8	- -	
	県内の親せきや友人の家	199 43.7	71 15.6	215 47.3	107 23.5	227 49.9	143 31.4	188 41.3	35 7.7	39 8.6	15 3.3	18 4.0	89 19.6	5 1.1	3 0.7	- -	
	県外の親せきや友人の家	19 33.3	8 14.0	27 47.4	14 24.6	26 45.6	17 29.8	22 38.6	4 7.0	5 8.8	2 3.5	2 3.5	11 19.3	3 5.3	1 1.8	- -	
	自家用車の中（車中泊）	109 37.3	35 12.0	154 52.7	85 29.1	143 49.0	77 26.4	102 34.9	13 4.5	18 6.2	8 2.7	3 1.0	72 24.7	2 0.7	8 2.7	8 2.7	
	テント（野宿）	19 40.4	9 19.1	23 48.9	9 19.1	16 34.0	11 23.4	15 31.9	3 6.4	3 6.4	3 6.4	- -	11 23.4	2 4.3	- -	4 8.5	
	その他	37 49.3	12 16.0	28 37.3	8 10.7	34 45.3	14 18.7	23 30.7	9 12.0	4 5.3	5 6.7	1 1.3	15 20.0	3 4.0	6 8.0	1 1.3	
	無回答	3 21.4	2 14.3	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	3 21.4	- -	- -	- -	- -	1 7.1	- -	- -	- -	9 64.3

問63 避難所の開設や運営にかかわりたいか

問63 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

避難所の開設や運営については、「わからない」が29.8%と最も高く、次いで「関わりたいが、やり方がわからない」24.7%、「できれば関わりたくない」18.8%と続いている。

また、「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」を合わせた、関わりたいと考えている人が43.0%、「できれば関わりたくない」と「関わりたくない」を合わせた、関わりたくないと考えている人の25.7%より、17.7ポイント高くなっている。



【前回比較】

「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」と回答した人は、令和3年度で43.0%と平成30年度の47.0%よりも4ポイント減少している。

【性別】

「関わりたいが、やり方がわからない」は男性22.7%、女性27.0%と女性の方が4.3ポイント高く、「できれば関わりたくない」は、男性20.8%、女性16.9%と男性の方が3.9ポイント高くなっている。

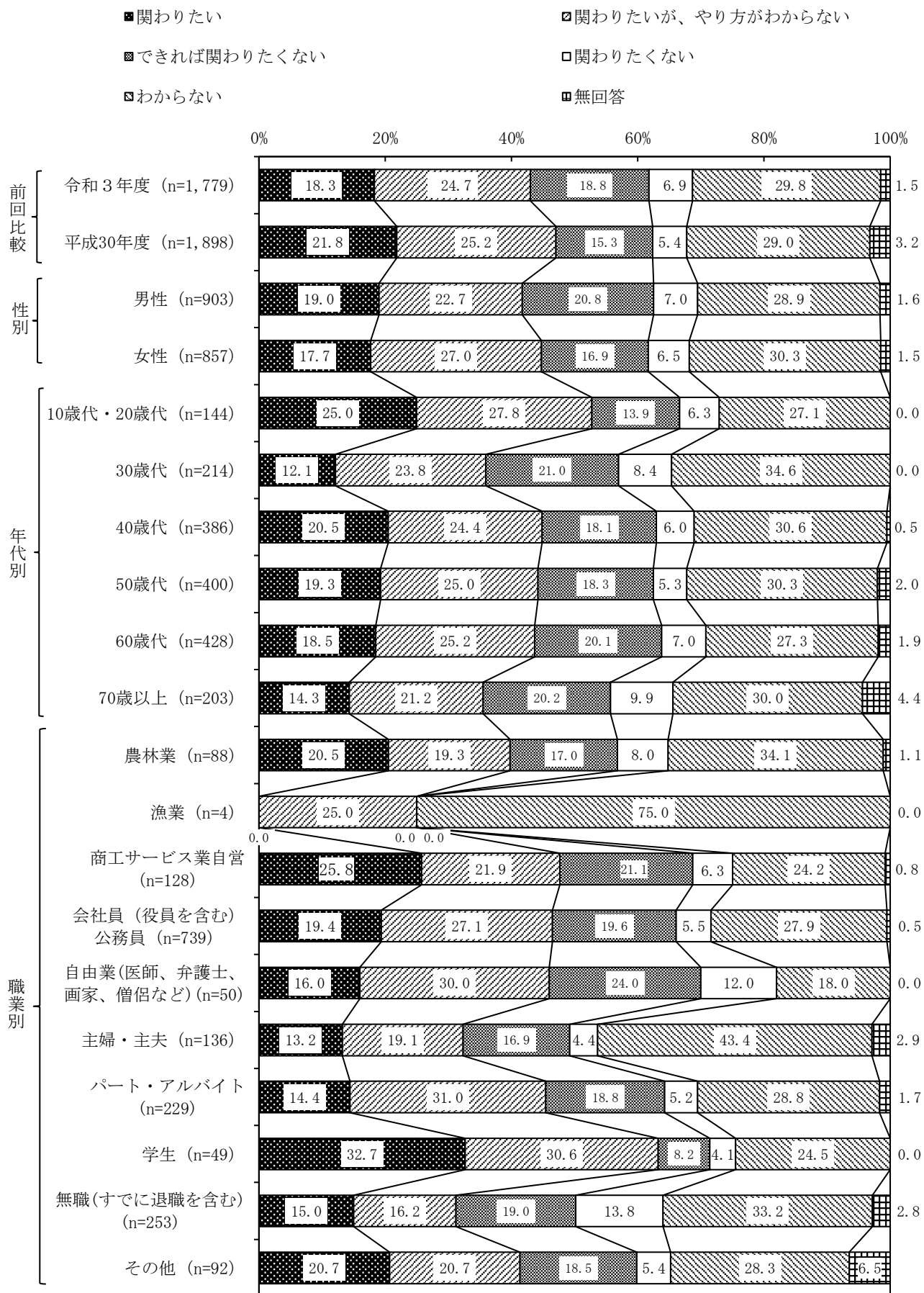
【年代別】

10歳代・20歳代は、「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」と回答したが52.8%と最も高く、一番低い30歳代の35.9%より、16.9ポイント高くなっている。

【職業別】

「関わりたい」は、学生が32.7%、「関わりたいが、やり方がわからない」は、自由業が30.0%、パート・アルバイトが31.0%と他の職業より高い割合となっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

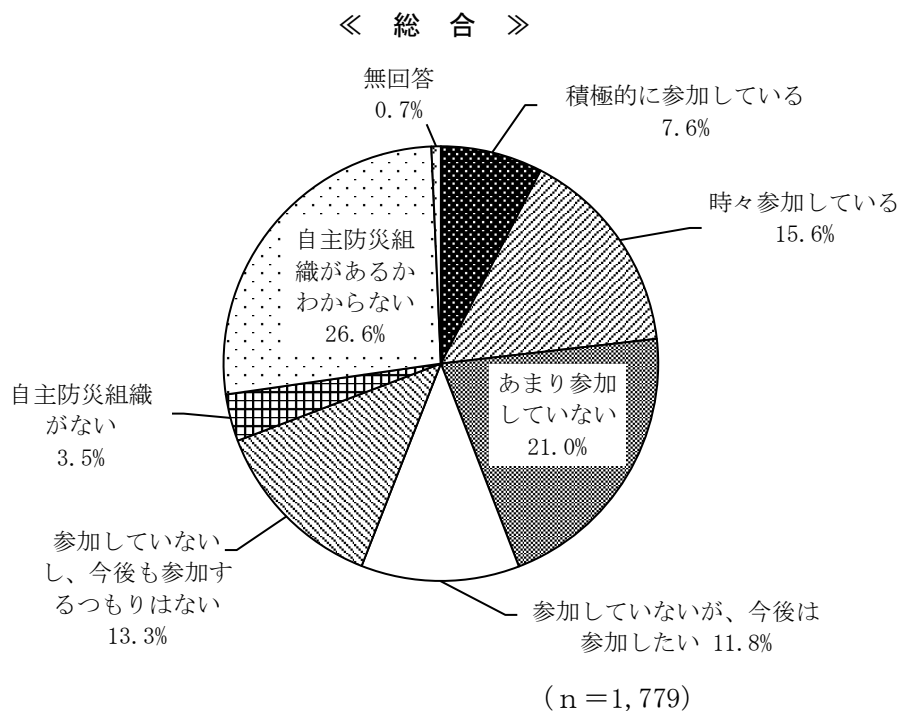


(7) 自主防災組織について

問64 自主防災組織の活動への参加状況

問64 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。
(ひとつだけ○)

自主防災組織の活動への参加状況については、「自主防災組織があるかわからない」が26.6%と最も高く、次いで「あまり参加していない」21.0%、「時々参加している」15.6%と続いている。

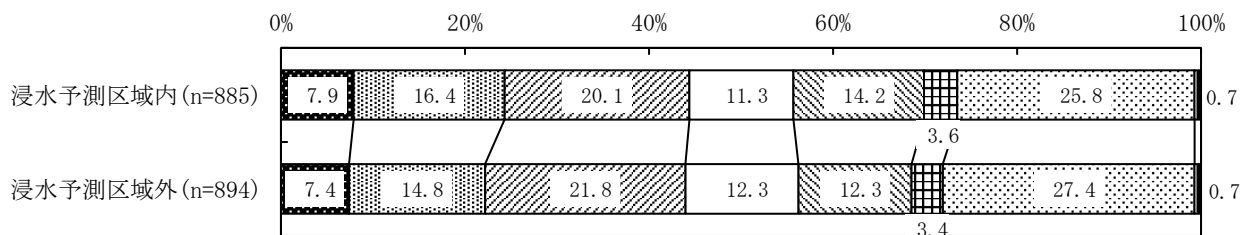


【浸水予測区域別】

「積極的に参加している」と「時々参加している」の合計は、浸水予測区域内で24.3%、浸水予測区域外で22.2%と浸水予測区域内の方が2.1ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》

- 積極的に参加している
- 時々参加している
- ▨ あまり参加していない
- 参加していないが、今後は参加したい
- ▨ 参加していないし、今後も参加するつもりはない
- ▨ 自主防災組織がない
- ▨ 自主防災組織があるかわからない
- 無回答



【前回比較】

「自主防災組織があるかわからない」が平成30年度は20.4%だったが、令和3年度では26.6%と6.2ポイント増加している。

【性別】

「積極的に参加している」は、男性9.1%、女性6.1%と、男性の方が3ポイント高い。

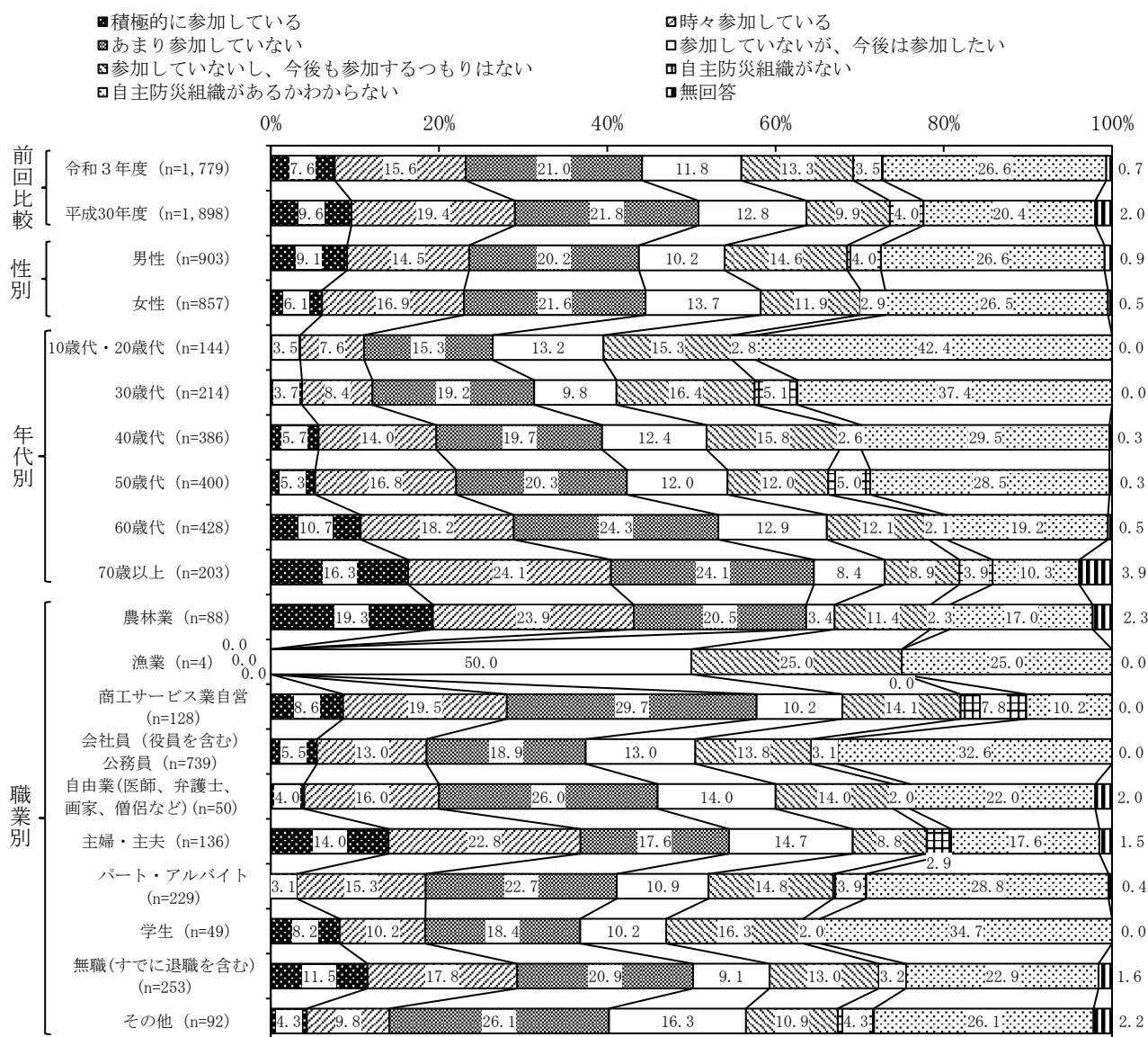
【年代別】

「積極的に参加している」、「時々参加している」、「あまり参加していない」は年代が上がるほど割合が高くなっている。

【職業別】

会社員、公務員と学生は、「自主防災組織があるかわからない」が30%を超えており、他の職業より高い割合となっている。

《前回比較・性別・年代別・職業別》



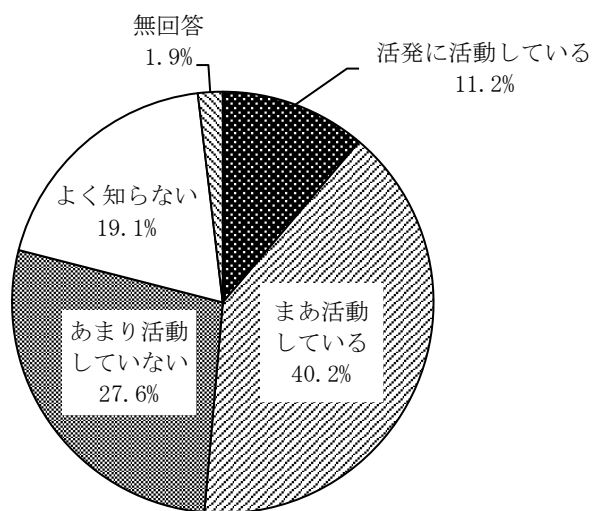
問65 地域の自主防災組織の活動状況

問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

地域の自主防災組織の活動状況については、「まあ活動している」が40.2%と最も高く、次いで「あまり活動していない」27.6%、「よく知らない」19.1%と続いている。

《 総 合 》

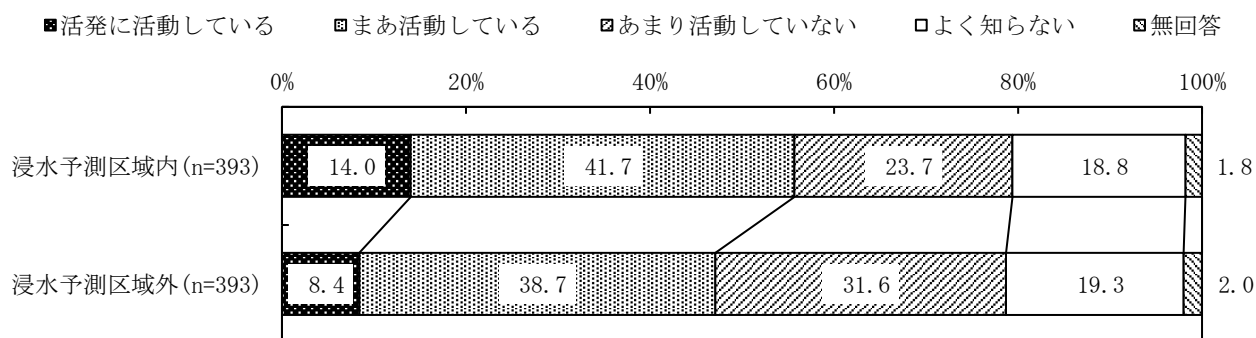


(n=786)

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内の方は、浸水予測区域外に比べて「活発に活動している」で5.6ポイント、「まあ活動している」で3ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

平成30年度と比べ、「まあ活動している」は5.7ポイント減少し、「よく知らない」は4.8ポイント増加している。

【性別】

「まあ活動している」は男性36.2%、女性45.0%と女性の方が8.8ポイント高い。

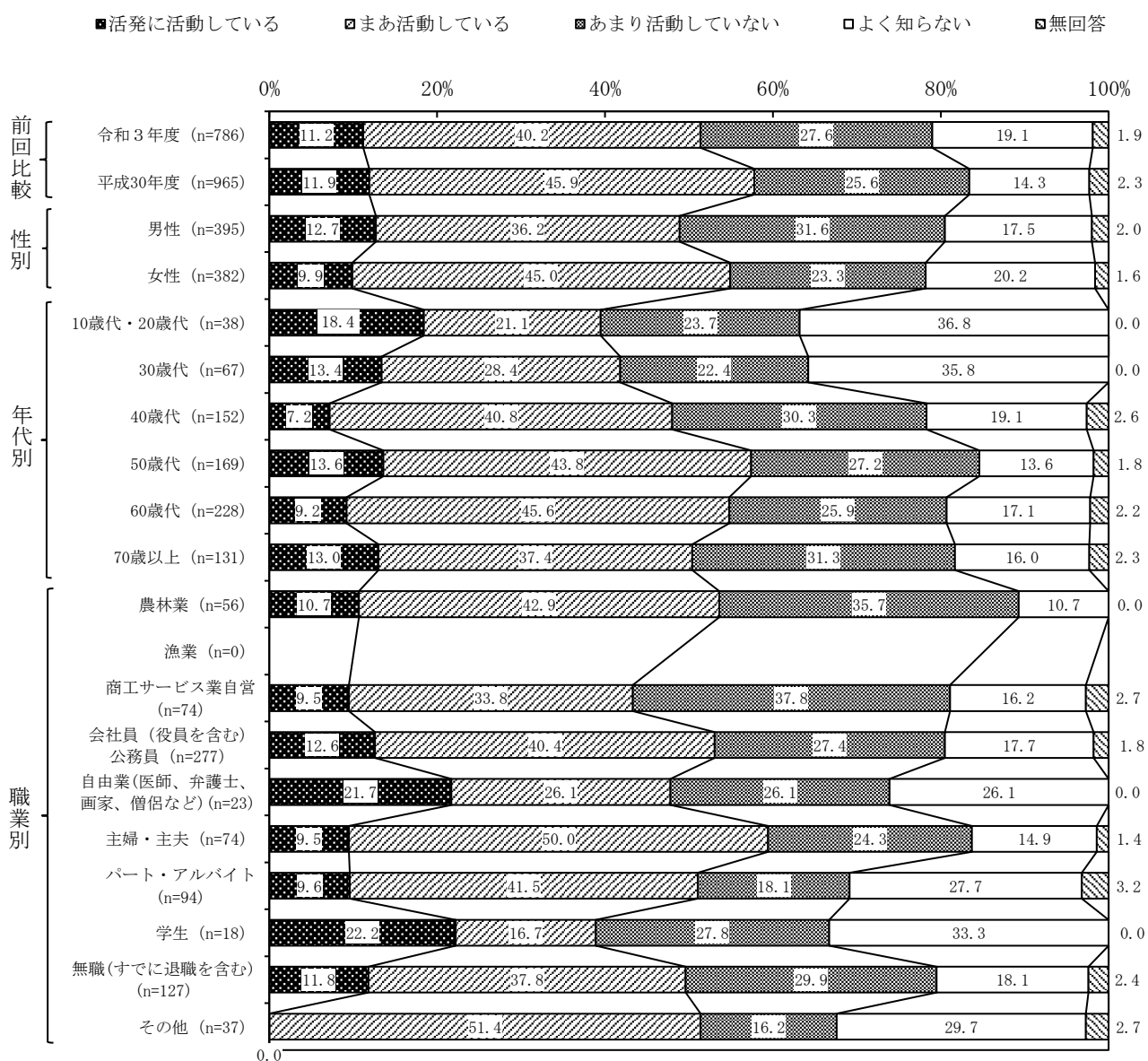
【年代別】

「よく知らない」は、年代が低いほど割合が高い傾向にある。

【職業別】

自由業、パート・アルバイト、学生及びその他では、「よく知らない」が25%を超えており、他の職業に比べて高い割合となっている。

《前回比較・性別・年代別・職業別》



問66 これからどういった活動に取り組んでいけばよいか

問66 自主防災組織は、これからどういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。

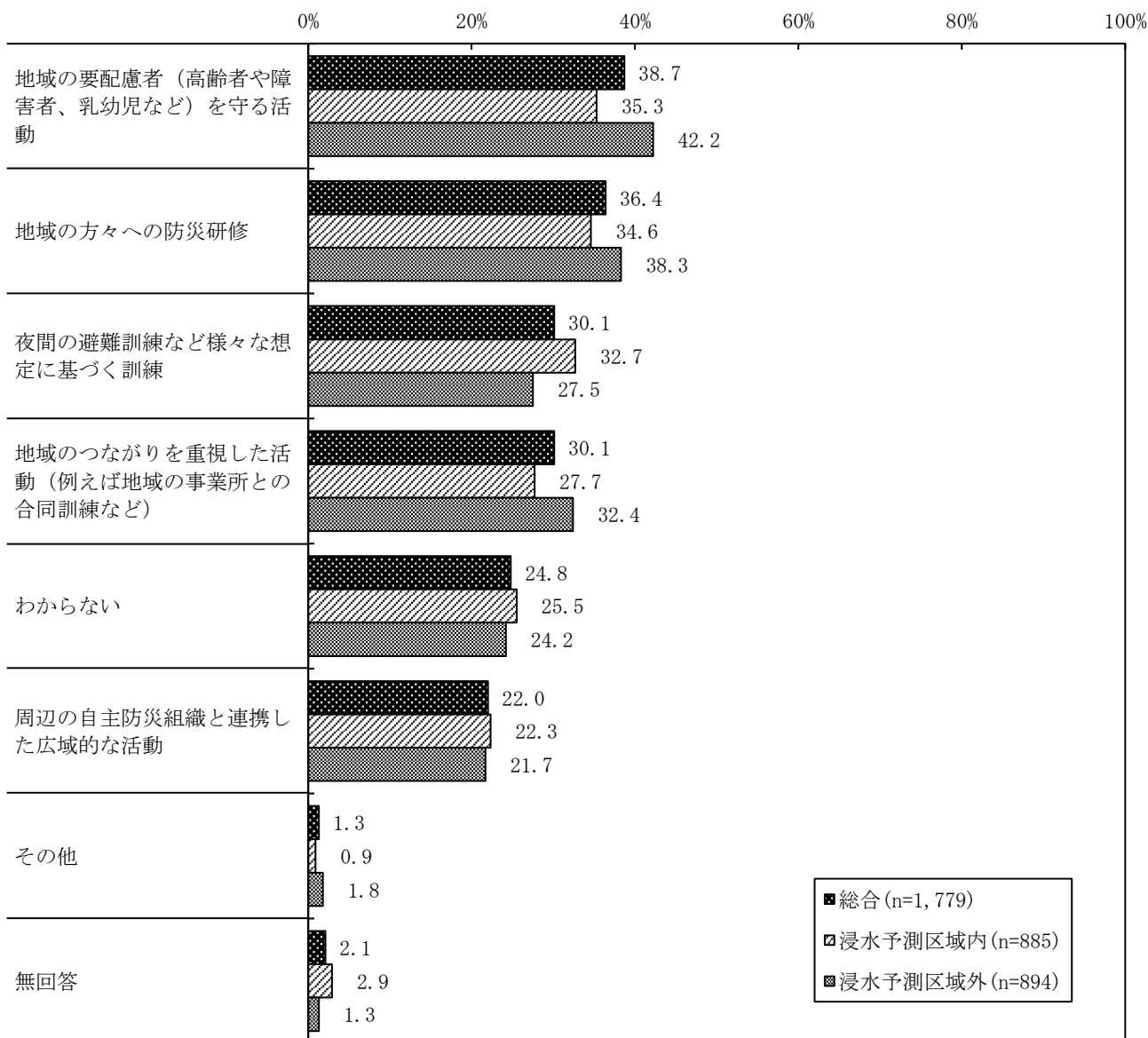
(当てはまるものすべてに○)

自主防災組織は、これからどういった活動に取り組んでいけばいいかについては、「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」が38.7%と最も高く、次いで「地域の方々への防災研修」36.4%、「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」・「地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）」が同率で30.1%と続いている。

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内・外ともに、「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」が最も高く、浸水予測区域内は35.3%、浸水予測区域外は42.2%と、浸水予測区域外の方が6.9ポイント高くなっている。

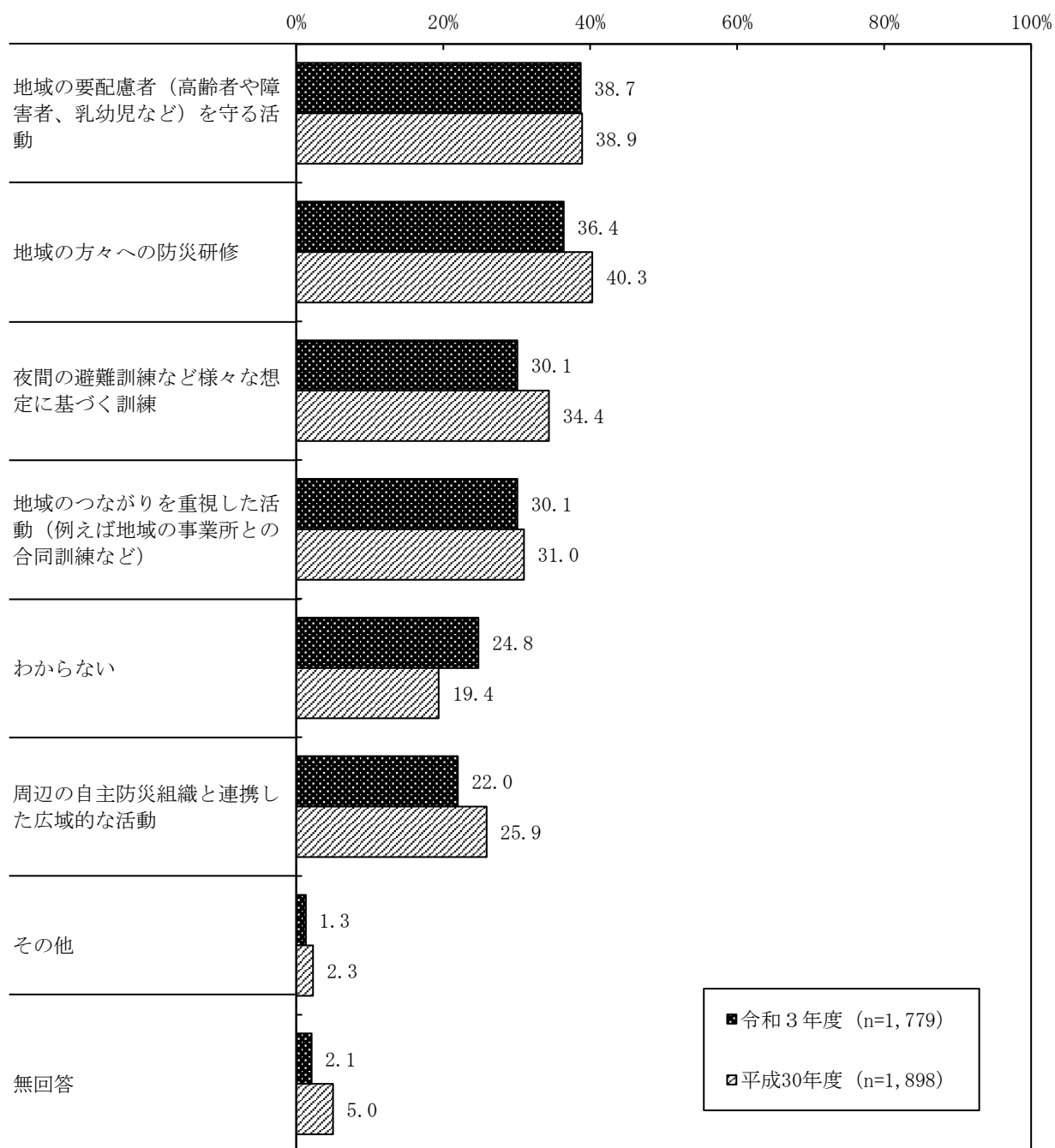
《 総合・浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度では、「地域の方々への防災研修」で3.9ポイント、「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」で4.3ポイント、「周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動」で3.9ポイント減少している。一方、「わからない」は5.4ポイント増加している。

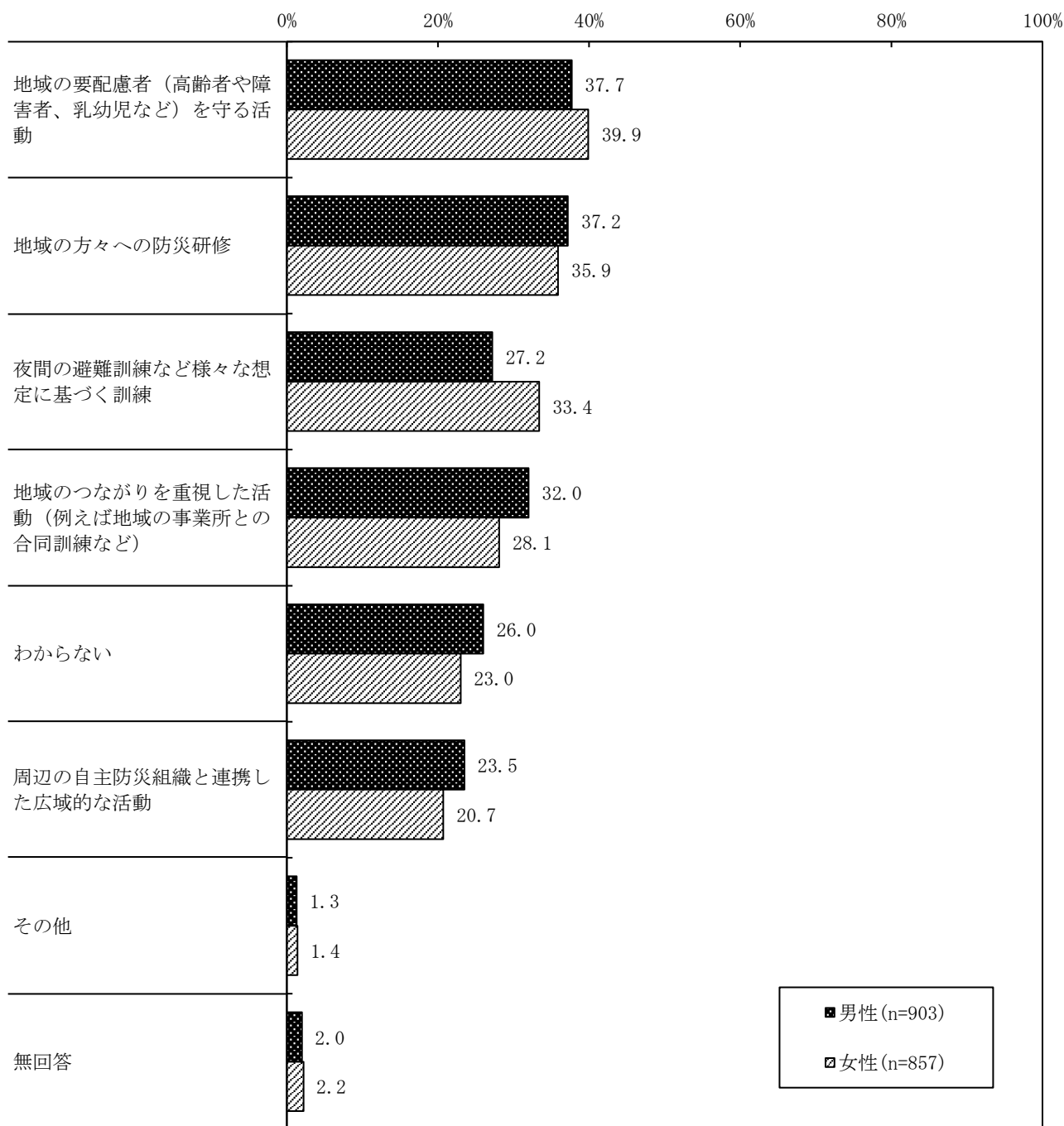
《 前 回 比 較 》



【性別】

「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」は、男性27.2%、女性33.4%と、女性の方が6.2ポイント高くなっている。

《 性別 》

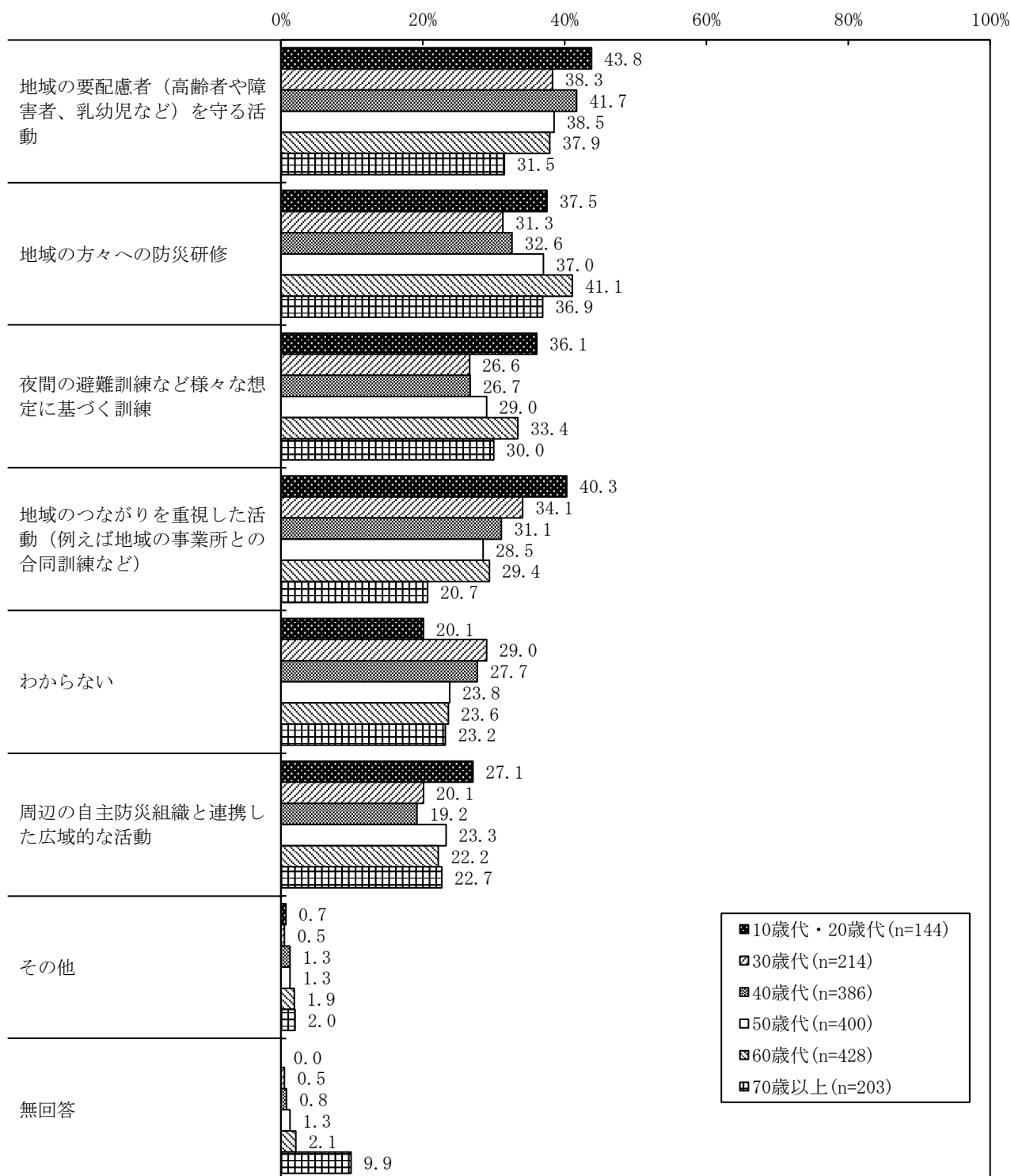


【年代別】

10歳代・20歳代から50歳代までは、「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」が、60歳代、70歳以上は、「地域の方々への防災研修」が最も高くなっている。

「地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）」は年代が低いほど割合が高くなる傾向にある。

《 年 代 別 》



【職業別】

農林業、会社員、公務員、パート・アルバイト、学生、無職、その他は「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」が、商工サービス業自営、自由業、主婦・主夫は「地域の方々への防災研修」が、漁業は「周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動」が、無職は同率で、「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」と「地域の方々への防災研修」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

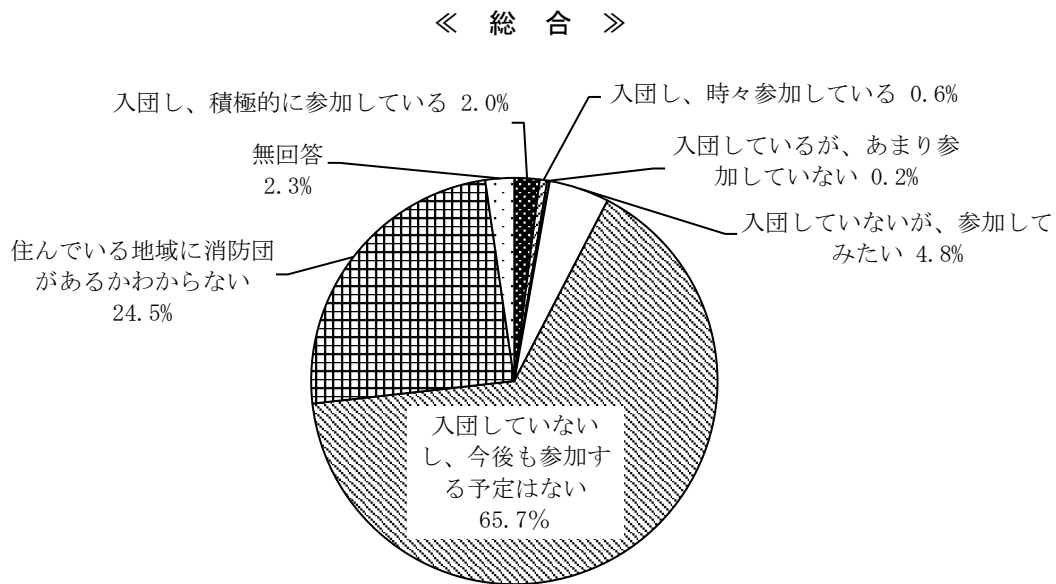
項 目 属 性	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	地域の方々への防災研修	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	わからない	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	その他	無回答
農林業 (n=88)	35.2	33.0	22.7	23.9	29.5	11.4	1.1	3.4
漁業 (n=4)	-	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	32.8	33.6	28.9	28.9	32.0	25.0	2.3	1.6
会社員（役員を含む）、公務員 (n=739)	40.7	36.7	29.6	34.2	23.5	21.8	0.8	0.5
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など） (n=50)	42.0	50.0	36.0	34.0	18.0	22.0	2.0	2.0
主婦・主夫 (n=136)	35.3	39.0	33.8	25.0	20.6	26.5	2.2	4.4
パート・アルバイト (n=229)	39.3	32.8	31.0	25.8	28.8	18.8	0.9	1.7
学生 (n=49)	46.9	44.9	44.9	46.9	16.3	30.6	-	-
無職（すでに退職を含む） (n=253)	36.8	36.8	28.1	26.1	26.1	23.3	2.4	5.1
その他 (n=92)	38.0	35.9	29.3	21.7	21.7	19.6	2.2	5.4

(8) 消防団について

問67 消防団に入団しているか

問67 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

消防団への入団については、「入団していないし、今後も参加する予定はない」が65.7%と最も高く、次いで「住んでいる地域に消防団があるかわからない」24.5%、「入団していないが、参加してみたい」4.8%と続いている。また、消防団に入団している人は、「入団し、積極的に参加している」2.0%、「入団し、時々参加している」0.6%、「入団しているが、あまり参加していない」0.2%と低い割合にとどまっている。



(n=1,779)

【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

「入団し、積極的に参加している」と回答した人は男性のみで、「住んでいる地域に消防団があるかわからない」は、男性21.2%、女性28.1%と女性の方が6.9ポイント高い。

【年代別】

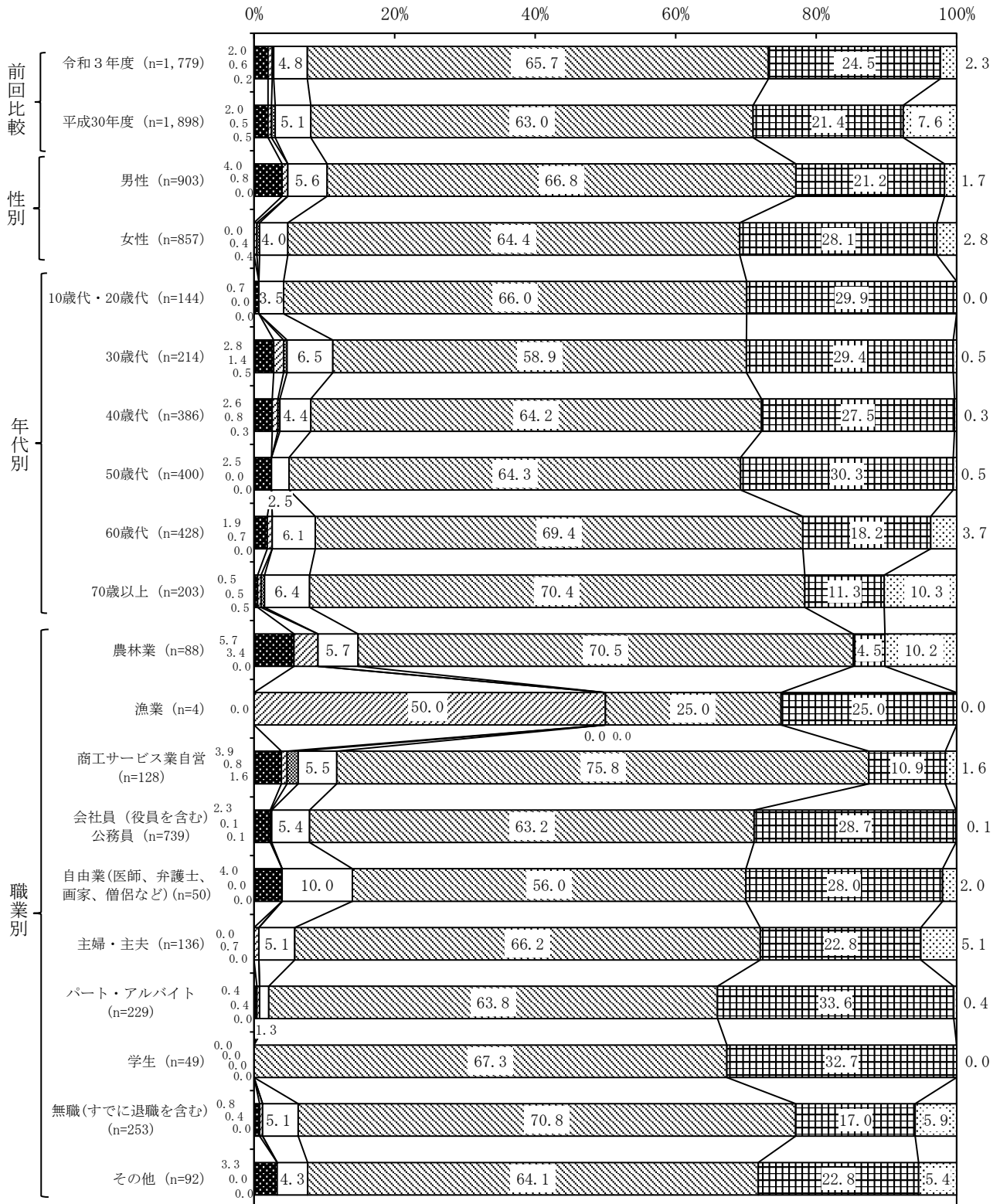
すべての年代で「入団していないし、今後も参加する予定はない」が最も高い。「住んでいる地域に消防団があるかわからない」は、60歳代、70歳以上は10%台と他の年代より割合が低くなっている。

【職業別】

漁業以外のすべての職業は「入団していないし、今後も参加する予定はない」が最も高く、中でも商工サービス業自営は75.8%と他の職業より割合が高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

- 入団し、積極的に参加している
- ▨ 入団しているが、あまり参加していない
- ▩ 入団していないが、参加してみたい
- 入団していないし、今後も参加する予定はない
- 無回答
- ▧ 入団し、時々参加している
- ▦ 入団していないが、参加してみたい
- ▨ 住んでいる地域に消防団があるかわからない

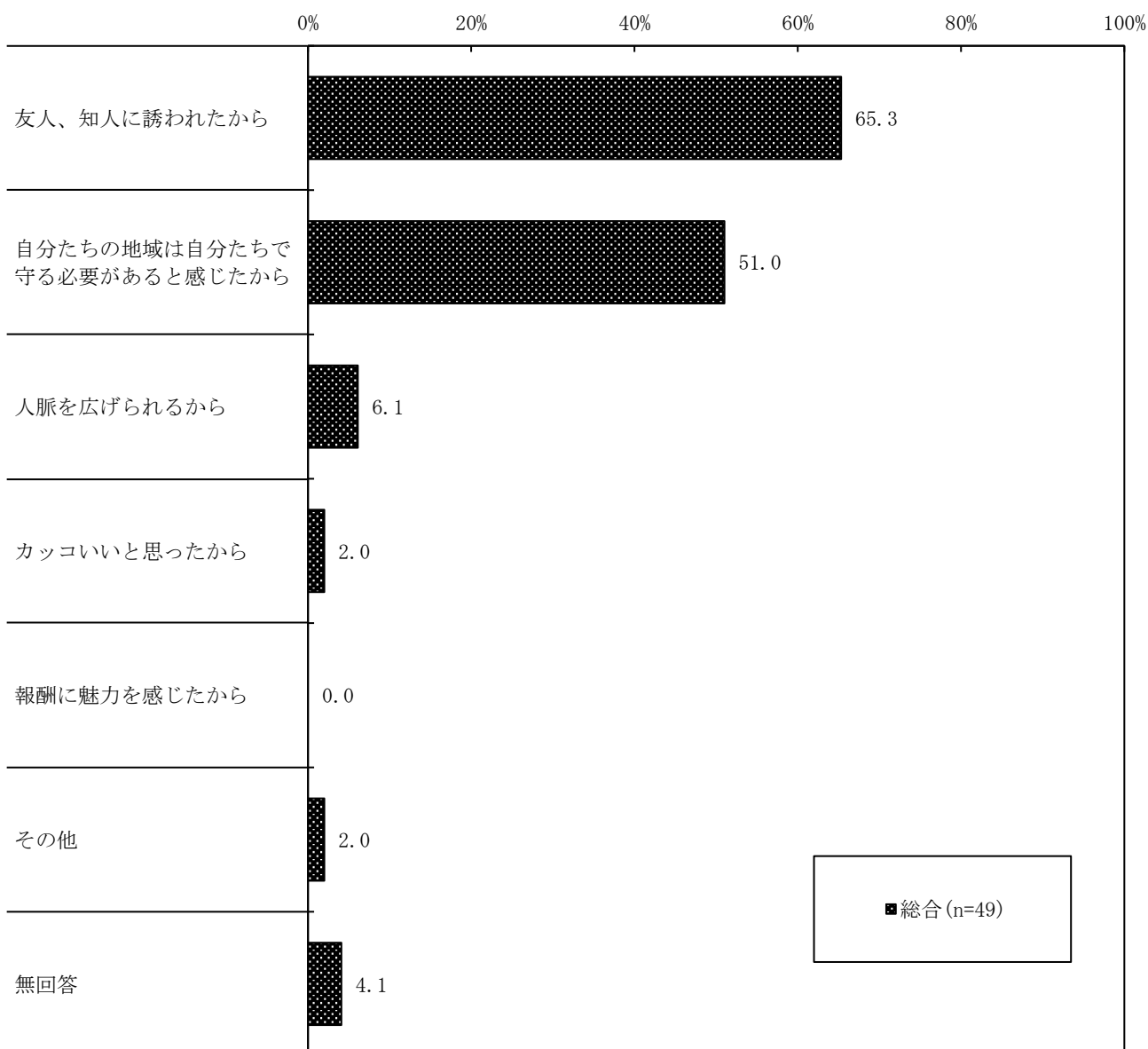


問68 消防団に入団した理由

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○)

消防団に入団した理由については、「友人、知人に誘われたから」が65.3%と最も高く、次いで「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」51.0%、「人脈を広げられるから」6.1%と続いている。また、「報酬に魅力を感じたから」と答えた方は0人となっている。

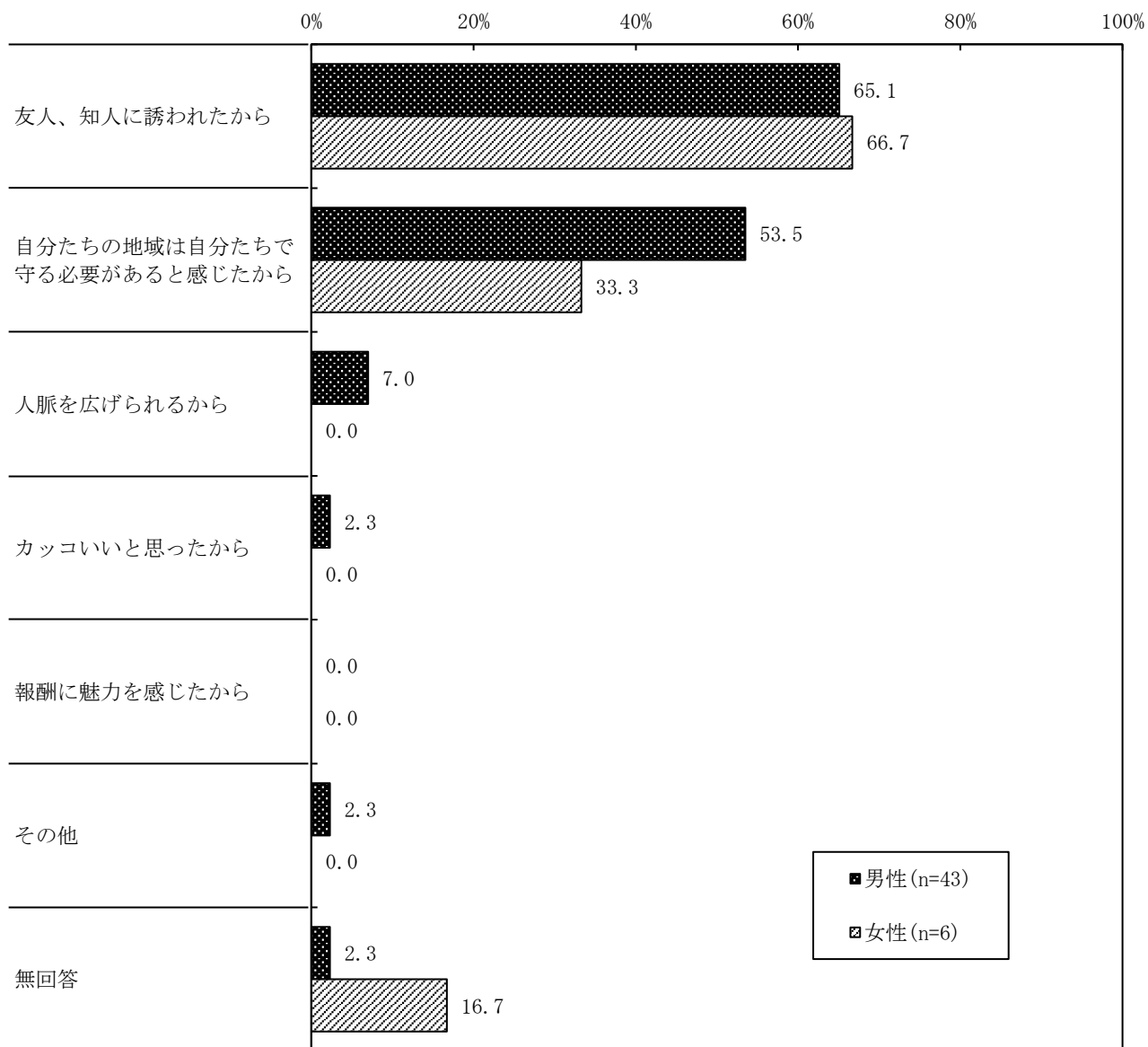
《 総 合 》



【性別】

男女ともに「友人、知人に誘われたから」が最も高く、大きな差も見られない。「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」は、男性53.5%、女性33.3%と、男性の方が20.2ポイント高く、「人脈を広げられるから」、「カッコいいと思ったから」と回答した女性はいなかった。

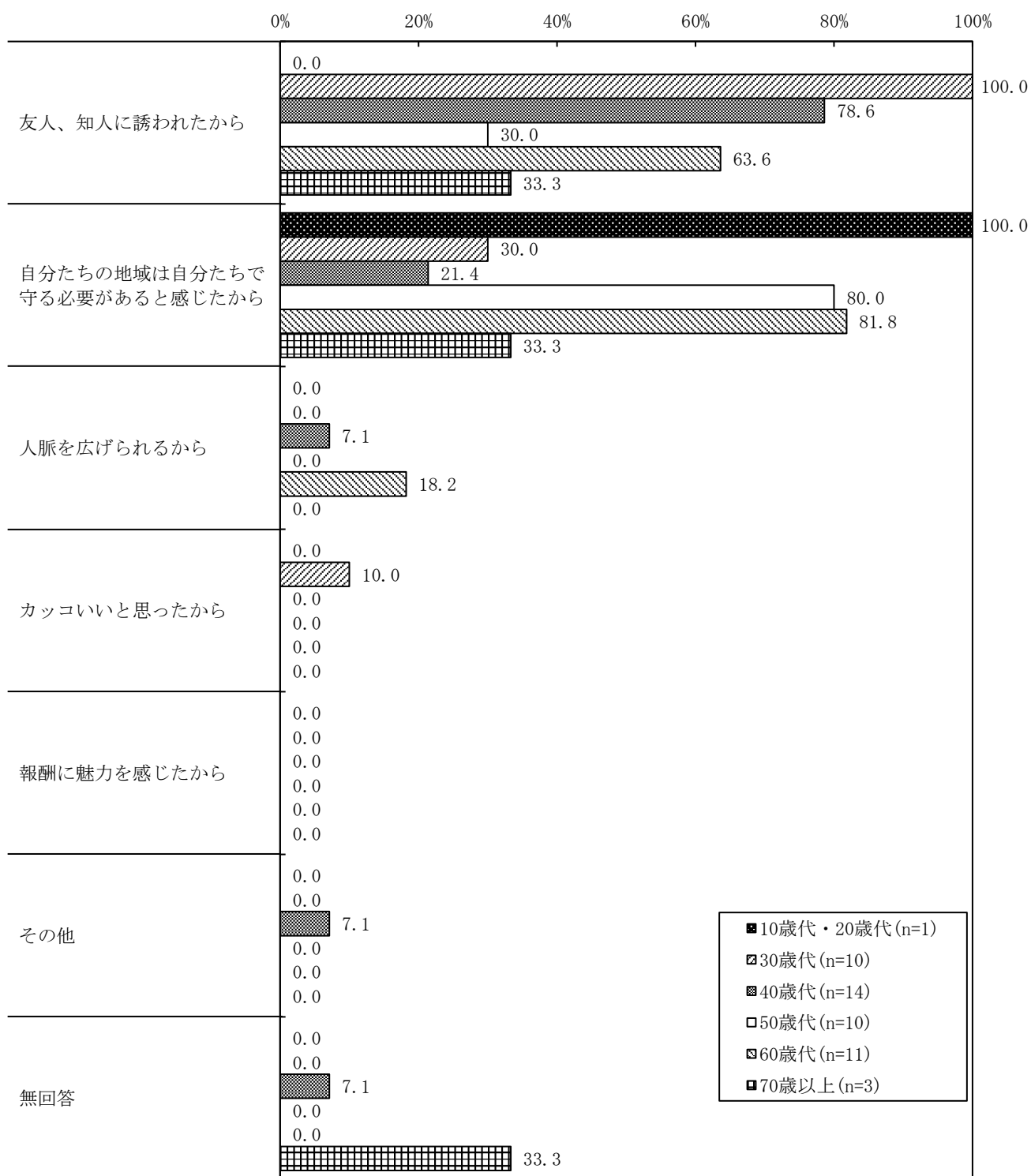
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代、50歳代、60歳代は、「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」が、30歳代、40歳代は、「友人、知人に誘われたから」が、70歳以上は同率で、「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」、「友人、知人に誘われたから」が最も高くなっている。

《 年代別 》



【職業別】

主婦・主夫は「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」が、自由業、パート・アルバイト、無職は、同率で「友人、知人に誘われたから」と「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」が最も高くなっている。それ以外のすべての職業は「友人、知人に誘われたから」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

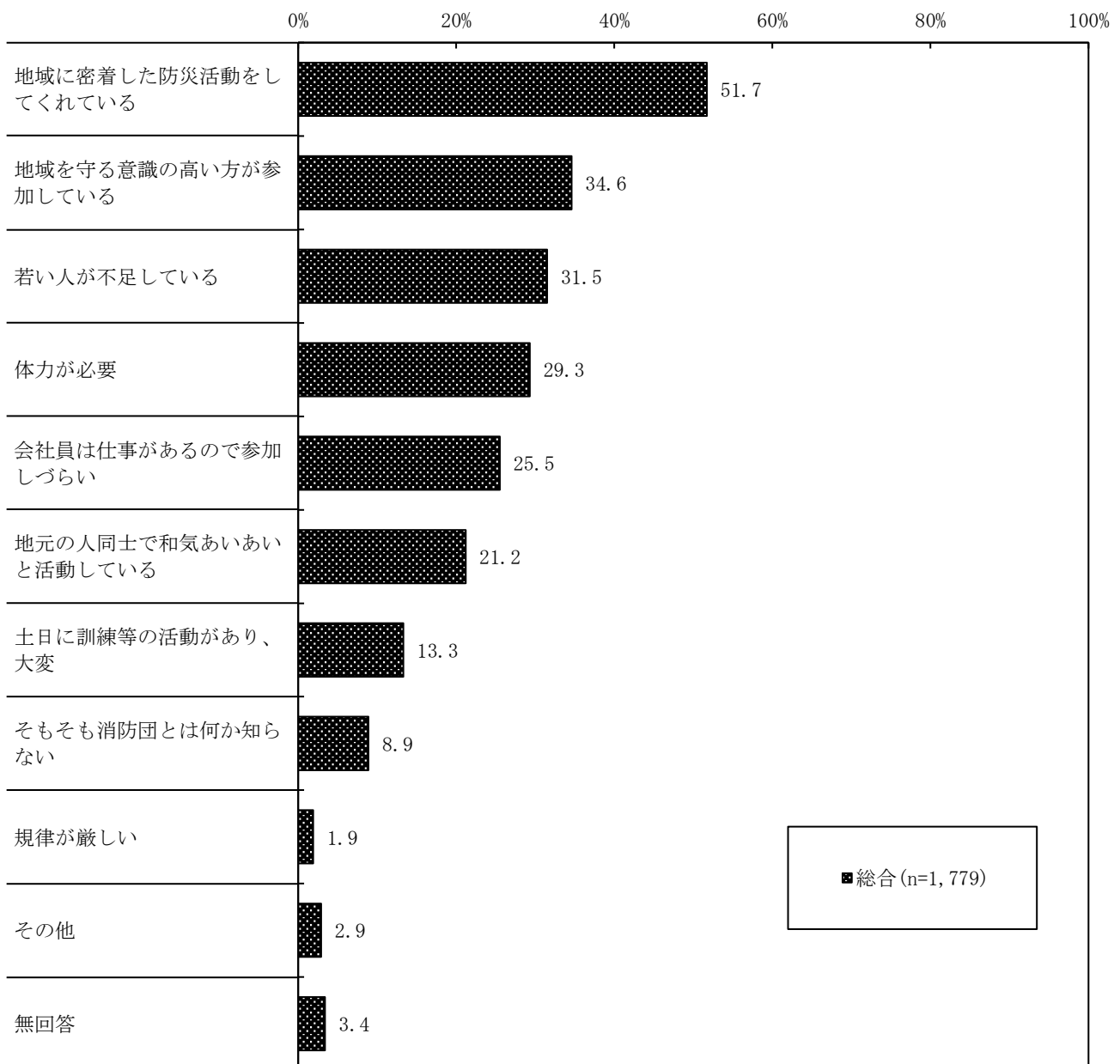
項 目 属 性	友人、 知人に誘われたから	自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから	人脈を広げられるから	カッコいいと思ったから	報酬に魅力を感じたから	その他	無回答
農林業(n=8)	75.0	25.0	-	-	-	12.5	-
漁業(n=2)	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-
商工サービス業自営(n=8)	50.0	37.5	25.0	-	-	-	12.5
会社員(役員を含む)、公務員(n=19)	63.2	52.6	5.3	-	-	-	5.3
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=2)	100.0	100.0	-	-	-	-	-
主婦・主夫(n=1)	-	100.0	-	-	-	-	-
パート・アルバイト(n=2)	100.0	100.0	-	-	-	-	-
学生(n=0)	-	-	-	-	-	-	-
無職(すでに退職を含む)(n=3)	66.7	66.7	-	-	-	-	-
その他(n=3)	66.7	33.3	-	-	-	-	-

問69 どのようなイメージを持っているか

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

消防団に対するイメージは、「地域に密着した防災活動をしてきている」が51.7%と最も高く、次いで「地域を守る意識の高い方が参加している」34.6%、「若い人が不足している」31.5%と続いている。

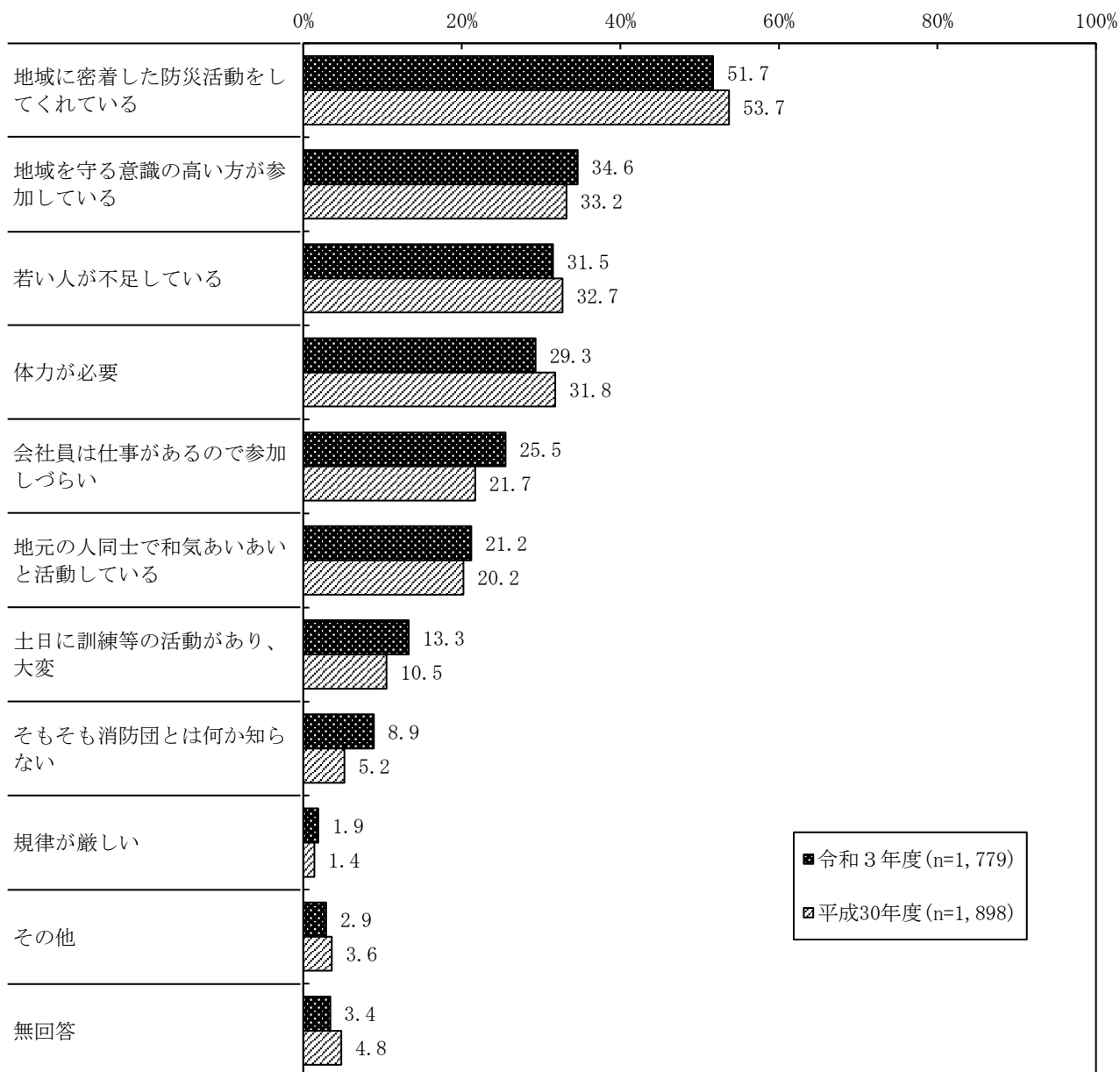
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度、平成30年度ともに同じ傾向で、あまり大きな差も見られない。

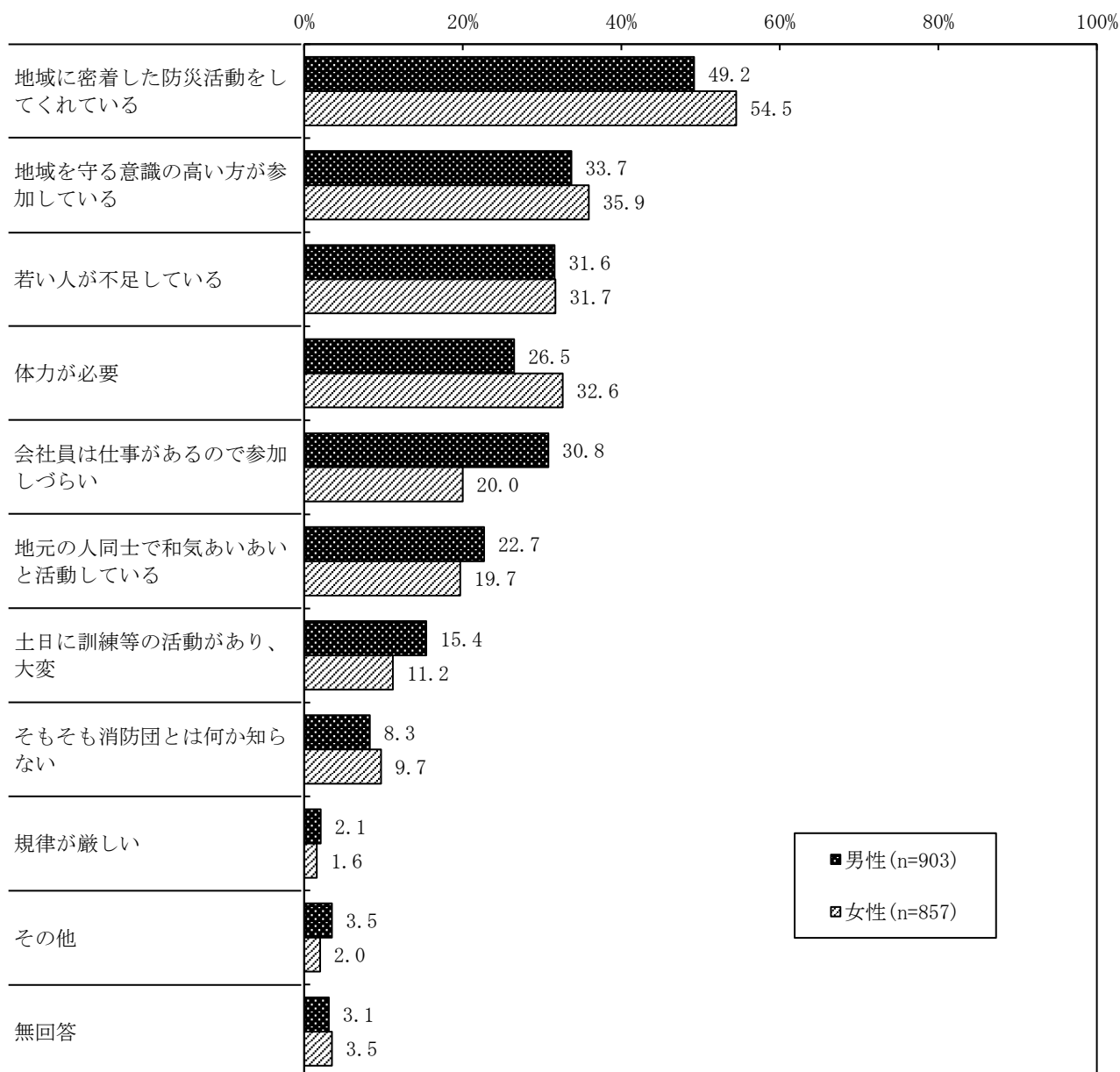
《 前 回 比 較 》



【性別】

女性は、男性に比べて「地域に密着した防災活動をしてきている」が5.3ポイント、「体力が必要」が6.1ポイント高く、男性は、女性に比べて「会社員は仕事があるので参加しづらい」が10.8ポイント高くなっている。

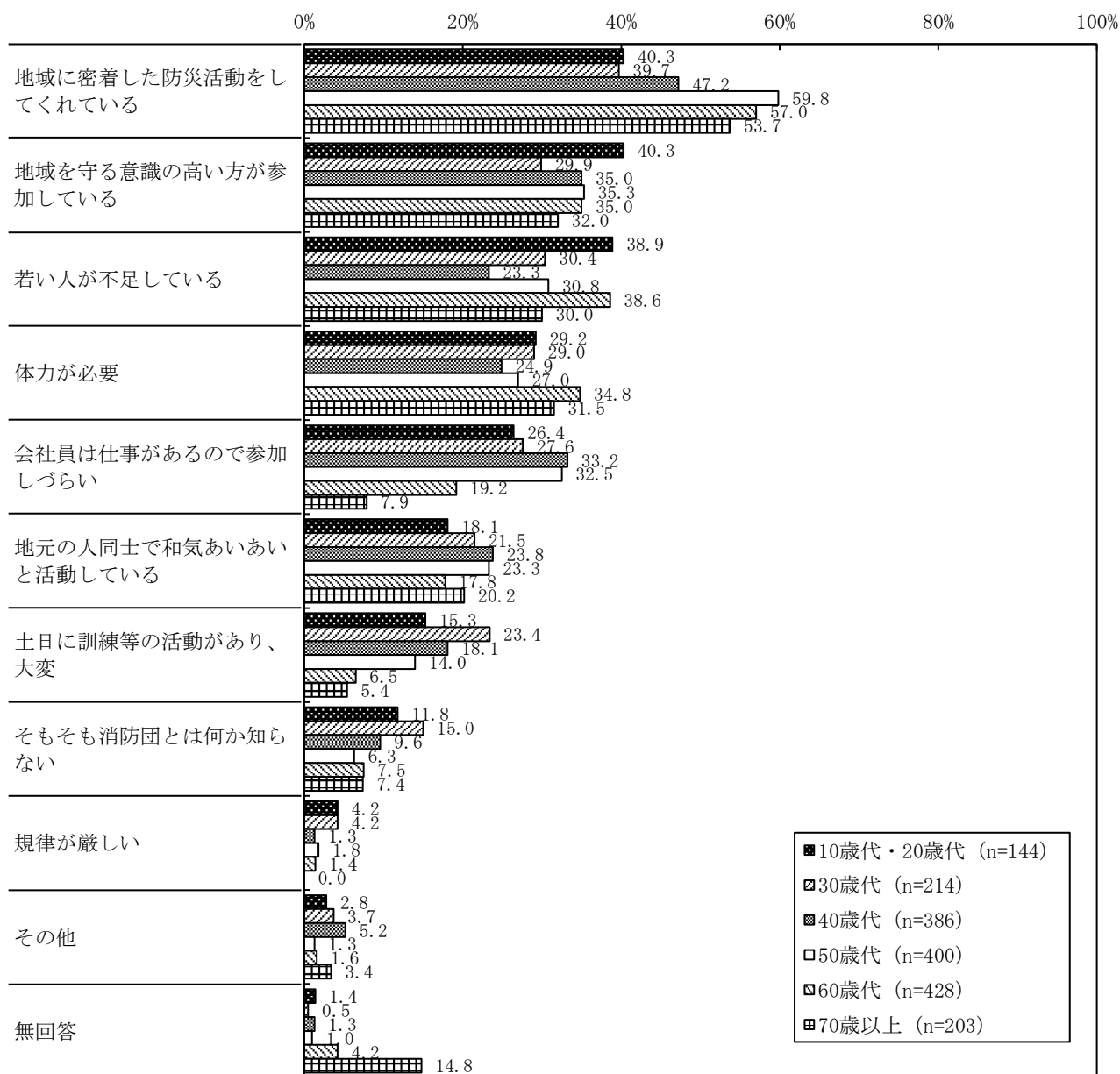
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「地域に密着した防災活動をしてきている」が、10歳代・20歳代は、同率で「地域を守る意識の高い方が参加している」が最も高くなっている。「若い人が不足している」は、10歳代・20歳代と60歳代が他の年代より高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

自由業を除くすべての職業で、「地域に密着した防災活動をしてきている」が最も高く、主婦・主夫は64.0%と他の職業より9ポイント以上高い割合となっている。

自由業は「地域を守る意識の高い方が参加している」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

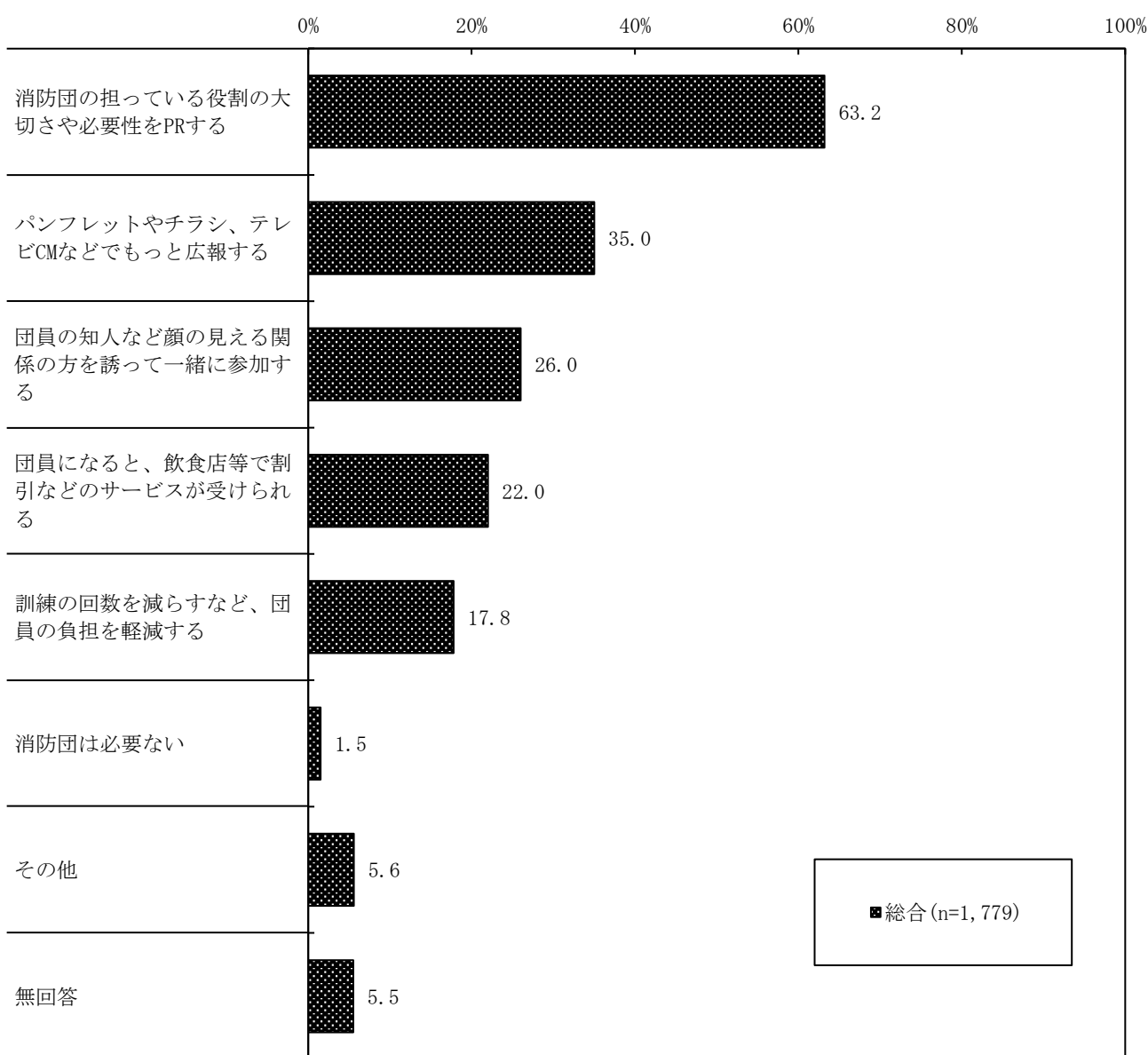
項 目 属 性	地域に密着した防災活動をしてきている	地域を守る意識の高い方が参加している	若い人が不足している	体力が必要	会社員は仕事があるので参加しづらい	地元の人同士で和気あいあいと活動している	土日に訓練等の活動があり、大変	そもそも消防団とは何か知らない	規律が厳しい	その他	無回答
農林業(n=88)	53.4	27.3	38.6	18.2	18.2	30.7	15.9	5.7	1.1	4.5	5.7
漁業(n=4)	50.0	50.0	25.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
商工サービス業自営(n=128)	50.0	31.3	41.4	32.8	21.9	23.4	8.6	6.3	0.8	0.8	1.6
会社員(役員を含む)、公務員(n=739)	49.3	35.7	28.3	24.1	37.8	22.7	18.5	8.5	2.2	3.0	0.9
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)(n=50)	48.0	54.0	32.0	40.0	26.0	20.0	8.0	12.0	-	-	4.0
主婦・主夫(n=136)	64.0	35.3	29.4	41.2	12.5	19.1	8.8	2.9	2.2	2.9	3.7
パート・アルバイト(n=229)	55.0	33.6	24.9	34.5	17.9	16.6	9.6	15.3	1.3	2.2	2.6
学生(n=49)	49.0	42.9	44.9	30.6	20.4	20.4	14.3	6.1	4.1	4.1	2.0
無職(すでに退職を含む)(n=253)	49.8	32.0	35.2	36.0	8.7	17.4	8.3	11.9	2.0	3.6	9.1
その他(n=92)	53.3	31.5	38.0	21.7	27.2	20.7	8.7	5.4	2.2	4.3	7.6

問70 どうすれば興味を持ってもらえると思うか

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

消防団に興味を持ってもらうための方法については、「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」が63.2%と最も高く、次いで「パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する」35.0%、「団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する」26.0%と続いている。

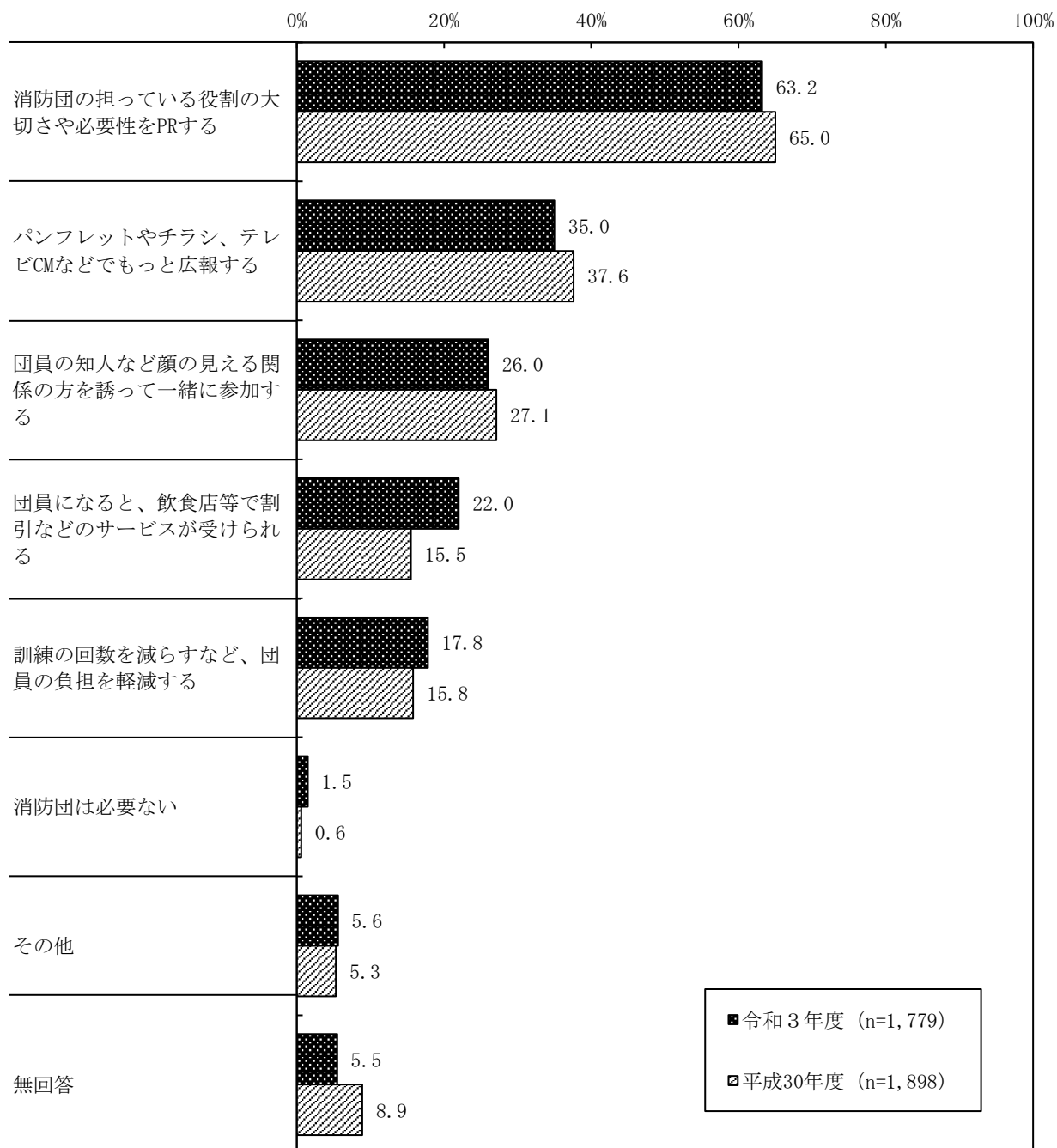
《 総合 》



【前回比較】

「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」は、平成30年度では65.0%だったが、令和3年度では63.2%と1.8ポイント減少しているが、「団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる」で6.5ポイント、「訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する」で2ポイント、「消防団は必要ない」で0.9ポイント増加している。

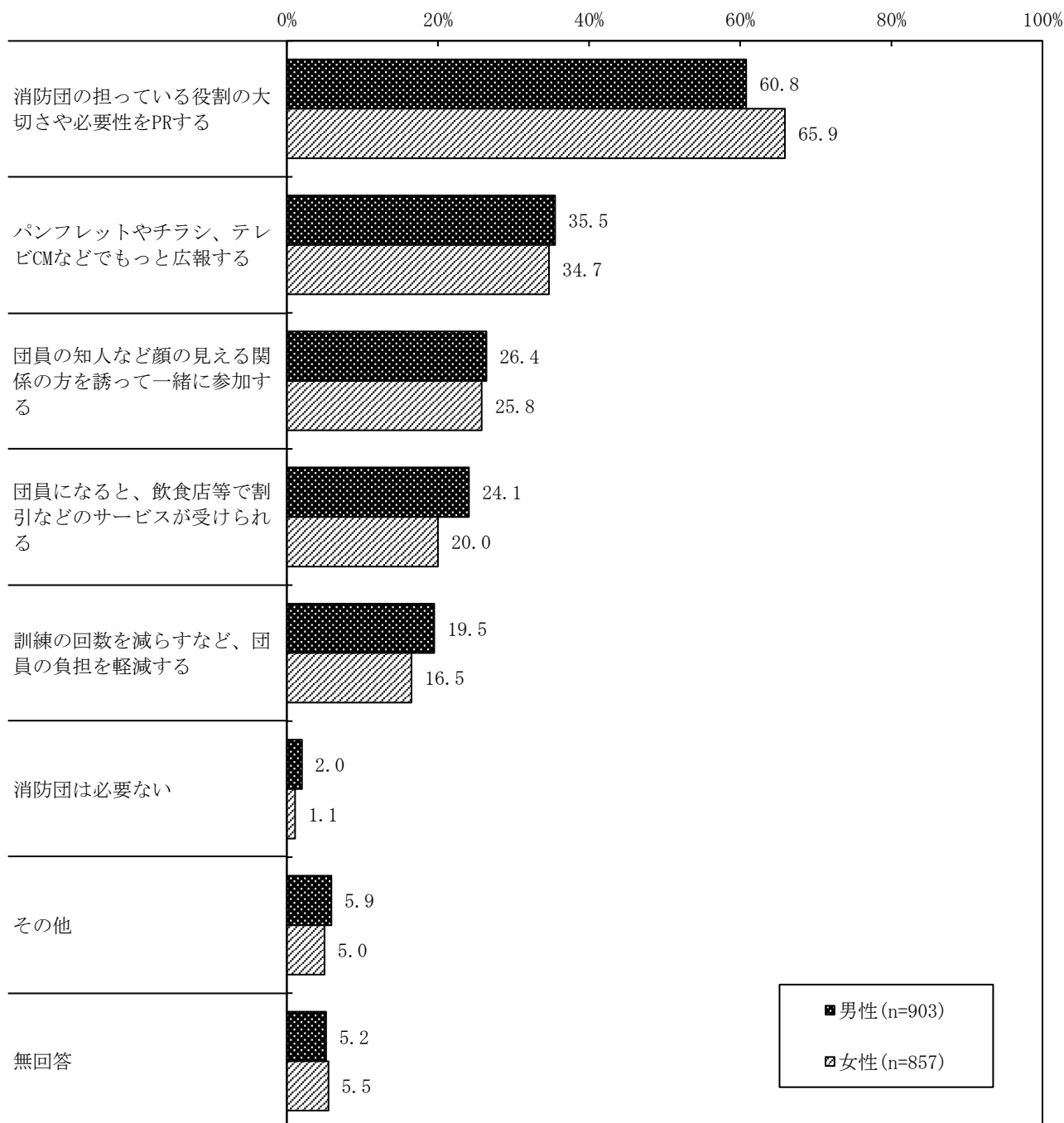
《 前 回 比 較 》



【性別】

「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」は男性60.8%、女性65.9%と、女性の方が5.1ポイント高くなっている。男性は、女性に比べて「団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる」が4.1ポイント、「訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する」が3ポイント高くなっている。

《 性別 》

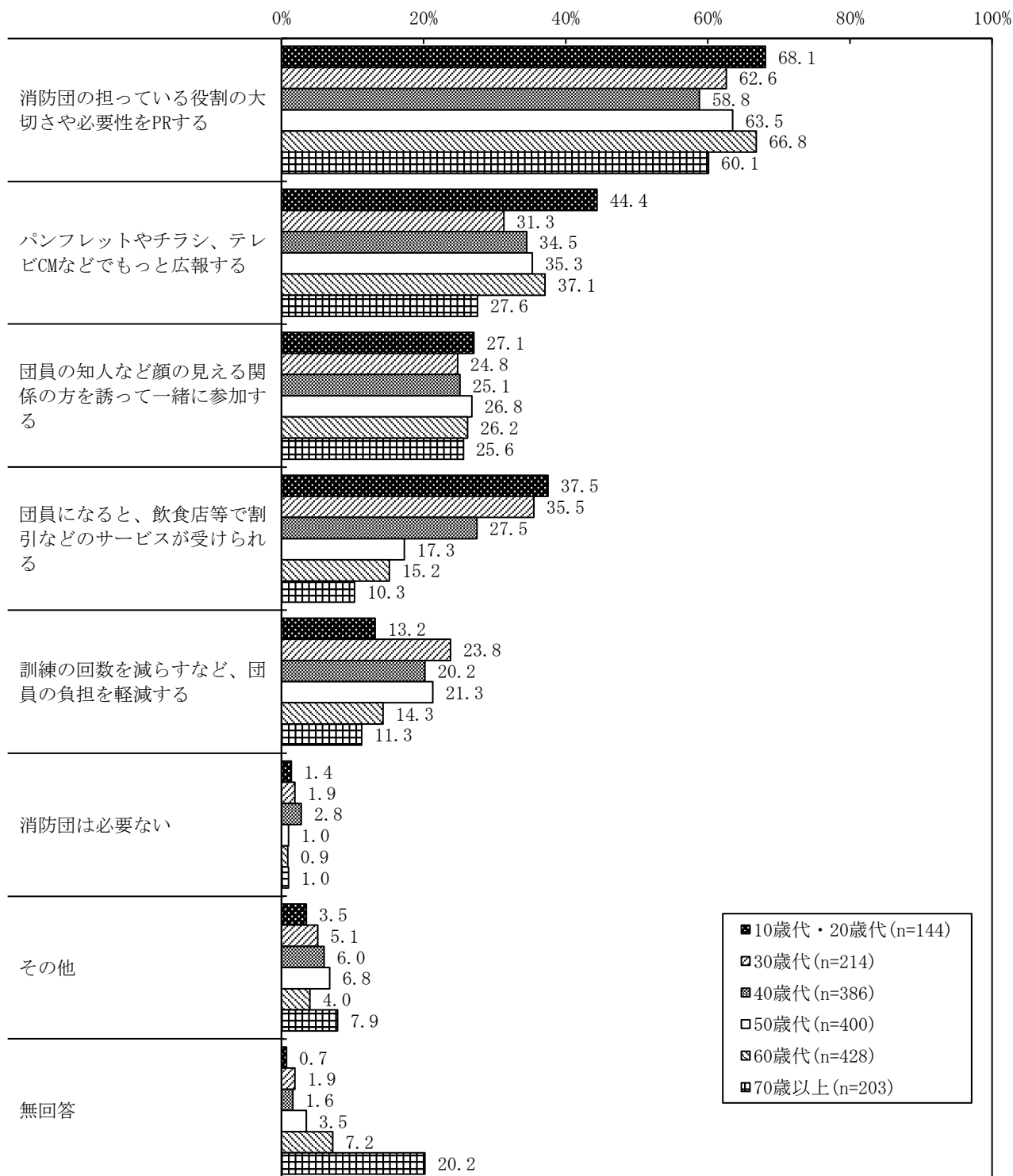


【年代別】

すべての年代で「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」が最も高い。

10歳代・20歳代は、「パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する」が44.4%と他の年代より7ポイント以上高い割合となっている。「団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる」は年代が低いほど割合が高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業は、「団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる」が最も高く、漁業以外の職業は、「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

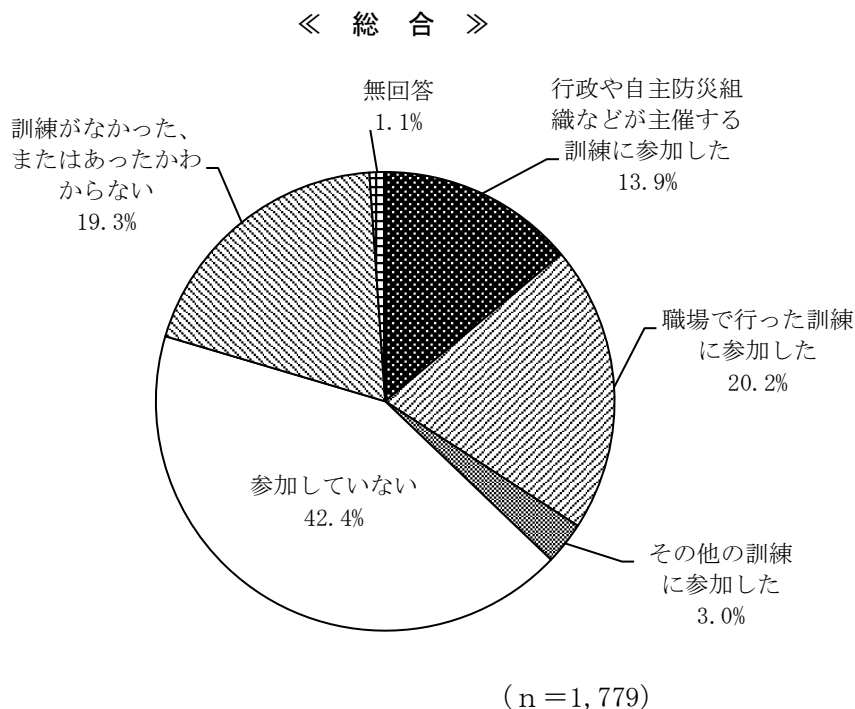
項 目 属 性	消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする	パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する	団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する	団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる	訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する	消防団は必要ない	その他	無回答
農林業 (n=88)	53.4	15.9	28.4	23.9	25.0	4.5	6.8	8.0
漁業 (n=4)	25.0	75.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-
商工サービス業自営 (n=128)	62.5	35.2	33.6	16.4	15.6	3.9	10.2	2.3
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=739)	63.2	34.0	26.3	28.0	21.2	1.4	4.3	2.6
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=50)	68.0	46.0	20.0	8.0	18.0	-	2.0	8.0
主婦・主夫 (n=136)	64.7	33.8	22.1	16.2	13.2	0.7	9.6	8.1
パート・アルバイト (n=229)	65.5	37.1	24.0	17.0	16.2	0.9	5.7	4.8
学生 (n=49)	63.3	53.1	30.6	46.9	12.2	2.0	2.0	-
無職 (すでに退職を含む) (n=253)	64.8	36.4	24.5	11.9	11.1	1.2	5.1	12.3
その他 (n=92)	60.9	35.9	25.0	20.7	18.5	1.1	6.5	10.9

(9) 地域の防災力について

問71 地域や職場の地震防災訓練への参加状況

問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

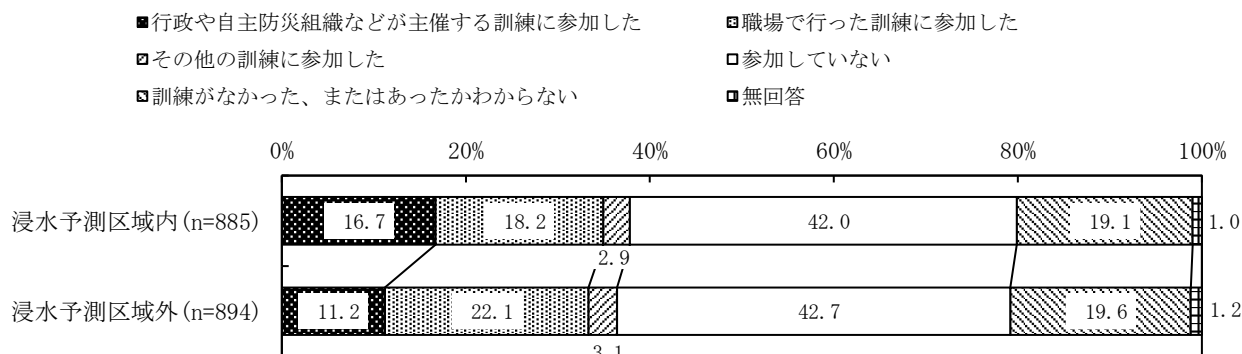
地域や職場の地震防災訓練への参加状況は、「参加していない」が42.4%と最も高く、次いで「職場で行った訓練に参加した」20.2%、「訓練がなかった、またはあったかわからない」19.3%と続いており、何らかの訓練に参加したと回答した人の割合は4割に満たない。



【浸水予測区域別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は浸水予測区域内が16.7%、浸水予測区域外が11.2%と浸水予測区域内が5.5ポイント高く、「職場で行った訓練に参加した」は、浸水予測区域内が18.2%、浸水予測区域外が22.1%と浸水予測区域外が3.9ポイント高い。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度は、平成30年度と比べて、「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」が7.3ポイント減少し、「職場で行った訓練に参加した」が5.3ポイント増加している。

【性別】

何らかの訓練に参加したと回答した人の割合は、男女ともほとんど同じである。

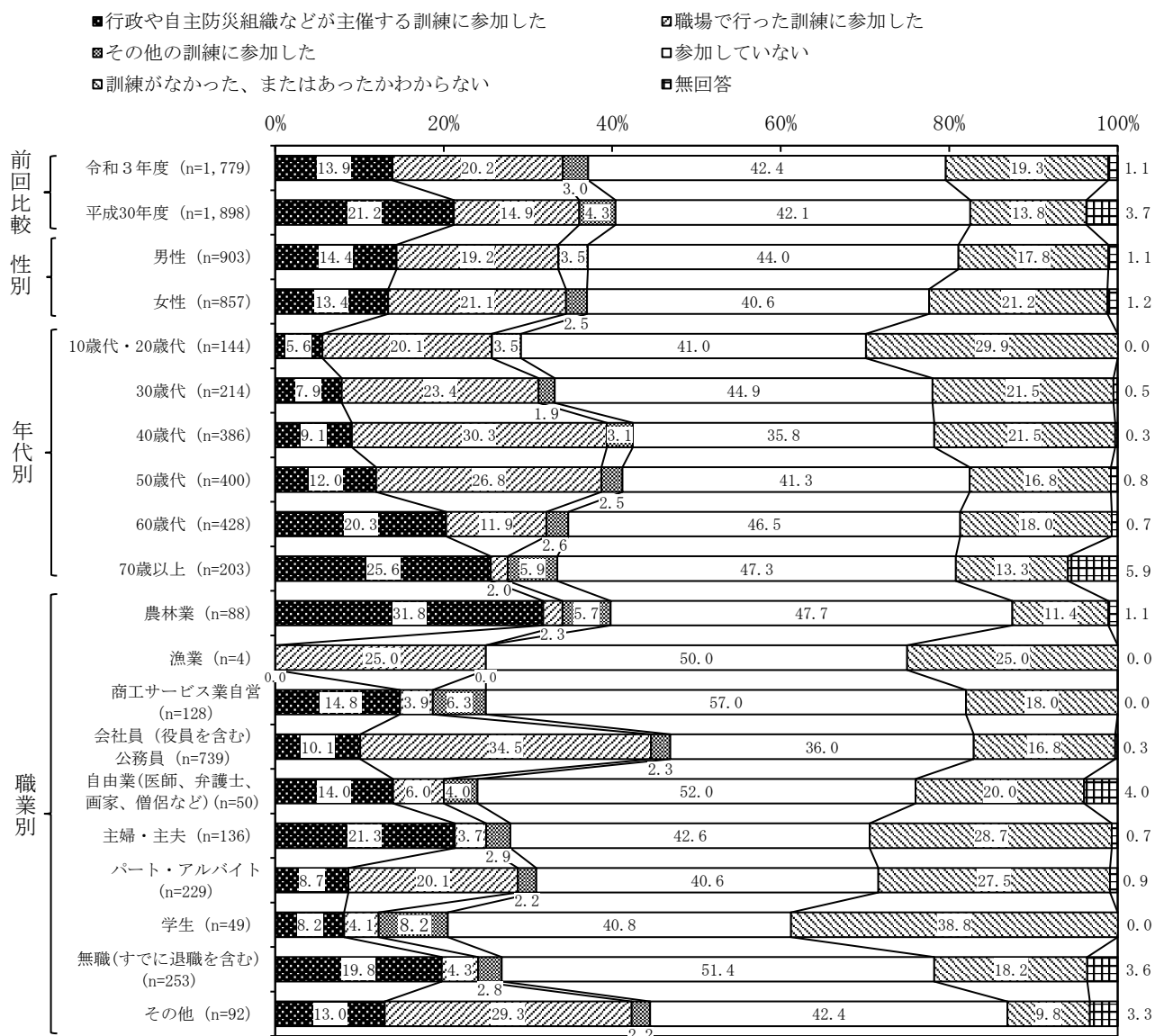
【年代別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は年代が上がるほど割合も高くなっている。40歳代、50歳代は、何らかの訓練に参加したと回答した人の割合が他の年代に比べて高い。

【職業別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は農林業が、「職場で行った訓練に参加した」は会社員、公務員、その他が、ともに約30%と他の職業より高く、何らかの訓練に参加した割合でも他の職業に比べて高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年齢別・職業別 ▶



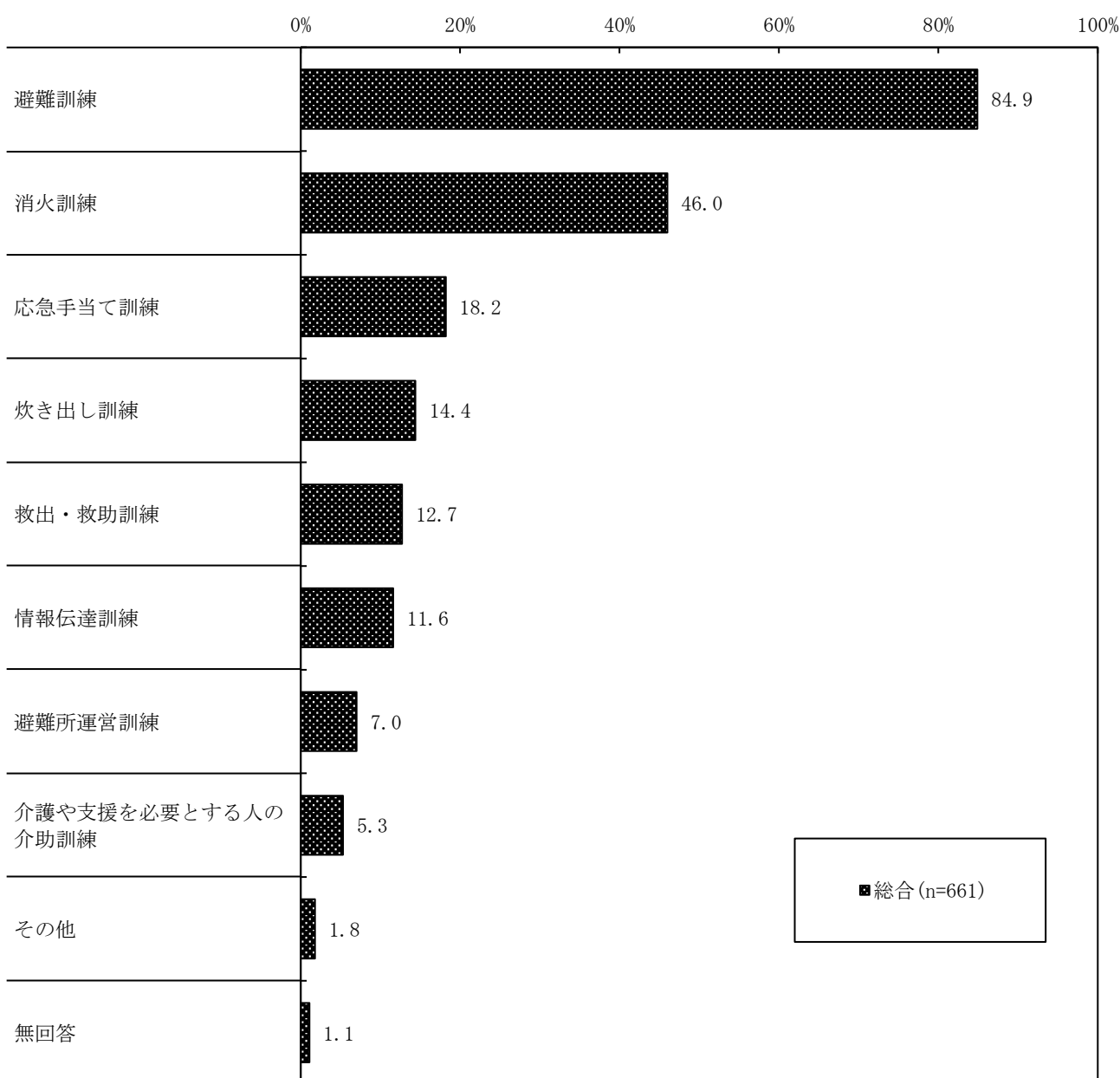
問72 どのような訓練に参加したか

問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

参加した訓練の内容は、「避難訓練」が84.9%と最も高く、次いで「消火訓練」46.0%、「応急手当訓練」18.2%と続いている。

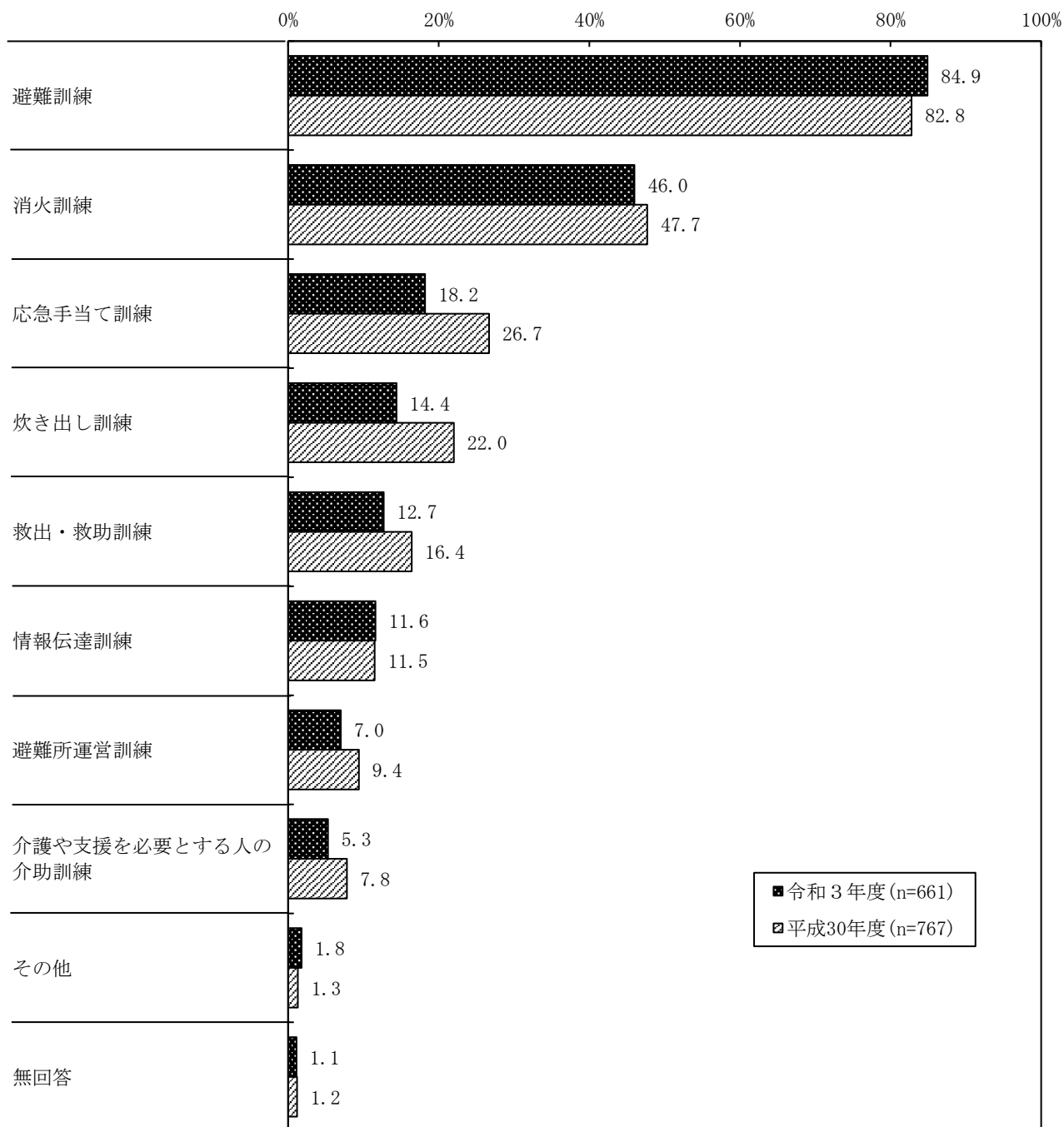
《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度は、平成30年度と比べて、「避難訓練」、「消火訓練」は大きな差は見られないが、「応急手当て訓練」で8.5ポイント、「炊き出し訓練」で7.6ポイント、「救出・救助訓練」で3.7ポイント減少している。

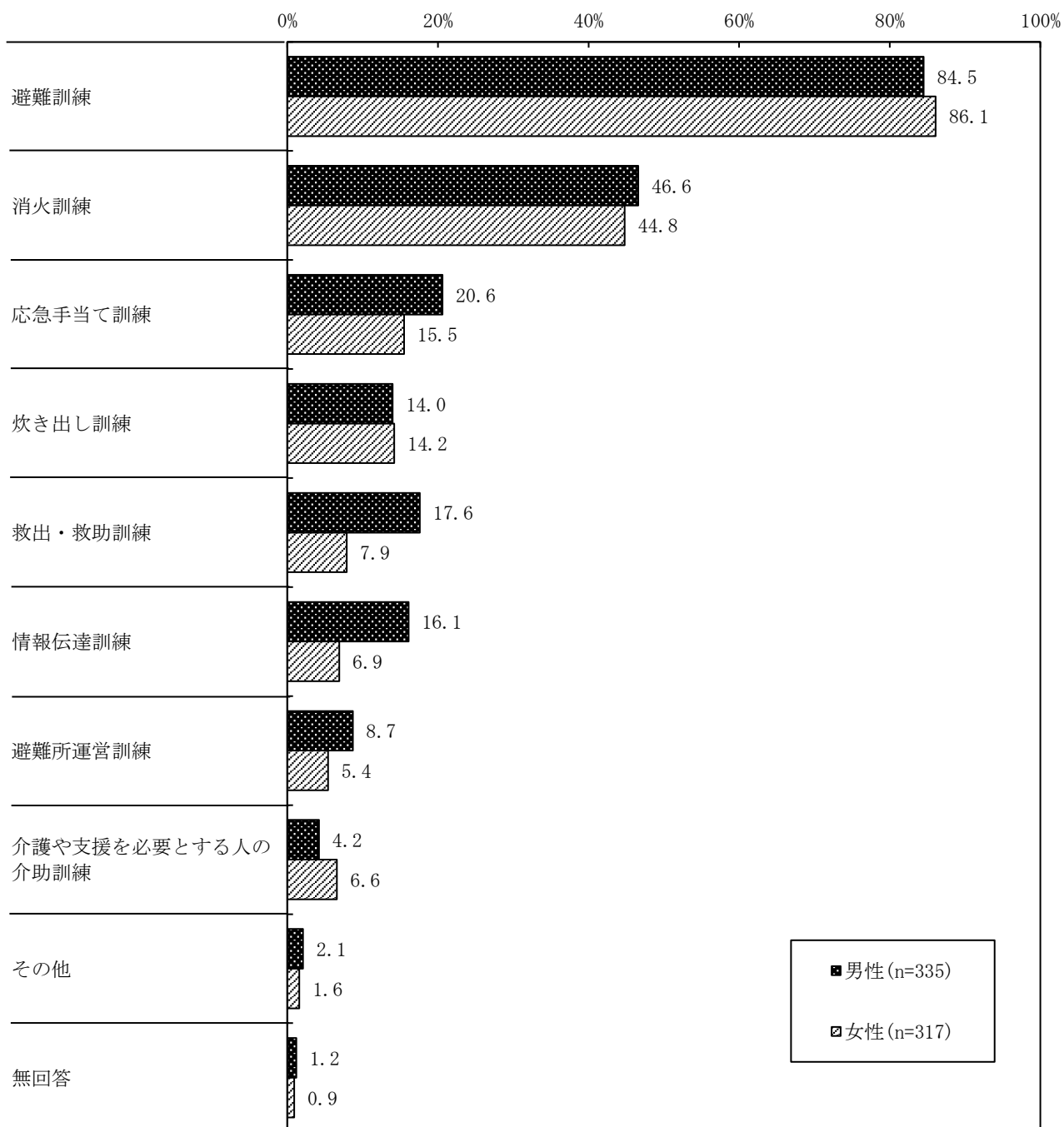
《 前 回 比 較 》



【性別】

「避難訓練」、「消火訓練」は、性別による大きな差は見られないが、男性は、女性に比べて「応急手当訓練」で5.1ポイント、「救出・救助訓練」で9.7ポイント、「情報伝達訓練」で9.2ポイント高くなっている。

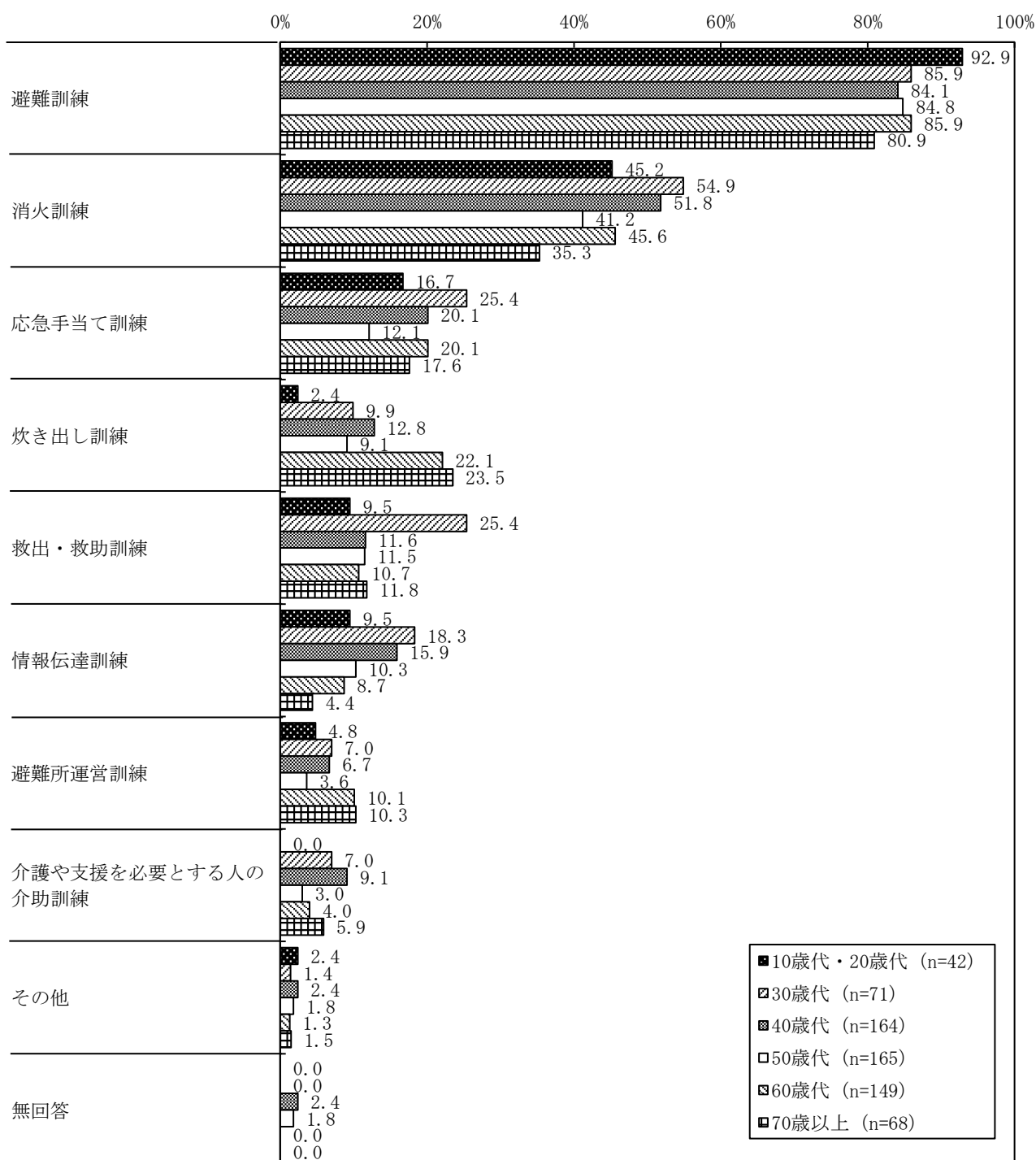
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で、「避難訓練」が最も高く、特に10歳代・20歳代は92.9%と、他の年代より高い割合となっている。60歳代、70歳以上は、「炊き出し訓練」で他の年代より9ポイント以上高く、30歳代は、「救助・救出訓練」で他の年代の2倍以上の割合となっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業以外の職業は、「避難訓練」が最も高くなっている。「応急手当訓練」は自由業が50.0%と他の職業より高い割合となっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	避難訓練	消火訓練	応急手当訓練	炊き出し訓練	救出・救助訓練	情報伝達訓練	避難所運営訓練	介護や支援を必要とする人の介助訓練	その他	無回答
農林業 (n=35)	80.0	20.0	11.4	22.9	17.1	2.9	11.4	-	-	2.9
漁業 (n=1)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
商工サービス業自営 (n=32)	81.3	46.9	18.8	21.9	12.5	3.1	3.1	3.1	6.3	-
会社員 (役員を含む)、公務員 (n=347)	87.0	50.4	19.6	10.7	14.1	16.1	7.8	6.1	2.0	1.4
自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=12)	75.0	41.7	50.0	8.3	25.0	25.0	8.3	8.3	-	-
主婦・主夫 (n=38)	63.2	47.4	15.8	34.2	2.6	2.6	7.9	2.6	2.6	-
パート・アルバイト (n=71)	93.0	43.7	12.7	8.5	5.6	1.4	1.4	2.8	-	-
学生 (n=10)	100.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-
無職 (すでに退職を含む) (n=68)	82.4	38.2	25.0	17.6	11.8	11.8	8.8	7.4	1.5	-
その他 (n=41)	87.8	48.8	2.4	19.5	17.1	9.8	7.3	9.8	2.4	2.4

問73 どうすれば参加人数が増えると思うか

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

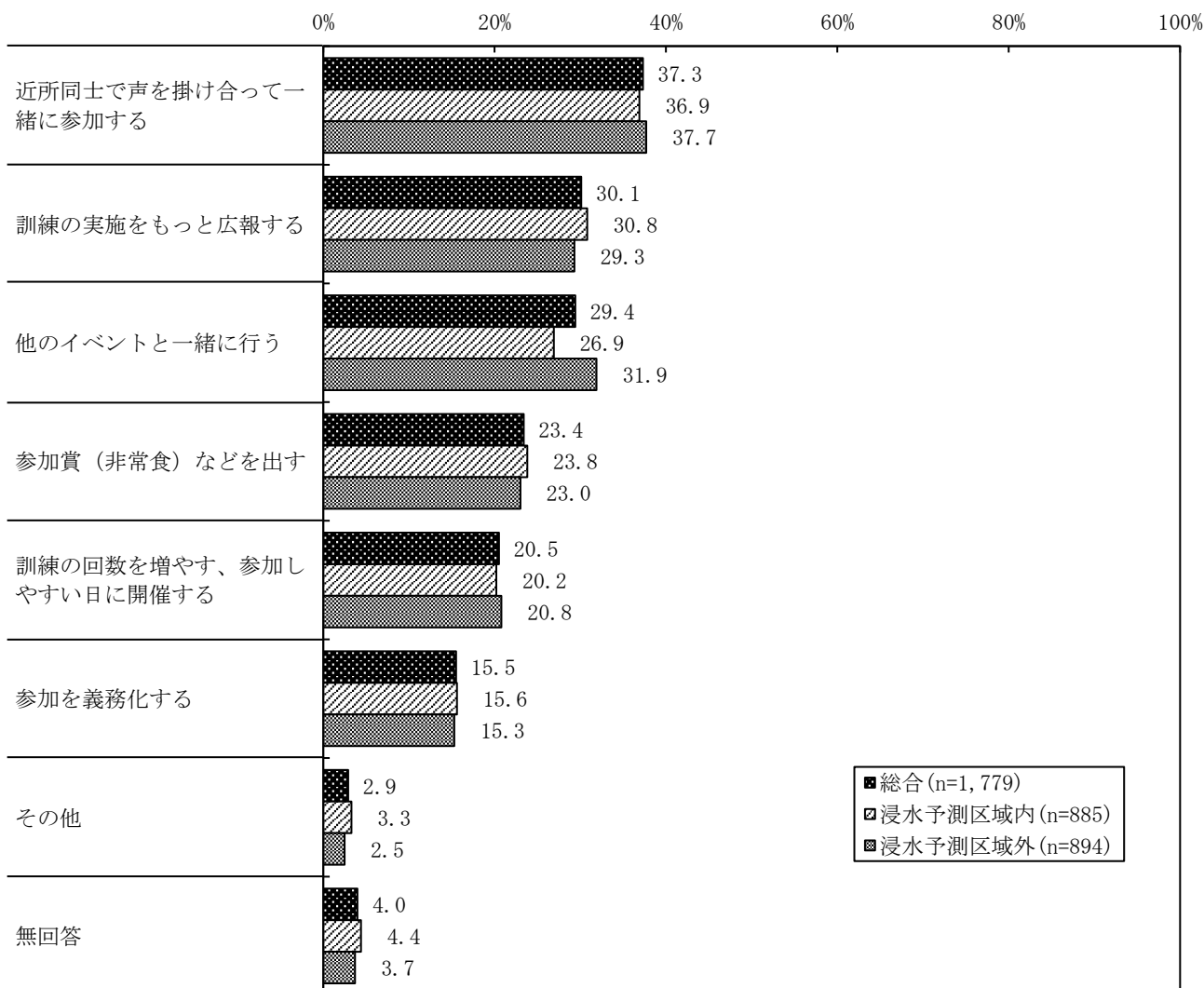
(2つまで○)

防災訓練に参加する人を増やす方法は、「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」が37.3%と最も高く、次いで「訓練の実施をもっと広報する」30.1%、「他のイベントと一緒にを行う」29.4%と続いている。

【浸水予測区域別】

「他のイベントと一緒にを行う」は、浸水予測区域内が26.9%、浸水予測区域外が31.9%と、浸水予測区域外の方が5ポイント高くなっている。

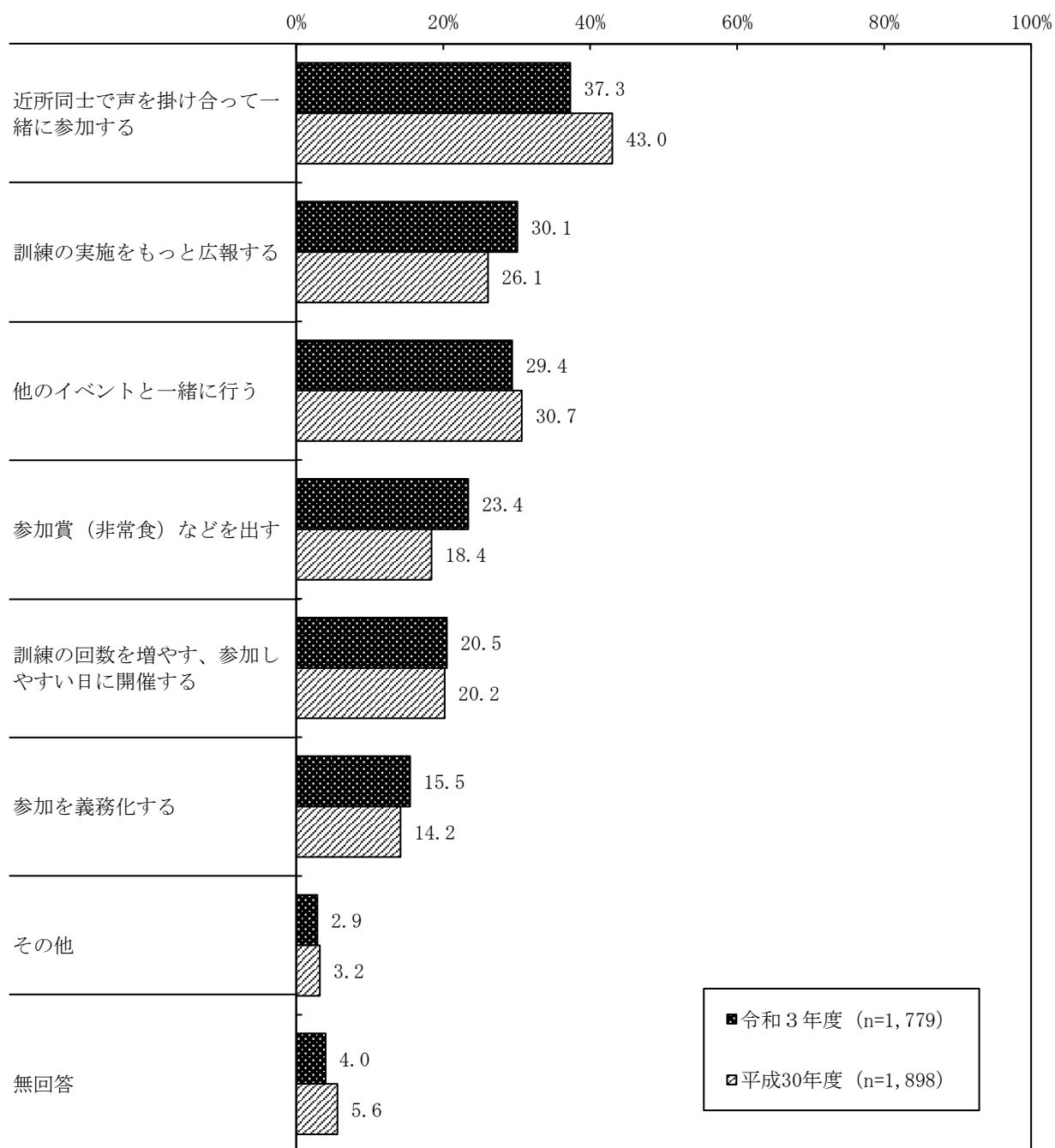
《 総合・浸水予測区域別 》



【前回比較】

平成30年度と比較して、「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」は5.7ポイント減少し、「訓練の実施をもっと広報する」が4ポイント、「参加賞（非常食）などを出す」が5ポイント増加している。

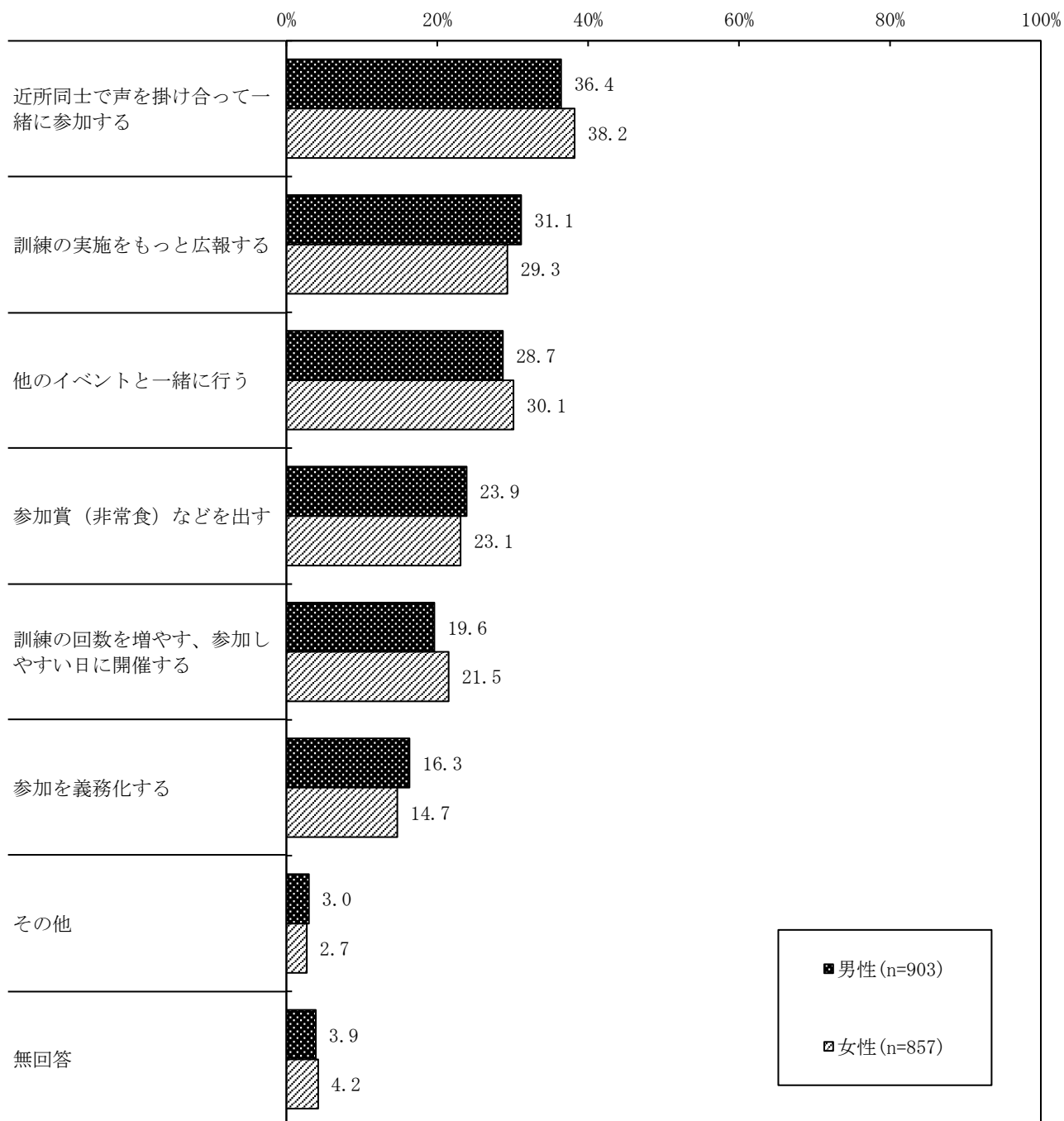
《 前 回 比 較 》



【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

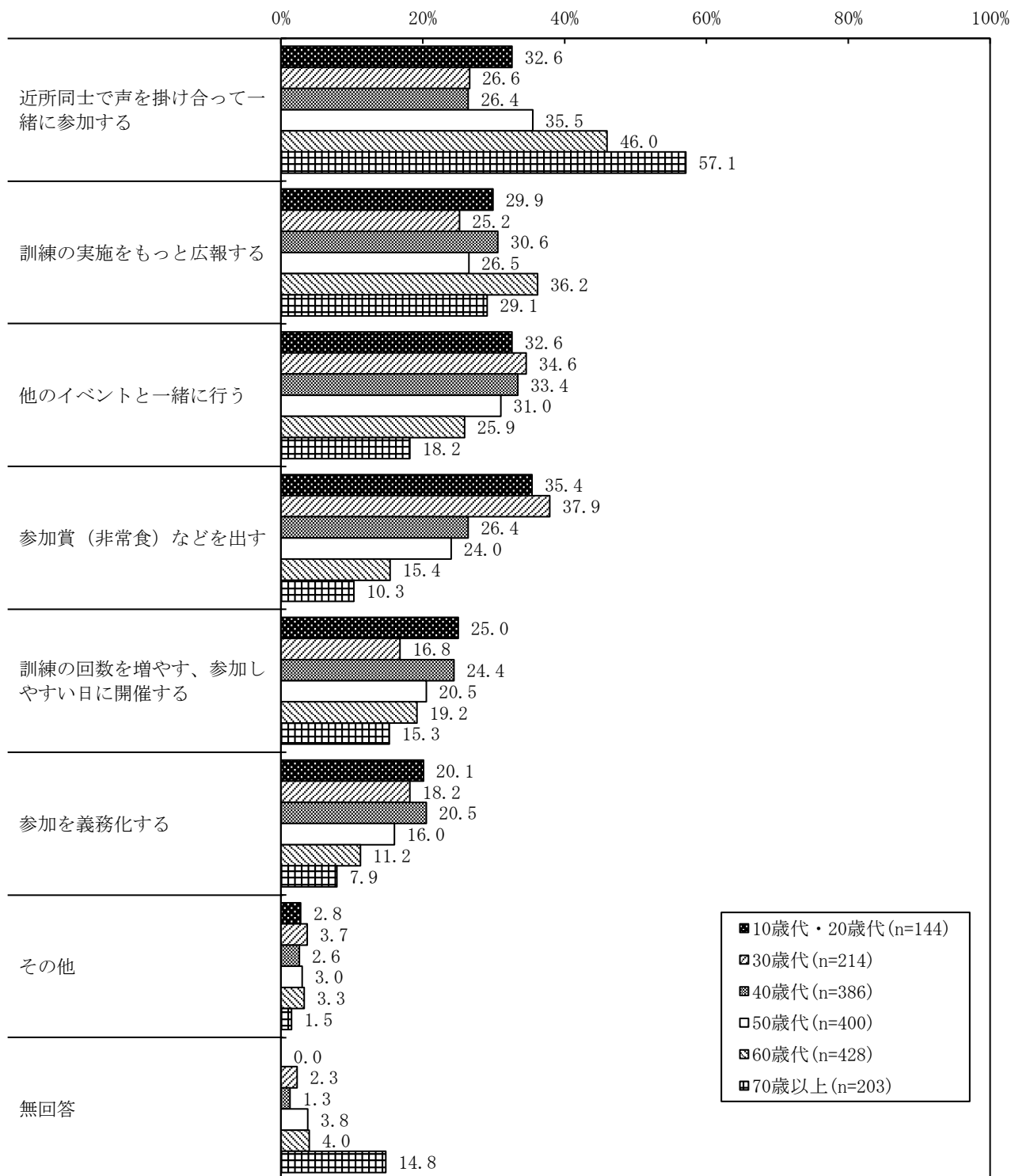
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代は「参加賞（非常食）などを出す」が、40歳代は「他のイベントと一緒に
 に行く」が、50歳代、60歳代、70歳以上は「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」が最も高
 く、特に70歳以上は57.1%と他の年代より高い割合となっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

会社員、公務員は、「他のイベントと一緒に進む」が、自由業は「訓練の実施をもっと広報する」が、学生は、「参加賞（非常食）などを出す」が、それ以外の職業は、「近所同士で声を掛け合っ
て一緒に参加する」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	近所 同士で 声を掛 け合っ て一緒 に参加 する	訓練 の実施 をもっ と広報 する	他の イベン トと一 緒に行 う	参加 賞（非 常食） など出 す	訓練 の回数 を増や す、参 加しや すい日 に開 催する	参加 を義務 化する	その他	無回 答
農林業 (n=88)	44.3	19.3	35.2	22.7	11.4	13.6	2.3	4.5
漁業 (n=4)	75.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
商工サービス業 自営 (n=128)	35.9	32.0	28.9	20.3	21.9	18.8	3.1	3.9
会社員（役員を含む）、 公務員 (n=739)	30.9	29.4	32.2	27.7	21.1	20.8	2.4	2.3
自由業（医師、弁護士、 画家、僧侶など） (n=50)	32.0	46.0	24.0	16.0	30.0	14.0	4.0	2.0
主婦・主夫 (n=136)	53.7	31.6	30.1	17.6	15.4	4.4	2.2	5.1
パート・アルバイト (n=229)	34.5	29.3	33.2	24.0	21.0	11.4	3.5	2.6
学生 (n=49)	34.7	30.6	34.7	36.7	30.6	20.4	2.0	-
無職（すでに退職を含 む） (n=253)	47.8	30.4	20.2	15.8	18.6	9.9	3.6	9.1
その他 (n=92)	39.1	37.0	17.4	20.7	23.9	10.9	4.3	7.6

問74 地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

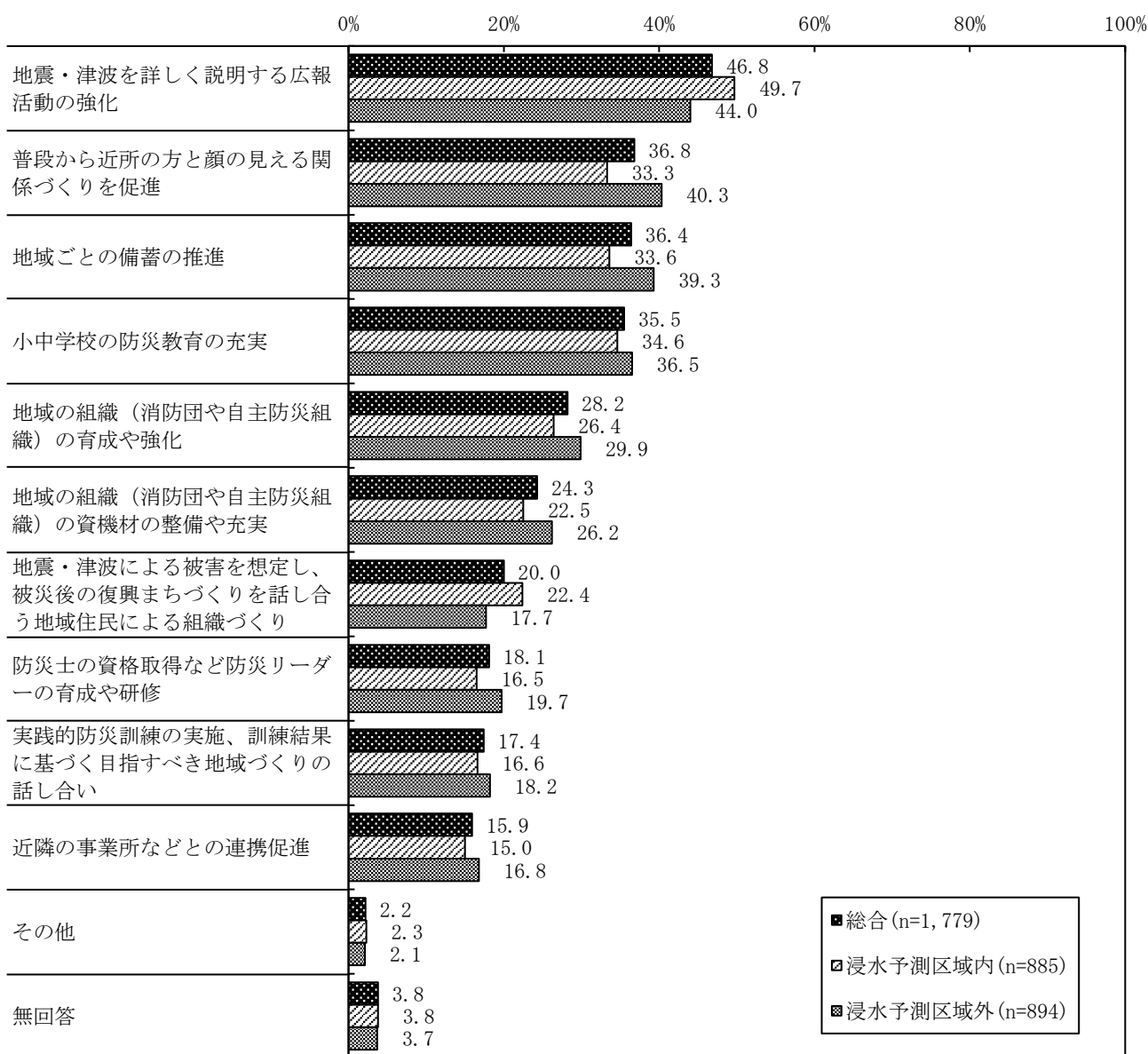
(当てはまるものすべてに○)

地域の防災力を高めるために必要なこと、「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が46.8%と最も高く、次いで「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」36.8%、「地域ごとの備蓄の推進」36.4%と続いている。

【浸水予測区域別】

「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」と「地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり」は浸水予測区域内の方が高く、それ以外は浸水予測区域外の方が高くなっている。

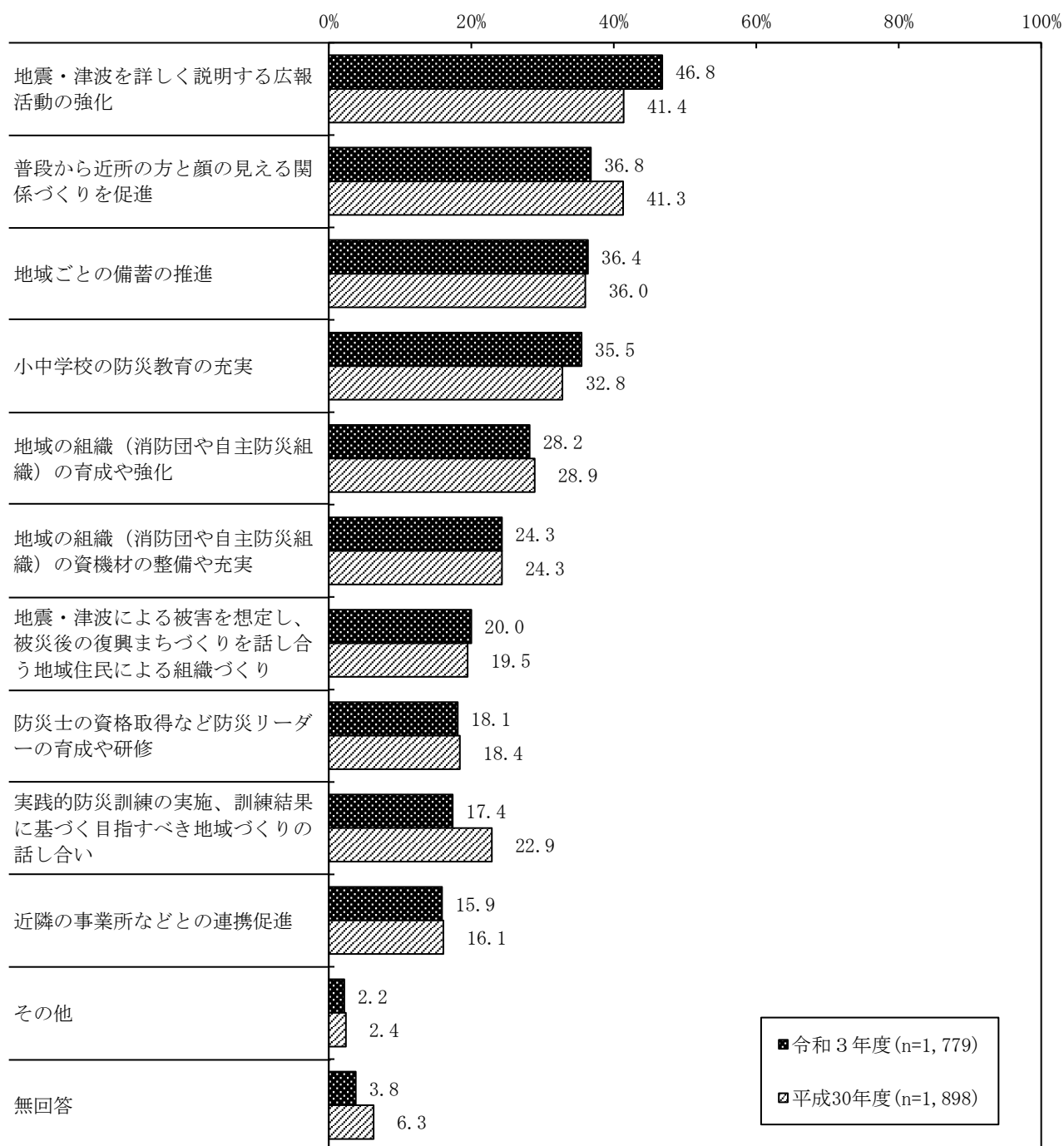
《 総合・浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度は、「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が5.4ポイント増加し、「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」が4.5ポイント、「実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い」が5.5ポイント減少している。

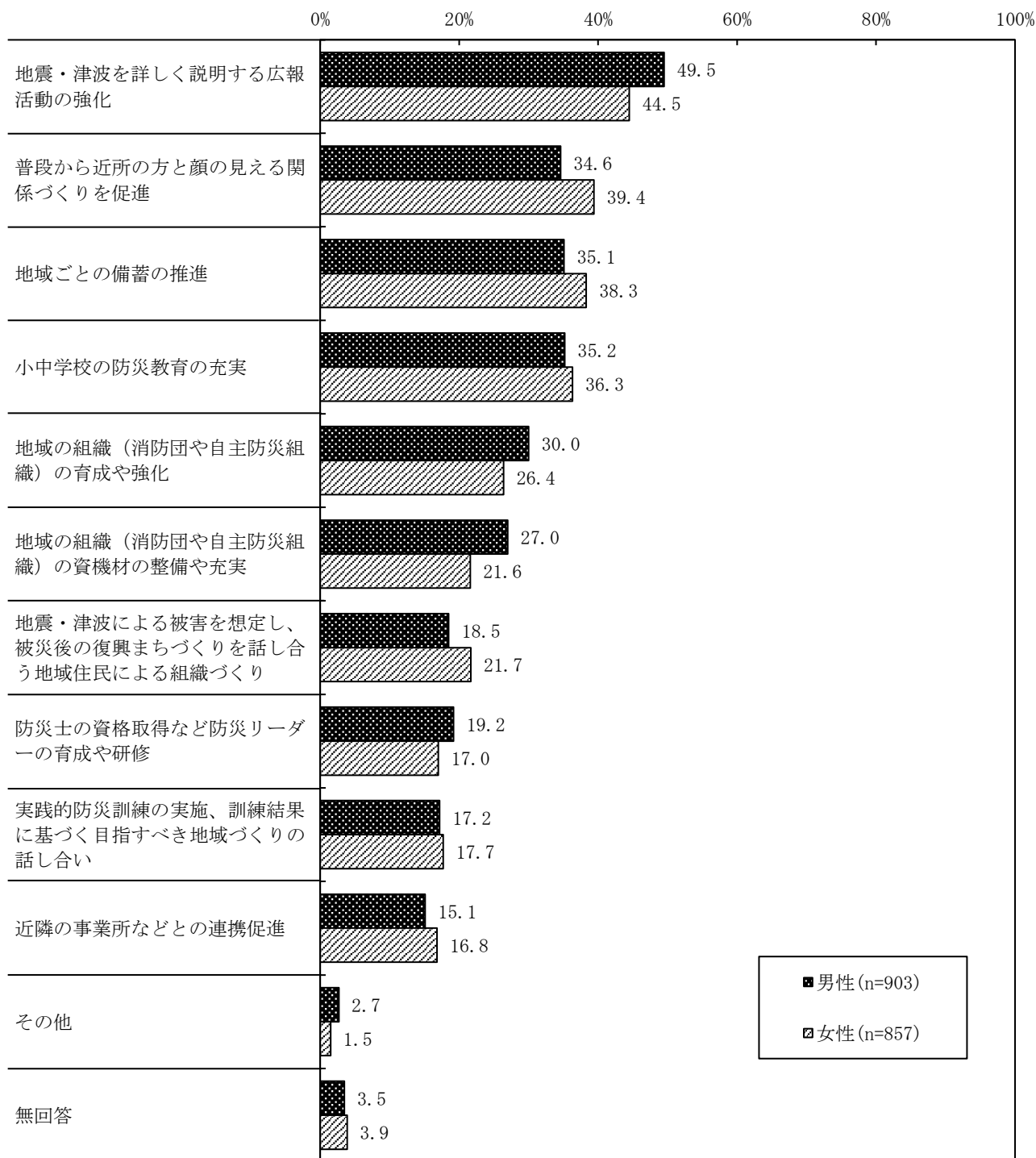
◀ 前回比較 ▶



【性別】

「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」は男女ともに最も高く、男性49.5%、女性44.5%と男性の方が5ポイント高くなっている。男性では、「小中学校の防災教育の充実」35.2%、「地域ごとの備蓄の推進」35.1%と続いており、女性は、「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」39.4%、「地域ごとの備蓄の推進」38.3%と続いている。

《 性別 》

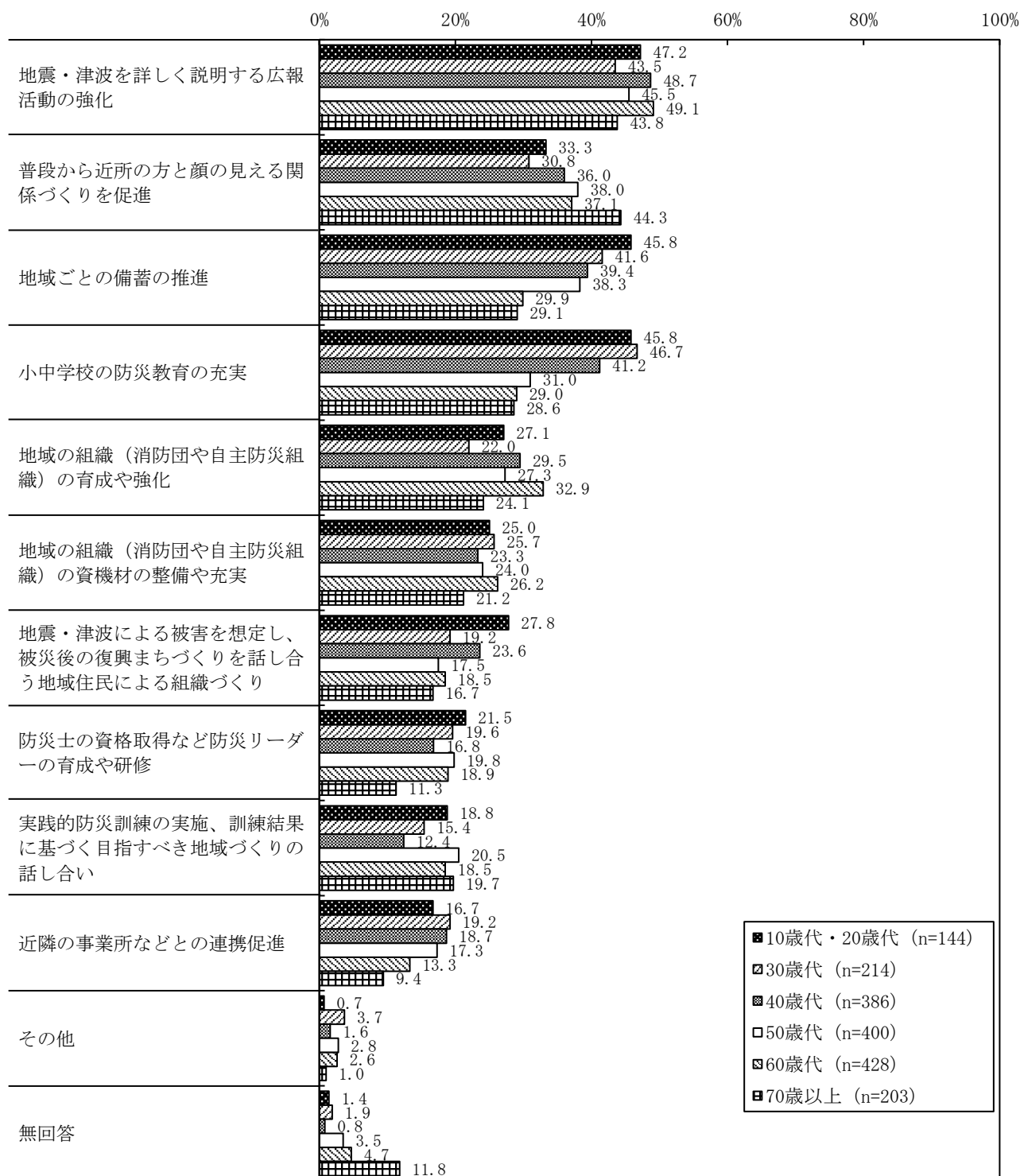


【年代別】

70歳以上を除くすべての年代は、「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が、70歳以上は「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」が最も高くなっている。

「地域ごとの備蓄の推進」と「小中学校の防災教育の充実」は年代が低いほど、割合が高くなる傾向にある。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業は同率で「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」、「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」、「地域ごとの備蓄の推進」が、学生は「地域ごとの備蓄の推進」が、それ以外の職業は「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項 目 属 性	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	地域ごとの備蓄の推進	小中学校の防災教育の充実	地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化	地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	近隣の事業所などとの連携促進	その他	無回答
農林業(n=88)	39.8	34.1	31.8	33.0	22.7	26.1	10.2	13.6	25.0	6.8	8.0	5.7
漁業(n=4)	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
商工サービス業 自営(n=128)	44.5	41.4	39.8	34.4	29.7	21.9	25.8	22.7	19.5	16.4	1.6	2.3
会社員（役員を含む）、公務員 (n=739)	48.3	35.3	37.2	39.2	27.6	26.5	19.8	20.6	16.2	18.3	1.6	1.6
自由業（医師、 弁護士、画家、 僧侶など） (n=50)	56.0	28.0	30.0	30.0	26.0	22.0	16.0	14.0	22.0	10.0	4.0	10.0
主婦・主夫 (n=136)	46.3	44.9	28.7	32.4	24.3	13.2	18.4	11.0	18.4	11.0	1.5	2.9
パート・アルバイト (n=229)	43.2	34.1	40.2	35.4	26.6	18.8	21.0	16.6	14.4	16.6	1.3	4.4
学生(n=49)	44.9	30.6	51.0	49.0	26.5	34.7	26.5	22.4	14.3	12.2	2.0	-
無職（すでに退職を含む） (n=253)	47.8	40.3	30.8	30.4	32.4	26.9	19.0	17.8	17.8	13.0	3.2	8.3
その他(n=92)	47.8	38.0	43.5	26.1	33.7	25.0	25.0	13.0	22.8	21.7	2.2	6.5

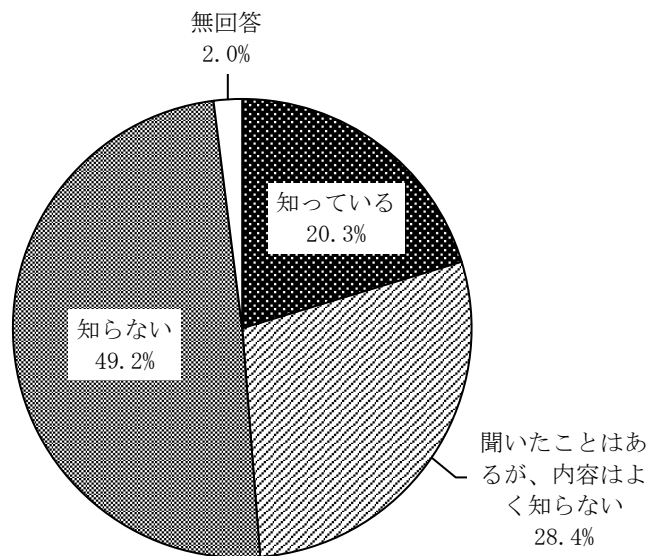
(10) 南海トラフ地震臨時情報について

問75 南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか

問75 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。(ひとつだけ○)

南海トラフ地震臨時情報が発表されることについては、「知らない」が49.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」28.4%、「知っている」20.3%となっている

《 総合 》

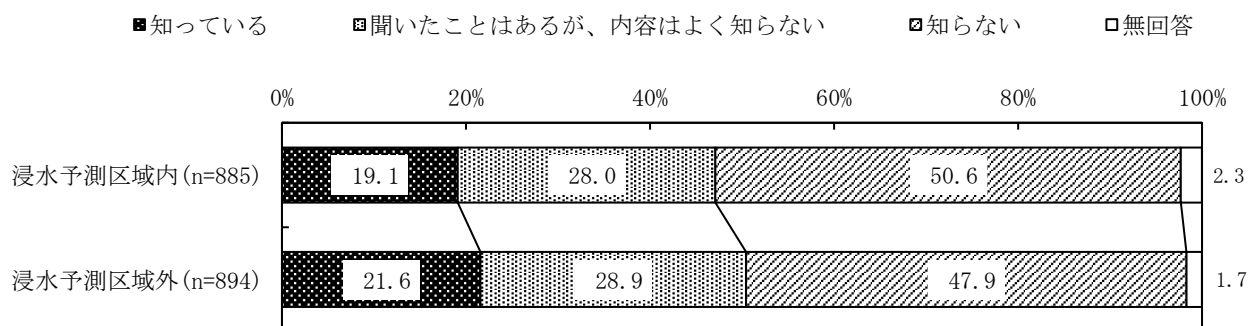


(n = 1,779)

【浸水予測区域別】

「知っている」は浸水予測区域内で19.1%、浸水予測区域外で21.6%と、浸水予測区域内の方が低い割合となっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度は、「知っている」が2.9ポイント減少し、「知らない」が4.8ポイント増加している。

【性別】

男性の方が「知っている」の割合が6.9ポイント高く、女性は、「知らない」が5.6ポイント高くなっている。

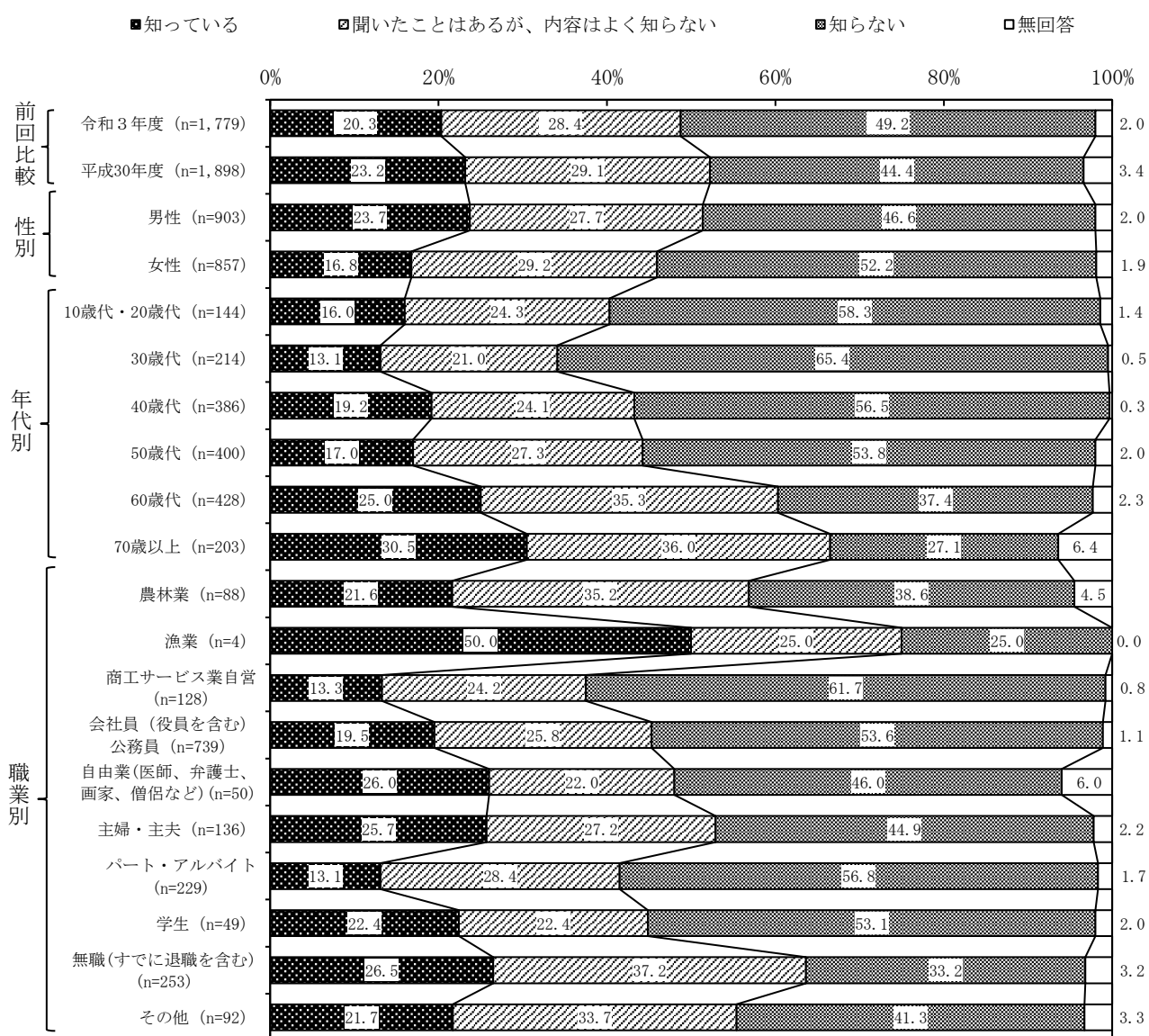
【年代別】

10歳代・20歳代から50歳代までは、「知らない」の割合が50%を超えており、60歳代の37.4%、70歳以上の27.1%とは大きな差が見られる。

【職業別】

漁業は「知っている」が、無職は「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が、それ以外の職業は「知らない」が最も高くなっている。

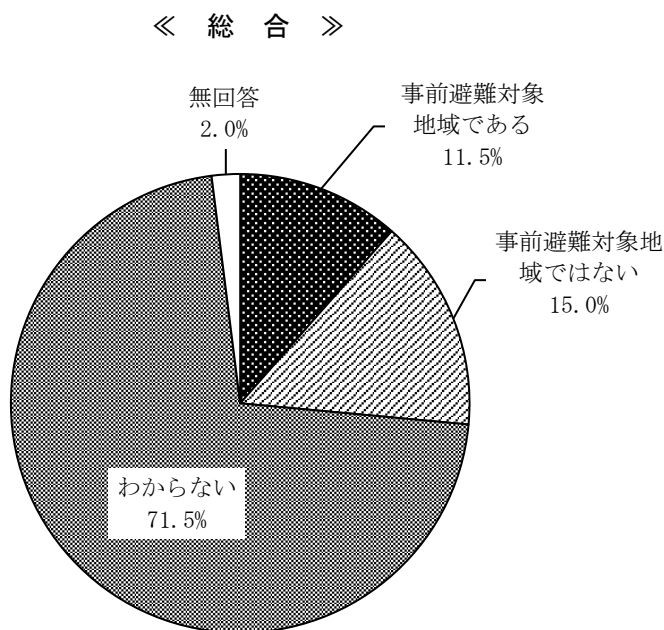
《前回比較・性別・年齢別・職業別》



問76 事前避難対象地域かどうか

問76 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

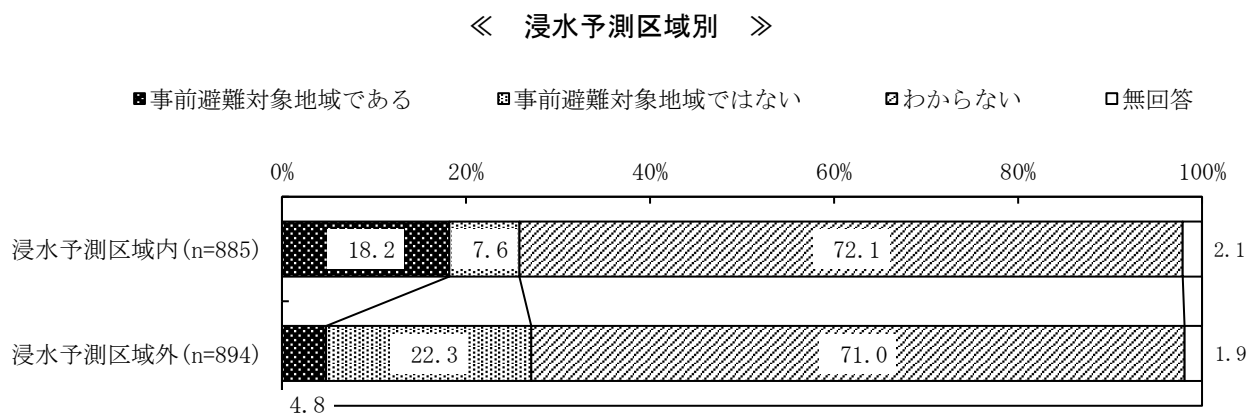
事前避難対象地域かどうかについては、「わからない」が71.5%と最も高く、次いで「事前避難対象地域ではない」15.0%、「事前避難対象地域である」11.5%となっている。



(n = 1, 779)

【浸水予測区域別】

両方の区域で、「わからない」が70%を超えている。



【性別】

「わからない」は、男性69.1%、女性74.3%と女性の方が5.2ポイント高い。

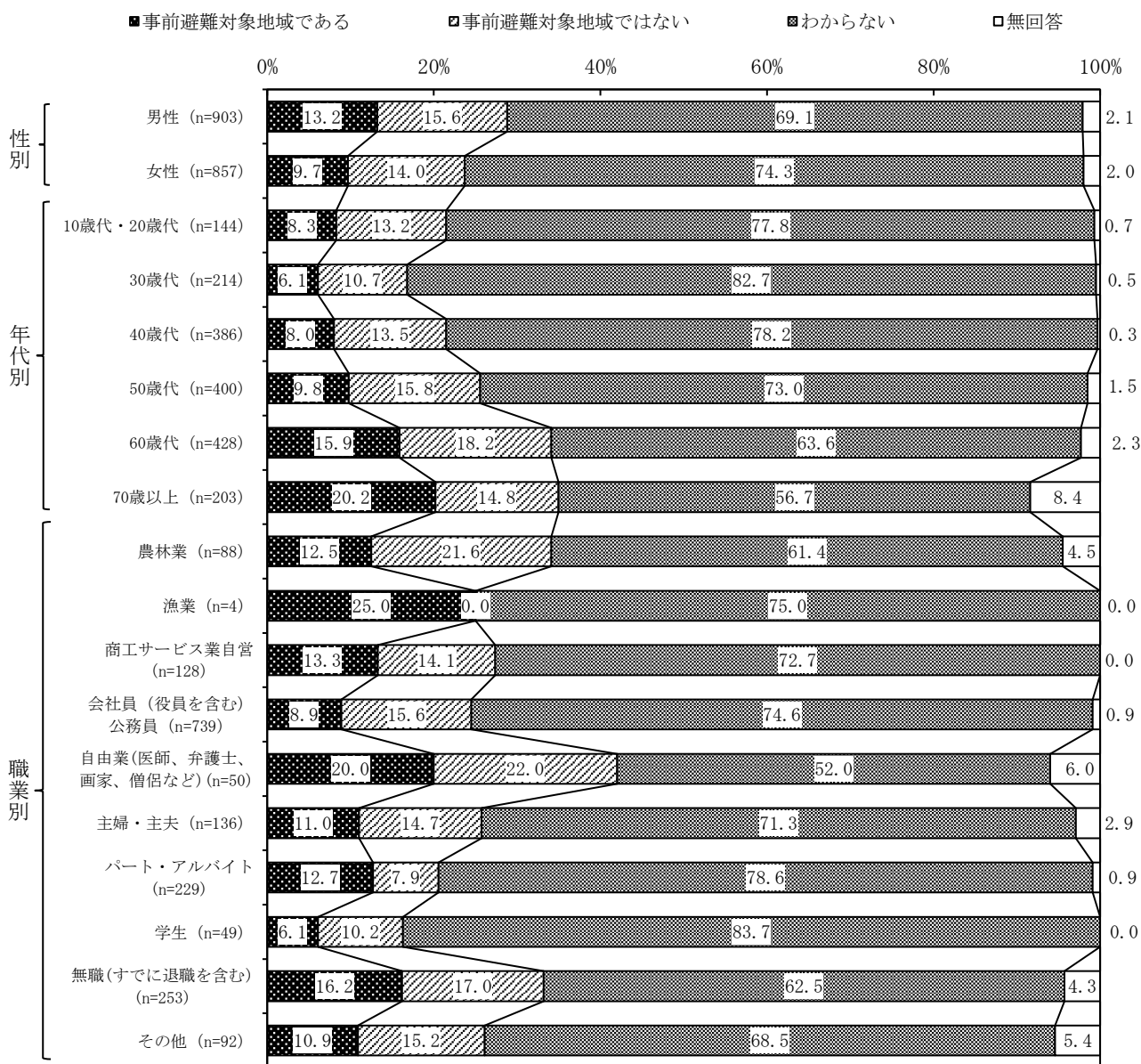
【年代別】

年代が低いほど「わからない」と回答した人の割合が高い傾向にある。

【職業別】

すべての職業で、「わからない」が最も高く、中でも学生は83.7%と、他の職業より高い割合となっている。

《 性別・年齢別・職業別 》



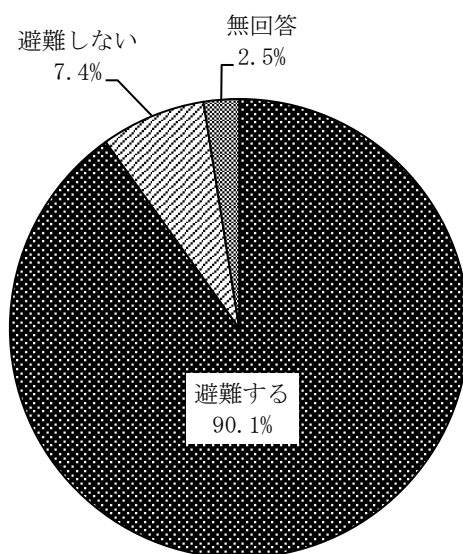
問77 市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか

問77 問76で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。(ひとつだけ○)

南海トラフ地震臨時情報の発表により事前の避難の呼びかけがあった場合の事前避難の実施については、「避難する」が90.1%で「避難しない」は7.4%だった。

《 総 合 》

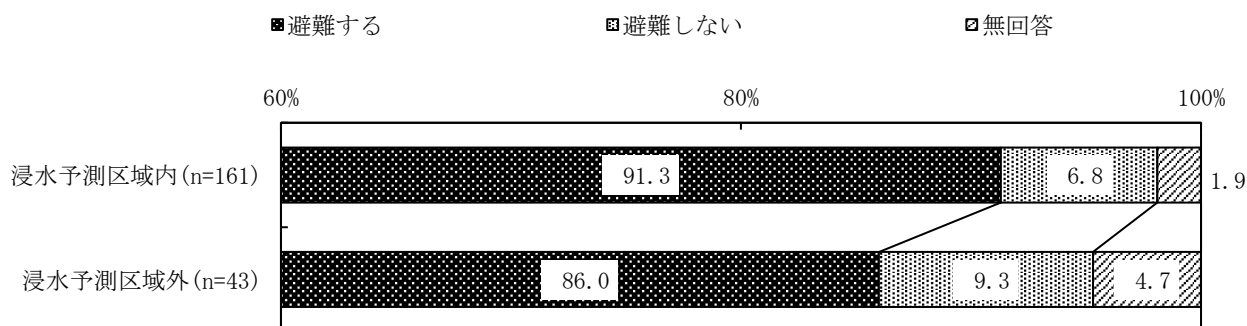


(n = 204)

【浸水予測区域別】

「避難する」と回答した人は、浸水予測区域内が91.3%、浸水予測区域外が86.0%と浸水予測区域内の方が5.3ポイント高い。

《 浸水予測区域別 》



【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

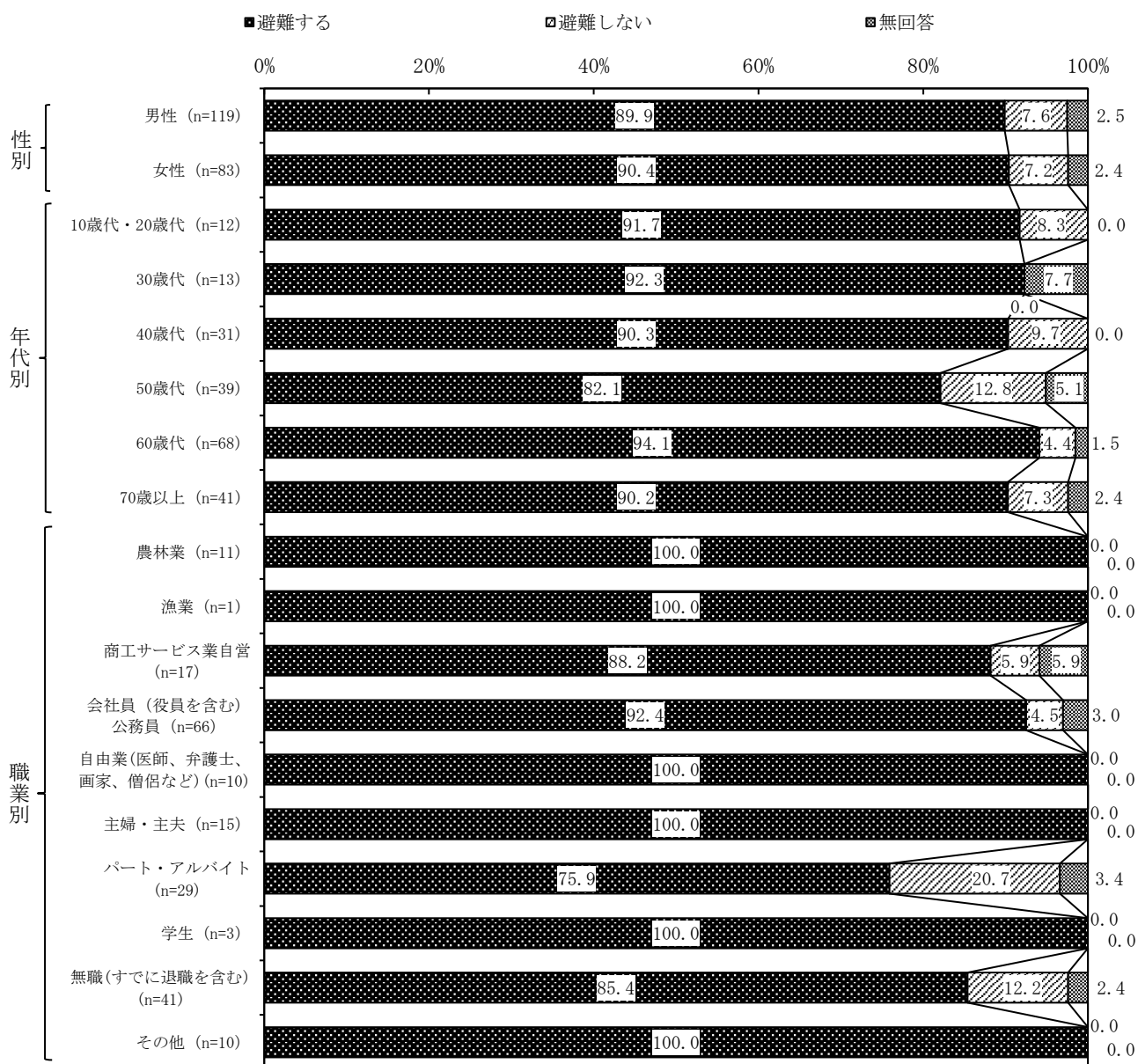
【年代別】

50歳代は「避難しない」が12.8%と、他の年代より高い割合となっている。

【職業別】

「避難しない」と回答したのは、商工サービス業自営、会社員、公務員、パート・アルバイト、無職のみであり、パート・アルバイトは20.7%と他の職業より特に高い割合となっている。

《 性別・年齢別・職業別 》



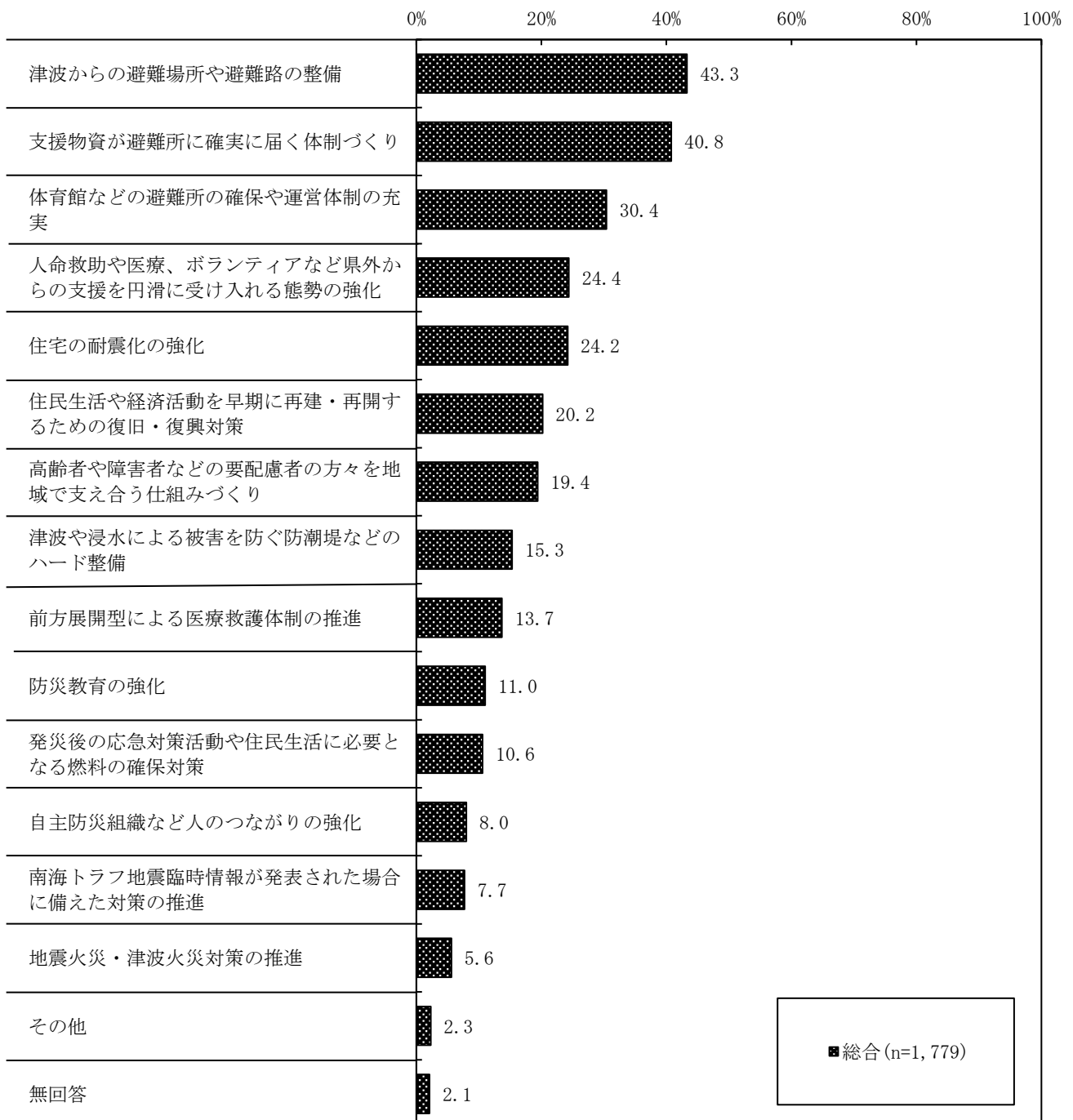
(11) 県の施策について

問78 県が行っている施策で特に力を入れるべきもの

問78 県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

県が力を入れるべき施策は、「津波からの避難場所や避難路の整備」が43.3%と最も高く、次いで「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」40.8%、「体育館などの避難所の確保や運営体制の充実」30.4%と続いている。

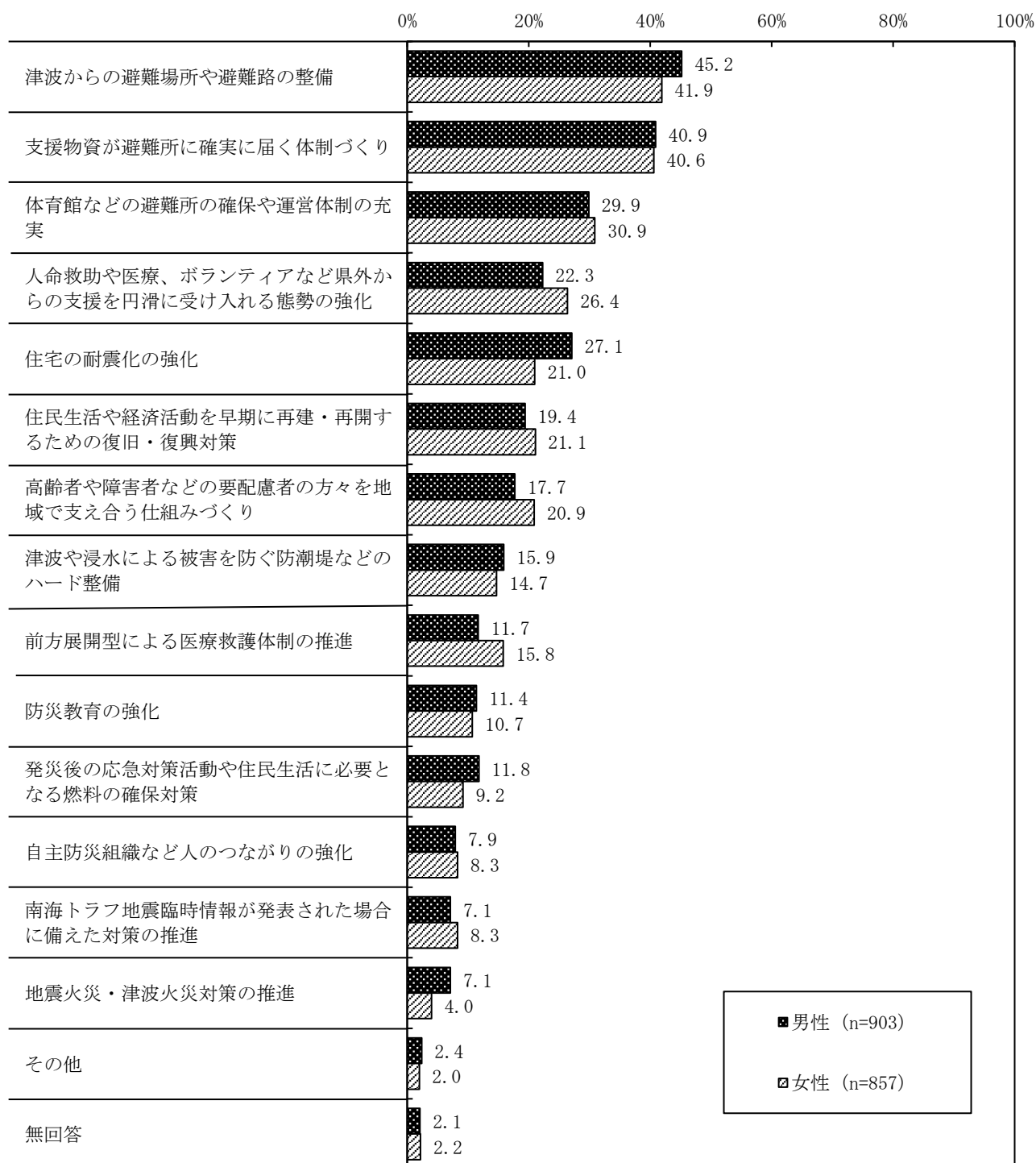
《 総 合 》



【性別】

上位3項目は男女ともに同じで、大きな差も見られない。「人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化」は男性22.3%、女性26.4%と女性の方が4.1ポイント高く、「住宅の耐震化の強化」は、男性27.1%、女性21.0%と男性の方が6.1ポイント高くなっている。

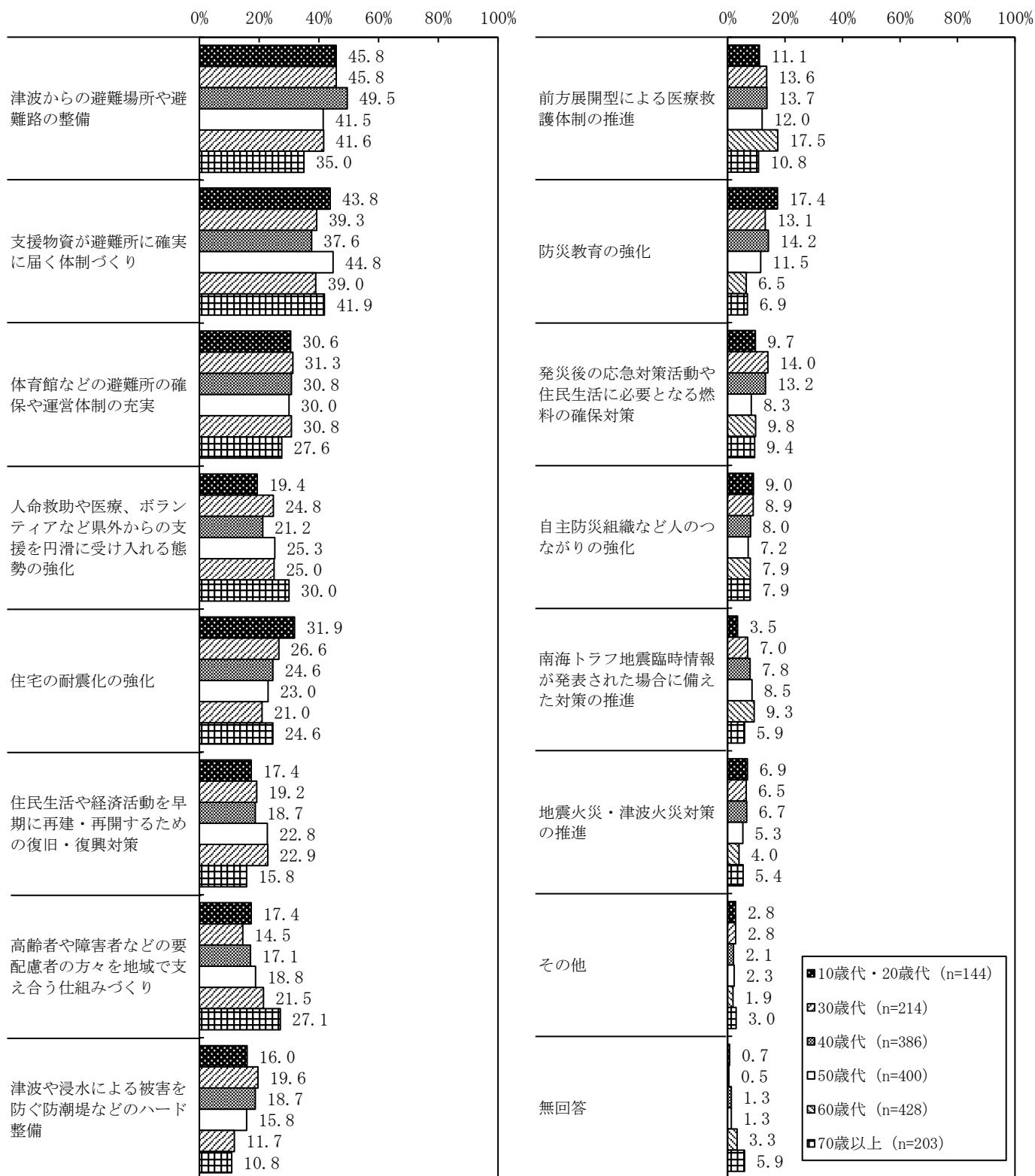
《 性別 》



【年代別】

10歳代・20歳代から40歳代まで及び60歳代は、「津波からの避難場所や避難路の整備」が、50歳代、70歳以上は「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が最も高くなっている。「住宅の耐震化の強化」は、年代が上がるほど割合が低くなる傾向があり、「高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり」は、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がある。

《 年 代 別 》



【職業別】

自由業は「体育館などの避難所の確保や運営体制の充実」が、農林業、商工サービス業自営、主婦・主夫、その他は「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が、それ以外の職業は「津波からの避難場所や避難路の整備」が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

(単位：%)

項目	津波からの避難場所や避難路の整備	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	住宅の耐震化の強化	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	ド整備	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	前方展開型による医療救護体制の推進	防災教育の強化	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	自主防災組織など人のつながりの強化	南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進	地震火災・津波火災対策の推進	その他	無回答
属性																	
農林業 (n=88)	29.5	38.6	23.9	23.9	26.1	33.0	13.6	6.8	17.0	10.2	17.0	9.1	9.1	5.7	2.3	4.5	
漁業 (n=4)	75.0	25.0	25.0	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	
商工サービス業自営 (n=128)	41.4	45.3	26.6	25.8	25.8	25.0	22.7	11.7	15.6	11.7	7.8	12.5	6.3	7.8	1.6	2.3	
会社員(役員を含む)、公務員 (n=739)	46.7	41.4	33.0	22.5	27.1	19.8	16.0	18.8	11.8	12.6	11.1	8.4	8.4	5.3	1.5	0.8	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など) (n=50)	42.0	44.0	46.0	16.0	22.0	18.0	24.0	12.0	24.0	12.0	10.0	4.0	6.0	6.0	4.0	6.0	
主婦・主夫 (n=136)	38.2	43.4	33.1	25.7	22.8	18.4	19.1	15.4	14.0	8.8	6.6	11.8	8.1	2.2	2.2	2.2	
パート・アルバイト (n=229)	43.2	38.0	26.2	27.5	18.8	20.5	17.5	16.6	13.5	10.5	14.0	4.8	8.7	5.2	1.7	3.1	
学生 (n=49)	55.1	30.6	30.6	22.4	26.5	18.4	24.5	10.2	14.3	22.4	8.2	8.2	2.0	16.3	2.0	-	
無職(すでに退職を含む) (n=253)	39.1	37.2	26.1	27.7	20.2	18.2	27.7	11.9	16.6	6.7	9.1	5.5	6.3	5.9	4.3	2.8	
その他 (n=92)	46.7	51.1	30.4	23.9	20.7	14.1	27.2	9.8	9.8	9.8	9.8	10.9	7.6	4.3	3.3	4.3	

VI 調査結果

[数 表]

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	知 っ て い た	な を こ の 調 査 票 な ど な か っ た ま で 知 ら な か つ た	無 回 答
総合	実数	1,779	1,748	23	8
		100.0	98.3	1.3	0.4
性別	男性	903	893	6	4
		100.0	98.9	0.7	0.4
	女性	857	838	15	4
	100.0	97.8	1.8	0.5	
	回答しない(無回答含む)	19	17	2	0
		100.0	89.5	10.5	0.0
年代別	10歳代	18	17.0	1.0	0.0
		100.0	94.4	5.6	0.0
	20歳代	126	123	1	2
		100.0	97.6	0.8	1.6
	30歳代	214	211	3	0
		100.0	98.6	1.4	0.0
	40歳代	386	384	2	0
		100.0	99.5	0.5	0.0
	50歳代	400	396	3	1
	100.0	99.0	0.8	0.3	
60歳代	428	416	8	4	
	100.0	97.2	1.9	0.9	
70歳以上	203	197	5	1	
	100.0	97.0	2.5	0.5	
	無回答	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	87	1	0
		100.0	98.9	1.1	0.0
	漁業	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	126	2	0
		100.0	98.4	1.6	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	734	3	2
		100.0	99.3	0.4	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	50	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	136	132	4	0
		100.0	97.1	2.9	0.0
	パート・アルバイト	229	222	4	3
	100.0	96.9	1.7	1.3	
学生	49	48.0	1.0	0.0	
	100.0	98.0	2.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	244.0	7.0	2.0	
	100.0	96.4	2.8	0.8	
	その他	92	90	1	1
		100.0	97.8	1.1	1.1
	無回答	11	11	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	143	139	3	1
		100.0	97.2	2.1	0.7
	1人	428	422	6	0
		100.0	98.6	1.4	0.0
	2人	441	434	4	3
		100.0	98.4	0.9	0.7
	3人	390	384	5	1
		100.0	98.5	1.3	0.3
	4人	227	225	1	1
	100.0	99.1	0.4	0.4	
5人	92	89	2	1	
	100.0	96.7	2.2	1.1	
6人以上	52	51	1	0	
	100.0	98.1	1.9	0.0	
	無回答	6	4	1	1
		100.0	66.7	16.7	16.7
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108	108	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	90	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	小学生	221	218	2	1
		100.0	98.6	0.9	0.5
	70歳以上の人	533	519	12	2
		100.0	97.4	2.3	0.4
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	103	4	1
	100.0	95.4	3.7	0.9	
妊産婦	8	8	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	920	909	9	2	
	100.0	98.8	1.0	0.2	
	無回答	41	39	0	2
		100.0	95.1	0.0	4.9
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	867	13	5
		100.0	98.0	1.5	0.6
	浸水予測区域外	894	881	10	3
		100.0	98.5	1.1	0.3

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	揺れで、 被害が 出る 建物に	転 揺れで、 倒れる 家具が	火 災	津 波	山 崩 れ、 が け 崩	危 険 は な い	そ の 他	無 回 答	
総合	実数	1,779	1,437	1,347	704	871	596	20	57	6	
			80.8	75.7	39.6	49.0	33.5	1.1	3.2	0.3	
性別	男性	903	738	668	369	452	299	9	21	1	
	女性	857	683	667	328	413	291	11	36	5	
	回答しない(無回答含む)	19	16	12	7	6	6	0	0	0	
年代別	10歳代	18	13	13	7	7	10	1	0	0	
	20歳代	126	104	97	50	74	55	1	2	1	
	30歳代	214	169	173	85	115	68	2	9	1	
	40歳代	386	319	313	180	181	143	3	9	0	
	50歳代	400	326	306	161	192	131	1	18	1	
	60歳代	428	344	314	169	219	118	6	12	0	
	70歳以上	203	159	129	50	83	69	6	7	3	
	無回答	4	3	2	2	0	2	0	0	0	
	職業別	農林業	88	69	58	28	29	41	1	1	1
漁業		4	4	2	1	4	2	0	0	0	
商工サービス業自営		128	107	102	59	68	33	1	1	0	
会社員(役員を含む)、公務員		739	605	587	321	374	239	4	23	2	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	39	35	16	27	16	1	3	0	
主婦・主夫		136	111	97	46	55	44	5	5	0	
パート・アルバイト		229	182	179	84	123	78	7	7	0	
学生		49	38	41	23	27	22	1	1	0	
無職(すでに退職を含む)		253	201	174	87	120	79	5	13	2	
その他		92	71	65	35	39	39	1	3	1	
無回答		11	10	7	4	5	3	0	0	0	
同居人数		0人(独居)	143	114	92	53	79	41	2	5	0
		1人	428	344	313	166	206	134	5	18	1
	2人	441	360	330	171	210	142	6	11	1	
	3人	390	304	316	164	189	148	5	13	1	
	4人	227	190	178	93	102	76	2	6	1	
	5人	92	75	73	35	57	33	0	3	1	
	6人以上	52	46	42	20	27	19	0	1	0	
	無回答	6	4	3	2	1	3	0	0	1	
	ご家族の中に、次に該当する方はいますか	3歳以下の乳幼児	108	89	80	45	61	43	1	3	1
		4歳以上で小学校入学前の子ども	90	67	71	34	50	31	1	1	1
小学生		221	172	192	99	119	79	0	4	1	
70歳以上の人		533	445	401	190	260	178	6	18	2	
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	85	81	48	50	38	0	6	0	
妊産婦		8	5	5	4	5	1	0	0	1	
1～6の人はいない		920	737	692	373	446	304	11	28	1	
無回答		41	34	23	8	18	9	1	1	1	
浸水予測区域別		浸水予測区域内	885	700	640	334	704	223	5	23	2
	浸水予測区域外	894	737	707	370	167	373	15	34	4	

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	守るなどの安全なところを探して身をこる	机の下にもぐる	急いで外に出る	家族に危険を知らせる	何もしない	その他	無回答
総合	実数	1,779	1,303	484	954	46	52	6	
			73.2	27.2	53.6	2.6	2.9	0.3	
性別	男性	903	615	276	496	30	18	4	
	女性	857	673	206	448	15	32	2	
	回答しない(無回答含む)	19	15	2	10	1	2	0	
年代別	10歳代	18	17	4	7	0	2	0	
	20歳代	126	99	35	56	4	2	1	
	30歳代	214	168	65	125	2	5	0	
	40歳代	386	259	109	222	11	13	1	
	50歳代	400	306	82	229	10	10	1	
	60歳代	428	317	123	214	13	12	2	
	70歳以上	203	135	65	99	6	8	1	
	無回答	4	2	1	2	0	0	0	
	職業別	農林業	88	48	38	53	0	2	1
漁業		4	4	2	2	0	0	0	
商工サービス業自営		128	96	31	71	5	1	0	
会社員(役員を含む)、公務員		739	561	182	425	20	20	2	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	36	12	23	1	1	0	
主婦・主夫		136	112	33	73	3	4	0	
パート・アルバイト		229	161	66	120	4	8	0	
学生		49	43	14	21	2	3	0	
無職(すでに退職を含む)		253	167	80	117	9	9	1	
その他		92	70	24	42	2	3	2	
無回答		11	5	2	7	0	1	0	
同居人数		0人(独居)	143	103	48	24	6	9	1
	1人	428	319	114	222	12	12	0	
	2人	441	319	118	231	11	7	2	
	3人	390	290	107	248	4	14	1	
	4人	227	169	57	136	6	8	0	
	5人	92	64	21	47	7	1	1	
	6人以上	52	37	18	43	0	1	0	
	無回答	6	2	1	3	0	0	1	
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	86	26	70	1	0	0
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	76	23	61	0	1	0	
小学生		221	165	55	147	3	4	1	
70歳以上の人		533	369	148	328	18	13	0	
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	69.2	27.8	61.5	3.4	2.4	0.0	
妊産婦		8	7	2	6	0	0	0	
1~6の人はいない		920	687	256	434	23	32	3	
無回答		41	26	9	12	3	2	1	
浸水予測区域別		浸水予測区域内	885	645	232	477	26	24	4
	浸水予測区域外	894	658	252	477	20	28	2	

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

上段：人数
下段：%

		サン プル	新 聞	テ レ ビ	ラ ジ オ	マ ー ケ ッ ト フ ォ ン 等	イ ン タ ー ネ ッ ト	ポ ス タ ー、 掲 示	街 頭 の チ ラ シ、	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1,779	542	1,487	142	1,070	24	6	3		
			30.5	83.6	8.0	60.1	1.3	0.3	0.2		
性別	男性	903	283	732	87	556	5	1	2		
	女性	857	254	738	54	506	19	5	1		
	回答しない(無回答含む)	19	5	17	1	8	0	0	0		
年代別	10歳代	18	1	14	0	16	1	0	0		
	20歳代	126	10	91	5	109	2	0	1		
	30歳代	214	27	163	8	186	2	1	0		
	40歳代	386	96	305	20	292	7	0	0		
	50歳代	400	132	334	27	260	4	1	1		
	60歳代	428	169	387	51	173	6	2	1		
	70歳以上	203	106	190	30	32	2	2	0		
	無回答	4	1	3	1	2	0	0	0		
	職業別	88	38	72	15	36	0	0	0		
農林業	4	1	4	1	2	0	0	0			
漁業	128	48	106	16	70	1	0	0			
商工サービス業自営	739	203	601	45	549	7	1	1			
会社員(役員を含む)、公務員	50	20	39	3	26	1	0	0			
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	136	59	125	8	59	3	0	0			
主婦・主夫	229	49	191	20	143	4	1	0			
パート・アルバイト	49	5	41	0	43	1	0	0			
学生	253	95	227	27	79	6	3	1			
無職(すでに退職を含む)	92	19	71	7	59	1	1	1			
その他	11	5	10	0	4	0	0	0			
同居人数	143	36	115	18	68	2	3	0			
0人(独居)	428	154	370	38	230	4	1	0			
1人	441	158	361	41	247	9	0	0			
2人	390	100	336	20	255	6	1	1			
3人	227	52	186	18	172	1	0	0			
4人	92	24	71	3	65	0	0	1			
5人	52	15	45	3	32	2	1	0			
6人以上	6	3	3	1	1	0	0	1			
無回答	108	19	88	4	88	1	0	0			
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	90	18	75	5	71	3	0	0			
3歳以下の乳幼児	221	51	182	11	174	2	0	0			
4歳以上で小学校入学前の子ども	533	208	467	44	275	8	1	0			
小学生	108	39	96	8	59	0	0	1			
70歳以上の人	8	2	7	0	6	1	0	0			
日常生活で介護や支援を必要とする人	920	265	754	83	561	9	3	0			
妊産婦	41	16	35	4	10	1	2	1			
1~6の人はいない		28.8	82.0	9.0	61.0	1.0	0.3	0.0			
無回答		39.0	85.4	9.8	24.4	2.4	4.9	2.4			
浸水予測	浸水予測区域内	885	268	737	72	518	13	4	1		
	浸水予測区域外	894	274	750	70	552	11	2	2		
		30.6	83.9	7.8	61.7	1.2	0.2	0.2			

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。
 これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。（3つまで〇）

上段：人数
 下段：%

	サンプル	組啓発テレビCM	組啓発ラジオCM	新聞広告	路面電車、バス、吊り広告、路線	ジ県のホームページ	えトラフ地震に備え「南海」	県展イブンス等に出している高知	起震車体験	その他	無回答		
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数		
総合	実数	1,779	1,544	260	565	43	169	933	53	223	52	12	
			86.8	14.6	31.8	2.4	9.5	52.4	3.0	12.5	2.9	0.7	
性別	男性	903	785	181	305	20	97	393	24	89	28	7	
			86.9	20.0	33.8	2.2	10.7	43.5	2.7	9.9	3.1	0.8	
	女性	857	744	79	255	23	72	530	29	132	23	5	
			86.8	9.2	29.8	2.7	8.4	61.8	3.4	15.4	2.7	0.6	
	回答しない(無回答含む)	19	15	0	5	0	0	10	0	2	1	0	
			78.9	0.0	26.3	0.0	0.0	52.6	0.0	10.5	5.3	0.0	
年代別	10歳代	18	12	2	2	2	3	10	2	5	3	0	
			66.7	11.1	11.1	11.1	16.7	55.6	11.1	27.8	16.7	0.0	
	20歳代	126	96	11	22	11	14	47	7	37	9	3	
			76.2	8.7	17.5	8.7	11.1	37.3	5.6	29.4	7.1	2.4	
	30歳代	214	186	30	42	11	15	99	12	33	8	1	
			86.9	14.0	19.6	5.1	7.0	46.3	5.6	15.4	3.7	0.5	
	40歳代	386	331	48	96	7	46	198	14	49	8	2	
			85.8	12.4	24.9	1.8	11.9	51.3	3.6	12.7	2.1	0.5	
	50歳代	400	351	62	143	7	39	216	10	43	11	1	
		87.8	15.5	35.8	1.8	9.8	54.0	2.5	10.8	2.8	0.3		
60歳代	428	381	76	161	3	35	251	7	39	11	3		
		89.0	17.8	37.6	0.7	8.2	58.6	1.6	9.1	2.6	0.7		
70歳以上	203	183	31	97	2	17	109	1	15	2	2		
		90.1	15.3	47.8	1.0	8.4	53.7	0.5	7.4	1.0	1.0		
無回答	4	4	0	2	0	0	3	0	2	0	0		
			100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	88	75	29	25	0	4	44	2	12	1	1	
			85.2	33.0	28.4	0.0	4.5	50.0	2.3	13.6	1.1	1.1	
	漁業	4	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	
				75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	128	109	25	52	2	7	61	3	12	2	1	
				85.2	19.5	40.6	1.6	5.5	47.7	2.3	9.4	1.6	0.8
	会社員（役員を含む）、公務員	739	636	111	212	23	94	365	28	100	22	2	
				86.1	15.0	28.7	3.1	12.7	49.4	3.8	13.5	3.0	0.3
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	50	45	6	13	0	1	27	1	5	1	1	
				90.0	12.0	26.0	0.0	2.0	54.0	2.0	10.0	2.0	2.0
	主婦・主夫	136	126	10	55	0	7	94	2	11	2	0	
				92.6	7.4	40.4	0.0	5.1	69.1	1.5	8.1	1.5	0.0
	パート・アルバイト	229	196	24	60	6	19	133	5	28	8	2	
			85.6	10.5	26.2	2.6	8.3	58.1	2.2	12.2	3.5	0.9	
学生	49	38	4	17	6	6	23	4	16	4	0		
			77.6	8.2	34.7	12.2	12.2	46.9	8.2	32.7	8.2	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	226	34	95	6	22	141	3	24	7	4		
			89.3	13.4	37.5	2.4	8.7	55.7	1.2	9.5	2.8	1.6	
その他	92	79	16	27	0	8	41	5	14	5	1		
			85.9	17.4	29.3	0.0	8.7	44.6	5.4	15.2	5.4	1.1	
無回答	11	11	1	7	0	1	3	0	1	0	0		
			100.0	9.1	63.6	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	
同居人数	0人（独居）	143	118	20	28	3	18	69	4	16	5	1	
				82.5	14.0	19.6	2.1	12.6	48.3	2.8	11.2	3.5	0.7
	1人	428	370	65	159	10	32	236	10	41	9	2	
				86.4	15.2	37.1	2.3	7.5	55.1	2.3	9.6	2.1	0.5
	2人	441	392	78	155	9	47	235	12	45	10	2	
				88.9	17.7	35.1	2.0	10.7	53.3	2.7	10.2	2.3	0.5
	3人	390	338	48	121	7	37	203	12	45	12	5	
				86.7	12.3	31.0	1.8	9.5	52.1	3.1	11.5	3.1	1.3
	4人	227	201	25	67	6	19	124	7	45	8	1	
			88.5	11.0	29.5	2.6	8.4	54.6	3.1	19.8	3.5	0.4	
5人	92	76	13	14	7	9	38	6	21	5	0		
			82.6	14.1	15.2	7.6	9.8	41.3	6.5	22.8	5.4	0.0	
6人以上	52	45	10	18	1	7	27	2	9	3	0		
			86.5	19.2	34.6	1.9	13.5	51.9	3.8	17.3	5.8	0.0	
無回答	6	4	1	3	0	0	1	0	1	0	1		
			66.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	
ご家族の中 に、次に該当する 方はいらっしゃる かどうか	3歳以下の乳幼児	108	91	14	18	3	10	58	9	22	3	0	
				84.3	13.0	16.7	2.8	9.3	53.7	8.3	20.4	2.8	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	78	12	18	3	14	43	8	18	3	0	
				86.7	13.3	20.0	3.3	15.6	47.8	8.9	20.0	3.3	0.0
	小学生	221	191	27	49	4	27	117	14	46	6	3	
				86.4	12.2	22.2	1.8	12.2	52.9	6.3	20.8	2.7	1.4
	70歳以上の人	533	476	75	204	13	45	276	10	67	12	4	
				89.3	14.1	38.3	2.4	8.4	51.8	1.9	12.6	2.3	0.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	94	11	40	3	9	68	0	11	4	1	
			87.0	10.2	37.0	2.8	8.3	63.0	0.0	10.2	3.7	0.9	
妊産婦	8	7	3	2	0	1	5	0	1	0	0		
			87.5	37.5	25.0	0.0	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	796	147	288	22	88	486	26	102	28	2		
			86.5	16.0	31.3	2.4	9.6	52.8	2.8	11.1	3.0	0.2	
無回答	41	35	5	15	0	3	19	0	3	1	2		
			85.4	12.2	36.6	0.0	7.3	46.3	0.0	7.3	2.4	4.9	
区域別	浸水予測区域内	885	766	113	268	29	94	455	24	100	30	8	
				86.6	12.8	30.3	3.3	10.6	51.4	2.7	11.3	3.4	0.9
	浸水予測区域外	894	778	147	297	14	75	478	29	123	22	4	
			87.0	16.4	33.2	1.6	8.4	53.5	3.2	13.8	2.5	0.4	

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的で分かりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。
(3つまで○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	目を引くようなデザインで映す	解説を工夫する	専門用語など分かりやすい表現は、言葉を変えたり、図やイラストなどを用いる	県民に伝えたいことや協力してほしいことなど、メッセージ性があるものにす	タレントやスポーツ選手など、有名な人に出演してもら	マンガやアニメで制作する	特に変える必要はない	わからない	その他	無回答
総合	実数	1,779	596 33.5	927 52.1	1,100 61.8	237 13.3	401 22.5	125 7.0	117 6.6	83 4.7	8 0.4	
性別	男性	903	311 34.4	414 45.8	540 59.8	134 14.8	202 22.4	72 8.0	72 8.0	50 5.5	4 0.4	
	女性	857	280 32.7	507 59.2	551 64.3	101 11.8	198 23.1	52 6.1	40 4.7	33 3.9	4 0.5	
	回答しない(無回答含む)	19	5 26.3	6 31.6	9 47.4	2 10.5	1 5.3	1 5.3	5 26.3	0 0.0	0 0.0	
年代別	10歳代	18	8 44.4	5 27.8	9 50.0	5 27.8	6 33.3	2 11.1	0 0.0	3 16.7	0 0.0	
	20歳代	126	50 39.7	63 50.0	69 54.8	22 17.5	31 24.6	9 7.1	4 3.2	8 6.3	0 0.0	
	30歳代	214	82 38.3	100 46.7	115 53.7	38 17.8	44 20.6	19 8.9	12 5.6	11 5.1	0 0.0	
	40歳代	386	137 35.5	187 48.4	226 58.5	51 13.2	98 25.4	26 6.7	24 6.2	18 4.7	0 0.0	
	50歳代	400	114 28.5	211 52.8	257 64.3	61 15.3	100 25.0	27 6.8	21 6.8	20 5.0	2 0.5	
	60歳代	428	126 29.4	238 55.6	287 67.1	37 8.6	80 18.7	28 6.5	32 7.5	20 4.7	2 0.5	
	70歳以上	203	77 37.9	119 58.6	134 66.0	23 11.3	41 20.2	14 6.9	18 8.9	3 1.5	4 2.0	
	無回答	4	2 50.0	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
職業別	農林業	88	29 33.0	42 47.7	53 60.2	9 10.2	17 19.3	6 6.8	7 8.0	5 5.7	1 1.1	
	漁業	4	0 0.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	商工サービス業自営	128	42 32.8	77 60.2	83 64.8	10 7.8	33 25.8	11 8.6	12 9.4	5 3.9	0 0.0	
	会社員(役員を含む)、公務員	739	256 34.6	328 44.4	444 60.1	123 16.6	172 23.3	53 7.2	41 5.5	43 5.8	2 0.3	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	15 30.0	26 52.0	32 64.0	3 6.0	12 24.0	0 0.0	5 10.0	3 6.0	1 2.0	
	主婦・主夫	136	44 32.4	86 63.2	89 65.4	15 11.0	24 17.6	12 8.8	9 6.6	3 2.2	0 0.0	
	パート・アルバイト	229	67 29.3	138 60.3	132 57.6	24 10.5	51 22.3	15 6.6	15 6.6	8 3.5	0 0.0	
	学生	49	22 44.9	24 49.0	29 59.2	7 14.3	12 24.5	6 12.2	0 0.0	4 8.2	0 0.0	
	無職(すでに退職を含む)	253	86 34.0	144 56.9	166 65.6	30 11.9	55 21.7	12 4.7	22 8.7	9 3.6	2 0.8	
	その他	92	30 32.6	53 57.6	62 67.4	13 14.1	20 21.7	8 8.7	6 6.5	3 3.3	2 2.2	
	無回答	11	5 45.5	8 72.7	8 72.7	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
同居人数	0人(独居)	143	43 30.1	66 46.2	86 60.1	20 14.0	31 21.7	8 5.6	13 9.1	5 3.5	2 1.4	
	1人	428	130 30.4	247 57.7	285 66.6	43 10.0	100 23.4	28 6.5	24 5.6	18 4.2	1 0.2	
	2人	441	161 36.5	236 53.5	286 64.9	57 12.9	91 20.6	23 5.2	34 7.7	19 4.3	3 0.7	
	3人	390	122 31.3	196 50.3	243 62.3	57 14.6	85 21.8	31 7.9	24 6.2	18 4.6	0 0.0	
	4人	227	90 39.6	111 48.9	120 52.9	43 18.9	57 25.1	18 7.9	13 5.7	11 4.8	0 0.0	
	5人	92	30 32.6	42 45.7	48 52.2	11 12.0	22 23.9	10 10.9	7 7.6	7 7.6	1 1.1	
	6人以上	52	19 36.5	26 50.0	28 53.8	5 9.6	15 28.8	6 11.5	1 1.9	5 9.6	0 0.0	
	無回答	6	1 16.7	3 50.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	
	ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108	42 38.9	43 39.8	63 58.3	23 21.3	23 21.3	9 8.3	4 3.7	9 8.3	0 0.0
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	36 40.0	46 51.1	52 57.8	13 14.4	23 25.6	8 8.9	7 7.8	3 3.3	0 0.0	
小学生		221	87 39.4	103 46.6	130 58.8	30 13.6	62 28.1	14 6.3	10 4.5	13 5.9	0 0.0	
70歳以上の人		533	165 31.0	307 57.6	334 62.7	72 13.5	125 23.5	36 6.8	37 6.9	26 4.9	2 0.4	
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	29 26.9	56 51.9	72 66.7	11 10.2	22 20.4	8 7.4	14 13.0	3 2.8	0 0.0	
妊産婦		8	2 25.0	3 37.5	5 62.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
1~6の人はいない		920	311 33.8	473 51.4	570 62.0	117 12.7	201 21.8	63 6.8	62 6.7	41 4.5	4 0.4	
無回答		41	10 24.4	23 56.1	28 68.3	6 14.6	7 17.1	1 2.4	2 4.9	2 4.9	2 4.9	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	297 33.6	448 50.6	539 60.9	113 12.8	189 21.4	69 7.8	51 5.8	38 4.3	3 0.3	
	浸水予測区域外	894	299 33.4	479 53.6	561 62.8	124 13.9	212 23.7	56 6.3	66 7.4	45 5.0	5 0.6	

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

上段：人数
下段：%

	サンプル	く組県の 紹介をよ すより・ 詳取り る	取組の スよ組 くを 紹介 す	取組の 全体的 な政策 を	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する	取組の 新しい 政策を 紹介 する		
総合	実数	1,779	622	443	568	427	1,247	369	38	101	45	6										
			35.0	24.9	31.9	24.0	70.1	20.7	2.1	5.7	2.5	0.3										
性別	男性	903	330	250	301	210	610	180	22	50	29	0										
	女性	857	287	190	264	213	626	187	15	47	16	6										
	回答しない(無回答含む)	19	5	3	3	4	11	2	1	4	0	0										
年代別	10歳代	18	8	4	4	4	12	5	0	0	0	0										
	20歳代	126	42	41	35	29	90	26	2	6	2	0										
	30歳代	214	61	53	55	46	137	49	5	13	13	1										
	40歳代	386	129	92	102	102	264	98	9	22	10	0										
	50歳代	400	139	106	122	96	294	83	7	24	9	2										
	60歳代	428	156	96	164	96	311	72	8	22	10	1										
	70歳以上	203	86	50	85	51	135	36	7	14	1	2										
	無回答	4	1	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0									
	職業別	農林業	88	33	22	33	24	59	12	2	4	2	0									
	漁業	4	3	0	4	1	2	0	0	0	0	0										
	商工サービス業自営	128	39	31	37	27	94	26	2	13	1	0										
	会社員(役員を含む)、公務員	739	244	192	222	186	526	170	15	33	24	2										
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	16	10	20	7	31	15	0	2	1	0										
	主婦・主夫	136	51	30	46	34	95	25	5	12	2	1										
	パート・アルバイト	229	82	54	60	52	154	50	4	10	8	0										
	学生	49	24	15	16	9	38	10	0	1	0	0										
	無職(すでに退職を含む)	253	91	66	90	67	174	42	9	18	4	2										
	その他	92	32	18	36	17	66	19	1	7	3	1										
	無回答	11	7	5	4	3	8	0	0	1	0	0										
同居人数	0人(独居)	143	54	42	42	21	94	24	2	9	4	2										
	1人	428	147	95	150	116	310	88	11	22	12	1										
	2人	441	161	115	147	93	317	95	11	25	7	1										
	3人	390	127	99	114	105	276	79	5	14	11	0										
	4人	227	85	58	63	64	158	50	6	17	5	0										
	5人	92	27	21	33	16	50	22	1	9	4	1										
	6人以上	52	18	11	18	11	39	11	2	4	2	0										
	無回答	6	3	2	1	1	3	0	0	1	0	1										
			50.0	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7										
ご家族の中から、次に該当する	3歳以下の乳幼児	108	37	16	29	23	70	26	3	7	6	0										
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	32	18	25	22	58	25	4	9	6	0										
	小学生	221	88	40	61	56	148	56	7	8	9	0										
	70歳以上の人	533	178	125	186	136	388	114	12	34	13	2										
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	31	29	36	32	79	24	1	11	3	0										
	妊産婦	8	3	2	2	4	4	1	0	1	0	0										
	1~6の人はいない	920	323	256	295	212	641	180	14	50	18	2										
	無回答	41	12	10	11	5	27	10	2	3	2	2										
			29.3	24.4	26.8	12.2	65.9	24.4	4.9	7.3	4.9	4.9										
区域別	浸水予測区域内	885	318	227	287	209	624	179	18	47	18	1										
	浸水予測区域外	894	304	216	281	218	623	190	20	54	27	5										
			34.0	24.2	31.4	24.4	69.7	21.3	2.2	6.0	3.0	0.6										

問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サ ン プ ル	あ 測 津 る さ 波 れ で る 浸 水 域 が 予	は 測 津 な さ 波 い れ で る 浸 水 域 が 予	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1,779	799	831	140	9
		100.0	44.9	46.7	7.9	0.5
性別	男性	903	411	423	67	2
		100.0	45.5	46.8	7.4	0.2
	女性	857	382	398	70	7
	100.0	44.6	46.4	8.2	0.8	
	回答しない(無回答含む)	19	6	10	3	0
		100.0	31.6	52.6	15.8	0.0
年代別	10歳代	18	7	10	1	0
		100.0	38.9	55.6	5.6	0.0
	20歳代	126	66	50	10	0
		100.0	52.4	39.7	7.9	0.0
	30歳代	214	98	99	17	0
		100.0	45.8	46.3	7.9	0.0
	40歳代	386	156	199	28	3
		100.0	40.4	51.6	7.3	0.8
50歳代	400	174	184	38	4	
	100.0	43.5	46.0	9.5	1.0	
60歳代	428	217	180	30	1	
	100.0	50.7	42.1	7.0	0.2	
70歳以上	203	81	105	16	1	
	100.0	39.9	51.7	7.9	0.5	
	無回答	4	0	4	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	25	57	5	1
		100.0	28.4	64.8	5.7	1.1
	漁業	4	4	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	58	58	12	0
		100.0	45.3	45.3	9.4	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	341	339	57	2
		100.0	46.1	45.9	7.7	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	30	18	2	0
		100.0	60.0	36.0	4.0	0.0
	主婦・主夫	136	51	71	12	2
		100.0	37.5	52.2	8.8	1.5
パート・アルバイト	229	118	89	21	1	
	100.0	51.5	38.9	9.2	0.4	
学生	49	23	23	3	0	
	100.0	46.9	46.9	6.1	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	110	119	22	2	
	100.0	43.5	47.0	8.7	0.8	
その他	92	34	51	6	1	
	100.0	37.0	55.4	6.5	1.1	
	無回答	11	5	6	0	0
		100.0	45.5	54.5	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	143	73	53	17	0
		100.0	51.0	37.1	11.9	0.0
	1人	428	198	198	31	1
		100.0	46.3	46.3	7.2	0.2
	2人	441	193	213	33	2
		100.0	43.8	48.3	7.5	0.5
	3人	390	174	179	37	0
		100.0	44.6	45.9	9.5	0.0
	4人	227	89	124	12	2
	100.0	39.2	54.6	5.3	0.9	
5人	92	48	37	4	3	
	100.0	52.2	40.2	4.3	3.3	
6人以上	52	23	24	5	0	
	100.0	44.2	46.2	9.6	0.0	
	無回答	6	1	3	1	1
		100.0	16.7	50.0	16.7	16.7
ご家族の 中には、 次に該当 する 方は いますか	3歳以下の乳幼児	108	46	52	9	1
		100.0	42.6	48.1	8.3	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	38	45	6	1
		100.0	42.2	50.0	6.7	1.1
	小学生	221	98	108	12	3
		100.0	44.3	48.9	5.4	1.4
	70歳以上の人	533	237	251	41	4
		100.0	44.5	47.1	7.7	0.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	51	49	8	0
	100.0	47.2	45.4	7.4	0.0	
妊産婦	8	4	4	0	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	422	421	76	1	
	100.0	45.9	45.8	8.3	0.1	
	無回答	41	16	18	5	2
		100.0	39.0	43.9	12.2	4.9
区 域 別	浸水予測区域内	885	684	138	60	3
		100.0	77.3	15.6	6.8	0.3
	浸水予測区域外	894	115	693	80	6
		100.0	12.9	77.5	8.9	0.7

問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。
あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サン プル	計 域 画 で 知 っ た	た ド 市 マ 町 ツ 村 ブ で ハ 知 ッ ト	ジ 県 の ホ ー ム ペ ー で 知 っ た	新 聞 で 知 っ た	知 ら な い	そ の 他	無 回 答
総合	実数	799	137	400	23	14	200	22	3
		100.0	17.1	50.1	2.9	1.8	25.0	2.8	0.4
性別	男性	411	68	217	17	8	91	10	0
	女性	382	69	181	6	6	107	10	3
	回答しない(無回答含む)	6	0	2	0	0	2	2	0
年代別	10歳代	7	0	3	1	0	2	1	0
	20歳代	66	10	28	0	0	25	3	0
	30歳代	98	11	54	1	1	26	3	2
	40歳代	156	27	79	3	2	42	3	0
	50歳代	174	15	86	13	4	48	8	0
	60歳代	217	56	111	5	2	40	3	0
	70歳以上	81	18	39	0	5	17	1	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業別	農林業	25	5	14	1	0	2	2
漁業	4	2	1	0	0	1	0	0	
商工サービス業自営	58	9	30	2	3	13	1	0	
会社員(役員を含む)、公務員	341	43	183	17	6	82	9	1	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	9	17	0	0	4	0	0	
主婦・主夫	51	10	24	1	0	15	1	0	
パート・アルバイト	118	20	53	0	2	40	3	0	
学生	23	5	9	1	0	6	2	0	
無職(すでに退職を含む)	110	27	57	0	3	20	2	1	
その他	34	4	11	1	0	16	2	0	
無回答	5	3	1	0	0	1	0	0	
同居人数	0人(独居)	73	12	29	0	2	27	3	0
	1人	198	40	102	6	5	42	2	1
	2人	193	32	105	9	3	40	4	0
	3人	174	26	83	4	3	48	9	1
	4人	89	13	47	4	1	21	2	1
	5人	48	11	22	0	0	14	1	0
	6人以上	23	2	12	0	0	8	1	0
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	46	4	26	0	0	14	2
4歳以上で小学校入学前の子ども	38	6	23	0	0	6	2	1	
小学生	98	9	58	1	0	25	4	1	
70歳以上の人	237	49	111	8	4	57	7	1	
日常生活で介護や支援を必要とする人	51	9	25	0	2	14	1	0	
妊産婦	4	0	1	0	0	3	0	0	
1～6の人はいない	422	71	208	15	9	106	11	2	
無回答	16	3	6	0	1	6	0	0	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	684	124	341	20	13	164	19	3
	浸水予測区域外	115	13	59	3	1	36	3	0

問11 問10で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。
あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サ ン プ ル	1 0 分 未 満	3 0 分 未 満	6 0 分 未 満	6 0 分 以 上	具 体 的 な 時 間 は 知 ら な い	無 回 答
総合	実数	574	104	219	55	33	160	3
		100.0	18.1	38.2	9.6	5.7	27.9	0.5
性別	男性	310	58	131	30	15	75	1
		100.0	18.7	42.3	9.7	4.8	24.2	0.3
	女性	262	46	88	25	18	83	2
	100.0	17.6	33.6	9.5	6.9	31.7	0.8	
	回答しない(無回答含む)	2	0	0	0	0	2	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別	10歳代	4	0	2	0	2	0	0
		100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	38	11	12	8	1	6	0
		100.0	28.9	31.6	21.1	2.6	15.8	0.0
	30歳代	67	11	25	7	8	16	0
		100.0	16.4	37.3	10.4	11.9	23.9	0.0
	40歳代	111	14	43	9	8	36	1
		100.0	12.6	38.7	8.1	7.2	32.4	0.9
	50歳代	118	19	45	15	6	33	0
	100.0	16.1	38.1	12.7	5.1	28.0	0.0	
60歳代	174	30	76	11	6	50	1	
	100.0	17.2	43.7	6.3	3.4	28.7	0.6	
70歳以上	62	19	16	5	2	19	1	
	100.0	30.6	25.8	8.1	3.2	30.6	1.6	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	20	3	8	0	2	5	2
		100.0	15.0	40.0	0.0	10.0	25.0	10.0
	漁業	3	1	2	0	0	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	44	8	18	6	3	8	1
		100.0	18.2	40.9	13.6	6.8	18.2	2.3
	会社員(役員を含む)、公務員	249	32	99	28	22	68	0
		100.0	12.9	39.8	11.2	8.8	27.3	0.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	26	6	8	3	1	8	0
		100.0	23.1	30.8	11.5	3.8	30.8	0.0
	主婦・主夫	35	6	14	1	0	14	0
		100.0	17.1	40.0	2.9	0.0	40.0	0.0
	パート・アルバイト	75	20	27	8	2	18	0
	100.0	26.7	36.0	10.7	2.7	24.0	0.0	
学生	15	2	5	3	2	3	0	
	100.0	13.3	33.3	20.0	13.3	20.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	87	18	31	6	1	31	0	
	100.0	20.7	35.6	6.9	1.1	35.6	0.0	
	その他	16	6	6	0	4	0	
	100.0	37.5	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	
	無回答	4	2	1	0	1	0	
	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	43	10	18	2	3	10	0
		100.0	23.3	41.9	4.7	7.0	23.3	0.0
	1人	153	33	52	11	7	50	0
		100.0	21.6	34.0	7.2	4.6	32.7	0.0
	2人	149	22	59	18	10	39	1
		100.0	14.8	39.6	12.1	6.7	26.2	0.7
	3人	116	21	39	17	3	35	1
		100.0	18.1	33.6	14.7	2.6	30.2	0.9
	4人	65	11	25	4	9	15	1
	100.0	16.9	38.5	6.2	13.8	23.1	1.5	
5人	33	5	16	2	1	9	0	
	100.0	15.2	48.5	6.1	3.0	27.3	0.0	
6人以上	14	1	10	1	0	2	0	
	100.0	7.1	71.4	7.1	0.0	14.3	0.0	
	無回答	1	1	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	30	3	11	2	3	11	0
		100.0	10.0	36.7	6.7	10.0	36.7	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	29	6	12	4	5	2	0
		100.0	20.7	41.4	13.8	17.2	6.9	0.0
	小学生	68	10	32	6	6	13	1
		100.0	14.7	47.1	8.8	8.8	19.1	1.5
	70歳以上の人	172	31	60	17	9	54	1
		100.0	18.0	34.9	9.9	5.2	31.4	0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	36	3	15	3	0	15	0
	100.0	8.3	41.7	8.3	0.0	41.7	0.0	
妊産婦	1	0	0	0	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	303	56	115	29	16	85	2	
	100.0	18.5	38.0	9.6	5.3	28.1	0.7	
	無回答	10	5	2	0	1	2	0
	100.0	50.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	
浸水予測	浸水予測区域内	498	99	199	51	22	124	3
		100.0	19.9	40.0	10.2	4.4	24.9	0.6
	浸水予測区域外	76	5	20	4	11	36	0
	100.0	6.6	26.3	5.3	14.5	47.4	0.0	

問 1 2 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに
襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サン プル	た揺 れが おさ まっ す ぐに	津波 警報 が出 た	あ の市 町村 から 避難 した	周 り の 人 が 避 難 した	家 族 が 避 難 した	断 る た め か ら 判 断 し て か ら	自 宅 の 浸 水 懸 念 が あ る た め 未 満 で あ る	高 層 階 に 住 ん だ り な い た め に 避 難 し な い	避 難 し な い	無 回 答
総合	実数	799	566	85	52	14	22	18	23	16	3	
		100.0	70.8	10.6	6.5	1.8	2.8	2.3	2.9	2.0	0.4	
性別	男性	411	293	41	24	7	11	9	13	11	2	
		100.0	71.3	10.0	5.8	1.7	2.7	2.2	3.2	2.7	0.5	
	女性	382	268	43	28	7	11	9	10	5	1	
		100.0	70.2	11.3	7.3	1.8	2.9	2.4	2.6	1.3	0.3	
	回答しない(無回答含む)	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	10歳代	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	66	56	1	1	0	4	2	1	0	1	
		100.0	84.8	1.5	1.5	0.0	6.1	3.0	1.5	0.0	1.5	
	30歳代	98	64	17	4	1	3	3	3	2	1	
		100.0	65.3	17.3	4.1	1.0	3.1	3.1	3.1	2.0	1.0	
	40歳代	156	103	18	14	2	6	4	7	2	0	
		100.0	66.0	11.5	9.0	1.3	3.8	2.6	4.5	1.3	0.0	
	50歳代	174	126	15	9	5	3	4	6	6	0	
	100.0	72.4	8.6	5.2	2.9	1.7	2.3	3.4	3.4	0.0		
60歳代	217	152	24	15	4	4	5	6	6	1		
	100.0	70.0	11.1	6.9	1.8	1.8	2.3	2.8	2.8	0.5		
70歳以上	81	58	10	9	2	2	0	0	0	0		
	100.0	71.6	12.3	11.1	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業別	農林業	25	20	2	1	0	2	0	0	0	0	
		100.0	80.0	8.0	4.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	漁業	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業 自営	58	44	7	0	0	2	1	2	2	0	
		100.0	75.9	12.1	0.0	0.0	3.4	1.7	3.4	3.4	0.0	
	会社員(役員を含む)、 公務員	341	238	36	23	8	6	9	13	6	2	
		100.0	69.8	10.6	6.7	2.3	1.8	2.6	3.8	1.8	0.6	
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30	18	4	2	0	2	2	1	1	0	
		100.0	60.0	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0	
	主婦・主夫	51	37	3	7	1	1	1	0	1	0	
	100.0	72.5	5.9	13.7	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0		
パート・アルバイト	118	83	12	8	0	6	3	3	3	0		
	100.0	70.3	10.2	6.8	0.0	5.1	2.5	2.5	2.5	0.0		
学生	23	21	0	0	0	0	1	1	0	0		
	100.0	91.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0		
無職(すでに退職を含む)	110	72	15	10	4	3	1	2	2	1		
	100.0	65.5	13.6	9.1	3.6	2.7	0.9	1.8	1.8	0.9		
その他	34	27	4	0	1	0	0	1	1	0		
	100.0	79.4	11.8	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0		
	無回答	5	3	1	1	0	0	0	0	0		
		100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
同居人数	0人(独居)	73	49	12	3	4	1	2	2	0	0	
		100.0	67.1	16.4	4.1	5.5	1.4	2.7	2.7	0.0	0.0	
	1人	198	138	17	15	5	1	4	10	7	1	
		100.0	69.7	8.6	7.6	2.5	0.5	2.0	5.1	3.5	0.5	
	2人	193	142	23	11	3	3	4	3	4	0	
		100.0	73.6	11.9	5.7	1.6	1.6	2.1	1.6	2.1	0.0	
	3人	174	113	19	14	1	10	7	5	4	1	
		100.0	64.9	10.9	8.0	0.6	5.7	4.0	2.9	2.3	0.6	
	4人	89	63	9	7	1	5	1	2	0	1	
	100.0	70.8	10.1	7.9	1.1	5.6	1.1	2.2	0.0	1.1		
5人	48	38	5	2	0	1	0	1	1	0		
	100.0	79.2	10.4	4.2	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0		
6人以上	23	22	0	0	0	1	0	0	0	0		
	100.0	95.7	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ご家族のうち、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	46	39	4	3	0	0	0	0	0	0	
		100.0	84.8	8.7	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	38	30	1	2	0	0	2	2	1	0	
		100.0	78.9	2.6	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	2.6	0.0	
	小学生	98	73	11	4	1	4	2	3	0	0	
		100.0	74.5	11.2	4.1	1.0	4.1	2.0	3.1	0.0	0.0	
	70歳以上の人	237	165	24	20	5	11	3	2	7	0	
		100.0	69.6	10.1	8.4	2.1	4.6	1.3	0.8	3.0	0.0	
日常生活で介護や支援を必要とする人	51	35	4	2	3	5	1	1	0	0		
	100.0	68.6	7.8	3.9	5.9	9.8	2.0	2.0	0.0	0.0		
妊産婦	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0		
	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0		
1~6の人はいない	422	302	46	27	5	7	10	14	8	3		
	100.0	71.6	10.9	6.4	1.2	1.7	2.4	3.3	1.9	0.7		
	無回答	16	8	2	1	2	1	1	1	0		
		100.0	50.0	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0		
区域別	浸水予測区域内	684	494	76	42	10	20	10	20	9	3	
		100.0	72.2	11.1	6.1	1.5	2.9	1.5	2.9	1.3	0.4	
	浸水予測区域外	115	72	9	10	4	2	8	3	7	0	
		100.0	62.6	7.8	8.7	3.5	1.7	7.0	2.6	6.1	0.0	

問 1 3 問 1 2 で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。
すぐに避難しない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数

下段：%

		サンプル	たまたま津波が間に合った	避難する判断が困難な状況	本ががに逃げる必要	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	避難経路が危険なため自宅に留まらざる	無回答
総合	実数	207	21	135	21	21	14	9	33									
			10.1	65.2	10.1	10.1	6.8	4.3	15.9									
性別	男性	103	12	69	8	7	7	7	15									
	女性	103	9	65	13	14	7	2	18									
	回答しない(無回答含む)	1	0	1	0	0	0	0	0									
年代別	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0									
	20歳代	8	1	5	0	1	0	0	1									
	30歳代	30	3	22	1	1	4	2	4									
	40歳代	46	4	32	7	6	5	3	4									
	50歳代	42	2	24	9	4	2	3	7									
	60歳代	58	7	40	4	6	2	1	9									
	70歳以上	23	4	12	0	3	1	0	8									
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0									
	職業別	農林業	5	2	3	0	0	1	1	1								
漁業		1	0	1	0	0	1	0	0									
商工サービス業自営		12	0	8	3	1	0	1	2									
会社員(役員を含む)、公務員		88	9	60	8	7	6	5	12									
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		11	0	7	2	1	1	0	2									
主婦・主夫		14	1	11	3	1	1	0	3									
パート・アルバイト		32	5	20	2	4	3	1	5									
学生		1	0	1	0	0	0	0	0									
無職(すでに退職を含む)		35	2	20	2	6	1	0	7									
その他		6	2	4	1	0	0	1	0									
無回答		2	0	0	0	1	0	0	1									
同居人数		0人(独居)	22	5	16	1	1	2	2	1								
	1人	49	2	32	6	3	5	3	5									
	2人	48	4	30	5	5	1	1	12									
	3人	55	6	35	5	7	4	0	11									
	4人	23	4	15	4	3	2	1	3									
	5人	9	0	7	0	1	0	2	1									
	6人以上	1	0	0	0	1	0	0	0									
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0									
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	7	0	6	0	0	0	0	1								
4歳以上で小学校入学前の子ども		6	0	4	2	1	0	0	1									
小学生		22	3	16	2	1	2	3	2									
70歳以上の人		70	4	34	8	19	3	3	17									
日常生活で介護や支援を必要とする人		15	0	6	4	7	0	0	4									
妊産婦		0	0	0	0	0	0	0	0									
1～6の人はいない		103	11	77	11	0	8	4	13									
無回答		7	3	5	0	1	1	0	0									
浸水予測	浸水予測区域内	167	17	110	15	17	11	6	28									
	浸水予測区域外	40	4	25	6	4	3	3	5									

問14 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	確認している	認していない	無回答
総合	実数	773	693	74	6
		100.0	89.7	9.6	0.8
性別	男性	396	359	36	1
		100.0	90.7	9.1	0.3
	女性	371	328	38	5
	100.0	88.4	10.2	1.3	
	回答しない(無回答含む)	6	6	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
年代別	10歳代	7	6	1	0
		100.0	85.7	14.3	0.0
	20歳代	64	58	5	1
		100.0	90.6	7.8	1.6
	30歳代	94	81	13	0
		100.0	86.2	13.8	0.0
	40歳代	149	132	16	1
		100.0	88.6	10.7	0.7
	50歳代	168	154	13	1
	100.0	91.7	7.7	0.6	
60歳代	210	187	21	2	
	100.0	89.0	10.0	1.0	
70歳以上	81	75	5	1	
	100.0	92.6	6.2	1.2	
	無回答	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	25	25	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	漁業	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	56	51	5	0
		100.0	91.1	8.9	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	326	295	30	1
		100.0	90.5	9.2	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	29	23	5	1
		100.0	79.3	17.2	3.4
	主婦・主夫	51	45	4	2
		100.0	88.2	7.8	3.9
	パート・アルバイト	115	104	11	0
	100.0	90.4	9.6	0.0	
学生	22	19	3	0	
	100.0	86.4	13.6	0.0	
無職(すでに退職を含む)	107	98	8	1	
	100.0	91.6	7.5	0.9	
その他	33	25	7	1	
	100.0	75.8	21.2	3.0	
	無回答	5	4	1	0
		100.0	80.0	20.0	0.0
同居人数	0人(独居)	71	60	11	0
		100.0	84.5	15.5	0.0
	1人	187	165	19	3
		100.0	88.2	10.2	1.6
	2人	190	169	20	1
		100.0	88.9	10.5	0.5
	3人	168	152	14	2
		100.0	90.5	8.3	1.2
	4人	86	78	8	0
		100.0	90.7	9.3	0.0
5人	47	46	1	0	
	100.0	97.9	2.1	0.0	
6人以上	23	22	1	0	
	100.0	95.7	4.3	0.0	
	無回答	1	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
ご家族の 中には、 次に該当する 方はいら っしゃい ますか	3歳以下の乳幼児	46	44	2	0
		100.0	95.7	4.3	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	36	33	3	0
		100.0	91.7	8.3	0.0
	小学生	95	89	6	0
		100.0	93.7	6.3	0.0
	70歳以上の人	235	213	20	2
		100.0	90.6	8.5	0.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	50	43	5	2
		100.0	86.0	10.0	4.0
妊産婦	3	3	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	405	357	46	2	
	100.0	88.1	11.4	0.5	
	無回答	15	14	1	0
		100.0	93.3	6.7	0.0
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	661	605	52	4
		100.0	91.5	7.9	0.6
	浸水予測区域外	112	88	22	2
		100.0	78.6	19.6	1.8

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。
 あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	行政や地域 決めた避難 場所	自宅近 所の高	その他	無 回 答
総合	実数	693	472	347	24	7
			68.1	50.1	3.5	1.0
性別	男性	359	240	191	10	1
	女性	328	228	151	14	6
	回答しない(無回答含む)	6	4	5	0	0
年代別	10歳代	6	4	2	1	0
	20歳代	58	35	31	5	0
	30歳代	81	53	48	1	1
	40歳代	132	79	67	6	3
	50歳代	154	106	80	6	1
	60歳代	187	143	89	5	0
	70歳以上	75	52	30	0	2
	無回答	0	0	0	0	0
	職業別	農林業	25	14	16	0
漁業	4	4	3	0	0	
商工サービス業 自営	51	34	27	1	1	
会社員(役員を含む)、 公務員	295	205	138	15	2	
自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	23	15	13	0	0	
主婦・主夫	45	35	18	2	0	
パート・アルバイト	104	62	67	2	2	
学生	19	12	10	1	0	
無職(すでに退職を含む)	98	71	42	1	2	
その他	25	16	12	2	0	
無回答	4	4	1	0	0	
同居人数	0人(独居)	60	46	26	0	2
	1人	165	111	84	5	1
	2人	169	123	81	5	2
	3人	152	90	80	7	0
	4人	78	53	39	3	1
	5人	46	31	26	2	1
	6人以上	22	17	11	2	0
	無回答	1	1	0	0	0
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	44	32	21	2
4歳以上で小学校入学前の子ども		33	21	15	0	2
小学生		89	58	43	5	2
70歳以上の人		213	148	106	4	4
日常生活で介護や支援を必要とする人		43	32	25	2	0
妊産婦		3	3	2	0	0
1~6の人はいない		357	243	182	12	2
無回答		14	9	4	0	1
浸水予測区域別		浸水予測区域内	605	425	298	20
	浸水予測区域外	88	47	49	4	2

問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	避難場所への移動にかかる時間	避難場所への移動手段がない	避難経路が土砂崩れ、なり、通れなく	避難経路が建物やブロック塀などの倒壊による通れなく	避難場所が低い	避難場所がある近	不安はない	その他	無回答
総合	実数	773	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4
性別	男性	396	133 33.6	14 3.5	77 19.4	124 31.3	39 9.8	17 4.3	100 25.3	36 9.1	17 4.3
	女性	371	132 35.6	18 4.9	65 17.5	147 39.6	33 8.9	13 3.5	66 17.8	46 12.4	9 2.4
	回答しない(無回答含む)	6	4 66.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0
年代別	10歳代	7	3 42.9	0 0.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	20歳代	64	27 42.2	9 14.1	19 29.7	28 43.8	12 18.8	5 7.8	9 14.1	4 6.3	1 1.6
	30歳代	94	38 40.4	2 2.1	25 26.6	38 40.4	8 8.5	5 5.3	12 12.8	14 14.9	3 3.2
	40歳代	149	48 32.2	5 3.4	23 15.4	46 30.9	11 7.4	3 2.0	42 28.2	16 10.7	3 2.0
	50歳代	168	58 34.5	5 3.0	28 16.7	70 41.7	21 12.5	2 1.2	23 13.7	22 13.1	2 1.2
	60歳代	210	68 32.4	7 3.3	32 15.2	69 32.9	14 6.7	11 5.2	52 24.8	20 9.5	10 4.8
	70歳以上	81	27 33.3	4 4.9	14 17.3	19 23.5	5 6.2	4 4.9	28 34.6	6 7.4	6 7.4
	無回答	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	職業別	農林業	25	8 32.0	1 4.0	5 20.0	7 28.0	1 4.0	1 4.0	7 28.0	2 8.0
漁業		4	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
商工サービス業自営		56	22 39.3	0 0.0	12 21.4	21 37.5	6 10.7	2 3.6	11 19.6	6 10.7	1 1.8
会社員(役員を含む)、公務員		326	109 33.4	11 3.4	57 17.5	111 34.0	32 9.8	10 3.1	80 24.5	45 13.8	7 2.1
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		29	4 13.8	1 3.4	6 20.7	8 27.6	4 13.8	3 10.3	8 27.6	2 6.9	2 6.9
主婦・主夫		51	13 25.5	2 3.9	11 21.6	18 35.3	2 3.9	1 2.0	14 27.5	7 13.7	1 2.0
パート・アルバイト		115	47 40.9	5 4.3	17 14.8	54 47.0	10 8.7	6 5.2	16 13.9	7 6.1	2 1.7
学生		22	7 31.8	4 18.2	8 36.4	10 45.5	5 22.7	0 0.0	3 13.6	3 13.6	1 4.5
無職(すでに退職を含む)		107	44 41.1	7 6.5	18 16.8	32 29.9	7 6.5	4 3.7	24 22.4	6 5.6	9 8.4
その他		33	8 24.2	0 0.0	6 18.2	10 30.3	5 15.2	2 6.1	4 12.1	5 15.2	2 6.1
無回答		5	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 40.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
同居人数		0人(独居)	71	24 33.8	2 2.8	8 11.3	21 29.6	2 2.8	1 1.4	21 29.6	6 8.5
	1人	187	56 29.9	5 2.7	35 18.7	75 40.1	18 9.6	9 4.8	38 20.3	24 12.8	5 2.7
	2人	190	66 34.7	13 6.8	39 20.5	70 36.8	17 8.9	7 3.7	35 18.4	19 10.0	10 5.3
	3人	168	55 32.7	5 3.0	32 19.0	52 31.0	16 9.5	8 4.8	40 23.8	18 10.7	3 1.8
	4人	86	41 47.7	6 7.0	16 18.6	29 33.7	9 10.5	2 2.3	19 22.1	5 5.8	2 2.3
	5人	47	20 42.6	1 2.1	8 17.0	19 40.4	8 17.0	3 6.4	9 19.1	7 14.9	0 0.0
	6人以上	23	7 30.4	0 0.0	4 17.4	6 26.1	2 8.7	0 0.0	5 21.7	4 17.4	1 4.3
	無回答	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	46	16 34.8	3 6.5	12 26.1	16 34.8	3 6.5	2 4.3	8 17.4	10 21.7
4歳以上で小学校入学前の子ども		36	14 38.9	0 0.0	8 22.2	17 47.2	3 8.3	3 8.3	6 16.7	5 13.9	0 0.0
小学生		95	30 31.6	2 2.1	16 16.8	36 37.9	9 9.5	3 3.2	26 27.4	13 13.7	1 1.1
70歳以上の人		235	88 37.4	10 4.3	38 16.2	77 32.8	26 11.1	8 3.4	51 21.7	23 9.8	8 3.4
日常生活で介護や支援を必要とする人		50	29 58.0	5 10.0	11 22.0	10 20.0	7 14.0	0 0.0	9 18.0	3 6.0	2 4.0
妊産婦		3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
1~6の人はいない		405	134 33.1	17 4.2	75 18.5	148 36.5	37 9.1	18 4.4	89 22.0	39 9.6	16 4.0
無回答		15	5 33.3	0 0.0	1 6.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0	5 33.3	1 6.7	1 6.7
浸水予測区域別	浸水予測区域内	661	223 33.7	26 3.9	127 19.2	238 36.0	62 9.4	27 4.1	144 21.8	65 9.8	23 3.5
	浸水予測区域外	112	46 41.1	6 5.4	15 13.4	35 31.3	10 8.9	3 2.7	23 20.5	18 16.1	3 2.7

問17 同居するご家族の中に（ご自身を含む）、自力で避難することが難しい高齢者や障害者などの方がいらっしゃる場合、避難場所までの避難について家族以外の誰かの支援が必要ですか。
（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サン プル	必 要 が あ る	必 要 は な い	は 支 援 が 必 要 な 方	無 回 答
総合	実数	773	144	238	351	40
		100.0	18.6	30.8	45.4	5.2
性別	男性	396	74	130	166	26
		100.0	18.7	32.8	41.9	6.6
	女性	371	67	108	182	14
		100.0	18.1	29.1	49.1	3.8
	回答しない(無回答含む)	6	3	0	3	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年代別	10歳代	7	1	3	3	0
		100.0	14.3	42.9	42.9	0.0
	20歳代	64	9	21	34	0
		100.0	14.1	32.8	53.1	0.0
	30歳代	94	23	18	50	3
		100.0	24.5	19.1	53.2	3.2
	40歳代	149	21	54	68	6
		100.0	14.1	36.2	45.6	4.0
	50歳代	168	38	47	72	11
	100.0	22.6	28.0	42.9	6.5	
60歳代	210	30	66	98	16	
	100.0	14.3	31.4	46.7	7.6	
70歳以上	81	22	29	26	4	
	100.0	27.2	35.8	32.1	4.9	
	無回答	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	25	5	12	7	1
		100.0	20.0	48.0	28.0	4.0
	漁業	4	0	2	2	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	商工サービス業自営	56	4	17	29	6
		100.0	7.1	30.4	51.8	10.7
	会社員（役員を含む）、公務員	326	60	94	156	16
		100.0	18.4	28.8	47.9	4.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	29	6	11	10	2
		100.0	20.7	37.9	34.5	6.9
	主婦・主夫	51	5	17	27	2
		100.0	9.8	33.3	52.9	3.9
	パート・アルバイト	115	25	32	55	3
		100.0	21.7	27.8	47.8	2.6
学生	22	3	8	11	0	
	100.0	13.6	36.4	50.0	0.0	
無職（すでに退職を含む）	107	28	32	40	7	
	100.0	26.2	29.9	37.4	6.5	
その他	33	5	12	13	3	
	100.0	15.2	36.4	39.4	9.1	
	無回答	5	3	1	1	0
		100.0	60.0	20.0	20.0	0.0
同居人数	0人（独居）	71	12	22	34	3
		100.0	16.9	31.0	47.9	4.2
	1人	187	20	60	93	14
		100.0	10.7	32.1	49.7	7.5
	2人	190	39	56	85	10
		100.0	20.5	29.5	44.7	5.3
	3人	168	34	60	66	8
		100.0	20.2	35.7	39.3	4.8
	4人	86	17	21	45	3
	100.0	19.8	24.4	52.3	3.5	
5人	47	18	12	17	0	
	100.0	38.3	25.5	36.2	0.0	
6人以上	23	3	7	11	2	
	100.0	13.0	30.4	47.8	8.7	
	無回答	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	46	13	11	21	1
		100.0	28.3	23.9	45.7	2.2
	4歳以上で小学校入学前の子ども	36	10	8	15	3
		100.0	27.8	22.2	41.7	8.3
	小学生	95	16	24	51	4
		100.0	16.8	25.3	53.7	4.2
	70歳以上の人	235	79	88	61	7
		100.0	33.6	37.4	26.0	3.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	50	39	8	2	1
		100.0	78.0	16.0	4.0	2.0
妊産婦	3	2	0	0	1	
	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
1～6の人はいない	405	33	118	225	29	
	100.0	8.1	29.1	55.6	7.2	
	無回答	15	5	5	5	0
		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0
浸水予測区域別	浸水予測区域内	661	122	202	300	37
		100.0	18.5	30.6	45.4	5.6
	浸水予測区域外	112	22	36	51	3
		100.0	19.6	32.1	45.5	2.7

問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。
(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	できている	() が、検討して いること を知っている が、検討して いないが 直接 検 討 して い な い	できていない	よく知らない	無回答
総合	実数	1,779	240	185	272	1,058	24
		100.0	13.5	10.4	15.3	59.5	1.3
性別	男性	903	137	105	150	496	15
		100.0	15.2	11.6	16.6	54.9	1.7
	女性	857	99	79	118	552	9
		100.0	11.6	9.2	13.8	64.4	1.1
	回答しない(無回答含む)	19	4	1	4	10	0
		100.0	21.1	5.3	21.1	52.6	0.0
年代別	10歳代	18	2	1	0	15	0
		100.0	11.1	5.6	0.0	83.3	0.0
	20歳代	126	5	8	18	95	0
		100.0	4.0	6.3	14.3	75.4	0.0
	30歳代	214	20	17	23	154	0
		100.0	9.3	7.9	10.7	72.0	0.0
	40歳代	386	48	27	57	250	4
		100.0	12.4	7.0	14.8	64.8	1.0
	50歳代	400	48	49	60	240	3
	100.0	12.0	12.3	15.0	60.0	0.8	
60歳代	428	76	50	68	223	11	
	100.0	17.8	11.7	15.9	52.1	2.6	
70歳以上	203	41	33	44	79	6	
	100.0	20.2	16.3	21.7	38.9	3.0	
	無回答	4	0	0	2	2	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
職業別	農林業	88	22	12	18	36	0
		100.0	25.0	13.6	20.5	40.9	0.0
	漁業	4	1	0	1	2	0
		100.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	商工サービス業自営	128	21	14	24	69	0
		100.0	16.4	10.9	18.8	53.9	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	76	86	93	476	8
		100.0	10.3	11.6	12.6	64.4	1.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	10	5	6	27	2
		100.0	20.0	10.0	12.0	54.0	4.0
	主婦・主夫	136	23	12	25	73	3
		100.0	16.9	8.8	18.4	53.7	2.2
	パート・アルバイト	229	22	16	28	162	1
		100.0	9.6	7.0	12.2	70.7	0.4
学生	49	5	3	3	38	0	
	100.0	10.2	6.1	6.1	77.6	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	42	25	54	125	7	
	100.0	16.6	9.9	21.3	49.4	2.8	
その他	92	15	9	17	48	3	
	100.0	16.3	9.8	18.5	52.2	3.3	
	無回答	11	3	3	3	2	0
		100.0	27.3	27.3	27.3	18.2	0.0
同居人数	0人(独居)	143	16	14	24	86	3
		100.0	11.2	9.8	16.8	60.1	2.1
	1人	428	64	50	62	248	4
		100.0	15.0	11.7	14.5	57.9	0.9
	2人	441	61	52	70	249	9
		100.0	13.8	11.8	15.9	56.5	2.0
	3人	390	55	36	50	246	3
		100.0	14.1	9.2	12.8	63.1	0.8
	4人	227	21	14	42	149	1
	100.0	9.3	6.2	18.5	65.6	0.4	
5人	92	10	11	15	55	1	
	100.0	10.9	12.0	16.3	59.8	1.1	
6人以上	52	12	8	7	23	2	
	100.0	23.1	15.4	13.5	44.2	3.8	
	無回答	6	1	0	2	2	1
		100.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7
ご家族の うち、次に該当する 方はいますか	3歳以下の乳幼児	108	9	11	12	76	0
		100.0	8.3	10.2	11.1	70.4	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	8	5	14	61	2
		100.0	8.9	5.6	15.6	67.8	2.2
	小学生	221	24	20	32	143	2
		100.0	10.9	9.0	14.5	64.7	0.9
	70歳以上の人	533	73	67	88	297	8
		100.0	13.7	12.6	16.5	55.7	1.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	12	13	23	58	2
	100.0	11.1	12.0	21.3	53.7	1.9	
妊産婦	8	1	0	1	6	0	
	100.0	12.5	0.0	12.5	75.0	0.0	
1~6の人はいない	920	135	89	133	550	13	
	100.0	14.7	9.7	14.5	59.8	1.4	
	無回答	41	6	3	9	22	1
		100.0	14.6	7.3	22.0	53.7	2.4
区域別	浸水予測区域内	885	114	83	135	538	15
		100.0	12.9	9.4	15.3	60.8	1.7
	浸水予測区域外	894	126	102	137	520	9
		100.0	14.1	11.4	15.3	58.2	1.0

問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。)(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	蓄7日分以上を備	備3日56日分を	備1日52日分を	備蓄していない	無回答
総合	実数	1,779	82	570	582	533	12
		100.0	4.6	32.0	32.7	30.0	0.7
性別	男性	903	49	305	271	270	8
		100.0	5.4	33.8	30.0	29.9	0.9
	女性	857	33	260	305	255	4
	100.0	3.9	30.3	35.6	29.8	0.5	
	回答しない(無回答含む)	19	0	5	6	8	0
		100.0	0.0	26.3	31.6	42.1	0.0
年代別	10歳代	18	0	6	4	8	0
		100.0	0.0	33.3	22.2	44.4	0.0
	20歳代	126	6	38	35	47	0
		100.0	4.8	30.2	27.8	37.3	0.0
	30歳代	214	8	54	82	70	0
		100.0	3.7	25.2	38.3	32.7	0.0
	40歳代	386	19	127	135	104	1
		100.0	4.9	32.9	35.0	26.9	0.3
50歳代	400	16	132	142	107	3	
	100.0	4.0	33.0	35.5	26.8	0.8	
60歳代	428	23	139	125	137	4	
	100.0	5.4	32.5	29.2	32.0	0.9	
70歳以上	203	10	72	57	60	4	
	100.0	4.9	35.5	28.1	29.6	2.0	
	無回答	4	0	2	2	0	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	11	29	23	25	0
		100.0	12.5	33.0	26.1	28.4	0.0
	漁業	4	0	2	1	1	0
		100.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	5	43	42	38	0
		100.0	3.9	33.6	32.8	29.7	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	27	228	270	210	4
		100.0	3.7	30.9	36.5	28.4	0.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	1	21	12	16	0
		100.0	2.0	42.0	24.0	32.0	0.0
	主婦・主夫	136	4	51	48	33	0
		100.0	2.9	37.5	35.3	24.3	0.0
パート・アルバイト	229	8	59	75	87	0	
	100.0	3.5	25.8	32.8	38.0	0.0	
学生	49	2	19	14	14	0	
	100.0	4.1	38.8	28.6	28.6	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	13	88	73	73	6	
	100.0	5.1	34.8	28.9	28.9	2.4	
その他	92	8	27	22	33	2	
	100.0	8.7	29.3	23.9	35.9	2.2	
	無回答	11	3	3	2	3	0
		100.0	27.3	27.3	18.2	27.3	0.0
同居人数	0人(独居)	143	4	38	37	63	1
		100.0	2.8	26.6	25.9	44.1	0.7
	1人	428	15	163	132	117	1
		100.0	3.5	38.1	30.8	27.3	0.2
	2人	441	22	147	141	128	3
		100.0	5.0	33.3	32.0	29.0	0.7
	3人	390	14	123	132	119	2
		100.0	3.6	31.5	33.8	30.5	0.5
	4人	227	12	65	83	64	3
	100.0	5.3	28.6	36.6	28.2	1.3	
5人	92	6	18	39	29	0	
	100.0	6.5	19.6	42.4	31.5	0.0	
6人以上	52	8	14	18	12	0	
	100.0	15.4	26.9	34.6	23.1	0.0	
	無回答	6	1	2	0	1	2
		100.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3
ご家族の 中には、次に該当する 方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	108	7	28	41	32	0
		100.0	6.5	25.9	38.0	29.6	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	7	28	36	19	0
		100.0	7.8	31.1	40.0	21.1	0.0
	小学生	221	13	64	84	60	0
		100.0	5.9	29.0	38.0	27.1	0.0
	70歳以上の人	533	31	170	172	157	3
		100.0	5.8	31.9	32.3	29.5	0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	4	25	45	32	2
	100.0	3.7	23.1	41.7	29.6	1.9	
妊産婦	8	0	4	3	1	0	
	100.0	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	
1~6の人はいない	920	35	307	290	282	6	
	100.0	3.8	33.4	31.5	30.7	0.7	
	無回答	41	1	10	17	12	1
		100.0	2.4	24.4	41.5	29.3	2.4
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	35	258	303	283	6
		100.0	4.0	29.2	34.2	32.0	0.7
	浸水予測区域外	894	47	312	279	250	6
		100.0	5.3	34.9	31.2	28.0	0.7

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ)

上段：人数

下段：%

		サンプル	必要性を感じていない	費用がかかる	置き場所がない	食料が倒壊する	パルファ米や乾パンなどの備蓄	買い替え期限が近い	その他	無回答
総合	実数	1,115	133	178	149	85	368	170	32	
		100.0	11.9	16.0	13.4	7.6	33.0	15.2	2.9	
性別	男性	541	85	68	75	44	183	70	16	
		100.0	15.7	12.6	13.9	8.1	33.8	12.9	3.0	
	女性	560	47	104	72	41	181	99	16	
	100.0	8.4	18.6	12.9	7.3	32.3	17.7	2.9		
	回答しない(無回答含む)	14	1	6	2	0	4	1	0	
		100.0	7.1	4.9	1.4	0.0	28.6	7.1	0.0	
年代別	10歳代	12	0	4	1	2	4	1	0	
		100.0	0.0	33.3	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0	
	20歳代	82	7	15	21	6	16	14	3	
		100.0	8.5	18.3	25.6	7.3	19.5	17.1	3.7	
	30歳代	152	12	31	18	15	53	19	4	
		100.0	7.9	20.4	11.8	9.9	34.9	12.5	2.6	
	40歳代	239	16	54	34	17	75	40	3	
		100.0	6.7	22.6	14.2	7.1	31.4	16.7	1.3	
	50歳代	249	23	36	39	19	90	35	7	
	100.0	9.2	14.5	15.7	7.6	36.1	14.1	2.8		
60歳代	262	47	24	24	18	100	44	5		
	100.0	17.9	9.2	9.2	6.9	38.2	16.8	1.9		
70歳以上	117	28	14	12	8	30	16	9		
	100.0	23.9	12.0	10.3	6.8	25.6	13.7	7.7		
	無回答	2	0	0	0	0	0	1	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
職業別	農林業	48	8	5	5	3	18	7	2	
		100.0	16.7	10.4	10.4	6.3	37.5	14.6	4.2	
	漁業	2	1	0	0	0	0	0	0	
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	商工サービス業自営	80	16	9	8	9	27	9	2	
		100.0	20.0	11.3	10.0	11.3	33.8	11.3	2.5	
	会社員(役員を含む)、公務員	480	45	65	79	37	169	76	9	
		100.0	9.4	13.5	16.5	7.7	35.2	15.8	1.9	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	28	3	4	6	3	7	5	0	
		100.0	10.7	14.3	21.4	10.7	25.0	17.9	0.0	
	主婦・主夫	81	11	15	6	6	25	15	3	
		100.0	13.6	18.5	7.4	7.4	30.9	18.5	3.7	
	パート・アルバイト	162	13	42	17	11	56	20	3	
		100.0	8.0	25.9	10.5	6.8	34.6	12.3	1.9	
学生	28	2	6	7	4	5	3	1		
	100.0	7.1	21.4	25.0	14.3	17.9	10.7	3.6		
無職(すでに退職を含む)	146	23	20	15	9	50	20	9		
	100.0	15.8	13.7	10.3	6.2	34.2	13.7	6.2		
その他	55	10	11	5	3	10	13	3		
	100.0	18.2	20.0	9.1	5.5	18.2	23.6	5.5		
	無回答	5	1	1	1	0	1	1	0	
		100.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	100	17	15	10	8	34	11	5	
		100.0	17.0	15.0	10.0	8.0	34.0	11.0	5.0	
	1人	249	45	33	20	20	91	36	4	
		100.0	18.1	13.3	8.0	8.0	36.5	14.5	1.6	
	2人	269	30	33	31	25	101	42	7	
		100.0	11.2	12.3	11.5	9.3	37.5	15.6	2.6	
	3人	251	24	48	36	19	78	36	10	
		100.0	9.6	19.1	14.3	7.6	31.1	14.3	4.0	
	4人	147	11	27	32	7	40	26	4	
		100.0	7.5	18.4	21.8	4.8	27.2	17.7	2.7	
5人	68	2	17	13	3	17	15	1		
	100.0	2.9	25.0	19.1	4.4	25.0	22.1	1.5		
6人以上	30	3	5	7	3	7	4	1		
	100.0	10.0	16.7	23.3	10.0	23.3	13.3	3.3		
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかと	3歳以下の乳幼児	73	6	13	15	8	17	13	1	
		100.0	8.2	17.8	20.5	11.0	23.3	17.8	1.4	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	55	3	13	7	2	18	10	2	
		100.0	5.5	23.6	12.7	3.6	32.7	18.2	3.6	
	小学生	144	6	39	23	11	42	19	4	
		100.0	4.2	27.1	16.0	7.6	29.2	13.2	2.8	
	70歳以上の人	329	40	44	44	26	121	47	7	
		100.0	12.2	13.4	13.4	7.9	36.8	14.3	2.1	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	77	4	17	13	2	24	13	4	
		100.0	5.2	22.1	16.9	2.6	31.2	16.9	5.2	
妊産婦	4	1	0	1	0	1	0	1		
	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0		
1～6の人はいない	572	78	89	72	39	186	89	19		
	100.0	13.6	15.6	12.6	6.8	32.5	15.6	3.3		
	無回答	29	6	4	4	8	2	1		
		100.0	20.7	13.8	13.8	13.8	27.6	6.9	3.4	
区水予測	浸水予測区域内	586	50	99	78	51	201	90	17	
		100.0	8.5	16.9	13.3	8.7	34.3	15.4	2.9	
	浸水予測区域外	529	83	79	71	34	167	80	15	
		100.0	15.7	14.9	13.4	6.4	31.6	15.1	2.8	

問2-1 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。
 (備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)
 (ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サ ン プ ル	蓄 7 日 分 以 上 を 備 蓄 し て い る	備 蓄 し て い る 3 日 5 6 日 分 を	備 蓄 し て い る 1 日 5 2 日 分 を	備 蓄 し て い な い	無 回 答
総合	実数	1,779	129	518	549	557	26
		100.0	7.3	29.1	30.9	31.3	1.5
性別	男性	903	67	262	273	286	15
		100.0	7.4	29.0	30.2	31.7	1.7
	女性	857	62	251	273	260	11
	100.0	7.2	29.3	31.9	30.3	1.3	
	回答しない(無回答含む)	19	0	5	3	11	0
		100.0	0.0	26.3	15.8	57.9	0.0
年代別	10歳代	18	1	4	4	9	0
		100.0	5.6	22.2	22.2	50.0	0.0
	20歳代	126	7	33	41	44	1
		100.0	5.6	26.2	32.5	34.9	0.8
	30歳代	214	21	52	68	71	2
		100.0	9.8	24.3	31.8	33.2	0.9
	40歳代	386	24	114	126	118	4
		100.0	6.2	29.5	32.6	30.6	1.0
	50歳代	400	31	119	123	121	6
	100.0	7.8	29.8	30.8	30.3	1.5	
60歳代	428	31	133	130	127	7	
	100.0	7.2	31.1	30.4	29.7	1.6	
70歳以上	203	14	60	56	67	6	
	100.0	6.9	29.6	27.6	33.0	3.0	
	無回答	4	0	3	1	0	0
		100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	7	23	24	32	2
		100.0	8.0	26.1	27.3	36.4	2.3
	漁業	4	1	0	2	1	0
		100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	6	42	42	37	1
		100.0	4.7	32.8	32.8	28.9	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	53	226	235	218	7
		100.0	7.2	30.6	31.8	29.5	0.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	7	14	17	12	0
		100.0	14.0	28.0	34.0	24.0	0.0
	主婦・主夫	136	17	39	44	35	1
		100.0	12.5	28.7	32.4	25.7	0.7
	パート・アルバイト	229	12	62	65	86	4
		100.0	5.2	27.1	28.4	37.6	1.7
学生	49	4	14	15	15	1	
	100.0	8.2	28.6	30.6	30.6	2.0	
無職(すでに退職を含む)	253	14	76	74	82	7	
	100.0	5.5	30.0	29.2	32.4	2.8	
その他	92	7	19	29	34	3	
	100.0	7.6	20.7	31.5	37.0	3.3	
	無回答	11	1	3	2	5	0
		100.0	9.1	27.3	18.2	45.5	0.0
同居人数	0人(独居)	143	10	30	38	61	4
		100.0	7.0	21.0	26.6	42.7	2.8
	1人	428	30	138	132	123	5
		100.0	7.0	32.2	30.8	28.7	1.2
	2人	441	31	149	127	128	6
		100.0	7.0	33.8	28.8	29.0	1.4
	3人	390	29	108	129	121	3
		100.0	7.4	27.7	33.1	31.0	0.8
	4人	227	17	62	77	66	5
		100.0	7.5	27.3	33.9	29.1	2.2
5人	92	6	20	28	38	0	
	100.0	6.5	21.7	30.4	41.3	0.0	
6人以上	52	6	10	16	19	1	
	100.0	11.5	19.2	30.8	36.5	1.9	
	無回答	6	0	1	2	1	2
		100.0	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3
ご家族の 中には、次に 該当する 方はいら っしゃい ますか	3歳以下の乳幼児	108	11	22	35	40	0
		100.0	10.2	20.4	32.4	37.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	9	21	31	29	0
		100.0	10.0	23.3	34.4	32.2	0.0
	小学生	221	15	57	77	70	2
		100.0	6.8	25.8	34.8	31.7	0.9
	70歳以上の人	533	38	142	173	172	8
		100.0	7.1	26.6	32.5	32.3	1.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	5	30	38	35	0
		100.0	4.6	27.8	35.2	32.4	0.0
妊産婦	8	0	3	3	2	0	
	100.0	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	
1~6の人はいない	920	67	288	273	277	15	
	100.0	7.3	31.3	29.7	30.1	1.6	
	無回答	41	2	10	11	16	2
		100.0	4.9	24.4	26.8	39.0	4.9
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	69	238	277	289	12
		100.0	7.8	26.9	31.3	32.7	1.4
	浸水予測区域外	894	60	280	272	268	14
		100.0	6.7	31.3	30.4	30.0	1.6

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	い 必要 ない 性 を感じ て	費 用 が か か る	置 き 場 所 が な い	面 を 保 存 用 の 飲 料 が 水	面 買 い 替 え る の が に	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1,106	110	123	238	125	296	194	20
		100.0	9.9	11.1	21.5	11.3	26.8	17.5	1.8
性別	男性	559	75	60	96	71	158	89	10
		100.0	13.4	10.7	17.2	12.7	28.3	15.9	1.8
	女性	533	35	57	140	54	135	102	10
	100.0	6.6	10.7	26.3	10.1	25.3	19.1	1.9	
	回答しない(無回答含む)	14	0	6	2	0	3	3	0
		100.0	0.0	42.9	14.3	0.0	21.4	21.4	0.0
年代別	10歳代	13	0	2	3	1	4	3	0
		100.0	0.0	15.4	23.1	7.7	30.8	23.1	0.0
	20歳代	85	4	11	28	8	13	20	1
		100.0	4.7	12.9	32.9	9.4	15.3	23.5	1.2
	30歳代	139	9	16	37	20	32	22	3
		100.0	6.5	11.5	26.6	14.4	23.0	15.8	2.2
	40歳代	244	16	45	58	28	62	31	4
		100.0	6.6	18.4	23.8	11.5	25.4	12.7	1.6
	50歳代	244	20	20	56	32	69	46	1
	100.0	8.2	8.2	23.0	13.1	28.3	18.9	0.4	
60歳代	257	39	17	44	28	82	43	4	
	100.0	15.2	6.6	17.1	10.9	31.9	16.7	1.6	
70歳以上	123	22	12	12	8	34	28	7	
	100.0	17.9	9.8	9.8	6.5	27.6	22.8	5.7	
	無回答	1	0	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
職業別	農林業	56	8	3	7	4	14	19	1
		100.0	14.3	5.4	12.5	7.1	25.0	33.9	1.8
	漁業	3	0	0	1	0	1	0	1
		100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
	商工サービス業自営	79	6	7	16	14	24	11	1
		100.0	7.6	8.9	20.3	17.7	30.4	13.9	1.3
	会社員(役員を含む)、公務員	453	40	45	112	63	125	62	6
		100.0	8.8	9.9	24.7	13.9	27.6	13.7	1.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	29	5	4	6	3	8	3	0
		100.0	17.2	13.8	20.7	10.3	27.6	10.3	0.0
	主婦・主夫	79	10	10	12	6	20	19	2
		100.0	12.7	12.7	15.2	7.6	25.3	24.1	2.5
	パート・アルバイト	151	11	28	33	10	40	25	4
	100.0	7.3	18.5	21.9	6.6	26.5	16.6	2.6	
学生	30	1	2	11	2	6	8	0	
	100.0	3.3	6.7	36.7	6.7	20.0	26.7	0.0	
無職(すでに退職を含む)	156	19	15	26	19	46	29	2	
	100.0	12.2	9.6	16.7	12.2	29.5	18.6	1.3	
その他	63	9	9	13	4	10	15	3	
	100.0	14.3	14.3	20.6	6.3	15.9	23.8	4.8	
	無回答	7	1	0	1	0	3	0	
		100.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	42.9	0.0
同居人数	0人(独居)	99	14	9	15	15	35	9	2
		100.0	14.1	9.1	15.2	15.2	35.4	9.1	2.0
	1人	255	39	18	41	37	76	42	2
		100.0	15.3	7.1	16.1	14.5	29.8	16.5	0.8
	2人	255	23	26	50	28	68	50	10
		100.0	9.0	10.2	19.6	11.0	26.7	19.6	3.9
	3人	250	18	33	62	23	65	45	4
		100.0	7.2	13.2	24.8	9.2	26.0	18.0	1.6
	4人	143	10	23	39	14	30	26	1
		100.0	7.0	16.1	27.3	9.8	21.0	18.2	0.7
5人	66	3	12	21	6	11	13	0	
	100.0	4.5	18.2	31.8	9.1	16.7	19.7	0.0	
6人以上	35	2	2	10	2	10	8	1	
	100.0	5.7	5.7	28.6	5.7	28.6	22.9	2.9	
	無回答	3	1	0	0	0	1	0	
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	75	5	10	21	9	14	16	0
		100.0	6.7	13.3	28.0	12.0	18.7	21.3	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	60	4	11	15	6	14	10	0
		100.0	6.7	18.3	25.0	10.0	23.3	16.7	0.0
	小学生	147	7	26	46	19	31	15	3
		100.0	4.8	17.7	31.3	12.9	21.1	10.2	2.0
	70歳以上の人	345	33	27	73	42	93	67	10
		100.0	9.6	7.8	21.2	12.2	27.0	19.4	2.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	73	0	6	18	7	24	17	1
		100.0	0.0	8.2	24.7	9.6	32.9	23.3	1.4
妊産婦	5	0	0	0	1	3	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	
1～6の人はいない	550	67	63	111	58	152	93	6	
	100.0	12.2	11.5	20.2	10.5	27.6	16.9	1.1	
	無回答	27	2	2	5	4	10	3	
		100.0	7.4	7.4	18.5	14.8	37.0	11.1	3.7
浸水予測	浸水予測区域内	566	45	63	130	65	166	86	11
		100.0	8.0	11.1	23.0	11.5	29.3	15.2	1.9
	浸水予測区域外	540	65	60	108	60	130	108	9
		100.0	12.0	11.1	20.0	11.1	24.1	20.0	1.7

問 2 3 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。
(ひとつだけ)

上段：人数
下段：%

		サン プル	携 帯 ト イ レ を 備 蓄 し て い る	携 帯 ト イ レ を 備 蓄 す る 予 め	携 帯 ト イ レ を 簡 易 に 備 蓄 す る	避 難 所 の ト イ レ を 使 用 す る	他 に 使 用 可 能 な 場 所 (避 難 所 以 外 、 屋 外 等) を 探 す	自 宅 ト イ レ は 汲 み 取 り 式 な の で 、 震 後 も 使 用 可 能	特 に 考 え て い な い	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1,779	338	240	360	248	232	298	50	13	
		100.0	19.0	13.5	20.2	13.9	13.0	16.8	2.8	0.7	
性別	男性	903	160	112	182	156	113	155	20	5	
	女性	857	176	126	172	91	115	139	30	8	
	回答しない(無回答含む)	19	2	2	6	1	4	4	0	0	
年代別	10歳代	18	1	1	4	5	2	4	1	0	
	20歳代	126	27	17	28	17	15	21	1	0	
	30歳代	214	46	27	46	27	24	40	4	0	
	40歳代	386	79	55	94	53	32	59	12	2	
	50歳代	400	84	62	58	62	46	76	9	3	
	60歳代	428	77	58	91	57	72	63	8	2	
	70歳以上	203	22	20	39	27	39	35	15	6	
	無回答	4	2	0	0	0	2	0	0	0	
	職業別	農林業	88	10	9	8	18	21	12	9	1
漁業		4	0	1	0	0	1	2	0	0	
商工サービス業自営		128	19	17	29	18	20	22	3	0	
会社員(役員を含む)、公務員		739	155	114	157	112	66	122	10	3	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	10	8	10	8	5	7	1	1	
主婦・主夫		136	27	17	32	15	19	19	7	0	
パート・アルバイト		229	42	30	46	28	34	44	4	1	
学生		49	9	6	11	9	5	8	1	0	
無職(すでに退職を含む)		253	46	25	52	28	45	42	11	4	
その他		92	18	12	14	11	12	18	4	3	
無回答		11	2	1	1	1	4	2	0	0	
同居人数		0人(独居)	143	22	11	30	17	26	33	3	1
	1人	428	74	76	78	55	63	64	14	4	
	2人	441	84	47	99	63	66	67	12	3	
	3人	390	80	55	81	53	41	68	11	1	
	4人	227	53	38	41	33	21	36	4	1	
	5人	92	17	7	23	15	6	18	5	1	
	6人以上	52	7	6	8	11	8	10	1	1	
	無回答	6	1	0	0	1	1	2	0	1	
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	25	14	21	11	12	23	2	0
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	24	13	16	13	6	14	3	1	
小学生		221	58	26	54	32	33	5	0	0	
70歳以上の人		533	86	72	106	70	90	87	15	7	
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	27	14	11	12	18	22	4	0	
妊産婦		8	2	1	2	1	2	0	0	0	
1～6の人はいない		920	162	133	191	140	113	149	27	5	
無回答		41	9	2	8	4	6	10	1	1	
浸水予測区域別		浸水予測区域内	885	162	125	203	115	97	153	23	7
		浸水予測区域外	894	176	115	157	133	135	145	27	6

問24 問23で「3 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。
どのくらい備蓄していますか。(ひとつだけ○)

		サ ン プ ル	用 意 し て い る 1 日 ～ 2 日 分 を	用 意 し て い る 3 日 ～ 6 日 分 を	意 7 日 分 以 上 を 用	無 回 答
総 合	実数	338	182	104	47	5
		100.0	53.8	30.8	13.9	1.5
性 別	男性	160	94	36	29	1
		100.0	58.8	22.5	18.1	0.6
	女性	176	87	67	18	4
	100.0	49.4	38.1	10.2	2.3	
	回答しない(無回答含む)	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年 代 別	10歳代	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	27	16	6	5	0
		100.0	59.3	22.2	18.5	0.0
	30歳代	46	31	11	4	0
		100.0	67.4	23.9	8.7	0.0
	40歳代	79	43	25	9	2
		100.0	54.4	31.6	11.4	2.5
50歳代	84	42	27	13	2	
	100.0	50.0	32.1	15.5	2.4	
60歳代	77	42	21	13	1	
	100.0	54.5	27.3	16.9	1.3	
70歳以上	22	7	12	3	0	
	100.0	31.8	54.5	13.6	0.0	
	無回答	2	0	2	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職 業 別	農林業	10	3	3	4	0
		100.0	30.0	30.0	40.0	0.0
	漁業	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	19	10	4	3	2
		100.0	52.6	21.1	15.8	10.5
	会社員(役員を含む)、公務員	155	88	47	19	1
		100.0	56.8	30.3	12.3	0.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	10	5	2	3	0
		100.0	50.0	20.0	30.0	0.0
	主婦・主夫	27	14	9	4	0
		100.0	51.9	33.3	14.8	0.0
パート・アルバイト	42	22	15	4	1	
	100.0	52.4	35.7	9.5	2.4	
学生	9	7	0	2	0	
	100.0	77.8	0.0	22.2	0.0	
無職(すでに退職を含む)	46	23	17	5	1	
	100.0	50.0	37.0	10.9	2.2	
その他	18	9	6	3	0	
	100.0	50.0	33.3	16.7	0.0	
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
同 居 人 数	0人(独居)	22	11	7	4	0
		100.0	50.0	31.8	18.2	0.0
	1人	74	37	20	15	2
		100.0	50.0	27.0	20.3	2.7
	2人	84	44	25	14	1
		100.0	52.4	29.8	16.7	1.2
	3人	80	47	23	9	1
		100.0	58.8	28.7	11.3	1.3
	4人	53	28	19	5	1
	100.0	52.8	35.8	9.4	1.9	
5人	17	10	7	0	0	
	100.0	58.8	41.2	0.0	0.0	
6人以上	7	5	2	0	0	
	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0	
	無回答	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
こ 家 族 の 中 に 、 次 に 該 当 す る か	3歳以下の乳幼児	25	14	9	2	0
		100.0	56.0	36.0	8.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	24	11	9	3	1
		100.0	45.8	37.5	12.5	4.2
	小学生	58	36	19	2	1
		100.0	62.1	32.8	3.4	1.7
	70歳以上の人	86	47	22	16	1
		100.0	54.7	25.6	18.6	1.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	27	15	10	2	0
	100.0	55.6	37.0	7.4	0.0	
妊産婦	2	1	0	1	0	
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
1～6の人はいない	162	85	47	26	4	
	100.0	52.5	29.0	16.0	2.5	
	無回答	9	4	5	0	0
		100.0	44.4	55.6	0.0	0.0
区 域 別	浸水予測区域内	162	100	39	20	3
		100.0	61.7	24.1	12.3	1.9
	浸水予測区域外	176	82	65	27	2
		100.0	46.6	36.9	15.3	1.1

問 2 5 あなたの自宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。
(当てはまるものすべてに〇)

上段：人数
下段：%

	サンプル	所方な家	いるイ	い靴る	安	を非	を浴	を消	備ラ	蓄調	そ	無
		方な家 を法や 集めた 合する る場給 に	いるイ ルムに 飛散防 止して	い靴る るなど をを置 枕元に	安 全に避 難でき	を非 常持 ち出し ている	を浴 槽に いつも	を消 火器 を 用意し	備ラ ジ中 電灯 などを 携帯	蓄調 理用 燃料 を備	そ の他	無 回 答
総合	実数	1,779	618	111	196	706	202	359	1,243	486	107	60
			34.7	6.2	11.0	39.7	11.4	20.2	69.9	27.3	6.0	3.4
性別	男性	903	286	59	88	363	88	197	619	244	54	35
			31.7	6.5	9.7	40.2	9.7	21.8	68.5	27.0	6.0	3.9
	女性	857	325	50	105	338	113	157	609	241	51	24
			37.9	5.8	12.3	39.4	13.2	18.3	71.1	28.1	6.0	2.8
	回答しない(無回答含む)	19	7	2	3	5	1	5	15	1	2	1
			36.8	10.5	15.8	26.3	5.3	26.3	78.9	5.3	10.5	5.3
年 代 別	10歳代	18	6	0	2	7	1	3	10	2	3	1
			33.3	0.0	11.1	38.9	5.6	16.7	55.6	11.1	16.7	5.6
	20歳代	126	43	15	11	50	9	19	81	24	7	4
			34.1	11.9	8.7	39.7	7.1	15.1	64.3	19.0	5.6	3.2
	30歳代	214	92	9	17	76	18	27	116	56	17	10
			43.0	4.2	7.9	35.5	8.4	12.6	54.2	26.2	7.9	4.7
	40歳代	386	173	15	37	154	35	60	249	101	28	9
			44.8	3.9	9.6	39.9	9.1	15.5	64.5	26.2	7.3	2.3
	50歳代	400	142	31	42	179	46	77	290	115	24	15
		35.5	7.8	10.5	44.8	11.5	19.3	72.5	28.7	6.0	3.8	
60歳代	428	111	28	54	173	54	111	329	129	21	12	
		25.9	6.5	12.6	40.4	12.6	25.9	76.9	30.1	4.9	2.8	
70歳以上	203	50	12	31	66	38	60	164	58	7	9	
		24.6	5.9	15.3	32.5	18.7	29.6	80.8	28.6	3.4	4.4	
	無回答	4	1	1	2	1	1	2	4	1	0	0
			25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	100.0	25.0	0.0	0.0
職 業 別	農林業	88	26	5	9	22	14	25	65	28	6	2
			29.5	5.7	10.2	25.0	15.9	28.4	73.9	31.8	6.8	2.3
	漁業	4	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1
			0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0
	商工サービス業自営	128	36	9	17	44	15	32	92	41	2	5
			28.1	7.0	13.3	34.4	11.7	25.0	71.9	32.0	1.6	3.9
	会社員(役員を含む)、公務員	739	290	39	64	323	63	122	481	198	50	23
			39.2	5.3	8.7	43.7	8.5	16.5	65.1	26.8	6.8	3.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	12	5	4	19	8	21	36	16	2	5
			24.0	10.0	8.0	38.0	16.0	42.0	72.0	32.0	4.0	10.0
	主婦・主夫	136	51	9	18	54	20	38	106	45	5	1
			37.5	6.6	13.2	39.7	14.7	27.9	77.9	33.1	3.7	0.7
	パート・アルバイト	229	93	10	28	82	31	28	161	58	13	5
		40.6	4.4	12.2	35.8	13.5	12.2	70.3	25.3	5.7	2.2	
学生	49	22	3	7	26	3	10	31	9	4	1	
		44.9	6.1	14.3	53.1	6.1	20.4	63.3	18.4	8.2	2.0	
無職(すでに退職を含む)	253	51	24	37	91	39	68	198	63	16	15	
		20.2	9.5	14.6	36.0	15.4	26.9	78.3	24.9	6.3	5.9	
その他	92	33	5	10	40	7	13	62	25	8	2	
		35.9	5.4	10.9	43.5	7.6	14.1	67.4	27.2	8.7	2.2	
	無回答	11	4	2	2	5	1	2	9	1	1	0
			36.4	18.2	18.2	45.5	9.1	18.2	81.8	9.1	9.1	0.0
同 居 人 数	0人(独居)	143	13	6	20	39	13	21	100	23	17	6
			9.1	4.2	14.0	27.3	9.1	14.7	69.9	16.1	11.9	4.2
	1人	428	130	32	58	180	45	102	310	137	18	22
			30.4	7.5	13.6	42.1	10.5	23.8	72.4	32.0	4.2	5.1
	2人	441	140	32	41	177	57	92	321	114	25	16
			31.7	7.3	9.3	40.1	12.9	20.9	72.8	25.9	5.7	3.6
	3人	390	157	20	39	157	42	75	259	110	25	7
			40.3	5.1	10.0	40.3	10.8	19.2	66.4	28.2	6.4	1.8
	4人	227	109	13	29	93	27	44	148	63	15	5
			48.0	5.7	12.8	41.0	11.9	19.4	65.2	27.8	6.6	2.2
5人	92	48	5	4	36	11	16	59	24	2	2	
		52.2	5.4	4.3	39.1	12.0	17.4	64.1	26.1	2.2	2.2	
6人以上	52	20	2	4	21	6	7	41	15	5	1	
		38.5	3.8	7.7	40.4	11.5	13.5	78.8	28.8	9.6	1.9	
	無回答	6	1	1	1	3	1	2	5	0	1	0
			16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	33.3	83.3	0.0	0.0	16.7
ご 家 族 の 中 に、 次 に 該 当 す る	3歳以下の乳幼児	108	53	3	8	44	6	11	62	28	8	2
			49.1	2.8	7.4	40.7	5.6	10.2	57.4	25.9	7.4	1.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	44	1	7	36	9	14	56	29	6	2
			48.9	1.1	7.8	40.0	10.0	15.6	62.2	32.2	6.7	2.2
	小学生	221	129	7	15	95	18	28	143	64	12	1
			58.4	3.2	6.8	43.0	8.1	12.7	64.7	29.0	5.4	0.5
	70歳以上の人	533	156	36	63	198	87	128	395	144	30	20
			29.3	6.8	11.8	37.1	16.3	24.0	74.1	27.0	5.6	3.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	28	6	14	38	19	24	87	30	6	2
		25.9	5.6	13.0	35.2	17.6	22.2	80.6	27.8	5.6	1.9	
妊産婦	8	2	0	0	4	0	0	4	3	0	0	
		25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	305	62	106	369	92	187	637	253	55	33	
		33.2	6.7	11.5	40.1	10.0	20.3	69.2	27.5	6.0	3.6	
	無回答	41	6	4	8	18	1	7	29	10	5	4
			14.6	9.8	19.5	43.9	2.4	17.1	70.7	24.4	12.2	9.8
区 域 別	浸水予測区域内	885	312	54	100	372	99	171	616	202	47	35
			35.3	6.1	11.3	42.0	11.2	19.3	69.6	22.8	5.3	4.0
	浸水予測区域外	894	306	57	96	334	103	188	627	284	60	25
			34.2	6.4	10.7	37.4	11.5	21.0	70.1	31.8	6.7	2.8

問26 普段から医師により処方された薬を服用していますか。また、服用している場合、南海トラフ地震が起きたら、すぐに持ち出せますか（外出時も含めます）。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	服用していない	服用しているが、持ち出しにくい	服用しているが、持ち出しやすい	無回答
総合	実数	1,779	952	616	200	11
		100.0	53.6	34.6	11.2	0.6
性別	男性	903	477	331	89	6
		100.0	52.8	36.7	9.9	0.7
	女性	857	466	277	109	5
	100.0	54.4	32.3	12.7	0.6	
	回答しない(無回答含む)	19	9	8	2	0
		100.0	47.4	42.1	10.5	0.0
年代別	10歳代	18	15	2	1	0
		100.0	83.3	11.1	5.6	0.0
	20歳代	126	108	11	7	0
		100.0	85.7	8.7	5.6	0.0
	30歳代	214	168	31	15	0
		100.0	78.5	14.5	7.0	0.0
	40歳代	386	272	87	26	1
		100.0	70.5	22.5	6.7	0.3
	50歳代	400	210	133	54	3
	100.0	52.5	33.3	13.5	0.8	
60歳代	428	140	217	68	3	
	100.0	32.7	50.7	15.9	0.7	
70歳以上	203	37	133	29	4	
	100.0	18.2	65.5	14.3	2.0	
	無回答	4	2	2	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	39	35	13	1
		100.0	44.3	39.8	14.8	1.1
	漁業	4	1	2	1	0
		100.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	73	38	16	1
		100.0	57.0	29.7	12.5	0.8
	会社員（役員を含む）、公務員	739	471	200	66	2
		100.0	63.7	27.1	8.9	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	25	20	4	1
		100.0	50.0	40.0	8.0	2.0
	主婦・主夫	136	54	69	13	0
		100.0	39.7	50.7	9.6	0.0
	パート・アルバイト	229	138	62	27	2
	100.0	60.3	27.1	11.8	0.9	
学生	49	42	4	3	0	
	100.0	85.7	8.2	6.1	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	67	140	44	2	
	100.0	26.5	55.3	17.4	0.8	
その他	92	39	41	10	2	
	100.0	42.4	44.6	10.9	2.2	
	無回答	11	3	5	3	0
		100.0	27.3	45.5	27.3	0.0
同居人数	0人（独居）	143	74	54	14	1
		100.0	51.7	37.8	9.8	0.7
	1人	428	197	172	57	2
		100.0	46.0	40.2	13.3	0.5
	2人	441	228	168	43	2
		100.0	51.7	38.1	9.8	0.5
	3人	390	205	124	58	3
		100.0	52.6	31.8	14.9	0.8
	4人	227	143	70	13	1
	100.0	63.0	30.8	5.7	0.4	
5人	92	70	11	11	0	
	100.0	76.1	12.0	12.0	0.0	
6人以上	52	33	14	4	1	
	100.0	63.5	26.9	7.7	1.9	
	無回答	6	2	3	0	1
		100.0	33.3	50.0	0.0	16.7
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	81	20	6	1
		100.0	75.0	18.5	5.6	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	66	18	6	0
		100.0	73.3	20.0	6.7	0.0
	小学生	221	152	45	23	1
		100.0	68.8	20.4	10.4	0.5
	70歳以上の人	533	240	213	78	2
		100.0	45.0	40.0	14.6	0.4
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	37	45	25	1
	100.0	34.3	41.7	23.1	0.9	
妊産婦	8	5	1	2	0	
	100.0	62.5	12.5	25.0	0.0	
1～6の人はいない	920	502	317	96	5	
	100.0	54.6	34.5	10.4	0.5	
	無回答	41	18	20	2	1
		100.0	43.9	48.8	4.9	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	484	302	95	4
		100.0	54.7	34.1	10.7	0.5
	浸水予測区域外	894	468	314	105	7
		100.0	52.3	35.1	11.7	0.8

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。

あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	歩版お薬手帳（紙）を常に持っている	お薬手帳（電子版）を利用している	スマートフォンを常に持ち歩いている	納帳の情報を写真に写している	携帯電話でお薬手帳の情報を写している	薬と一緒に持ち歩いている	薬と一緒に持ち歩いている	記憶している	特にない	その他	無回答
総合	実数	816	224	42	47	41	199	223	22	18			
		100.0	27.5	5.1	5.8	5.0	24.4	27.3	2.7	2.2			
性別	男性	420	94	28	25	21	100	133	10	9			
		100.0	22.4	6.7	6.0	5.0	23.8	31.7	2.4	2.1			
	女性	386	126	13	22	20	98	86	12	9			
		100.0	32.6	3.4	5.7	5.2	25.4	22.3	3.1	2.3			
	回答しない(無回答含む)	10	4	1	0	0	1	4	0	0			
		100.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0			
年代別	10歳代	3	0	0	0	0	2	1	0	0			
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0			
	20歳代	18	3	0	0	1	10	4	0	0			
		100.0	16.7	0.0	0.0	5.6	55.6	22.2	0.0	0.0			
	30歳代	46	11	2	1	0	13	17	1	1			
		100.0	23.9	4.3	2.2	0.0	28.3	37.0	2.2	2.2			
	40歳代	113	20	7	5	7	42	28	4	0			
		100.0	17.7	6.2	4.4	6.2	37.2	24.8	3.5	0.0			
	50歳代	187	55	10	7	7	49	53	3	3			
	100.0	29.4	5.3	3.7	3.7	26.2	28.3	1.6	1.6				
60歳代	285	78	16	26	10	59	82	7	7				
	100.0	27.4	5.6	9.1	3.5	20.7	28.8	2.5	2.5				
70歳以上	162	55	7	8	16	24	38	7	7				
	100.0	34.0	4.3	4.9	9.9	14.8	23.5	4.3	4.3				
	無回答	2	2	0	0	0	0	0	0				
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
職業別	農林業	48	10	2	1	5	9	17	1	3			
		100.0	20.8	4.2	2.1	10.4	18.8	35.4	2.1	6.3			
	漁業	3	1	0	0	0	0	2	0	0			
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0			
	商工サービス業自営	54	13	4	6	0	13	14	2	2			
		100.0	24.1	7.4	11.1	0.0	24.1	25.9	3.7	3.7			
	会社員（役員を含む）、公務員	266	60	16	21	11	81	72	4	1			
		100.0	22.6	6.0	7.9	4.1	30.5	27.1	1.5	0.4			
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	24	3	1	2	1	9	7	0	1			
		100.0	12.5	4.2	8.3	4.2	37.5	29.2	0.0	4.2			
	主婦・主夫	82	33	0	7	7	17	14	3	1			
		100.0	40.2	0.0	8.5	8.5	20.7	17.1	3.7	1.2			
	パート・アルバイト	89	25	5	3	3	25	25	2	1			
		100.0	28.1	5.6	3.4	3.4	28.1	28.1	2.2	1.1			
学生	7	0	0	0	0	6	1	0	0				
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0				
無職（すでに退職を含む）	184	62	11	7	11	25	56	8	4				
	100.0	33.7	6.0	3.8	6.0	13.6	30.4	4.3	2.2				
その他	51	15	3	0	2	12	12	2	5				
	100.0	29.4	5.9	0.0	3.9	23.5	23.5	3.9	9.8				
	無回答	8	2	0	0	1	2	3	0	0			
		100.0	25.0	0.0	0.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0			
同居人数	0人（独居）	68	28	5	4	5	10	13	0	3			
		100.0	41.2	7.4	5.9	7.4	14.7	19.1	0.0	4.4			
	1人	229	57	14	10	11	58	67	11	1			
		100.0	24.9	6.1	4.4	4.8	25.3	29.3	4.8	0.4			
	2人	211	63	9	18	13	48	51	4	5			
		100.0	29.9	4.3	8.5	6.2	22.7	24.2	1.9	2.4			
	3人	182	45	7	10	2	55	54	4	5			
		100.0	24.7	3.8	5.5	1.1	30.2	29.7	2.2	2.7			
	4人	83	24	4	5	5	19	23	2	1			
	100.0	28.9	4.8	6.0	6.0	22.9	27.7	2.4	1.2				
5人	22	4	1	0	2	7	8	0	0				
	100.0	18.2	4.5	0.0	9.1	31.8	36.4	0.0	0.0				
6人以上	18	2	2	0	3	2	5	1	3				
	100.0	11.1	11.1	0.0	16.7	11.1	27.8	5.6	16.7				
	無回答	3	1	0	0	0	2	0	0				
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0				
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	26	5	1	1	4	8	7	0	0			
		100.0	19.2	3.8	3.8	15.4	30.8	26.9	0.0	0.0			
	4歳以上で小学校入学前の子ども	24	3	0	0	3	10	8	0	0			
		100.0	12.5	0.0	0.0	12.5	41.7	33.3	0.0	0.0			
	小学生	68	11	3	3	3	26	18	1	3			
		100.0	16.2	4.4	4.4	4.4	38.2	26.5	1.5	4.4			
	70歳以上の人	291	89	14	15	23	55	76	12	7			
		100.0	30.6	4.8	5.2	7.9	18.9	26.1	4.1	2.4			
日常生活で介護や支援を必要とする人	70	21	6	1	4	12	21	2	3				
	100.0	30.0	8.6	1.4	5.7	17.1	30.0	2.9	4.3				
妊産婦	3	1	0	0	0	2	0	0	0				
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0				
1～6の人はいない	413	104	21	27	13	112	122	8	6				
	100.0	25.2	5.1	6.5	3.1	27.1	29.5	1.9	1.5				
	無回答	22	8	2	2	4	1	4	0	1			
		100.0	36.4	9.1	9.1	18.2	4.5	18.2	0.0	4.5			
浸水予測	浸水予測区域内	397	110	17	16	20	102	110	13	9			
		100.0	27.7	4.3	4.0	5.0	25.7	27.7	3.3	2.3			
	浸水予測区域外	419	114	25	31	21	97	113	9	9			
		100.0	27.2	6.0	7.4	5.0	23.2	27.0	2.1	2.1			

問28 お薬手帳（電子版）は、スマートフォン内で情報管理ができるため、ご自身に加え、ご家族の服薬情報も保管でき、携帯性が高いため、災害時には大変有用なツールとなりますが、あなたは利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	すでに利用して	利用しようと思	なや利用方がわ	なをスマートフ	ない利用する	無回答
総合	実数	1,779	93	487	404	174	572	49
		100.0	5.2	27.4	22.7	9.8	32.2	2.8
性別	男性	903	53	247	179	88	311	25
	女性	857	40	237	221	83	252	24
	回答しない(無回答含む)	19	0	3	4	3	9	0
年代別	10歳代	18	0	2	6	0	10	0
	20歳代	126	6	44	18	1	55	2
	30歳代	214	12	72	34	4	91	1
	40歳代	386	23	113	78	21	144	7
	50歳代	400	17	115	97	25	139	7
	60歳代	428	24	100	127	64	96	17
	70歳以上	203	11	39	43	58	37	15
	無回答	4	0	2	1	1	0	0
	職業別	農林業	88	4	18	16	17	30
漁業		4	0	1	1	1	1	0
商工サービス業自営		128	9	31	31	15	38	4
会社員（役員を含む）、公務員		739	43	233	161	30	264	8
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	0	21	8	1	18	2
主婦・主夫		136	6	34	38	21	35	2
パート・アルバイト		229	13	57	63	16	74	6
学生		49	2	15	7	1	24	0
無職（すでに退職を含む）		253	10	52	60	61	54	16
その他		92	5	22	18	6	33	8
無回答		11	1	3	1	5	1	0
同居人数	0人(独居)	143	10	33	28	19	50	3
	1人	428	22	105	106	58	122	15
	2人	441	19	125	101	45	134	17
	3人	390	20	112	96	26	128	8
	4人	227	10	70	43	16	84	4
	5人	92	7	26	17	6	36	0
	6人以上	52	4	15	13	3	16	1
	無回答	6	1	1	0	1	2	1
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	108	9	35	18	3	43
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	4	30	23	1	32	0
小学生		221	15	77	44	9	75	1
70歳以上の人		533	26	143	127	70	155	12
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	8	32	31	18	19	0
妊産婦		8	0	1	1	0	5	1
1～6の人はいない		920	47	241	211	87	302	32
無回答		41	2	13	8	3	11	4
浸水予測		浸水予測区域内	885	34	257	193	92	286
	浸水予測区域外	894	59	230	211	82	286	26

問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	加入している	加入していない	わからない	無回答
総合	実数	1,779	1,156	401	214	8
		100.0	65.1	22.5	12.0	0.4
性別	男性	903	591	210	98	4
		100.0	65.4	23.3	10.9	0.4
	女性	857	556	185	112	4
	100.0	64.9	21.6	13.1	0.5	
	回答しない(無回答含む)	19	9	6	4	0
		100.0	47.4	31.6	21.1	0.0
年代別	10歳代	18	6	2	10	0
		100.0	33.3	11.1	55.6	0.0
	20歳代	126	55	23	47	1
		100.0	43.7	18.3	37.3	0.8
	30歳代	214	139	36	39	0
		100.0	65.0	16.8	18.2	0.0
	40歳代	386	250	79	56	1
		100.0	64.8	20.5	14.5	0.3
	50歳代	400	269	92	37	2
	100.0	67.3	23.0	9.3	0.5	
60歳代	428	304	105	19	0	
	100.0	71.0	24.5	4.4	0.0	
70歳以上	203	131	63	6	3	
	100.0	64.5	31.0	3.0	1.5	
	無回答	4	2	1	0	1
		100.0	50.0	25.0	0.0	25.0
職業別	農林業	88	67	14	7	0
		100.0	76.1	15.9	8.0	0.0
	漁業	4	1	3	0	0
		100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	78	36	13	1
		100.0	60.9	28.1	10.2	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	528	128	81	2
		100.0	71.4	17.3	11.0	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	34	12	4	0
		100.0	68.0	24.0	8.0	0.0
	主婦・主夫	136	103	27	5	1
		100.0	75.7	19.9	3.7	0.7
	パート・アルバイト	229	122	69	38	0
	100.0	53.3	30.1	16.6	0.0	
学生	49	21	6	22	0	
	100.0	42.9	12.2	44.9	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	151	75	25	2	
	100.0	59.7	29.6	9.9	0.8	
その他	92	47	27	16	2	
	100.0	51.1	29.3	17.4	2.2	
	無回答	11	4	4	3	0
		100.0	36.4	36.4	27.3	0.0
同居人数	0人(独居)	143	68	53	21	1
		100.0	47.6	37.1	14.7	0.7
	1人	428	288	106	33	1
		100.0	67.3	24.8	7.7	0.2
	2人	441	286	105	49	1
		100.0	64.9	23.8	11.1	0.2
	3人	390	263	65	61	1
		100.0	67.4	16.7	15.6	0.3
	4人	227	144	47	33	3
	100.0	63.4	20.7	14.5	1.3	
5人	92	68	15	9	0	
	100.0	73.9	16.3	9.8	0.0	
6人以上	52	37	9	6	0	
	100.0	71.2	17.3	11.5	0.0	
	無回答	6	2	1	2	1
		100.0	33.3	16.7	33.3	16.7
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	76	18	14	0
		100.0	70.4	16.7	13.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	65	16	9	0
		100.0	72.2	17.8	10.0	0.0
	小学生	221	166	34	21	0
		100.0	75.1	15.4	9.5	0.0
	70歳以上の人	533	344	117	68	4
		100.0	64.5	22.0	12.8	0.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	69	27	11	1
	100.0	63.9	25.0	10.2	0.9	
妊産婦	8	6	1	1	0	
	100.0	75.0	12.5	12.5	0.0	
1～6の人はいない	920	581	218	118	3	
	100.0	63.2	23.7	12.8	0.3	
	無回答	41	27	10	3	1
		100.0	65.9	24.4	7.3	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	555	204	122	4
		100.0	62.7	23.1	13.8	0.5
	浸水予測区域外	894	601	197	92	4
		100.0	67.2	22.0	10.3	0.4

問30 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。（ひとつだけ〇）

上段：人数

下段：%

		サンプル	い 残 量 が な つ た 時 分 刻 から	程 度 が な つ た 時 分 刻	無 残 量 が な つ た 時 分 刻	機 会 は な い 給 油 し な い	無 回 答
総合	実数	1,779	520	719	388	137	15
		100.0	29.2	40.4	21.8	7.7	0.8
性別	男性	903	265	376	215	41	6
		100.0	29.3	41.6	23.8	4.5	0.7
	女性	857	249	335	172	92	9
	100.0	29.1	39.1	20.1	10.7	1.1	
	回答しない(無回答含む)	19	6	8	1	4	0
		100.0	31.6	42.1	5.3	21.1	0.0
年代別	10歳代	18	1	5	1	11	0
		100.0	5.6	27.8	5.6	61.1	0.0
	20歳代	126	34	39	29	24	0
		100.0	27.0	31.0	23.0	19.0	0.0
	30歳代	214	45	91	67	11	0
		100.0	21.0	42.5	31.3	5.1	0.0
	40歳代	386	100	150	121	13	2
		100.0	25.9	38.9	31.3	3.4	0.5
50歳代	400	125	180	76	17	2	
	100.0	31.3	45.0	19.0	4.3	0.5	
60歳代	428	142	176	75	32	3	
	100.0	33.2	41.1	17.5	7.5	0.7	
70歳以上	203	70	77	19	29	8	
	100.0	34.5	37.9	9.4	14.3	3.9	
	無回答	4	3	1	0	0	0
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	28	39	16	5	0
		100.0	31.8	44.3	18.2	5.7	0.0
	漁業	4	1	1	2	0	0
		100.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	32	65	27	4	0
		100.0	25.0	50.8	21.1	3.1	0.0
	会社員（役員を含む）、公務員	739	214	305	197	22	1
		100.0	29.0	41.3	26.7	3.0	0.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	13	23	12	2	0
		100.0	26.0	46.0	24.0	4.0	0.0
	主婦・主夫	136	51	51	19	12	3
		100.0	37.5	37.5	14.0	8.8	2.2
パート・アルバイト	229	57	93	53	23	3	
	100.0	24.9	40.6	23.1	10.0	1.3	
学生	49	9	11	6	23	0	
	100.0	18.4	22.4	12.2	46.9	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	93	86	29	40	5	
	100.0	36.8	34.0	11.5	15.8	2.0	
	その他	92	19	41	24	5	3
		100.0	20.7	44.6	26.1	5.4	3.3
	無回答	11	3	4	3	1	0
		100.0	27.3	36.4	27.3	9.1	0.0
同居人数	0人(独居)	143	37	47	27	26	6
		100.0	25.9	32.9	18.9	18.2	4.2
	1人	428	139	190	69	28	2
		100.0	32.5	44.4	16.1	6.5	0.5
	2人	441	131	177	96	35	2
		100.0	29.7	40.1	21.8	7.9	0.5
	3人	390	110	161	89	28	2
		100.0	28.2	41.3	22.8	7.2	0.5
4人	227	61	86	68	10	2	
	100.0	26.9	37.9	30.0	4.4	0.9	
5人	92	22	35	28	7	0	
	100.0	23.9	38.0	30.4	7.6	0.0	
6人以上	52	16	22	11	3	0	
	100.0	30.8	42.3	21.2	5.8	0.0	
	無回答	6	4	1	0	0	1
		100.0	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7
ご家族の 方はいら っしゃい ますか	3歳以下の乳幼児	108	29	40	36	3	0
		100.0	26.9	37.0	33.3	2.8	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	26	37	26	1	0
		100.0	28.9	41.1	28.9	1.1	0.0
	小学生	221	51	87	77	6	0
		100.0	23.1	39.4	34.8	2.7	0.0
	70歳以上の人	533	174	214	89	51	5
		100.0	32.6	40.2	16.7	9.6	0.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	34	40	16	16	2
		100.0	31.5	37.0	14.8	14.8	1.9
妊産婦	8	4	3	1	0	0	
	100.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	263	381	199	71	6	
	100.0	28.6	41.4	21.6	7.7	0.7	
	無回答	41	12	17	5	4	3
		100.0	29.3	41.5	12.2	9.8	7.3
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	245	359	200	74	7
		100.0	27.7	40.6	22.6	8.4	0.8
	浸水予測区域外	894	275	360	188	63	8
		100.0	30.8	40.3	21.0	7.0	0.9

問3 1 問30で「1. 残量が半分くらいになった時」、「2. 残量が4分の1程度になった時」、
 「3. 残量がほとんど無くなった時」と回答した人におたずねします。
 普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	満タンにする	入る満タンに一定の量を	分に満タンを入れるの金額	無回答
総合	実数	1,627	1,333	57	226	11
		100.0	81.9	3.5	13.9	0.7
性別	男性	856	703	29	118	6
		100.0	82.1	3.4	13.8	0.7
	女性	756	617	28	106	5
		100.0	81.6	3.7	14.0	0.7
	回答しない(無回答含む)	15	13	0	2	0
		100.0	86.7	0.0	13.3	0.0
年代別	10歳代	7	5	1	1	0
		100.0	71.4	14.3	14.3	0.0
	20歳代	102	78	0	22	2
		100.0	76.5	0.0	21.6	2.0
	30歳代	203	155	9	38	1
		100.0	76.4	4.4	18.7	0.5
	40歳代	371	298	8	62	3
		100.0	80.3	2.2	16.7	0.8
	50歳代	381	313	18	48	2
	100.0	82.2	4.7	12.6	0.5	
60歳代	393	335	14	43	1	
	100.0	85.2	3.6	10.9	0.3	
70歳以上	166	145	7	12	2	
	100.0	87.3	4.2	7.2	1.2	
	無回答	4	4	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	83	75	3	4	1
		100.0	90.4	3.6	4.8	1.2
	漁業	4	3	0	1	0
		100.0	75.0	0.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	124	104	5	14	1
		100.0	83.9	4.0	11.3	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	716	593	17	104	2
		100.0	82.8	2.4	14.5	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	48	38	1	9	0
		100.0	79.2	2.1	18.8	0.0
	主婦・主夫	121	104	6	11	0
		100.0	86.0	5.0	9.1	0.0
	パート・アルバイト	203	151	8	41	3
	100.0	74.4	3.9	20.2	1.5	
学生	26	22	1	2	1	
	100.0	84.6	3.8	7.7	3.8	
無職(すでに退職を含む)	208	175	9	23	1	
	100.0	84.1	4.3	11.1	0.5	
その他	84	60	7	15	2	
	100.0	71.4	8.3	17.9	2.4	
	無回答	10	8	0	2	0
		100.0	80.0	0.0	20.0	0.0
同居人数	0人(独居)	111	86	7	17	1
		100.0	77.5	6.3	15.3	0.9
	1人	398	333	17	44	4
		100.0	83.7	4.3	11.1	1.0
	2人	404	329	15	57	3
		100.0	81.4	3.7	14.1	0.7
	3人	360	299	9	50	2
		100.0	83.1	2.5	13.9	0.6
	4人	215	172	5	38	0
	100.0	80.0	2.3	17.7	0.0	
5人	85	69	2	14	0	
	100.0	81.2	2.4	16.5	0.0	
6人以上	49	40	2	6	1	
	100.0	81.6	4.1	12.2	2.0	
	無回答	5	5	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	105	88	4	13	0
		100.0	83.8	3.8	12.4	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	89	68	3	18	0
		100.0	76.4	3.4	20.2	0.0
	小学生	215	170	9	34	2
		100.0	79.1	4.2	15.8	0.9
	70歳以上の人	477	403	12	59	3
		100.0	84.5	2.5	12.4	0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	90	80	2	8	0
	100.0	88.9	2.2	8.9	0.0	
妊産婦	8	7	0	1	0	
	100.0	87.5	0.0	12.5	0.0	
1~6の人はいない	843	687	32	118	6	
	100.0	81.5	3.8	14.0	0.7	
	無回答	34	25	4	5	0
		100.0	73.5	11.8	14.7	0.0
浸水予測区域別	浸水予測区域内	804	642	31	127	4
		100.0	79.9	3.9	15.8	0.5
	浸水予測区域外	823	691	26	99	7
		100.0	84.0	3.2	12.0	0.9

問3 2 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

	サンプル	固定している	寝室(子供部屋を含む)だけ固定している	固定が必要な家具や家電などがない	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	無回答
総合	実数	1,779	361	131	1,093	176	18
		100.0	20.3	7.4	61.4	9.9	1.0
性別	男性	903	198	62	546	91	6
		100.0	21.9	6.9	60.5	10.1	0.7
	女性	857	158	68	535	84	12
		100.0	18.4	7.9	62.4	9.8	1.4
	回答しない(無回答含む)	19	5	1	12	1	0
		100.0	26.3	5.3	63.2	5.3	0.0
年代別	10歳代	18	3	2	11	2	0
		100.0	16.7	11.1	61.1	11.1	0.0
	20歳代	126	30	9	74	13	0
		100.0	23.8	7.1	58.7	10.3	0.0
	30歳代	214	36	11	139	28	0
		100.0	16.8	5.1	65.0	13.1	0.0
	40歳代	386	69	29	237	49	2
		100.0	17.9	7.5	61.4	12.7	0.5
	50歳代	400	98	32	239	28	3
	100.0	24.5	8.0	59.8	7.0	0.8	
	60歳代	428	86	38	270	33	1
		100.0	20.1	8.9	63.1	7.7	0.2
	70歳以上	203	37	10	121	23	12
		100.0	18.2	4.9	59.6	11.3	5.9
	無回答	4	2	0	2	0	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	13	2	61	8	4
		100.0	14.8	2.3	69.3	9.1	4.5
	漁業	4	1	0	2	1	0
		100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	25	9	83	11	0
		100.0	19.5	7.0	64.8	8.6	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	160	54	461	63	1
		100.0	21.7	7.3	62.4	8.5	0.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	12	3	30	5	0
		100.0	24.0	6.0	60.0	10.0	0.0
	主婦・主夫	136	24	19	78	13	2
		100.0	17.6	14.0	57.4	9.6	1.5
	パート・アルバイト	229	43	14	147	25	0
		100.0	18.8	6.1	64.2	10.9	0.0
学生	49	16	5	22	6	0	
	100.0	32.7	10.2	44.9	12.2	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	50	20	145	31	7	
	100.0	19.8	7.9	57.3	12.3	2.8	
その他	92	13	5	59	11	4	
	100.0	14.1	5.4	64.1	12.0	4.3	
	無回答	11	4	0	5	2	0
		100.0	36.4	0.0	45.5	18.2	0.0
同居人数	0人(独居)	143	14	8	94	26	1
		100.0	9.8	5.6	65.7	18.2	0.7
	1人	428	102	32	255	34	5
		100.0	23.8	7.5	59.6	7.9	1.2
	2人	441	92	35	265	44	5
		100.0	20.9	7.9	60.1	10.0	1.1
	3人	390	80	22	242	43	3
		100.0	20.5	5.6	62.1	11.0	0.8
	4人	227	45	21	142	18	1
	100.0	19.8	9.3	62.6	7.9	0.4	
5人	92	15	8	59	9	1	
	100.0	16.3	8.7	64.1	9.8	1.1	
6人以上	52	11	4	35	2	0	
	100.0	21.2	7.7	67.3	3.8	0.0	
	無回答	6	2	1	1	0	2
		100.0	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	14	10	69	15	0
		100.0	13.0	9.3	63.9	13.9	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	9	8	58	15	0
		100.0	10.0	8.9	64.4	16.7	0.0
	小学生	221	40	18	127	35	1
		100.0	18.1	8.1	57.5	15.8	0.5
	70歳以上の人	533	112	44	334	32	11
		100.0	21.0	8.3	62.7	6.0	2.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	19	8	70	11	0
	100.0	17.6	7.4	64.8	10.2	0.0	
妊産婦	8	0	0	8	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	920	197	59	568	91	5	
	100.0	21.4	6.4	61.7	9.9	0.5	
	無回答	41	9	4	21	6	1
		100.0	22.0	9.8	51.2	14.6	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	178	63	550	87	7
		100.0	20.1	7.1	62.1	9.8	0.8
	浸水予測区域外	894	183	68	543	89	11
		100.0	20.5	7.6	60.7	10.0	1.2

問33 問32で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。
 固定していない家具や家電などとは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
 下段：%

		サンプル	タンス	本棚	食器棚	戸棚	冷蔵庫	電子レンジ	テレビ	ピアノ	その他	無回答	
総合	実数	1,224	715 58.4	456 37.3	755 61.7	279 22.8	1,017 83.1	846 69.1	898 73.4	169 13.8	15 1.2	23 1.9	
性別	男性	608	376 61.8	229 37.7	382 62.8	151 24.8	499 82.1	411 67.6	461 75.8	65 10.7	9 1.5	12 2.0	
	女性	603	331 54.9	223 37.0	366 60.7	124 20.6	507 84.1	426 70.6	430 71.3	102 16.9	6 1.0	9 1.5	
	回答しない(無回答含む)	13	8 61.5	4 30.8	7 53.8	4 30.8	11 84.6	9 69.2	7 53.8	2 15.4	0 0.0	2 15.4	
年代別	10歳代	13	5 38.5	5 38.5	6 46.2	3 23.1	7 53.8	11 84.6	9 69.2	3 23.1	1 7.7	0 0.0	
	20歳代	83	55 66.3	34 41.0	55 66.3	26 31.3	68 81.9	59 71.1	64 77.1	13 15.7	0 0.0	2 2.4	
	30歳代	150	62 41.3	47 31.3	76 50.7	32 21.3	121 80.7	108 72.0	115 76.7	17 11.3	1 0.7	2 1.3	
	40歳代	266	128 48.1	94 35.3	143 53.8	51 19.2	212 79.7	163 61.3	185 69.5	39 14.7	3 1.1	5 1.9	
	50歳代	271	186 68.6	117 43.2	183 67.5	61 22.5	235 86.7	204 75.3	194 71.6	40 14.8	4 1.5	4 1.5	
	60歳代	308	198 64.3	116 37.7	203 65.9	70 22.7	263 85.4	221 71.8	237 76.9	41 13.3	4 1.3	4 1.3	
	70歳以上	131	81 61.8	43 32.8	88 67.2	35 26.7	110 84.0	79 60.3	92 70.2	16 12.2	2 1.5	6 4.6	
	無回答	2	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
職業別	農林業	63	45 71.4	21 33.3	43 68.3	12 19.0	50 79.4	39 61.9	48 76.2	8 12.7	1 1.6	1 1.6	
	漁業	2	1 50.0	0 0.0	2 100.0	2 50.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	商工サービス業自営	92	63 68.5	49 53.3	63 68.5	30 32.6	79 85.9	67 72.8	69 75.0	10 10.9	1 1.1	1 1.1	
	会社員（役員を含む）、公務員	515	291 56.5	194 37.7	301 58.4	103 20.0	422 81.9	344 66.8	378 73.4	76 14.8	5 1.0	12 2.3	
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	33	19 57.6	13 39.4	24 72.7	10 30.3	25 75.8	23 69.7	21 63.6	3 9.1	1 3.0	3 9.1	
	主婦・主夫	97	44 45.4	30 30.9	59 60.8	18 18.6	86 88.7	72 74.2	60 61.9	14 14.4	1 1.0	1 1.0	
	パート・アルバイト	161	94 58.4	59 36.6	97 60.2	31 19.3	132 82.0	108 67.1	119 73.9	20 12.4	1 0.6	0 0.0	
	学生	27	16 59.3	11 40.7	15 55.6	9 33.3	19 70.4	23 85.2	21 77.8	7 25.9	0 0.0	0 0.0	
	無職（すでに退職を含む）	165	101 61.2	55 33.3	108 65.5	51 30.9	143 86.7	115 69.7	127 77.0	20 12.1	3 1.8	4 2.4	
	その他	64	38 59.4	23 35.9	39 60.9	14 21.9	55 85.9	49 76.6	48 75.0	11 17.2	2 3.1	1 1.6	
	無回答	5	3 60.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	同居人数	0人（独居）	102	59 57.8	28 27.5	57 55.9	24 23.5	86 84.3	73 71.6	75 73.5	6 5.9	3 2.9	3 2.9
1人		287	186 64.8	114 39.7	188 65.5	61 21.3	241 84.0	199 69.3	208 72.5	37 12.9	4 1.4	4 1.4	
2人		300	195 65.0	126 42.0	197 65.7	73 24.3	247 82.3	209 69.7	214 71.3	36 12.0	3 1.0	5 1.7	
3人		264	137 51.9	89 33.7	163 61.7	66 25.0	221 83.7	179 67.8	200 75.8	40 15.2	3 1.1	2 0.8	
4人		163	72 44.2	53 32.5	83 50.9	26 16.0	131 80.4	107 65.6	122 74.8	28 17.2	1 0.6	7 4.3	
5人		67	39 58.2	29 43.3	41 61.2	20 29.9	57 85.1	49 73.1	45 67.2	15 22.4	0 0.0	1 1.5	
6人以上		39	27 69.2	16 41.0	24 61.5	9 23.1	32 82.1	29 74.4	32 82.1	7 17.9	1 2.6	1 2.6	
無回答		2	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	2 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか		3歳以下の乳幼児	79	32 40.5	28 35.4	36 45.6	15 19.0	66 83.5	59 74.7	56 70.9	10 12.7	0 0.0	1 1.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	66	26 39.4	15 22.7	32 48.5	13 19.7	54 81.8	48 72.7	45 68.2	15 22.7	0 0.0	1 1.5	
	小学生	145	58 40.0	39 26.9	70 48.3	22 15.2	118 81.4	94 64.8	104 71.7	23 15.9	1 0.7	4 2.8	
	70歳以上の人	378	249 65.9	162 42.9	259 68.5	106 28.0	309 81.7	249 65.9	267 70.6	54 14.3	3 0.8	9 2.4	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	78	46 59.0	33 42.3	50 64.1	23 29.5	64 82.1	57 73.1	54 69.2	8 10.3	0 0.0	1 1.3	
	妊産婦	8	3 37.5	3 37.5	3 37.5	2 25.0	6 75.0	6 75.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	1～6の人はいない	627	384 61.2	239 38.1	395 63.0	142 22.6	529 84.4	448 71.5	478 76.2	87 13.9	10 1.6	9 1.4	
	無回答	25	12 48.0	5 20.0	12 48.0	4 16.0	19 76.0	16 64.0	17 68.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	
	区域別	浸水予測区域内	613	373 60.8	230 37.5	391 63.8	140 22.8	498 81.2	424 69.2	443 72.3	74 12.1	6 1.0	12 2.0
		浸水予測区域外	611	342 56.0	226 37.0	364 59.6	139 22.7	519 84.9	422 69.1	455 74.5	95 15.5	9 1.5	11 1.8

問3 4 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	つ建物や家具を傷	から固定の方法がわ	借家である	費用がかかる	手間がかかる	大固定しなくても大丈夫だと思う	は固定しても言う	な南海トラフ地震	が地震災害に関心	その他	無回答
総合	実数	1,224	157	259	119	312	479	181	265	75	17	124	26
			12.8	21.2	9.7	25.5	39.1	14.8	21.7	6.1	1.4	10.1	2.1
	男性	608	77	91	63	151	247	113	140	50	9	51	12
	女性	603	80	164	53	158	230	67	124	24	8	72	13
回答しない(無回答含む)		13	0	4	3	3	2	1	1	1	0	1	1
			0.0	30.8	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7
年代別	10歳代	13	1	3	2	5	6	0	1	0	0	3	0
			7.7	23.1	15.4	38.5	46.2	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0
	20歳代	83	8	15	11	26	45	6	12	6	2	9	5
			9.6	18.1	13.3	31.3	54.2	7.2	14.5	7.2	2.4	10.8	6.0
	30歳代	150	26	28	19	44	65	23	30	7	2	13	0
			17.3	18.7	12.7	29.3	43.3	15.3	20.0	4.7	1.3	8.7	0.0
	40歳代	266	51	63	23	76	104	39	45	10	3	26	3
			19.2	23.7	8.6	28.6	39.1	14.7	16.9	3.8	1.1	9.8	1.1
	50歳代	271	38	50	33	80	113	32	58	13	2	26	4
		14.0	18.5	12.2	29.5	41.7	11.8	21.4	4.8	0.7	9.6	1.5	
60歳代	308	25	72	25	57	111	51	82	23	5	32	7	
		8.1	23.4	8.1	18.5	36.0	16.6	26.6	7.5	1.6	10.4	2.3	
70歳以上	131	8	28	6	24	35	29	37	16	3	14	7	
		6.1	21.4	4.6	18.3	26.7	22.1	28.2	12.2	2.3	10.7	5.3	
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
職業別	農林業	63	6	8	4	14	24	12	12	7	0	5	3
			9.5	12.7	6.3	22.2	38.1	19.0	19.0	11.1	0.0	7.9	4.8
	漁業	2	0	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0
			0.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	92	9	19	4	19	40	14	23	9	3	7	1
			9.8	20.7	4.3	20.7	43.5	15.2	25.0	9.8	3.3	7.6	1.1
	会社員(役員を含む)、公務員	515	87	95	48	138	217	82	91	29	8	48	6
			16.9	18.4	9.3	26.8	42.1	15.9	17.7	5.6	1.6	9.3	1.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	33	1	6	3	5	13	5	8	4	0	4	1
			3.0	18.2	9.1	15.2	39.4	15.2	24.2	12.1	0.0	12.1	3.0
	主婦・主夫	97	14	25	8	14	31	17	19	6	1	7	2
		14.4	25.8	8.2	14.4	32.0	17.5	19.6	6.2	1.0	7.2	2.1	
パート・アルバイト	161	19	42	21	46	56	14	44	7	1	17	4	
		11.8	26.1	13.0	28.6	34.8	8.7	27.3	4.3	0.6	10.6	2.5	
学生	27	2	5	2	9	14	1	4	0	0	6	3	
		7.4	18.5	7.4	33.3	51.9	3.7	14.8	0.0	0.0	22.2	11.1	
無職(すでに退職を含む)	165	12	41	14	40	59	29	44	10	3	20	5	
		7.3	24.8	8.5	24.2	35.8	17.6	26.7	6.1	1.8	12.1	3.0	
その他	64	7	15	14	24	22	6	18	3	1	8	1	
		10.9	23.4	21.9	37.5	34.4	9.4	28.1	4.7	1.6	12.5	1.6	
無回答	5	0	2	0	2	1	0	1	0	0	2	0	
		0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	102	13	28	23	21	35	15	30	4	3	6	2
			12.7	27.5	22.5	20.6	34.3	14.7	29.4	3.9	2.9	5.9	2.0
	1人	287	44	65	32	72	111	42	66	24	1	35	3
			15.3	22.6	11.1	25.1	38.7	14.6	23.0	8.4	0.3	12.2	1.0
	2人	300	29	59	30	75	118	46	65	16	7	28	5
			9.7	19.7	10.0	25.0	39.3	15.3	21.7	5.3	2.3	9.3	1.7
	3人	264	38	55	12	71	105	37	51	18	2	32	7
			14.4	20.8	4.5	26.9	39.8	14.0	19.3	6.8	0.8	12.1	2.7
	4人	163	22	32	15	43	65	23	30	4	2	14	4
			13.5	19.6	9.2	26.4	39.9	14.1	18.4	2.5	1.2	8.6	2.5
5人	67	7	13	6	21	28	7	15	7	2	7	2	
		10.4	19.4	9.0	31.3	41.8	10.4	22.4	10.4	3.0	10.4	3.0	
6人以上	39	4	7	1	9	17	11	7	2	0	1	3	
		10.3	17.9	2.6	23.1	43.6	28.2	17.9	5.1	0.0	2.6	7.7	
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
ご家族のうちの、次に該当する	3歳以下の乳幼児	79	12	19	9	25	31	16	10	4	1	8	2
			15.2	24.1	11.4	31.6	39.2	20.3	12.7	5.1	1.3	10.1	2.5
	4歳以上で小学校入学前の子ども	66	16	13	7	20	28	13	10	3	0	6	0
			24.2	19.7	10.6	30.3	42.4	19.7	15.2	4.5	0.0	9.1	0.0
	小学生	145	25	26	12	43	57	19	20	6	0	12	3
			17.2	17.9	8.3	29.7	39.3	13.1	13.8	4.1	0.0	8.3	2.1
	70歳以上の人	378	31	89	20	98	165	55	85	30	5	40	11
			8.2	23.5	5.3	25.9	43.7	14.6	22.5	7.9	1.3	10.6	2.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	78	2	22	7	17	40	15	14	6	2	8	3
		2.6	28.2	9.0	21.8	51.3	19.2	17.9	7.7	2.6	10.3	3.8	
妊産婦	8	1	2	1	2	2	2	1	0	0	1	0	
		12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	
1~6の人はいない	627	86	122	78	152	228	91	144	34	10	63	12	
		13.7	19.5	12.4	24.2	36.4	14.5	23.0	5.4	1.6	10.0	1.9	
無回答	25	5	5	2	5	5	2	7	1	1	3	0	
		20.0	20.0	8.0	20.0	20.0	8.0	28.0	4.0	4.0	12.0	0.0	
区域別	浸水予測区域内	613	81	122	69	149	242	89	138	28	10	56	15
			13.2	19.9	11.3	24.3	39.5	14.5	22.5	4.6	1.6	9.1	2.4
	浸水予測区域外	611	76	137	50	163	237	92	127	47	7	68	11
		12.4	22.4	8.2	26.7	38.8	15.1	20.8	7.7	1.1	11.1	1.8	

問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。
(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	知 っ て い る	知 ら な い	む （ 既 に 利 用 中 を 含 む	無 回 答
総 合	実数	1,779	468	1,285	8	18
		100.0	26.3	72.3	0.4	1.0
性 別	男性	903	242	651	3	7
		100.0	26.8	72.1	0.3	0.8
	女性	857	223	618	5	11
	100.0	26.0	72.1	0.6	1.3	
	回答しない(無回答含む)	19	3	16	0	0
		100.0	15.8	84.2	0.0	0.0
年 代 別	10歳代	18	6	12	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	20歳代	126	23	101	0	2
		100.0	18.3	80.2	0.0	1.6
	30歳代	214	57	156	0	1
		100.0	26.6	72.9	0.0	0.5
	40歳代	386	94	289	2	1
		100.0	24.4	74.9	0.5	0.3
	50歳代	400	100	297	0	3
	100.0	25.0	74.3	0.0	0.8	
60歳代	428	117	303	3	5	
	100.0	27.3	70.8	0.7	1.2	
70歳以上	203	70	124	3	6	
	100.0	34.5	61.1	1.5	3.0	
	無回答	4	1	3	0	0
		100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
職 業 別	農林業	88	27	60	0	1
		100.0	30.7	68.2	0.0	1.1
	漁業	4	1	3	0	0
		100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	27	99	0	2
		100.0	21.1	77.3	0.0	1.6
	会社員(役員を含む)、公務員	739	180	554	1	4
		100.0	24.4	75.0	0.1	0.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	13	37	0	0
		100.0	26.0	74.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	136	31	103	1	1
		100.0	22.8	75.7	0.7	0.7
パート・アルバイト	229	61	164	2	2	
	100.0	26.6	71.6	0.9	0.9	
学生	49	11	37	0	1	
	100.0	22.4	75.5	0.0	2.0	
無職(すでに退職を含む)	253	86	159	4	4	
	100.0	34.0	62.8	1.6	1.6	
その他	92	28	61	0	3	
	100.0	30.4	66.3	0.0	3.3	
	無回答	11	3	8	0	0
		100.0	27.3	72.7	0.0	0.0
同 居 人 数	0人(独居)	143	39	102	0	2
		100.0	27.3	71.3	0.0	1.4
	1人	428	113	311	3	1
		100.0	26.4	72.7	0.7	0.2
	2人	441	131	303	3	4
		100.0	29.7	68.7	0.7	0.9
	3人	390	93	291	0	6
		100.0	23.8	74.6	0.0	1.5
	4人	227	53	170	1	3
	100.0	23.3	74.9	0.4	1.3	
5人	92	25	67	0	0	
	100.0	27.2	72.8	0.0	0.0	
6人以上	52	13	38	0	1	
	100.0	25.0	73.1	0.0	1.9	
	無回答	6	1	3	1	1
		100.0	16.7	50.0	16.7	16.7
ご 家 族 の 中 に 、 次 に 該 当 す る	3歳以下の乳幼児	108	31	77	0	0
		100.0	28.7	71.3	0.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	33	56	1	0
		100.0	36.7	62.2	1.1	0.0
	小学生	221	62	158	1	0
		100.0	28.1	71.5	0.5	0.0
	70歳以上の人	533	145	378	3	7
		100.0	27.2	70.9	0.6	1.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	34	72	0	2
	100.0	31.5	66.7	0.0	1.9	
妊産婦	8	3	5	0	0	
	100.0	37.5	62.5	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	225	683	3	9	
	100.0	24.5	74.2	0.3	1.0	
	無回答	41	12	28	0	1
		100.0	29.3	68.3	0.0	2.4
区 域 別	浸水予測区域内	885	237	631	6	11
		100.0	26.8	71.3	0.7	1.2
	浸水予測区域外	894	231	654	2	7
		100.0	25.8	73.2	0.2	0.8

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	整備 談など 相談 できる 環境 の相 置	知配 布な どに よる 周	費用 詳細 い固 定方 法や	専門 家の 派遣 してく れる	具 必要 な費 用の 補 金 （取 り付 け金 含む）	政 個人 宅な ので はな いも すべ き	そ 他	無 回 答
総合	実数	1,779	625 35.1	1,104 62.1	469 26.4	917 51.5	61 3.4	49 2.8	53 3.0	
性別	男性	903	309 34.2	548 60.7	220 24.4	457 50.6	40 4.4	30 3.3	22 2.4	
	女性	857	313 36.5	548 63.9	245 28.6	451 52.6	20 2.3	16 1.9	29 3.4	
	回答しない(無回答含む)	19	3 15.8	8 42.1	4 21.1	9 47.4	1 5.3	3 15.8	2 10.5	
年代別	10歳代	18	8 44.4	12 66.7	9 50.0	9 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20歳代	126	47 37.3	83 65.9	32 25.4	80 63.5	3 2.4	2 1.6	1 0.8	
	30歳代	214	52 24.3	139 65.0	58 27.1	117 54.7	11 5.1	8 3.7	2 0.9	
	40歳代	386	135 35.0	235 60.9	98 25.4	200 51.8	17 4.4	12 3.1	5 1.3	
	50歳代	400	147 36.8	251 62.7	109 27.3	207 51.7	13 3.3	11 2.8	8 2.0	
	60歳代	428	159 37.1	264 61.7	115 26.9	217 50.7	12 2.8	11 2.6	19 4.4	
	70歳以上	203	75 36.9	118 58.1	45 22.2	85 41.9	5 2.5	5 2.5	18 8.9	
	無回答	4	2 50.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
職業別	農林業	88	29 33.0	42 47.7	16 18.2	33 37.5	4 4.5	2 2.3	7 8.0	
	漁業	4	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
	商工サービス業自営	128	39 30.5	76 59.4	31 24.2	67 52.3	4 3.1	4 3.1	8 6.3	
	会社員(役員を含む)、公務員	739	248 33.6	474 64.1	205 27.7	403 54.5	25 3.4	23 3.1	7 0.9	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	17 34.0	28 56.0	15 30.0	21 42.0	6 12.0	0 0.0	2 4.0	
	主婦・主夫	136	48 35.3	92 67.6	33 24.3	57 41.9	2 1.5	3 2.2	6 4.4	
	パート・アルバイト	229	96 41.9	135 59.0	58 25.3	121 52.8	8 3.5	6 2.6	3 1.3	
	学生	49	22 44.9	31 63.3	20 40.8	28 57.1	2 4.1	1 2.0	0 0.0	
	無職(すでに退職を含む)	253	88 34.8	161 63.6	56 22.1	127 50.2	4 1.6	9 3.6	14 5.5	
	その他	92	32 34.8	55 59.8	29 31.5	51 55.4	5 5.4	1 1.1	6 6.5	
	無回答	11	5 45.5	8 72.7	6 54.5	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	同居人数	0人(独居)	143	44 30.8	83 58.0	27 18.9	60 42.0	5 3.5	4 2.8	4 2.8
1人		428	149 34.8	306 71.5	120 28.0	221 51.6	13 3.0	6 1.4	11 2.6	
2人		441	166 37.6	263 59.6	119 27.0	224 50.8	16 3.6	17 3.9	19 4.3	
3人		390	136 34.9	233 59.7	100 25.6	202 51.8	10 2.6	12 3.1	11 2.8	
4人		227	71 31.3	135 59.5	59 26.0	132 58.1	12 5.3	7 3.1	3 1.3	
5人		92	33 35.9	49 53.3	28 30.4	50 54.3	5 5.4	2 2.2	0 0.0	
6人以上		52	23 44.2	33 63.5	14 26.9	25 48.1	0 0.0	1 1.9	3 5.8	
無回答		6	3 50.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	108	32 29.6	66 61.1	29 26.9	62 57.4	4 3.7	6 5.6	1 0.9	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	32 35.6	61 67.8	26 28.9	53 58.9	2 2.2	3 3.3	0 0.0	
	小学生	221	72 32.6	137 62.0	62 28.1	125 56.6	6 2.7	2 0.9	2 0.9	
	70歳以上の人	533	205 38.5	328 61.5	145 27.2	267 50.1	16 3.0	15 2.8	24 4.5	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	45 41.7	66 61.1	33 30.6	57 52.8	5 4.6	4 3.7	4 3.7	
	妊産婦	8	3 37.5	6 75.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
	1～6の人はいない	920	306 33.3	577 62.7	233 25.3	481 52.3	33 3.6	23 2.5	25 2.7	
	無回答	41	18 43.9	22 53.7	12 29.3	16 39.0	1 2.4	1 2.4	2 4.9	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	297 33.6	543 61.4	228 25.8	450 50.8	37 4.2	22 2.5	31 3.5	
	浸水予測区域外	894	328 36.7	561 62.8	241 27.0	467 52.2	24 2.7	27 3.0	22 2.5	

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	ある	危険な ので取り	安全な 塀にフェンス	もともとな	その他	無回答
総合	実数	1,779	1,007	11	41	684	22	14
		100.0	56.7	0.6	2.3	38.4	1.2	0.8
性別	男性	903	494	6	17	372	9	5
	女性	857	501	5	24	305	13	9
	回答しない(無回答含む)	19	12	0	0	7	0	0
		100.0	63.2	0.0	0.0	36.8	0.0	0.0
年代別	10歳代	18	11	0	0	7	0	0
		100.0	61.1	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0
	20歳代	126	62	1	3	54	4	2
		100.0	49.2	0.8	2.4	42.9	3.2	1.6
	30歳代	214	112	1	4	96	0	1
		100.0	52.3	0.5	1.9	44.9	0.0	0.5
	40歳代	386	198	1	8	173	5	1
		100.0	51.3	0.3	2.1	44.8	1.3	0.3
	50歳代	400	234	3	7	149	6	1
	100.0	58.5	0.8	1.8	37.3	1.5	0.3	
60歳代	428	265	3	14	142	2	2	
	100.0	61.9	0.7	3.3	33.2	0.5	0.5	
70歳以上	203	122	2	5	62	5	7	
	100.0	60.1	1.0	2.5	30.5	2.5	3.4	
無回答	4	3	0	0	1	0	0	
	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	88	61	1	1	25	0	0
		100.0	69.3	1.1	1.1	28.4	0.0	0.0
	漁業	4	3	0	0	1	0	0
		100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	73	1	2	51	1	0
		100.0	57.0	0.8	1.6	39.8	0.8	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	411	3	16	299	8	2
		100.0	55.6	0.4	2.2	40.5	1.1	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	25	0	1	24	0	0
		100.0	50.0	0.0	2.0	48.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	136	88	2	4	41	0	1
		100.0	64.7	1.5	2.9	30.1	0.0	0.7
	パート・アルバイト	229	124	1	5	95	4	0
	100.0	54.1	0.4	2.2	41.5	1.7	0.0	
学生	49	22	0	3	22	1	1	
	100.0	44.9	0.0	6.1	44.9	2.0	2.0	
無職(すでに退職を含む)	253	147	1	6	87	5	7	
	100.0	58.1	0.4	2.4	34.4	2.0	2.8	
その他	92	46	1	2	37	3	3	
	100.0	50.0	1.1	2.2	40.2	3.3	3.3	
無回答	11	7	1	1	2	0	0	
	100.0	63.6	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	143	73	0	4	64	1	1
		100.0	51.0	0.0	2.8	44.8	0.7	0.7
	1人	428	255	4	9	145	11	4
		100.0	59.6	0.9	2.1	33.9	2.6	0.9
	2人	441	267	5	6	160	1	2
		100.0	60.5	1.1	1.4	36.3	0.2	0.5
	3人	390	206	0	15	162	5	2
		100.0	52.8	0.0	3.8	41.5	1.3	0.5
	4人	227	115	0	3	104	2	3
	100.0	50.7	0.0	1.3	45.8	0.9	1.3	
5人	92	54	2	4	30	2	0	
	100.0	58.7	2.2	4.3	32.6	2.2	0.0	
6人以上	52	33	0	0	19	0	0	
	100.0	63.5	0.0	0.0	36.5	0.0	0.0	
無回答	6	4	0	0	0	0	2	
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	56	0	2	47	3	0
		100.0	51.9	0.0	1.9	43.5	2.8	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	42	1	4	42	1	0
		100.0	46.7	1.1	4.4	46.7	1.1	0.0
	小学生	221	99	1	8	111	2	0
		100.0	44.8	0.5	3.6	50.2	0.9	0.0
	70歳以上の人	533	341	2	12	168	5	5
		100.0	64.0	0.4	2.3	31.5	0.9	0.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	75	0	2	29	2	0
	100.0	69.4	0.0	1.9	26.9	1.9	0.0	
妊産婦	8	5	0	1	2	0	0	
	100.0	62.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	920	505	8	17	373	9	8	
	100.0	54.9	0.9	1.8	40.5	1.0	0.9	
無回答	41	28	0	2	9	1	1	
	100.0	68.3	0.0	4.9	22.0	2.4	2.4	
浸水予測	浸水予測区域内	885	514	9	17	329	9	7
		100.0	58.1	1.0	1.9	37.2	1.0	0.8
	浸水予測区域外	894	493	2	24	355	13	7
	100.0	55.1	0.2	2.7	39.7	1.5	0.8	

問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	安 全 点 検 し た 結 果 、	危 険 点 検 し た 結 果 、	点 検 し て い な い	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1,007	149	62	647	147	2
		100.0	14.8	6.2	64.2	14.6	0.2
性別	男性	494	91	33	310	58	2
		100.0	18.4	6.7	62.8	11.7	0.4
	女性	501	57	29	329	86	0
	100.0	11.4	5.8	65.7	17.2	0.0	
	回答しない(無回答含む)	12	1	0	8	3	0
		100.0	8.3	0.0	66.7	25.0	0.0
年代別	10歳代	11	2	0	5	4	0
		100.0	18.2	0.0	45.5	36.4	0.0
	20歳代	62	5	2	43	12	0
		100.0	8.1	3.2	69.4	19.4	0.0
	30歳代	112	9	9	66	28	0
		100.0	8.0	8.0	58.9	25.0	0.0
	40歳代	198	32	15	119	31	1
		100.0	16.2	7.6	60.1	15.7	0.5
	50歳代	234	35	8	161	29	1
	100.0	15.0	3.4	68.8	12.4	0.4	
60歳代	265	40	16	181	28	0	
	100.0	15.1	6.0	68.3	10.6	0.0	
70歳以上	122	26	12	69	15	0	
	100.0	21.3	9.8	56.6	12.3	0.0	
	無回答	3	0	0	3	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職業別	農林業	61	13	4	36	8	0
		100.0	21.3	6.6	59.0	13.1	0.0
	漁業	3	0	1	2	0	0
		100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	商工サービス業自営	73	11	6	46	10	0
		100.0	15.1	8.2	63.0	13.7	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	411	61	16	271	61	2
		100.0	14.8	3.9	65.9	14.8	0.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	25	7	3	13	2	0
		100.0	28.0	12.0	52.0	8.0	0.0
	主婦・主夫	88	18	5	57	8	0
		100.0	20.5	5.7	64.8	9.1	0.0
	パート・アルバイト	124	4	7	92	21	0
	100.0	3.2	5.6	74.2	16.9	0.0	
学生	22	3	1	12	6	0	
	100.0	13.6	4.5	54.5	27.3	0.0	
無職(すでに退職を含む)	147	27	15	83	22	0	
	100.0	18.4	10.2	56.5	15.0	0.0	
その他	46	5	2	31	8	0	
	100.0	10.9	4.3	67.4	17.4	0.0	
	無回答	7	0	2	4	1	0
		100.0	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
同居人数	0人(独居)	73	9	4	44	15	1
		100.0	12.3	5.5	60.3	20.5	1.4
	1人	255	44	16	167	28	0
		100.0	17.3	6.3	65.5	11.0	0.0
	2人	267	36	13	181	37	0
		100.0	13.5	4.9	67.8	13.9	0.0
	3人	206	24	13	139	30	0
		100.0	11.7	6.3	67.5	14.6	0.0
	4人	115	19	8	68	19	1
	100.0	16.5	7.0	59.1	16.5	0.9	
5人	54	6	4	31	13	0	
	100.0	11.1	7.4	57.4	24.1	0.0	
6人以上	33	11	3	15	4	0	
	100.0	33.3	9.1	45.5	12.1	0.0	
	無回答	4	0	1	2	1	0
		100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	56	7	2	36	11	0
		100.0	12.5	3.6	64.3	19.6	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	42	4	2	25	11	0
		100.0	9.5	4.8	59.5	26.2	0.0
	小学生	99	15	7	58	19	0
		100.0	15.2	7.1	58.6	19.2	0.0
	70歳以上の人	341	55	23	216	46	1
		100.0	16.1	6.7	63.3	13.5	0.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	75	8	7	53	7	0
	100.0	10.7	9.3	70.7	9.3	0.0	
妊産婦	5	1	0	2	2	0	
	100.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	
1～6の人はいない	505	73	31	334	67	0	
	100.0	14.5	6.1	66.1	13.3	0.0	
	無回答	28	7	1	13	6	1
		100.0	25.0	3.6	46.4	21.4	3.6
浸水予測	浸水予測区域内	514	65	32	331	85	1
		100.0	12.6	6.2	64.4	16.5	0.2
	浸水予測区域外	493	84	30	316	62	1
		100.0	17.0	6.1	64.1	12.6	0.2

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。
 安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

上段：人数
 下段：%

	サンプル	なく点検するまでもなく危険である	点検の方法がわからない	点検しなくても安全と思う	費用がかかる	借家である	手間がかかる	うは対策しても被害	なは南海トラフ地震	が地震被害に關心	その他	無回答	
総合	実数	647	62	220	120	80	45	20	31	4	4	48	13
		100.0	9.6	34.0	18.5	12.4	7.0	3.1	4.8	0.6	0.6	7.4	2.0
性別	男性	310	32	99	61	39	23	10	17	2	1	22	4
		100.0	10.3	31.9	19.7	12.6	7.4	3.2	5.5	0.6	0.3	7.1	1.3
	女性	329	30	118	57	40	20	10	14	2	3	26	9
	100.0	9.1	35.9	17.3	12.2	6.1	3.0	4.3	0.6	0.9	7.9	2.7	
	回答しない(無回答含む)	8	0	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	10歳代	5	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0
		100.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	20歳代	43	6	14	7	7	3	0	2	0	1	1	2
		100.0	14.0	32.6	16.3	16.3	7.0	0.0	4.7	0.0	2.3	2.3	4.7
	30歳代	66	6	30	7	1	11	3	0	2	0	5	1
		100.0	9.1	45.5	10.6	1.5	16.7	4.5	0.0	3.0	0.0	7.6	1.5
	40歳代	119	12	39	14	13	10	4	10	1	0	14	2
		100.0	10.1	32.8	11.8	10.9	8.4	3.4	8.4	0.8	0.0	11.8	1.7
	50歳代	161	11	60	35	19	13	6	6	1	0	8	2
	100.0	6.8	37.3	21.7	11.8	8.1	3.7	3.7	0.6	0.0	5.0	1.2	
60歳代	181	18	59	37	28	6	5	11	0	1	13	3	
	100.0	9.9	32.6	20.4	15.5	3.3	2.8	6.1	0.0	0.6	7.2	1.7	
70歳以上	69	8	17	17	11	1	2	2	0	1	7	3	
	100.0	11.6	24.6	24.6	15.9	1.4	2.9	2.9	0.0	1.4	10.1	4.3	
	無回答	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	36	4	13	5	5	0	0	4	1	0	4	0
		100.0	11.1	36.1	13.9	13.9	0.0	0.0	11.1	2.8	0.0	11.1	0.0
	漁業	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	46	4	9	14	5	2	3	3	1	0	4	1
		100.0	8.7	19.6	30.4	10.9	4.3	6.5	6.5	2.2	0.0	8.7	2.2
	会社員(役員を含む)、公務員	271	22	104	48	26	24	9	13	1	0	19	5
		100.0	8.1	38.4	17.7	9.6	8.9	3.3	4.8	0.4	0.0	7.0	1.8
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	13	1	3	6	1	0	1	0	0	0	1	0
		100.0	7.7	23.1	46.2	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	主婦・主夫	57	9	14	11	4	3	2	3	0	1	8	2
		100.0	15.8	24.6	19.3	7.0	5.3	3.5	5.3	0.0	1.8	14.0	3.5
	パート・アルバイト	92	8	33	16	14	9	2	4	0	0	4	2
	100.0	8.7	35.9	17.4	15.2	9.8	2.2	4.3	0.0	0.0	4.3	2.2	
学生	12	3	3	2	1	1	0	0	0	1	0	1	
	100.0	25.0	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	
無職(すでに退職を含む)	83	10	25	13	17	2	3	4	1	1	5	2	
	100.0	12.0	30.1	15.7	20.5	2.4	3.6	4.8	1.2	1.2	6.0	2.4	
その他	31	1	12	4	7	3	0	0	0	1	3	0	
	100.0	3.2	38.7	12.9	22.6	9.7	0.0	0.0	0.0	3.2	9.7	0.0	
	無回答	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	44	6	12	10	6	5	0	1	0	0	4	0
		100.0	13.6	27.3	22.7	13.6	11.4	0.0	2.3	0.0	0.0	9.1	0.0
	1人	167	17	60	26	17	11	5	11	1	0	17	2
		100.0	10.2	35.9	15.6	10.2	6.6	3.0	6.6	0.6	0.0	10.2	1.2
	2人	181	13	56	38	26	19	8	4	0	2	11	4
		100.0	7.2	30.9	21.0	14.4	10.5	4.4	2.2	0.0	1.1	6.1	2.2
	3人	139	15	51	27	17	4	5	7	2	0	7	4
		100.0	10.8	36.7	19.4	12.2	2.9	3.6	5.0	1.4	0.0	5.0	2.9
	4人	68	7	22	11	6	5	0	5	1	1	7	3
	100.0	10.3	32.4	16.2	8.8	7.4	0.0	7.4	1.5	1.5	10.3	4.4	
5人	31	4	14	4	4	0	2	1	0	1	1	0	
	100.0	12.9	45.2	12.9	12.9	0.0	6.5	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	
6人以上	15	0	4	3	4	1	0	2	0	0	1	0	
	100.0	0.0	26.7	20.0	26.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	
	無回答	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ご家族のいらっしゃる方に該当する	3歳以下の乳幼児	36	3	14	4	4	5	1	1	0	1	2	1
		100.0	8.3	38.9	11.1	11.1	13.9	2.8	2.8	0.0	2.8	5.6	2.8
	4歳以上で小学校入学前の子ども	25	1	12	1	3	0	2	0	0	1	4	1
		100.0	4.0	48.0	4.0	12.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	16.0	4.0
	小学生	58	4	26	9	4	5	0	4	0	0	5	1
		100.0	6.9	44.8	15.5	6.9	8.6	0.0	6.9	0.0	0.0	8.6	1.7
	70歳以上の人	216	25	67	39	30	6	8	13	2	1	17	8
		100.0	11.6	31.0	18.1	13.9	2.8	3.7	6.0	0.9	0.5	7.9	3.7
	日常生活で介護や支援を必要とする人	53	9	19	8	5	2	2	3	0	0	3	2
		100.0	17.0	35.8	15.1	9.4	3.8	3.8	5.7	0.0	0.0	5.7	3.8
	妊産婦	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	334	30	117	66	40	27	11	14	2	2	21	4	
	100.0	9.0	35.0	19.8	12.0	8.1	3.3	4.2	0.6	0.6	6.3	1.2	
	無回答	13	0	6	2	3	1	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	46.2	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	
区域別	浸水予測区域内	331	32	114	57	44	25	10	14	1	3	27	4
		100.0	9.7	34.4	17.2	13.3	7.6	3.0	4.2	0.3	0.9	8.2	1.2
	浸水予測区域外	316	30	106	63	36	20	10	17	3	1	21	9
	100.0	9.5	33.5	19.9	11.4	6.3	3.2	5.4	0.9	0.3	6.6	2.8	

問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。
今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。
(ひとつだけ〇)

上段：人数
下段：%

		サンプル	変える予定がある	変える予定はない	検討中	わからない	無回答
総合	実数	709	21	287	77	178	146
		100.0	3.0	40.5	10.9	25.1	20.6
性別	男性	343	14	139	34	88	68
		100.0	4.1	40.5	9.9	25.7	19.8
	女性	358	7	146	40	88	77
		100.0	2.0	40.8	11.2	24.6	21.5
	回答しない(無回答含む)	8	0	2	3	2	1
		100.0	0.0	25.0	37.5	25.0	12.5
年代別	10歳代	5	0	1	0	1	3
		100.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0
	20歳代	45	0	12	3	11	19
		100.0	0.0	26.7	6.7	24.4	42.2
	30歳代	75	3	29	6	20	17
		100.0	4.0	38.7	8.0	26.7	22.7
	40歳代	134	5	47	16	36	30
		100.0	3.7	35.1	11.9	26.9	22.4
	50歳代	169	4	65	19	47	34
	100.0	2.4	38.5	11.2	27.8	20.1	
60歳代	197	5	87	19	52	34	
	100.0	2.5	44.2	9.6	26.4	17.3	
70歳以上	81	4	44	13	11	9	
	100.0	4.9	54.3	16.0	13.6	11.1	
	無回答	3	0	2	1	0	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
職業別	農林業	40	0	23	0	12	5
		100.0	0.0	57.5	0.0	30.0	12.5
	漁業	3	1	1	0	0	1
		100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	商工サービス業自営	52	2	26	4	12	8
		100.0	3.8	50.0	7.7	23.1	15.4
	会社員(役員を含む)、公務員	287	9	106	30	70	72
		100.0	3.1	36.9	10.5	24.4	25.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	16	2	4	3	4	3
		100.0	12.5	25.0	18.8	25.0	18.8
	主婦・主夫	62	1	21	11	16	13
		100.0	1.6	33.9	17.7	25.8	21.0
	パート・アルバイト	99	1	46	14	18	20
	100.0	1.0	46.5	14.1	18.2	20.2	
学生	13	0	2	0	3	8	
	100.0	0.0	15.4	0.0	23.1	61.5	
無職(すでに退職を含む)	98	5	49	12	22	10	
	100.0	5.1	50.0	12.2	22.4	10.2	
その他	33	0	7	1	20	5	
	100.0	0.0	21.2	3.0	60.6	15.2	
	無回答	6	0	2	2	1	1
		100.0	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7
同居人数	0人(独居)	48	0	19	6	15	8
		100.0	0.0	39.6	12.5	31.3	16.7
	1人	183	8	76	19	45	35
		100.0	4.4	41.5	10.4	24.6	19.1
	2人	194	6	81	22	48	37
		100.0	3.1	41.8	11.3	24.7	19.1
	3人	152	1	58	21	37	35
		100.0	0.7	38.2	13.8	24.3	23.0
	4人	76	2	32	3	21	18
	100.0	2.6	42.1	3.9	27.6	23.7	
5人	35	2	13	4	8	8	
	100.0	5.7	37.1	11.4	22.9	22.9	
6人以上	18	1	7	1	4	5	
	100.0	5.6	38.9	5.6	22.2	27.8	
	無回答	3	1	1	1	0	0
		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	38	3	13	4	10	8
		100.0	7.9	34.2	10.5	26.3	21.1
	4歳以上で小学校入学前の子ども	27	1	13	2	6	5
		100.0	3.7	48.1	7.4	22.2	18.5
	小学生	65	3	24	8	15	15
		100.0	4.6	36.9	12.3	23.1	23.1
	70歳以上の人	239	5	98	23	63	50
		100.0	2.1	41.0	9.6	26.4	20.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	60	1	26	5	19	9
	100.0	1.7	43.3	8.3	31.7	15.0	
妊産婦	2	0	1	0	1	0	
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
1～6の人はいない	365	12	141	44	94	74	
	100.0	3.3	38.6	12.1	25.8	20.3	
	無回答	14	0	6	3	2	3
		100.0	0.0	42.9	21.4	14.3	21.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	363	10	142	39	95	77
		100.0	2.8	39.1	10.7	26.2	21.2
	浸水予測区域外	346	11	145	38	83	69
		100.0	3.2	41.9	11.0	24.0	19.9

問4 1 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上	無回答
総合	実数	709	220	312	76	25	15	2	8	8	43
		100.0	31.0	44.0	10.7	3.5	2.1	0.3	1.1	1.1	6.1
性別	男性	343	111	142	43	12	5	1	4	8	17
	女性	358	106	169	33	12	8	1	4	0	25
	回答しない(無回答含む)	8	3	1	0	1	2	0	0	0	1
年代別	10歳代	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	45	15	20	5	1	0	0	1	1	2
	30歳代	75	32	32	3	1	0	1	1	1	4
	40歳代	134	49	62	13	3	3	0	0	2	2
	50歳代	169	52	81	16	5	3	1	3	1	7
	60歳代	197	55	80	26	9	6	0	2	2	17
	70歳以上	81	15	33	13	6	1	0	1	1	11
	無回答	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0
	職業別	農林業	40	7	20	6	2	0	0	0	1
漁業		3	0	1	0	0	0	0	0	0	2
商工サービス業自営		52	19	22	5	1	0	1	1	0	3
会社員(役員を含む)、公務員		287	105	127	26	6	6	1	2	4	10
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		16	7	2	4	1	0	0	2	0	0
主婦・主夫		62	13	30	7	5	0	0	1	0	6
パート・アルバイト		99	32	46	8	1	3	0	0	1	8
学生		13	4	6	2	0	0	0	0	0	1
無職(すでに退職を含む)		98	25	39	13	9	5	0	1	1	5
その他		33	7	15	5	0	0	0	1	1	4
無回答		6	1	4	0	0	1	0	0	0	0
同居人数		0人(独居)	48	17	14	5	4	0	0	2	1
	1人	183	48	82	26	9	4	1	1	3	9
	2人	194	57	84	22	5	6	0	2	0	18
	3人	152	53	70	16	3	1	1	1	2	5
	4人	76	25	34	5	2	3	0	1	1	5
	5人	35	14	16	1	1	0	0	1	1	1
	6人以上	18	6	10	1	1	0	0	0	0	0
	無回答	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	38	21	12	2	1	1	0	0	1
4歳以上で小学校入学前の子ども		27	16	10	0	1	0	0	0	0	0
小学生		65	21	36	5	1	0	1	0	0	1
70歳以上の人		239	64	98	35	10	6	1	3	0	22
日常生活で介護や支援を必要とする人		60	16	29	4	3	2	0	1	0	5
妊産婦		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
1~6の人はいない		365	115	168	36	11	6	0	5	6	18
無回答		14	1	7	2	1	1	0	0	1	1
浸水予測区域別		浸水予測区域内	363	109	164	37	11	7	2	3	5
	浸水予測区域外	346	111	148	39	14	8	0	5	3	18

問42 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしていますか。ご存知ですか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	知っている	知らない	む（既に利用を含む）	無回答
総合	実数	1,779	313	1,435	6	25
		100.0	17.6	80.7	0.3	1.4
性別	男性	903	170	725	1	7
		100.0	18.8	80.3	0.1	0.8
	女性	857	143	692	5	17
	100.0	16.7	80.7	0.6	2.0	
	回答しない(無回答含む)	19	0	18	0	1
		100.0	0.0	94.7	0.0	5.3
年代別	10歳代	18	3	15	0	0
		100.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	20歳代	126	13	111	1	1
		100.0	10.3	88.1	0.8	0.8
	30歳代	214	35	177	1	1
		100.0	16.4	82.7	0.5	0.5
	40歳代	386	61	321	1	3
		100.0	15.8	83.2	0.3	0.8
	50歳代	400	57	338	1	4
	100.0	14.2	84.5	0.3	1.0	
60歳代	428	101	320	2	5	
	100.0	23.6	74.8	0.5	1.2	
70歳以上	203	43	149	0	11	
	100.0	21.2	73.4	0.0	5.4	
	無回答	4	0	4	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	16	69	2	1
		100.0	18.2	78.4	2.3	1.1
	漁業	4	0	4	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	25	101	0	2
		100.0	19.5	78.9	0.0	1.6
	会社員（役員を含む）、公務員	739	135	599	0	5
		100.0	18.3	81.1	0.0	0.7
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	50	8	41	0	1
		100.0	16.0	82.0	0.0	2.0
	主婦・主夫	136	30	102	2	2
		100.0	22.1	75.0	1.5	1.5
パート・アルバイト	229	32	192	1	4	
	100.0	14.0	83.8	0.4	1.7	
学生	49	4	44	1	0	
	100.0	8.2	89.8	2.0	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	51	195	0	7	
	100.0	20.2	77.1	0.0	2.8	
その他	92	11	78	0	3	
	100.0	12.0	84.8	0.0	3.3	
	無回答	11	1	10	0	0
		100.0	9.1	90.9	0.0	0.0
同居人数	0人（独居）	143	20	120	0	3
		100.0	14.0	83.9	0.0	2.1
	1人	428	76	343	3	6
		100.0	17.8	80.1	0.7	1.4
	2人	441	86	351	2	2
		100.0	19.5	79.6	0.5	0.5
	3人	390	72	309	1	8
		100.0	18.5	79.2	0.3	2.1
	4人	227	36	187	0	4
	100.0	15.9	82.4	0.0	1.8	
5人	92	17	75	0	0	
	100.0	18.5	81.5	0.0	0.0	
6人以上	52	6	45	0	1	
	100.0	11.5	86.5	0.0	1.9	
	無回答	6	0	5	0	1
		100.0	0.0	83.3	0.0	16.7
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108	24	83	0	1
		100.0	22.2	76.9	0.0	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	23	66	0	1
		100.0	25.6	73.3	0.0	1.1
	小学生	221	42	178	0	1
		100.0	19.0	80.5	0.0	0.5
	70歳以上の人	533	85	434	3	11
		100.0	15.9	81.4	0.6	2.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	16	89	0	3
	100.0	14.8	82.4	0.0	2.8	
妊産婦	8	2	6	0	0	
	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	165	742	3	10	
	100.0	17.9	80.7	0.3	1.1	
	無回答	41	7	33	0	1
		100.0	17.1	80.5	0.0	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	174	695	2	14
		100.0	19.7	78.5	0.2	1.6
	浸水予測区域外	894	139	740	4	11
		100.0	15.5	82.8	0.4	1.2

問43 問42で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
下段：%

	サンプル	ポ ス ト 、 パ ン	聞 人 、 親 族 か ら	聞 所 、 市 町 村 の 職 員 か ら	市 役 所 、 設 計 事 務 所	会 展 、 講 演	報 新 聞 、 広 告 、 広	テ レ ビ 、 ラ ジ オ	そ の 他	無 回 答
総合	319	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9	
性別	男性	171 53.6	48 28.1	28 16.4	62 36.3	7 4.1	58 33.9	25 14.6	6 3.5	3 1.8
	女性	148 46.4	48 32.4	40 27.0	39 26.4	8 5.4	39 26.4	26 17.6	6 4.1	0 0.0
	回答しない(無回答含む)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年代別	10歳代	3 0.9	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	20歳代	14 4.4	4 28.6	1 7.1	2 14.3	1 7.1	2 14.3	7 50.0	1 7.1	0 0.0
	30歳代	36 11.3	12 33.3	9 25.0	9 25.0	2 5.6	5 13.9	5 13.9	2 5.6	1 2.8
	40歳代	62 19.4	23 37.1	16 25.8	17 27.4	4 6.5	17 27.4	8 12.9	2 3.2	0 0.0
	50歳代	58 18.2	22 37.9	10 17.2	20 34.5	0 0.0	17 29.3	8 13.8	3 5.2	0 0.0
	60歳代	103 32.3	22 21.4	22 21.4	37 35.9	6 5.8	43 41.7	12 11.7	2 1.9	1 1.0
	70歳以上	43 13.5	10 23.3	10 23.3	16 37.2	1 2.3	13 30.2	9 20.9	2 4.7	1 2.3
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職業別	農林業	18 5.6	4 22.2	3 16.7	6 33.3	1 5.6	10 55.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0
	漁業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	商工サービス業自営	25 7.8	6 24.0	8 32.0	10 40.0	0 0.0	6 24.0	5 20.0	2 8.0	0 0.0
	会社員（役員を含む）、公務員	135 42.3	46 34.1	27 20.0	38 28.1	6 4.4	34 25.2	22 16.3	3 2.2	1 0.7
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	8 2.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	主婦・主夫	32 10.0	9 28.1	14 43.8	9 28.1	1 3.1	10 31.3	6 18.8	1 3.1	0 0.0
	パート・アルバイト	33 10.3	13 39.4	4 12.1	13 39.4	3 9.1	10 30.3	4 12.1	2 6.1	0 0.0
	学生	5 1.6	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
	無職（すでに退職を含む）	51 15.9	11 21.6	8 15.7	17 33.3	3 5.9	20 39.2	11 21.6	1 2.0	1 2.0
	その他	11 3.4	2 18.2	3 27.3	4 36.4	0 0.0	3 27.3	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	無回答	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
同居人数	0人（独居）	20 6.3	6 30.0	4 20.0	6 30.0	0 0.0	3 15.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0
	1人	79 24.7	22 27.8	16 20.3	27 34.2	3 3.8	30 38.0	13 16.5	3 3.8	0 0.0
	2人	88 27.6	24 27.3	19 21.6	30 34.1	6 6.8	27 30.7	13 14.8	5 5.7	1 1.1
	3人	73 22.9	24 32.9	17 23.3	19 26.0	3 4.1	23 31.5	13 17.8	3 4.1	0 0.0
	4人	36 11.3	15 41.7	8 22.2	11 30.6	1 2.8	5 13.9	4 11.1	1 2.8	1 2.8
	5人	17 5.3	5 29.4	2 11.8	7 41.2	1 5.9	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0
	6人以上	6 1.9	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	5 83.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるか	24 7.5	10 41.7	4 16.7	4 16.7	1 4.2	6 25.0	6 25.0	0 0.0	0 0.0
3歳以下の乳幼児	23 7.2	7 30.4	6 26.1	8 34.8	1 4.3	4 17.4	1 4.3	1 4.3	0 0.0	
4歳以上で小学校入学前の子ども	42 13.2	14 33.3	9 21.4	14 33.3	3 7.1	12 28.6	7 16.7	2 4.8	1 2.4	
小学生	88 27.6	23 26.1	22 25.0	32 36.4	6 6.8	29 33.0	12 13.6	3 3.4	1 1.1	
70歳以上の人	16 5.0	4 25.0	4 25.0	4 25.0	1 6.3	3 18.8	2 12.5	0 0.0	0 0.0	
日常生活で介護や支援を必要とする人	2 0.6	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
妊産婦	168 52.7	51 30.4	33 19.6	51 30.4	6 3.6	52 31.0	31 18.5	7 4.2	1 0.6	
1～6の人はいない	7 2.2	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	176 55.2	55 31.3	40 22.7	55 31.3	11 6.3	57 32.4	25 14.2	5 2.8	1 0.6
	浸水予測区域外	143 44.8	41 28.7	28 19.6	46 32.2	4 2.8	40 28.0	26 18.2	7 4.9	2 1.4

問4 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	相談窓口の設置など、環境の整備	パンフレットなどによる周知	専門家による無料点検の実施	信頼できる工事業者の紹介	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替えるなどの費用に対する補助の増額	個人宅などでないものもすべ	その他	無回答
総合	実数	1,779	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	33 1.9	46 2.6	62 3.5
性別	男性	903	363 40.2	485 53.7	492 54.5	257 28.5	356 39.4	26 2.9	25 2.8	23 2.5
	女性	857	350 40.8	468 54.6	526 61.4	300 35.0	331 38.6	7 0.8	18 2.1	39 4.6
	回答しない(無回答含む)	19	2 10.5	8 42.1	10 52.6	5 26.3	6 31.6	0 0.0	3 15.8	0 0.0
	10歳代	18	8 44.4	14 77.8	11 61.1	6 33.3	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年代別	20歳代	126	48 38.1	72 57.1	81 64.3	45 35.7	57 45.2	2 1.6	1 0.8	1 0.8
	30歳代	214	64 29.9	118 55.1	134 62.6	80 37.4	95 44.4	2 0.9	9 4.2	2 0.9
	40歳代	386	154 39.9	218 56.5	210 54.4	128 33.2	164 42.5	13 3.4	15 3.9	6 1.6
	50歳代	400	172 43.0	229 57.3	228 57.0	135 33.8	152 38.0	7 1.8	11 2.8	9 2.3
	60歳代	428	190 44.4	221 51.6	253 59.1	124 29.0	158 36.9	5 1.2	5 1.2	19 4.4
	70歳以上	203	77 37.9	87 42.9	108 53.2	42 20.7	60 29.6	4 2.0	5 2.5	25 12.3
	無回答	4	2 50.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	職業別	農林業	88	34 38.6	40 45.5	43 48.9	16 18.2	33 37.5	1 1.1	4 4.5
漁業		4	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
商工サービス業自営		128	46 35.9	70 54.7	68 53.1	43 33.6	48 37.5	2 1.6	1 0.8	5 3.9
会社員(役員を含む)、公務員		739	296 40.1	419 56.7	427 57.8	266 36.0	307 41.5	14 1.9	22 3.0	13 1.8
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	23 46.0	29 58.0	30 60.0	17 34.0	20 40.0	1 2.0	1 2.0	1 2.0
主婦・主夫		136	54 39.7	77 56.6	79 58.1	38 27.9	46 33.8	0 0.0	2 1.5	9 6.6
パート・アルバイト		229	95 41.5	118 51.5	145 63.3	76 33.2	85 37.1	3 1.3	5 2.2	9 3.9
学生		49	22 44.9	32 65.3	31 63.3	15 30.6	18 36.7	1 2.0	1 2.0	0 0.0
無職(すでに退職を含む)		253	106 41.9	121 47.8	143 56.5	60 23.7	93 36.8	6 2.4	6 2.4	5 1.9
その他		92	32 34.8	47 51.1	53 57.6	26 28.3	36 39.1	4 4.3	4 4.3	6 6.5
無回答		11	5 45.5	7 63.6	8 72.7	4 36.4	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
同居人数		0人(独居)	143	54 37.8	68 47.6	77 53.8	33 23.1	49 34.3	2 1.4	6 4.2
	1人	428	184 43.0	251 58.6	243 56.8	129 30.1	148 34.6	8 1.9	7 1.6	17 4.0
	2人	441	180 40.8	235 53.3	251 56.9	149 33.8	170 38.5	8 1.8	10 2.3	18 4.1
	3人	390	152 39.0	203 52.1	235 60.3	133 34.1	167 42.8	7 1.8	10 2.6	12 3.1
	4人	227	89 39.2	126 55.5	131 57.7	80 35.2	92 40.5	7 3.1	5 2.2	3 1.3
	5人	92	32 34.8	45 48.9	53 57.6	23 25.0	41 44.6	1 1.1	6 6.5	0 0.0
	6人以上	52	21 40.4	31 59.6	35 67.3	13 25.0	23 44.2	0 0.0	2 3.8	2 3.8
	無回答	6	3 50.0	2 33.3	3 50.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	42 38.9	54 50.0	67 62.0	28 25.9	49 45.4	0 0.0	8 7.4
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	34 37.8	54 60.0	57 63.3	31 34.4	45 50.0	1 1.1	3 3.3	1 1.1
小学生		221	86 38.9	123 55.7	137 62.0	81 36.7	102 46.2	3 1.4	5 2.3	0 0.0
70歳以上の人		533	220 41.3	286 53.7	314 58.9	171 32.1	188 35.3	14 2.6	11 2.1	24 4.5
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	46 42.6	59 54.6	65 60.2	36 33.3	45 41.7	5 4.6	3 2.8	3 2.8
妊産婦		8	3 37.5	5 62.5	7 87.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5
1~6の人はいない		920	361 39.2	506 55.0	520 56.5	288 31.3	364 39.6	14 1.5	22 2.4	34 3.7
無回答		41	19 46.3	13 31.7	26 63.4	6 14.6	14 34.1	1 2.4	2 4.9	1 2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	353 39.9	454 51.3	492 55.6	264 29.8	348 39.3	20 2.3	22 2.5	32 3.6
	浸水予測区域外	894	362 40.5	507 56.7	536 60.0	298 33.3	345 38.6	13 1.5	24 2.7	30 3.4

問45 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サン プル	昭 和 5 年 造 住 宅	昭 和 6 年 以 前 の 木 造 住 宅	昭 和 5 年 以 前 の 木 造 住 宅	平 成 1 2 年 造 住 宅	昭 和 5 年 以 前 の 木 造 住 宅	昭 和 5 年 以 前 の 木 造 住 宅	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1,779	424	370	412	68	272	205	28	
		100.0	23.8	20.8	23.2	3.8	15.3	11.5	1.6	
性別	男性	903	207	201	204	40	135	104	12	
	女性	857	214	165	204	28	136	94	16	
	回答しない(無回答含む)	19	3	4	4	0	1	7	0	
年代別	10歳代	18	2	2	5	0	2	7	0	
	20歳代	126	20	22	30	2	20	29	3	
	30歳代	214	32	34	71	7	32	37	1	
	40歳代	386	78	51	149	10	54	41	3	
	50歳代	400	85	108	69	15	84	33	6	
	60歳代	428	122	107	65	22	64	40	8	
	70歳以上	203	84	45	22	12	16	18	6	
	無回答	4	1	1	1	0	0	0	1	
	職業別	農林業	88	27	23	18	6	6	8	0
漁業		4	0	3	0	0	0	1	0	
商工サービス業自営		128	43	27	15	7	23	12	1	
会社員（役員を含む）、公務員		739	127	154	223	24	126	78	7	
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）		50	10	7	9	5	16	2	1	
主婦・主夫		136	36	31	29	3	21	12	4	
パート・アルバイト		229	57	50	59	4	28	29	2	
学生		49	4	6	17	1	7	12	2	
無職（すでに退職を含む）		253	92	48	31	14	28	32	8	
その他		92	23	18	10	4	16	18	3	
同居人数		0人（独居）	143	47	23	14	5	26	26	2
	1人	428	134	104	65	21	65	30	9	
	2人	441	105	112	87	19	62	51	5	
	3人	390	87	64	112	10	61	48	8	
	4人	227	28	38	89	9	36	25	2	
	5人	92	12	16	32	2	14	15	1	
	6人以上	52	9	12	12	2	8	9	0	
	無回答	6	2	1	1	0	0	1	1	
	ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	108	14	14	52	1	14	12	1
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	9	7	48	2	14	10	0	
小学生		221	24	23	106	4	39	23	2	
70歳以上の人		533	175	123	72	21	73	57	12	
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	42	22	12	3	14	13	2	
妊産婦		8	0	1	4	0	3	0	0	
1～6の人はいない		920	197	212	195	38	154	113	11	
無回答		41	13	8	8	4	4	4	1	
浸水予測区域別		浸水予測区域内	885	214	182	175	38	152	113	11
	浸水予測区域外	894	210	188	237	30	120	92	17	

問46 問45で「1. 昭和56年5月以前の木造住宅」と回答した人におたずねします。
 専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか。
 また、その結果はどうでしたか。（ひとつだけ〇）

上段：人数
 下段：%

		サ ン プ ル	診 断 さ れ た が 必 要 と し な い	耐 震 改 修 を 受 け た が 結 果 と し な い	診 断 を 受 け た こ と は な い	無 回 答
総合	実数	424	106	9	304	5
		100.0	25.0	2.1	71.7	1.2
性別	男性	207	48	4	154	1
		100.0	23.2	1.9	74.4	0.5
	女性	214	58	4	148	4
		100.0	27.1	1.9	69.2	1.9
	回答しない(無回答含む)	3	0	1	2	0
		100.0	0.0	33.3	66.7	0.0
年代別	10歳代	2	0	0	2	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代	20	3	0	17	0
		100.0	15.0	0.0	85.0	0.0
	30歳代	32	10	2	18	2
		100.0	31.3	6.3	56.3	6.3
	40歳代	78	24	1	53	0
		100.0	30.8	1.3	67.9	0.0
	50歳代	85	18	1	64	2
	100.0	21.2	1.2	75.3	2.4	
60歳代	122	34	1	86	1	
	100.0	27.9	0.8	70.5	0.8	
70歳以上	84	16	4	64	0	
	100.0	19.0	4.8	76.2	0.0	
	無回答	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	27	5	2	20	0
		100.0	18.5	7.4	74.1	0.0
	漁業	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	43	13	0	30	0
		100.0	30.2	0.0	69.8	0.0
	会社員（役員を含む）、公務員	127	36	3	87	1
		100.0	28.3	2.4	68.5	0.8
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	10	5	0	5	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	主婦・主夫	36	9	2	24	1
		100.0	25.0	5.6	66.7	2.8
	パート・アルバイト	57	11	0	44	2
	100.0	19.3	0.0	77.2	3.5	
学生	4	1	0	3	0	
	100.0	25.0	0.0	75.0	0.0	
無職（すでに退職を含む）	92	22	2	67	1	
	100.0	23.9	2.2	72.8	1.1	
その他	23	4	0	19	0	
	100.0	17.4	0.0	82.6	0.0	
	無回答	5	0	0	5	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
同居人数	0人（独居）	47	12	2	33	0
		100.0	25.5	4.3	70.2	0.0
	1人	134	30	3	99	2
		100.0	22.4	2.2	73.9	1.5
	2人	105	30	1	73	1
		100.0	28.6	1.0	69.5	1.0
	3人	87	24	1	61	1
		100.0	27.6	1.1	70.1	1.1
	4人	28	5	1	21	1
	100.0	17.9	3.6	75.0	3.6	
5人	12	4	1	7	0	
	100.0	33.3	8.3	58.3	0.0	
6人以上	9	1	0	8	0	
	100.0	11.1	0.0	88.9	0.0	
	無回答	2	0	0	2	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
ご家族の 中には、 次に該当する 方がいますか	3歳以下の乳幼児	14	4	0	9	1
		100.0	28.6	0.0	64.3	7.1
	4歳以上で小学校入学前の子ども	9	4	1	4	0
		100.0	44.4	11.1	44.4	0.0
	小学生	24	9	1	14	0
		100.0	37.5	4.2	58.3	0.0
	70歳以上の人	175	41	6	127	1
		100.0	23.4	3.4	72.6	0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	42	11	0	30	1
		100.0	26.2	0.0	71.4	2.4
妊産婦	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1～6の人はいない	197	45	1	148	3	
	100.0	22.8	0.5	75.1	1.5	
	無回答	13	3	1	9	0
		100.0	23.1	7.7	69.2	0.0
区域別 浸水予測	浸水予測区域内	214	57	6	150	1
		100.0	26.6	2.8	70.1	0.5
	浸水予測区域外	210	49	3	154	4
		100.0	23.3	1.4	73.3	1.9

問47 問46で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	行った耐震改修工事	予定は、建て替え	工事後、耐震改修	建て替えも行う	検討中	無回答
総合	実数	106	69	8	19	9	1	
		100.0	65.1	7.5	17.9	8.5	0.9	
性別	男性	48	27	5	11	5	0	
		100.0	56.3	10.4	22.9	10.4	0.0	
	女性	58	42	3	8	4	1	
	100.0	72.4	5.2	13.8	6.9	1.7		
	回答しない(無回答含む)	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	10歳代	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	3	1	0	1	1	0	
		100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	
	30歳代	10	7	2	0	1	0	
		100.0	70.0	20.0	0.0	10.0	0.0	
	40歳代	24	15	1	6	2	0	
		100.0	62.5	4.2	25.0	8.3	0.0	
	50歳代	18	12	1	4	1	0	
	100.0	66.7	5.6	22.2	5.6	0.0		
60歳代	34	23	4	3	4	0		
	100.0	67.6	11.8	8.8	11.8	0.0		
70歳以上	16	10	0	5	0	1		
	100.0	62.5	0.0	31.3	0.0	6.3		
	無回答	1	1	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	5	2	0	2	1	0	
		100.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
	漁業	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	13	8	0	3	1	1	
		100.0	61.5	0.0	23.1	7.7	7.7	
	会社員(役員を含む)、公務員	36	24	3	6	3	0	
		100.0	66.7	8.3	16.7	8.3	0.0	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5	3	0	0	2	0	
		100.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
	主婦・主夫	9	8	0	1	0	0	
		100.0	88.9	0.0	11.1	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	11	7	2	1	1	0	
	100.0	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0		
学生	1	1	0	0	0	0		
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
無職(すでに退職を含む)	22	15	3	4	0	0		
	100.0	68.2	13.6	18.2	0.0	0.0		
その他	4	1	0	2	1	0		
	100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0		
	無回答	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	12	8	0	0	3	1	
		100.0	66.7	0.0	0.0	25.0	8.3	
	1人	30	23	1	5	1	0	
		100.0	76.7	3.3	16.7	3.3	0.0	
	2人	30	16	3	9	2	0	
		100.0	53.3	10.0	30.0	6.7	0.0	
	3人	24	15	2	5	2	0	
		100.0	62.5	8.3	20.8	8.3	0.0	
	4人	5	4	1	0	0	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
5人	4	3	0	0	1	0		
	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
6人以上	1	0	1	0	0	0		
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
	無回答	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	4	4	0	0	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	4	3	0	0	1	0	
		100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	小学生	9	5	3	0	1	0	
		100.0	55.6	33.3	0.0	11.1	0.0	
	70歳以上の人	41	25	2	11	3	0	
		100.0	61.0	4.9	26.8	7.3	0.0	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	11	5	0	4	2	0	
	100.0	45.5	0.0	36.4	18.2	0.0		
妊産婦	0	0	0	0	0	0		
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
1~6の人はいない	45	30	3	7	4	1		
	100.0	66.7	6.7	15.6	8.9	2.2		
	無回答	3	2	0	0	1	0	
		100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	57	39	4	10	4	0	
		100.0	68.4	7.0	17.5	7.0	0.0	
	浸水予測区域外	49	30	4	9	5	1	
		100.0	61.2	8.2	18.4	10.2	2.0	

問48 問47で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。
耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
下段：%

	サンプル	費用が高い	申込みが手続に	入居者の中に他に	入居者の生活に	工事の生活に	工事に伴う荷物	信頼できる業者	知られない業者	大地震に耐震化し	津波に被害を避け	その他	無回答
総合	実数	28	21	6	5	10	8	5	7	6	1		
		75.0	21.4	17.9	35.7	28.6	17.9	25.0	21.4	3.6			
性別	男性	16	13	3	1	6	4	3	3	0			
		81.3	18.8	6.3	37.5	25.0	18.8	25.0	18.8	0.0			
	女性	12	8	3	4	4	4	2	3	3	1		
		66.7	25.0	33.3	33.3	33.3	16.7	25.0	25.0	8.3			
	回答しない(無回答含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
年代別	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	20歳代	2	2	1	1	2	2	0	1	0	0		
		100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
	30歳代	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	40歳代	8	6	1	1	3	3	2	1	3	0		
		75.0	12.5	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0		
50歳代	5	4	1	0	2	2	0	1	0	1			
	80.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0			
60歳代	7	6	2	1	2	1	2	2	1	0			
	85.7	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0			
70歳以上	5	2	1	2	0	0	1	2	2	0			
	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
職業別	農林業	3	1	0	1	2	1	0	2	1	0		
		33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0			
	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	商工サービス業自営	4	4	1	0	2	1	1	0	1	0		
		100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0		
	会社員(役員を含む)、公務員	9	8	2	2	4	4	2	1	2	0		
		88.9	22.2	22.2	44.4	44.4	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0		
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0		
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
	主婦・主夫	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
パート・アルバイト	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0			
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
無職(すでに退職を含む)	4	2	1	1	1	1	1	2	1	0			
	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0			
その他	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
同居人数	0人(独居)	3	3	3	2	2	2	1	2	0	0		
		100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0			
	1人	6	3	1	1	2	1	1	2	1	0		
		50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0			
	2人	11	8	1	1	3	3	1	2	5	0		
		72.7	9.1	9.1	27.3	27.3	9.1	18.2	45.5	0.0			
	3人	7	6	1	1	2	1	1	0	1	1		
		85.7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3		
	4人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
5人	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0			
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
6人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
ご家族の中に、次に該当する	3歳以下の乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4歳以上で小学校入学前の子ども	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0		
		100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	小学生	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0		
		100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	70歳以上の人	14	10	3	2	5	3	2	4	3	0		
	71.4	21.4	14.3	35.7	21.4	14.3	28.6	21.4	0.0	0.0			
日常生活で介護や支援を必要とする人	6	4	1	0	1	1	1	1	1	0			
	66.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0			
妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
1~6の人はいない	11	8	2	3	4	4	2	2	3	1			
	72.7	18.2	27.3	36.4	36.4	18.2	18.2	27.3	9.1	0.0			
	無回答	1	1	1	0	0	0	1	0	0			
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0			
浸水予測区域別	浸水予測区域内	14	10	1	3	4	3	3	3	4	0		
		71.4	7.1	21.4	28.6	21.4	21.4	21.4	21.4	28.6	0.0		
	浸水予測区域外	14	11	5	2	6	5	2	4	2	1		
		78.6	35.7	14.3	42.9	35.7	14.3	28.6	14.3	7.1			

問49 問46で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。
耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。（当てはまるものすべてに○）

	サンプル	自分が生きて いる間に地震 が起きたら どう思うか	自宅が地震に 強いと思う	自宅が地震に 弱いと思う	地震に強い 味がある	地震に弱い 味がある	地震に強い 味がある	地震に弱い 味がある	地震に強い 味がある	地震に弱い 味がある	地震に強い 味がある	地震に弱い 味がある	
総合	実数	304	24	10	57	63	87	68	9	14			
			7.9	3.3	18.8	20.7	28.6	22.4	3.0	4.6			
性別	男性	154	18	6	32	31	42	31	4	4			
	女性	148	6	4	24	32	45	37	5	10			
	回答しない(無回答含む)	2	0	0	1	0	0	0	0	0			
			0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
年代別	10歳代	2	0	0	1	1	2	1	0	0			
	20歳代	17	0	1	1	6	6	6	0	2			
	30歳代	18	1	0	4	4	8	4	1	1			
	40歳代	53	1	1	8	11	17	15	1	1			
	50歳代	64	4	2	17	13	21	12	5	3			
	60歳代	86	6.3	3.1	26.6	20.3	32.8	18.8	7.8	4.7			
	70歳以上	64	12	3	19	19	25	20	2	5			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業別	農林業	20	2	1	3	5	3	1	0	0			
	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	商工サービス業自営	30	1	2	4	8	9	7	1	2			
	会社員(役員を含む)、公務員	87	6	2	17	18	28	18	4	6			
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5	0	0	1	2	1	0	0	1			
	主婦・主夫	24	1	1	2	6	5	3	2	1			
	パート・アルバイト	44	5	0	9	8	12	13	1	2			
	学生	3	0	0	2	1	2	2	0	0			
	無職(すでに退職を含む)	67	7	4	16	12	20	17	1	2			
	その他	19	2	0	3	2	5	6	0	0			
	無回答	5	0	0	0	1	2	1	0	0			
				0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0		
	同居人数	0人(独居)	33	2	0	8	5	6	7	0	1		
1人		99	6.1	0.0	24.2	15.2	18.2	21.2	0.0	3.0			
2人		73	4	5	15	16	27	21	4	4			
3人		61	4.0	5.1	15.2	16.2	27.3	21.2	4.0	4.0			
4人		21	9	1	14	19	22	19	4	6			
5人		7	12.3	1.4	19.2	26.0	30.1	26.0	5.5	8.2			
6人以上		8	6	1	14	13	21	13	1	3			
無回答		2	9.8	1.6	23.0	21.3	34.4	21.3	1.6	4.9			
				4.8	9.5	14.3	33.3	23.8	19.0	0.0	0.0		
ご家族の中に、次に該当する方がいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	9	2	0	2	1	2	1	0	1			
	4歳以上で小学校入学前の子ども	4	0	0	2	2	3	2	0	0			
	小学生	14	0	0	5	3	5	4	0	1			
	70歳以上の人	127	0	0	35.7	21.4	35.7	28.6	0.0	7.1			
	日常生活で介護や支援を必要とする人	30	11	6	21	25	43	34	1	5			
	妊産婦	0	8.7	4.7	16.5	19.7	33.9	26.8	0.8	3.9			
	1~6の人はいない	148	3	0	8	7	11	9	0	1			
	無回答	9	0	0	0	0	0	0	0	0			
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	浸水予測区域別	浸水予測区域内	150	11	3	30	28	47	34	4	5		
浸水予測区域外		154	7.3	2.0	20.0	18.7	31.3	22.7	2.7	3.3			

上段：人数

下段：%

高額の耐震診断費用が不要に	耐震診断の結果、耐震改修が必要ない	い(は)と(は)思(う)う	し(は)ど(も)な(に)耐(震)化	そ(の)他	無回答
97	68	50	9		
31.9	22.4	16.4	3.0		
40	34	23	4		
26.0	22.1	14.9	2.6		
56	33	27	5		
37.8	22.3	18.2	3.4		
1	1	0	0		
50.0	50.0	0.0	0.0		
1	0	1	0		
50.0	0.0	50.0	0.0		
7	3	1	0		
41.2	17.6	5.9	0.0		
5	3	4	2		
27.8	16.7	22.2	11.1		
19	17	7	2		
35.8	32.1	13.2	3.8		
19	11	14	1		
29.7	17.2	21.9	1.6		
25	18	13	1		
29.1	20.9	15.1	1.2		
21	16	10	3		
32.8	25.0	15.6	4.7		
0	0	0	0		
0.0	0.0	0.0	0.0		
7	2	5	2		
35.0	10.0	25.0	10.0		
0	0	0	0		
0.0	0.0	0.0	0.0		
10	8	3	2		
33.3	26.7	10.0	6.7		
24	13	15	3		
27.6	14.9	17.2	3.4		
1	1	1	0		
20.0	20.0	20.0	0.0		
13	8	3	0		
54.2	33.3	12.5	0.0		
8	12	10	1		
18.2	27.3	22.7	2.3		
3	0	1	0		
100.0	0.0	33.3	0.0		
22	18	9	0		
32.8	26.9	13.4	0.0		
6	5	3	1		
31.6	26.3	15.8	5.3		
3	1	0	0		
60.0	20.0	0.0	0.0		
10	7	6	0		
30.3	21.2	18.2	0.0		
28	21	19	2		
28.3	21.2	19.2	2.0		
28	14	13	3		
38.4	19.2	17.8	4.1		
23	16	6	2		
37.7	26.2	9.8	3.3		
4	6	2	2		
19.0	28.6	9.5	9.5		
1	0	3	0		
14.3	0.0	42.9	0.0		
3	3	1	0		
37.5	37.5	12.5	0.0		
0	1	0	0		
0.0	50.0	0.0	0.0		
2	0	3	0		
22.2	0.0	33.3	0.0		
2	0	1	0		
50.0	0.0	25.0	0.0		
3	4	3	1		
21.4	28.6	21.4	7.1		
45	37	18	3		
35.4	29.1	14.2	2.4		
10	10	7	1		
33.3	33.3	23.3	3.3		
0	0	0	0		
0.0	0.0	0.0	0.0		
44	27	26	5		
29.7	18.2	17.6	3.4		
5	0	2	0		
55.6	0.0	22.2	0.0		
51	35	22	6		
34.0	23.3	14.7	4.0		
46	33	28	3		
29.9	21.4	18.2	1.9		

問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	知っている	知らない	む(す)へ 利用に 中を 含 した	無 回 答
総合	実数	492	272	175	32	13
		100.0	55.3	35.6	6.5	2.6
性別	男性	247	130	99	10	8
		100.0	52.6	40.1	4.0	3.2
	女性	242	139	76	22	5
	100.0	57.4	31.4	9.1	2.1	
	回答しない(無回答含む)	3	3	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年代別	10歳代	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	22	7	14	1	0
		100.0	31.8	63.6	4.5	0.0
	30歳代	39	18	16	4	1
		100.0	46.2	41.0	10.3	2.6
	40歳代	88	46	35	5	2
		100.0	52.3	39.8	5.7	2.3
	50歳代	100	55	37	7	1
	100.0	55.0	37.0	7.0	1.0	
60歳代	144	89	39	10	6	
	100.0	61.8	27.1	6.9	4.2	
70歳以上	96	56	33	4	3	
	100.0	58.3	34.4	4.2	3.1	
	無回答	1	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
職業別	農林業	33	23	9	1	0
		100.0	69.7	27.3	3.0	0.0
	漁業	-	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	50	25	21	3	1
		100.0	50.0	42.0	6.0	2.0
	会社員(役員を含む)、公務員	151	77	58	13	3
		100.0	51.0	38.4	8.6	2.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	15	8	5	1	1
		100.0	53.3	33.3	6.7	6.7
	主婦・主夫	39	24	12	2	1
		100.0	61.5	30.8	5.1	2.6
パート・アルバイト	61	33	23	3	2	
	100.0	54.1	37.7	4.9	3.3	
学生	5	2	2	1	0	
	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	106	59	37	8	2	
	100.0	55.7	34.9	7.5	1.9	
その他	27	17	7	0	3	
	100.0	63.0	25.9	0.0	11.1	
	無回答	5	4	1	0	0
		100.0	80.0	20.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	52	25	21	5	1
		100.0	48.1	40.4	9.6	1.9
	1人	155	86	57	8	4
		100.0	55.5	36.8	5.2	2.6
	2人	124	70	41	8	5
		100.0	56.5	33.1	6.5	4.0
	3人	97	56	32	7	2
		100.0	57.7	33.0	7.2	2.1
	4人	37	20	14	2	1
	100.0	54.1	37.8	5.4	2.7	
5人	14	9	3	2	0	
	100.0	64.3	21.4	14.3	0.0	
6人以上	11	5	6	0	0	
	100.0	45.5	54.5	0.0	0.0	
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
ご家族の 中には、 ついでに、 や次に 該当する か	3歳以下の乳幼児	15	6	6	2	1
		100.0	40.0	40.0	13.3	6.7
	4歳以上で小学校入学前の子ども	11	7	3	1	0
		100.0	63.6	27.3	9.1	0.0
	小学生	28	18	8	2	0
		100.0	64.3	28.6	7.1	0.0
	70歳以上の人	196	108	74	10	4
		100.0	55.1	37.8	5.1	2.0
日常生活で介護や支援を必要とする人	45	26	15	3	1	
	100.0	57.8	33.3	6.7	2.2	
妊産婦	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	235	129	83	15	8	
	100.0	54.9	35.3	6.4	3.4	
	無回答	17	10	6	1	0
		100.0	58.8	35.3	5.9	0.0
区域別	浸水予測区域内	252	142	86	19	5
		100.0	56.3	34.1	7.5	2.0
	浸水予測区域外	240	130	89	13	8
		100.0	54.2	37.1	5.4	3.3

問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。
 どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

上段：人数
 下段：%

		サンプル	フ レ ス タ ー 、 パ ン	聞 知 人 、 親 族 か ら	聞 所 務 市 町 村 等 の 職 員 か ら	市 役 場 、 工 務 工	会 イ ベ ン ト 、 講 演	報 新 誌 、 告 告 、 広 告	テ レ ビ 、 ラ ジ オ	そ の 他	無 回 答
総合	実数	304	72	84	101	5	114	85	9	2	
			23.7	27.6	33.2	1.6	37.5	28.0	3.0	0.7	
性別	男性	140	38	33	49	3	60	39	5	1	
	女性	161	27.1	23.6	35.0	2.1	42.9	27.9	3.6	0.7	
	回答しない(無回答含む)	3	33	50	52	2	52	45	4	1	
年代別	10歳代	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	20歳代	8	12.5	37.5	25.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	
	30歳代	22	5	8	7	0	5	5	2	0	
	40歳代	51	22.7	36.4	31.8	0.0	22.7	22.7	9.1	0.0	
	50歳代	62	11	14	14	1	14	13	4	0	
	60歳代	99	21.6	27.5	27.5	2.0	27.5	25.5	7.8	0.0	
	70歳以上	62	19	15	15	0	22	20	1	1	
	無回答	99	30.6	24.2	24.2	0.0	35.5	32.3	1.6	1.6	
	職業別	農林業	24	4	7	6	0	9	5	0	1
		漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業自営		28	5	5	10	1	12	10	0	0	
会社員（役員を含む）、公務員		90	17.9	17.9	35.7	3.6	42.9	35.7	0.0	0.0	
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）		9	4	1	4	0	3	1	0	0	
主婦・主夫		26	44.4	11.1	44.4	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0	
パート・アルバイト		36	3	10	13	1	13	8	0	0	
学生		3	11.5	38.5	50.0	3.8	50.0	30.8	0.0	0.0	
無職（すでに退職を含む）		67	13	9	14	0	13	10	1	0	
その他		17	36.1	25.0	38.9	0.0	36.1	27.8	2.8	0.0	
無回答		4	1	1	1	0	1	2	0	0	
同居人数		0人（独居）	30	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	1人	94	7	9	10	0	13	9	0	0	
	2人	78	23.3	30.0	33.3	0.0	43.3	30.0	0.0	0.0	
	3人	63	20	26	29	0	47	28	0	0	
	4人	22	21.3	27.7	30.9	0.0	50.0	29.8	0.0	0.0	
	5人	11	18	19	29	2	23	21	6	2	
	6人以上	5	23.1	24.4	37.2	2.6	29.5	26.9	7.7	2.6	
	無回答	1	15	20	19	2	19	17	0	0	
	ご家族の うち、次に 該当する 方はいますか	3歳以下の乳幼児	8	23.8	31.7	30.2	3.2	30.2	27.0	0.0	0.0
4歳以上で小学校入学前の子ども		8	7	5	7	1	8	7	2	0	
小学生		20	4	3	4	0	1	2	1	0	
70歳以上の人		118	36.4	27.3	36.4	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	
日常生活で介護や支援を必要とする人		29	1	1	3	0	3	1	0	0	
妊産婦		0	20.0	20.0	60.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	
1～6の人はいない		144	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答		11	0	1	0	0	0	0	0	0	
区域別		浸水予測区域内	161	3	1	4	0	0	1	1	0
		浸水予測区域外	143	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0

問5 2 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

	サンプル	金額									
		0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上	無回答	
総合	実数	492	102	106	76	54	27	11	47	26	43
		100.0	20.7	21.5	15.4	11.0	5.5	2.2	9.6	5.3	8.7
性別	男性	247	61	50	34	24	12	5	23	19	19
		100.0	24.7	20.2	13.8	9.7	4.9	2.0	9.3	7.7	7.7
	女性	242	41	55	42	30	15	6	23	7	23
		100.0	16.9	22.7	17.4	12.4	6.2	2.5	9.5	2.9	9.5
	回答しない(無回答含む)	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1
		100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
年代別	10歳代	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	22	3	7	3	4	2	1	1	1	0
		100.0	13.6	31.8	13.6	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	0.0
	30歳代	39	10	4	14	6	2	0	2	0	1
		100.0	25.6	10.3	35.9	15.4	5.1	0.0	5.1	0.0	2.6
	40歳代	88	18	24	15	11	3	3	8	4	2
		100.0	20.5	27.3	17.0	12.5	3.4	3.4	9.1	4.5	2.3
	50歳代	100	27	24	12	10	4	1	7	7	8
	100.0	27.0	24.0	12.0	10.0	4.0	1.0	7.0	7.0	8.0	
60歳代	144	22	33	22	11	11	4	16	9	16	
	100.0	15.3	22.9	15.3	7.6	7.6	2.8	11.1	6.3	11.1	
70歳以上	96	21	13	10	12	5	2	13	5	15	
	100.0	21.9	13.5	10.4	12.5	5.2	2.1	13.5	5.2	15.6	
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
職業別	農林業	33	6	4	4	5	1	1	6	0	6
		100.0	18.2	12.1	12.1	15.2	3.0	3.0	18.2	0.0	18.2
	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	50	14	11	9	2	2	0	5	3	4
		100.0	28.0	22.0	18.0	4.0	4.0	0.0	10.0	6.0	8.0
	会社員(役員を含む)、公務員	151	25	40	25	19	12	4	14	7	5
		100.0	16.6	26.5	16.6	12.6	7.9	2.6	9.3	4.6	3.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	15	2	2	0	1	2	1	1	5	1
		100.0	13.3	13.3	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	33.3	6.7
	主婦・主夫	39	6	9	6	4	3	0	5	1	5
		100.0	15.4	23.1	15.4	10.3	7.7	0.0	12.8	2.6	12.8
	パート・アルバイト	61	10	12	12	10	3	1	3	1	9
	100.0	16.4	19.7	19.7	16.4	4.9	1.6	4.9	1.6	14.8	
学生	5	0	4	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	106	31	19	14	9	3	3	9	9	9	
	100.0	29.2	17.9	13.2	8.5	2.8	2.8	8.5	8.5	8.5	
その他	27	7	4	5	2	1	0	4	0	4	
	100.0	25.9	14.8	18.5	7.4	3.7	0.0	14.8	0.0	14.8	
	無回答	5	1	1	1	1	0	1	0	0	
		100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	52	12	12	5	5	2	3	3	4	6
		100.0	23.1	23.1	9.6	9.6	3.8	5.8	5.8	7.7	11.5
	1人	155	30	31	22	16	11	4	21	10	10
		100.0	19.4	20.0	14.2	10.3	7.1	2.6	13.5	6.5	6.5
	2人	124	27	25	19	10	8	2	7	8	18
		100.0	21.8	20.2	15.3	8.1	6.5	1.6	5.6	6.5	14.5
	3人	97	18	27	19	14	1	2	9	2	5
		100.0	18.6	27.8	19.6	14.4	1.0	2.1	9.3	2.1	5.2
	4人	37	9	7	6	4	4	0	4	0	3
	100.0	24.3	18.9	16.2	10.8	10.8	0.0	10.8	0.0	8.1	
5人	14	4	2	2	3	1	0	1	1	0	
	100.0	28.6	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	
6人以上	11	1	2	3	2	0	0	2	1	0	
	100.0	9.1	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	
	無回答	2	1	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	15	3	3	4	1	1	0	1	2	0
		100.0	20.0	20.0	26.7	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	11	2	2	2	3	1	0	0	1	0
		100.0	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	小学生	28	2	8	7	6	1	0	4	0	0
		100.0	7.1	28.6	25.0	21.4	3.6	0.0	14.3	0.0	0.0
	70歳以上の人	196	45	33	31	24	11	3	27	6	16
		100.0	23.0	16.8	15.8	12.2	5.6	1.5	13.8	3.1	8.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	45	11	6	10	6	1	0	5	2	4
		100.0	24.4	13.3	22.2	13.3	2.2	0.0	11.1	4.4	8.9
	妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	235	46	61	33	21	14	7	16	16	21	
	100.0	19.6	26.0	14.0	8.9	6.0	3.0	6.8	6.8	8.9	
	無回答	17	1	3	3	2	1	1	2	3	
	100.0	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	11.8	17.6	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	252	52	56	39	26	13	5	22	15	24
		100.0	20.6	22.2	15.5	10.3	5.2	2.0	8.7	6.0	9.5
	浸水予測区域外	240	50	50	37	28	14	6	25	11	19
		100.0	20.8	20.8	15.4	11.7	5.8	2.5	10.4	4.6	7.9

問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッド※の設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	80万円以上	無回答
総合	実数	492	126	153	83	47	20	7	18	38
		100.0	25.6	31.1	16.9	9.6	4.1	1.4	3.7	7.7
性別	男性	247	77	67	37	24	8	1	14	19
		100.0	31.2	27.1	15.0	9.7	3.2	0.4	5.7	7.7
	女性	242	49	86	45	22	12	6	4	18
	100.0	20.2	35.5	18.6	9.1	5.0	2.5	1.7	7.4	
	回答しない(無回答含む)	3	0	0	1	1	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
年代別	10歳代	2	1	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	22	4	9	7	0	2	0	0	0
		100.0	18.2	40.9	31.8	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	30歳代	39	12	9	14	1	1	1	0	1
		100.0	30.8	23.1	35.9	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6
	40歳代	88	26	30	10	11	4	1	5	1
		100.0	29.5	34.1	11.4	12.5	4.5	1.1	5.7	1.1
	50歳代	100	29	39	13	8	4	0	5	2
	100.0	29.0	39.0	13.0	8.0	4.0	0.0	5.0	2.0	
60歳代	144	28	49	24	19	3	1	7	13	
	100.0	19.4	34.0	16.7	13.2	2.1	0.7	4.9	9.0	
70歳以上	96	26	16	14	8	6	4	1	21	
	100.0	27.1	16.7	14.6	8.3	6.3	4.2	1.0	21.9	
	無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	33	10	6	7	4	1	1	0	4
		100.0	30.3	18.2	21.2	12.1	3.0	3.0	0.0	12.1
	漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	50	13	21	7	1	4	0	0	4
		100.0	26.0	42.0	14.0	2.0	8.0	0.0	0.0	8.0
	会社員(役員を含む)、公務員	151	36	47	34	12	8	1	9	4
		100.0	23.8	31.1	22.5	7.9	5.3	0.7	6.0	2.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	15	3	2	1	4	1	0	2	2
		100.0	20.0	13.3	6.7	26.7	6.7	0.0	13.3	13.3
	主婦・主夫	39	8	14	4	5	2	0	0	6
	100.0	20.5	35.9	10.3	12.8	5.1	0.0	0.0	15.4	
パート・アルバイト	61	11	26	10	8	1	1	0	4	
	100.0	18.0	42.6	16.4	13.1	1.6	1.6	0.0	6.6	
学生	5	1	3	1	0	0	0	0	0	
	100.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	106	36	23	16	9	2	3	7	10	
	100.0	34.0	21.7	15.1	8.5	1.9	2.8	6.6	9.4	
その他	27	7	8	2	4	1	1	0	4	
	100.0	25.9	29.6	7.4	14.8	3.7	3.7	0.0	14.8	
	無回答	5	1	3	1	0	0	0	0	0
		100.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	52	15	16	7	4	3	1	1	5
		100.0	28.8	30.8	13.5	7.7	5.8	1.9	1.9	9.6
	1人	155	36	44	27	21	6	2	8	11
		100.0	23.2	28.4	17.4	13.5	3.9	1.3	5.2	7.1
	2人	124	37	34	19	10	5	2	5	12
		100.0	29.8	27.4	15.3	8.1	4.0	1.6	4.0	9.7
	3人	97	21	39	19	9	2	1	1	5
		100.0	21.6	40.2	19.6	9.3	2.1	1.0	1.0	5.2
	4人	37	10	14	3	1	3	1	1	4
	100.0	27.0	37.8	8.1	2.7	8.1	2.7	2.7	10.8	
5人	14	5	1	7	0	0	0	1	0	
	100.0	35.7	7.1	50.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	
6人以上	11	1	5	1	2	1	0	1	0	
	100.0	9.1	45.5	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	
	無回答	2	1	0	0	0	0	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	15	5	4	2	1	1	0	2	0
		100.0	33.3	26.7	13.3	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	11	3	1	6	0	0	0	1	0
		100.0	27.3	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	小学生	28	3	14	6	3	0	1	1	0
		100.0	10.7	50.0	21.4	10.7	0.0	3.6	3.6	0.0
	70歳以上の人	196	54	55	30	23	10	3	6	15
		100.0	27.6	28.1	15.3	11.7	5.1	1.5	3.1	7.7
	日常生活で介護や支援を必要とする人	45	13	17	7	2	0	2	2	2
	100.0	28.9	37.8	15.6	4.4	0.0	4.4	4.4	4.4	
妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	235	55	78	44	20	8	3	7	20	
	100.0	23.4	33.2	18.7	8.5	3.4	1.3	3.0	8.5	
	無回答	17	5	4	1	1	1	3	2	0
		100.0	29.4	23.5	5.9	5.9	0.0	17.6	11.8	
浸水予測	浸水予測区域内	252	67	76	44	22	10	4	9	20
		100.0	26.6	30.2	17.5	8.7	4.0	1.6	3.6	7.9
	浸水予測区域外	240	59	77	39	25	10	3	9	18
		100.0	24.6	32.1	16.3	10.4	4.2	1.3	3.8	7.5

問5 4 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○）

	サンプル	整備など できる環境 の相置	相談窓 口の設 置	補助制 度の周 知	地域の 配布の 状況	地区ご との耐 震化の 説明	戸別に 耐震訪 問の必 要	耐震診 断士の 無	耐震改 修工事 の対引 率	耐震改 修工事 の対引 率	耐震改 修工事 の対引 率	耐震改 修工事 の対引 率
総合	実数	1,779	671	643	389	729	574	244				
性別	男性	903	37.7	36.1	21.9	41.0	32.3	13.7				
	女性	857	37.9	37.1	24.3	39.0	32.4	12.1				
	回答しない(無回答含む)	19	2	4	3	5	6	3				
年代別	10歳代	18	10	8	4	11	4	3				
	20歳代	126	55.6	44.4	22.2	61.1	22.2	16.7				
	30歳代	214	58	61	26	54	40	17				
	40歳代	386	46.0	48.4	20.6	42.9	31.7	13.5				
	50歳代	400	52	77	48	93	85	39				
	60歳代	428	24.3	36.0	22.4	43.5	39.7	18.2				
	70歳以上	203	127	141	94	155	139	61				
	無回答	4	32.9	36.5	24.4	40.2	36.0	15.8				
職業別	農林業	88	163	128	72	177	129	53				
	漁業	4	40.8	32.0	18.0	44.3	32.3	13.3				
	商工サービス業自営	128	27	20	11	19	18	5				
	会社員(役員を含む)、公務員	739	54	37	29	55	37	23				
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	39.7	27.2	21.3	40.4	27.2	16.9				
	主婦・主夫	136	92	72	39	96	80	30				
	パート・アルバイト	229	40.2	31.4	17.0	41.9	34.9	13.1				
	学生	49	25	22	13	26	16	8				
	無職(すでに退職を含む)	253	51.0	44.9	26.5	53.1	32.7	16.3				
	その他	92	93	100	53	92	72	27				
	無回答	11	36.8	39.5	20.9	36.4	28.5	10.7				
	同居人数	0人(独居)	143	33	30	17	24	25	8			
1人		428	37.5	34.1	19.3	27.3	28.4	9.1				
2人		441	2	0	1	2	2	1				
3人		390	48	40	25	48	41	24				
4人		227	37.5	31.3	19.5	37.5	32.0	18.8				
5人		92	259	288	175	328	245	103				
6人以上		52	35.0	39.0	23.7	44.4	33.2	13.9				
無回答		6	27	20	11	19	18	5				
ご家族の うち、次に 該当する 方はいますか	3歳以下の乳幼児	108	54	54	37	40	26	20				
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	42.0	37.8	25.9	28.0	18.2	14.0				
	小学生	221	161	168	84	181	131	61				
	70歳以上の人	533	37.6	39.3	19.6	42.3	30.6	14.3				
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	44.2	35.1	22.9	37.9	30.2	14.1				
	妊産婦	8	186	155	101	167	133	62				
	1~6の人はいない	920	133	127	76	171	139	56				
	無回答	41	34.1	32.6	19.5	43.8	35.6	14.4				
	浸水予測区域外	894	82	93	46	97	83	27				
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	36.1	41.0	20.3	42.7	36.6	11.9				
	浸水予測区域外	894	27	28	31	43	36	10				
		33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7				
		24.1	34.3	30.6	49.1	36.1	13.0					
		27	34	28	38	40	13					
		34.4	32.6	27.1	45.2	43.0	11.8					
		200	184	117	217	178	77					
		48	27	24	45	32	20					
		44.4	25.0	22.2	41.7	29.6	18.5					
		2	3	3	6	2	1					
		25.0	37.5	37.5	75.0	25.0	12.5					
		358	352	189	375	285	128					
		38.9	38.3	20.5	40.8	31.0	13.9					
		17	12	16	16	4	3					
		41.5	29.3	39.0	39.0	9.8	7.3					
		326	324	185	369	279	115					
		36.8	36.6	20.9	41.7	31.5	13.0					
		345	319	204	360	295	129					
		38.6	35.7	22.8	40.3	33.0	14.4					

問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サ ン プ ル	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
総 合	実数	1,779	1,669	97	13
		100.0	93.8	5.5	0.7
性 別	男性	903	860	36	7
		100.0	95.2	4.0	0.8
	女性	857	791	60	6
	100.0	92.3	7.0	0.7	
	回答しない(無回答含む)	19	18	1	0
		100.0	94.7	5.3	0.0
年 代 別	10歳代	18	17	1	0
		100.0	94.4	5.6	0.0
	20歳代	126	123	3	0
		100.0	97.6	2.4	0.0
	30歳代	214	196	18	0
		100.0	91.6	8.4	0.0
	40歳代	386	370	16	0
		100.0	95.9	4.1	0.0
	50歳代	400	382	17	1
	100.0	95.5	4.3	0.3	
60歳代	428	396	29	3	
	100.0	92.5	6.8	0.7	
70歳以上	203	181	13	9	
	100.0	89.2	6.4	4.4	
	無回答	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
職 業 別	農林業	88	80	7	1
		100.0	90.9	8.0	1.1
	漁業	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	121	6	1
		100.0	94.5	4.7	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	711	28	0
		100.0	96.2	3.8	0.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	48	2	0
		100.0	96.0	4.0	0.0
	主婦・主夫	136	123	11	2
		100.0	90.4	8.1	1.5
	パート・アルバイト	229	212	14	3
	100.0	92.6	6.1	1.3	
学生	49	47	2	0	
	100.0	95.9	4.1	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	229	21	3	
	100.0	90.5	8.3	1.2	
その他	92	84	5	3	
	100.0	91.3	5.4	3.3	
	無回答	11	10	1	0
		100.0	90.9	9.1	0.0
同 居 人 数	0人(独居)	143	127	13	3
		100.0	88.8	9.1	2.1
	1人	428	409	18	1
		100.0	95.6	4.2	0.2
	2人	441	417	21	3
		100.0	94.6	4.8	0.7
	3人	390	364	23	3
		100.0	93.3	5.9	0.8
	4人	227	213	14	0
	100.0	93.8	6.2	0.0	
5人	92	87	5	0	
	100.0	94.6	5.4	0.0	
6人以上	52	49	3	0	
	100.0	94.2	5.8	0.0	
	無回答	6	3	0	3
		100.0	50.0	0.0	50.0
ご 家 族 の 中 に 、 次 に 該 当 す る	3歳以下の乳幼児	108	99	9	0
		100.0	91.7	8.3	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	84	6	0
		100.0	93.3	6.7	0.0
	小学生	221	207	14	0
		100.0	93.7	6.3	0.0
	70歳以上の人	533	498	31	4
		100.0	93.4	5.8	0.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	102	5	1
	100.0	94.4	4.6	0.9	
妊産婦	8	8	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	920	870	43	7	
	100.0	94.6	4.7	0.8	
	無回答	41	34	6	1
		100.0	82.9	14.6	2.4
区 域 別	浸水予測区域内	885	823	57	5
		100.0	93.0	6.4	0.6
	浸水予測区域外	894	846	40	8
	100.0	94.6	4.5	0.9	

問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー」を知っていますか。
(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	知っている	知らない	無回答
総合	実数	1,779	854	913	12
		100.0	48.0	51.3	0.7
性別	男性	903	505	392	6
		100.0	55.9	43.4	0.7
	女性	857	338	513	6
		100.0	39.4	59.9	0.7
	回答しない(無回答含む)	19	11	8	0
		100.0	57.9	42.1	0.0
年代別	10歳代	18	7	11	0
		100.0	38.9	61.1	0.0
	20歳代	126	49	76	1
		100.0	38.9	60.3	0.8
	30歳代	214	104	110	0
		100.0	48.6	51.4	0.0
	40歳代	386	163	223	0
		100.0	42.2	57.8	0.0
	50歳代	400	201	198	1
	100.0	50.2	49.5	0.3	
60歳代	428	220	204	4	
	100.0	51.4	47.7	0.9	
70歳以上	203	109	88	6	
	100.0	53.7	43.3	3.0	
	無回答	4	1	3	0
		100.0	25.0	75.0	0.0
職業別	農林業	88	41	46	1
		100.0	46.6	52.3	1.1
	漁業	4	3	1	0
		100.0	75.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	63	64	1
		100.0	49.2	50.0	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	363	375	1
		100.0	49.1	50.7	0.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	26	24	0
		100.0	52.0	48.0	0.0
	主婦・主夫	136	65	69	2
		100.0	47.8	50.7	1.5
	パート・アルバイト	229	91	136	2
	100.0	39.7	59.4	0.9	
学生	49	24	25	0	
	100.0	49.0	51.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	138	113	2	
	100.0	54.5	44.7	0.8	
その他	92	34	55	3	
	100.0	37.0	59.8	3.3	
	無回答	11	6	5	0
		100.0	54.5	45.5	0.0
同居人数	0人(独居)	143	67	74	2
		100.0	46.9	51.7	1.4
	1人	428	230	198	0
		100.0	53.7	46.3	0.0
	2人	441	210	226	5
		100.0	47.6	51.2	1.1
	3人	390	169	218	3
		100.0	43.3	55.9	0.8
	4人	227	105	122	0
	100.0	46.3	53.7	0.0	
5人	92	51	41	0	
	100.0	55.4	44.6	0.0	
6人以上	52	21	31	0	
	100.0	40.4	59.6	0.0	
	無回答	6	1	3	2
		100.0	16.7	50.0	33.3
ご家族の 中につき、 や次に該当 しますか	3歳以下の乳幼児	108	47	61	0
		100.0	43.5	56.5	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	43	47	0
		100.0	47.8	52.2	0.0
	小学生	221	101	120	0
		100.0	45.7	54.3	0.0
	70歳以上の人	533	261	269	3
		100.0	49.0	50.5	0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	47	60	1
		100.0	43.5	55.6	0.9
妊産婦	8	4	4	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	
1~6の人はいない	920	449	464	7	
	100.0	48.8	50.4	0.8	
	無回答	41	18	22	1
		100.0	43.9	53.7	2.4
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	435	445	5
		100.0	49.2	50.3	0.6
	浸水予測区域外	894	419	468	7
		100.0	46.9	52.3	0.8

問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	設 置 し て い る	設 置 し て い な い	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1,779	276	866	620	17
		100.0	15.5	48.7	34.9	1.0
性別	男性	903	140	489	266	8
		100.0	15.5	54.2	29.5	0.9
	女性	857	133	370	345	9
	100.0	15.5	43.2	40.3	1.1	
	回答しない(無回答含む)	19	3	7	9	0
		100.0	15.8	36.8	47.4	0.0
年代別	10歳代	18	2	3	13	0
		100.0	11.1	16.7	72.2	0.0
	20歳代	126	13	41	72	0
		100.0	10.3	32.5	57.1	0.0
	30歳代	214	31	85	98	0
		100.0	14.5	39.7	45.8	0.0
	40歳代	386	59	165	161	1
		100.0	15.3	42.7	41.7	0.3
	50歳代	400	58	219	121	2
	100.0	14.5	54.8	30.3	0.5	
60歳代	428	62	249	111	6	
	100.0	14.5	58.2	25.9	1.4	
70歳以上	203	51	101	43	8	
	100.0	25.1	49.8	21.2	3.9	
	無回答	4	0	3	1	0
		100.0	0.0	75.0	25.0	0.0
職業別	農林業	88	10	53	23	2
		100.0	11.4	60.2	26.1	2.3
	漁業	4	1	2	1	0
		100.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	19	73	35	1
		100.0	14.8	57.0	27.3	0.8
	会社員（役員を含む）、公務員	739	114	359	264	2
		100.0	15.4	48.6	35.7	0.3
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	50	8	24	17	1
		100.0	16.0	48.0	34.0	2.0
	主婦・主夫	136	31	57	44	4
		100.0	22.8	41.9	32.4	2.9
	パート・アルバイト	229	29	100	98	2
	100.0	12.7	43.7	42.8	0.9	
学生	49	7	13	29	0	
	100.0	14.3	26.5	59.2	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	43	144	64	2	
	100.0	17.0	56.9	25.3	0.8	
その他	92	11	36	42	3	
	100.0	12.0	39.1	45.7	3.3	
	無回答	11	3	5	3	0
		100.0	27.3	45.5	27.3	0.0
同居人数	0人（独居）	143	23	66	51	3
		100.0	16.1	46.2	35.7	2.1
	1人	428	66	227	133	2
		100.0	15.4	53.0	31.1	0.5
	2人	441	72	225	139	5
		100.0	16.3	51.0	31.5	1.1
	3人	390	51	194	141	4
		100.0	13.1	49.7	36.2	1.0
	4人	227	36	97	94	0
	100.0	15.9	42.7	41.4	0.0	
5人	92	19	31	41	1	
	100.0	20.7	33.7	44.6	1.1	
6人以上	52	8	25	19	0	
	100.0	15.4	48.1	36.5	0.0	
	無回答	6	1	1	2	2
		100.0	16.7	16.7	33.3	33.3
ご家族の 中 に 、 次 に 該 当 す る	3歳以下の乳幼児	108	21	39	48	0
		100.0	19.4	36.1	44.4	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	20	26	44	0
		100.0	22.2	28.9	48.9	0.0
	小学生	221	42	82	96	1
		100.0	19.0	37.1	43.4	0.5
	70歳以上の人	533	83	275	171	4
		100.0	15.6	51.6	32.1	0.8
	日常生活で介護や支援を必要とする	108	10	63	35	0
		100.0	9.3	58.3	32.4	0.0
妊産婦	8	1	3	4	0	
	100.0	12.5	37.5	50.0	0.0	
1～6の人はいない	920	136	468	306	10	
	100.0	14.8	50.9	33.3	1.1	
	無回答	41	5	21	13	2
		100.0	12.2	51.2	31.7	4.9
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	136	417	323	9
		100.0	15.4	47.1	36.5	1.0
	浸水予測区域外	894	140	449	297	8
		100.0	15.7	50.2	33.2	0.9

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。
 感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。
 (当てはまるものすべてに○)

上段：人数
 下段：%

		サンプル	かかったことを知らなかった	感震ブレーカー	必要性を感じていない	手間がかかる	費用がかかる	設置の方法がわからない	どこで売っていない	その他	無回答
総合	実数	866	420	95	82	221	209	176	52	10	
			48.5	11.0	9.5	25.5	24.1	20.3	6.0	1.2	
性別	男性	489	202	74	54	148	106	99	32	5	
			41.3	15.1	11.0	30.3	21.7	20.2	6.5	1.0	
	女性	370	215	21	28	71	101	76	19	5	
			58.1	5.7	7.6	19.2	27.3	20.5	5.1	1.4	
	回答しない(無回答含む)	7	3	0	0	2	2	1	1	0	
			42.9	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	
年代別	10歳代	3	3	0	1	1	1	1	0	0	
			100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	
	20歳代	41	21	1	3	12	8	16	1	1	
			51.2	2.4	7.3	29.3	19.5	39.0	2.4	2.4	
	30歳代	85	33	9	13	30	22	20	6	0	
			38.8	10.6	15.3	35.3	25.9	23.5	7.1	0.0	
	40歳代	165	82	13	16	47	35	31	8	2	
			49.7	7.9	9.7	28.5	21.2	18.8	4.8	1.2	
	50歳代	219	109	19	19	46	56	41	15	2	
			49.8	8.7	8.7	21.0	25.6	18.7	6.8	0.9	
60歳代	249	117	37	25	63	67	47	18	2		
		47.0	14.9	10.0	25.3	26.9	18.9	7.2	0.8		
70歳以上	101	53	16	5	22	19	19	4	3		
		52.5	15.8	5.0	21.8	18.8	18.8	4.0	3.0		
	無回答	3	2	0	0	0	1	1	0	0	
			66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	
職業別	農林業	53	27	9	7	10	10	12	2	1	
			50.9	17.0	13.2	18.9	18.9	22.6	3.8	1.9	
	漁業	2	0	1	1	1	0	1	0	0	
			0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	73	35	10	1	21	16	13	3	1	
			47.9	13.7	1.4	28.8	21.9	17.8	4.1	1.4	
	会社員(役員を含む)、公務員	359	164	41	38	98	84	68	18	4	
			45.7	11.4	10.6	27.3	23.4	18.9	5.0	1.1	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	24	9	3	3	4	6	6	3	0	
			37.5	12.5	12.5	16.7	25.0	25.0	12.5	0.0	
	主婦・主夫	57	32	1	5	7	17	13	6	0	
			56.1	1.8	8.8	12.3	29.8	22.8	10.5	0.0	
	パート・アルバイト	100	57	8	8	22	30	18	4	0	
			57.0	8.0	8.0	22.0	30.0	18.0	4.0	0.0	
学生	13	8	0	1	5	2	5	0	1		
		61.5	0.0	7.7	38.5	15.4	38.5	0.0	7.7		
無職(すでに退職を含む)	144	62	20	17	48	37	35	11	3		
		43.1	13.9	11.8	33.3	25.7	24.3	7.6	2.1		
その他	36	23	1	1	5	5	3	4	0		
		63.9	2.8	2.8	13.9	13.9	8.3	11.1	0.0		
	無回答	5	3	1	0	0	2	2	1	0	
			60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
同居人数	0人(独居)	66	26	9	8	22	15	12	6	0	
			39.4	13.6	12.1	33.3	22.7	18.2	9.1	0.0	
	1人	227	99	29	20	54	61	45	19	2	
			43.6	12.8	8.8	23.8	26.9	19.8	8.4	0.9	
	2人	225	119	25	19	59	63	49	11	3	
			52.9	11.1	8.4	26.2	28.0	21.8	4.9	1.3	
	3人	194	99	16	22	47	39	40	13	2	
			51.0	8.2	11.3	24.2	20.1	20.6	6.7	1.0	
	4人	97	47	7	6	24	17	15	2	2	
			48.5	7.2	6.2	24.7	17.5	15.5	2.1	2.1	
5人	31	13	6	4	7	8	8	1	1		
		41.9	19.4	12.9	22.6	25.8	25.8	3.2	3.2		
6人以上	25	16	3	3	8	6	7	0	0		
		64.0	12.0	12.0	32.0	24.0	28.0	0.0	0.0		
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	39	18	5	6	13	6	6	3	0	
			46.2	12.8	15.4	33.3	15.4	15.4	7.7	0.0	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	26	13	2	5	6	4	5	0	0	
			50.0	7.7	19.2	23.1	15.4	19.2	0.0	0.0	
	小学生	82	38	5	9	21	20	16	4	0	
			46.3	6.1	11.0	25.6	24.4	19.5	4.9	0.0	
	70歳以上の人	275	138	34	24	66	70	55	11	4	
			50.2	12.4	8.7	24.0	25.5	20.0	4.0	1.5	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	63	30	2	4	19	20	16	3	0	
			47.6	3.2	6.3	30.2	31.7	25.4	4.8	0.0	
妊産婦	3	2	0	1	1	0	0	0	0		
		66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
1~6の人はいない	468	224	54	46	123	98	82	35	6		
		47.9	11.5	9.8	26.3	23.9	20.9	7.5	1.3		
	無回答	21	10	2	2	4	5	5	1	0	
			47.6	9.5	9.5	19.0	23.8	23.8	4.8	0.0	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	417	193	49	40	111	98	82	27	5	
			46.3	11.8	9.6	26.6	23.5	19.7	6.5	1.2	
	浸水予測区域外	449	227	46	42	110	111	94	25	5	
			50.6	10.2	9.4	24.5	24.7	20.9	5.6	1.1	

問59 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
総合	実数	1,779	977	780	22
		100.0	55.0	43.8	1.2
性別	男性	903	508	384	11
		100.0	56.3	42.5	1.2
	女性	857	459	387	11
	100.0	53.6	45.2	1.3	
	回答しない(無回答含む)	19	10	9	0
		100.0	52.6	47.4	0.0
年代別	10歳代	18	10	8	0
		100.0	55.6	44.4	0.0
	20歳代	126	67	59	0
		100.0	53.2	46.8	0.0
	30歳代	214	111	102	1
		100.0	51.9	47.7	0.5
	40歳代	386	190	194	2
		100.0	49.2	50.3	0.5
	50歳代	400	227	170	3
	100.0	56.8	42.5	0.8	
60歳代	428	252	167	9	
	100.0	58.9	39.0	2.1	
70歳以上	203	118	78	7	
	100.0	58.1	38.4	3.4	
	無回答	4	2	2	0
		100.0	50.0	50.0	0.0
職業別	農林業	88	51	36	1
		100.0	58.0	40.9	1.1
	漁業	4	2	2	0
		100.0	50.0	50.0	0.0
	商工サービス業自営	128	72	55	1
		100.0	56.3	43.0	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	411	324	4
		100.0	55.6	43.8	0.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	28	21	1
		100.0	56.0	42.0	2.0
	主婦・主夫	136	86	48	2
		100.0	63.2	35.3	1.5
	パート・アルバイト	229	115	109	5
	100.0	50.2	47.6	2.2	
学生	49	31	18	0	
	100.0	63.3	36.7	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	130	117	6	
	100.0	51.4	46.2	2.4	
その他	92	45	45	2	
	100.0	48.9	48.9	2.2	
	無回答	11	6	5	0
		100.0	54.5	45.5	0.0
同居人数	0人(独居)	143	67	75	1
		100.0	46.9	52.4	0.7
	1人	428	258	165	5
		100.0	60.3	38.6	1.2
	2人	441	246	189	6
		100.0	55.8	42.9	1.4
	3人	390	199	185	6
		100.0	51.0	47.4	1.5
	4人	227	123	102	2
	100.0	54.2	44.9	0.9	
5人	92	54	38	0	
	100.0	58.7	41.3	0.0	
6人以上	52	28	24	0	
	100.0	53.8	46.2	0.0	
	無回答	6	2	2	2
		100.0	33.3	33.3	33.3
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108	56	52	0
		100.0	51.9	48.1	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	58	32	0
		100.0	64.4	35.6	0.0
	小学生	221	107	114	0
		100.0	48.4	51.6	0.0
	70歳以上の人	533	295	226	12
		100.0	55.3	42.4	2.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	52	53	3
	100.0	48.1	49.1	2.8	
妊産婦	8	5	3	0	
	100.0	62.5	37.5	0.0	
1~6の人はいない	920	512	400	8	
	100.0	55.7	43.5	0.9	
	無回答	41	21	19	1
		100.0	51.2	46.3	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	503	368	14
		100.0	56.8	41.6	1.6
	浸水予測区域外	894	474	412	8
		100.0	53.0	46.1	0.9

問60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	最寄りの避難所	県内の家の親せきや友人の家	県外の家の親せきや友人の家	自家用車の中(車中泊)	テント(野宿)	その他	無回答
総合	実数	1,779	839	455	57	292	47	75	14
		100.0	47.2	25.6	3.2	16.4	2.6	4.2	0.8
性別	男性	903	434	234	35	129	28	37	6
		100.0	48.1	25.9	3.9	14.3	3.1	4.1	0.7
	女性	857	395	218	22	159	19	36	8
	100.0	46.1	25.4	2.6	18.6	2.2	4.2	0.9	
	回答しない(無回答含む)	19	10	3	0	4	0	2	0
		100.0	52.6	15.8	0.0	21.1	0.0	10.5	0.0
年代別	10歳代	18	9	5	2	0	1	1	0
		100.0	50.0	27.8	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0
	20歳代	126	74	21	8	18	1	4	0
		100.0	58.7	16.7	6.3	14.3	0.8	3.2	0.0
	30歳代	214	97	64	7	31	6	9	0
		100.0	45.3	29.9	3.3	14.5	2.8	4.2	0.0
	40歳代	386	168	108	15	66	12	15	2
		100.0	43.5	28.0	3.9	17.1	3.1	3.9	0.5
	50歳代	400	175	103	9	89	8	13	3
	100.0	43.8	25.8	2.3	22.3	2.0	3.3	0.8	
60歳代	428	207	108	13	61	16	21	2	
	100.0	48.4	25.2	3.0	14.3	3.7	4.9	0.5	
70歳以上	203	107	45	3	26	3	12	7	
	100.0	52.7	22.2	1.5	12.8	1.5	5.9	3.4	
	無回答	4	2	1	0	1	0	0	0
		100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	35	15	3	13	9	11	2
		100.0	39.8	17.0	3.4	14.8	10.2	12.5	2.3
	漁業	4	3	0	0	1	0	0	0
		100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	60	38	4	19	4	3	0
		100.0	46.9	29.7	3.1	14.8	3.1	2.3	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	343	206	27	124	15	21	3
		100.0	46.4	27.9	3.7	16.8	2.0	2.8	0.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	20	15	3	5	3	4	0
		100.0	40.0	30.0	6.0	10.0	6.0	8.0	0.0
	主婦・主夫	136	57	36	2	34	2	4	1
		100.0	41.9	26.5	1.5	25.0	1.5	2.9	0.7
	パート・アルバイト	229	97	63	6	48	3	8	4
	100.0	42.4	27.5	2.6	21.0	1.3	3.5	1.7	
学生	49	30	11	2	2	1	3	0	
	100.0	61.2	22.4	4.1	4.1	2.0	6.1	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	142	51	8	28	8	14	2	
	100.0	56.1	20.2	3.2	11.1	3.2	5.5	0.8	
その他	92	44	19	2	16	2	7	2	
	100.0	47.8	20.7	2.2	17.4	2.2	7.6	2.2	
	無回答	11	8	1	0	2	0	0	0
		100.0	72.7	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	143	67	34	8	18	4	10	2
		100.0	46.9	23.8	5.6	12.6	2.8	7.0	1.4
	1人	428	182	108	13	89	13	22	1
		100.0	42.5	25.2	3.0	20.8	3.0	5.1	0.2
	2人	441	217	125	8	59	9	20	3
		100.0	49.2	28.3	1.8	13.4	2.0	4.5	0.7
	3人	390	189	91	12	73	12	10	3
		100.0	48.5	23.3	3.1	18.7	3.1	2.6	0.8
	4人	227	114	62	7	35	4	4	1
	100.0	50.2	27.3	3.1	15.4	1.8	1.8	0.4	
5人	92	43	20	6	12	1	8	2	
	100.0	46.7	21.7	6.5	13.0	1.1	8.7	2.2	
6人以上	52	26	13	3	5	4	1	0	
	100.0	50.0	25.0	5.8	9.6	7.7	1.9	0.0	
	無回答	6	1	2	0	1	0	2	0
		100.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	108	56	33	4	9	1	4	1
		100.0	51.9	30.6	3.7	8.3	0.9	3.7	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	47	25	5	11	0	1	1
		100.0	52.2	27.8	5.6	12.2	0.0	1.1	1.1
	小学生	221	100	65	12	35	2	6	1
		100.0	45.2	29.4	5.4	15.8	0.9	2.7	0.5
	70歳以上の人	533	284	111	14	84	12	22	6
		100.0	53.3	20.8	2.6	15.8	2.3	4.1	1.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	53	23	0	22	4	6	0
	100.0	49.1	21.3	0.0	20.4	3.7	5.6	0.0	
妊産婦	8	5	3	0	0	0	0	0	
	100.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1〜6の人はいない	920	406	243	33	163	29	41	5	
	100.0	44.1	26.4	3.6	17.7	3.2	4.5	0.5	
	無回答	41	19	13	0	5	3	1	0
		100.0	46.3	31.7	0.0	12.2	0.0	7.3	2.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	442	219	30	130	16	40	8
		100.0	49.9	24.7	3.4	14.7	1.8	4.5	0.9
	浸水予測区域外	894	397	236	27	162	31	35	6
		100.0	44.4	26.4	3.0	18.1	3.5	3.9	0.7

問6 1 問60で「4. 自家用車の中（車中泊）」、「5. テント（野宿）」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか（3つまで○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	避難所に行くことができないと思う	その他	無回答
総合	実数	339	193	234	54	32	10	110	29	2			
			56.9	69.0	15.9	9.4	2.9	32.4	8.6	0.6			
性別	男性	157	97	108	32	11	4	33	17	1			
			61.8	68.8	20.4	7.0	2.5	21.0	10.8	0.6			
	女性	178	94	123	22	19	6	75	12	1			
			52.8	69.1	12.4	10.7	3.4	42.1	6.7	0.6			
	回答しない(無回答含む)	4	2	3	0	2	0	2	0	0			
			50.0	75.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0			
年代別	10歳代	1	0	1	0	0	0	1	0	0			
			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0			
	20歳代	19	11	15	1	2	1	5	0	0			
			57.9	78.9	5.3	10.5	5.3	26.3	0.0	0.0			
	30歳代	37	22	27	4	1	4	12	5	1			
			59.5	73.0	10.8	2.7	10.8	32.4	13.5	2.7			
	40歳代	78	43	54	7	7	5	31	10	0			
			55.1	69.2	9.0	9.0	6.4	39.7	12.8	0.0			
	50歳代	97	45	73	14	11	0	35	9	1			
			46.4	75.3	14.4	11.3	0.0	36.1	9.3	1.0			
60歳代	77	53	49	15	9	0	18	4	0				
		68.8	63.6	19.5	11.7	0.0	23.4	5.2	0.0				
70歳以上	29	18	15	13	2	0	8	1	0				
		62.1	51.7	44.8	6.9	0.0	27.6	3.4	0.0				
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0			
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
職業別	農林業	22	12	10	7	2	0	6	2	0			
			54.5	45.5	31.8	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0			
	漁業	1	0	1	0	0	0	0	0	0			
			0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	商工サービス業自営	23	14	15	5	2	0	8	0	0			
			60.9	65.2	21.7	8.7	0.0	34.8	0.0	0.0			
	会社員（役員を含む）、公務員	139	76	99	21	9	8	45	17	0			
			54.7	71.2	15.1	6.5	5.8	32.4	12.2	0.0			
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	8	7	5	2	0	0	0	0	0			
			87.5	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	主婦・主夫	36	25	23	4	4	1	16	1	0			
			69.4	63.9	11.1	11.1	2.8	44.4	2.8	0.0			
	パート・アルバイト	51	29	41	3	5	1	15	4	2			
			56.9	80.4	5.9	9.8	2.0	29.4	7.8	3.9			
	学生	3	2	3	0	0	0	2	0	0			
		66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0				
無職（すでに退職を含む）	36	19	24	9	9	0	8	3	0				
		52.8	66.7	25.0	25.0	0.0	22.2	8.3	0.0				
その他	18	8	12	3	1	0	9	2	0				
		44.4	66.7	16.7	5.6	0.0	50.0	11.1	0.0				
	無回答	2	1	1	0	0	1	0	0	0			
			50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0			
同居人数	0人（独居）	22	11	13	3	2	0	3	3	0			
			50.0	59.1	13.6	9.1	0.0	13.6	13.6	0.0			
	1人	102	62	74	16	5	0	27	12	1			
			60.8	72.5	15.7	4.9	0.0	26.5	11.8	1.0			
	2人	68	37	47	13	10	0	24	1	0			
			54.4	69.1	19.1	14.7	0.0	35.3	1.5	0.0			
	3人	85	49	60	12	5	2	33	6	1			
			57.6	70.6	14.1	5.9	2.4	38.8	7.1	1.2			
	4人	39	19	23	5	9	3	17	5	0			
			48.7	59.0	12.8	23.1	7.7	43.6	12.8	0.0			
5人	13	8	11	4	1	3	2	1	0				
		61.5	84.6	30.8	7.7	23.1	15.4	7.7	0.0				
6人以上	9	6	6	1	0	2	4	1	0				
		66.7	66.7	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	0.0				
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0			
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	10	5	5	0	1	7	3	1	0			
			50.0	50.0	0.0	10.0	70.0	30.0	10.0	0.0			
	4歳以上で小学校入学前の子ども	11	9	8	1	0	6	2	3	0			
			81.8	72.7	9.1	0.0	54.5	18.2	27.3	0.0			
	小学生	37	24	23	5	5	6	15	4	0			
			64.9	62.2	13.5	13.5	16.2	40.5	10.8	0.0			
	70歳以上の人	96	47	68	38	18	1	34	5	1			
			49.0	70.8	39.6	18.8	1.0	35.4	5.2	1.0			
	日常生活で介護や支援を必要とする人	26	10	17	10	10	1	7	2	0			
		38.5	65.4	38.5	38.5	3.8	26.9	7.7	0.0				
妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
1～6の人はいない	192	117	134	12	6	0	59	17	1				
		60.9	69.8	6.3	3.1	0.0	30.7	8.9	0.5				
	無回答	5	4	3	0	0	0	1	0	0			
			80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0			
浸水予測区域別	浸水予測区域内	146	96	106	16	11	6	45	11	1			
			65.8	72.6	11.0	7.5	4.1	30.8	7.5	0.7			
	浸水予測区域外	193	97	128	38	21	4	65	18	1			
			50.3	66.3	19.7	10.9	2.1	33.7	9.3	0.5			

問62 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。
(3つまで○)

		サンプル	食料や水の問題	日用品の問題	問題 プライバシーの	多く(人間関係の問題 知らない人が 不安など)	トイレの問題	洗濯・入浴の問題	不衛生な生活による ストレスや体調	持病の治療や悪
総合	実数	1,779	777 43.7	276 15.5	882 49.6	391 22.0	871 49.0	506 28.4	687 38.6	126 7.1
性別	男性	903	426 47.2	157 17.4	447 49.5	211 23.4	428 47.4	261 28.9	329 36.4	65 7.2
	女性	857	346 40.4	117 13.7	429 50.1	175 20.4	432 50.4	236 27.5	354 41.3	59 6.9
	回答しない(無回答含む)	19	5 26.3	2 10.5	6 31.6	5 26.3	11 57.9	9 47.4	4 21.1	2 10.5
年代別	10歳代	18	11 61.1	5 27.8	8 44.4	4 22.2	10 55.6	9 50.0	6 33.3	1 5.6
	20歳代	126	69 54.8	38 30.2	65 51.6	33 26.2	66 52.4	38 30.2	38 30.2	0 0.0
	30歳代	214	108 50.5	50 23.4	110 51.4	48 22.4	81 37.9	56 26.2	84 39.3	9 4.2
	40歳代	386	170 44.0	61 15.8	198 51.3	106 27.5	180 46.6	120 31.1	156 40.4	19 4.9
	50歳代	400	143 35.8	49 12.3	220 55.0	83 20.8	221 55.3	109 27.3	180 45.0	26 6.5
	60歳代	428	193 45.1	53 12.4	203 47.4	81 18.9	225 52.6	115 26.9	155 36.2	47 11.0
	70歳以上	203	82 40.4	20 9.9	77 37.9	36 17.7	86 42.4	56 27.6	66 32.5	24 11.8
	無回答	4	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0
職業別	農林業	88	35 39.8	18 20.5	40 45.5	12 13.6	36 40.9	27 30.7	34 38.6	6 6.8
	漁業	4	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
	商工サービス業自営	128	53 41.4	18 14.1	66 51.6	20 15.6	61 47.7	38 29.7	51 39.8	8 6.3
	会社員(役員を含む)、公務員	739	320 43.3	129 17.5	398 53.9	191 25.8	382 51.7	231 31.3	287 38.8	40 5.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	24 48.0	11 22.0	21 42.0	7 14.0	30 60.0	17 34.0	16 32.0	2 4.0
	主婦・主夫	136	51 37.5	17 12.5	63 46.3	30 22.1	67 49.3	37 27.2	57 41.9	14 10.3
	パート・アルバイト	229	99 43.2	30 13.1	122 53.3	49 21.4	108 47.2	48 21.0	101 44.1	10 4.4
	学生	49	27 55.1	14 28.6	23 46.9	11 22.4	30 61.2	19 38.8	16 32.7	1 2.0
	無職(すでに退職を含む)	253	120 47.4	25 9.9	105 41.5	55 21.7	110 43.5	57 22.5	79 31.2	34 13.4
	その他	92	41 44.6	12 13.0	38 41.3	15 16.3	39 42.4	28 30.4	41 44.6	9 9.8
	無回答	11	3 27.3	1 9.1	3 27.3	1 9.1	6 54.5	4 36.4	4 36.4	1 9.1
同居人数	0人(独居)	143	65 45.5	24 16.8	66 46.2	39 27.3	64 44.8	47 32.9	47 32.9	13 9.1
	1人	428	165 38.6	45 10.5	206 48.1	96 22.4	226 52.8	117 27.3	178 41.6	41 9.6
	2人	441	202 45.8	73 16.6	239 54.2	77 17.5	209 47.4	119 27.0	162 36.7	36 8.2
	3人	390	167 42.8	66 16.9	200 51.3	100 25.6	183 46.9	104 26.7	155 39.7	17 4.4
	4人	227	102 44.9	35 15.4	112 49.3	48 21.1	112 49.3	69 30.4	95 41.9	14 6.2
	5人	92	52 56.5	16 17.4	35 38.0	22 23.9	50 54.3	29 31.5	27 29.3	4 4.3
	6人以上	52	23 44.2	16 30.8	21 40.4	9 17.3	24 46.2	19 36.5	21 40.4	1 1.9
	無回答	6	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるでしょうか	3歳以下の乳幼児	108	58 53.7	27 25.0	51 47.2	24 22.2	44 40.7	21 19.4	35 32.4	3 2.8
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	43 47.8	14 15.6	40 44.4	22 24.4	35 38.9	18 20.0	37 41.1	5 5.6
	小学生	221	107 48.4	45 20.4	117 52.9	62 28.1	98 44.3	74 33.5	90 40.7	9 4.1
	70歳以上の人	533	212 39.8	61 11.4	241 45.2	100 18.8	256 48.0	144 27.0	210 39.4	50 9.4
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	37 34.3	15 13.9	40 37.0	15 13.9	54 50.0	22 20.4	34 31.5	10 9.3
	妊産婦	8	5 62.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0
	1～6の人はいない	920	411 44.7	153 16.6	492 53.5	208 22.6	474 51.5	274 29.8	361 39.2	62 6.7
	無回答	41	17 41.5	4 9.8	17 41.5	10 24.4	21 51.2	9 22.0	12 29.3	3 7.3
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	408 46.1	143 16.2	432 48.8	179 20.2	447 50.5	245 27.7	336 38.0	59 6.7
	浸水予測区域外	894	369 41.3	133 14.9	450 50.3	212 23.7	424 47.4	261 29.2	351 39.3	67 7.5

上段：人数
下段：%

年齢 自分 や家族 である ことが 高	害 自分 や家族 である ことが 障	い 家族 に乳 幼児 が	ペ ット の 問 題	不 安 は な い	そ の 他	無 回 答
161 9.1	51 2.9	66 3.7	308 17.3	18 1.0	33 1.9	22 1.2
72 8.0	19 2.1	24 2.7	122 13.5	13 1.4	19 2.1	13 1.4
87 10.2	30 3.5	41 4.8	182 21.2	5 0.6	14 1.6	9 1.1
2 10.5	2 10.5	1 5.3	4 21.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1 5.6	0 0.0	0 0.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7 5.6	3 2.4	5 4.0	27 21.4	1 0.8	1 0.8	0 0.0
6 2.8	4 1.9	40 18.7	43 20.1	1 0.5	7 3.3	1 0.5
19 4.9	6 1.6	13 3.4	72 18.7	5 1.3	5 1.3	3 0.8
40 10.0	11 2.8	5 1.3	81 20.3	2 0.5	9 2.3	3 0.8
42 9.8	15 3.5	2 0.5	61 14.3	7 1.6	7 1.6	7 1.6
44 21.7	12 5.9	1 0.5	20 9.9	2 1.0	4 2.0	8 3.9
2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11 12.5	1 1.1	1 1.1	17 19.3	1 1.1	4 4.5	3 3.4
0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
14 10.9	2 1.6	1 0.8	27 21.1	3 2.3	1 0.8	0 0.0
44 6.0	7 0.9	37 5.0	129 17.5	6 0.8	9 1.2	6 0.8
5 10.0	0 0.0	2 4.0	5 10.0	2 4.0	1 2.0	0 0.0
12 8.8	6 4.4	6 4.4	26 19.1	1 0.7	0 0.0	2 1.5
18 7.9	6 2.6	12 5.2	46 20.1	3 1.3	3 1.3	2 0.9
4 8.2	1 2.0	1 2.0	8 16.3	0 0.0	1 2.0	0 0.0
43 17.0	22 8.7	2 0.8	28 11.1	2 0.8	8 3.2	5 2.0
9 9.8	5 5.4	4 4.3	19 20.7	0 0.0	6 6.5	4 4.3
1 9.1	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
13 9.1	5 3.5	0 0.0	13 9.1	2 1.4	2 1.4	1 0.7
40 9.3	6 1.4	1 0.2	72 16.8	7 1.6	9 2.1	5 1.2
44 10.0	18 4.1	9 2.0	74 16.8	3 0.7	8 1.8	5 1.1
44 11.3	12 3.1	14 3.6	84 21.5	3 0.8	3 0.8	4 1.0
11 4.8	8 3.5	25 11.0	40 17.6	3 1.3	6 2.6	3 1.3
6 6.5	1 1.1	14 15.2	17 18.5	0 0.0	4 4.3	1 1.1
3 5.8	1 1.9	3 5.8	8 15.4	0 0.0	1 1.9	1 1.9
0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
3 2.8	1 0.9	55 50.9	13 12.0	0 0.0	4 3.7	0 0.0
2 2.2	0 0.0	30 33.3	13 14.4	0 0.0	5 5.6	1 1.1
6 2.7	6 2.7	26 11.8	27 12.2	1 0.5	5 2.3	1 0.5
119 22.3	23 4.3	3 0.6	89 16.7	4 0.8	7 1.3	10 1.9
38 35.2	25 23.1	2 1.9	17 15.7	2 1.9	3 2.8	1 0.9
0 0.0	0 0.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30 3.3	9 1.0	1 0.1	175 19.0	11 1.2	14 1.5	10 1.1
6 14.6	2 4.9	0 0.0	5 12.2	1 2.4	2 4.9	1 2.4
83 9.4	21 2.4	32 3.6	144 16.3	8 0.9	17 1.9	11 1.2
78 8.7	30 3.4	34 3.8	164 18.3	10 1.1	16 1.8	11 1.2

問63 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	関わりたい	関わりたくないが、なや関わり方がわから	できない関わり	関わりたくない	わからない	無回答
総合	実数	1,779	326	439	335	122	530	27
		100.0	18.3	24.7	18.8	6.9	29.8	1.5
性別	男性	903	172	205	188	63	261	14
		100.0	19.0	22.7	20.8	7.0	28.9	1.6
	女性	857	152	231	145	56	260	13
		100.0	17.7	27.0	16.9	6.5	30.3	1.5
	回答しない(無回答含む)	19	2	3	2	3	9	0
		100.0	10.5	15.8	10.5	15.8	47.4	0.0
年代別	10歳代	18	6	6	4	0	2	0
		100.0	33.3	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0
	20歳代	126	30	34	16	9	37	0
		100.0	23.8	27.0	12.7	7.1	29.4	0.0
	30歳代	214	26	51	45	18	74	0
		100.0	12.1	23.8	21.0	8.4	34.6	0.0
	40歳代	386	79	94	70	23	118	2
		100.0	20.5	24.4	18.1	6.0	30.6	0.5
	50歳代	400	77	100	73	21	121	8
	100.0	19.3	25.0	18.3	5.3	30.3	2.0	
60歳代	428	79	108	86	30	117	8	
	100.0	18.5	25.2	20.1	7.0	27.3	1.9	
70歳以上	203	29	43	41	20	61	9	
	100.0	14.3	21.2	20.2	9.9	30.0	4.4	
	無回答	4	0	3	0	1	0	0
		100.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	18	17	15	7	30	1
		100.0	20.5	19.3	17.0	8.0	34.1	1.1
	漁業	4	0	1	0	0	3	0
		100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	商工サービス業自営	128	33	28	27	8	31	1
		100.0	25.8	21.9	21.1	6.3	24.2	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	143	200	145	41	206	4
		100.0	19.4	27.1	19.6	5.5	27.9	0.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	8	15	12	6	9	0
		100.0	16.0	30.0	24.0	12.0	18.0	0.0
	主婦・主夫	136	18	26	23	6	59	4
		100.0	13.2	19.1	16.9	4.4	43.4	2.9
パート・アルバイト	229	33	71	43	12	66	4	
	100.0	14.4	31.0	18.8	5.2	28.8	1.7	
学生	49	16	15	4	2	12	0	
	100.0	32.7	30.6	8.2	4.1	24.5	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	38	41	48	35	84	7	
	100.0	15.0	16.2	19.0	13.8	33.2	2.8	
その他	92	19	19	17	5	26	6	
	100.0	20.7	20.7	18.5	5.4	28.3	6.5	
	無回答	11	0	6	1	0	4	0
		100.0	0.0	54.5	9.1	0.0	36.4	0.0
同居人数	0人(独居)	143	16	36	25	13	49	4
		100.0	11.2	25.2	17.5	9.1	34.3	2.8
	1人	428	75	109	93	31	114	6
		100.0	17.5	25.5	21.7	7.2	26.6	1.4
	2人	441	85	106	82	33	129	6
		100.0	19.3	24.0	18.6	7.5	29.3	1.4
	3人	390	78	90	82	20	115	5
		100.0	20.0	23.1	21.0	5.1	29.5	1.3
	4人	227	42	52	35	13	83	2
	100.0	18.5	22.9	15.4	5.7	36.6	0.9	
5人	92	17	29	12	9	24	1	
	100.0	18.5	31.5	13.0	9.8	26.1	1.1	
6人以上	52	13	15	5	3	15	1	
	100.0	25.0	28.8	9.6	5.8	28.8	1.9	
	無回答	6	0	2	1	0	1	2
		100.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3
ご家族の中に、次に該当する	3歳以下の乳幼児	108	15	26	22	8	36	1
		100.0	13.9	24.1	20.4	7.4	33.3	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	10	28	21	7	24	0
		100.0	11.1	31.1	23.3	7.8	26.7	0.0
	小学生	221	44	63	34	11	68	1
		100.0	19.9	28.5	15.4	5.0	30.8	0.5
	70歳以上の人	533	98	121	105	33	165	11
		100.0	18.4	22.7	19.7	6.2	31.0	2.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	17	23	16	9	41	2
	100.0	15.7	21.3	14.8	8.3	38.0	1.9	
妊産婦	8	0	1	3	1	3	0	
	100.0	0.0	12.5	37.5	12.5	37.5	0.0	
1~6の人はいない	920	179	230	175	62	265	9	
	100.0	19.5	25.0	19.0	6.7	28.8	1.0	
	無回答	41	5	11	7	4	11	3
		100.0	12.2	26.8	17.1	9.8	26.8	7.3
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	152	215	162	60	278	18
		100.0	17.2	24.3	18.3	6.8	31.4	2.0
	浸水予測区域外	894	174	224	173	62	252	9
		100.0	19.5	25.1	19.4	6.9	28.2	1.0

問64 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練、学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	て 積 極 的 に 参 加 し	る 時 々 参 加 し て い	い あ ま り 参 加 し て	し が 参 加 し て は い な い	い す し 参 加 し て も 後 は 参 加 し な い	な い 自 主 防 災 組 織 が	い あ る 自 主 防 災 組 織 が	無 回 答
総合	実数	1,779 100.0	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7
性別	男性	903 100.0	82 9.1	131 14.5	182 20.2	92 10.2	132 14.6	36 4.0	240 26.6	8 0.9
	女性	857 100.0	52 6.1	145 16.9	185 21.6	117 13.7	102 11.9	25 2.9	227 26.5	4 0.5
	回答しない(無回答含む)	19 100.0	2 10.5	1 5.3	6 31.6	1 5.3	2 10.5	1 5.3	6 31.6	0 0.0
年代別	10歳代	18 100.0	2 11.1	2 11.1	4 22.2	0 0.0	5 27.8	0 0.0	5 27.8	0 0.0
	20歳代	126 100.0	3 2.4	9 7.1	18 14.3	19 15.1	17 13.5	4 3.2	56 44.4	0 0.0
	30歳代	214 100.0	8 3.7	18 8.4	41 19.2	21 9.8	35 16.4	11 5.1	80 37.4	0 0.0
	40歳代	386 100.0	22 5.7	54 14.0	76 19.7	48 12.4	61 15.8	10 2.6	114 29.5	1 0.3
	50歳代	400 100.0	21 5.3	67 16.8	81 20.3	48 12.0	48 12.0	20 5.0	114 28.5	1 0.3
	60歳代	428 100.0	46 10.7	78 18.2	104 24.3	55 12.9	52 12.1	9 2.1	82 19.2	2 0.5
	70歳以上	203 100.0	33 16.3	49 24.1	49 24.1	17 8.4	18 8.9	8 3.9	21 10.3	8 3.9
	無回答	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	職業別	農林業	88 100.0	17 19.3	21 23.9	18 20.5	3 3.4	10 11.4	2 2.3	15 17.0
漁業		4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
商工サービス業自営		128 100.0	11 8.6	25 19.5	38 29.7	13 10.2	18 14.1	10 7.8	13 10.2	0 0.0
会社員（役員を含む）、公務員		739 100.0	41 5.5	96 13.0	140 18.9	96 13.0	102 13.8	23 3.1	241 32.6	0 0.0
自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）		50 100.0	2 4.0	8 16.0	13 26.0	7 14.0	7 14.0	1 2.0	11 22.0	1 2.0
主婦・主夫		136 100.0	19 14.0	31 22.8	24 17.6	20 14.7	12 8.8	4 2.9	24 17.6	2 1.5
パート・アルバイト		229 100.0	7 3.1	35 15.3	52 22.7	25 10.9	34 14.8	9 3.9	66 28.8	1 0.4
学生		49 100.0	4 8.2	5 10.2	9 18.4	5 10.2	8 16.3	1 2.0	17 34.7	0 0.0
無職（すでに退職を含む）		253 100.0	29 11.5	45 17.8	53 20.9	23 9.1	33 13.0	8 3.2	58 22.9	4 1.6
その他		92 100.0	4 4.3	9 9.8	24 26.1	15 16.3	10 10.9	4 4.3	24 26.1	2 2.2
無回答		11 100.0	2 18.2	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0
同居人数	0人（独居）	143 100.0	6 4.2	17 11.9	28 19.6	21 14.7	22 15.4	3 2.1	44 30.8	2 1.4
	1人	428 100.0	43 10.0	73 17.1	85 19.9	46 10.7	53 12.4	17 4.0	108 25.2	3 0.7
	2人	441 100.0	41 9.3	60 13.6	107 24.3	59 13.4	54 12.2	16 3.6	101 22.9	3 0.7
	3人	390 100.0	19 4.9	68 17.4	69 17.7	45 11.5	61 15.6	11 2.8	115 29.5	2 0.5
	4人	227 100.0	18 7.9	30 13.2	49 21.6	20 8.8	29 12.8	14 6.2	67 29.5	0 0.0
	5人	92 100.0	4 4.3	14 15.2	26 28.3	9 9.8	11 12.0	0 0.0	28 30.4	0 0.0
	6人以上	52 100.0	4 7.7	14 26.9	8 15.4	10 19.2	6 11.5	1 1.9	9 17.3	0 0.0
	無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3
	ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108 100.0	5 4.6	19 17.6	18 16.7	11 10.2	16 14.8	2 1.9	37 34.3
4歳以上で小学校入学前の子ども		90 100.0	3 3.3	16 17.8	11 12.2	8 8.9	9 10.0	5 5.6	38 42.2	0 0.0
小学生		221 100.0	19 8.6	32 14.5	42 19.0	19 8.6	26 11.8	7 3.2	76 34.4	0 0.0
70歳以上の人		533 100.0	50 9.4	94 17.6	99 18.6	66 12.4	71 13.3	20 3.8	127 23.8	6 1.1
日常生活で介護や支援を必要とする人		108 100.0	9 8.3	19 17.6	24 22.2	11 10.2	19 17.6	3 2.8	23 21.3	0 0.0
妊産婦		8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
1～6の人はいない		920 100.0	64 7.0	140 15.2	207 22.5	116 12.6	123 13.4	32 3.5	233 25.3	5 0.5
無回答		41 100.0	3 7.3	4 9.8	12 29.3	3 7.3	3 9.8	1 2.4	15 36.6	1 2.4
浸水予測	浸水予測区域内	885 100.0	70 7.9	145 16.4	178 20.1	100 11.3	126 14.2	32 3.6	228 25.8	6 0.7
	浸水予測区域外	894 100.0	66 7.4	132 14.8	195 21.8	110 12.3	110 12.3	30 3.4	245 27.4	6 0.7

問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サンプル	活躍に活動している	まあ活動している	あまり活動していない	よく知らない	無回答
総合	実数	786	88	316	217	150	15
		100.0	11.2	40.2	27.6	19.1	1.9
性別	男性	395	50	143	125	69	8
		100.0	12.7	36.2	31.6	17.5	2.0
	女性	382	38	172	89	77	6
	100.0	9.9	45.0	23.3	20.2	1.6	
	回答しない(無回答含む)	9	0	1	3	4	1
		100.0	0.0	11.1	33.3	44.4	11.1
年代別	10歳代	8	2	2	1	3	0
		100.0	25.0	25.0	12.5	37.5	0.0
	20歳代	30	5	6	8	11	0
		100.0	16.7	20.0	26.7	36.7	0.0
	30歳代	67	9	19	15	24	0
		100.0	13.4	28.4	22.4	35.8	0.0
	40歳代	152	11	62	46	29	4
		100.0	7.2	40.8	30.3	19.1	2.6
	50歳代	169	23	74	46	23	3
	100.0	13.6	43.8	27.2	13.6	1.8	
60歳代	228	21	104	59	39	5	
	100.0	9.2	45.6	25.9	17.1	2.2	
70歳以上	131	17	49	41	21	3	
	100.0	13.0	37.4	31.3	16.0	2.3	
	無回答	1	0	0	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職業別	農林業	56	6	24	20	6	0
		100.0	10.7	42.9	35.7	10.7	0.0
	漁業	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	74	7	25	28	12	2
		100.0	9.5	33.8	37.8	16.2	2.7
	会社員(役員を含む)、公務員	277	35	112	76	49	5
		100.0	12.6	40.4	27.4	17.7	1.8
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	23	5	6	6	6	0
		100.0	21.7	26.1	26.1	26.1	0.0
	主婦・主夫	74	7	37	18	11	1
		100.0	9.5	50.0	24.3	14.9	1.4
	パート・アルバイト	94	9	39	17	26	3
	100.0	9.6	41.5	18.1	27.7	3.2	
学生	18	4	3	5	6	0	
	100.0	22.2	16.7	27.8	33.3	0.0	
無職(すでに退職を含む)	127	15	48	38	23	3	
	100.0	11.8	37.8	29.9	18.1	2.4	
その他	37	0	19	6	11	1	
	100.0	0.0	51.4	16.2	29.7	2.7	
	無回答	6	0	3	3	0	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	51	4	16	17	13	1
		100.0	7.8	31.4	33.3	25.5	2.0
	1人	201	32	83	48	33	5
		100.0	15.9	41.3	23.9	16.4	2.5
	2人	208	20	93	64	28	3
		100.0	9.6	44.7	30.8	13.5	1.4
	3人	156	11	69	41	32	3
		100.0	7.1	44.2	26.3	20.5	1.9
	4人	97	11	30	28	26	2
	100.0	11.3	30.9	28.9	26.8	2.1	
5人	44	7	13	11	13	0	
	100.0	15.9	29.5	25.0	29.5	0.0	
6人以上	26	2	12	6	5	1	
	100.0	7.7	46.2	23.1	19.2	3.8	
	無回答	3	1	0	2	0	0
		100.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	42	5	14	10	13	0
		100.0	11.9	33.3	23.8	31.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	30	4	10	8	8	0
		100.0	13.3	33.3	26.7	26.7	0.0
	小学生	93	8	40	19	25	1
		100.0	8.6	43.0	20.4	26.9	1.1
	70歳以上の人	243	24	103	74	39	3
		100.0	9.9	42.4	30.5	16.0	1.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	52	4	26	12	8	2
	100.0	7.7	50.0	23.1	15.4	3.8	
妊産婦	1	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	411	52	161	112	77	9	
	100.0	12.7	39.2	27.3	18.7	2.2	
	無回答	19	2	7	7	3	0
		100.0	10.5	36.8	36.8	15.8	0.0
浸水予測区域別	浸水予測区域内	393	55	164	93	74	7
		100.0	14.0	41.7	23.7	18.8	1.8
	浸水予測区域外	393	33	152	124	76	8
		100.0	8.4	38.7	31.6	19.3	2.0

問 6 6 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
下段：%

	サンプル	防災 地域の 研修 の方々 への	づく夜 間の 避難 訓練 に 基 な	者 （高 齢者 や障 害者 など） を 守 る 活 動	と え ば 地 域 の 事 業 所 等	重 視 し た 活 動 の 例	地 域 の 自 主 防 災 組 織 と 連 携 し た 活 動	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1,779	648	535	689	535	391	442	24	38
		100.0	36.4	30.1	38.7	30.1	22.0	24.8	1.3	2.1
性別	男性	903	336	246	340	289	212	235	12	18
		100.0	37.2	27.2	37.7	32.0	23.5	26.0	1.3	2.0
	女性	857	308	286	342	241	177	197	12	19
	100.0	35.9	33.4	39.9	28.1	20.7	23.0	1.4	2.2	
	回答しない(無回答含む)	19	4	3	7	5	2	10	0	1
		100.0	21.1	15.8	36.8	26.3	10.5	52.6	0.0	5.3
年代別	10歳代	18	6	7	8	11	3	3	0	0
		100.0	33.3	38.9	44.4	61.1	16.7	16.7	0.0	0.0
	20歳代	126	48	45	55	47	36	26	1	0
		100.0	38.1	35.7	43.7	37.3	28.6	20.6	0.8	0.0
	30歳代	214	67	57	82	73	43	62	1	1
		100.0	31.3	26.6	38.3	34.1	20.1	29.0	0.5	0.5
	40歳代	386	126	103	161	120	74	107	5	3
		100.0	32.6	26.7	41.7	31.1	19.2	27.7	1.3	0.8
	50歳代	400	148	116	154	114	93	95	5	5
	100.0	37.0	29.0	38.5	28.5	23.3	23.8	1.3	1.3	
60歳代	428	176	143	162	126	95	101	8	9	
	100.0	41.1	33.4	37.9	29.4	22.2	23.6	1.9	2.1	
70歳以上	203	75	61	64	42	46	47	4	20	
	100.0	36.9	30.0	31.5	20.7	22.7	23.2	2.0	9.9	
	無回答	4	2	3	3	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
職業別	農林業	88	29	20	31	21	10	26	1	3
		100.0	33.0	22.7	35.2	23.9	11.4	29.5	1.1	3.4
	漁業	4	1	1	0	1	3	1	0	0
		100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	128	43	37	42	37	32	41	3	2
		100.0	33.6	28.9	32.8	28.9	25.0	32.0	2.3	1.6
	会社員（役員を含む）、公務員	739	271	219	301	253	161	174	6	4
		100.0	36.7	29.6	40.7	34.2	21.8	23.5	0.8	0.5
	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	50	25	18	21	17	11	9	1	1
		100.0	50.0	36.0	42.0	34.0	22.0	18.0	2.0	2.0
	主婦・主夫	136	53	46	48	34	36	28	3	6
		100.0	39.0	33.8	35.3	25.0	26.5	20.6	2.2	4.4
パート・アルバイト	229	75	71	90	59	43	66	2	4	
	100.0	32.8	31.0	39.3	25.8	18.8	28.8	0.9	1.7	
学生	49	22	22	23	23	15	8	0	0	
	100.0	44.9	44.9	46.9	46.9	30.6	16.3	0.0	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	93	71	93	66	59	66	6	13	
	100.0	36.8	28.1	36.8	26.1	23.3	26.1	2.4	5.1	
その他	92	33	27	35	20	18	20	2	5	
	100.0	35.9	29.3	38.0	21.7	19.6	21.7	2.2	5.4	
	無回答	11	3	3	5	4	3	3	0	0
		100.0	27.3	27.3	45.5	36.4	27.3	27.3	0.0	0.0
同居人数	0人（独居）	143	45	35	47	27	26	44	2	9
		100.0	31.5	24.5	32.9	18.9	18.2	30.8	1.4	6.3
	1人	428	161	142	162	120	92	107	9	10
		100.0	37.6	33.2	37.9	28.0	21.5	25.0	2.1	2.3
	2人	441	164	145	175	139	102	97	4	6
		100.0	37.2	32.9	39.7	31.5	23.1	22.0	0.9	1.4
	3人	390	143	109	152	129	89	101	2	8
		100.0	36.7	27.9	39.0	33.1	22.8	25.9	0.5	2.1
	4人	227	84	57	84	74	51	63	5	1
	100.0	37.0	25.1	37.0	32.6	22.5	27.8	2.2	0.4	
5人	92	24	29	49	31	16	18	1	1	
	100.0	26.1	31.5	53.3	33.7	17.4	19.6	1.1	1.1	
6人以上	52	24	17	17	13	13	12	1	1	
	100.0	46.2	32.7	32.7	25.0	25.0	23.1	1.9	1.9	
	無回答	6	3	1	3	2	2	0	2	
		100.0	50.0	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	108	38	26	49	31	23	23	2	0
		100.0	35.2	24.1	45.4	28.7	21.3	21.3	1.9	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	30	28	43	30	19	24	1	1
		100.0	33.3	31.1	47.8	33.3	21.1	26.7	1.1	1.1
	小学生	221	86	66	100	78	47	50	2	2
		100.0	38.9	29.9	45.2	35.3	21.3	22.6	0.9	0.9
	70歳以上の人	533	192	158	228	158	118	133	8	17
		100.0	36.0	29.6	42.8	29.6	22.1	25.0	1.5	3.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	31	27	54	36	30	28	4	4
	100.0	28.7	25.0	50.0	33.3	27.8	25.9	3.7	3.7	
妊産婦	8	3	1	3	4	2	3	0	0	
	100.0	37.5	12.5	37.5	50.0	25.0	37.5	0.0	0.0	
1～6の人はいない	920	343	297	326	282	207	230	11	14	
	100.0	37.3	32.3	35.4	30.7	22.5	25.0	1.2	1.5	
	無回答	41	12	8	8	5	6	11	2	4
		100.0	29.3	19.5	19.5	12.2	14.6	26.8	4.9	9.8
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	306	289	312	245	197	226	8	26
		100.0	34.6	32.7	35.3	27.7	22.3	25.5	0.9	2.9
	浸水予測区域外	894	342	246	377	290	194	216	16	12
		100.0	38.3	27.5	42.2	32.4	21.7	24.2	1.8	1.3

問 6 7 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	に入団し、積極的に参加している	加入している、時々参加している	しが、入団して、あまり参加しない	た、入団して、参加していない	する、入団して、今後もしない	か、入団して、今後もしない	に、住んでいない、消防団がない地域	無回答
総合	実数	1,779	36	10	3	86	1,168	435		41
		100.0	2.0	0.6	0.2	4.8	65.7	24.5		2.3
性別	男性	903	36	7	0	51	603	191		15
		100.0	4.0	0.8	0.0	5.6	66.8	21.2		1.7
	女性	857	0	3	3	34	552	241		24
	100.0	0.0	0.4	0.4	4.0	64.4	28.1		2.8	
	回答しない(無回答含む)	19	0	0	0	1	13	3		2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	68.4	15.8		10.5
年代別	10歳代	18	0	0	0	0	15	3		0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7		0.0
	20歳代	126	1	0	0	5	80	40		0
		100.0	0.8	0.0	0.0	4.0	63.5	31.7		0.0
	30歳代	214	6	3	1	14	126	63		1
		100.0	2.8	1.4	0.5	6.5	58.9	29.4		0.5
	40歳代	386	10	3	1	17	248	106		1
		100.0	2.6	0.8	0.3	4.4	64.2	27.5		0.3
	50歳代	400	10	0	0	10	257	121		2
	100.0	2.5	0.0	0.0	2.5	64.3	30.3		0.5	
60歳代	428	8	3	0	26	297	78		16	
	100.0	1.9	0.7	0.0	6.1	69.4	18.2		3.7	
70歳以上	203	1	1	1	13	143	23		21	
	100.0	0.5	0.5	0.5	6.4	70.4	11.3		10.3	
	無回答	4	0	0	0	1	2	1		0
	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0		0.0	
職業別	農林業	88	5	3	0	5	62	4		9
		100.0	5.7	3.4	0.0	5.7	70.5	4.5		10.2
	漁業	4	0	2	0	0	1	1		0
		100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0		0.0
	商工サービス業自営	128	5	1	2	7	97	14		2
		100.0	3.9	0.8	1.6	5.5	75.8	10.9		1.6
	会社員(役員を含む)、公務員	739	17	1	1	40	467	212		1
		100.0	2.3	0.1	0.1	5.4	63.2	28.7		0.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	2	0	0	5	28	14		1
		100.0	4.0	0.0	0.0	10.0	56.0	28.0		2.0
	主婦・主夫	136	0	1	0	7	90	31		7
		100.0	0.0	0.7	0.0	5.1	66.2	22.8		5.1
	パート・アルバイト	229	1	1	0	3	146	77		1
	100.0	0.4	0.4	0.0	1.3	63.8	33.6		0.4	
学生	49	0	0	0	0	33	16		0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.3	32.7		0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	2	1	0	13	179	43		15	
	100.0	0.8	0.4	0.0	5.1	70.8	17.0		5.9	
その他	92	3	0	0	4	59	21		5	
	100.0	3.3	0.0	0.0	4.3	64.1	22.8		5.4	
	無回答	11	1	0	0	2	6	2		0
	100.0	9.1	0.0	0.0	18.2	54.5	18.2		0.0	
同居人数	0人(独居)	143	0	1	1	6	90	40		5
		100.0	0.0	0.7	0.7	4.2	62.9	28.0		3.5
	1人	428	6	3	0	19	298	91		11
		100.0	1.4	0.7	0.0	4.4	69.6	21.3		2.6
	2人	441	8	0	1	17	296	110		9
		100.0	1.8	0.0	0.2	3.9	67.1	24.9		2.0
	3人	390	11	3	1	19	234	112		10
		100.0	2.8	0.8	0.3	4.9	60.0	28.7		2.6
	4人	227	5	1	0	14	157	49		1
	100.0	2.2	0.4	0.0	6.2	69.2	21.6		0.4	
5人	92	4	1	0	8	52	26		1	
	100.0	4.3	1.1	0.0	8.7	56.5	28.3		1.1	
6人以上	52	2	2	0	2	38	7		2	
	100.0	3.8	1.9	0.0	3.8	73.1	13.5		3.8	
	無回答	6	0	0	0	1	3	0		2
	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0		33.3	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	0	1	1	9	64	33		0
		100.0	0.0	0.9	0.9	8.3	59.3	30.6		0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	2	1	0	6	59	22		0
		100.0	2.2	1.1	0.0	6.7	65.6	24.4		0.0
	小学生	221	9	2	1	12	138	58		1
		100.0	4.1	0.9	0.5	5.4	62.4	26.2		0.5
	70歳以上の人	533	9	4	0	27	367	106		20
		100.0	1.7	0.8	0.0	5.1	68.9	19.9		3.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	1	0	0	5	74	24		4
	100.0	0.9	0.0	0.0	4.6	68.5	22.2		3.7	
妊産婦	8	0	0	0	0	4	4		0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		0.0	
1~6の人はいない	920	19	4	1	40	606	234		16	
	100.0	2.1	0.4	0.1	4.3	65.9	25.4		1.7	
	無回答	41	1	0	0	3	24	11		2
	100.0	2.4	0.0	0.0	7.3	58.5	26.8		4.9	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	15	10	1	49	557	232		21
		100.0	1.7	1.1	0.1	5.5	62.9	26.2		2.4
	浸水予測区域外	894	21	0	2	37	611	203		20
	100.0	2.3	0.0	0.2	4.1	68.3	22.7		2.2	

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団して
いるが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
下段：%

		サン プル	感 じ る 必 要 が あ る と	自 分 た ち の 地 域	友 人 、 知 人 に 誘 わ れ た か ら	報 酬 に 魅 力 を 感 じ た か ら	人 脈 を 広 げ ら れ る か ら	カ ツ コ い と 思 っ た か ら	そ の 他	無 回 答
総合	実数	49	25	32	0	3	1	1	2	
			51.0	65.3	0.0	6.1	2.0	2.0	4.1	
性別	男性	43	23	28	0	3	1	1	1	
	女性	6	2	4	0	0	0	0	1	
	回答しない(無回答含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	
年代別	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20歳代	1	1	0	0	0	0	0	0	
	30歳代	10	3	10	0	0	1	0	0	
	40歳代	14	3	11	0	1	0	1	1	
	50歳代	10	8	3	0	0	0	0	0	
	60歳代	11	9	7	0	2	0	0	0	
	70歳以上	3	1	1	0	0	0	0	1	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職業別	農林業	8	2	6	0	0	0	1	0
漁業		2	1	2	0	0	1	0	0	
商工サービス業自営		8	3	4	0	2	0	0	1	
会社員(役員を含む)、公務員		19	10	12	0	1	0	0	1	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		2	2	2	0	0	0	0	0	
主婦・主夫		1	1	0	0	0	0	0	0	
パート・アルバイト		2	2	2	0	0	0	0	0	
学生		0	0	0	0	0	0	0	0	
無職(すでに退職を含む)		3	2	2	0	0	0	0	0	
その他		3	1	2	0	0	0	0	0	
無回答		1	1	0	0	0	0	0	0	
同居人数		0人(独居)	2	0	1	0	0	1	0	1
	1人	9	8	5	0	1	0	0	0	
	2人	9	6	6	0	0	0	0	0	
	3人	15	6	10	0	1	0	0	1	
	4人	6	2	4	0	1	0	0	0	
	5人	5	2	4	0	0	0	1	0	
	6人以上	3	1	2	0	0	0	0	0	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	2	0	2	0	0	0	0	0
4歳以上で小学校入学前の子ども		3	0	3	0	0	0	0	0	
小学生		12	3	9	0	1	0	0	0	
70歳以上の人		13	8	7	0	0	0	1	1	
日常生活で介護や支援を必要とする人		1	1	1	0	0	0	0	0	
妊産婦		0	0	0	0	0	0	0	0	
1~6の人はいない		24	13	17	0	2	1	0	1	
無回答		1	1	0	0	0	0	0	0	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	26	14	16	0	2	1	0	2	
	浸水予測区域外	23	11	16	0	1	0	1	0	

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

上段：人数
下段：%

	サンプル	く防地	しの地	活和地	体力が	づあ	変活士	て若	規律	いとそ	その他	無回		
		く防地 れ災域 に活に 密着し てした	しの地 域を 守る が意 識参 加	活和地 元あ のい る人 士と で	体力が 必要	づあ るの いは らぬ は仕 事参 加が	変活士 動が に訓 練等 大の	て若 い人 が不 足し	規律 が厳 しい	いとそ も何 かも 知ら ない	その他	無回 答		
総合	実数	1,779	920	616	377	521	454	237	561	33	159	51	60	
性別	男性	903	444	304	205	239	278	139	285	19	75	32	28	
	女性	857	467	308	169	279	171	96	272	14	83	17	30	
	回答しない(無回答含む)	19	9	4	3	3	5	2	4	0	1	2	2	
年代別	10歳代	18	8	6	2	6	4	2	9	2	1	2	0	
	20歳代	126	50	52	24	36	34	20	47	4	16	2	2	
	30歳代	214	85	64	46	62	59	50	65	9	32	8	1	
	40歳代	386	182	135	92	96	128	70	90	5	37	20	5	
	50歳代	400	239	141	93	108	130	56	123	7	25	5	4	
	60歳代	428	244	150	76	149	82	28	165	6	32	7	18	
	70歳以上	203	109	65	41	64	16	11	61	0	15	7	30	
	無回答	4	3	3	3	0	1	0	1	0	1	0	0	
職業別	農林業	88	47	24	27	16	16	14	34	1	5	4	5	
	漁業	4	2	2	2	2	0	0	1	0	0	0	0	
	商工サービス業自営	128	64	40	30	42	28	11	53	1	8	1	2	
	会社員(役員を含む)、公務員	739	364	264	168	178	279	137	209	16	63	22	7	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	24	27	10	20	13	4	16	0	6	0	2	
	主婦・主夫	136	87	48	26	56	17	12	40	3	4	4	5	
	パート・アルバイト	229	126	77	38	79	41	22	57	3	35	5	6	
	学生	49	24	21	10	15	10	7	22	2	3	2	1	
	無職(すでに退職を含む)	253	126	81	44	91	22	21	89	5	30	9	23	
	その他	92	49	29	19	20	25	8	35	2	5	4	7	
	無回答	11	7	3	3	2	3	1	5	0	0	0	2	
同居人数	0人(独居)	143	71	49	24	50	28	14	40	3	18	4	10	
	1人	428	229	153	95	141	105	45	154	7	28	14	13	
	2人	441	223	138	86	131	124	54	141	9	35	7	20	
	3人	390	198	141	89	101	98	63	104	6	48	11	10	
	4人	227	122	81	55	56	60	41	76	5	17	5	3	
	5人	92	42	30	14	28	28	12	32	2	10	7	2	
	6人以上	52	32	23	11	14	10	8	12	1	3	3	0	
	無回答	6	3	1	3	0	1	0	2	0	0	0	2	
ご家族の 方はいら ないらっ つ、次に 該当す る	3歳以下の乳幼児	108	54	32	24	32	29	27	29	1	12	5	0	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	41	35	17	23	30	19	26	1	10	3	1	
	小学生	221	114	82	56	56	64	37	62	3	20	5	2	
	70歳以上の人	533	279	169	110	152	131	68	162	12	33	20	28	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	54	37	24	35	28	10	28	2	10	5	5	
	妊産婦	8	3	2	3	1	1	2	1	0	0	0	0	
	1~6の人はいない	920	483	334	190	279	239	112	311	17	95	21	22	
	無回答	41	21	15	9	15	7	3	10	0	3	1	5	
	区域別	浸水予測区域内	885	454	300	186	243	218	99	264	15	89	26	32
		浸水予測区域外	894	466	316	191	278	236	138	297	18	70	25	28
無回答		41	21	15	9	15	7	3	10	0	3	1	5	

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	飲食物品などのサービスが受けられる	団員の知る関係者の方を誘って一緒に参加する	顔の見える関係者と広報する	CMなどでもっとパンフレットやチラシ、テレビ	訓練の回数や負担を軽減する	PRする	消防団の担っている役割の大切さや必要性を大々的にPRする	消防団は必要ない	その他	無回答
総合	実数	1,779	391	462	623	317	1,125	27	99	97		
			22.0	26.0	35.0	17.8	63.2	1.5	5.6	5.5		
性別	男性	903	218	238	321	176	549	18	53	47		
	女性	857	171	221	297	141	565	9	43	47		
	回答しない(無回答含む)	19	2	3	5	0	11	0	3	3		
			10.5	15.8	26.3	0.0	57.9	0.0	15.8	15.8		
年代別	10歳代	18	7	5	11	3	12	0	0	0		
	20歳代	126	47	34	53	16	86	2	5	1		
	30歳代	214	76	53	67	51	134	4	11	4		
	40歳代	386	106	97	133	78	227	11	23	6		
	50歳代	400	69	107	141	85	254	4	27	14		
	60歳代	428	65	112	159	61	286	4	17	31		
	70歳以上	203	21	52	56	23	122	2	16	41		
	無回答	4	0	2	3	0	4	0	0	0		
	職業別	88	21	25	14	22	47	4	6	7		
農林業	4	4	2	3	2	1	0	0	0			
漁業	128	21	43	45	20	80	5	13	3			
商工サービス業自営	739	207	194	251	157	467	10	32	19			
会社員(役員を含む)、公務員	50	4	10	23	9	34	0	1	4			
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	136	22	30	46	18	88	1	13	11			
主婦・主夫	229	39	55	85	37	150	2	13	11			
パート・アルバイト	49	23	15	26	6	31	1	1	0			
学生	253	30	62	92	28	164	3	13	31			
無職(すでに退職を含む)	92	19	23	33	17	56	1	6	10			
その他	11	1	3	5	1	7	0	1	1			
同居人数	143	25	34	46	25	84	3	4	16			
0人(独居)	428	74	112	163	69	280	6	35	22			
1人	441	95	125	154	83	274	6	20	26			
2人	390	87	102	127	75	253	5	14	18			
3人	227	75	55	80	36	144	3	12	6			
4人	92	27	18	34	21	53	3	11	4			
5人	52	8	13	17	8	35	1	2	3			
6人以上	6	0	3	2	0	2	0	1	2			
無回答	108	43	23	22	30	62	3	11	1			
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	90	32	23	29	23	61	0	4	1			
3歳以下の乳幼児	221	69	61	80	46	147	2	14	2			
4歳以上で小学校入学前の子ども	533	95	135	200	78	348	8	29	42			
小学生	108	17	25	37	14	65	1	5	7			
70歳以上の人	8	2	2	1	3	5	0	0	0			
日常生活で介護や支援を必要とする人	920	197	244	328	170	574	13	46	42			
妊産婦	41	4	14	12	6	23	2	2	6			
1～6の人はいない	885	188	236	314	138	557	12	52	55			
浸水予測区域別	894	203	226	309	179	568	15	47	42			
浸水予測区域内		22.7	25.3	34.6	20.0	63.5	1.7	5.3	4.7			
浸水予測区域外												

問7 1 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サン プル	組 織 な ど が 主 に 主 催 す る 訓 練	職 場 で 行 っ た 訓 練	参 加 し た 其 他 の 訓 練	参 加 し て い な い	た た か わ か ら な い あ っ た 訓 練	無 回 答
総合	実数	1,779	248	359	54	754	344	20
		100.0	13.9	20.2	3.0	42.4	19.3	1.1
性別	男性	903	130	173	32	397	161	10
	女性	857	115	181	21	348	182	10
		100.0	13.4	21.1	2.5	40.6	21.2	1.2
	回答しない(無回答含む)	19	3	5	1	9	1	0
		100.0	15.8	26.3	5.3	47.4	5.3	0.0
年代別	10歳代	18	2	2	1	8	5	0
		100.0	11.1	11.1	5.6	44.4	27.8	0.0
	20歳代	126	6	27	4	51	38	0
		100.0	4.8	21.4	3.2	40.5	30.2	0.0
	30歳代	214	17	50	4	96	46	1
		100.0	7.9	23.4	1.9	44.9	21.5	0.5
	40歳代	386	35	117	12	138	83	1
		100.0	9.1	30.3	3.1	35.8	21.5	0.3
	50歳代	400	48	107	10	165	67	3
	100.0	12.0	26.8	2.5	41.3	16.8	0.8	
60歳代	428	87	51	11	199	77	3	
	100.0	20.3	11.9	2.6	46.5	18.0	0.7	
70歳以上	203	52	4	12	96	27	12	
	100.0	25.6	2.0	5.9	47.3	13.3	5.9	
	無回答	4	1	1	0	1	1	0
		100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
職業別	農林業	88	28	2	5	42	10	1
		100.0	31.8	2.3	5.7	47.7	11.4	1.1
	漁業	4	0	1	0	2	1	0
		100.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	19	5	8	73	23	0
		100.0	14.8	3.9	6.3	57.0	18.0	0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	739	75	255	17	266	124	2
		100.0	10.1	34.5	2.3	36.0	16.8	0.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	7	3	2	26	10	2
		100.0	14.0	6.0	4.0	52.0	20.0	4.0
	主婦・主夫	136	29	5	4	58	39	1
		100.0	21.3	3.7	2.9	42.6	28.7	0.7
パート・アルバイト	229	20	46	5	93	63	2	
	100.0	8.7	20.1	2.2	40.6	27.5	0.9	
学生	49	4	2	4	20	19	0	
	100.0	8.2	4.1	8.2	40.8	38.8	0.0	
無職(すでに退職を含む)	253	50	11	7	130	46	9	
	100.0	19.8	4.3	2.8	51.4	18.2	3.6	
その他	92	12	27	2	39	9	3	
	100.0	13.0	29.3	2.2	42.4	9.8	3.3	
	無回答	11	4	2	0	5	0	
		100.0	36.4	18.2	0.0	45.5	0.0	
同居人数	0人(独居)	143	14	25	0	73	29	2
		100.0	9.8	17.5	0.0	51.0	20.3	1.4
	1人	428	73	70	11	190	79	5
		100.0	17.1	16.4	2.6	44.4	18.5	1.2
	2人	441	60	82	17	198	80	4
		100.0	13.6	18.6	3.9	44.9	18.1	0.9
	3人	390	52	94	13	146	80	5
		100.0	13.3	24.1	3.3	37.4	20.5	1.3
	4人	227	24	55	8	97	42	1
	100.0	10.6	24.2	3.5	42.7	18.5	0.4	
5人	92	13	22	3	31	22	1	
	100.0	14.1	23.9	3.3	33.7	23.9	1.1	
6人以上	52	10	10	2	18	12	0	
	100.0	19.2	19.2	3.8	34.6	23.1	0.0	
	無回答	6	2	1	0	1	2	
		100.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃるかどうか	3歳以下の乳幼児	108	15	27	4	35	27	0
		100.0	13.9	25.0	3.7	32.4	25.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	10	26	2	25	27	0
		100.0	11.1	28.9	2.2	27.8	30.0	0.0
	小学生	221	28	61	5	69	58	0
		100.0	12.7	27.6	2.3	31.2	26.2	0.0
	70歳以上の人	533	89	82	18	229	105	10
		100.0	16.7	15.4	3.4	43.0	19.7	1.9
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	12	16	3	55	20	2
	100.0	11.1	14.8	2.8	50.9	18.5	1.9	
妊産婦	8	1	0	1	3	3	0	
	100.0	12.5	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0	
1~6の人はいない	920	125	185	28	411	164	7	
	100.0	13.6	20.1	3.0	44.7	17.8	0.8	
	無回答	41	5	13	0	18	3	
		100.0	12.2	31.7	0.0	43.9	7.3	
浸水予測	浸水予測区域内	885	148	161	26	372	169	9
		100.0	16.7	18.2	2.9	42.0	19.1	1.0
	浸水予測区域外	894	100	198	28	382	175	11
		100.0	11.2	22.1	3.1	42.7	19.6	1.2

問7 2 問7 1で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。
 具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

上段：人数
 下段：%

		サンプル	避難訓練	消火訓練	練救出・救助訓	練応急手当て訓	炊き出し訓練	情報伝達訓練	の必要とす 介助訓練 介護や支 援人を	避難所運 営訓	その他	無回 答
総合	実数	661	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1
性別	男性	335	283 84.5	156 46.6	59 17.6	69 20.6	47 14.0	54 16.1	14 4.2	29 8.7	7 2.1	4 1.2
	女性	317	273 86.1	142 44.8	25 7.9	49 15.5	45 14.2	22 6.9	21 6.6	17 5.4	5 1.6	3 0.9
	回答しない(無回答含む)	9	5 55.6	6 66.7	0 0.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年代別	10歳代	5	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	37	34 91.9	18 48.6	4 10.8	5 13.5	1 2.7	4 10.8	0 0.0	2 5.4	1 2.7	0 0.0
	30歳代	71	61 85.9	39 54.9	18 25.4	18 25.4	7 9.9	13 18.3	5 7.0	5 7.0	1 1.4	0 0.0
	40歳代	164	138 84.1	85 51.8	19 11.6	33 20.1	21 12.8	26 15.9	15 9.1	11 6.7	4 2.4	4 2.4
	50歳代	165	140 84.8	68 41.2	19 11.5	20 12.1	15 9.1	17 10.3	5 3.0	6 3.6	3 1.8	3 1.8
	60歳代	149	128 85.9	68 45.6	16 10.7	30 20.1	33 22.1	13 8.7	6 4.0	15 10.1	2 1.3	0 0.0
	70歳以上	68	55 80.9	24 35.3	8 11.8	12 17.6	16 23.5	3 4.4	4 5.9	7 10.3	1 1.5	0 0.0
	無回答	2	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職業別	農林業	35	28 80.0	7 20.0	6 17.1	4 11.4	8 22.9	1 2.9	0 0.0	4 11.4	0 0.0	1 2.9
	漁業	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	商工サービス業自営	32	26 81.3	15 46.9	4 12.5	6 18.8	7 21.9	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3	0 0.0
	会社員(役員を含む)、公務員	347	302 87.0	175 50.4	49 14.1	68 19.6	37 10.7	56 16.1	21 6.1	27 7.8	7 2.0	5 1.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	12	9 75.0	5 41.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	主婦・主夫	38	24 63.2	18 47.4	1 2.6	6 15.8	13 34.2	1 2.6	1 2.6	3 7.9	1 2.6	0 0.0
	パート・アルバイト	71	66 93.0	31 43.7	4 5.6	9 12.7	6 8.5	1 1.4	2 2.8	1 1.4	0 0.0	0 0.0
	学生	10	10 100.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職(すでに退職を含む)	68	56 82.4	26 38.2	8 11.8	17 25.0	12 17.6	8 11.8	5 7.4	6 8.8	1 1.5	0 0.0
	その他	41	36 87.8	20 48.8	7 17.1	1 2.4	8 19.5	4 9.8	4 9.8	3 7.3	1 2.4	1 2.4
無回答	6	4 66.7	5 83.3	1 16.7	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
同居人数	0人(独居)	39	37 94.9	20 51.3	3 7.7	6 15.4	2 5.1	2 5.1	3 7.7	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	1人	154	136 88.3	73 47.4	23 14.9	30 19.5	22 14.3	22 14.3	7 4.5	16 10.4	1 0.6	3 1.9
	2人	159	132 83.0	68 42.8	20 12.6	29 18.2	28 17.6	10 6.3	4 2.5	10 6.3	5 3.1	0 0.0
	3人	159	132 83.0	76 47.8	20 12.6	27 17.0	20 12.6	20 12.6	8 5.0	9 5.7	6 3.8	2 1.3
	4人	87	74 85.1	38 43.7	8 9.2	13 14.9	10 11.5	15 17.2	8 9.2	5 5.7	0 0.0	0 0.0
	5人	38	28 73.7	19 50.0	7 18.4	9 23.7	7 18.4	5 13.2	3 7.9	3 7.9	0 0.0	2 5.3
	6人以上	22	21 95.5	8 36.4	3 13.6	6 27.3	4 18.2	2 9.1	2 9.1	2 9.1	0 0.0	0 0.0
	無回答	3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ご家族の うち、次に 該当する 方がいら っしゃい ますか	3歳以下の乳幼児	46	41 89.1	20 43.5	5 10.9	7 15.2	5 10.9	6 13.0	4 8.7	4 8.7	2 4.3	1 2.2
	4歳以上で小学校入学前の子ども	38	26 68.4	19 50.0	6 15.8	5 13.2	4 10.5	5 13.2	5 13.2	3 7.9	1 2.6	1 2.6
	小学生	94	73 77.7	46 48.9	11 11.7	17 18.1	14 14.9	17 18.1	8 8.5	7 7.4	2 2.1	1 1.1
	70歳以上の人	189	157 83.1	88 46.6	26 13.8	40 21.2	35 18.5	14 7.4	10 5.3	13 6.9	3 1.6	1 0.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	31	27 87.1	14 45.2	4 12.9	5 16.1	2 6.5	8 25.8	4 12.9	2 6.5	0 0.0	0 0.0
	妊産婦	2	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	1~6の人はいない	338	295 87.3	146 43.2	42 12.4	60 17.8	40 11.8	40 11.8	12 3.6	25 7.4	6 1.8	5 1.5
	無回答	18	16 88.9	14 77.8	2 11.1	2 11.1	6 33.3	3 16.7	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	335	303 90.4	132 39.4	31 9.3	49 14.6	45 13.4	38 11.3	15 4.5	22 6.6	5 1.5	5 1.5
	浸水予測区域外	326	258 79.1	172 52.8	53 16.3	71 21.8	50 15.3	39 12.0	20 6.1	24 7.4	7 2.1	2 0.6

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。
(2つまで○)

上段：人数
下段：%

		サンプル	近所 に掛 け合 つて 一緒 を	訓練 の実 施を する	す す い 日 に 参 加 し や す す	訓練 の回 数を 増 やす く	一 緒 に 行 う と	参 加 を 義 務 化 す	食 参 加 賞 (非 常 出 す)	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1,779	664	535	365	523	275	417	51	72	
			37.3	30.1	20.5	29.4	15.5	23.4	2.9	4.0	
性別	男性	903	329	281	177	259	147	216	27	35	
	女性	857	327	251	184	258	126	198	23	36	
	回答しない(無回答含む)	19	8	3	4	6	2	3	1	1	
			42.1	15.8	21.1	31.6	10.5	15.8	5.3	5.3	
年代別	10歳代	18	7	4	3	10	5	6	0	0	
	20歳代	126	40	39	33	37	24	45	4	0	
	30歳代	214	57	54	36	74	39	81	8	5	
	40歳代	386	102	118	94	129	79	102	10	5	
	50歳代	400	142	106	82	124	64	96	12	15	
	60歳代	428	197	155	82	111	48	66	14	17	
	70歳以上	203	116	59	31	37	16	21	3	30	
	無回答	4	3	0	4	1	0	0	0	0	
			75.0	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	88	39	17	10	31	12	20	2	4	
	漁業	4	3	1	0	1	1	1	0	0	
	商工サービス業自営	128	46	41	28	37	24	26	4	5	
	会社員(役員を含む)、公務員	739	228	217	156	238	154	205	18	17	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	16	23	15	12	7	8	2	1	
	主婦・主夫	136	73	43	21	41	6	24	3	7	
	パート・アルバイト	229	79	67	48	76	26	55	8	6	
	学生	49	17	15	15	17	10	18	1	0	
	無職(すでに退職を含む)	253	121	77	47	51	25	40	9	23	
	その他	92	36	34	22	16	10	19	4	7	
	無回答	11	6	0	3	3	0	1	0	2	
			54.5	0.0	27.3	27.3	0.0	9.1	0.0	18.2	
	同居人数	0人(独居)	143	52	42	34	34	13	5	12	
1人		428	166	142	85	113	55	83	12	16	
2人		441	171	132	96	127	75	92	12	21	
3人		390	145	111	74	130	63	106	5	12	
4人		227	78	60	47	75	44	66	9	4	
5人		92	34	26	13	25	18	27	7	4	
6人以上		52	15	22	14	18	6	11	1	1	
無回答		6	3	0	2	1	1	0	0	2	
			50.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	108	36	30	16	39	17	34	7	1	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	22	28	21	26	22	37	1	1	
	小学生	221	66	68	56	74	41	67	5	1	
	70歳以上の人	533	226	170	110	132	80	106	12	31	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	42	34	26	19	15	23	7	8	
	妊産婦	8	1	4	2	3	0	3	0	0	
	1～6の人はいない	920	334	273	190	285	139	220	24	33	
	無回答	41	17	11	9	11	6	4	1	3	
			41.5	26.8	22.0	26.8	14.6	9.8	2.4	7.3	
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	327	273	179	238	138	211	29	39	
	浸水予測区域外	894	337	262	186	285	137	206	22	33	
			37.7	29.3	20.8	31.9	15.3	23.0	2.5	3.7	

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (当てはまるものすべてに○)

		サンプル	報し地 活く震 動説・津 の明波 強する 化する を詳 広	強組防地 化織団域 のやの 育自織 成主織 や防(消 や災消)	の組防地 織団域 のやの 備自織 やの組 充資主織 実機防(消 材災消)	りす果の実 のに実践 話き基 し地づく 合域く訓 いづく目 く指結練	修タ得防 のな のの 育成災 や防 り格 取	教小 育中 の学 充校 実の 防 災	ど近 との の事 連業 携業 進所 進な
総合	実数	1,779	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	283 15.9
性別	男性	903	447 49.5	271 30.0	244 27.0	155 17.2	173 19.2	318 35.2	136 15.1
	女性	857	381 44.5	226 26.4	185 21.6	152 17.7	146 17.0	311 36.3	144 16.8
	回答しない(無回答含む)	19	5 26.3	4 21.1	4 21.1	3 15.8	3 15.8	3 15.8	3 15.8
		18	5 27.8	4 22.2	8 44.4	2 11.1	3 16.7	8 44.4	5 27.8
年代別	10歳代	126	63 50.0	35 27.8	28 22.2	25 19.8	28 22.2	58 46.0	19 15.1
	20歳代	214	93 43.5	47 22.0	55 25.7	33 15.4	42 19.6	100 46.7	41 19.2
	30歳代	386	188 48.7	114 29.5	90 23.3	48 12.4	65 16.8	159 41.2	72 18.7
	40歳代	400	182 45.5	109 27.3	96 24.0	82 20.5	79 19.8	124 31.0	69 17.3
	50歳代	428	210 49.1	141 32.9	112 26.2	79 18.5	81 18.9	124 29.0	57 13.3
	60歳代	203	89 43.8	49 24.1	43 21.2	40 19.7	23 11.3	58 28.6	19 9.4
	70歳以上	4	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
	無回答	88	35 39.8	20 22.7	23 26.1	22 25.0	12 13.6	29 33.0	6 6.8
	職業別	4	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 25.0	1 25.0
農林業	128	57 44.5	38 29.7	28 21.9	25 19.5	29 22.7	44 34.4	21 16.4	
漁業	739	357 48.3	204 27.6	196 26.5	120 16.2	152 20.6	290 39.2	135 18.3	
商工サービス業 自営	50	28 56.0	13 26.0	11 22.0	11 22.0	7 14.0	15 30.0	5 10.0	
会社員(役員を 含む)、公務員	136	63 46.3	33 24.3	18 13.2	25 18.4	15 11.0	44 32.4	15 11.0	
自由業(医師、 弁護士、画家、 僧侶など)	229	99 43.2	61 26.6	43 18.8	33 14.4	38 16.6	81 35.4	38 16.6	
主婦・主夫	49	22 44.9	13 26.5	17 34.7	7 14.3	11 22.4	24 49.0	6 12.2	
パート・アルバイト	253	121 47.8	82 32.4	68 26.9	45 17.8	45 17.8	77 30.4	33 13.0	
学生	92	44 47.8	31 33.7	23 25.0	21 22.8	12 13.0	24 26.1	20 21.7	
無職(すでに 退職を含む)	11	5 45.5	5 45.5	6 54.5	1 9.1	1 9.1	3 27.3	3 27.3	
同居人数	143	63 44.1	37 25.9	28 19.6	22 15.4	24 16.8	46 32.2	23 16.1	
0人(独居)	428	213 49.8	127 29.7	102 23.8	85 19.9	68 15.9	132 30.8	54 12.6	
1人	441	203 46.0	117 26.5	117 26.5	82 18.6	83 18.8	134 30.4	92 20.9	
2人	390	185 47.4	112 28.7	93 23.8	60 15.4	67 17.2	144 36.9	52 13.3	
3人	227	107 47.1	63 27.8	58 25.6	41 18.1	39 17.2	100 44.1	35 15.4	
4人	92	34 37.0	27 29.3	18 19.6	13 14.1	28 30.4	43 46.7	9 9.8	
5人	52	25 48.1	15 28.8	16 30.8	5 9.6	12 23.1	31 59.6	15 28.8	
6人以上	6	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	3 50.0	
ご家族の中に、 次いで該当する 方をい らっしゃ いますか	3歳以下の乳幼児	108	51 47.2	26 24.1	22 20.4	10 9.3	22 20.4	60 55.6	17 15.7
	4歳以上で小学校 入学前の子ども	90	39 43.3	27 30.0	24 26.7	13 14.4	25 27.8	53 58.9	14 15.6
	小学生	221	109 49.3	68 30.8	53 24.0	32 14.5	48 21.7	124 56.1	38 17.2
	70歳以上の 人	533	232 43.5	166 31.1	126 23.6	102 19.1	95 17.8	178 33.4	77 14.4
	日常生活で介護 や支援を必要と する人	108	42 38.9	23 21.3	29 26.9	19 17.6	17 15.7	32 29.6	19 17.6
	妊産婦	8	4 50.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5	5 62.5	1 12.5
	1~6の人は いない	920	452 49.1	250 27.2	236 25.7	171 18.6	160 17.4	291 31.6	155 16.8
	無回答	41	14 34.1	8 19.5	7 17.1	2 4.9	9 22.0	11 26.8	6 14.6
浸水予測 区域別	浸水予測区域 内	885	440 49.7	234 26.4	199 22.5	147 16.6	146 16.5	306 34.6	133 15.0
	浸水予測区域 外	894	393 44.0	267 29.9	234 26.2	163 18.2	176 19.7	326 36.5	150 16.8

上段：人数

下段：%

の地域 推 進 ご と の 備 蓄	く民話興しる地 りにししま、被震 よるうちづつ、害・津 組地く後波 織域くりの定 づ住を復によ	進関方普 係と段 づ顔か くりの を促る 近所 の	そ の 他	無 回 答
648	356	655	39	67
36.4	20.0	36.8	2.2	3.8
317	167	312	24	32
35.1	18.5	34.6	2.7	3.5
328	186	338	13	33
38.3	21.7	39.4	1.5	3.9
3	3	5	2	2
15.8	15.8	26.3	10.5	10.5
7	8	6	0	0
38.9	44.4	33.3	0.0	0.0
59	32	42	1	2
46.8	25.4	33.3	0.8	1.6
89	41	66	8	4
41.6	19.2	30.8	3.7	1.9
152	91	139	6	3
39.4	23.6	36.0	1.6	0.8
153	70	152	11	14
38.3	17.5	38.0	2.8	3.5
128	79	159	11	20
29.9	18.5	37.1	2.6	4.7
59	34	90	2	24
29.1	16.7	44.3	1.0	11.8
1	1	1	0	0
25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
28	9	30	7	5
31.8	10.2	34.1	8.0	5.7
2	0	2	0	0
50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
51	33	53	2	3
39.8	25.8	41.4	1.6	2.3
275	146	261	12	12
37.2	19.8	35.3	1.6	1.6
15	8	14	2	5
30.0	16.0	28.0	4.0	10.0
39	25	61	2	4
28.7	18.4	44.9	1.5	2.9
92	48	78	3	10
40.2	21.0	34.1	1.3	4.4
25	13	15	1	0
51.0	26.5	30.6	2.0	0.0
78	48	102	8	21
30.8	19.0	40.3	3.2	8.3
40	23	35	2	6
43.5	25.0	38.0	2.2	6.5
3	3	4	0	1
27.3	27.3	36.4	0.0	9.1
47	27	58	3	8
32.9	18.9	40.6	2.1	5.6
150	71	163	8	17
35.0	16.6	38.1	1.9	4.0
155	87	163	10	16
35.1	19.7	37.0	2.3	3.6
151	86	148	6	15
38.7	22.1	37.9	1.5	3.8
86	46	75	6	5
37.9	20.3	33.0	2.6	2.2
40	25	28	5	2
43.5	27.2	30.4	5.4	2.2
19	12	18	1	2
36.5	23.1	34.6	1.9	3.8
0	2	2	0	2
0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
39	22	27	7	2
36.1	20.4	25.0	6.5	1.9
40	22	33	2	1
44.4	24.4	36.7	2.2	1.1
97	53	89	2	3
43.9	24.0	40.3	0.9	1.4
195	88	197	10	29
36.6	16.5	37.0	1.9	5.4
40	19	38	3	10
37.0	17.6	35.2	2.8	9.3
3	3	2	0	0
37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
326	195	338	20	30
35.4	21.2	36.7	2.2	3.3
13	8	13	0	3
31.7	19.5	31.7	0.0	7.3
297	198	295	20	34
33.6	22.4	33.3	2.3	3.8
351	158	360	19	33
39.3	17.7	40.3	2.1	3.7

問75 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。
(ひとつだけ○)

上段：人数
下段：%

		サ ン プ ル	知 っ て い る	聞 か な い こ と は あ ら う な い	知 ら な い	無 回 答
総合	実数	1,779	362	506	876	35
		100.0	20.3	28.4	49.2	2.0
性別	男性	903	214	250	421	18
		100.0	23.7	27.7	46.6	2.0
	女性	857	144	250	447	16
		100.0	16.8	29.2	52.2	1.9
	回答しない(無回答含む)	19	4	6	8	1
		100.0	21.1	31.6	42.1	5.3
年代別	10歳代	18	2	5	11	0
		100.0	11.1	27.8	61.1	0.0
	20歳代	126	21	30	73	2
		100.0	16.7	23.8	57.9	1.6
	30歳代	214	28	45	140	1
		100.0	13.1	21.0	65.4	0.5
	40歳代	386	74	93	218	1
		100.0	19.2	24.1	56.5	0.3
	50歳代	400	68	109	215	8
	100.0	17.0	27.3	53.8	2.0	
60歳代	428	107	151	160	10	
	100.0	25.0	35.3	37.4	2.3	
70歳以上	203	62	73	55	13	
	100.0	30.5	36.0	27.1	6.4	
	無回答	4	0	0	4	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
職業別	農林業	88	19	31	34	4
		100.0	21.6	35.2	38.6	4.5
	漁業	4	2	1	1	0
		100.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	128	17	31	79	1
		100.0	13.3	24.2	61.7	0.8
	会社員(役員を含む)、公務員	739	144	191	396	8
		100.0	19.5	25.8	53.6	1.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	13	11	23	3
		100.0	26.0	22.0	46.0	6.0
	主婦・主夫	136	35	37	61	3
		100.0	25.7	27.2	44.9	2.2
	パート・アルバイト	229	30	65	130	4
	100.0	13.1	28.4	56.8	1.7	
学生	49	11	11	26	1	
	100.0	22.4	22.4	53.1	2.0	
無職(すでに退職を含む)	253	67	94	84	8	
	100.0	26.5	37.2	33.2	3.2	
その他	92	20	31	38	3	
	100.0	21.7	33.7	41.3	3.3	
	無回答	11	4	3	4	0
		100.0	36.4	27.3	36.4	0.0
同居人数	0人(独居)	143	29	50	59	5
		100.0	20.3	35.0	41.3	3.5
	1人	428	97	131	190	10
		100.0	22.7	30.6	44.4	2.3
	2人	441	87	129	220	5
		100.0	19.7	29.3	49.9	1.1
	3人	390	71	103	208	8
		100.0	18.2	26.4	53.3	2.1
	4人	227	47	60	119	1
	100.0	20.7	26.4	52.4	0.4	
5人	92	18	19	51	4	
	100.0	19.6	20.7	55.4	4.3	
6人以上	52	12	13	27	0	
	100.0	23.1	25.0	51.9	0.0	
	無回答	6	1	1	2	2
		100.0	16.7	16.7	33.3	33.3
ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか	3歳以下の乳幼児	108	17	18	72	1
		100.0	15.7	16.7	66.7	0.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	16	17	56	1
		100.0	17.8	18.9	62.2	1.1
	小学生	221	36	53	130	2
		100.0	16.3	24.0	58.8	0.9
	70歳以上の人	533	119	155	242	17
		100.0	22.3	29.1	45.4	3.2
日常生活で介護や支援を必要とする人	108	22	31	50	5	
	100.0	20.4	28.7	46.3	4.6	
妊産婦	8	1	2	5	0	
	100.0	12.5	25.0	62.5	0.0	
1～6の人はいない	920	184	274	450	12	
	100.0	20.0	29.8	48.9	1.3	
	無回答	41	10	14	15	2
		100.0	24.4	34.1	36.6	4.9
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	169	248	448	20
		100.0	19.1	28.0	50.6	2.3
	浸水予測区域外	894	193	258	428	15
		100.0	21.6	28.9	47.9	1.7

問76 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

上段：人数
下段：%

		サンプル	域事前避難対象地	域事前では避難ない対象地	わからない	無回答
総合	実数	1,779	204	266	1,273	36
		100.0	11.5	15.0	71.6	2.0
性別	男性	903	119	141	624	19
		100.0	13.2	15.6	69.1	2.1
	女性	857	83	120	637	17
	100.0	9.7	14.0	74.3	2.0	
	回答しない(無回答含む)	19	2	5	12	0
		100.0	10.5	26.3	63.2	0.0
年代別	10歳代	18	0	2	16	0
		100.0	0.0	11.1	88.9	0.0
	20歳代	126	12	17	96	1
		100.0	9.5	13.5	76.2	0.8
	30歳代	214	13	23	177	1
		100.0	6.1	10.7	82.7	0.5
	40歳代	386	31	52	302	1
		100.0	8.0	13.5	78.2	0.3
	50歳代	400	39	63	292	6
	100.0	9.8	15.8	73.0	1.5	
60歳代	428	68	78	272	10	
	100.0	15.9	18.2	63.6	2.3	
70歳以上	203	41	30	115	17	
	100.0	20.2	14.8	56.7	8.4	
	無回答	4	0	1	3	0
		100.0	0.0	25.0	75.0	0.0
職業別	農林業	88	11	19	54	4
		100.0	12.5	21.6	61.4	4.5
	漁業	4	1	0	3	0
		100.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	商工サービス業自営	128	17	18	93	0
		100.0	13.3	14.1	72.7	0.0
	会社員（役員を含む）、公務員	739	66	115	551	7
		100.0	8.9	15.6	74.6	0.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	10	11	26	3
		100.0	20.0	22.0	52.0	6.0
	主婦・主夫	136	15	20	97	4
		100.0	11.0	14.7	71.3	2.9
	パート・アルバイト	229	29	18	180	2
	100.0	12.7	7.9	78.6	0.9	
学生	49	3	5	41	0	
	100.0	6.1	10.2	83.7	0.0	
無職（すでに退職を含む）	253	41	43	158	11	
	100.0	16.2	17.0	62.5	4.3	
その他	92	10	14	63	5	
	100.0	10.9	15.2	68.5	5.4	
	無回答	11	1	3	7	0
		100.0	9.1	27.3	63.6	0.0
同居人数	0人（独居）	143	18	9	112	4
		100.0	12.6	6.3	78.3	2.8
	1人	428	53	78	284	13
		100.0	12.4	18.2	66.4	3.0
	2人	441	48	72	315	6
		100.0	10.9	16.3	71.4	1.4
	3人	390	46	47	290	7
		100.0	11.8	12.1	74.4	1.8
	4人	227	20	35	171	1
	100.0	8.8	15.4	75.3	0.4	
5人	92	12	11	66	3	
	100.0	13.0	12.0	71.7	3.3	
6人以上	52	6	13	33	0	
	100.0	11.5	25.0	63.5	0.0	
	無回答	6	1	2	2	2
		100.0	16.7	16.7	33.3	33.3
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	108	6	17	85	0
		100.0	5.6	15.7	78.7	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	4	10	76	0
		100.0	4.4	11.1	84.4	0.0
	小学生	221	15	22	182	2
		100.0	6.8	10.0	82.4	0.9
	70歳以上の人	533	65	87	363	18
		100.0	12.2	16.3	68.1	3.4
	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	17	10	78	3
	100.0	15.7	9.3	72.2	2.8	
妊産婦	8	0	1	7	0	
	100.0	0.0	12.5	87.5	0.0	
1～6の人はいない	920	116	144	648	12	
	100.0	12.6	15.7	70.4	1.3	
	無回答	41	3	4	30	4
		100.0	7.3	9.8	73.2	9.8
浸水予測区域別	浸水予測区域内	885	161	67	638	19
		100.0	18.2	7.6	72.1	2.1
	浸水予測区域外	894	43	199	635	17
		100.0	4.8	22.3	71.0	1.9

問77 問76で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。(ひとつだけ○)

上段：人数

下段：%

		サ ン プ ル	避 難 す る	避 難 し な い	無 回 答
総合	実数	204	184	15	5
		100.0	90.1	7.4	2.5
性別	男性	119	107	9	3
		100.0	89.9	7.6	2.5
	女性	83	75	6	2
		100.0	90.4	7.2	2.4
	回答しない(無回答含む)	2	2	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
年代別	10歳代	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	12	11	1	0
		100.0	91.7	8.3	0.0
	30歳代	13	12	0	1
		100.0	92.3	0.0	7.7
	40歳代	31	28	3	0
		100.0	90.3	9.7	0.0
	50歳代	39	32	5	2
	100.0	82.1	12.8	5.1	
60歳代	68	64	3	1	
	100.0	94.1	4.4	1.5	
70歳以上	41	37	3	1	
	100.0	90.2	7.3	2.4	
	無回答	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	11	11	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	漁業	1	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	17	15	1	1
		100.0	88.2	5.9	5.9
	会社員(役員を含む)、公務員	66	61	3	2
		100.0	92.4	4.5	3.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	10	10	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	15	15	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	29	22	6	1	
	100.0	75.9	20.7	3.4	
学生	3	3	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
無職(すでに退職を含む)	41	35	5	1	
	100.0	85.4	12.2	2.4	
その他	10	10	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
	無回答	1	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
同居人数	0人(独居)	18	16	1	1
		100.0	88.9	5.6	5.6
	1人	53	47	5	1
		100.0	88.7	9.4	1.9
	2人	48	44	2	2
		100.0	91.7	4.2	4.2
	3人	46	42	4	0
		100.0	91.3	8.7	0.0
	4人	20	17	2	1
	100.0	85.0	10.0	5.0	
5人	12	12	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
6人以上	6	6	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
	無回答	1	0	1	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
ご家族の中に、次に来ますか	3歳以下の乳幼児	6	6	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	小学生	15	13	1	1
		100.0	86.7	6.7	6.7
	70歳以上の人	65	59	6	0
		100.0	90.8	9.2	0.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	17	15	1	1
	100.0	88.2	5.9	5.9	
妊産婦	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	
1~6の人はいない	116	104	8	4	
	100.0	89.7	6.9	3.4	
	無回答	3	3	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
浸水予測区域別	浸水予測区域内	161	147	11	3
		100.0	91.3	6.8	1.9
	浸水予測区域外	43	37	4	2
		100.0	86.0	9.3	4.7

問78 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

		サン プル	住 宅 の 耐 震 化 の 強	津 波 か ら の 避 難 路 の 整 備	制 所 の 充 実 実	体 育 館 な ど の 運 営 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制	支 援 資 金 が 届 く 体 制		
総合	実数	1,779	431 24.2	771 43.3	540 30.4	725 40.8	434 24.4	244 13.7	196 11.0	345 19.4											
性別	男性	903	245 27.1	408 45.2	270 29.9	369 40.9	201 22.3	106 11.7	103 11.4	160 17.7											
	女性	857	180 21.0	359 41.9	265 30.9	348 40.6	226 26.4	135 15.8	92 10.7	179 20.9											
	回答しない(無回答含む)	19	6 31.6	4 21.1	5 26.3	8 42.1	7 36.8	3 15.8	1 5.3	6 31.6											
	10歳代	18	5 27.8	8 44.4	6 33.3	7 38.9	5 27.8	1 5.6	3 16.7	6 33.3											
年代別	20歳代	126	41 32.5	58 46.0	38 30.2	56 44.4	23 18.3	15 11.9	22 17.5	19 15.1											
	30歳代	214	57 26.6	98 45.8	67 31.3	84 39.3	53 24.8	29 13.6	28 13.1	31 14.5											
	40歳代	386	95 24.6	191 49.5	119 30.8	145 37.6	82 21.2	53 13.7	55 14.2	66 17.1											
	50歳代	400	92 23.0	166 41.5	120 30.0	179 44.8	101 25.3	48 12.0	46 11.5	75 18.8											
	60歳代	428	90 21.0	178 41.6	132 30.8	167 39.0	107 25.0	75 17.5	28 6.5	92 21.5											
	70歳以上	203	50 24.6	71 35.0	56 27.6	85 41.9	61 30.0	22 10.8	14 6.9	55 27.1											
	無回答	4	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0											
	職業別	農林業	88	23 26.1	26 29.5	21 23.9	34 38.6	21 23.9	15 17.0	9 10.2	12 13.6										
		漁業	4	3 75.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0										
商工サービス業自営		128	33 25.8	53 41.4	34 26.6	58 45.3	33 25.8	20 15.6	15 11.7	29 22.7											
会社員(役員を含む)、公務員		739	200 27.1	345 46.7	244 33.0	306 41.4	166 22.5	87 11.8	93 12.6	118 16.0											
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		50	11 22.0	21 42.0	23 46.0	22 44.0	8 16.0	12 24.0	6 12.0	12 24.0											
主婦・主夫		136	31 22.8	52 38.2	45 33.1	59 43.4	35 25.7	19 14.0	12 8.8	26 19.1											
パート・アルバイト		229	43 18.8	99 43.2	60 26.2	87 38.0	63 27.5	31 13.5	24 10.5	40 17.5											
学生		49	13 26.5	27 55.1	15 30.6	15 30.6	11 22.4	7 14.3	11 22.4	12 24.5											
無職(すでに退職を含む)		253	51 20.2	99 39.1	66 26.1	94 37.2	70 27.7	42 16.6	17 6.7	70 27.7											
その他		92	19 20.7	43 46.7	28 30.4	47 51.1	22 23.9	9 9.8	9 9.8	25 27.2											
無回答		11	4 36.4	3 27.3	3 27.3	2 18.2	4 36.4	2 18.2	0 0.0	1 9.1											
同居人数		0人(独居)	143	35 24.5	60 42.0	43 30.1	50 35.0	51 35.7	20 14.0	11 7.7	27 18.9										
	1人	428	104 24.3	188 43.9	134 31.3	174 40.7	101 23.6	57 13.3	38 8.9	90 21.0											
	2人	441	112 25.4	180 40.8	124 28.1	183 41.5	108 24.5	60 13.6	56 12.7	91 20.6											
	3人	390	86 22.1	178 45.6	119 30.5	155 39.7	87 22.3	64 16.4	46 11.8	76 19.5											
	4人	227	53 23.3	100 44.1	79 34.8	108 47.6	53 23.3	25 11.0	26 11.5	38 16.7											
	5人	92	24 26.1	44 47.8	19 20.7	37 40.2	20 21.7	12 13.0	13 14.1	13 14.1											
	6人以上	52	15 28.8	20 38.5	21 40.4	17 32.7	13 25.0	5 9.6	6 11.5	9 17.3											
	無回答	6	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7											
	ご家族の うち、次に 該当する 方はいら っしゃい ますか	3歳以下の乳幼児	108	30 27.8	54 50.0	39 36.1	47 43.5	30 27.8	14 13.0	10 9.3	13 12.0										
4歳以上で小学校入学前の子ども		90	18 20.0	46 51.1	25 27.8	38 42.2	23 25.6	17 18.9	15 16.7	11 12.2											
小学生		221	55 24.9	98 44.3	68 30.8	101 45.7	50 22.6	33 14.9	33 14.9	38 17.2											
70歳以上の人		533	109 20.5	207 38.8	160 30.0	221 41.5	117 22.0	78 14.6	48 9.0	124 23.3											
日常生活で介護や支援を必要とする人		108	15 13.9	41 38.0	29 26.9	51 47.2	31 28.7	19 17.6	7 6.5	28 25.9											
妊産婦		8	1 12.5	5 62.5	4 50.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5											
1~6の人はいない		920	239 26.0	408 44.3	287 31.2	368 40.0	238 25.9	119 12.9	103 11.2	170 18.5											
無回答		41	15 36.6	18 43.9	12 29.3	12 29.3	10 24.4	5 12.2	3 7.3	6 14.6											
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	885	192 21.7	448 50.6	253 28.6	348 39.3	205 23.2	109 12.3	97 11.0	150 16.9											
	浸水予測区域外	894	239 26.7	323 36.1	287 32.1	377 42.2	229 25.6	135 15.1	99 11.1	195 21.8											

上段：人数
下段：%

災害対策の推進	被災者の被害軽減	津波や洪水による被害の軽減	南海トラフ地震発生時の被害軽減	自治体の防災力の強化	必要となる住民の生活対策	発災後の住民生活の復旧	住生活や経済生活の早期回復	その他	無回答
99	272	137	143	189	359	41	38		
5.6	15.3	7.7	8.0	10.6	20.2	2.3	2.1		
64	144	64	71	107	175	22	19		
7.1	15.9	7.1	7.9	11.8	19.4	2.4	2.1		
34	126	71	71	79	181	17	19		
4.0	14.7	8.3	8.3	9.2	21.1	2.0	2.2		
1	2	2	1	3	3	2	0		
5.3	10.5	10.5	5.3	15.8	15.8	10.5	0.0		
2	2	0	2	3	2	0	0		
11.1	11.1	0.0	11.1	16.7	11.1	0.0	0.0		
8	21	5	11	11	23	4	1		
6.3	16.7	4.0	8.7	8.7	18.3	3.2	0.8		
14	42	15	19	30	41	6	1		
6.5	19.6	7.0	8.9	14.0	19.2	2.8	0.5		
26	72	30	31	51	72	8	5		
6.7	18.7	7.8	8.0	13.2	18.7	2.1	1.3		
21	63	34	29	33	91	9	5		
5.3	15.8	8.5	7.2	8.3	22.8	2.3	1.3		
17	50	40	34	42	98	8	14		
4.0	11.7	9.3	7.9	9.8	22.9	1.9	3.3		
11	22	12	16	19	32	6	12		
5.4	10.8	5.9	7.9	9.4	15.8	3.0	5.9		
0	0	1	1	0	0	0	0		
0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
5	6	8	8	15	29	2	4		
5.7	6.8	9.1	9.1	17.0	33.0	2.3	4.5		
0	1	0	0	0	0	1	0		
0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
10	15	8	16	10	32	2	3		
7.8	11.7	6.3	12.5	7.8	25.0	1.6	2.3		
39	139	62	62	82	146	11	6		
5.3	18.8	8.4	8.4	11.1	19.8	1.5	0.8		
3	6	3	2	5	9	2	3		
6.0	12.0	6.0	4.0	10.0	18.0	4.0	6.0		
3	21	11	16	9	25	3	3		
2.2	15.4	8.1	11.8	6.6	18.4	2.2	2.2		
12	38	20	11	32	47	4	7		
5.2	16.6	8.7	4.8	14.0	20.5	1.7	3.1		
8	5	1	4	4	9	1	0		
16.3	10.2	2.0	8.2	8.2	18.4	2.0	0.0		
15	30	16	14	23	46	11	7		
5.9	11.9	6.3	5.5	9.1	18.2	4.3	2.8		
4	9	7	10	9	13	3	4		
4.3	9.8	7.6	10.9	9.8	14.1	3.3	4.3		
0	2	1	0	0	3	1	1		
0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1	9.1		
9	19	18	5	20	29	4	3		
6.3	13.3	12.6	3.5	14.0	20.3	2.8	2.1		
31	54	34	34	37	86	9	6		
7.2	12.6	7.9	7.9	8.6	20.1	2.1	1.4		
14	69	33	42	39	75	15	14		
3.2	15.6	7.5	9.5	8.8	17.0	3.4	3.2		
20	69	28	31	46	86	5	6		
5.1	17.7	7.2	7.9	11.8	22.1	1.3	1.5		
16	42	14	16	30	52	3	3		
7.0	18.5	6.2	7.0	13.2	22.9	1.3	1.3		
5	15	8	10	14	18	1	2		
5.4	16.3	8.7	10.9	15.2	19.6	1.1	2.2		
4	4	1	5	3	13	3	2		
7.7	7.7	1.9	9.6	5.8	25.0	5.8	3.8		
0	0	1	0	0	0	1	2		
0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3		
4	20	5	5	13	20	2	1		
3.7	18.5	4.6	4.6	12.0	18.5	1.9	0.9		
3	18	5	8	11	17	1	0		
3.3	20.0	5.6	8.9	12.2	18.9	1.1	0.0		
9	38	17	20	27	38	1	2		
4.1	17.2	7.7	9.0	12.2	17.2	0.5	0.9		
30	70	36	45	57	119	15	18		
5.6	13.1	6.8	8.4	10.7	22.3	2.8	3.4		
2	15	12	12	8	25	4	5		
1.9	13.9	11.1	11.1	7.4	23.1	3.7	4.6		
0	4	0	0	0	3	0	0		
0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0		
64	144	75	72	92	183	21	17		
7.0	15.7	8.2	7.8	10.0	19.9	2.3	1.8		
0	3	6	4	8	6	0	1		
0.0	7.3	14.6	9.8	19.5	14.6	0.0	2.4		
50	154	62	61	79	171	21	22		
5.6	17.4	7.0	6.9	8.9	19.3	2.4	2.5		
49	118	75	82	110	188	20	16		
5.5	13.2	8.4	9.2	12.3	21.0	2.2	1.8		

VII 自由回答

【インフラ整備】

- ・ 高速道路の整備
- ・ 古い電柱の耐震化を進めて欲しい
- ・ 救助ヘリや救助の要請がしやすいよう普段からできるようにしておく
- ・ 高知県は土石流の警戒区域が多いため、地震の時は被害が多発すると思われます。事前に道路、側壁等の強化を行って欲しい
- ・ 私の住んでいる地域は川が多く、橋が落ちてしまうと何処にも行けなくなってしまいます。なので、大小にかかわらず、橋の点検や耐震化を強化していただきたいです
- ・ 津波などの浸水被害のため広い地域で停電になると思われますが、自治体の機能が失われないよう独立した電力供給体制を用意して欲しい
- ・ 宿毛市小深浦の朝日ヶ丘団地には子どもも多いのに街灯が1つもない。市役所に言っても何もしてくれません。夜地震がおきても暗くて逃げるのも危ないので街灯を付けてほしい
- ・ インフラの地震防災対策。(電信柱等の地中埋設、道路の拡張、災害発生時の緊急道路の設備等)、交通マナーとルールの周知徹底
- ・ 室戸市は道路が全地域整備不足で、海岸富山が近く、避難所に多くの課題が残ることになるのではと思います
- ・ ある時期になると夜間工事などが増えラッシュなどが起こる状況がありますが、本当に必要なのか??と毎回感じます。この工事に寄り避難する人々の通行の妨げにならないことを願います
- ・ 県東部は津波やがけ崩れ等が起こり、国道が通れなくなったら室戸市は孤立状態になります。災害が起こった時に、負傷者も病院に搬送できなくなるので、道路の整備を。他に、中部(安芸とか奈半利)に行けるようう回路を作ってほしい。地震だけでなく、高波の時も通れなくなり不安です

【災害後の対策】

- ・ 災害後のケア及び復旧体制
- ・ 地震が起きた場合に県や市町村が対策本部をどれだけ早期に立ち上げられるのか
- 00・ 避難所生活が長引いた時の支援体制の充実が、自宅倒壊後の安心材料といえるので、お願いします(地震の大きさより、対策の想定外のことが起こりえるので)
- ・ 地震の想定被害に対しては、かなり周知が進んでいると感じます。一方で地震後の暮らし(避難所生活や日常生活の復旧、ライフラインの復旧など)のイメージが充分でない印象を受けます。地震後の暮らし再建に向けた自助(保険等)公助に関する広報にも力を入れていただきたいと思います
- ・ 地震が起きた場合すぐに県民、市民を守る活動が出来るよう県、市町村にお願いします
被害を最小限におさえる取組みと被害があった時に速やかに復興へむかえる体制(想定しておくこと)
- ・ 東北の被災地や避難所での生活をメディアで見ていると自分が精神面、体力面でそういったところでやっていけるのか不安です。防災対策も大事ですが、被災した後の生活のサポートに重点を置いて欲しいです。東日本以上の震度予測となっている南海トラフ地震。津波がなぎ倒し、廃墟となるのはわかっているので、地震後のサポートの方に舵を切ってもらいたいです
- ・ 行政はいろいろ考えて県民に分かりやすいように説明や注意喚起はできていると思う。問題は地震発生後、どれだけ細やかな「配慮」ができるかどうか。行政の方も自分が「臍負」されているので大変だと思う
- ・ 県や市町村、自主防災組織など、各方面への連絡体制の構築は十分であるか。それにより、被害状

況の把握をし、どの様な対策が一番有効であるかを見極める事ができる

- ・避難に対する意識が、各市町村で薄いように思われます。災害は津波だけではなく。火災及び家屋の倒壊、道路などの崩壊など様々な災害があります
- ・災害が起きての対応は地区の土木関係者に頼るのが現状です。市町村も、タイヤローラー等でも所有保管し、一番に通路の確保し、緊急車両などが通行できるようにする事が、人命を助けることに繋がると考えます
- ・ライフラインが止まった場合の状況を事前にシュミレーションしておく。備蓄の重要性。自宅が倒壊した場合のその後の流れを事前に伝えていただきたい。(特に頼る親戚がない場合) 例：避難場所→避難所→仮設住宅・アパートなど(賃貸)・建替え等

【山間地域】

- ・山間地での地滑りや崖崩れの調査 ・山間部の田舎まで行き届く対策をお願いします
- ・山間部なのでその時になってみないと見当がつかない
- ・町地区の整備ばかりに大金を投じているから農村部も整備して欲しい
- ・中山間地域ではラジオの電波が弱く、情報が伝わりにくいのが心配です
- ・山間に住んでいるので津波どうこうよりは山崩れなどの情報が欲しいです。住居は古く、近所もなく、近い地区は2～3分かかります。多分地震がくれば、道は崩壊するから家の前の少しの広場が避難場所と数年前地区防災立ち上げの時に言われました。この様な孤立したところもあります。この頃の豪雨の時期、情報を早く知りたいのでどうか高知の放送関係テレビ等で詳しく「高知県内」の情報を知らせてください。知りたくても県外の情報ばかり。「ここでもこれだけ雨風が強いのに」と歯がゆい思いをしました

【自主防災組織】

- ・若い世代は東日本震災の後、学校で地震や津波の教育を受けているが、年齢が上の方々が学ぶ機会が少なく、これまでの経験で判断しやすいと思うので、地域の自主防災組織のリーダー育成や地域の学びの機会が作れたらと思います
- ・避難路の整備などは十分に進んでいるため、一人で避難するのが困難な方への支援が必要だと感じる。具体的には、避難するうえで住民同士のつながりが必要なため、自主防災組織の活動への支援の充実などが望まれる
- ・自主防災組織は、割合早い段階で町内各地に組織されましたが、もし夜間に地震が発生した場合、高齢者や小さい子どもがいたり、障害のある方が避難するのに暗かったり、危険な箇所がまだまだ多く不安です。地域ごとに点検する等の活動も含めて、早急に取組み、地域全体の防災意識を高め、安心安全な街づくりをしなければならないと思う

【災害対策】

- ・地震速報の精度を上げる
- ・防災タワーを建てて欲しい
- ・災害に強い医療体制、地域の病院
- ・川の土手をしっかり整備してほしい
- ・参加型の防災対策が必要だと感じました

- ・香宗川（香南市）の氾濫対策強化をお願いします
- ・避難所などに災害時に使える合併処理浄化槽の設置
- ・住宅の耐震化の強化。まずは即倒壊を防ぐのを考える
- ・家庭への太陽光発電や蓄電池の設置の補助。避難所などへの再エネ設備の導入
- ・町内放送が風などでとても聞きにくいです。もっとみんなにわかりやすい方法を考えていただきたいです
- ・町内のマイクから遠い人は、放送やサイレンが聞こえないと言う声を聞くので、皆に聞こえる様にして欲しいです
- ・津波や地震から無事に逃れられるか認識して意識しながら生活するのを考えた方がいい。避難訓練や防災対策
- ・人が住んでいないような木造の家があり、既に一部壊れていたりして、間違いなく地震で崩れると思う。家主を調べて、取り壊すなり、対策をお願いしたい
- ・危険なブロック塀や空き家対策等、避難の妨げになる場所を早急に点検把握して改善して欲しい。対象となるものに積極的に指導して、協力を求めていく働きかけをしてほしい
- ・地震の際、周囲の家が古い為、そこからの火災に巻き込まれることが心配。子育てと仕事で、身を守る事の対策をする余裕がない。それを考慮したうえで、積極的な対策をして欲しい
- ・海の近くに住んでいるので津波、地震の不安と隣り合わせ。子どもが5人いるので災害時バラバラにならないか自宅の耐震は大丈夫かなど不安もあるので県市町村には対策支援をもっとしてもらいたいです
- ・海沿いだけでなく、川を上ってきた海水でつかる可能性の場所にも津波避難タワーを整備してほしい（近くに病院など高い建物はありますが、ペットを連れてくる方は中に入れられないので）
- ・一番望む対策は防潮堤をもっと充実整備すること。特に高知市街は津波予想地域が大半であるので、浦戸湾からの津波の影響を受けるための対策を講じてほしい
- ・高知県は防災対策に力を入れている県だと思っています。他県と比べても、台風対策などを行っているので河川の整備も出来ているので、河川に津波が来ても他県より堤防が壊れるのも少ないのではないかなと思います
- ・居住地域により対応が相違すると思う。海岸地域、住宅密集地域、中山間地域、山間地域それぞれの対応策も詳細に必要であると思うが、特に山間地域で住宅が個別に点在している地域の対応策についての記述はあまり見受けられない
- ・家具の固定や、ガラスに貼るシート、その他の作業が女性でも簡単に組み立てられるような援助型システム。あまりお金をかけなくても申し込めばすぐ防災に取り組めるようなシステム
- ・雨水の利用。250リットル位のタンクを連結し溜め、防火水槽や非常用の飲料水として利用する。油の吸着シートの備蓄。タンクにためた雨水や川の水の油を吸着し、飲料水にする。学校、公園、並木、草等をバイオコークスにして燃料の備蓄にする

【啓発活動・情報発信】

- ・防災グッズの紹介
- ・地震・津波の怖さを知ってもらおう事が大事
- ・具体的な避難を複数事例紹介して欲しいです
- ・避難場所かどこかをパンフレットなどで配る
- ・TVやラジオなどの毎日の情報が欲しい
- ・各ダムの地震に対する強度等の情報を広報

- ・海岸線や河川の防波堤の整備やその状態の広報
- ・備蓄品や避難所生活等具体的に県民に周知して欲しい
- ・地震防災に関する情報をもっと頻繁にメディアを使って伝えてほしい
- ・今はコロナで活動できないが、収まった後には啓蒙活動をしてもらいたい
- ・居住している地域のハザードマップや最新情報を配るようになって頂けたら嬉しいです
- ・避難場所があいまい。役所が避難場所のパンフレットを作成し、分かりやすく教えて欲しい
- ・地震が起きたとき自宅にいるとは限らないので、津波が来る地域は外から来た人も避難所等がすぐわかるようにしてほしい
- ・仕事をしていると詳しい情報など知る機会が少ない為、どんな人でも情報が入りやすいようにしてほしい
- ・地域ごとに地震、津波対策を分かりやすく説明するセミナー等の開催をしてくれる活動。開催時期の連絡も必要
- ・将来、仮に外回りの多い仕事になった時もそうだが、一目でわかるように避難場所や津波の有無、到達時間が分かるようにしてほしい
- ・地区ごとに、津波や浸水の状況が異なるので地区別のハザードマップを基にした防災避難のパンフレットの作成。地図状のもの
- ・避難についてのパンフレットに避難先の入り口や入れる時間などをパンフレットに書いていただけると嬉しい
- ・地震防災対策はよくわからないが時々避難所に行った時、高知がどんな状態なのかわかるようにしてほしい
- ・避難してからの取組みもテレビ等で周知して欲しい。避難所でプライバシーは保てるのか、テント等あるのかなど
- ・県の防災対策はある程度、チラシやパンフレットでわかる。地元の対策が具体的には、まるでわからないので、知りたい
- ・TVで防災についてPRしたり、番組を年に数回持つといいかなと思います（大きな震災のあった月日とかに）
- ・若者が参加しやすい防災対策のイベントを開催してほしい。現在開催しているのであれば、広報に力を入れていただけるとありがたい。
- ・CM等により、アナウンスは十分。しかし対策はよく知らない。私は仕事上平日休日がかつ勤務時間もずれているため、TV番組で特集を放送しても時間が合わない。スマートフォンも所持していないためネットで配信されても見れないので深夜枠で定期的に番組を放送していただきたい
- ・具体的な情報をわかりやすく教えてほしい。（備蓄すべきもの、日々行う対策、災害が起きたときの対処）オーテピアで子ども用の紙芝居に地震が起きたときにすべき行動といった内容の物がありよく見ますが、大人でもわかりやすく参考になりました
- ・街中に屋外ビジョン（サイネージ）が少しずつ増えてきていると感じます。そこに、「南海トラフ地震に備えちよき」の情報を定期的に流してはと思います。毎日多くの人が歩いているのに同じ企業と同じCMの繰り返しでは勿体ないです。冊子も重要ですが、目や耳に繰り返し入ってくると頭にも入ると思います
- ・とにかく老人や子ども等にもわかりやすい説明や取り組みをお願いします。自分に出来ることは何でもやりたいです
- ・色んな取り組みや、システムがあると思うけど、生活する県民はパッと見てすぐわかるような情

- 報が効果的だと思う。やなせたかしさんのキャラクターとか、子どもも喜んでみるのでいいと思う。東日本大震災の時のことも活かせると思うので3.11を振り返った番組とかも再放送してほしい
- ・大規模災害時、地域の避難所、避難場所を知らない人が多いと思う。もっと県民に安全危機意識が高くなるよう、高知県および市長村が協力し合い、分かりやすい情報発信に取り組んでいただきたい。現状県民に、県や市町村が取り組んでいる内容が全く伝わっていない
 - ・災害時の避難所運営などは、最終的には市民による協力が必須になると思う。年齢・性別に応じて、各自ができることは異なる。東日本大震災時の具体的事例を紹介して欲しい。有事のときは協力したい、と思っている市民はたくさんいると思う
 - ・実際に県がどんな対策をしているのか目に見えない。各自治体任せが多い。県や各市町村が主導となって各地域の住民、細かい地区単位での訓練や講習等があればよいと思う。県のHPは興味のある人しか見ないため、CMや広報誌を色々な所に置いておくのが良いと思う。県民のニーズを把握し、それにあった対策を講じるべき
 - ・南海トラフ地震が来ることや、来た時に高知県がかなりの被害を受けてしまうのが分かっているが、その対策や方法が分かりづらく、具体的に何をすればいいのかが分かっていないです。避難訓練が定期に行われていることは知っているが、自由参加なので、一度も参加したことがありません。もっと若い人にも危険性が伝わるように、漫画などの分かりやすい形で発信してほしいです。避難場所への道を整備してくれているのはすごくありがたいです。なので、避難訓練をもっと義務とか強制にしてくれると参加者は少しでも増えると思います。感想のようになりましたが、補助が受けられるとか知らないことが多すぎるので、もう少し県民に分かりやすいように発信する方法を変えるなどしてほしいです
 - ・高齢者はホームページとか言われても分からないので、紙で危険地帯とか教えてほしい。それも、難しいのではなく、一目で誰にでも分かるように
 - ・地区ごとのマップ作成。どの経路で、まずここ、次はここ等。昼間の仕事中の地震の場合はどうするか。県下の地区すべてがネットで見られるようにできるとよい
 - ・30年以内=30年後と思っている人が多いのでは。もっと危機感を持ってもらえるように個人、地区、職場へ広げていく
 - ・個人個人の家に合った避難経路のパンフレット配布。避難場所や避難ルートの説明の看板設置
 - ・小さな子どもがいたり、高齢者のいる家庭は、防災には関心が高いと思うが、一人暮らしの若者や単身者などは低いと思います。なので、子どもの頃から学校で教育をしたり、新入社員研修などで啓発していくなどもしていけば良いのではないのでしょうか
 - ・地震をテーマにしたゲームソフトを開発してもらいたい。一般の人に楽しみながら学んでもらうようにする
 - ・人命を守るため、いろいろな知識を与えてほしい。働きかけてほしい。町の中に分かりやすいように、分かりやすい場所へ避難ビルなどの表示をしてほしい。良く集まりやすい場所（電停、講演、スーパー、病院とか）に『この先50mに避難ビル「〇〇センター」あり』等の表示があると、日頃からそこを見ておこうかなと思える
 - ・県や市町村がいろいろな対策を考えているのをもっとわかりやすく、ホームページを見てではなく、皆の目に入るようにしてもらいたいです。毎日忙しくしている人が多いから、ホームページを見る時間もあまりないし、見なきゃという意識にもなりにくい。住んでいる地区でも、その役員さんとかによって温度差があると、地域での活動がない住んでいる者は知らないままだったり、一人が声を出してもどうしようもなく終わる。事前避難対象地区の地域は強制で訓練をするぐらい県や市町

村からの強い要請をしてくれると人が動き出して、地区内の人のつながりや意識が少しでも変わるんじゃないかと思えます。すぐ気が緩むので、定期的に意識できる呼びかけなど

- ・パンフレットなど、詳しいのか細かく記され過ぎて見るのが嫌になるので、一番大事な内容のみ大きく見やすいように表示してほしい。住民が一番何を知りたいのか、そこに焦点を当てて作成をお願いしたい
- ・高知市の学校の防災教育は温度差が大きい。路上で、家で、店でいつ被災するかわからない。高知大の岡村教授（だったと思う）など、いろいろな場面での対処方法を教えて下さるはず。もっと事前教育を徹底してやってもらいたい
- ・県や市町村がどの様な地震対策をしているかそもそも知らないのもっとわかりやすく提示したものをパンフレットなどにして配布してほしいです。地震が起きたときに迅速な対応をしてもらえるのですか
- ・地震、津波についてのパンフレットはよくありますが、細かい内容についてはうろ覚えだったりします。アンケートに答えることによって、自分がどの程度の知識を持っていて、備えが足りないのかという事に気付きました。なので、アンケートを実施するというのはとても良かったと思いました
- ・県や市町村の対策・政策がそもそも分からない。自身でインターネットなど見なくても情報が入ってくるようにならないければ、高齢者にはわからないと思う。自分自身、自分からそういった資料を意欲的に見ない
- ・知り合いに外国人の家族がいます。高知県は台風や大雨が多いので「高知県防災アプリ」を教えてくださいあげようと思いましたが、外国語版がないので作ってほしいです
- ・地震災害などに関する知識をもっと理解しなければ…という事と、近所の方たちと日頃からこのことについての話し合いや、意見などをじっくりと取り組む。ハザードマップ表示は分かり易く、各地域に表示看板を設置してほしい。各家庭に安全のしおりや防災ノートを配布
- ・県はアピールをよくやっていると思う。ラジオは分かりやすかった。地震が若い時に地震を経験しているので、防災に対する対策は頭にあるが、家族がいるとどうしてもそこに回らない現状がある。「東京防災」のような本を出してほしい。高いお金をかけなくても、家にあるもので防災用品を作る方法が詳しく載ってある資料などが欲しい

【要配慮者】

- ・高齢者ばかりとなり色々不安
- ・高齢者の多い地域に避難タワーを設ける
- ・高齢者や子ども、障害者に対する避難場所の対応などに配慮してほしい
- ・戸別訪問。各家庭の内情（要配慮者）を調べ、その内情に即したアドバイスをする
- ・大人より子どもの命を守る事を優先すべき。子どもを守る事が現状ではおろそかになっている
- ・災害時、子どもだけでは逃げられない。町内の子どもや高齢者を守る町づくりをお願いします
- ・山に逃げる際、足腰の弱い高齢者や救助する方が困らないよう、その準備を普段からみんながわかるようにしてほしい（トロッコとか）
- ・避難場所（津波）が高い所にあり、私は足に障害があるため登れません。そのあたりを考えていただけないでしょうか
- ・各町内会で数名の代表者を出し、高齢者や1人暮らしが住んでいる場所をリストアップし、町民全員で守る活動が必要

- ・自治体の職員と耐震診断士など1つのチームで高齢者の住んでいる住宅を訪ねて直接その家の立地や建物の状況を伝えるというものも必要ではないかと思う
- ・高知県内もだいぶ高齢者が多くなっております。アンケートの内容も元気な人用でした。とっさの時に助ける人が少ないと思います
- ・周辺は高齢者がとても多い地域のため、いろんな事が心配されます。高齢者の人からは、対策より諦め（逃げられない）の声も聞かれます
- ・我が家には障害者がいるので、避難所についても食料をもらうのに何時間も並んではられないし、気後れして嫌な思いもしそうに思う。他のところに避難場所を構えるか、何か一般の人と分けて考えてほしい
- ・避難時に子ども、高齢者に対して周りの方が助け合いながら一緒に避難できるように、どのような方法があるか事前に専門家の方から教えていただく
- ・家族に障害者がいる為、避難生活等で配慮できる体制作りに力を注いでほしい。マイノリティに社会全体が気付いてくれるよう切に願っている。やはり県主体で取り組むべき課題であると感じる
- ・私は聴覚障害者です。近所の助け合いが必要だと思います。手話が出来る人がいれば、避難訓練に参加したいです。また、聴覚障害者の避難訓練があれば参加したいです。避難所では手話が出来る人や筆談が出来る人に対応してもらいたいです。見てわかる情報ツールもお願いします
- ・避難のときに老人や足腰の悪い人が困る。私は逃げきれないと思うので、運命として受け入れて死を選ぶつもりである。70代の夫婦のみで、近所の付き合いもないし、それほど生きる目的もない。避難するには人手がいるため、防災対策についてはそれほど望まない
- ・介護認定者や障害者等の防災対策は置き去りにになっている。各自自治体は数さえも把握できていないのでは？避難所生活では公平に正直者が損をする状況になることは避けてもらいたい
- ・私の住んでいる地域住民の多くは高齢者ばかりです。地域で色々するのも限界があります。県や市町村で対策するのはもちろんのことですが、周辺の企業さんにも協力していただきながら、防災対策を考えるべきではないでしょうか
- ・要配慮者の登録はしているが、その後の更新手続きなどは行っていない。また、その情報がどう活かされるのか知らない。避難が必要な時、家族が遠い場所にいる場合、自分たちだけでの避難は不可能なので、おそらく自宅待機となると思われる。避難所に行けない場合でも、サポートが受けられるよう体制づくりを進めてもらえないか。体制ができているのなら、情報を開示してほしい。要配慮の登録者に情報を開示してほしい
- ・県は津波対策に重点を置いているようだが、私の住んでいる地域は奥の方に少人数の特に高齢者のみの地域があり、道路が土砂崩れ等によって寸断されてしまうような場所があるため、そういう場所の救助などの充実を望みます。「田舎は後回し」にならないようにしてほしい
- ・地域の半数以上が高齢のため、そのような方たちの家から避難所に行くためには、遠い方などのために戸別訪問をし、お話などもしていただきたいです。私の家の周りにも5件ほどありますが、65歳以上の方が8割になっています。私の家にはまだ小さな子どももおりますので、手を貸してあげたくても、なかなか手が回らない事もあると思いますので、高齢の方たちのために何ができるのかなど、私たちにも教えてもらえると、できることもあるかなと思います

【防災の意識】

- ・個人の意識向上
- ・住民一人一人の防災意識の改革が必要
- ・自分の知らない言葉や制度を知る良い機会になった
- ・実際備えても大きな災害には対応できないと思います。少し被害が少なくなるだけで
- ・親子で参加する防災イベント等により、防災意識を高める。高知県防災アプリの周知
- ・子どもの安全のための防災教育は大事だと思うので、可能な限り学校で力を入れて欲しい
- ・防災教育の強化など高齢者、障害者などの方々を支え合う仕組みづくりなどを望みます
- ・高知に住んでいても災害を受けないところにいる人は意識も低いし他人の人もいます
- ・いつどこで被災するか分からないのでまずは命最優先で。そして普段から出来る事（備蓄や避難先などの確認）など準備することは大事だと話しています
- ・震災関連の情報をもっと定期的に流すようにして、日ごろから災害への意識を高められるようにすれば良いと思います
- ・人間の不注意や怠慢が原因になって引き起こされる災害にならないように
- ・不確定な事に対する準備の義務化。県が年一回各家庭に防災対策用品を配布。安否確認ツール利用の促進
- ・目の前が海なので毎日ながめながら、その時は終りかなと思ってしまいます。安芸川もすぐです。自然災害の恐しさを改めて、感じています
- ・多忙により訓練に参加できない。CMで単純明快で覚えやすいものが流れることで子どもにも、大人にも伝わると思う
- ・地域で防災を考える会が始まり、地域をつなげようとしている。障がいを持つ息子と避難する練習をしたいが、避難場所が事務所のため出来ない
- ・調査票に記入しながら、どんなことを自分たちで準備し、心構えが必要か考えることが出来ました
- ・いま、大きな地震を体験した人が少なく、危機感が薄く色々な地震の対策が不足になっていると思う。広報などで色々な情報を伝える。今はコロナで大変な時期ですが、対策を頑張ってください
- ・「自分の命は自分で守る」が原則ですが、災害時に効果的な救助活動が行えるよう体制を整えておいていただきたい。助かる命は助けてもらいたいと思うからです。同じ理由で医療救護体制の構築にも力を入れていただきたい。今回のアンケートでいざというときに子どもたちや自分を守るよう事前の構えをしっかりとっておかねばと、改めて思いました
- ・自分の子ども達は毎月訓練を行っていて、もしもの時にいかせそうだと思った。地震体験車などで、大きい地震を体感して地震に対する危機感を高めた方が良い。子どもの通学途中での被災が心配でたまらない。もし津波が来た場合、避難場所、高いところへすぐ行けるのか、子どもの小さい体で逃げられるのか不安。通学途中での避難についても学校でも話をしてもらいたい。被害が出たとき、大きな市が優先されて、田舎の復旧作業が後回しにされないか心配
- ・分かってはいるものの、日々の仕事や生活で先送りにしている防災対策。今一度、非常持出品などチェック（用意）しなければと思いました。自分は、特別養護老人ホームで働いているので関心があるものの、主人が乗り気でなく、家具を固定するものを買ってはいるが、取り付けてもらえず、どうやって主人を巻き込むか。そっちが課題。今回のアンケートで知らないこともあり、こういうアンケートに答えるのも一つ考えるきっかけになり、良いことだと思います

【経済面】

- ・耐震改修はおこなったがブロック塀まで予算がつかずできない
- ・生きた金の使い方（税金）多くの人の助けになる工事に税金を使ってほしい
- ・非常食など必要物品の購入に、補助金を個人や各事務等へもっとたくさん出す
- ・防災に必要な備品が高すぎる。生活していくのに必死でそこまで回らないのが現状
- ・耐震化の支援を昭和 56 年以前に建築された家に限定せず、何十年も経っている木造住宅への費用の支援を早急に進めて欲しい
- ・家は借家で木造なので、耐震工事をしてもらいたい。築年数の古い木造住宅は県や市が家主に対し補助金を出して耐震工事を義務付けてもらいたい
- ・耐震化の補助対象について、建築確認申請が必要でない地域の建築物は、新基準かどうかの判別がつかない。そのため、それらも補助対象にすればよい
- ・地震対策について、何から手を付ければよいのか、また、金銭的に問題のある家庭は一定数いると思う。行政は最底辺にいる人たちもすくいあげるぐらいの心意気でいて欲しい
- ・明らかにこれはお金の無駄と思われるような「箱物」は作らないで欲しいと思います。「自分達の命は自分で守る」そういう意識作りが大切に思います。いつか必ず起きると分かっている、我々は日々の生活にどうしても流されてしまいます。そこを県、市町村で支えてもらいたいように思います。もちろん私達も意識を変えなくてはなりませんが、命に勝る物はないので少しでも多くの命が守られるように県民で一致団結できる対策を望みます
- ・備蓄していた食料も食べてしまい、地震どころではない状態。コロナが追い打ちをかけ我が家は火の車状態。貧困者は地震どころではない。毎日 2 人の子どもに食べさせ学校に行かすので精一杯。一生懸命働いても家具を固定する器具も買えない。地震が来たら死にたい
- ・地震などで住む家がなくなるのが一番つらいと思います。しばらくは体育館などでも仕方ないと思うけど、家づくりの補助を早期に始めてほしいです
- ・こういう資料が届くたびにちゃんと返信するが、一向にこちらの思いへは行かない。耐震の用意もしたいが、直す金額と補助の金額の差も大きく、結局諦めてしまう。市内の上町の家だが固定資産税も下がらないし、払う税金は大きくなるが、こちらを助けるお金は決して多くない。やってほしいことをやってくれる市になってほしい
- ・住宅の耐震化は済ませたが、ブロック塀の改修は条件を満たしてないためできなかったのもう少し条件の適応を広くして頂けたらよい
- ・昭和 62 年以降の木造住宅です。耐震診断を受けたいと希望しましたが、その後あまりにも費用がかかりすぎると思い、診断するのをやめました。もう少し、補助の方法を見直してはいただけませんか。ブロック塀も道路に面している分は補助制度を利用して生垣にしましたが、道路に面していないところなども補助を考えてほしいです
- ・昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された住宅で耐震診断を受けたけど、耐震改修の費用は補助金が出ても高かったのが諦めている状態です。土砂災害も山の側なので心配です。ここは絶対安心という場所はないので、自分の身は自分で守るほかないです
- ・住宅の耐震化は費用もかなり掛かるので、手が出ないのがほとんどだと思います。地震が来て全壊になるより、今から耐震に力を入れて費用を負担してもらおう方が、県にとっても予算をキープできそうなので、今後その方が経済的にも良いと思います。きれいな道路を何度も掘り返して予算を使うより、ずっと有効的だと思います
- ・ブロック塀など改修しなくてはいけないという思いがあっても、日々の生活に費用が掛かり改修費

に回す分がどうしても不足してしまいます

- ・固定取り付けの補助申請が多く、何ヶ月いや一年以上待たなくてはいけない状況です。申請の順も守らなくてはならないが、一人暮らしの高齢者や津波が早く到達する区域の方々は優先して安心感をとと思う
- ・みんな、備蓄や「備えたい」という気持ちはあると思う。けど、「お金がない」や「高い」などで出来ていない。皆が死にたくないから本当は「備えたい」のに、日々の生活で精一杯なのが現実

【避難場所】

- ・避難場所の整備
- ・動物がいるので動物専用の部屋など
- ・避難所でのコロナ対策も考えて欲しい
- ・避難場所や避難所の環境整備（特にトイレ）
- ・ペットがいるため（猫3匹）、避難所に行くようにしてない
- ・コロナ禍でペットを飼う人が増えたがペットを守る避難所が必要
- ・自宅から一番近くて安全な避難場所を探すように地域の人たちに促す
- ・家に空き巣が入られるのもいやなので、庭や空き地で生活するようにしている
- ・避難タワーが町中でも浸水想定エリアにあった方がいい。高齢者にも分かりやすい避難場所があればよい
- ・小さな村では避難場所もない。整備もされていないので、一村ごとに避難ビルのような建物を整備してほしい
- ・ペットを受入れてくれるのか。家族の命やペットがその後どんな中で過ごすことになるのか守り切れるのが心配している事です
- ・避難場所、避難路の確認。場所を知っていても、いざ地震になった時にすぐ行動できるようにシミュレーションの必須
- ・春野町東諸木地区は必ず津波により家屋が滅失するので、避難所、避難場所での生活の質向上をはかってもらいたい。特にトイレ、段ボールベッド等
- ・災害後の避難生活対策は重要。避難所での生活はストレスになるので、避難生活を想定した住民の確保を事前に進めていくのも必要
- ・芸西村西部乙に住んでいて避難小屋の土地はありますが、残念ながら建物が建っておりません。大至急避難小屋を開設して頂くようお願い申し上げます
- ・近くに片島中学校があるのに、避難場所までちょっと遠い。今新しく建てている宿毛市役所の裏山まで行かなくてはいけないので、早く新築が出来上がることを願っています
- ・避難タワーは国道沿いに見えるが、国道、県道沿いには車の避難場所が見えない。車の避難場所の整備が必要と思える
- ・各地域の避難場所や避難所に実際に足を運んでもらい、必要な整備を行ってもらう。各地域の避難経路で、危険が予測される場所の整備を行ってもらう
- ・夜間、地震が起きた時に指定されている避難ビルはすぐ入れるのか、鍵は自動に解除されるのでしょうか？あと何人ぐらい収容できるのかを知りたいです
- ・地域の住民一人一人が何処に避難をすればよいかを市町村と地域が日頃もっと密に連携強化をし、定められた避難場所以外にも早く安全な場所に一時避難し、次に定められた避難場所に移動する方法などがあるように思われます。その点を十分に検討願います
- ・避難場所から次の行動へのシミュレーション。最低何時間は移動せずその場で待機したらいいのか。

けがをしている人への処置方法（その状況でできる可能なことは何か？）自宅又は避難所への移動時の判断や注意事項

- ・私の住んでいる地区は高台にあり津波の被害はないと思う。ここに以前民間で使用していた大きな建物、敷地がありそのまま放置されているのがもったいないなと思う。何か県が買い取ったり、地区に補助金を出すなりして防災施設、避難場所にするなどしたらいいのと思う
- ・避難所に指定されている場所は健常者でも徒歩10分はかかります。建物も小さくなく、とても地域全体の避難者を収容できるものではありません。他に公共の施設が無いのでしょうかないとは思いますが、車中泊や半壊した住宅にも支援物資が届けられるようにしてほしいです
- ・本当にその区域全員が避難した場合、受入れ可能な避難所の確保。自宅避難の人への物資の補充。自宅以外で被災した場合何処に逃げればよいかの情報提供。いっぺんに聞きたいのはわかりませんが、設問項目が多かったですね
- ・地震が通勤通学時に起きた場合、バス、電車、自動車といった乗り物で移動している時、避難ができる場所とかをバス、電車、自動車の会社の人達と話し合っ（各方面での）決めていただきたい。（避難場所を）県の方と連携を取って、通勤通学の人達と家族が連絡を取ることができるのではないのでしょうか
- ・ペットを飼っているので避難所の利用は難しいと考えております。欲を言えば、動物を飼っていても利用できる避難所があるといいです。（既にあるのかどうか調べてはいませんが…）ただ、それはいろんな観点から難しいと思っていますので、車中泊を考えています。ただ、こういった漠然とした考えしかありませんので、ペットを飼っている者がより具体的に、事前に考えられるような補助（金銭面ではなくアドバイスのもの）をお願いしたいです。あと、もしかしたら「それは当たり前」な事かもしれませんが、車中泊の人も食料（支援物資）や衛生面の利用など心配することなく利用できると嬉しいです

【避難経路】

- ・ブロック塀の撤去を強く指導してもらいたい
- ・住宅、ブロック塀など倒壊したら避難できない
- ・住宅だけではなく人の集まる場所（観光地、スーパー、飲食店）にいた場合でも避難場所が分かるよう経路を示しておく
- ・誰もが、住み慣れた地域で地震にあうのではない。そのため、避難経路については、少し大げさでもよいので、分かるように表示するべき。標高も表示するべき
- ・避難経路途中には無人の壊れそうな建物があり、避難経路をふさいでしまわないか心配です。県や市町村の判断での取り壊しなどはできないのでしょうか
- ・津波浸水地域の為、避難場所までの避難路の確保が課題である。安全に避難する為、個人のブロック塀、家屋の対策へ。県や市町村が戸別訪問等により、説明、説得を行い避難路の確保をお願いします。自主防災では個人一人一人への説明、説得が困難です。
- ・避難経路上の居住者のいない住宅又は施設等の取り壊しによる安全の確保。ハード、ソフト両方の対策の推進化。橋が崩壊すると移動不可となる地域の避難可能となる経路の確保。電線の地中化。避難所における母子へのプライバシーの確保
- ・南海トラフ地震について知らない人はいない。しかし、いざどうすれば良いかについては考えたことのない人が多い。やはり、繰り返し身近な場所で訓練をすることが大切だと考える

【避難訓練】

- ・全域で最低でも年一回避難訓練の実施徹底
- ・避難訓練をもっと実施すべきだと思う。訓練が足りていない
- ・なかなか訓練していても実際はあまり動けないと思います
- ・最悪の事態を想定しての対策…食・住。個人レベルの強化、コロナ対策などの意識の強化
- ・学校や企業が適切な避難訓練を行っているのか確認。在学している学校の避難訓練が毎年同じ天候を想定したもので質も悪い。改善案を学校に提出したが、改善されない
- ・土砂災害で道路が寸断され孤立する地区がほとんどだと思います。救助が来るまでどうしのいでいくか、自分たちの地区には何が必要で、こういった場合はどの様にするのかなど、自分達の地区は自分達で守る意識をもって訓練を行っていく必要があると思います

【備蓄品】

- ・食糧
- ・地域ごとの備蓄の推進
- ・備蓄品をもっと充実して欲しい
- ・町内会の費用で少しの食糧確保
- ・いつきてもいいように必要物資を用意する
- ・地域のコミュニティーセンターなどに、食料、飲料などがしっかり備蓄されていて、地域としての対策はしっかりしていると思う
- ・コロナの時期で避難する住居がない時は、行政でテントなどの支援をして欲しい。プライバシー、コロナの防止策として

【津波】

- ・浦戸湾から国分川全域の堤防補強
- ・海岸の津波による対策等。耐震の増加等
- ・海の近くに住んでいるので堤防を作ってほしい。津波が来ないようにしてもらいたい
- ・津波想定地区に対しては、特に避難場所、タワー、避難経路の確保に益々の充実を期していただきたい
- ・自宅は津波の被害がないのはわかっているが、自分の子どもの職場が津波の被害がある区域なので、津波対策をしっかりしてもらいたいです
- ・弘化台は津波の影響を大きく受ける場所ですので、高さはもちろん強度をしっかりと備えた防潮堤を作ってください。弘化台は砂での埋立地ですので、液状化の対策をしっかりしてもらいたい。あと、南北の橋が壊れたら孤立して逃げ場がありません

【地域】

- ・常々から横のつながりが必要だと思う
- ・地域のみんなを支え合って生き延びよう、あなたは地域のみんなと繋がっている、必要な人であると全ての人が思えるといいと思う。子ども達への防災教育に力を入れてもらいたい
- ・町内会など同じ人がずっとしていて、一度訓練に参加したのだが、和の中に入りづらいと感じて二度と行きたくないと思った。いろいろ手伝いたい、今の雰囲気では無理
- ・高齢化が進んでいるコミュニティの結びつきが厳しいのでは？と思います。自分の親を見てもなか

なかだと

- 市街地ほど地域住民同士のつながりが少ないので、万が一の時助け合えるような地域のコミュニティが広がるための活動が防災にもつながる
- 自分が自宅で地震が起きたときは、孤立場所だと思います。道が寸断された場合、へりの停まる場所もありません。そういう場合、どういう対応ができるのか疑問です。最近、私の住んでいる地名が地図によっては名前が載っていない時があるので、知らない人がいると思われます。
- 年1回村全体で集まりアンケートを書いて説明で終わるだけですが、たまには炊き出しとかしてみんなで話し合うのもつながりが出来ていいと思います。行政のほうでも指導をしてほしい
- 住人同士のつながりが薄く、地域のまとまりや連携がとりにくい。組織を作るためには若い人の考えや生活実態に基づくアイデアを積極的に出して欲しい。防災意識の高い子どもやその父母層を中心に活動すれば中年層は協力しやすい。避難場所は民間マンションが指定されても、その住人が避難した人にどう対応するかが疑問
- 六泉寺町の市営住宅に住んでいますが、毎日不安で仕方ありません。住民も高齢化していて建物もボロボロで地震が来ればどれだけの被害があるか怖いです。市の方で建て替えの計画は出ていますが何年も先延ばしにされていて住民はみんな不安な毎日です。コンクリートはヒビだらけで何年か前に改修工事のために来てくれていた人に「よくこんな所に住みゆうねえ、僕ら怖くてよう住まん」と言われました。工事をしてもあまり意味がないそうで表面上の修理しか出来なかったそうです。中の鉄筋がだめだそうで市の方も報告はされているはずなのに5年以上もそのままです。市長が無理ならば県知事に訴えればいいでしょうか？ 県の方から一度この市営住宅を見に来てほしいです。市役所には毎年町内会から立て替えの要望はしています。予算がないとずっと進んでいません。カルポートの改修より六泉寺町の市営住宅の方が先やろうとみんな言ってます
- まだ地域によっては訓練や避難場所の整備が遅れていたり、危機感の薄いところがある。いつ来るかわからないが、東北のような大きな津波が来る恐れがある地域で、気持ちがまだ緩いと思う。よくこういった防災のアンケートを見ますが、避難への備え、避難してからの生活のことは見ますが、実際に避難するという行動のことは聞いてません。避難生活は、避難してから行うもので、まず逃げて助かるといったことが大事です。学校や保育園のように逃げる練習をしないといざ地震が来るとその揺れにパニックになり、上手に逃げることができないと思う。逆に、こういった地震が続き慣れてくると大丈夫だろうと思いついで心のゆるみになると思います。実際、東北の方でも車で逃げる、海岸に見に行くといった助かったのに逃げ遅れたことが問題になりました。テレビやラジオなどで津波警報が出たらまず逃げることを考えないといけないと思う
- 日頃から私の住む地域には回覧板が良く回ってきます。お年寄りが多く住むためなのか、回覧板で回ってくる内容は、通信販売の紹介が多く、チラシ的なものがあり、「必要な方はお取りください」とか、「興味のある方はお取りください」と書いています。他の地域はどうか分かりませんが、少なくとも以前住んでいた地域では、町内会費を支払っていましたが、回覧板はほぼなく、ポストに周知内容のプリントが入っていました。お年寄りが多く住む地域だからこそ、防災対策に関する内容のチラシや回覧が必要ではないのでしょうか

【ライフライン】

- ・風呂を設置
- ・ライフラインの復及をなるべく早くして欲しい
- ・ライフラインが途絶えた時、すぐに給水車が来てくれたら嬉しい
- ・素早い情報の提供と食料の提供。ライフラインの迅速な復旧。近隣の医療スタッフの協力。仮設住宅や仮設トイレの確保
- ・まずは生命を守る体制づくり。次に当面の生活支援。そして復旧、復興に向けての対策。国からの支援も重要
- ・地震発生の際に困るのはライフラインが停止したときです。迅速に支援できる体制づくりをぜひお願いします

【プライバシー問題】

- ・障害者がいるので部屋を別々に作って欲しい
- ・最近はずべてプライバシーの保護という美しい言葉が先行して地域にどれくらいの高齢者がどんな健康状態で過ごされているのか分かりづらい状況なのではないかと思います。いざというときは何といっても人と人、ご近所さんと共に災害から逃れるようにしていかないといけないと思います

【その他】

- ・耐震強化の義務化
- ・具体的な調査結果報告
- ・古くなった空き家の撤去
- ・命優先に活動してもらいたい
- ・地震が、起こらない様願うだけです
- ・防災マップや防災グッズのリストが欲しい
- ・全国的な方針、対策を構築すべきだと思う
- ・香南市は防災に力を入れているように見えない
- ・文書だけの防災対策でなくハードな対策を望みます
- ・家屋の耐震化について再考すべきではないでしょうか
- ・自身の命は自分で守っていくことに気を掛けていきます
- ・南海トラフ対策に関しては十分取り組んでいると感じている
- ・市町村に、左ページ問 78 の②③④⑥に特に力をいれてほしい
- ・自主的な学習も含めて知識を増やせるような取組みをしていただきたい
- ・手続きが面倒くさい。県や市の言うことに説得力を感じない。何も望まない
- ・避難場所と避難所の違いを分かりやすく名前を変更するとういと思っています。
- ・自衛隊などへの情報が伝わるような整備ができるようになればいいと思う
- ・死者数を減らしたいなら、きれいごとを言わず、命の選別も必要であると思う
- ・南海トラフ地震が起こっても被害を最小限に押える。高知県の取組みと、その力（体力）
- ・親戚も少し離れたところにいるので、食料や水など自分で出来ることはしておこうと思う
- ・地震は日本に住んでいる限り当たり前のように起こるという事を全員の意識とし、当然のように考
- ・ドライブスルー募金
- ・ブロック塀の点検、除去
- ・積極的な実践行動を望みます
- ・住宅訪問無料耐震整備の見積もり
- ・県民の命を守る施策を望みます

える気風が必要

- ・南海トラフだけでなく、コロナ対応も個人や消防、病院にもしっかり保障と手当を拡充して欲しい
- ・空き家が多く、屋根瓦や家の倒壊が多くあり危険。行政指導の介入が必要な場合もあります
- ・知らなかった事が多かったです。調査票をよんで、勉強になった部分があり、感心しました。私共老いた二人だけですので助かりました
- ・自助・共助について、共助については若者の協力が必要、自助についてはもっと具体的な指導と広報活動が必要
- ・いつ起こるかかわからない地震に対して事前に準備しておくことが面倒で、後で後悔する。ある程度の義務化が必要かもしれない
- ・アンケートを実施するのであれば、一気に何でも聞こうと 30 分かかる調査をしても未収率が上がる。そんなに暇な人はいないので、10 分以下で書ける内容にすべき
- ・ホームページやチラシ、パンフレットに頼らない。現場作業、対策。県民、市民と直接かかわる施策等の充実、強化
- ・町民に寄りそった行動をしてほしい。普段から、上から目線に対応されると、防災がおこった時、信用できない
- ・県庁の方全ての方が住んでいる地域の防災リーダーになると、県の取組が大変身近に感じられると思います
- ・借家（三階建。一階は駐車場）で 2 m 近いブロック塀があります。自転車を置いています但不安です
- ・南海トラフ地震が起こったら、もう日本全体が立ち直れないと考えています。高知県は特にリスクがあるため、若い人を高知にとどめておくことはかわいそうと思っています
- ・津波や地震の危険性を理解して、知識や理解を深めた方がいいと思う。（活動をみんなに知ってもらうことが大事だと思う）
- ・高台の上に土地はいるけど、大型スーパーやコンビニがあれば水、食料品、トイレに困らないと思う。普段の利用には不便かもしれないが、車やバイクなどで年寄りを連れていける
- ・一度に多くのデータを取りたいのは分かるが、78 問は多すぎないか。今一度アンケートの取り方を考えるべき。これでは回答率が低くなる。何かに絞れ
- ・地図を見て、大まかに自分の家の辺りは津波が来るなど分かるようになっているが、例えばアプリなどで自分の住んでいる家（住所）を入れたらそこが海拔何メートルで、どんな危険があるかとか、すぐわかるものが欲しい。そしたらそれを見て皆すぐ避難できると思う
- ・人の絆が大切。隣の家の人には声をかけず、夫婦で訓練に行った人に、なぜ声をかけなかったかと聞いたら、声をかけたけど返事がなかったと、うそをつかれました。彼らは自分だけ助かりたいだけです。安芸市にはこういう人が多くて困ります。啓発してください
- ・どんな年齢、心身の状態の方でも等しく適切な判断と指示により安全かつ円滑に避難又は治療や救助を受けられ、その後の復興や日常生活においても等しく適切に保証され生活を戻していける体制を取ってほしい
- ・何事にもスピードが重視されている時代ですので、簡潔、簡単、簡易にできる仕組みを重視していただけたら、個々の取り組みも進むかと思えます
- ・南国市十市は排水などの治水整備を先にしないと雨が大量に降った時など心配ですし、ゴキブリなどがすごく多いので、衛生面でも心配
- ・今はコロナのため、その前の頃より防災行事などが少ないように思う。しかし、災害はいつやっ

くるのか分からない。本当はそんな時こそ考えなくてはいけないのだろうと、今回のアンケートを受けて考えさせられました。自分でできることはできるだけやろうと思います。とても良い機会をいただきました

- ・ 県民、市民の財産を守るために耐震に対しての公費を投入してほしい。倒壊しなければ、多くの人が避難所生活をしなくてもすむ。大災害にあうと、日常が失われ、リズムが狂い、不自由な日々になる。他者への配慮も忘れそうです
- ・ 海岸沿いの保育所、学校施設が多く存在していますが、(瀬戸保育園、浦戸小学校、南海中学校など) まだ移設計画もない状態ではないでしょうか。早急な高台への移転をお願いします
- ・ すぐに入れない避難タワーにお金を使い過ぎ。桂浜の無駄な堤防はいるのか。その技術で避難タワーの周りに高台を作ってその高台を津波から守るため周りに杭を打てばいいと思う
- ・ 避難タワーの階段は年寄りには辛いと思うし、夜中に地震が来たらすぐには登れないと思うし、明かりも暗いと思う。スーパーやコンビニに太陽光パネルや非常電源があればいいと思う。県や市町村がスーパーやコンビニと話し合い、補助金を出せばできるかも？
- ・ 倒壊しかけた空き家に囲まれている我が家。早急に市役所に何とかしてほしい。すでに瓦が落ちてきて来たり、壁が崩れてきたり、被害があるので、台風や大雨だけでも危険。都市部の方ばかりに目が向いているのではないか。地方にも防災対策(資金面も)をしっかりとしてほしい
- ・ コミュニティが弱くなっているのので、対策とは別になるかもしれませんが、日頃の支援が重要だと思います。また個人ごとの多様性も尊重した対策になれば、対策が一人一人に広がりやすいと思います
- ・ 住宅・ハウスメーカーに強く要請してほしい。協力できないと断ることを少なくして行ってほしい。土佐清水市への建設を住友林業に断られた。業者などへの工事費などのバックアップなど、行政や国より支援を増やして行ってほしい
- ・ 現在住んでいる地域にはまともな借家が少ない。耐震化って何？という感じです。悲しいかな「大家の責任」が他県に比べ0%にも等しい。ブロック塀にしてもしかり。自分さえよければという感じです。毎日の生活に不安を抱えています。耐震に関しては早々に条例を作るべきだと考えます。このコロナもそうですが、個人の善意に頼りすぎ。本当に考えるなら、それでは駄目だと思う。大変なのは生き残った後です。復興を妨げる様なことは出来るだけ無いようにしなければと考えます
- ・ いつ起こるか分からないし、起こらないかもしれない地震や津波に対してよく注意をしてくれていると思う。自分もこのアンケートを書いていて勉強になった。まずは自分のできることを重点的に行っていきたいし、出来ないことはできないこととして無理せず日々の生活を営んでいきたい
- ・ 県や市町村が普段どの様な活動をしているのか詳しく分からないため、県民にもっと理解してもらえよう可視化すべきだと思う。今回アンケートを書かせていただいたことで、初めて知ることや色々改めて見直したいところとかもあつたりしたので、ランダムとかではなく、各家庭にも配布すべきだと思う
- ・ スマートフォンの普及率が高いと思うし、情報収集や連絡手段としてとても役立つと思うので、災害時に避難場所などでスマートフォンの充電が出来るように充電器やモバイルバッテリー等を各避難所に用意しておいてもらいたい。また、電話回線が混雑して電話がつながらないときでもネット回線を使って家族と安否確認やメッセージのやり取りが簡単にできるようなシステムがあればいいなと思った。それを使って救助要請や物資の要請が出来ればなお助かると思う
- ・ 対策は大変だと思います。各々の専門分野からのアドバイスを活用して、まとめる体制ができるようによろしくをお願いします。夕方のニュースで、吉川医師がコロナについて専門的なアドバイスを

してくれています。参考になり納得します。地震についても、定期的に各専門分野の方からの知見を、分かりやすく見やすいニュースなどで繰り返しお願いします

- 自分はちゃんとしていると思っていたが、このアンケートをやってみて口先だけで何もやっていない事がよく分かった。TVの中の被災者の事を他人事に思っているってことですよね。あまりに日常で辛いことがあると、地震でも来てこの日常が滅茶苦茶に壊れてしまえばいいのにと罰当たりなことを考えることがあった。本当に罰当たり。仕事も多忙すぎて、普通の日常を送ってないことが改めてよく分かった

VIII 自由回答
〔その他〕

問1 あなたご自身のことをお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。(回答者 92人)

③ 職業

- | | |
|-----------|------------------|
| ・建設業(7) | ・派遣社員(5) |
| ・介護職(5) | ・保育士(4) |
| ・看護師(4) | ・団体職員(3) |
| ・医療従業者(2) | ・教師(2) |
| ・契約社員(2) | ・作業所(2) |
| ・大工(2) | ・清掃作業員(2) |
| ・接客業 | ・アフィリエイト、コンサルタント |
| ・福祉施設勤務 | ・リース業 |
| ・委託販売員 | ・飲食業 |
| ・会計年度任用職員 | ・勤務医 |
| ・音楽教室講師 | ・左官業 |
| ・私立学校教員 | ・歯科衛生士 |
| ・自営業手伝い | ・社会福祉施設職員 |
| ・社会福祉事業所 | ・障害者施設に入所中 |
| ・障害者施設指導員 | ・生活保護 |
| ・生姜の作業員 | ・製造業 |
| ・専門職 | ・営業のお手伝い |
| ・船員 | ・茶卸売業 |
| ・地方公務員 | ・非正規公務員 |
| ・不動産賃貸業 | ・物流 |
| ・福祉 | ・福祉作業所 |

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(回答者 57人)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ・液状化現象(15) | ・浸水(4) |
| ・川の氾濫(4) | ・地盤沈下(4) |
| ・ダムが決壊したら家も流れる | ・ダム決壊による山津波 |
| ・ため池の決壊 | ・ブロック塀、電柱 |
| ・移動手段がない | ・年寄りの保護 |
| ・家の近くにあるガスタンクの爆発 | ・家の前の石が崩れる |
| ・橋が壊れて隔離される | ・空き家に囲まれている |
| ・裏の倒木 | ・高齢者がおり、避難場所まで遠くて行けない |
| ・震度5以上になるのを心配 | ・隣家の倒壊 |
| ・人災 | ・水害 |
| ・断水、停電、生活道の通行 | ・停電、断水、排水(下水) |

- ・ 停電による医療的ケア児の窒息死
- ・ 電柱や太陽光発電の倒壊
- ・ 土石流
- ・ 避難場所が分からない
- ・ 分からない
- ・ 道が通れない。家が崩れるため避難場所に行けない
- ・ 直接津波の被害はないと思うが津波が川をのぼり、溢れたときに水害の影響があるかもしれない

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(回答者 52人)

- ・ 玄関、ドア、窓を開ける(10)
- ・ 何もできない(5)
- ・ 火を消す(3)
- ・ 様子を見る(3)
- ・ 出入口の確保(2)
- ・ トイレ(安全な場所)に行く
- ・ ベッドの下にいる
- ・ わからない
- ・ 安全な高いところに避難する
- ・ 屋内の危険物から離れる
- ・ 家にいる。耐震住宅のため
- ・ 火災の原因となりうる何かのスイッチを切る
- ・ 荷物や火の確認
- ・ 荷物をまとめる(必要なもの)
- ・ 間に合えば避難する
- ・ 靴の準備、ガスの元栓を閉める。
- ・ 高台に移動
- ・ 自宅マンション最上階に避難する
- ・ 車いすなので特に何もできない
- ・ 主電源を切る
- ・ 状況による
- ・ 津波到達による
- ・ 年齢が高いので、動作が間に合わない
- ・ 避難物品の持ち出し準備
- ・ 防災グッズ確認・準備
- ・ 3点ユニットのバスルームに逃げる
- ・ ガス、電気の元を切る
- ・ 1と回答したいが正しく動けるかどうか不安
- ・ 就寝中の場合、近くにおいてあるヘルメットを被り、動かずに揺れに備える
- ・ 慌てずに気持ちをしっかりと、考えて行動すると思う

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(回答者 6人)

- ・ 地域の放送
- ・ あかるいまち
- ・ 他人の話で話題になった時
- ・ 何もない
- ・ 家族から

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。

これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。

(回答者 52人)

- ・特になし(8)
- ・講演・セミナー(4)
- ・印象に残っていない(3)
- ・知らない(2)
- ・広報、自主防災組織活動等
- ・過去の経験談
- ・仕事で得る対策を練る必要がある
- ・消防団活動
- ・地区連絡
- ・都の防災本
- ・勉強会への参加
- ・ネット動画しか見ていないし、通勤も車の為、あまり見かけません
- ・天災は運命として受け入れる考えなのであまり意識していない
- ・学校での訓練・授業(6)
- ・県や市の広報誌(4)
- ・職場(2)
- ・県の防災訓練
- ・医療関係のため県の地震対策は知っている
- ・回覧板などの冊子
- ・市職員新人研修での地震対策研修
- ・LINE
- ・地震サイレンによる練習
- ・避難タワー
- ・父から伝え聞いた

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的で分かりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。

(回答者 83人)

- ・実際に起きた地震・災害の映像を使う(10)
- ・繰り返し流す(8)
- ・リアルな映像を製作する(4)
- ・今の内容でよい(2)
- ・正確な情報を流す(2)
- ・キャラはいらない
- ・何か自分の身に迫ってくるもの
- ・気にしない人には、何をやってもむり
- ・具体的な説明、危機感が伝わる説明
- ・型にはまった真面目なCMはしない
- ・自治体の啓発を工夫する
- ・場所それぞれ違うので具体例を示す
- ・大事な内容を分かりやすくまとめる
- ・地震を体験した人の体験談
- ・年齢別など具体的に伝える
- ・面白いクイズ形式にする
- ・記憶に新しい東北地震を交えたメッセージ配信
- ・BGM代わりにしている時もあるので耳に残る言葉など
- ・具体的な話より、印象に残る言葉や簡略化された言葉だけを伝える
- ・TVは見ない人が増えている(4)
- ・視聴してもらえる時間帯におこなう(2)
- ・インターネットの利用(2)
- ・過剰に煽らない(2)
- ・映画を製作する
- ・危機感が持てる伝え方をする
- ・わざわざ方言にしなくてもいいと思う
- ・子供たちから大人へ配信していく
- ・自治会などでの取り組み
- ・小さい子どもに分かりやすいのがいいかも
- ・身近で感じるよう具体的に
- ・短い言葉で簡潔に
- ・日常生活の中から行動啓発していく
- ・年寄りには簡潔な、短い内容にして欲しい
- ・魅力的の意味が分からない。する必要はない

- ・そのお金を地震が起きたときにたくさん使えるように投資にまわす
- ・どんな年齢の方にも分かりやすく、また、心身の様々な病気や障害を抱える方にも分かりやすく理解しやすいスピードと内容のものを作る
- ・起きるシチュエーションごとに準備できることを考えてもらう工夫
- ・啓発テレビ番組は主にNHK放送ですが、民放放送の回数も増やせないか
- ・現在の各地域での取組例の紹介（防災倉庫・災害時用井戸ポンプ・高台避難施設・防災グッズの使い方）
- ・高齢者や子どもなど対象者によって変えるべき
- ・最近あまりテレビを見なくなりました。NHKは見ます
- ・最近、すべての人（テレビ側の人）がカタカナ英語を使いすぎ。日本人なら日本語を使って欲しい
- ・歯磨きのシャカシャカとかスーパーマーケットの店内で流れる音楽の様に、いつの間にか脳内で繰り返してしまう啓発の歌を作る
- ・身近な人の備えていることを伝えていく事で、「他の人がやっていること」が分かる
- ・多くの人が見る時間帯に放送。しかしCMは短時間のため意図が伝わりにくいと思います
- ・地域毎にそれぞれの地理的条件をふまえた対策を伝えるといいと思う
- ・地球や日本列島の仕組みから地震は必ず起こるもので、怖い、会いたくないというより当たり前と思えるアピールが必要
- ・地震もですが、天災で起こった被害をもっと知らせる
- ・地震対策の広報活動で何が一番重要かの認識を柱に、目的をもって活動することが比喩的であり、県民に浸透するような活動をすべきであると考えます
- ・内容的に硬い表現になり過ぎている。恐怖心を煽るような番組だと見るに堪えてします
- ・被災した場合のリスクや状況を出来るだけ事実に忠実に、オブラートに包まずに伝える（動揺をしない為に、その対策や回避方法を紐付けて解説して行く必要があると思う）
- ・備えなく南海トラフ地震を受けたらどうなるか具体的にイメージさせる
- ・防災グッズプレゼント企画があると応募好きの人は見ると思う

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。（回答者 45人）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・避難先の区分けを明示して欲しい | ・補助金が分かりにくい |
| ・個別訪問 | ・戸別に調べる |
| ・要支援者や独居老人の避難手段の確保 | ・TV各局で啓発 |
| ・インターネットの利用 | ・やらなければいけないことを中心に広報する |
| ・学校でのシミュレーション訓練 | ・学校での出前授業などの充実 |
| ・企業での講習会 | ・県と各市町村との連携内容などの情報 |
| ・個人ベースの対策に税金を投入するべし | ・最新情報を出し続ける |
| ・情報はシンプルに | ・身近な自治体がしっかり活動、啓発する |
| ・身近な情報、近さを感じるような情報を | ・身近な人の備えを紹介すること |

- ・子どもへの教育、訓練
- ・正しく恐れてもらう事を中心に啓発
- ・対策は県外に避難場所が必要と考える
- ・地域別に避難場所を伝える
- ・南海トラフ地震被災後の生活
- ・活動の数を小規模でも圧倒的なほど増やす
- ・地震から県民を守るために活動してくれていると思う
- ・県だと他人ごとになるので、市町村に紹介させる
- ・地域でこぼれる人が無ないように、狭い範囲のことを何とかしては
- ・地球や日本列島の仕組みから地震は必ず起こるもので、怖い、会いたくないというより当たり前と思えるアピールが必要
- ・津波だけでなく、地域の状況に応じた被害の予測を具体的に示す
- ・前回の津波の高さを数多く提示してほしい（津波の高さの標識を50とか100メートル間隔で建てる）
- ・災害発生の危険性、備えの重要性、補助金等県民が利用できるサービスの周知
- ・高齢者は情報難民になりやすいので、なんとか、工夫して対応して欲しい。災害時誰でも使えるFree Wi-Fiのこととか、使えるサービスは若者にも早めに教えてほしい
- ・県民で南海トラフのことを地域に発信してくれる人を集めて、市町村役場、市役所と協力し発信していく
- ・県がこんな新しい対策をしています！というアピール性のものに、正直県民は興味ない。「災害時、トイレはどうすればいい？」「外出時、急ぎょ近くの建物に避難した。家に戻るには？」など、とにかく具体的かつ有益な情報を紹介すべき
- ・パニックになって何もできなくなると思うので、仕事もあって、イベントにも出席できないし、どうしたらいいかわからない
- ・県ではなく、市での取り組みが大切だと思います。市独自の対策あれば知りたいです
- ・若い人はテレビを見ないのでSNS発信などの方法を考える
- ・住んでいる地域の状況は大体把握している。現実問題として、広報云々ではなく対策が進められていることが重要
- ・障害のある人、介護を受けている人など、人の援助を受けないと移動が難しい人、その家族はおそらく避難は難しい。自宅より安全な場所で待機しているだろう。被災後のサポートを充実してほしい
- ・3.11の時、東京のアンテナショップが大変なことになっていた時、県は何もしないでいた。県を信用できない
- ・色んな災害で避難所での課題、問題点等、県民に知っておいてほしい事情を教えてもらいたい
- ・人気のある芸人によるコントなど、やらせ感少なくお笑いで学ぶ
- ・炊き出しテント設営の練習、高齢者の移動など町ぐるみで話し合う
- ・被災時に避難する施設は、どこかくどい位地区毎に明記する

問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。
あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。
(回答者 22人)

- ・テレビ(3)
- ・家族(2)
- ・町の防災訓練
- ・海岸の近く
- ・会社の情報
- ・講演(3)
- ・消防団(2)
- ・電柱に張っているやつ
- ・沿岸部なので浸水するかも

問13 問12で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。
すぐに避難しない理由はなんですか。(回答者 9人)

- ・ペットを飼っている(3)
- ・家族優先(2)
- ・選択肢4に加え、逃げれるか、助かるのか納得できない
- ・避難の場所が近いから
- ・マンションの5階まで来るかはっきり知らないから

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。
あなたはどこに避難しますか。(回答者 24人)

- ・山(4)
- ・近くのマンション(2)
- ・自宅の2階以上(2)
- ・高速道路
- ・避難タワー
- ・ドコモのビル
- ・指定避難場所にこだわらず、高い場所を目指してひたすら移動する
- ・古く低いビルなので、少し先の新しく高いビルに行きたい
- ・避難場所までの経路が確保されていれば避難場所に。土砂崩れなどで通れないようであれば高台に
- ・自宅マンション(3)
- ・小学校(2)
- ・近くの高台にある姉の家
- ・津波避難ビル
- ・家族で決めた場所
- ・災害状況を見て5分かかる高台まで移動

問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(回答者 83人)

- ・ペットを連れて行けるか(8)
- ・屋外のため天候が心配(3)
- ・橋の倒壊(3)
- ・避難場所でも津波の可能性(3)
- ・避難場所の高さが不安(3)
- ・避難場所が自宅より海側にある(2)
- ・足の不自由な家族がいる(2)
- ・わからない
- ・家が高いところにある
- ・今はコロナの感染の心配がある
- ・津波
- ・道が狭い
- ・入り口が今一つ分かってない
- ・避難経路が川の側にある
- ・避難場所が崖の上である
- ・夜中施設が締まっているかも
- ・要介護
- ・隣が避難ビルだが、ビルが揺れで倒壊しないか心配
- ・避難場所が山間部なので、まだ整備してなくて夜間だと避難しにくい
- ・避難経路の途中にある信号が消えると思うので道路の横断ができない
- ・老朽化した集合住宅対策が不十分であり、その建物内外の住民にとって危険度が高い
- ・ブロック塀の倒壊により通れないかもしれないが、その時になってみないと分からない
- ・マンションの上に避難するが、階段が込み合うと思う
- ・近場で勝手に避難して良い建物が、何処にあるか分からない
- ・個人用マンションが指定されていて実際避難場所になると思えない
- ・高齢者や車椅子などが利用するには狭く急峻な悪路のため、避難路の渋滞が懸念される
- ・近くに高台が無くマンションが避難場所ですが、そこが安全かどうか分からない
- ・自宅と隣家のお間が1m位で下水道の上を歩いている。他にも道路幅がなく危険で不安。そのような箇所が多い
- ・場所が分からない。5階より高いところがあるかどうか分からない
- ・地震後の状況が不明。また、避難してくる人数等も不明
- ・マンション内の設備が分からない(階段含む)
- ・高齢者を連れて動くため時間がかかること
- ・液状化(3)
- ・家の倒壊(3)
- ・避難場所に人が集まり過ぎないか(3)
- ・本当に安全な場所か分からない(3)
- ・小さい子どもを連れて避難できるか不安(3)
- ・避難場所まで歩けない(2)
- ・外出先での被災(2)
- ・家から50m以内にある
- ・近くのガスタンクが怖い
- ・指定された場所は低地、高地になると遠くなる
- ・電柱や太陽光発電の倒壊
- ・道中に困っている人
- ・避難させてくれるのか分からない
- ・避難場所がトンネルの上
- ・避難場所での食べ物やトイレ
- ・避難場所までの道が混雑するかもしれない

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(回答者 170人)

- ・そのうちと思ってまだやっていない(17)
- ・必要だと感じているができていない(14)
- ・津波が来るので(11)
- ・期限切れで買い替えできていない(9)
- ・自給自足している(8)
- ・今から備蓄する(7)
- ・自宅が浸水するから(5)
- ・まだ実感が無い(5)
- ・家族が多いため(4)
- ・備蓄を持ち出して逃げれない(3)
- ・なんとなく(3)
- ・意識が低い(3)
- ・気にしていない(2)
- ・乾パンは用意している(2)
- ・地域で備蓄している(2)
- ・特になし(2)
- ・いつでも買える(2)
- ・忙しい
- ・自宅前にコンビニがある
- ・何がどれだけ必要なのかわからない
- ・3日分以上の食料の量が不明
- ・3日目からは何とかしようと思っている
- ・どんな物が良いかわからない、調べていない
- ・ほとんど東京にいるから
- ・いつ自分たちがどこにいるかわからないから
- ・家以外で地震にあったら意味がないから
- ・今よりも意識を高めようと思います
- ・ものぐさ
- ・何も考えていない
- ・今回は買っていなかった
- ・最近必要であると思う気持ちになりました
- ・最近忘れてる
- ・最低限の食糧(米など)はある
- ・子どもが食べる(カップ麺など)
- ・自宅より市外にいる方が多い
- ・自分で持てる重さ
- ・準備中です
- ・助かると思っていないから
- ・買い足したいとは思っている
- ・備蓄として置いてないが常にある
- ・備蓄をしていない理由がない
- ・心構えができていない
- ・親に頼んでいるが備蓄されていない
- ・水のみ備えている
- ・買いそびれている
- ・少しずつ買っている
- ・備蓄しないといけないと思いながら
- ・日頃から保存食を食べないので
- ・避難所での配給を期待している
- ・3日間以上推奨しているのを知らなかった
- ・実家住まいだが、そういった話し合いをしたことがない
- ・持出し袋に2日分以上の米などがあるから
- ・自宅が店舗になっていて食料品が沢山ある
- ・家のあるカップ麺とかで足りると思うので余分に備蓄する必要はないと思う
- ・家や車などが壊れたりしたら保存していても取り出すことが出来ない
- ・持ち運びしやすい大きさのリュックに入れているため2日分以上の食料が入らない
- ・少し甘く考えている。また、そうなったらどうしようもないと考えてもいる
- ・障害を持っているため大きな荷物は持てないから
- ・常に買い出しに行っているため、2～3日分を切らさずに置いている
- ・水を中心に全天候対応防災用具を避難リュックに入れており、重量の問題

- ・地震が起きるといふ事が頭になかった
- ・南海トラフ地震についてあまり考えてない
- ・3日目には救助隊が到着するであろうと考えている
- ・以前、3日分位が必要であると何かで聞いたので
- ・買おうと思いつつ何を買えばいいかわからない
- ・備蓄が必要と思いつつ後まわしになっている
- ・備蓄しているが、地震発生時すぐに持ち出せるような備蓄ではない
- ・備蓄するものがよく分かっていないものもある
- ・備蓄品としては準備してないが、かき集めればあると思う
- ・保存食は準備しているが3日以上はない。3日まで
- ・母子家庭で毎日の食事代だけで大変。備蓄までお金は回せない
- ・用意していても手元に確保するまでに津波が来るだろうから、避難を優先する
- ・理由はないが、保存食は備蓄している。食する量で変わるので何日分かは分からない
- ・冷蔵庫、冷凍庫を充実させといて、それらを調理。カセットボンベは常備してる
- ・どの様な物か量がわからない(水のみは用意している。救急用の時の物とか)

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(回答者 194人)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ・井戸水、山の水、川の水を使う(47) | ・必要性は感じているができていない(19) |
| ・期限切れで買い替えできていない(9) | ・重いので持って避難できない(5) |
| ・津波で流されそう(4) | ・地区で備蓄している(3) |
| ・考えていない(3) | ・今から備蓄しようと思う(3) |
| ・なんとなく(2) | ・エコキュートがある(2) |
| ・準備中(2) | ・避難所に備蓄している(2) |
| ・危機感の欠如 | ・以前、3日分位が必要であると何かで聞いたので |
| ・近所に非常に給水設備が有る | ・とりあえずの日数分 |
| ・どれ程の被災になるかわからない | ・ほとんど東京にいるから |
| ・まだすぐ来ないと思っている | ・リュックに入る分の水だけ |
| ・意識が低い | ・一人一日3リットル必要とは知らなかった |
| ・保存場所の問題 | ・忘れてる |
| ・飲料水に困らないから | ・汚水からの浄水器を所有している |
| ・家が津波で被害を受けるため | ・家族が多い |
| ・家族全員分は用意できてない | ・検討中 |
| ・交換など忘れがちになる | ・今の時期置き場がないし衛生面が心配 |
| ・今の量で足りていると思っていた | ・今後プラスします |
| ・使った後買い足していない | ・飲料の事は考えなかったなので、今後準備します |

- ・実感がない
- ・自宅前にコンビニがある
- ・実家に置いてあるから
- ・少しずつ買っている
- ・心構えができていない
- ・親に頼んでいるが備蓄されていない
- ・赤ちゃんがいるので何本も持てない
- ・地震が起きるといことが頭になかった
- ・津波で避難するため
- ・特に理由はない
- ・避難するので持っていけない
- ・備蓄していたが飲んでしまった
- ・備蓄をしていない理由がない
- ・2リットル6本のケースを3ケースほどしか置いていない。今後増やそうと思う
- ・3日以上になると重くて避難時に大変になるから
- ・4人家族で水はどれだけ用意をしていいかわからず、2リットル6本分のみである
- ・4人家族なので36本備蓄が必要だが6本入りのケースが3箱も備蓄できない
- ・いつでも買えるからとついつい先延ばしにしてしまう
- ・以前置いてあったが保存期限が来たので使用し新たに準備をし損ねている
- ・以前は水も食料もしていたが、時が経て気が薄れている
- ・家や車、物置に備蓄していてもそれらが壊れていたら取り出せない
- ・今回の調査で備蓄分を調べてみると期限切れがあったため
- ・実家住まいだがそういった話し合いをしたことがない
- ・住宅内の避難場所（集会所）に住民分の備蓄がある
- ・地震後に持って避難できるとは思わないから
- ・少しはある。普段からペットボトルウォーターあり
- ・障害を持っているため大きな荷物は持てないから
- ・防災用の鞆などに入りきらないため
- ・毎日水を交換しているが持ち運びに不便
- ・備蓄として置いてないが常に冷蔵庫にある
- ・泥水をろ過して飲み水に変える機械は準備している
- ・用意していたが期限切れになってその後買っていない
- ・津波で家が流されると想定しており常に2Lを12本は備蓄している。井戸はある
- ・備蓄していたものを使い切り、次の用意ができていない
- ・用意していても手元に確保するまでに津波が来るであろうから避難を優先する
- ・必要性は感じるが、津波がすぐに来ると思うので500ミリリットルを一人ずつ持って行くようにしている
- ・避難リュックに入るのはせいぜい1本がいいところ。家の外の納屋に大きなペットボトルで備蓄予定
- ・自宅は浸水するので
- ・自動販売機で買えるため
- ・持ち運べないのなら意味がないから
- ・取り敢えず手元にある分を備蓄している
- ・新しく買い替えるのを忘れる
- ・水は市町村で配布が早いと思っている
- ・先延ばしにしている
- ・津波が来る地域だから
- ・定期便で水が来る
- ・反省がなかなかできていない
- ・避難所での配給を期待している
- ・備蓄しても津波で流されるため

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。
あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。

(回答者 50人)

- ・段ボール、ビニール等で代用品をつくる(9)
- ・汲み取り式のトイレもある(8)
- ・井戸水がある(4)
- ・わからない(2)
- ・ベランダでペットシートを使用する
- ・考えてなかった
- ・山
- ・畑
- ・地区の集会所に備蓄している
- ・庭にトイレの代わりを作る
- ・田舎なので屋上へ
- ・地震後も使用できる。配管が使用できないときは簡易トイレ
- ・食パンの袋が匂いも出ないので保存している(大人のおむつが2枚は入ります)
- ・介護用のポータブルトイレ用の処理袋を使用する
- ・凝固剤(20回分)。もう少し買い足そうと思っている
- ・穴を掘る(4)
- ・流す用の水を用意している(2)
- ・その時に考える
- ・仮設トイレ持っている
- ・簡易トイレの検討中(価格、他要件にて)
- ・古い紙おむつとペットシートなどがある
- ・地域で簡易トイレの場所を知っている
- ・津波のため自宅はなくなる
- ・買わなきゃと思っているが買えてない

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(回答者 107人)

- ・何もしていない(35)
- ・家具の転倒防止(固定)(13)
- ・耐震工事をしている(3)
- ・あまり話をしない
- ・ポータブル電源を用意している
- ・気持ちはあるが、なかなかできない
- ・自分だけでは移動できない
- ・水は5年保存を用意
- ・明確に決めていない
- ・本当に来るのかという実感が薄いため
- ・水、カップラーメン、カセットコンロ
- ・昼間は一緒の場所にはいないので、それぞれが避難をするように話し合っている
- ・発電機を備えている。ロケットストーブを用意している
- ・米を備蓄している。水は井戸水やタンクがあり、常に満水
- ・近くの自主防災倉庫に備品を整備しているので利用する
- ・今のところあまり考えていなかったなので、これから考えていきたいです
- ・特になし(15)
- ・キャンプ用品を使用する(3)
- ・ヘルメットを用意している(2)
- ・どれも当てはまらない
- ・まだ十分な備えができていない
- ・子どもの指示に従う
- ・食料、水の備蓄以外は特にやっていない
- ・地震のため家立て直した
- ・少しだけの備蓄
- ・硝子窓は強化硝子 太陽光非常電源有り
- ・屋外にテントとカセットコンロを置いている

- ・持出し用に自分の薬を1週間分用意している
- ・車のガソリンが減りすぎないようにしている

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。

あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。(回答者 22人)

- ・お薬手帳をすぐ持ち出せるようにしている(4)
- ・KANに登録している(2)
- ・お薬手帳を車に乗せている
- ・そこまで深く考えてなかった
- ・まとめている
- ・屋外に薬を置いている
- ・血圧の薬。名前は憶えていない
- ・自分は医師なので覚えている
- ・内容を覚えている
- ・避難袋に入れてある
- ・病院は県外にある
- ・薬を4・5日分常に持ち歩いている
- ・薬をスマホの写真で撮り保存している
- ・お薬手帳に記録しているが、持ち歩いていない
- ・携帯電話の写真に収め、持ち歩くことをしていきたいと思う
- ・常に持ち歩いてはいないが、ひきだしからすぐとれる
- ・調剤した薬の名称を薬局でいただいているのでカバンに入れてあります

問33 問32で「2. 寝室(子供部屋を含む)だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

固定していない家具や家電などとは何ですか。(回答者 15人)

- ・パソコン(2)
- ・エアコン
- ・エレクトーン
- ・キャットタワー・ゲージ
- ・ステレオ
- ・メタルラック
- ・家のものすべて
- ・家電全部
- ・靴箱
- ・全部してない
- ・二段ベッド

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(回答者 124人)

- ・固定しようと思うができていない(18)
- ・しなくてはいけないと思いつつできていない(12)
- ・特に理由はない(5)
- ・倒れても安全な場所にある(4)
- ・意識が低い(3)
- ・模様替えをするため(3)
- ・天井が弱い(2)
- ・引っ越し予定(2)
- ・寝室に固定が必要なものはない(2)
- ・天井が斜めになっている(2)

- ・避難経路にない(2)
- ・一人でできない
- ・そこまで考えていなかった
- ・やろうと思っている
- ・和室で固定できない
- ・家具な居室内に置いていない
- ・強度の高い壁や天井がない
- ・建物が古い
- ・固定する手段がない
- ・固定できる場所がない
- ・今から固定します
- ・時間がない
- ・自分ではできない
- ・両親がしていない
- ・大型家具は持っていない
- ・配置替に不便
- ・同居人の同意が得られない
- ・順次固定している
- ・親が壁に穴を開けるのをいやがる
- ・親に頼んでいるがされていない
- ・生活に追われて忘れている
- ・寝室やいつも使う部屋にはものを置いていません
- ・固定具を買いに行く時間も取り付ける時間もないため
- ・自分1人で無理があり他人にたのむ必要がある
- ・一度固定したが、どんどん買い替えたので固定は無しが多くなった
- ・インテリアが変わるのは嫌。目立たず固定できるものがあれば教えて欲しい
- ・タンスのある部屋には、使用時だけしか入らないため
- ・タンス等は一つの部屋にまとめて置いてある為、他の家具家電は検討中
- ・どのくらい固定すればいいか分からない
- ・もっと防災に気を付けなければと思うのみでまだ準備していない
- ・引越して来てまだそのままですが、固定しようと思います
- ・建物の構造上突っ張り状のものは使用できない
- ・昨年引っ越し、家具の下にストッパーは敷いたが、金具などで固定するまでは出来ていない
- ・私自身は必要だと思うものの実家のため他に住む家族にはそういった意識はなく何もしていない
- ・地震はすぐに起きないと思いきわが薄かった。徐々に固定していきたいと思う。また、いろいろな固定道具があるが十分な把握ができていない点もある
- ・家が古く固定できない(2)
- ・液晶テレビなど固定しづらい家電がある
- ・たぶん主人が嫌がる
- ・よく分かっていない
- ・家の建付けが悪い
- ・我家では冷蔵庫は固定できないそうです
- ・近々する予定
- ・見た目が悪い
- ・固定する人がいない
- ・固定に適さない配置
- ・寝室以外は避難に影響のない家具だから
- ・固定出来ない家である(針類が止まらない)
- ・普段使用していない部屋に置いている
- ・固定することができない
- ・天井が高すぎて固定できない
- ・固定方法が今ひとつ分からない
- ・小さな家具がそのままになっている
- ・常時固定すべき物品のところにはない
- ・固定用具を購入したもののそのまま
- ・身近な問題として、切実に捉えていなかった
- ・全ての家具を固定となると見た目が悪くなる

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(回答者 49人)

- ・特になし(2)
- ・アンケートの公表
- ・現在の補助金では足りない
- ・固定資産税を下げる
- ・行政には期待できない
- ・自己負担金が用意出来ない
- ・住民の防災意識の向上
- ・地域の人から固定を勧めたらいいかも
- ・年配者宅には気を付けてあげるべき
- ・固定しても、家が倒れると思います
- ・知らない人を家の中に入れてたくない
- ・貧困世帯を中心に声をかけてほしい。自分から言いにくい
- ・高齢者、障害者への専門家派遣、費用補助
- ・テレビCMやSNSを利用し、広く住民へ知ってもらう
- ・100均や段ボールなどの低価格で代用できるアイデアや方法を教えて欲しい
- ・ダイソーなど、100円で買えるものなら手軽なので若い人も高齢の方も手が出しやすいと思う。面倒だったり、費用がかさむと後回しなる
- ・ホームセンターで担当者が使える使えないの情報を教えてくれると助かる
- ・家具家電の購入時に固定グッズのオプション販売や、補助制度の有無の聞き取りなど必ず固定につながる手段を選べるようにする
- ・我が家は建築時に食器棚は天井までの棚を造り付け、全体をスライド扉で飛散防止をしている。本棚はシンク裏一帯に棚を造り付けた。建築業者に転倒しない棚の造り付けを案内してもらおう等、「倒れない」を前提の方法に、普及してもらおうのが良いと思う
- ・回答3に加え、希望家庭の家を訪問し、専門家がこの家具とこの配置ならこんな物で固定できるなど、実際に自分の家の様子でアドバイスをもらう。ここで大切なのは聞くだけでも可能なことをアピールすること！行政が行っているとはいえ、金銭が求められるんじゃないか、断れない、断りにくいのでは、と思うと参加する人が減ると思う
- ・各戸のパンフレットは読まないのでは、はがきで知らせるとよい
- ・個人で依頼すると雑な業者や詐欺まがいなことが横行しかねないので行政で指定や紹介していただけると助かります
- ・固定しなければならぬ事の認識はあると思う。家具や家電を購入者に対し固定具の販売促進や購入義務付けしたらする方が増えるかも
- ・今は補助の申請をしても何か月も待たなくてはいけないので、お年寄りの一人暮らしの人たちを優先したらよいと思う
- ・壁などの材によって固定方法が分かれるので、家庭によって最適な方法を示してくれるパンフレットが欲しい
- ・自宅に修理業者を装う詐欺があるので専門家の派遣は望ましくない
- ・わからない
- ・啓発は必要
- ・固定してくれる専門家の紹介
- ・固定審査に合格したらお金をくれる
- ・高知県防災アプリなどでの情報発信
- ・自分でできるがしていないだけ
- ・分かりやすく教えてほしい
- ・市町村の担当者（窓口）の方の理解が薄い
- ・大きな物は全て固定している（私費で）
- ・県、市町村の説明を戸別に行なってほしい

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(回答者 22人)

- ・隣の家のブロック塀がある(3)
- ・あるが低い
- ・近く取り壊す予定
- ・周囲の家のブロック塀がある
- ・鉄筋コンクリートの門と塀
- ・敷地内にはないが境界が隣接している
- ・マンション(3)
- ・教会内なのでそこにある住居にはいない
- ・建築時に安全なフェンスで作ってある
- ・石垣
- ・敷地ではないが、すぐ前に電柱がある
- ・平成12年以降に建て変えた時、フェンスにした

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(回答者 48人)

- ・ブロック塀の高さが低いため、大丈夫だと思っている(6)
- ・特に理由はない(2)
- ・低いため大丈夫だと思う
- ・世帯主にやる気がない
- ・家の裏で危険性がない
- ・先延ばしになっている
- ・1. 2. 4. 6. 7なので
- ・当該ブロック塀は道路に面していない
- ・隣との話が必要だと思う。協力がいる
- ・道路面がない
- ・川に面している
- ・考えていなかった
- ・隣家の塀
- ・自宅ではなく近隣の塀のため
- ・鉄筋が入っていると承知している
- ・点検後の対応に費用がかかると思われるため
- ・防火壁として地域的に強制的に設置されたものであるから
- ・ブロック塀をつくる時、鉄棒を入れて作成している
- ・ブロック塀はあるが、生活のところから離れている
- ・家を建てる時に安全なように建てているから
- ・ブロック塀がそこまで危険だとは、この調査票を見るまで知らなかった
- ・ブロック塀の高さが1m未満なので倒壊の恐れも少なく、倒壊してもそれ程の被害が出ないのではないかと思う
- ・隣地と自宅の構造物に挟まれる形の境界ブロックである為、被害が少なそうなので
- ・お隣の家のブロック塀か自分の家のか分かっていない
- ・隣人が難しい人で、何をしてもブレーキがかかります
- ・ブロック塀でないものに変えようと思っているので
- ・両隣と一っしょのブロック塀の為
- ・そこまで考えてなかった
- ・特に理由はない
- ・隣接する家がなく被害はないと考える
- ・道に面していない
- ・家人や通行人が近づかないところにある
- ・人が通らない
- ・崩れても人的被害は出ない
- ・仕事が忙しいのでそのままになっている
- ・意識が足りない
- ・点検の必要性の認識がなかった
- ・平成29年に建てた家だから
- ・築5年で隣との境界のため

- ・周辺に民家もなく倒壊しても敷地内で妨げにならないため
- ・倒壊しても直接の建物への被害は桑山などで防げる

問43 問42で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（回答者 12人）

- ・インターネット(2)
- ・家族が知っていた
- ・学校の授業
- ・高知市の広報
- ・知人が利用したから
- ・制度は知っているが、補助の対象となるのが限定的
- ・リフォーム会社勤めのため
- ・覚えていない
- ・建築士であるため
- ・職業柄
- ・仕事でリフォームなどと一緒に勧めていた

問44 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（回答者 46人）

- ・個別で担当者に訪問させる(4)
- ・よくわからない(2)
- ・いくら掛かるのかもわからない
- ・テレビで流す
- ・はがきで周知
- ・パンフレットを県HPで周知
- ・訪問して1～5を説明する
- ・家の敷地内だから行政は何もしてくれない
- ・行政、専門家による、地区巡回
- ・緊急輸送路や避難路以外の場所の補助
- ・空き家や独居老人宅を優先的に整備
- ・行政でも間に合うとは思えない
- ・借家の場合の手続きの方法の説明
- ・道路に面してないからお金を掛けたくない
- ・避難路の有無・公共性、危険性の高低・必要性
- ・貧困世帯にはサポートを充実してほしい
- ・公的空間に影響を与えるものは条例等により改修を義務化する
- ・行政が行政の負担で安全なものに替えてあげるべき。お金の補助だけでは人は動かない
- ・危険対策物は県や市町村が家主と交渉してもらいたい
- ・LINEで情報収集して、直接行政から改善指導を訪問して実施
- ・ブロック塀の高さが補助金制度規定より少し低くても補助して欲しい
- ・ブロック塀や石塀、門柱があるお宅を訪ね、費用補助があることを直接伝えるべきだと思う
- ・もっと多くの住民に知ってもらえるように周知方法を工夫して欲しい
- ・一向に防災対策は進まないため、国が積極的に動くべき
- ・何年か前に学校の周辺にあるブロック塀を解体したように、理由が明確でないとパンフレットや増額だけの知らせでは作り変えとならないと思う
- ・助成金など、行政の手助けがなければ高齢社会となった現在では無理
- ・新築で家を建てるタイミングなど、家の環境を整える時に、工務店や建築士、大工などから情報提供がほしい

- ・全ての塀に適用してほしい。条件付きではない補助を
- ・団地で隣宅と共有の塀のため、自分たちの判断だけでできない。その場合の対策を考えて欲しい
- ・賃借の大家さんに指導すべき。強制力を持つ条例を施行すべき。本当に危ない。もっと能動的に動くべきだと思う
- ・補助のあることをもっと皆に伝えるべき。一部の人たちしか知らないと思う
- ・補助制度を知らない人が多い。県市長村の周知方法に問題があるので早期に改善、分かりやすい周知が必要である
- ・無料なら皆点検すると思う。特に危険な地域は年寄りが多いので行政が一軒ずつ回ればよい

問48 問47で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。(回答者 6人)

- ・借家のため
- ・土地に問題があるため
- ・自分たち一代で後がない
- ・工事中はどこに住めば良いのですか?
- ・現在の工事管理が悪く、手抜きな事が多い
- ・借家であり、大家さんから反対されている為。本当はしたい

問49 問46で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。(回答者 50人)

- ・借家のため(23)
- ・20年前にリフォームした
- ・申込中
- ・屋根は瓦からトタンに変えました
- ・解体を検討中
- ・仕事が忙しい
- ・親の所有の家なので知らない
- ・世帯主にやる気がない
- ・大家さんがやってくれない
- ・2010年に建てた家とつながっているから
- ・リフォーム時大工さんに大丈夫と言われた
- ・引っ越し予定
- ・家主じゃないから
- ・在来工法で地震に強い
- ・自分で壁、柱などの構造補強を行った
- ・寝室以外は2年前にリフォームしました
- ・耐震工事をした
- ・特に理由はなし
- ・どこで被災するかわからないので、自宅改修についてはあまり考えていない
- ・すじかいなど、リフォームした時に出来ることはした。家と家が密集しているので、自分の家だけ耐震してもどうかと思う。自宅のある場所は地盤が硬く、50年住んでいるが揺れはほぼなし。食器や物が倒れたり、カチャカチャ鳴ったこともない
- ・軽量鉄骨の為、耐震診断を受けても補助金を利用することができないため受けない
- ・今年五月そんなことを知らずリフォームをした工事中に大工から知った
- ・親の介護のために同居しているが、他県に自宅があるので永住予定はない

- ・土地が軟弱なため地中からの改良が必要なため大工事になる

問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（回答者 9人）

- ・覚えていない(3)
- ・(県や市などの) ホームページ(2)
- ・耐震工事を仕事で行ったことがある
- ・大家さんから
- ・住む前に親がリフォームしていた

問54 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（回答者 28人）

- ・よくわからない(4)
- ・家主ではないので分からない
- ・今のままでよい
- ・実際耐震の基準になっているか不安
- ・新築は制震もしくは強耐震を勧める
- ・生家ではないのでわからない
- ・費用の支援
- ・個人の持ち物に対して行政が何を言っても聞かない人がいるから一律の対応は無理、何かするのに補助金付けると喜ぶのは施工会社のみなので、血税としか思えないのでその費用があれば避難できる施設を増やして、備蓄を残していた方が間違いない
- ・工事完了検査を厳格にしないと現状では工事の無駄
- ・手続きがめんどくさそう。国も県も市も融通が利かない
- ・津波は来ないとされている地域への地形や根拠を具体的に説明して欲しい
- ・借家に対する施策(4)
- ・強制力をもつ法（条例）の整備
- ・市営住宅なので何も考えていない
- ・社会的弱者に対する対応
- ・浸水エリア住民は諦めている
- ・耐震化促進は出来ていると思う

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。（回答者 52人）

- ・借家だから(15)
- ・設置予定(2)
- ・なんとなく
- ・家が古かったため、新築時はなかった
- ・近々建て替え予定の為
- ・工務店任せ
- ・自分でブレーカーを切る
- ・必要性は感じているがまだできていない(3)
- ・今から考える予定
- ・メリット、デメリットが不明
- ・感振装置は入手済み、装着予定
- ・検討中
- ・行動をしていない
- ・設置が出来なかった

- ・設置を忘れている
- ・大丈夫という思いが強い
- ・値段もわからない
- ・どのような方法で遮断すればよいか
- ・知っているけれど普段は忘れている
- ・避難する前にブレーカーを落とす
- ・誤作動したときパソコンデータ等に被害が出る
- ・家を建てたときはそういうことを知らなかった
- ・建築時検討されなかったのもそのままになっている
- ・テレビで感震ブレーカーの事を知りましたが詳しく知らない
- ・簡易型感震ブレーカーの無償配布がありましたが、既存分電盤の形状に合致していません。専用機器を設置する場合の補助制度を希望します

問 60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。

(回答者 75 人)

- ・別宅(9)
- ・その時考える(6)
- ・実家(6)
- ・農業用ハウス・倉庫(5)
- ・ホテル(4)
- ・わからない(4)
- ・考えていない(3)
- ・子ども家(3)
- ・状況による(3)
- ・アパートを借りたいと思う
- ・何がなんでも自宅マンション
- ・教会の無事な建物
- ・仕事場になるだろう病院勤務
- ・自主改修して対応する
- ・自分の避難できる他の家
- ・職場
- ・息子の家か会社
- ・他町村の自宅
- ・体調次第
- ・地震の規模による
- ・庭の前の空き地
- ・鉄骨の作業場
- ・鉄骨の車庫
- ・倒壊することはない
- ・避難所からテントに移動
- ・経験したことが無くどうなるのか分からない
- ・自営業なので仕事場。そこもダメなら最寄りの避難所です
- ・仕事場の事務所、工場、プレハブのいずれか(家とは離れた別住所)が無事なら仕事場、そこも無理なら避難所

問61 問60で「4. 自家用車の中(車中泊)」、「5. テント(野宿)」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか(回答者 29人)

- ・コロナ感染が心配(11)
- ・避難所に行けるかどうか分からない(2)
- ・めんどくさいから、野営が一番
- ・一時的に車、後に県内の親戚の家
- ・気を使いたくない
- ・自宅以外に備蓄場所があるため
- ・他人との生活によるストレス
- ・田舎なのでテントで生活できる

- ・納屋や車庫で生活する
- ・避難できなかった場合
- ・ベッドや椅子の生活の為、床で生活は出来ない
- ・小さい子どもがいるので他の人に迷惑をかけないため
- ・他人とプライバシーもない場所で一緒に寝泊まりしたくない

問62 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。（回答数 33人）

- ・コロナ感染(6)
- ・感染症対策の不安(2)
- ・子どもの安全(2)
- ・全ての選択肢(2)
- ・1～7全て
- ・1～9全て
- ・避難所生活なんてムリ！
- ・薬
- ・衛生的なこと
- ・ベッドや椅子の生活のため
- ・わからない
- ・家族に要介護者がいること
- ・家族の持病の治療や悪化
- ・主人の心臓が悪い
- ・声、咳、いびき等他人の出す音
- ・盗難等の被害
- ・避難するつもりはない
- ・考えたくない
- ・自分の事より患者優先となるだろう
- ・自分は職場へ詰めるので、妻だけが避難所生活となること
- ・避難所に人があふれ入りきらないのでは。コロナ対策
- ・コンタクトレンズが無くなってしまうこと

問66 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。（回答数 24人）

- ・すべてやっている
- ・安全な非難の為の活動
- ・若い人がいるのかどうかもわからない
- ・年でするので出来ることはしたい
- ・閉鎖的な県民性を直すべき
- ・防災グッズの購入と備蓄
- ・防災倉庫、消火栓の点検等
- ・自分のような足が不自由な老人の防災訓練
- ・よそ者には入りにくい雰囲気があるので改善を
- ・地域の3分の2が高齢者なので自主防災は無理だと思う
- ・地域の医療機関（災害拠点病院など）と連携すべき
- ・昼間に他の地区に就労していることを想定しての訓練
- ・日頃から住民の人々の仲が良い地域であることが大切
- ・隣と言うだけでぐいぐい来る。「田舎ならでは」が無理
- ・近所の要配慮者の救助方法など自治会長などへの徹底が急務。高齢者の一人暮らしが多いため、災害の時間に応じてとにかく誰がどこの方を手助けするかを決める方が先のように思う
- ・研修や避難訓練などは土日に行われることが多く、平日休みの人には参加できないのが現状。平日に訓練があっても良いと思う

- ・土日祭日に行われており、参加したくても仕事のため参加できません。退職するまで無理。思いつくことはすべき。その中で、交流・アイデアが充実していき意識も高まる。地震以外でも応用が利く
- ・私たちの地区は少人数で、高齢者ばかりでそういった活動はする者がいない。県・市の大部分の人はあまりこの地区の事を知らないと思う
- ・障害者がいるので自主防災組織に参加できないが、個々に家を訪問して話をしてほしい（情報を知らせてほしい）
- ・町内活動で参加されない方のために長年不燃ごみの当番を引き受けざるを得なかった。町内の方のご挨拶もなく、徒労感があり辞退した。責任を共有できる参加のあり方を考えていただきたい

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。（回答数 1人）

- ・入団が絶対だから

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。（回答数 51人）

- ・飲み会をしている(9)
- ・活動しているか分からない(5)
- ・良いイメージがない(2)
- ・よくわからない(2)
- ・NOと言えない組織
- ・参加してみたい
- ・身体不自由のため
- ・退職金目当てのバカばかり
- ・男性ばかり
- ・中途半端ではできない
- ・特に無い
- ・必要だと思う
- ・閉ざされている
- ・入れない
- ・転勤が多いためほとんど自宅にいない
- ・入団していたが今は障害者
- ・入団していても不参加者が多い
- ・年を取っているのも無理
- ・年末に寄付を募りに来る
- ・報酬の分配に不明瞭な所がある
- ・強烈な年功序列、同調圧力が強そう
- ・火災があった時すぐに駆け付けてくれる
- ・入団していたが仕事が地区外のためやめた
- ・県外の友達がめっちゃめんどいと言っていた
- ・参加したくないが、仕方なく参加し運営している
- ・私の住んでいる地区消防団は高知市になり無くなった
- ・消防署が近くにない地域に設立された団体かと思っていた
- ・消防団は知っているが、活動に参加している人は知らない
- ・組織やグループで、いろいろな立ち位置や上下関係がめんどくさい

- ・通帳を団長が預かるなど、お金の不透明さ及び旧態依然とした宴席文化、並びに団歴の浅い団員が宴会用の料理をしなくてはならないなど、本来の活動よりも団内親睦が多い
- ・日頃から自分の職種と密接に関わっているため感謝している

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(回答数 99人)

- ・よくわからない(27)
- ・特になし(2)
- ・もっとPRしていく(2)
- ・広報で消防団の紹介をする
- ・いろいろな支援
- ・強制力を少なくする
- ・特典のPR
- ・無益な飲み会をやめさせる
- ・有志+当番制にして手当を出す
- ・全て公務員としての職にする
- ・若い人が参加できるような環境づくり
- ・自宅は消防署の近くなので不安はない
- ・若い方の定住者を増やす
- ・小集落のためいつも指導を受けている
- ・消防団に興味を持つって必要ですか？
- ・活動記録報告書の審査による報酬制度
- ・過疎地域での消防団のあり方を検討すべき
- ・組織は多くない方がよい。町内会と統合すべき
- ・地域外で仕事をする人が多い社会。仕事で来る人も加入してもらうのはどうか
- ・人員確保、維持に必要とされる現団員の声を反映させる
- ・消防団は必要だが生活に負担にならないよう考えてほしい
- ・必要だが閉鎖的。一領具足的な位置付けではなくプロに任せた方がよい
- ・必要ないと思う。やりたい人は何もせずとも集まってくれる
- ・本人の意識がないと務まらない仕事だと思うので、よくわからない
- ・この地域は女性が入団していないため分からない
- ・そもそも消防団が必要なのか分からない
- ・ポンプ操法に偏重した訓練を火災対応や地震対応の訓練に移行し、自信を持って活動できる具体的な知識、技術を修得させ、義勇精神を後押しする
- ・何をしてもそこまで大きく変化するとは思えない
- ・休日に家族をおいてまで参加する必要性を感じない。集まりが好きな人だけ参加すればいいし、参加しないのが悪とする雰囲気もよくない
- ・報酬を払う(増額する)(5)
- ・参加できる自信がない事
- ・活動内容を知ってもらう
- ・イメージアップ
- ・オープンになる
- ・興味がない
- ・日当等の報酬
- ・老人ばかりで若い方が少ない
- ・私は69才だが回りはそれ以上の人ばかり
- ・実践活動を見せてほしい
- ・団員やOBによる若者個人への勧誘
- ・分団員は十分優遇されている
- ・どんな事を行なっているかが不明
- ・消防団があることと、入団方法の周知
- ・消防団活動休暇がとれる仕組みを作る
- ・消防団準会員、会議、話し合いに参加等

- ・最近は自己中心的な考え方が多くなってきているように感じる。この地域を共に守り、お互い様という意識付けが必要なのではと痛感している。団地などでは特にその傾向が強いと思う。自治会の会合などで消防団の話を書くなど意識付けをしたら良いのでは
- ・仕事との掛け持ちになるので活動するに当たってどちらかを優先するのは難しいと思う
- ・消防団に関わる事のない、機会もない人間に対して周知しようとしていないのに無理な話

問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(回答数 12人)

- ・起震車体験(2)
- ・放水訓練を地域の小学生に体験させた
- ・保育園保護会主催の防災イベント
- ・PTA、体育会等
- ・自主防災倉庫の点検
- ・消防訓練

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

(回答数 51人)

- ・わからない(15)
- ・コロナ禍だから難しい(3)
- ・会社で義務付ける
- ・お金を出す
- ・リーダーの人選
- ・何をしても無駄
- ・会社員は恥ずかしい
- ・外出しづらい
- ・夜間にする
- ・必要性を感じない
- ・参加をしたいが出来ない
- ・勤務が不定期なので参加は無理
- ・職場の訓練以外の参加は難しい
- ・町内会でこのような活動に参加していない
- ・日曜日や長時間は無理なので
- ・年寄りが多い地域なので難しいです
- ・近所との繋がりが薄いのでわからない
- ・形だけの訓練ではなく、より実践的な訓練を行う
- ・参加したら現金支給、慰労会など無駄な宴席が多い
- ・参加しやすい時間に開催する。短時間にする
- ・参加できない人向けに資料などを作る
- ・参加時間に参加者家族の介護や医療的ケアを担う
- ・参加日を、仕事をしている人でも出来るよう2、3日に分けてする
- ・仕事されており出にくい方にも配慮した日程を組む
- ・商店の復活がないと人とのふれあいが無い。老人の参加を考える。
- ・年配者(70代、80代)から50代、60代でも若者と認識され、「若者がやるべき」のような雰囲気がないと参加したい
- ・本業でも忙しく休日もいろいろ忙しくなかなか参加できない

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(回答数 39人)

- ・わからない(9)
- ・電話で息子とよく話をする
- ・避難所での生活の質の向上
- ・必要性を感じない
- ・個々の努力
- ・高まらないと思う
- ・若者や人物の育成
- ・地域のコンビニや量販店との提携
- ・引っ越したばかりでわからない
- ・個人レベルの強化、行政に頼らない
- ・自分の年齢や体力を考えて出来ることは参加する
- ・生き残るために防災意識は大切だが、やりすぎも疑問だと思う。地震の起こる理由をもっと教育してから、防災について考えることの大切さを広めたらよい
- ・大人に対する教育。個人の考え方が分からないと無理
- ・歩くのが困難である為、車で逃げれる場所づくり
- ・まずは住民一人一人、個人の意識が大切だということを知ってもらった方がいいと思う
- ・安全な通路の確保の整備ができていないので、整備すること
- ・結局は各々の意識と順だと思う。大規模な災害が起きたとき、助けが必要な人の数より救助の数のほうが圧倒的に少ないのだから、普段の準備知識、怪我の対応知識などが必要かと思う
- ・県のHPの、ハザードマップや、津波到達区域のマップなどが、見づらいつと感じた。病院などで見かける避難所マップは見やすいと思うが、あまり見る機会がないので、数が少ないと思う。Youtube やCM (アニメーションでも)、地震について情報がほしい
- ・地域住民の若返り
- ・費用 (防災)
- ・避難場所の整備
- ・学校P T Aなどの取組み
- ・行政の本気のやる気
- ・子ども主体でやる場に親も参加していく
- ・行政と市民が同じレベルで訓練する
- ・コロナ禍の中、現金に勝るものはない
- ・街全体の高台移転以外に尽きる

問78 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(回答数 41人)

- ・わからない(7)
- ・公共施設の耐震化
- ・道の整備
- ・ペットと一緒に避難できる場所づくり
- ・県・各市町村が各自の持ち場としっかり取り組むこと
- ・県職員が専門家となることを嫌う組織意識の転換
- ・県庁職員が地域のつながりに参加する
- ・現在のPRは津波などに特化して山崩れの情報不足
- ・行政関係者の役割を民間人がもっとサポートできるようになれば、スムーズな対応が出来ると思う
- ・全部の選択肢(3)
- ・貧困家庭に力を入れ対策する
- ・ハードの整備よりソフト事業の展開

- ・住宅を新しく建てるためにハウスメーカーなどに相談に行くと、地方なので工事できないと言われ断られた。地方こそ立て直しに協力してほしいのに
- ・職場の避難場所や避難経路が適切かどうか確認してほしい（自分の職場の避難先が心配）
- ・人災を起こさない自然環境の開発規制
- ・津波での被害は避けられないので避難所での生活の質の向上
- ・土砂災害への備えと安全な道路の確保
- ・避難所だけでなく、自宅などで生活している方へも、食料や日用品等の物資の配給は必要だと思う
- ・避難場所が遠すぎる。安全な避難場所を多く作る
- ・避難路をしっかりと造りにしてもらいたい
- ・平時に情報伝達をシンプルにするようにしたら有事にも生かせるのでは
- ・防災関連の人間が良い仕事をしているか
- ・本来これらすべてだと思う。無理難題だとは思いますが
- ・有事における柔軟な行政組織マネジメント
- ・幼児（保育園等）から防災教育は必要だと思う
- ・コロナ禍と防災をどう対応していくか。例えば避難所の感染対策等

IX 調査票
〔単純集計結果〕

回答者について

問1 あなた自身のことについてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

①性別

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	男性	903	50.8%	45.1%
2	女性	857	48.2%	54.1%
3	回答しない(無回答含む)【H30ではその他】	19	1.1%	0.8%

②年齢

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	10歳代	18	1.0%	0.4%
2	20歳代	126	7.1%	4.1%
3	30歳代	214	12.0%	7.9%
4	40歳代	386	21.7%	18.8%
5	50歳代	400	22.5%	21.4%
6	60歳代	428	24.1%	29.6%
7	70歳以上	203	11.4%	17.2%
	無回答	4	0.2%	0.7%

③職業(主なものにひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	農林業	88	4.9%	5.6%
2	漁業	4	0.2%	1.2%
3	商工サービス業自営	128	7.2%	7.2%
4	会社員(役員を含む)、公務員	739	41.5%	31.1%
5	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	2.8%	2.4%
6	主婦・主夫	136	7.6%	12.0%
7	パート、アルバイト	229	12.9%	13.4%
8	学生	49	2.8%	1.2%
9	無職(すでに退職を含む)	253	14.2%	18.5%
10	その他	92	5.2%	6.3%
	無回答	11	0.6%	1.0%

④同居しているご家族は何人いますか。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0人(独居)	143	8.0%	8.6%
2	1人	428	24.1%	26.1%
3	2人	441	24.8%	25.2%
4	3人	390	21.9%	20.9%
5	4人	227	12.8%	10.4%
6	5人	92	5.2%	4.8%
7	6人以上	52	2.9%	3.2%
	無回答	6	0.3%	0.7%

⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	3歳以下の乳幼児	108	6.1%	4.2%
2	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	5.1%	4.0%
3	小学生	221	12.4%	8.4%
4	70歳以上の人	533	30.0%	34.4%
5	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	6.1%	8.5%
6	妊産婦	8	0.4%	0.3%
7	1~6の人はいない	920	51.7%	42.6%
	無回答	41	2.3%	9.6%

南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフを震源とする地震は、これまで概ね90年から150年ごとに発生し、高知県はそのたびに大きな被害を受けてきました。昭和21年(1946年)12月に発生した昭和南海地震から70年以上が経過し、南海トラフのどこかでマグニチュード8以上の地震が発生する確率は、今後30年以内に70%~80%程度と公表されています。

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っていた	1,748	98.3%	97.5%
2	この調査票などを見るまで知らなかった	23	1.3%	1.6%
	無回答	8	0.4%	0.8%

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	揺れで、建物に被害が出る	1,437	80.8%	84.6%
2	揺れで、家具が転倒する	1,347	75.7%	79.7%
3	火災	704	39.6%	42.3%
4	津波	871	49.0%	45.3%
5	山崩れ、がけ崩れ	596	33.5%	35.1%
6	危険はない	20	1.1%	0.7%
7	その他	57	3.2%	4.5%
	無回答	6	0.3%	0.4%

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報*をテレビなどで知ったときどうしますか。
(当てはまるものすべてに○)

※緊急地震速報とは、地震による強い揺れが発生することを事前（揺れる前）にテレビやラジオ、携帯電話などでお知らせするものです。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	1,303	73.2%	68.2%
2	急いで外に出る	484	27.2%	33.4%
3	家族に危険を知らせる	954	53.6%	54.4%
4	何もしない	46	2.6%	2.6%
5	その他	52	2.9%	5.3%
	無回答	6	0.3%	0.5%

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	新聞	542	30.5%	40.8%
2	テレビ	1,487	83.6%	89.0%
3	ラジオ	142	8.0%	10.5%
4	インターネット(パソコン、スマートフォン等)	1,070	60.1%	41.8%
5	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	24	1.3%	0.9%
6	その他	6	0.3%	0.4%
	無回答	3	0.2%	0.3%

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。

これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	啓発テレビ番組、テレビCM	1,544	86.8%	89.6%
2	啓発ラジオ番組、ラジオCM	260	14.6%	18.2%
3	新聞広告	565	31.8%	42.8%
4	路面電車、路線バスの吊り広告	43	2.4%	2.1%
5	県のホームページ	169	9.5%	6.3%
6	啓発冊子「南海トラフ地震に備えちょき」※R2年度に全戸配布済	933	52.4%	53.7%
7	イベント等に出展している高知県ブース	53	3.0%	7.3%
8	起震車体験	223	12.5%	R3 新規項目
9	その他	52	2.9%	2.3%
	無回答	12	0.7%	0.7%

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的で分かりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	目を引くようなデザインで、映像を工夫する	596	33.5%	33.0%
2	専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける	927	52.1%	54.2%
3	県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする	1,100	61.8%	64.7%
4	タレントやスポーツ選手など、有名人に出演してもらう	237	13.3%	12.9%
5	マンガやアニメで制作する	401	22.5%	17.5%
6	特に変える必要はない	125	7.0%	10.0%
7	わからない	117	6.6%	4.6%
8	その他	83	4.7%	4.2%
	無回答	8	0.4%	1.3%

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	県の政策・取り組みをより詳しく紹介する	622	35.0%	35.6%
2	県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する	443	24.9%	22.5%
3	県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する	568	31.9%	34.1%
4	県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	427	24.0%	21.6%
5	災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する	1,247	70.1%	72.6%
6	県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する	369	20.7%	24.4%
7	特にない	38	2.1%	2.4%
8	わからない	101	5.7%	3.7%
9	その他	45	2.5%	3.7%
	無回答	6	0.3%	0.9%

津波避難対策について

南海トラフ地震が発生すると強い揺れの後に津波が沿岸部を襲います。津波から命を守るためには、揺れがおさまったら、津波警報や市町村からの避難の呼びかけを待たずにすぐに逃げることや、避難場所を確認しておくことが大変重要となります。

問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	799	44.9%	46.2%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	831	46.7%	45.9%
3	わからない	140	7.9%	7.1%
	無回答	9	0.5%	0.7%

問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。
 あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。
 (ひとつだけ○)

※津波は30cmの深さで避難できなくなり、1mになると命を落とすと言われています。

	区分	R3 (n=799)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域の津波避難計画※で知った	137	17.1%	26.6%
2	市町村のハザードマップ※※で知った	400	50.1%	38.3%
3	県のホームページで知った	23	2.9%	3.5%
4	新聞で知った	14	1.8%	5.0%
5	知らない	200	25.0%	20.1%
6	その他	22	2.8%	4.6%
	無回答	3	0.4%	1.9%

※地域の津波避難計画とは、お住まいの地域の津波浸水予測や避難経路、避難場所などを明らかにし、いざというときに安全に避難するために作成するものです。

※※ハザードマップとは、津波浸水予測や避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したものです。

問11 問10で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=574)	
		回答数(人)	回答比率
1	10分未満	104	18.1%
2	30分未満	219	38.2%
3	60分未満	55	9.6%
4	60分以上	33	5.7%
5	具体的な時間は知らない	160	27.9%
	無回答	3	0.5%

問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=799)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	566	70.8%	68.8%
2	津波警報が出たら	85	10.6%	12.9%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	52	6.5%	7.8%
4	周りの人が避難したら	14	1.8%	2.4%
5	家族が避難したら	22	2.8%	2.3%
6	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	18	2.3%	R3 新規項目
7	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	23	2.9%	2.3%
8	避難しない	16	2.0%	3.1%
	無回答	3	0.4%	0.6%

問13 問12で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。
すぐに避難しない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=207)		H30 (n=249)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	津波が到達するまで時間があるため	21	10.1%	13.3%
2	本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため	135	65.2%	63.1%
3	避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため	21	10.1%	9.2%
4	自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため	21	10.1%	15.3%
5	家や家財を残して避難することに抵抗があるため	14	6.8%	2.8%
6	その他	9	4.3%	5.6%
	無回答	33	15.9%	13.7%

問14 津波からの避難場所*を確認していますか。(ひとつだけ○)

*避難場所とは市町村が指定した高台や津波避難ビル、津波避難タワーなどのことです。

	区分	R3 (n=773)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	確認している	693	89.7%	92.5%
2	確認していない	74	9.6%	6.2%
	無回答	6	0.8%	1.4%

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=693)		H30 (n=811)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	行政や地域住民が決めた避難場所	472	68.1%	69.9%
2	自宅近くの高台、高所	347	50.1%	45.6%
3	その他	24	3.5%	3.0%
	無回答	7	1.0%	1.0%

問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=773)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難場所への移動に時間がかかる	269	34.8%	34.2%
2	避難場所への移動手段がない	32	4.1%	4.8%
3	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	142	18.4%	18.7%
4	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	273	35.3%	39.5%
5	避難場所が低地にある	72	9.3%	9.5%
6	避難場所の近くに崖がある	30	3.9%	7.3%
7	不安はない	167	21.6%	18.1%
8	その他	83	10.7%	10.4%
	無回答	26	3.4%	5.7%

問17 同居するご家族の中に(ご自身を含む)、自力で避難することが難しい高齢者や障害者などの方がいらっしゃる場合、避難場所までの避難について家族以外の誰かの支援が必要ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=773)	
		回答数(人)	回答比率
1	必要がある	144	18.6%
2	必要はない	238	30.8%
3	支援が必要な方はいない	351	45.4%
	無回答	40	5.2%

【参考】

※要配慮者：高齢者や障害者など災害時に支援が必要な方

※避難行動要支援者：要配慮者のうち、自力での避難が難しい方

家庭での備えについて

問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	できている	240	13.5%	8.1%
2	できていないが検討している（直接関わっていないが、検討していることを知っている）	185	10.4%	8.1%
3	できていない	272	15.3%	23.9%
4	よく知らない	1,058	59.5%	58.8%
	無回答	24	1.3%	1.2%

南海トラフ地震が発生すると地域が孤立したり、被害が広範囲に及ぶため県外などからの支援がすぐには届かないことも想定されます。このため食料や飲料水などを家庭で備蓄することが大変重要となります。

※高知県としては3日分以上の備蓄を推奨しています。

問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。（備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。）（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	82	4.6%	3.3%
2	3日～6日分を備蓄している	570	32.0%	18.9%
3	1日～2日分を備蓄している	582	32.7%	41.7%
4	備蓄していない	533	30.0%	35.8%
	無回答	12	0.7%	0.3%

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,115)		H30 (n=680)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	必要性を感じていない	133	11.9%	17.6%
2	費用がかかる	178	16.0%	15.1%
3	置き場所がない	149	13.4%	8.5%
4	アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である	85	7.6%	10.6%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	368	33.0%	27.5%
6	その他(例:自給自足の生活をしている など)	170	15.2%	19.0%
	無回答	32	2.9%	1.6%

問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。

(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)

(ひとつだけ○)

※1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	129	7.3%	3.7%
2	3日～6日分を備蓄している	518	29.1%	16.5%
3	1日～2日分を備蓄している	549	30.9%	40.5%
4	備蓄していない	557	31.3%	38.1%
	無回答	26	1.5%	1.2%

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,106)		H30 (n=724)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	必要性を感じていない	110	9.9%	20.4%
2	費用がかかる	123	11.1%	11.5%
3	置き場所がない	238	21.5%	15.3%
4	保存用の飲料水を準備するのが面倒である	125	11.3%	15.9%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	296	26.8%	R3 新規項目
6	その他(例:井戸がある など)	194	17.5%	33.8%
	無回答	20	1.8%	3.0%

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	携帯トイレや簡易トイレを備蓄している	338	19.0%	11.4%
2	携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定	240	13.5%	10.3%
3	避難所のトイレを使用する	360	20.2%	23.1%
4	他に使用できる場所(避難所以外、屋外等)を探す	248	13.9%	20.5%
5	自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる	232	13.0%	14.0%
6	特に考えていない	298	16.8%	16.0%
7	その他	50	2.8%	3.5%
	無回答	13	0.7%	1.2%

問24 問23で「3 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

どのくらい備蓄していますか。(ひとつだけ○)

※1人1日の平均排泄回数は5回とされています。

	区分	R3 (n=338)		H30 (n=216)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	1日~2日分を用意している	182	53.8%	65.7%
2	3日~6日分を用意している	104	30.8%	25.0%
3	7日分以上を用意している	47	13.9%	7.9%
	無回答	5	1.5%	1.4%

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	618	34.7%	30.8%
2	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	111	6.2%	6.4%
3	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	196	11.0%	11.2%
4	非常持ち出し品を用意している	706	39.7%	35.1%
5	浴槽にいつも水をためている	202	11.4%	15.7%
6	消火器を用意している	359	20.2%	21.9%
7	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	1,243	69.9%	71.2%
8	調理用燃料を備蓄している	486	27.3%	26.4%
9	その他	107	6.0%	6.1%
	無回答	60	3.4%	5.7%

問26 普段から医師により処方された薬を服用していますか。また、服用している場合、南海トラフ地震が起きたら、すぐに持ち出せますか（外出時も含めます）。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=950)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	服用していない	952	53.6%	48.6%
2	服用しており、すぐに持ち出せる	616	34.6%	37.0%
3	服用しているが、すぐには持ち出せない	200	11.2%	13.1%
	無回答	11	0.6%	1.3%

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。

あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。

（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=816)		H30 (n=950)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている	224	27.5%	34.6%
2	お薬手帳（電子版）を利用しており、スマートフォンを常に持ち歩いている	42	5.1%	2.6%
3	携帯電話でお薬手帳の情報を写真に納め、常に持ち歩いている	47	5.8%	3.2%
4	薬と一緒にもらった薬剤情報提供書を常に持ち歩いている	41	5.0%	6.1%
5	記憶している	199	24.4%	21.4%
6	特にない	223	27.3%	24.3%
7	その他	22	2.7%	3.9%
	無回答	18	2.2%	3.9%

問28 お薬手帳（電子版）は、スマートフォン内で情報管理ができるため、ご自身に加え、ご家族の服薬情報も保管でき、携帯性が高いため、災害時には大変有用なツールとなりますが、あなたは利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

※お薬手帳（電子版）はスマートフォンでのみ利用可能

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	すでに利用している	93	5.2%	3.4%
2	利用しようと思う	487	27.4%	18.7%
3	利用したいが、やり方がわからない	404	22.7%	19.8%
4	スマートフォンを持っていないため、利用できない	174	9.8%	24.4%
5	利用する予定はない	572	32.2%	28.2%
	無回答	49	2.8%	5.6%

問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	加入している	1,156	65.1%	65.9%
2	加入していない	401	22.5%	23.9%
3	わからない	214	12.0%	9.3%
	無回答	8	0.4%	0.9%

※地震によって発生した火災は、火災保険では補償されません。地震による建物（住宅）や家財の損害に備えるためには、火災保険にセットして地震保険に加入する必要があります。
(地震保険だけの加入はできません。)

問30 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	520	29.2%	19.7%
2	残量が4分の1程度になった時	719	40.4%	41.0%
3	残量がほとんど無くなった時	388	21.8%	27.1%
4	車を運転しないので、給油する機会はない	137	7.7%	10.7%
	無回答	15	0.8%	1.5%

問31 問30で「1. 残量が半分くらいになった時」、「2. 残量が4分の1程度になった時」、「3. 残量がほとんど無くなった時」と回答した人におたずねします。

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,627)		H30 (n=1,666)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	満タンにする	1,333	81.9%	80.9%
2	満タンにせずに、一定の量を入れる	57	3.5%	4.1%
3	満タンにせずに、一定の金額分を入れる	226	13.9%	14.0%
	無回答	11	0.7%	1.0%

地震の揺れ対策について

南海トラフ地震が発生すると、強い揺れにより建物が全半壊するなど、大きな被害を受けることが想定されます。さらに揺れによって建物が被害を受けた場合、すぐに襲ってくる津波から避難することが困難となり、被害をさらに拡大させることとなります。

このため住宅の耐震化や家具の固定、ブロック塀の倒壊防止など県民の皆様の備えが大変重要となります。

家具や家電などの固定について

強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ）などが倒れたり、飛んでくることがあります。耐震金具などにより家具や家電などを固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

問3 2 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	固定している	361	20.3%	17.1%
2	寝室（子供部屋を含む）だけは固定している	131	7.4%	6.6%
3	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	1,093	61.4%	65.9%
4	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	176	9.9%	9.2%
	無回答	18	1.0%	1.3%

問3 3 問3 2で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

固定していない家具や家電などとは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,224)		H30 (n=1,376)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	タンス	715	58.4%	63.4%
2	本棚	456	37.3%	40.8%
3	食器棚	755	61.7%	64.7%
4	戸棚	279	22.8%	24.9%
5	冷蔵庫	1,017	83.1%	84.6%
6	電子レンジ	846	69.1%	68.0%
7	テレビ	898	73.4%	75.7%
8	ピアノ	169	13.8%	13.7%
9	その他	15	1.2%	2.5%
	無回答	23	1.9%	3.2%

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,224)		H30 (n=1,376)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	建物や家具を傷つける	157	12.8%	8.9%
2	固定の方法がわからない	259	21.2%	23.5%
3	借家である	119	9.7%	7.8%
4	費用がかかる	312	25.5%	23.5%
5	手間がかかる	479	39.1%	35.6%
6	固定しなくても大丈夫だと思う	181	14.8%	10.5%
7	固定しても被害は出ると思う	265	21.7%	27.5%
8	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	75	6.1%	7.6%
9	地震災害に関心がない	17	1.4%	1.1%
10	その他	124	10.1%	13.5%
	無回答	26	2.1%	3.5%

問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	468	26.3%	21.7%
2	知らない	1,285	72.3%	76.1%
3	既に利用した(利用中を含む)	8	0.4%	0.6%
	無回答	18	1.0%	1.6%

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	625	35.1%	35.4%
2	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知	1,104	62.1%	63.2%
3	固定してくれる専門家の派遣	469	26.4%	28.1%
4	必要な費用の補助(取り付け金具を含む)	917	51.5%	47.5%
5	個人宅なので行政は何もすべきでない	61	3.4%	2.9%
6	その他	49	2.8%	3.8%
	無回答	53	3.0%	4.1%

ブロック塀などの倒壊防止について

強い揺れにより倒壊した塀の下敷きになって死傷することや、倒壊した塀が避難や消火活動を妨げる場合があります。是非、ご自分でブロック塀などの安全性を点検してください。(添付のチラシに点検項目がございますのでご利用ください。)

点検後、危険な場合は、安全なフェンスや生け垣に変えるなど安全対策を行うことが重要となります。

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ある	1,007	56.7%	61.7%
2	危険なので取り壊した	11	0.6%	0.7%
3	安全なフェンスや生け垣に変えた	41	2.3%	2.1%
4	もともとない	684	38.4%	33.3%
5	その他	22	1.2%	1.5%
	無回答	14	0.8%	0.7%

問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,007)		H30 (n=1,172)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	点検した結果、安全である	149	14.8%	15.5%
2	点検した結果、危険である	62	6.2%	5.6%
3	点検していない	647	64.2%	64.8%
4	わからない	147	14.6%	13.5%
	無回答	2	0.2%	0.5%

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=647)		H30 (n=760)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	点検するまでもなく危険である	62	9.6%	12.9%
2	点検の方法がわからない	220	34.0%	30.0%
3	点検しなくても安全と思う	120	18.5%	20.8%
4	費用がかかる	80	12.4%	11.7%
5	借家である	45	7.0%	5.3%
6	手間がかかる	20	3.1%	3.0%
7	対策しても被害は防げないと思う	31	4.8%	5.0%
8	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	4	0.6%	1.1%
9	地震被害に関心がない	4	0.6%	0.1%
10	その他	48	7.4%	8.8%
	無回答	13	2.0%	1.3%

問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=709)		H30 (n=826)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	変える予定がある	21	3.0%	2.1%
2	変える予定はない	287	40.5%	44.6%
3	検討中	77	10.9%	12.8%
4	わからない	178	25.1%	19.7%
	無回答	146	20.6%	20.8%

問41 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=709)	
		回答数(人)	回答比率
1	0円	220	31.0%
2	10万円まで	312	44.0%
3	20万円まで	76	10.7%
4	40万円まで	25	3.5%
5	60万円まで	15	2.1%
6	80万円まで	2	0.3%
7	100万円まで	8	1.1%
8	100万円以上でもよい	8	1.1%
	無回答	43	6.1%

問4 2 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限 20.5 万円）をしていますか。ご存知ですか。（ひとつだけ○）
※市町村によっては補助制度がない場合があります。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	313	17.6%	17.2%
2	知らない	1,435	80.7%	79.8%
3	既に利用した（利用中を含む）	6	0.3%	0.2%
	無回答	25	1.4%	2.8%

問4 3 問4 2で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。

（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=319)		H30 (n=329)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ポスター、パンフレット	96	30.1%	30.4%
2	知人、親族から聞いて	68	21.3%	12.5%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	101	31.7%	22.8%
4	イベント、講演会	15	4.7%	6.7%
5	新聞、広告、広報誌	97	30.4%	37.7%
6	テレビ、ラジオ	51	16.0%	29.8%
7	その他	12	3.8%	4.9%
	無回答	3	0.9%	1.8%

問4 4 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	715	40.2%	38.4%
2	パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）	961	54.0%	49.7%
3	専門家による無料点検の実施	1,028	57.8%	59.9%
4	信頼できる工事事業者の紹介	562	31.6%	29.5%
5	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額	693	39.0%	38.7%
6	個人宅なので行政は何もすべきでない	33	1.9%	1.9%
7	その他	46	2.6%	4.0%
	無回答	62	3.5%	4.5%

住宅の耐震化について

地震による住宅の倒壊は、命が失われる直接的な原因となるだけでなく、その後の地震火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れにつながるほか、倒壊した住宅のがれきが道路をふさいでしまうことによって消防活動や救急搬送が阻害され、さらに多くの命が失われることにもなります。

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は耐震診断を受け、耐震化が必要な場合は耐震改修を行いましょう。

問45 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	昭和56年5月以前の木造住宅	424	23.8%	31.1%
2	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅	370	20.8%	24.7%
3	平成12年6月以降の木造住宅	412	23.2%	17.6%
4	昭和56年5月以前の非木造住宅	68	3.8%	3.6%
5	昭和56年6月以降の非木造住宅	272	15.3%	14.4%
6	わからない	205	11.5%	6.7%
	無回答	28	1.6%	1.9%

問46 問45で「1. 昭和56年5月以前の木造住宅」と回答した人におたずねします。
専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=424)		H30 (n=590)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された	106	25.0%	22.2%
2	診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された	9	2.1%	2.4%
3	診断を受けたことはない	304	71.7%	73.2%
	無回答	5	1.2%	2.2%

問47 問46で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=106)		H30 (n=131)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	耐震改修工事を行った	69	65.1%	43.5%
2	今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定	8	7.5%	16.8%
3	耐震改修工事も建て替えも行う予定はない	19	17.9%	21.4%
4	検討中	9	8.5%	17.6%
	無回答	1	0.9%	0.8%

問48 問47で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=28)		H30 (n=51)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	費用が高い	21	75.0%	74.5%
2	申込み手続きに手間がかかる	6	21.4%	7.8%
3	家の中に他人に入ってほしくない	5	17.9%	R3 新規項目
4	工事中の生活に支障が出る	10	35.7%	R3 新規項目
5	工事に伴う荷物の移動が面倒だ	8	28.6%	R3 新規項目
6	信頼できる業者を知らない	5	17.9%	2.0%
7	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	7	25.0%	R3 新規項目
8	その他	6	21.4%	13.7%
	無回答	1	3.6%	2.0%

問49 問46で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。
耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=304)		H30 (n=432)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	24	7.9%	8.3%
2	自宅が地震に強いと思っている	10	3.3%	4.9%
3	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	57	18.8%	18.1%
4	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	63	20.7%	25.2%
5	耐震診断の費用がかかる	87	28.6%	26.4%
6	耐震診断のやり方がわからない	68	22.4%	16.7%
7	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	9	3.0%	2.5%
8	近いうちに建て替えるつもりである	14	4.6%	1.6%
9	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	97	31.9%	38.9%
10	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	68	22.4%	26.9%
11	その他	50	16.4%	16.7%
	無回答	9	3.0%	2.1%

問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	272	55.3%	60.5%
2	知らない	175	35.6%	33.7%
3	すでに利用した（利用中を含む）	32	6.5%	3.8%
	無回答	13	2.6%	2.0%

問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=304)		H30 (n=424)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ポスター、パンフレット	72	23.7%	25.2%
2	知人、親族から聞いて	84	27.6%	21.9%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	101	33.2%	30.0%
4	イベント、講演会	5	1.6%	4.0%
5	新聞、広告、広報誌	114	37.5%	39.6%
6	テレビ、ラジオ	85	28.0%	32.5%
7	その他	9	3.0%	1.7%
	無回答	2	0.7%	4.5%

問52 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてよいと思いますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0円	102	20.7%	17.9%
2	10万円まで	106	21.5%	17.0%
3	20万円まで	76	15.4%	16.7%
4	40万円まで	54	11.0%	10.2%
5	60万円まで	27	5.5%	7.6%
6	80万円まで	11	2.2%	1.2%
7	100万円まで	47	9.6%	10.6%
8	100万円以上でもよい	26	5.3%	4.1%
	無回答	43	8.7%	14.7%

問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッド※の設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてよいと思いますか。（ひとつだけ○）

※耐震シェルター、耐震ベッドは、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守るものです。

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0円	126	25.6%	19.4%
2	10万円まで	153	31.1%	28.8%
3	20万円まで	83	16.9%	19.4%
4	40万円まで	47	9.6%	9.6%
5	60万円まで	20	4.1%	4.2%
6	80万円まで	7	1.4%	1.8%
7	80万円以上でもよい	18	3.7%	4.1%
	無回答	38	7.7%	12.6%

問54 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	671	37.7%	32.9%
2	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	643	36.1%	33.6%
3	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	389	21.9%	21.5%
4	耐震診断士の無料派遣	729	41.0%	39.4%
5	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	574	32.3%	28.4%
6	一気に耐震改修工事でできない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	244	13.7%	16.0%
7	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震設計、耐震改修工事)への費用の支援	401	22.5%	22.6%
8	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	150	8.4%	7.0%
9	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	354	19.9%	17.4%
10	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	61	3.4%	3.5%
11	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	98	5.5%	6.2%
12	行政には特に期待していない	69	3.9%	3.1%
13	その他	28	1.6%	1.7%
	無回答	41	2.3%	5.2%

地震火災対策について

地震時には、複数の場所で火災が同時に発生し、消防の対応力を超えてしまうことや、家屋やブロック塀が倒壊して道路をふさぎ、火災現場へ消防車両が入っていけないことも想定されますので、大規模火災に発展する可能性があります。

また、地震火災は、ストーブなどが転倒したり、その上に可燃物が落ちてくることにより火災が発生していますが、なかでも、阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因の分かっている火災のうち、6～7割が、電気が復旧した時に、破損した電気製品や屋内配線に、再び電流が流れることにより発生したものでした。

揺れが収まったあと、避難する時にはブレーカーを落とすことが重要となります。

問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っていた	1,669	93.8%	94.8%
2	知らなかった	97	5.5%	4.0%
	無回答	13	0.7%	1.2%

問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	854	48.0%	46.3%
2	知らない	913	51.3%	51.8%
	無回答	12	0.7%	1.9%

※感震ブレーカーとは、大きな揺れを感知した場合に、電気を自動的に遮断する装置です。
分電盤タイプやコンセントタイプ、分電盤に設置する簡易タイプなど用途に応じて選択でき、
電気による火災の発生を防止します。

問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	設置している	276	15.5%	13.9%
2	設置していない	866	48.7%	56.1%
3	わからない	620	34.9%	28.3%
	無回答	17	1.0%	1.7%

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。
感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=866)		H30 (n=1,064)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	感震ブレーカーのことを知らなかったため	420	48.5%	51.6%
2	必要性を感じていない	95	11.0%	10.0%
3	手間がかかる	82	9.5%	9.4%
4	費用がかかる	221	25.5%	26.0%
5	設置の方法がわからない	209	24.1%	21.7%
6	どこで売っているかわからない	176	20.3%	23.6%
7	その他	52	6.0%	8.0%
	無回答	10	1.2%	1.7%

避難生活について

強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住民の皆さま自らが行っていただく必要があります。

問59 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	知っている	977	55.0%
2	知らない	780	43.8%
	無回答	22	1.2%

※避難場所：津波などの災害から一時的に避難を行う場所

避難所：自宅が全壊・半壊した場合やライフラインが使用できない場合に、一定期間生活するための場所

問60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	最寄りの避難所	839	47.2%	56.9%
2	県内の親せきや友人の家	455	25.6%	19.5%
3	県外の親せきや友人の家	57	3.2%	3.6%
4	自家用車の中(車中泊)	292	16.4%	10.4%
5	テント(野宿)	47	2.6%	3.7%
6	その他	75	4.2%	4.3%
	無回答	14	0.8%	1.5%

問61 問60で「4. 自家用車の中（車中泊）」、「5. テント（野宿）」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか（3つまで○）

	区分	R3 (n=339)		H30 (n=268)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う	193	56.9%	53.4%
2	避難所ではプライバシーが確保できないと思う	234	69.0%	65.7%
3	自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配	54	15.9%	13.1%
4	自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活が送れるか心配	32	9.4%	11.9%
5	家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配	10	2.9%	3.0%
6	ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配	110	32.4%	32.8%
7	その他	29	8.6%	9.3%
	無回答	2	0.6%	1.1%

問62 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。（3つまで○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	食料や水の問題	777	43.7%	44.8%
2	日用品の問題	276	15.5%	12.6%
3	プライバシーの問題	882	49.6%	42.7%
4	人間関係の問題（知らない人が多く不安など）	391	22.0%	20.5%
5	トイレの問題	871	49.0%	53.6%
6	洗濯・入浴の問題	506	28.4%	27.1%
7	避難生活によるストレスや体調不良	687	38.6%	37.0%
8	持病の治療や悪化	126	7.1%	8.0%
9	自分や家族が高齢者であること	161	9.1%	12.0%
10	自分や家族が障害者であること	51	2.9%	3.3%
11	家族に乳幼児がいること	66	3.7%	3.0%
12	ペットの問題	308	17.3%	14.0%
13	不安はない	18	1.0%	0.8%
14	その他	33	1.9%	1.3%
	無回答	22	1.2%	1.7%

問63 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	関わりたい	326	18.3%	21.8%
2	関わりたいが、やり方がわからない	439	24.7%	25.2%
3	できれば関わりたくない	335	18.8%	15.3%
4	関わりたくない	122	6.9%	5.4%
5	わからない	530	29.8%	29.0%
	無回答	27	1.5%	3.2%

自主防災組織について

県内各地では、地域の防災力を高めるために自主防災組織が結成され、さまざまな防災活動を行っています。積極的に自主防災組織の活動に参加しましょう。もし、お住いの地域に自主防災組織がない場合は、地域みなさんと協力し、一緒に自主防災組織を立ち上げましょう。

問64 お住いの地域の自主防災組織の活動(訓練、学習会、避難路の点検など)へ参加していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	積極的に参加している	136	7.6%	9.6%
2	時々参加している	277	15.6%	19.4%
3	あまり参加していない	373	21.0%	21.8%
4	参加していないが、今後は参加したい	210	11.8%	12.8%
5	参加していないし、今後も参加するつもりはない	236	13.3%	9.9%
6	自主防災組織がない	62	3.5%	4.0%
7	自主防災組織があるかわからない	473	26.6%	20.4%
	無回答	12	0.7%	2.0%

問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住いの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=786)		H30 (n=965)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	活発に活動している	88	11.2%	11.9%
2	まあ活動している	316	40.2%	45.9%
3	あまり活動していない	217	27.6%	25.6%
4	よく知らない	150	19.1%	14.3%
	無回答	15	1.9%	2.3%

問66 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域の方々への防災研修	648	36.4%	40.3%
2	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	535	30.1%	34.4%
3	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	689	38.7%	38.9%
4	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	535	30.1%	31.0%
5	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	391	22.0%	25.9%
6	わからない	442	24.8%	19.4%
7	その他	24	1.3%	2.3%
	無回答	38	2.1%	5.0%

消防団について

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。

「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問67 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	入団し、積極的に参加している	36	2.0%	2.0%
2	入団し、時々参加している	10	0.6%	0.5%
3	入団しているが、あまり参加していない	3	0.2%	0.5%
4	入団していないが、参加してみたい	86	4.8%	5.1%
5	入団していないし、今後も参加する予定はない	1,168	65.7%	63.0%
6	住んでいる地域に消防団があるかわからない	435	24.5%	21.4%
	無回答	41	2.3%	7.6%

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=49)	
		回答数(人)	回答比率
1	自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから	25	51.0%
2	友人、知人に誘われたから	32	65.3%
3	報酬に魅力を感じたから	0	0.0%
4	人脈を広げられるから	3	6.1%
5	カッコいいと思ったから	1	2.0%
6	その他	1	2.0%
	無回答	2	4.1%

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域に密着した防災活動をしている	920	51.7%	53.7%
2	地域を守る意識の高い方が参加している	616	34.6%	33.2%
3	地元の人同士で和気あいあいと活動している	377	21.2%	20.2%
4	体力が必要	521	29.3%	31.8%
5	会社員は仕事があるので参加しづらい	454	25.5%	21.7%
6	土日に訓練等の活動があり、大変	237	13.3%	10.5%
7	若い人が不足している	561	31.5%	32.7%
8	規律が厳しい	33	1.9%	1.4%
9	そもそも消防団とは何か知らない	159	8.9%	5.2%
10	その他	51	2.9%	3.6%
	無回答	60	3.4%	4.8%

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえenと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる	391	22.0%	15.5%
2	団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する	462	26.0%	27.1%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する	623	35.0%	37.6%
4	訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する	317	17.8%	15.8%
5	消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする	1,125	63.2%	65.0%
6	消防団は必要ない	27	1.5%	0.6%
7	その他	99	5.6%	5.3%
	無回答	97	5.5%	8.9%

地域の防災力について

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	248	13.9%	21.2%
2	職場で行った訓練に参加した	359	20.2%	14.9%
3	その他の訓練に参加した	54	3.0%	4.3%
4	参加していない	754	42.4%	42.1%
5	訓練がなかった、またはあったかわからない	344	19.3%	13.8%
	無回答	20	1.1%	3.7%

問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=661)		H30 (n=767)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難訓練	561	84.9%	82.8%
2	消火訓練	304	46.0%	47.7%
3	救出・救助訓練	84	12.7%	16.4%
4	応急手当訓練	120	18.2%	26.7%
5	炊き出し訓練	95	14.4%	22.0%
6	情報伝達訓練	77	11.6%	11.5%
7	介護や支援を必要とする人の介助訓練	35	5.3%	7.8%
8	避難所運営訓練	46	7.0%	9.4%
9	その他	12	1.8%	1.3%
	無回答	7	1.1%	1.2%

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	664	37.3%	43.0%
2	訓練の実施をもっと広報する	535	30.1%	26.1%
3	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	365	20.5%	20.2%
4	他のイベントと一緒にを行う	523	29.4%	30.7%
5	参加を義務化する	275	15.5%	14.2%
6	参加賞(非常食)などを出す	417	23.4%	18.4%
7	その他	51	2.9%	3.2%
	無回答	72	4.0%	5.6%

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	833	46.8%	41.4%
2	地域の組織(消防団や自主防災組織)の育成や強化	501	28.2%	28.9%
3	地域の組織(消防団や自主防災組織)の資機材の整備や充実	433	24.3%	24.3%
4	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	310	17.4%	22.9%
5	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	322	18.1%	18.4%
6	小中学校の防災教育の充実	632	35.5%	32.8%
7	近隣の事業所などとの連携促進	283	15.9%	16.1%
8	地域ごとの備蓄の推進	648	36.4%	36.0%
9	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	356	20.0%	19.5%
10	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	655	36.8%	41.3%
11	その他	39	2.2%	2.4%
	無回答	67	3.8%	6.3%

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、調査を開始した場合、調査結果から南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることとなっています。(平成29年11月1日 運用開始)

問75 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	362	20.3%	23.2%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	506	28.4%	29.1%
3	知らない	876	49.2%	44.4%
	無回答	35	2.0%	3.4%

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合などに、気象庁から発表されます。詳しくは、高知県南海トラフ地震対策課ホームページをご覧ください。

問76 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。

お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	事前避難対象地域である	204	11.5%
2	事前避難対象地域ではない	266	15.0%
3	わからない	1,273	71.6%
	無回答	36	2.0%

問77 問76で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=204)	
		回答数(人)	回答比率
1	避難する	184	90.1%
2	避難しない	15	7.4%
	無回答	5	2.5%

県の施策について

問78 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	431	24.2%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	771	43.3%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	540	30.4%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	725	40.8%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	434	24.4%
6	前方展開型による医療救護体制の推進	244	13.7%
7	防災教育の強化	196	11.0%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	345	19.4%
9	地震火災・津波火災対策の推進	99	5.6%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	272	15.3%
11	南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進	137	7.7%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	143	8.0%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	189	10.6%
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	359	20.2%
15	その他	41	2.3%
	無回答	38	2.1%

※ 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくり（地域ごとの医療救護計画の策定、医療支援チームが効果的に活動できるような受援態勢の整備など）を強化していくこと。

自由意見

県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。(自由記入)

Ⅶ 自由回答 (352 ページ) 参照

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

この回答を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。

X 經年比較

XI 経年比較

1. 経年変化の目的

平成16年度、平成19年度、平成22年度に4県（三重県・和歌山県・徳島県・高知県）が共同で地震・津波県民意識調査、平成25年度、平成27年度、平成30年度に地震・津波に対する県民意識調査を実施しており、結果を比較することにより、これまで行ってきた防災策を評価するとともに、今後の防災対策の進め方に反映させることが目的である。

2. 経年変化の事項

(1) 南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

(2) 津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／いつ避難するか／避難場所を確認しているか／どこに避難するか／避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか／要配慮者がいる場合に避難において支援の必要の有無／要配慮者の避難を支援する体制ができているか／

(3) 家庭での備えについて

食料の備蓄状況／備蓄していない理由／飲料水の備蓄状況／備蓄していない理由／南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／

(4) 地震の揺れ対策について

・家具や家電などの固定について

家具や家電などを固定しているか／固定していない家具や家電は何か／固定していない理由／補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

・ブロック塀などの倒壊防止について

自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを、安全なフェンスや生け垣などに変える予定はあるか／補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

・住宅の耐震化について

補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／部分的な耐震対策を行う場合の自己負担額／

(5) 地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

(6) 自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからどういった活動に取り組んでいけばよいか

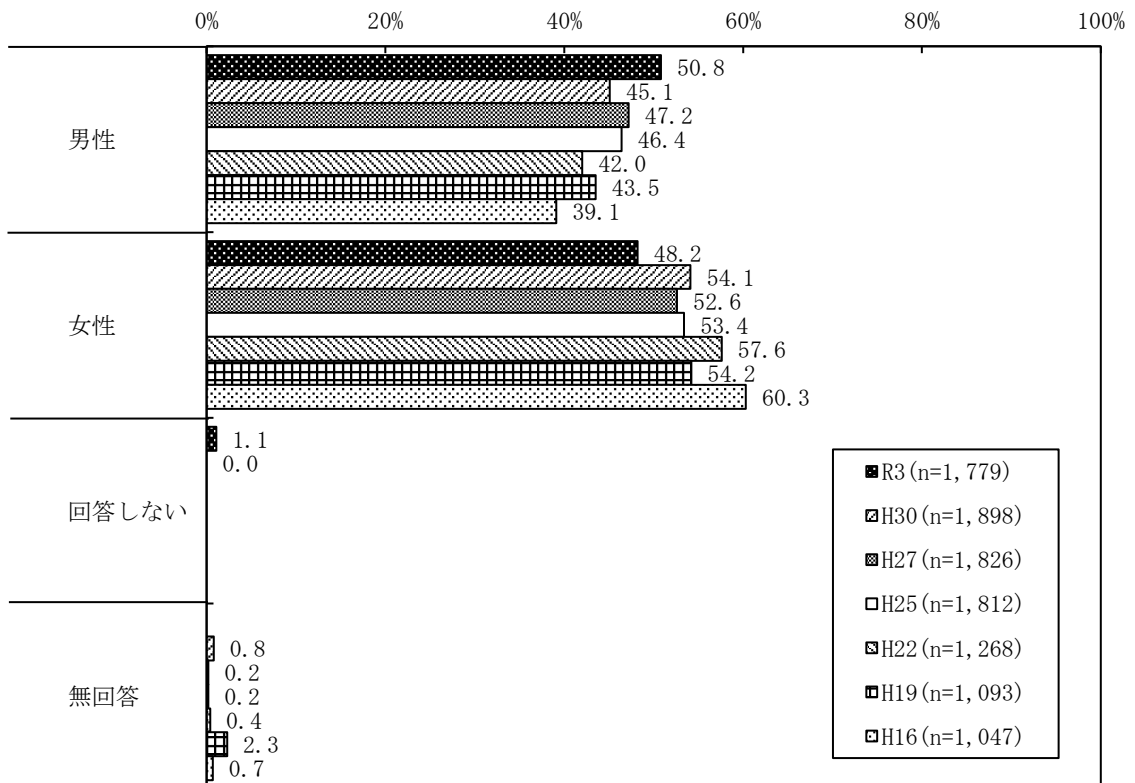
(7) 地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問 1 ①性別

上段：人数
下段：%

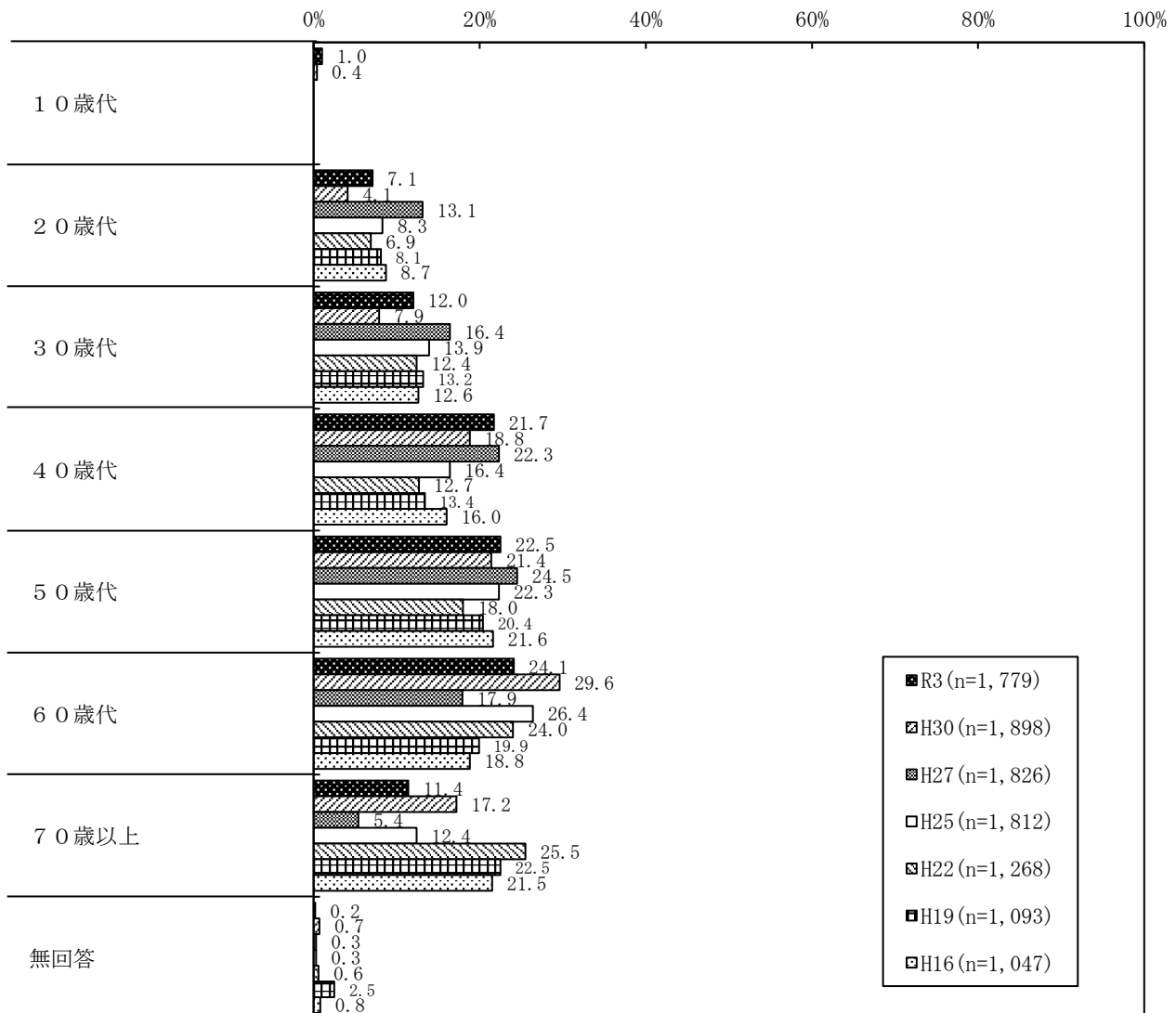
	男性	女性	回答しない	無回答	合計
R3	903 50.8	857 48.2	19 1.1	- -	1,779 100.0
H30	856 45.1	1,026 54.1	0 0.0	16 0.8	1,898 100.0
H27	861 47.2	961 52.6	- -	4 0.2	1826 100.0
H25	840 46.4	968 53.4	- -	4 0.2	1,812 100.0
H22	533 42.0	730 57.6	- -	5 0.4	1,268 100.0
H19	476 43.5	592 54.2	- -	25 2.3	1,093 100.0
H16	409 39.1	631 60.3	- -	7 0.7	1,047 100.0



問1 ②年齢

上段：人数
下段：%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
R3	18 1.0	126 7.1	214 12.0	386 21.7	400 22.5	428 24.1	203 11.4	4 0.2	1,779 100.0
H30	7 0.4	78 4.1	149 7.9	356 18.8	406 21.4	562 29.6	326 17.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	- -	240 13.1	300 16.4	407 22.3	448 24.5	326 17.9	99 5.4	6 0.3	1,826 100.0
H25	- -	151 8.3	251 13.9	297 16.4	404 22.3	479 26.4	224 12.4	6 0.3	1,812 100.0
H22	- -	87 6.9	157 12.4	161 12.7	228 18.0	304 24.0	323 25.5	8 0.6	1,268 100.0
H19	- -	89 8.1	144 13.2	146 13.4	223 20.4	218 19.9	246 22.5	27 2.5	1,093 100.0
H16	- -	91 8.7	132 12.6	168 16.0	226 21.6	197 18.8	225 21.5	8 0.8	1,047 100.0



問1 ③職業

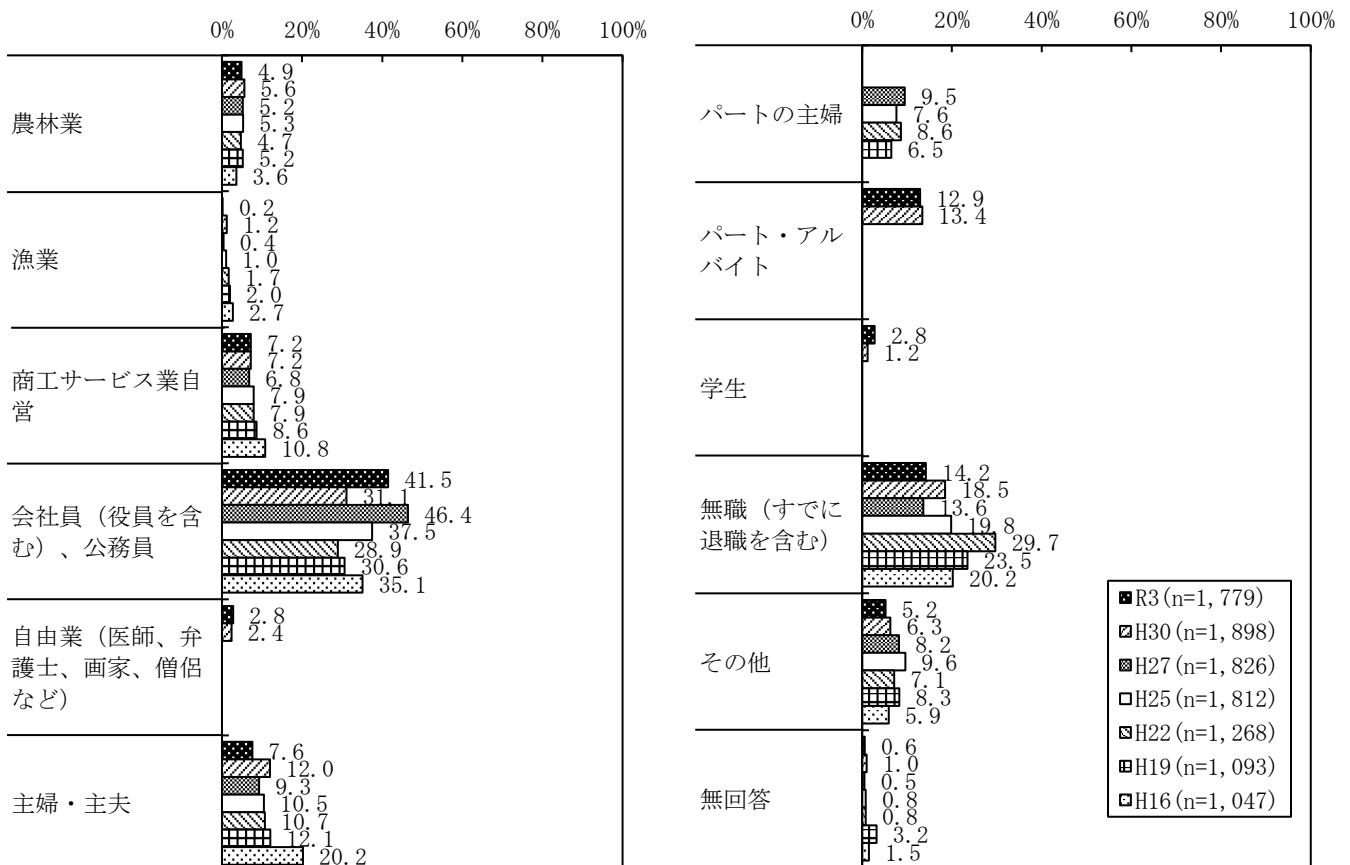
上段：人数
下段：%

	農林業	漁業	商工サービス業自営 ^{※1}	会社員（役員を含む）、公務員 ^{※2}	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	主婦・主夫 ^{※3}	パートの主婦	パート・アルバイト	学生	無職（すでに退職を含む）	その他	無回答	合計
R3	88 4.9	4 0.2	128 7.2	739 41.5	50 2.8	136 7.6	- -	229 12.9	49 2.8	253 14.2	92 5.2	11 0.6	1,779 100.0
H30	107 5.6	22 1.2	137 7.2	591 31.1	46 2.4	227 12.0	- -	255 13.4	22 1.2	352 18.5	120 6.3	19 1.0	1,898 100.0
H27	95 5.2	7 0.4	125 6.8	847 46.4	- -	169 9.3	174 9.5	- -	- -	249 13.6	150 8.2	10 0.5	1,826 100.0
H25	96 5.3	19 1.0	143 7.9	679 37.5	- -	190 10.5	138 7.6	- -	- -	358 19.8	174 9.6	15 0.8	1,812 100.0
H22	60 4.7	22 1.7	100 7.9	366 28.9	- -	136 10.7	109 8.6	- -	- -	377 29.7	90 7.1	10 0.8	1,268 100.0
H19	57 5.2	22 2.0	94 8.6	334 30.6	- -	132 12.1	71 6.5	- -	- -	257 23.5	91 8.3	35 3.2	1,093 100.0
H16	38 3.6	28 2.7	113 10.8	368 35.1	- -	211 20.2	- -	- -	- -	211 20.2	62 5.9	16 1.5	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「商工自営業」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「勤め人（会社員・公務員）」と答えた人数

※3 平成16年度は「主婦」、平成19年度～平成27年度は「専業主婦」と答えた人数

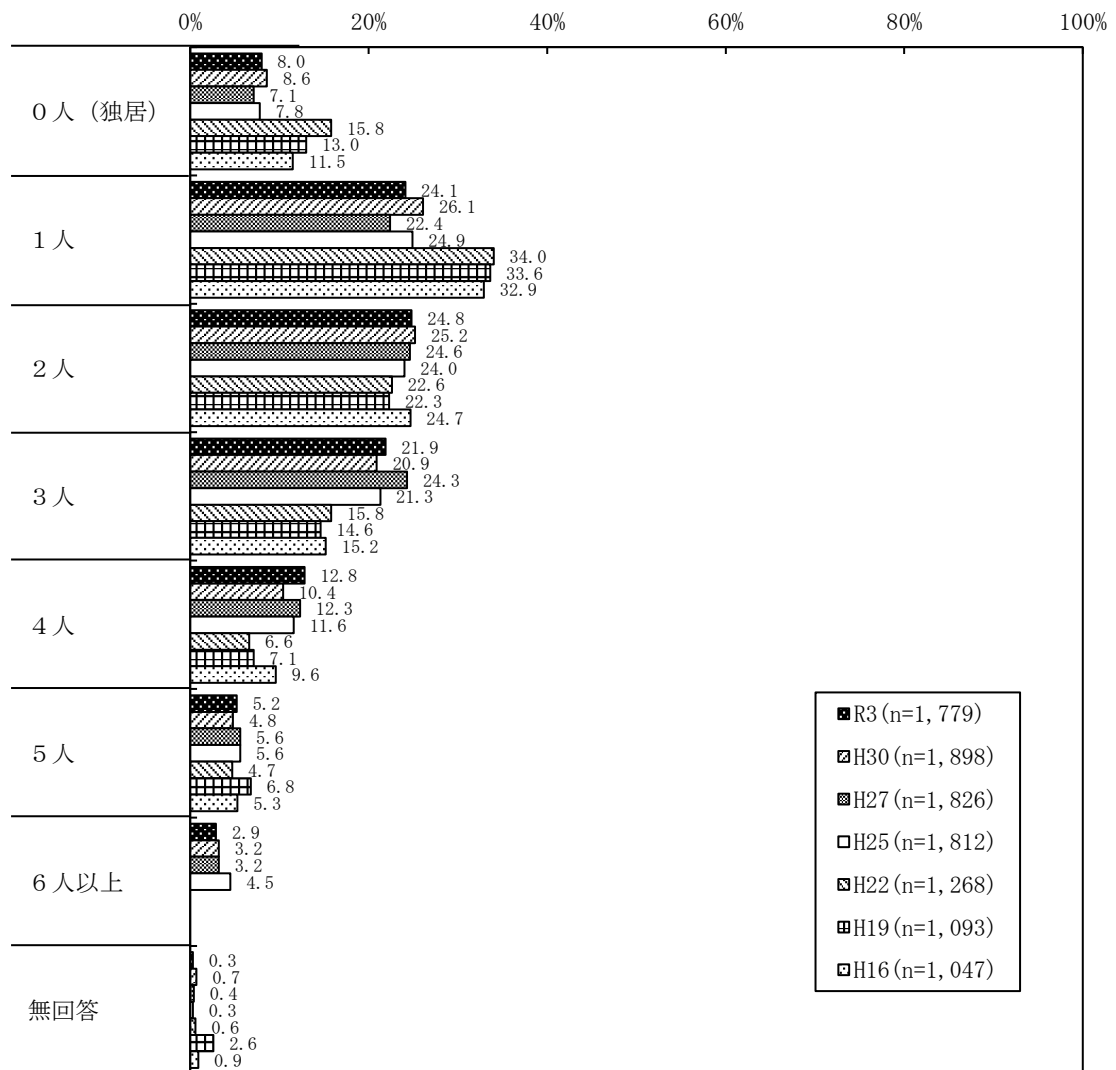


問 1 ④同居しているご家族は何人いますか

上段：人数
下段：%

	0人 (独居)	1人	2人	3人	4人	5人 ※ ₁	6人以上	無回答	合計
R3	143 8.0	428 24.1	441 24.8	390 21.9	227 12.8	92 5.2	52 2.9	6 0.3	1,779 100.0
H30	164 8.6	495 26.1	478 25.2	397 20.9	198 10.4	91 4.8	61 3.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	129 7.1	409 22.4	450 24.6	444 24.3	224 12.3	103 5.6	59 3.2	8 0.4	1,826 100.0
H25	142 7.8	452 24.9	434 24.0	386 21.3	210 11.6	101 5.6	81 4.5	6 0.3	1,812 100.0
H22	200 15.8	431 34.0	287 22.6	200 15.8	84 6.6	60 4.7		8 0.6	1,268 100.0
H19	143 13.0	368 33.6	243 22.3	160 14.6	77 7.1	74 6.8		28 2.6	1,093 100.0
H16	120 11.5	344 32.9	259 24.7	159 15.2	101 9.6	55 5.3		9 0.9	1,047 100.0

※1 平成22年度以前は「5人以上」と答えた人数

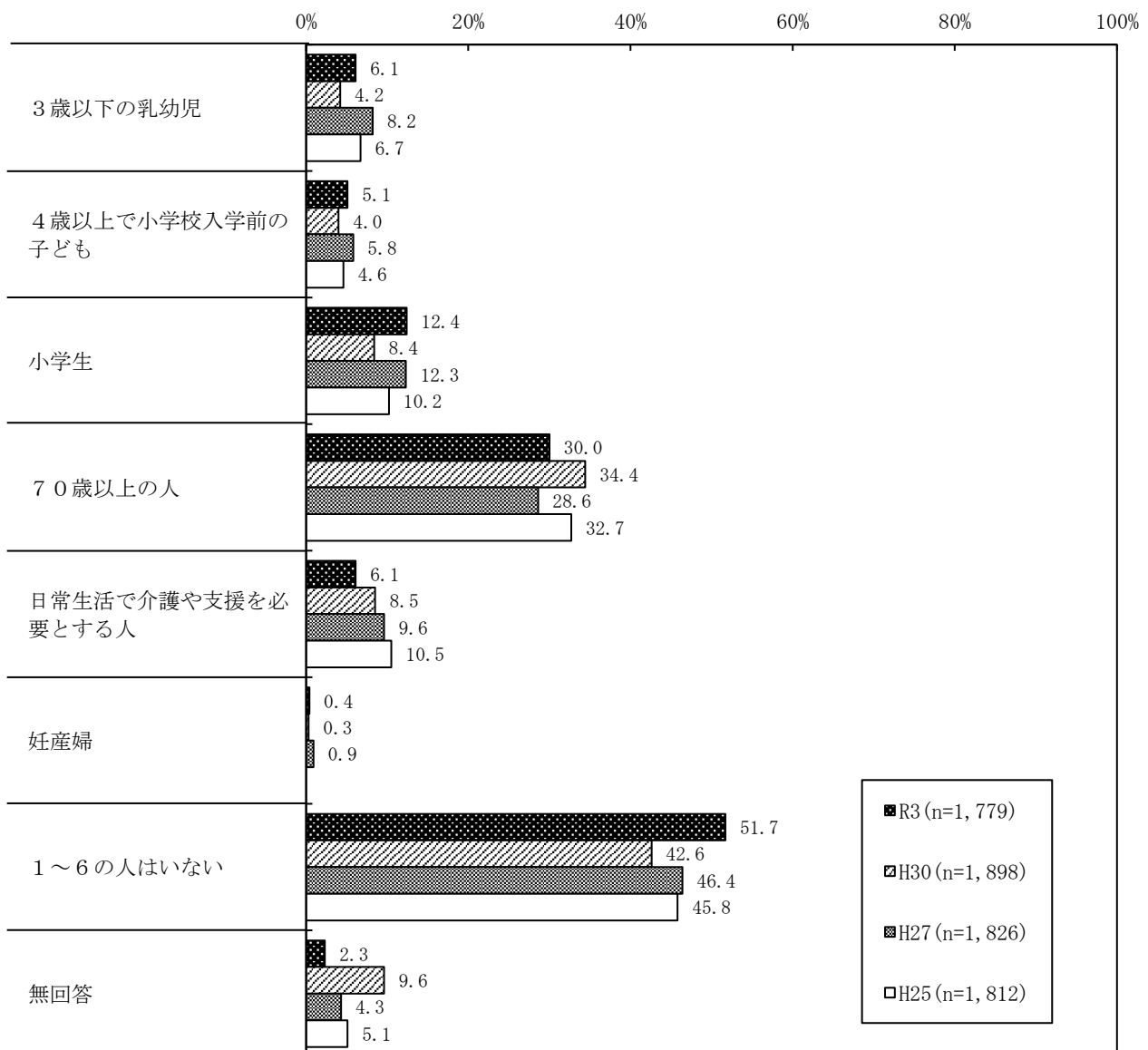


問1 ⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか

上段：人数
下段：%

	3歳以下の乳幼児	4歳以上で小学校入学前の子ども	小学生	70歳以上の人	日常生活で介護や支援を必要とする人	妊産婦	1～6の人はいない	無回答	合計
R3	108 6.1	90 5.1	221 12.4	533 30.0	108 6.1	8 0.4	920 51.7	41 2.3	1,779
H30	79 4.2	75 4.0	160 8.4	653 34.4	162 8.5	5 0.3	808 42.6	183 9.6	1,898
H27	149 8.2	105 5.8	224 12.3	522 28.6	176 9.6	16 0.9	848 46.4	79 4.3	1,826
H25	122 6.7	84 4.6	185 10.2	592 32.7	191 10.5	- -	830 45.8	93 5.1	1,812

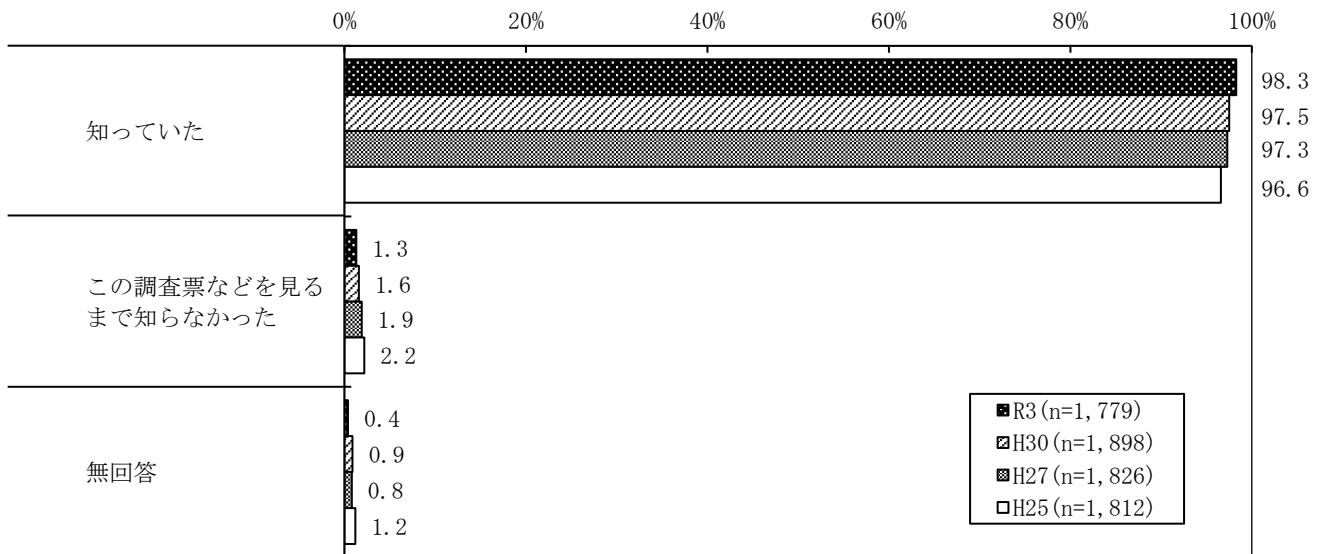
※1 平成27年度以前は「3歳以下の幼児」と答えた人数



問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

「知っていた」は、平成25年度と比較すると1.7%増加している。

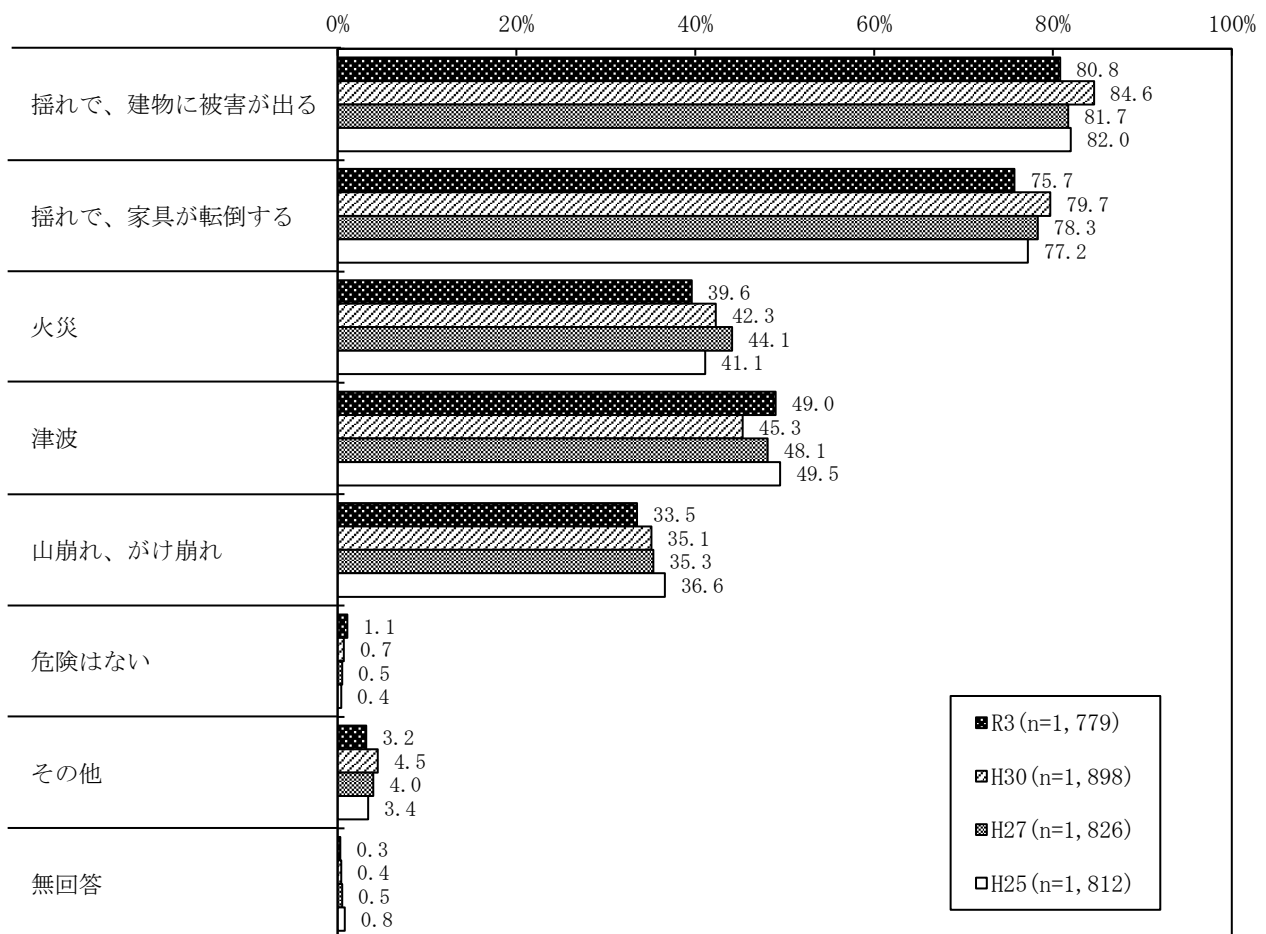
	知っていた	この調査票などを見るまで知らなかった	無回答	合計
R3	1,748 98.3	23 1.3	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,851 97.5	30 1.6	17 0.9	1,898 100.0
H27	1,776 97.3	35 1.9	15 0.8	1,826 100.0
H25	1,751 96.6	40 2.2	21 1.2	1,812 100.0



問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

「揺れで、建物に被害が出る」、「揺れで、家具が転倒する」、「火災」と「山崩れ、がけ崩れ」は、平成25年度から令和3年度の中で最も低い割合となっている。

	上段：人数 下段：%								
	揺れで、 建物に被害が 出る	揺れで、 家具が転倒す る	火災	津波	山崩れ、 がけ崩れ	危険はない	その他	無回答	合計
R3	1,437 80.8	1,347 75.7	704 39.6	871 49.0	596 33.5	20 1.1	57 3.2	6 0.3	1,779
H30	1,605 84.6	1,512 79.7	803 42.3	859 45.3	667 35.1	14 0.7	86 4.5	7 0.4	1,898
H27	1,491 81.7	1,430 78.3	805 44.1	879 48.1	645 35.3	10 0.5	73 4.0	9 0.5	1,826
H25	1,486 82.0	1,399 77.2	744 41.1	897 49.5	663 36.6	8 0.4	62 3.4	15 0.8	1,812



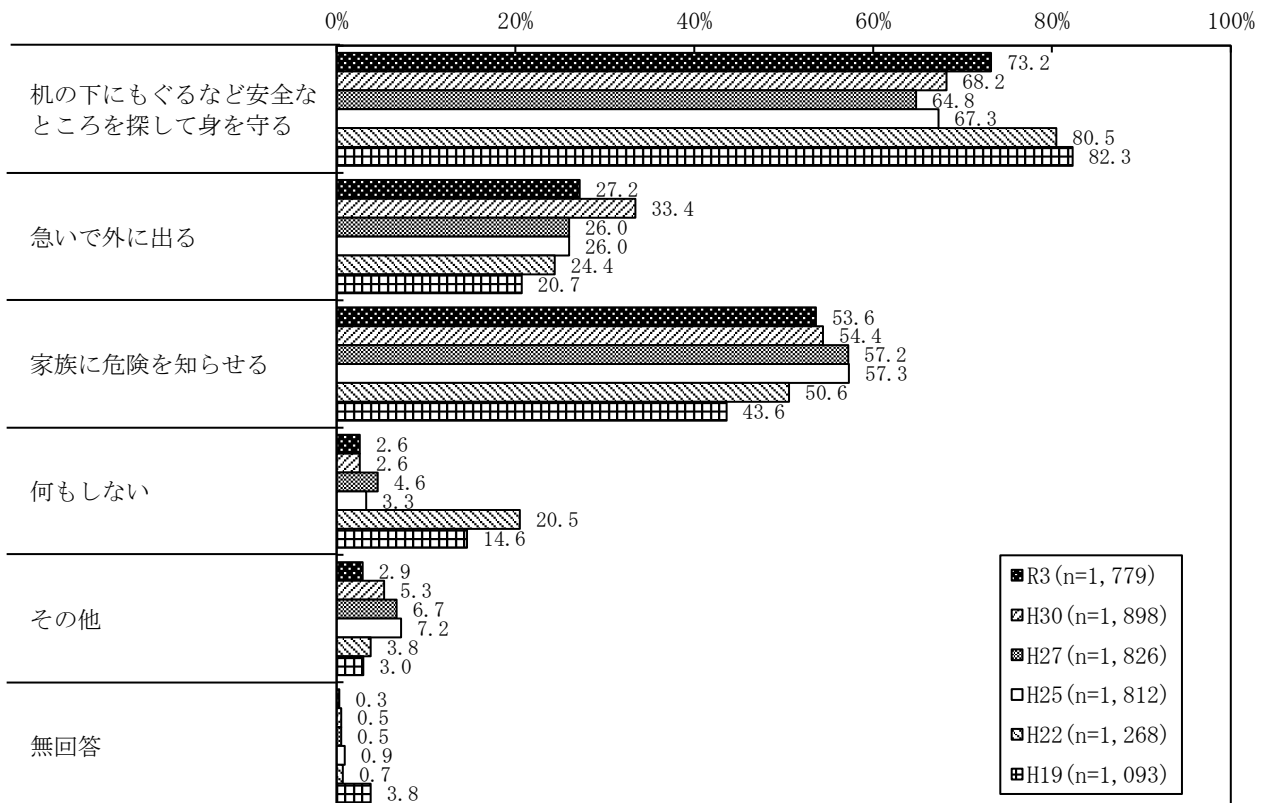
問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」、「急いで外に出る」と続いている。

平成27年度以降「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が増加してきている。これは、まず自身の安全を第一に確保とするという意識がより定着してきた結果と考えられる。

	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	急いで外に出る	家族に危険を知らせる	何もしない	その他	無回答	合計
R3	1,303 73.2	484 27.2	954 53.6	46 2.6	52 2.9	6 0.3	1,779
H30	1,295 68.2	634 33.4	1,032 54.4	49 2.6	100 5.3	9 0.5	1,898
H27	1,183 64.8	475 26.0	1,044 57.2	84 4.6	122 6.7	10 0.5	1,826
H25	1,220 67.3	471 26.0	1,038 57.3	60 3.3	130 7.2	17 0.9	1,812
H22	1,021 80.5	309 24.4	642 50.6	260 20.5	48 3.8	9 0.7	1,268
H19	900 82.3	226 20.7	477 43.6	160 14.6	33 3.0	42 3.8	1,093

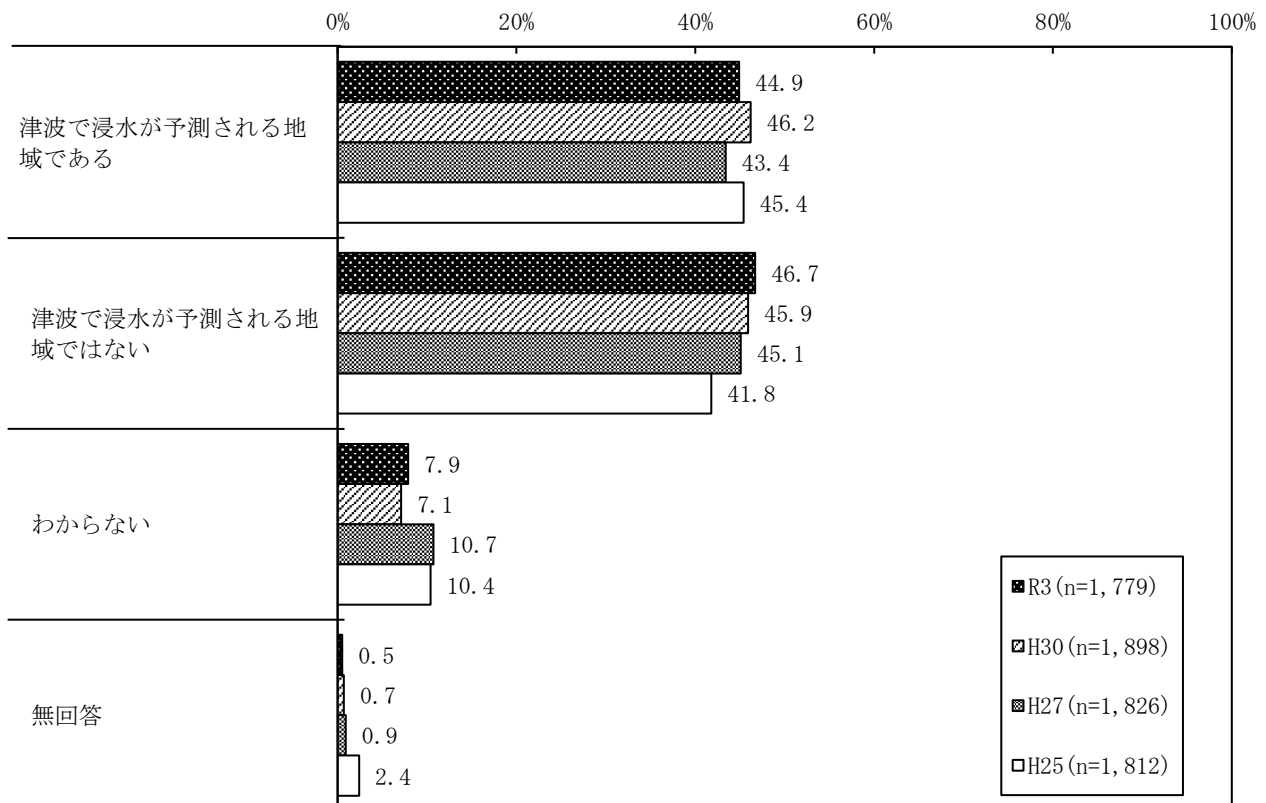
上段：人数
下段：%



問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな変化はない。

	上段：人数 下段：%				
	津波で浸水が予測される地域である	津波で浸水が予測される地域ではない	わからない	無回答	合計
R3	799 44.9	831 46.7	140 7.9	9 0.5	1,779 100.0
H30	877 46.2	872 45.9	135 7.1	14 0.7	1,898 100.0
H27	792 43.4	823 45.1	195 10.7	16 0.9	1,826 100.0
H25	823 45.4	758 41.8	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0



問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

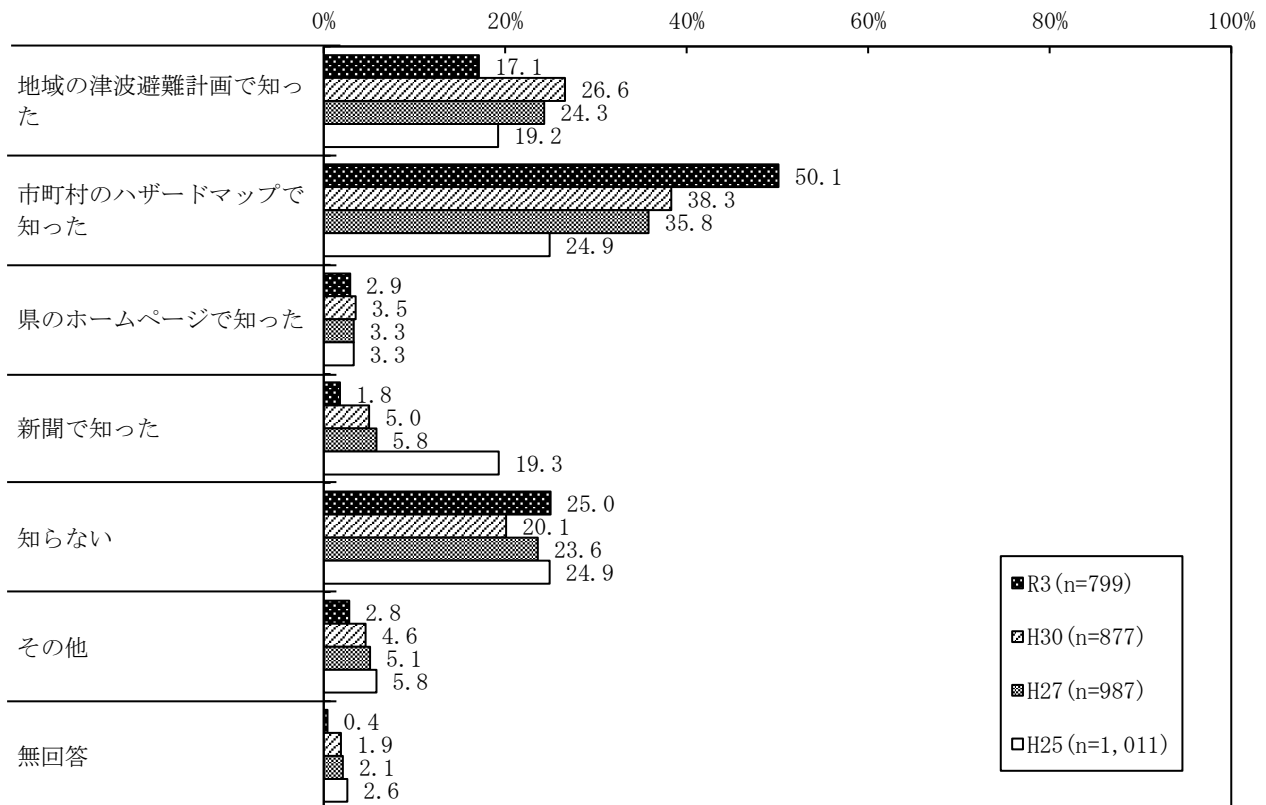
「市町村のハザードマップで知った」が年々増加しており、令和3年度は平成25年度の24.9%と比べると25.2ポイントの増加となっている。

逆に、「地域の津波避難計画で知った」は17.1%と各年度の中で最も低くなっている。

	上段：人数 下段：%							
	地域の津波避難計画で知った	市町村のハザードマップで知った	県のホームページで知った	新聞で知った	知らない	その他	無回答	合計
R3	137 17.1	400 50.1	23 2.9	14 1.8	200 25.0	22 2.8	3 0.4	799 100.0
H30 ^{※1}	233 26.6	336 38.3	31 3.5	44 5.0	176 20.1	40 4.6	17 1.9	877 100.0
H27 ^{※2}	240 24.3	353 35.8	33 3.3	57 5.8	233 23.6	50 5.1	21 2.1	987 100.0
H25 ^{※2}	194 19.2	252 24.9	33 3.3	195 19.3	252 24.9	59 5.8	26 2.6	1,011 100.0

※1 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

「揺れがおさまった後、すぐに」が令和3年度は70.8%と、平成16年度以降最も高く、逆に「津波警報が出たら」は平成16年度以降最も低くなっている。これは津波に対する避難活動の開始を迅速に行い、身の安全を守るという意識が定着してきた結果と考えられる。

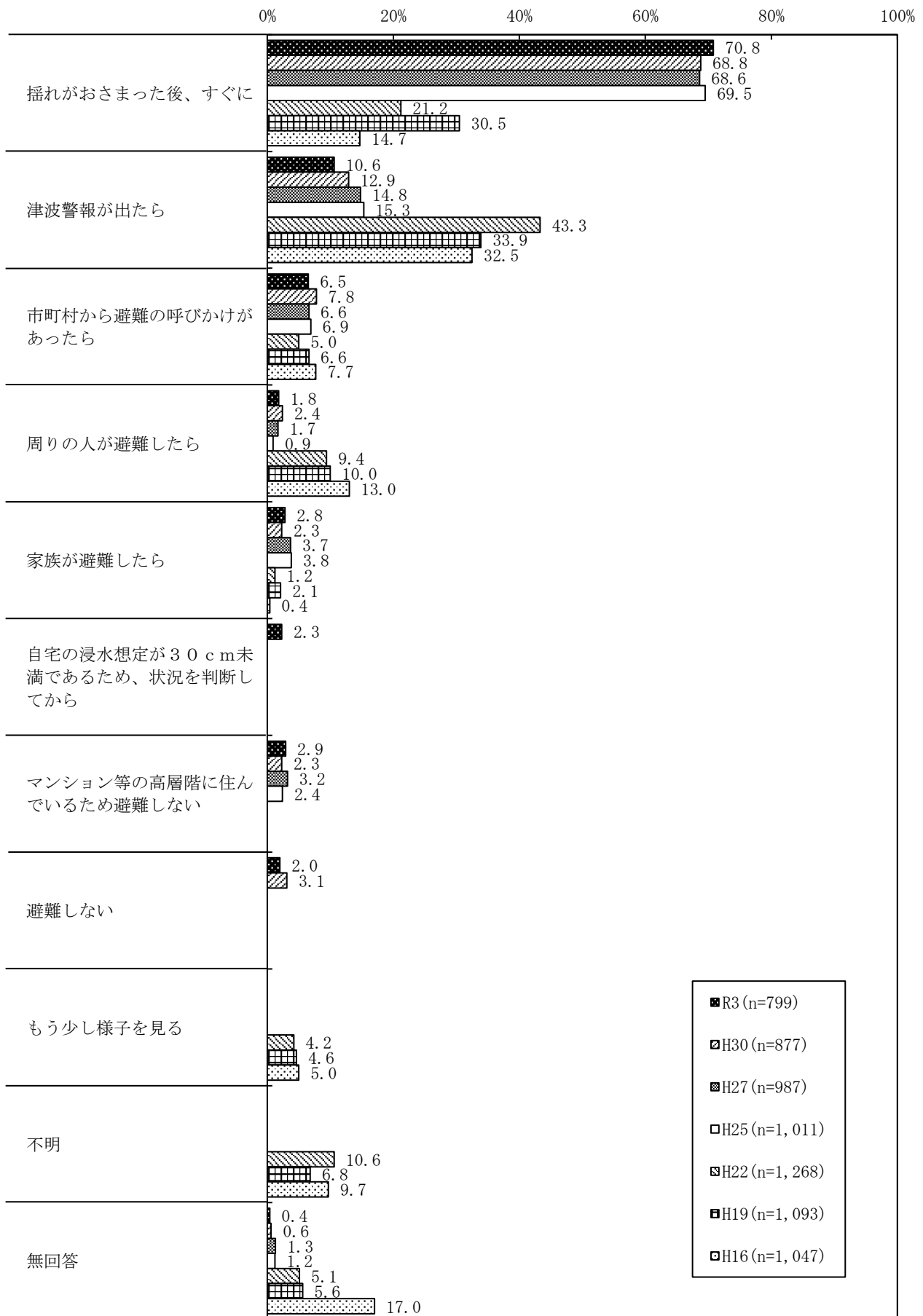
上段：人数
下段：%

	揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら ^{※1}	家族が避難したら	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	避難しない	もう少し様子を見る	不明	無回答	合計
R3	566 70.8	85 10.6	52 6.5	14 1.8	22 2.8	18 2.3	23 2.9	16 2.0	- -	- -	3 0.4	799 100.0
H30 ^{※2}	603 68.8	113 12.9	68 7.8	21 2.4	20 2.3	- -	20 2.3	27 3.1	- -	- -	5 0.6	877 100.0
H27 ^{※3}	677 68.6	146 14.8	65 6.6	17 1.7	37 3.7	- -	32 3.2	- -	- -	- -	13 1.3	987 100.0
H25 ^{※3}	703 69.5	155 15.3	70 6.9	9 0.9	38 3.8	- -	24 2.4	- -	- -	- -	12 1.2	1,011 100.0
H22	269 21.2	549 43.3	63 5.0	119 9.4	15 1.2	- -	- -	- -	53 4.2	134 10.6	65 5.1	1,268 100.0
H19	333 30.5	371 33.9	72 6.6	109 10.0	23 2.1	- -	- -	- -	50 4.6	74 6.8	61 5.6	1,093 100.0
H16	154 14.7	340 32.5	81 7.7	136 13.0	4 0.4	- -	- -	- -	52 5.0	102 9.7	178 17.0	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「近所の人が避難したら」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※3 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数

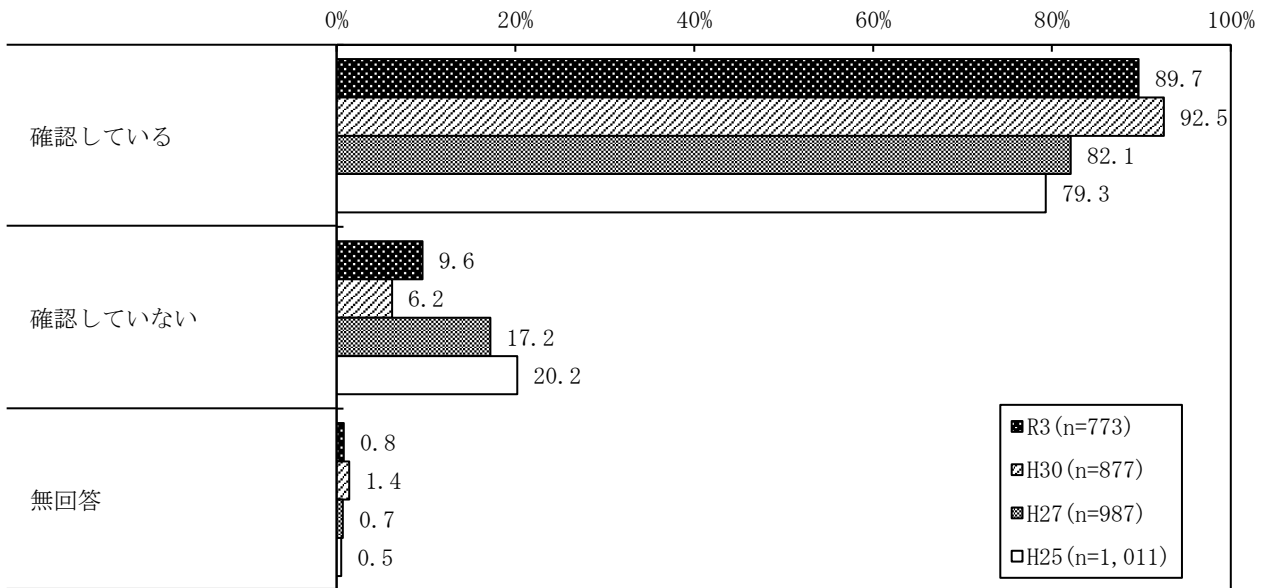


問14 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

「確認している」は、平成25年度から平成30年度までは、割合が高くなってきていたが、令和3年度では、平成30年度と比べて2.8ポイント減っており、さらなる周知徹底が求められる。

上段：人数
下段：%

	確認している	確認していない	無回答	合計
R3	693 89.7	74 9.6	6 0.8	773 100.0
H30	811 92.5	54 6.2	12 1.4	877 100.0
H27	810 82.1	170 17.2	7 0.7	987 100.0
H25	802 79.3	204 20.2	5 0.5	1,011 100.0



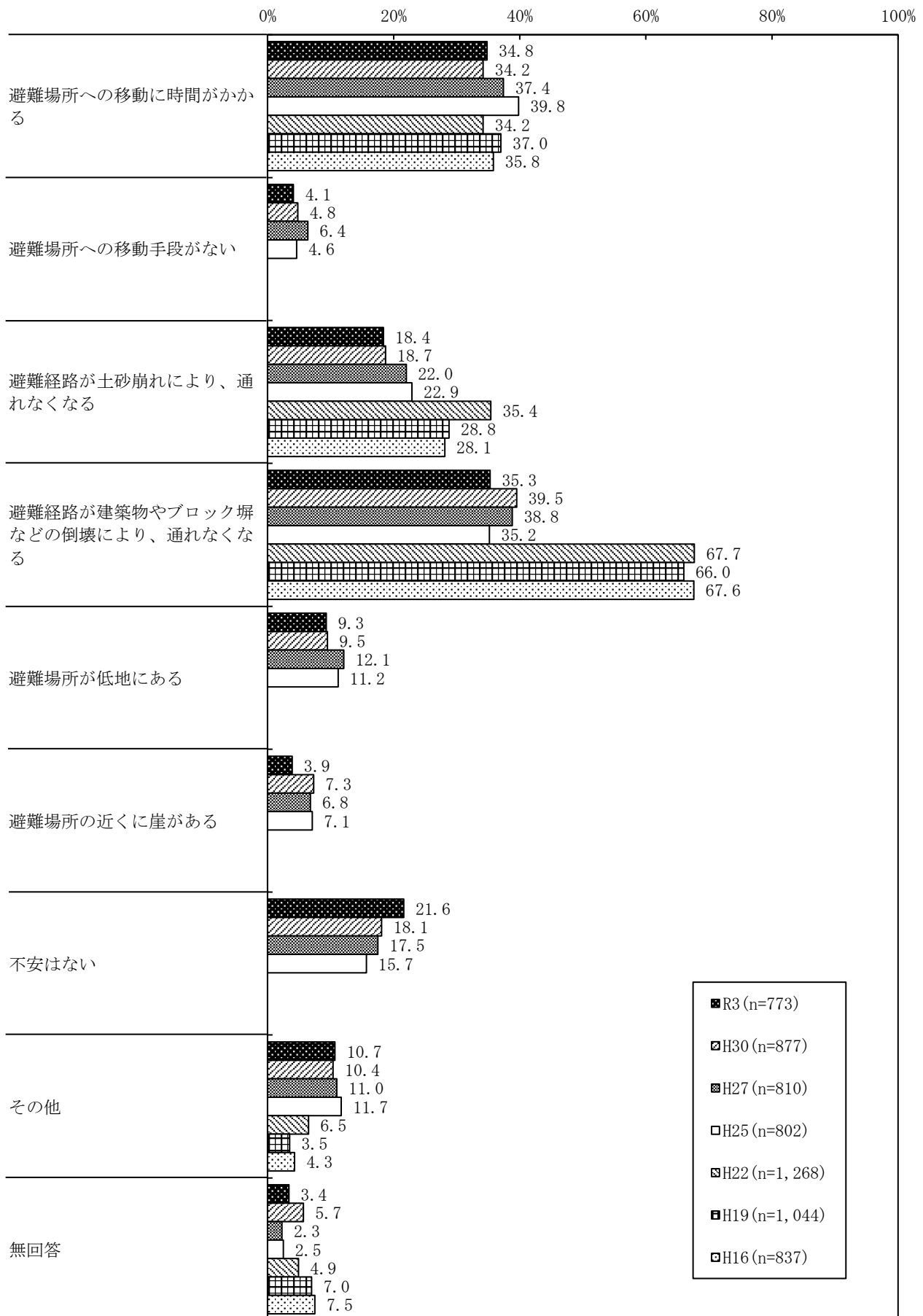
問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

「不安はない」は、平成25年以降割合が高くなってきている。「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」は、平成22年度以降割合が低くなってきている。

上段：人数
下段：%

	避難場所への移動に時間がかかる	避難場所への移動手段がない	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	避難場所が低地にある	避難場所の近くに崖がある	不安はない	その他	無回答	合計
R3	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4	773
H30※ ₁	300 34.2	42 4.8	164 18.7	346 39.5	83 9.5	64 7.3	159 18.1	91 10.4	50 5.7	877
H27※ ₁	303 37.4	52 6.4	178 22.0	314 38.8	98 12.1	55 6.8	142 17.5	89 11.0	19 2.3	810
H25※ ₁	319 39.8	37 4.6	184 22.9	282 35.2	90 11.2	57 7.1	126 15.7	94 11.7	20 2.5	802
H22	434 34.2	- -	449 35.4	858 67.7	- -	- -	- -	82 6.5	62 4.9	1,268
H19	386 37.0	- -	301 28.8	689 66.0	- -	- -	- -	37 3.5	73 7.0	1,044
H16	300 35.8	- -	235 28.1	566 67.6	- -	- -	- -	36 4.3	63 7.5	837

※1 「津波からの避難場所を確認している」と答えた人数

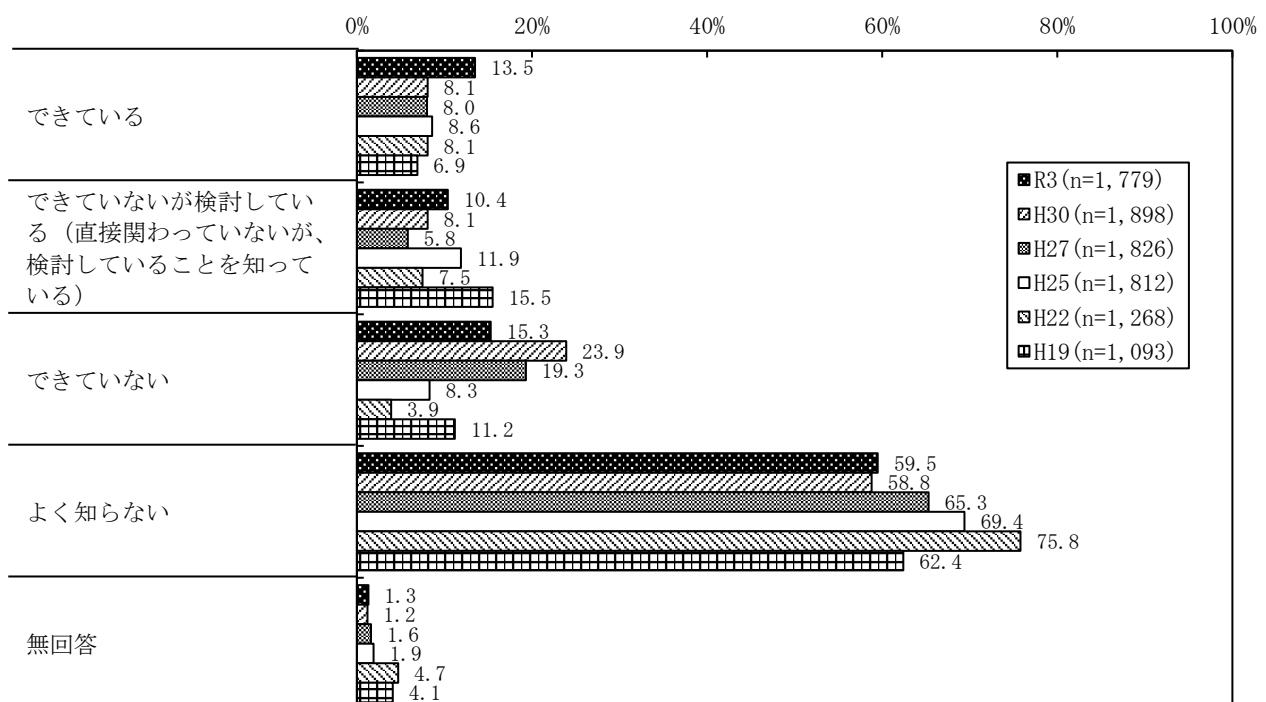


問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。（ひとつだけ〇）

「できている」が平成19年度以降最も高くなっており、「できていない」は低くなっている。
 「よく知らない」は、平成19年以降常に50%以上を占めており、更なる支援体制等の周知徹底が必要である。

上段：人数
 下段：%

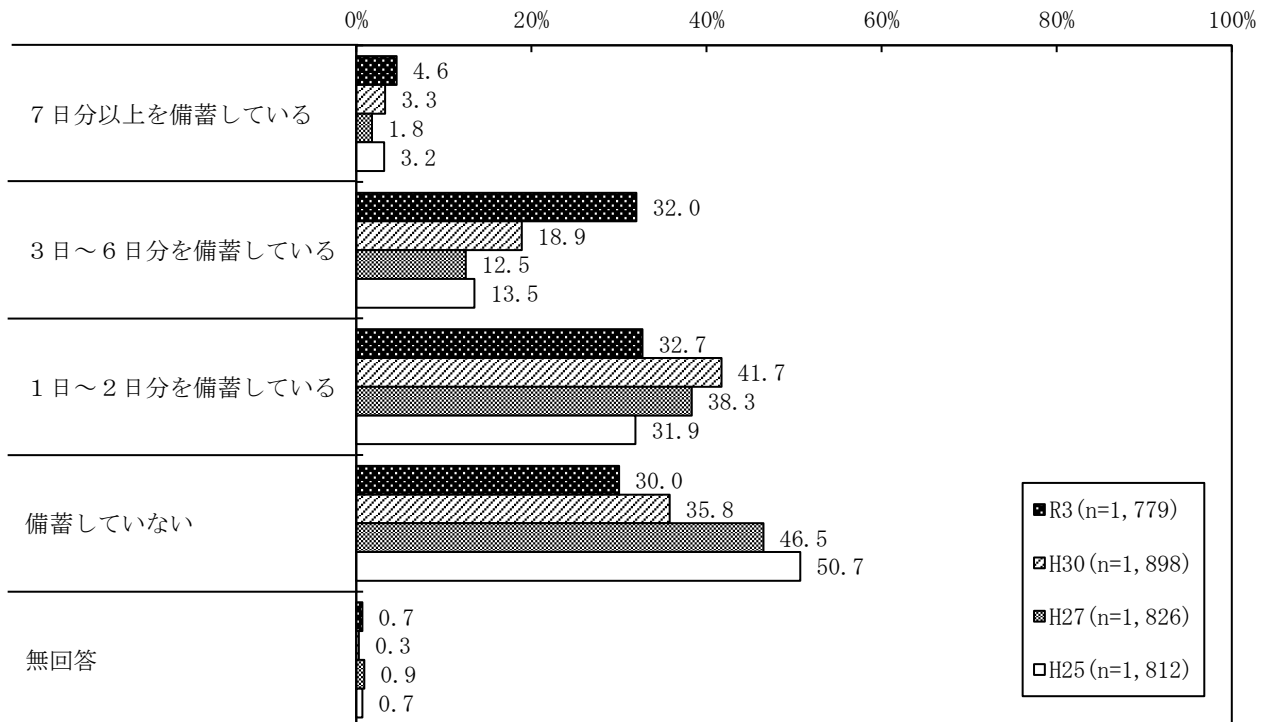
	できている	できていないが検討している (直接関わっていないが、検討していることを知っている)	できていない	よく知らない	無回答	合計
R3	240 13.5	185 10.4	272 15.3	1,058 59.5	24 1.3	1,779 100.0
H30	153 8.1	154 8.1	453 23.9	1,116 58.8	22 1.2	1,898 100.0
H27	146 8.0	106 5.8	353 19.3	1,192 65.3	29 1.6	1,826 100.0
H25	155 8.6	215 11.9	150 8.3	1,257 69.4	35 1.9	1,812 100.0
H22	101 8.1	88 7.5	63 3.9	963 75.8	63 4.7	1,268 100.0
H19	77 6.9	175 15.5	120 11.2	677 62.4	44 4.1	1,093 100.0



問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含まれます。)(ひとつだけ○)

令和3年度では、「7日分以上を備蓄している」、「3日～6日分を備蓄している」の割合が高くなっており、特に「3日～6日分を備蓄している」では、平成30年度と比較して13.1ポイント増加している。「備蓄していない」は年々低くなっている。

	上段：人数 下段：%					合計
	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している	備蓄していない	無回答	
R3	82 4.6	570 32.0	582 32.7	533 30.0	12 0.7	1,779 100.0
H30	63 3.3	358 18.9	792 41.7	680 35.8	5 0.3	1,898 100.0
H27	33 1.8	228 12.5	699 38.3	849 46.5	17 0.9	1,826 100.0
H25	58 3.2	245 13.5	578 31.9	918 50.7	13 0.7	1,812 100.0



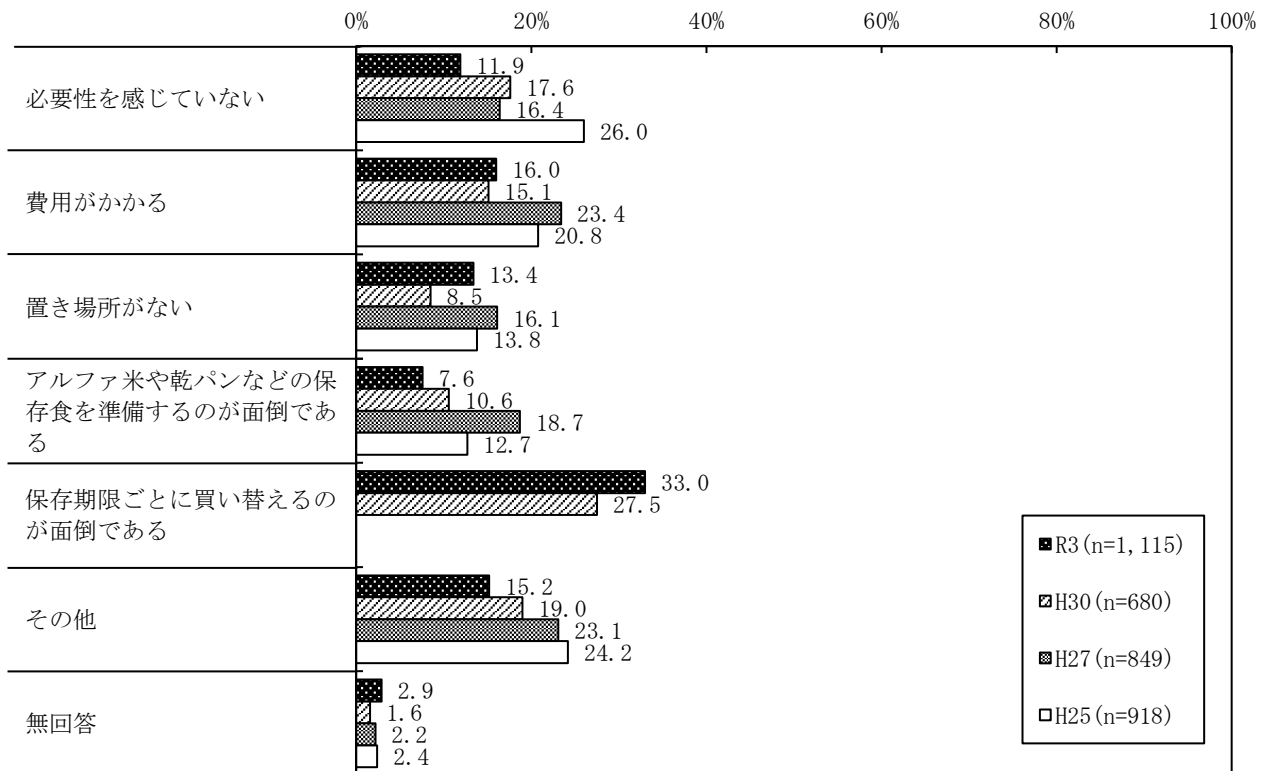
問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

平成30年度に続き、「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高くなっている。

	上段：人数 下段：%							
	必要性を感じていない	費用がかかる	置き場所がない	アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である※ ₁	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である※ ₂	その他	無回答	合計
R3	133 11.9	178 16.0	149 13.4	85 7.6	368 33.0	170 15.2	32 2.9	1,115 100.0
H30	120 17.6	103 15.1	58 8.5	72 10.6	187 27.5	129 19.0	11 1.6	680 100.0
H27	139 16.4	199 23.4	137 16.1	159 18.7	- -	196 23.1	19 2.2	849 100.0
H25	239 26.0	191 20.8	127 13.8	117 12.7	- -	222 24.2	22 2.4	918 100.0

※1 平成30年度以前は「手間がかかる」と答えた人数

※2 平成30年度は「賞味期限があるため」と答えた人数

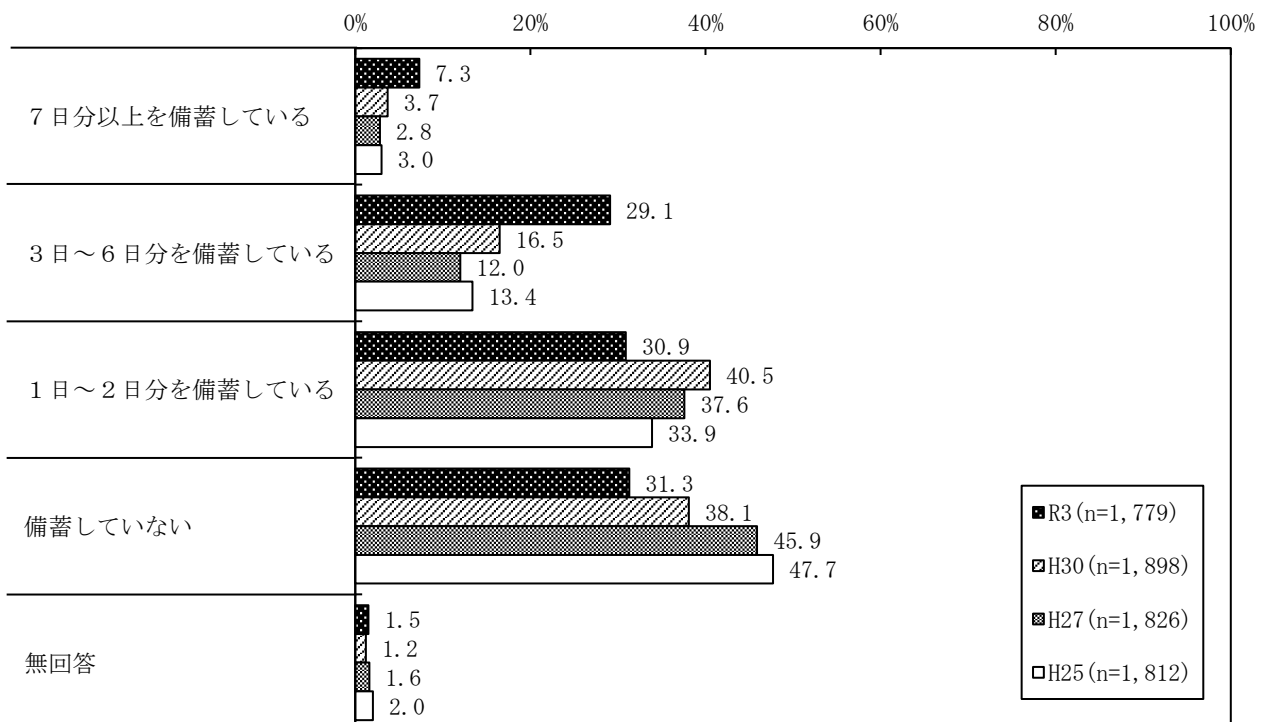


問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)(ひとつだけ○)

食料品の傾向と同じく「3日～6日分を備蓄している」が平成30年度と比較して12.6ポイント増加しており、「備蓄していない」は年々減少している。

上段：人数
下段：%

	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している	備蓄していない	無回答	合計
R3	129 7.3	518 29.1	549 30.9	557 31.3	26 1.5	1,779 100.0
H30	71 3.7	313 16.5	768 40.5	724 38.1	22 1.2	1,898 100.0
H27	52 2.8	220 12.0	686 37.6	839 45.9	29 1.6	1,826 100.0
H25	54 3.0	242 13.4	614 33.9	865 47.7	37 2.0	1,812 100.0



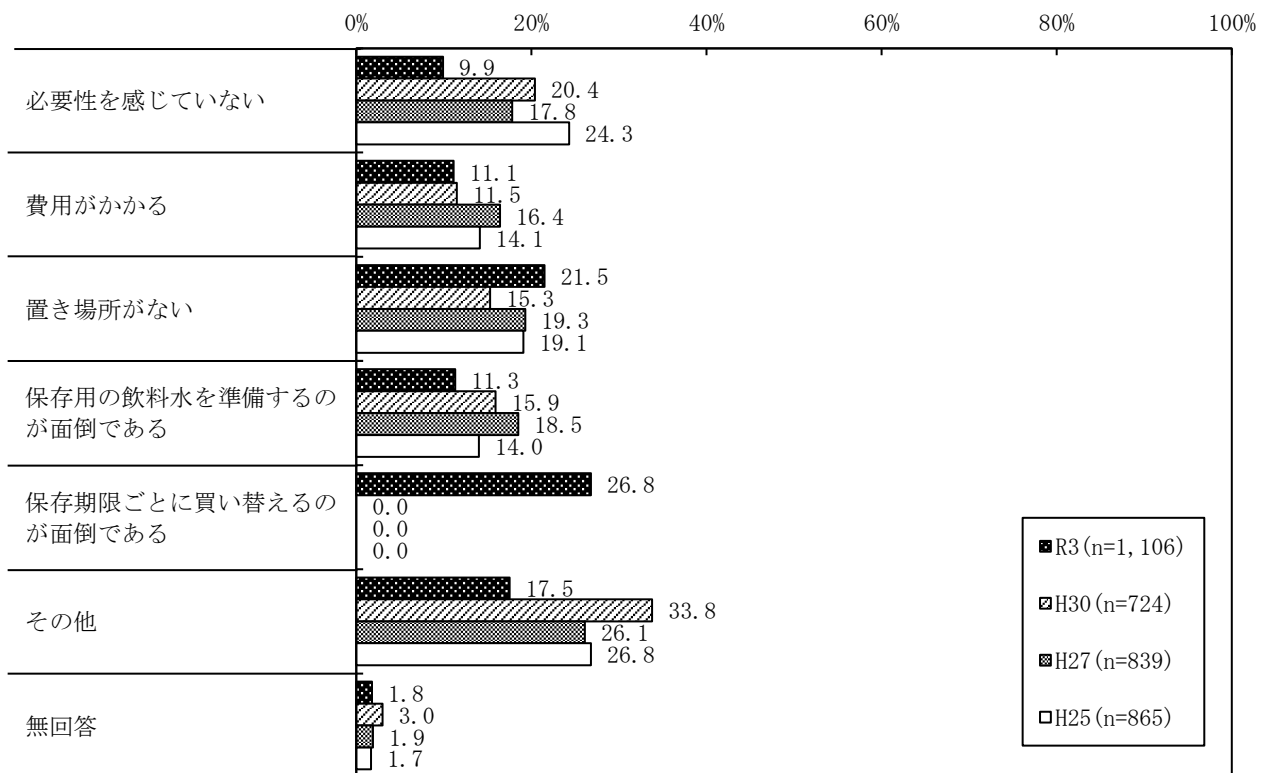
問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

令和3年度は、平成25年以降高い割合だった「必要性を感じていない」が10.5ポイント減少し、新規項目の「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高くなっている。

	必要性を感じていない	費用がかかる	置き場所がない	保存用の飲料水を準備するのが面倒である※1	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	その他	無回答	合計
R3	110 9.9	123 11.1	238 21.5	125 11.3	296 26.8	194 17.5	20 1.8	1,106 100.0
H30	148 20.4	83 11.5	111 15.3	115 15.9	- -	245 33.8	22 3.0	724 100.0
H27	149 17.8	138 16.4	162 19.3	155 18.5	- -	219 26.1	16 1.9	839 100.0
H25	210 24.3	122 14.1	165 19.1	121 14.0	- -	232 26.8	15 1.7	865 100.0

上段：人数
下段：%

※1 平成30年度以降は「手間がかかる」と答えた人数



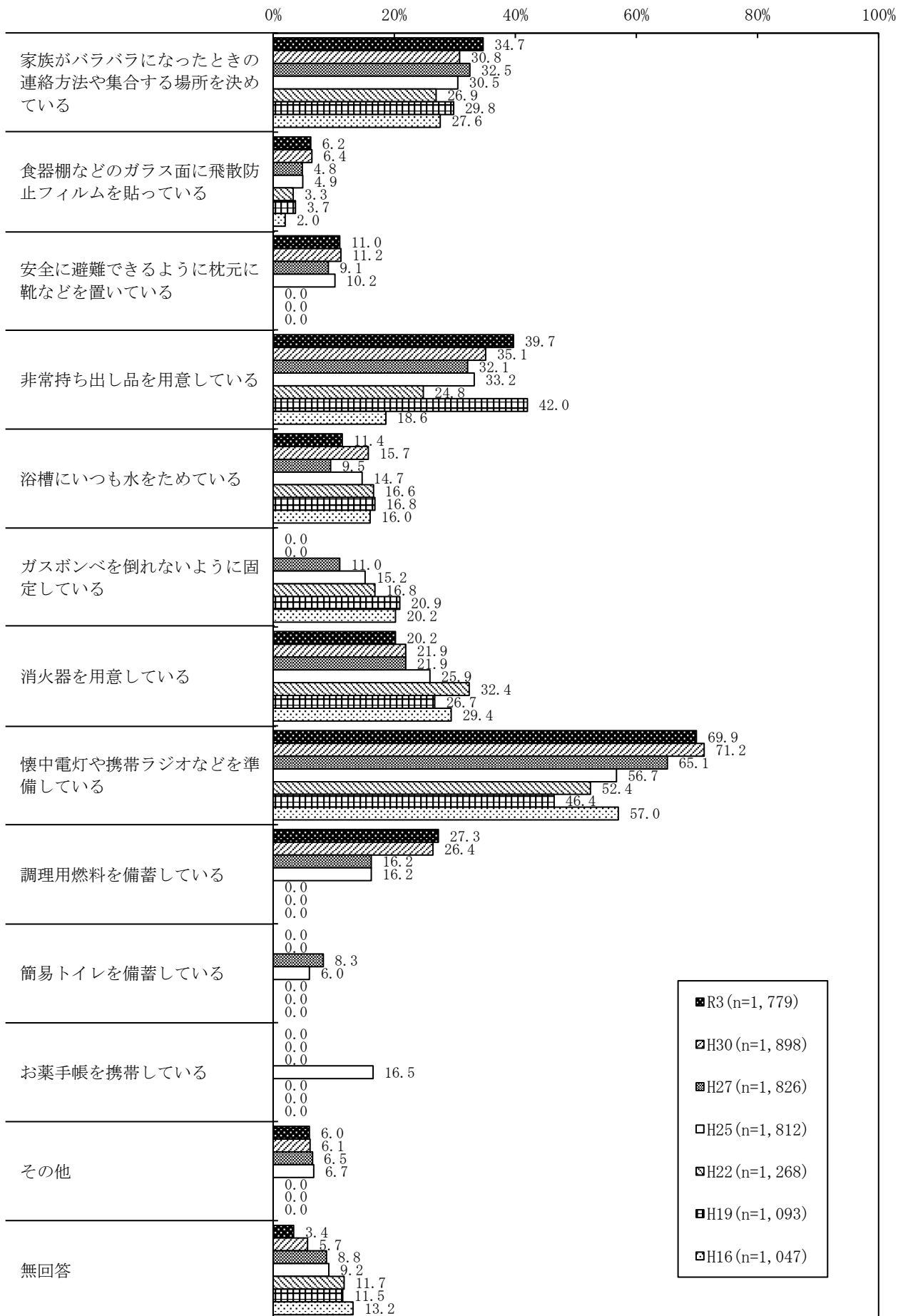
問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	非常持ち出し品を用意している	浴槽にいつも水をためている	ガスボンベを倒れないように固定している	消火器を用意している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	調理用燃料を備蓄している	簡易トイレを備蓄している	お薬手帳を携帯している	その他	無回答	合計
R3	618 34.7	111 6.2	196 11.0	706 39.7	202 11.4	- -	359 20.2	1,243 69.9	486 27.3	- -	- -	107 6.0	60 3.4	1,779
H30	585 30.8	121 6.4	212 11.2	667 35.1	298 15.7	- -	415 21.9	1,352 71.2	501 26.4	- -	- -	115 6.1	109 5.7	1,898
H27	594 32.5	87 4.8	166 9.1	587 32.1	173 9.5	200 11.0	399 21.9	1,189 65.1	296 16.2	151 8.3	- -	119 6.5	161 8.8	1,826
H25	552 30.5	88 4.9	185 10.2	601 33.2	266 14.7	276 15.2	469 25.9	1,028 56.7	294 16.2	109 6.0	299 16.5	122 6.7	167 9.2	1,812
H22	341 26.9	42 3.3	- -	314 24.8	210 16.6	213 16.8	411 32.4	664 52.4	- -	- -	- -	- -	148 11.7	1,268
H19	326 29.8	40 3.7	- -	459 42.0	184 16.8	228 20.9	292 26.7	507 46.4	- -	- -	- -	- -	126 11.5	1,093
H16	289 27.6	21 2.0	- -	195 18.6	168 16.0	211 20.2	308 29.4	597 57.0	- -	- -	- -	- -	138 13.2	1,047

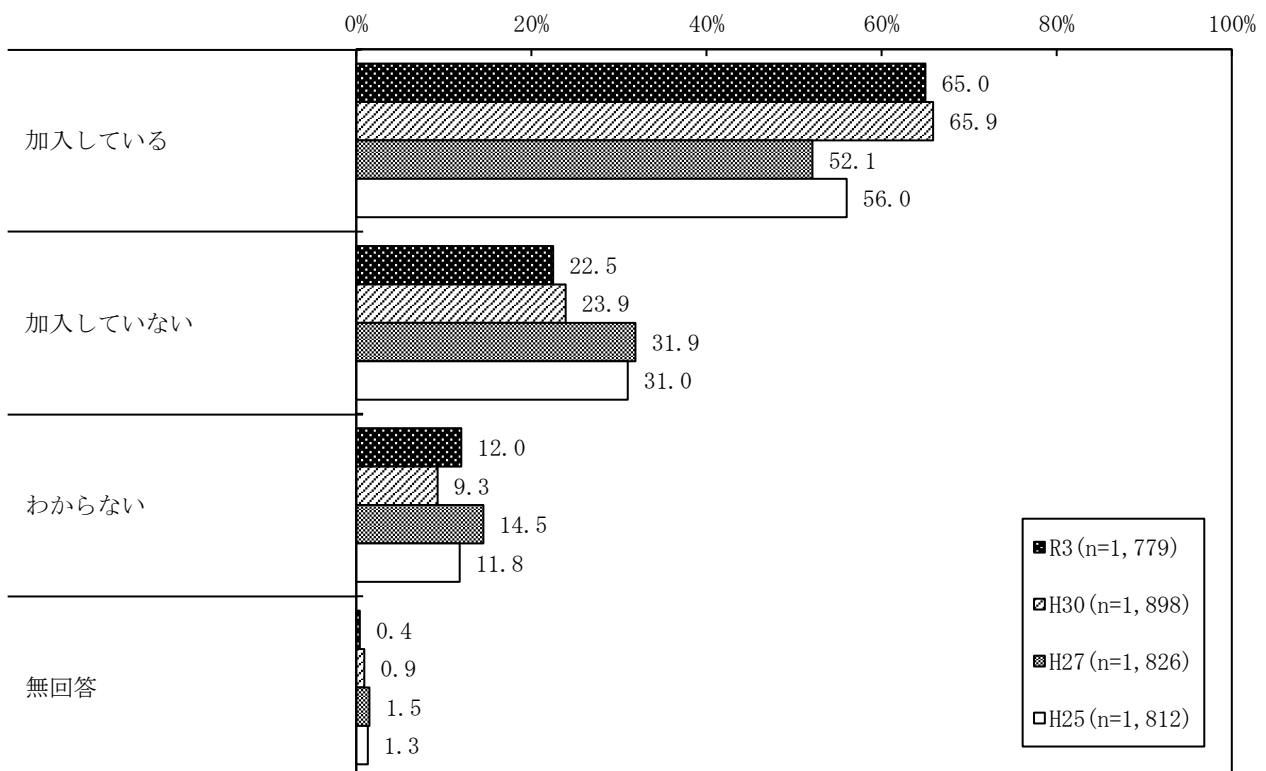


問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

「加入していない」が平成25年以降割合が減少している。

上段：人数
下段：%

	加入している	加入していない	わからない	無回答	合計
R3	1,156 65.0	401 22.5	214 12.0	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,250 65.9	454 23.9	176 9.3	18 0.9	1,898 100.0
H27	952 52.1	582 31.9	264 14.5	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,014 56.0	561 31.0	214 11.8	23 1.3	1,812 100.0



問32 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

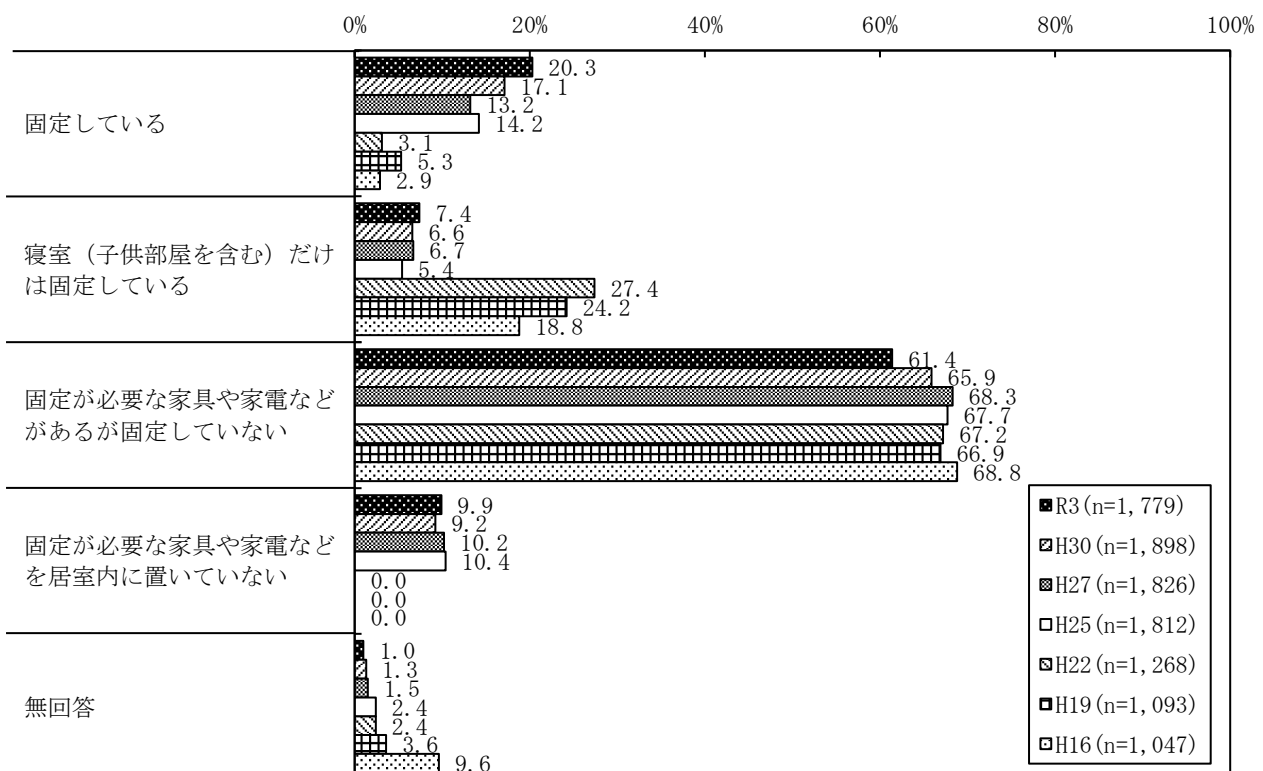
「固定している」は、平成27年度以降高くなってきているが割合はまだ低く、各年度とも「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高いため、さらなる啓発が必要である。

	固定している	寝室（子供部屋を含む） だけは固定している※ ₁	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない※ ₂	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	無回答	合計
R3	361 20.3	131 7.4	1,093 61.4	176 9.9	18 1.0	1,779 100.0
H30	324 17.1	125 6.6	1,251 65.9	174 9.2	24 1.3	1,898 100.0
H27	241 13.2	123 6.7	1,248 68.3	186 10.2	28 1.5	1,826 100.0
H25	257 14.2	98 5.4	1,226 67.7	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0
H22	39 3.1	347 27.4	852 67.2	-	30 2.4	1,268 100.0
H19	58 5.3	265 24.2	731 66.9	-	39 3.6	1,093 100.0
H16	30 2.9	197 18.8	720 68.8	-	100 9.6	1,047 100.0

上段：人数
下段：%

※1 平成22年度以前は「一部固定している」と答えた人数

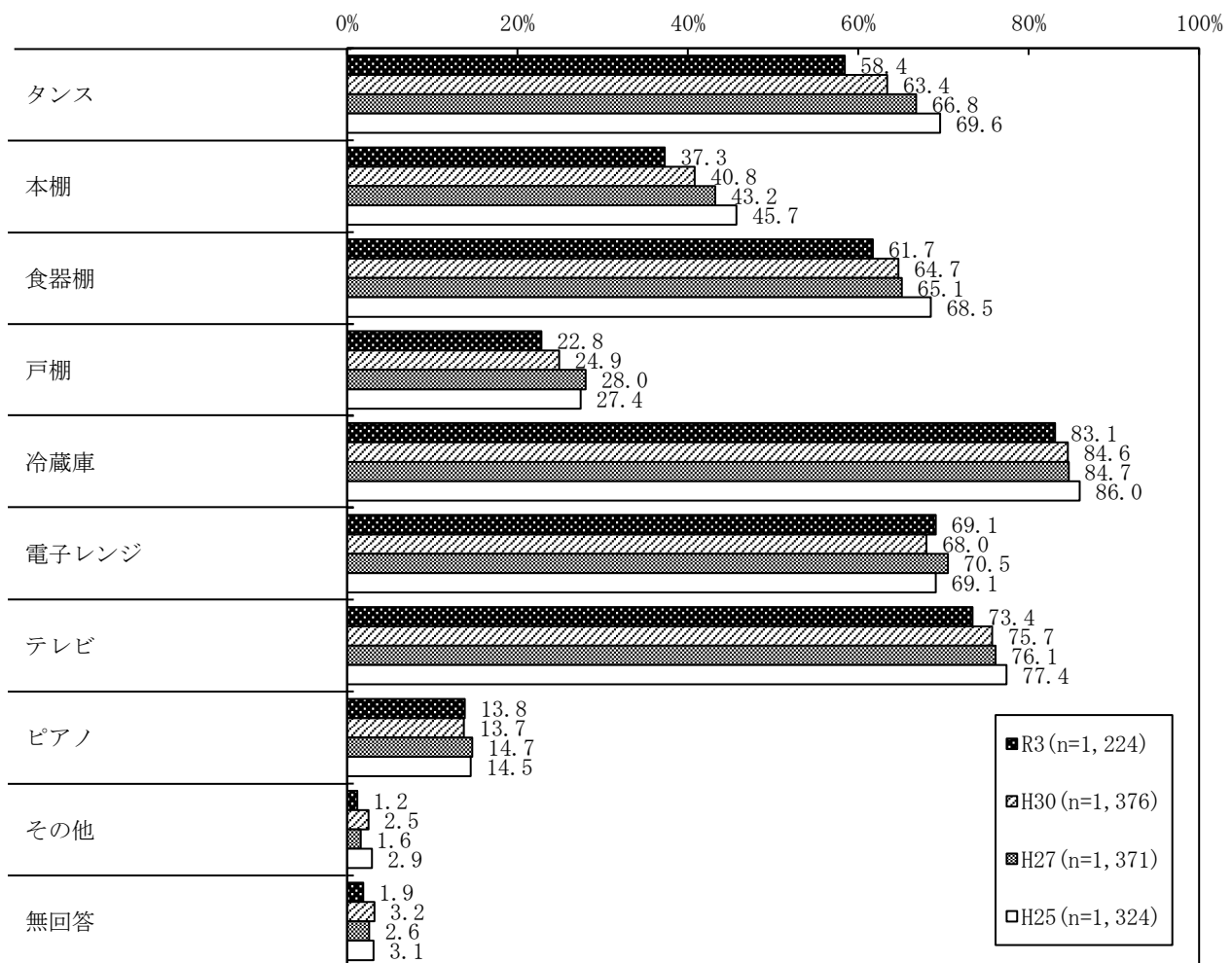
※2 平成22年度以前は「固定していない」と答えた人数



問33 問32で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。固定していない家具や家電などとは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

大きく、重い「冷蔵庫」、「テレビ」、「電子レンジ」は依然として高い割合のままであり、従来通りの啓発方法では効果が少なく、新しい施策が必要と思われる。一方、「タンス」、「本棚」などは年々割合が減少している。

	上段：人数										合計
	下段：%										
	タンス	本棚	食器棚	戸棚	冷蔵庫	電子レンジ	テレビ	ピアノ	その他	無回答	
R3	715 58.4	456 37.3	755 61.7	279 22.8	1,017 83.1	846 69.1	898 73.4	169 13.8	15 1.2	23 1.9	1,224
H30※1	873 63.4	561 40.8	890 64.7	342 24.9	1,164 84.6	936 68.0	1,041 75.7	188 13.7	35 2.5	44 3.2	1,376
H27	916 66.8	592 43.2	892 65.1	384 28.0	1,161 84.7	967 70.5	1,043 76.1	202 14.7	22 1.6	36 2.6	1,371
H25	921 69.6	605 45.7	907 68.5	363 27.4	1,138 86.0	915 69.1	1,025 77.4	192 14.5	39 2.9	41 3.1	1,324



問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

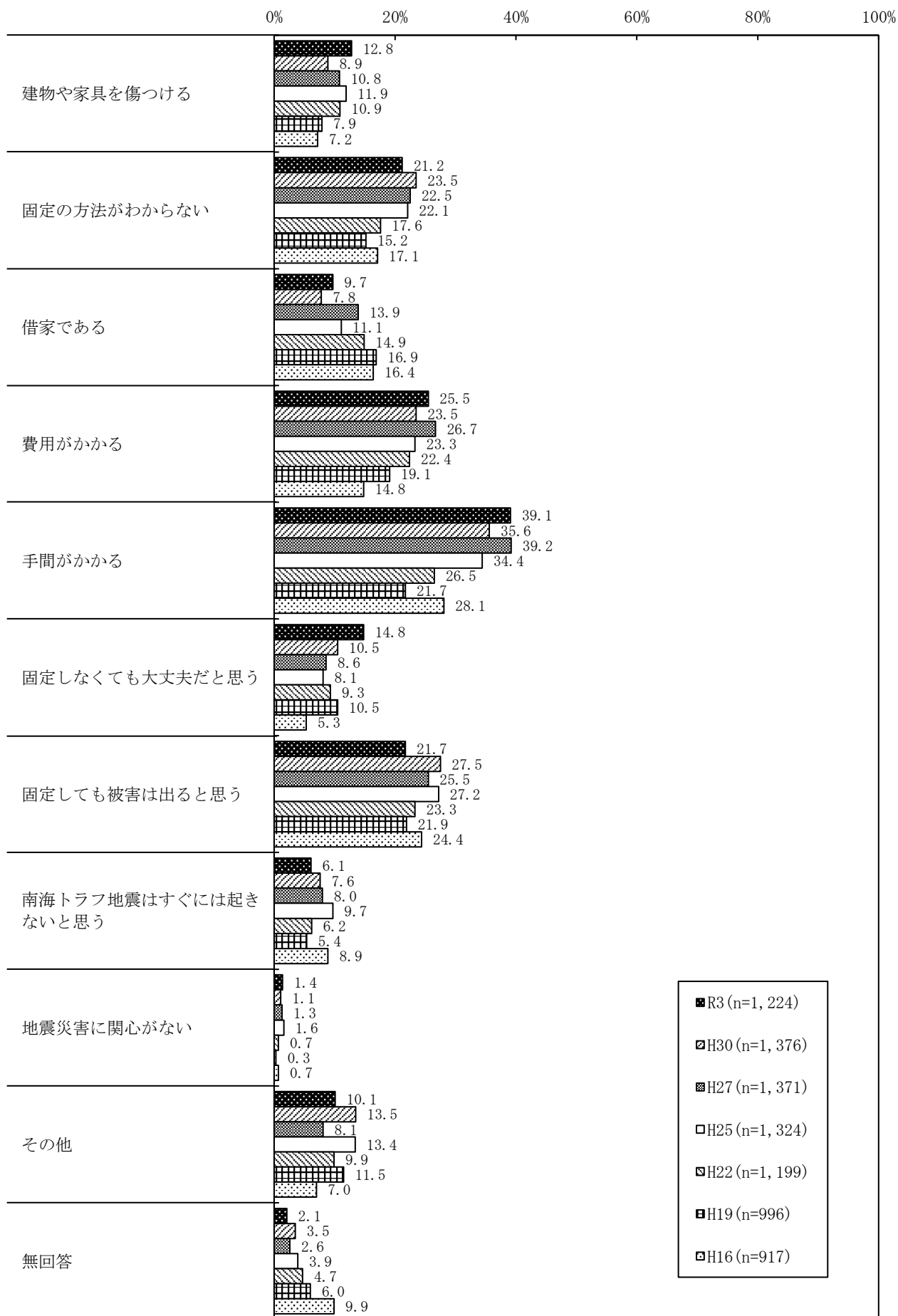
各年度とも「手間がかかる」が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

	建物や家具を傷つける	固定の方法がわからない	借家である	費用がかかる	手間がかかる	固定しなくても大丈夫だと思う	固定しても被害は出ると思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答	合計
R3	157 12.8	259 21.2	119 9.7	312 25.5	479 39.1	181 14.8	265 21.7	75 6.1	17 1.4	124 10.1	26 2.1	1,224
H30※1	122 8.9	324 23.5	108 7.8	323 23.5	490 35.6	144 10.5	378 27.5	105 7.6	15 1.1	186 13.5	48 3.5	1,376
H27※1	148 10.8	309 22.5	191 13.9	366 26.7	538 39.2	118 8.6	350 25.5	109 8.0	18 1.3	111 8.1	36 2.6	1,371
H25※1	158 11.9	293 22.1	147 11.1	308 23.3	455 34.4	107 8.1	360 27.2	128 9.7	21 1.6	178 13.4	51 3.9	1,324
H22※2	131 10.9	211 17.6	179 14.9	269 22.4	318 26.5	112 9.3	279 23.3	74 6.2	8 0.7	119 9.9	56 4.7	1,199
H19※2	79 7.9	151 15.2	168 16.9	190 19.1	216 21.7	105 10.5	218 21.9	54 5.4	3 0.3	115 11.5	60 6.0	996
H16※2	66 7.2	157 17.1	150 16.4	136 14.8	258 28.1	49 5.3	224 24.4	82 8.9	6 0.7	64 7.0	91 9.9	917

※1 「寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」・「固定が必要な家具や家電はあるが固定していない」と答えた人数

※2 「固定はしていない」・「一部固定している」と答えた人数

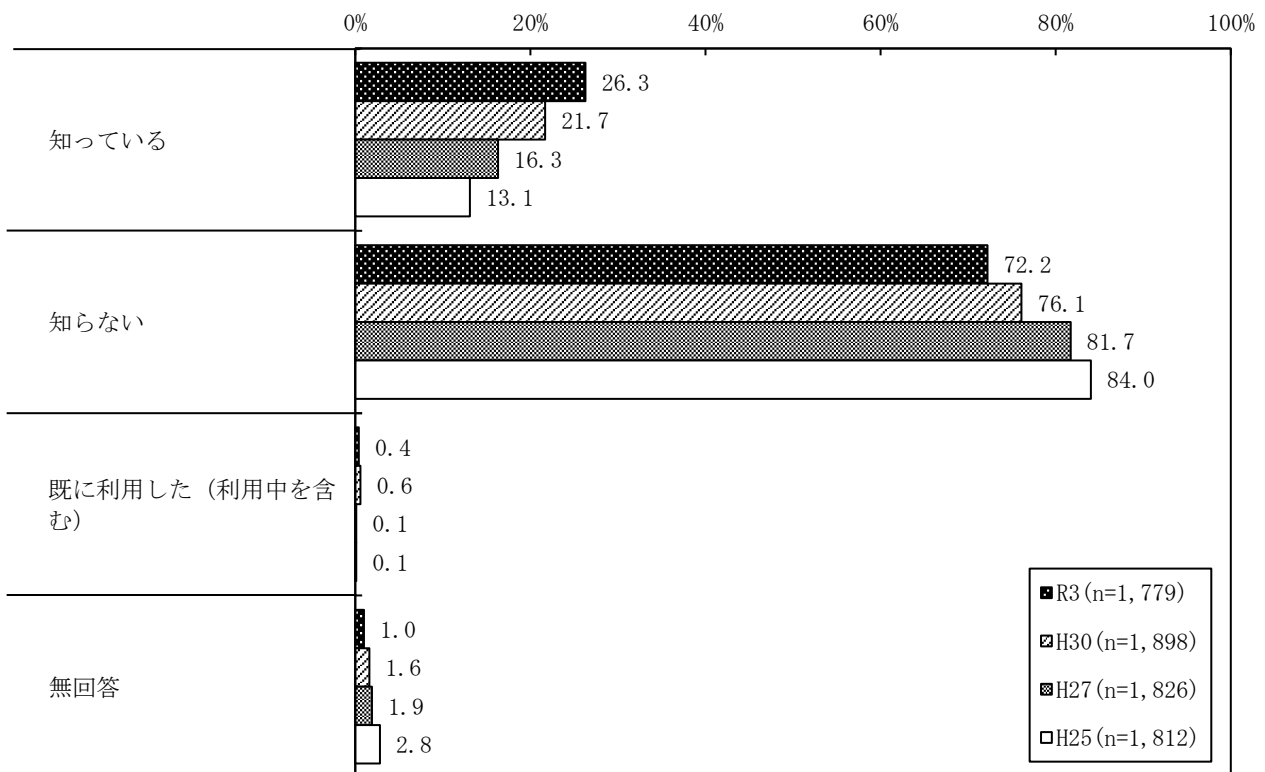


問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は年々増加しており、令和3年度では26.3%となっており、平成25年度の13.1%から13.2ポイント増加している。

	上段：人数				合計
	下段：%				
	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	
R3	468 26.3	1,285 72.2	8 0.4	18 1.0	1,779 100.0
H30	411 21.7	1,445 76.1	12 0.6	30 1.6	1,898 100.0
H27	298 16.3	1,491 81.7	2 0.1	35 1.9	1,826 100.0
H25	238 13.1	1,522 84.0	1 0.1	51 2.8	1,812 100.0



問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

平成25年以降「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」が増加している。

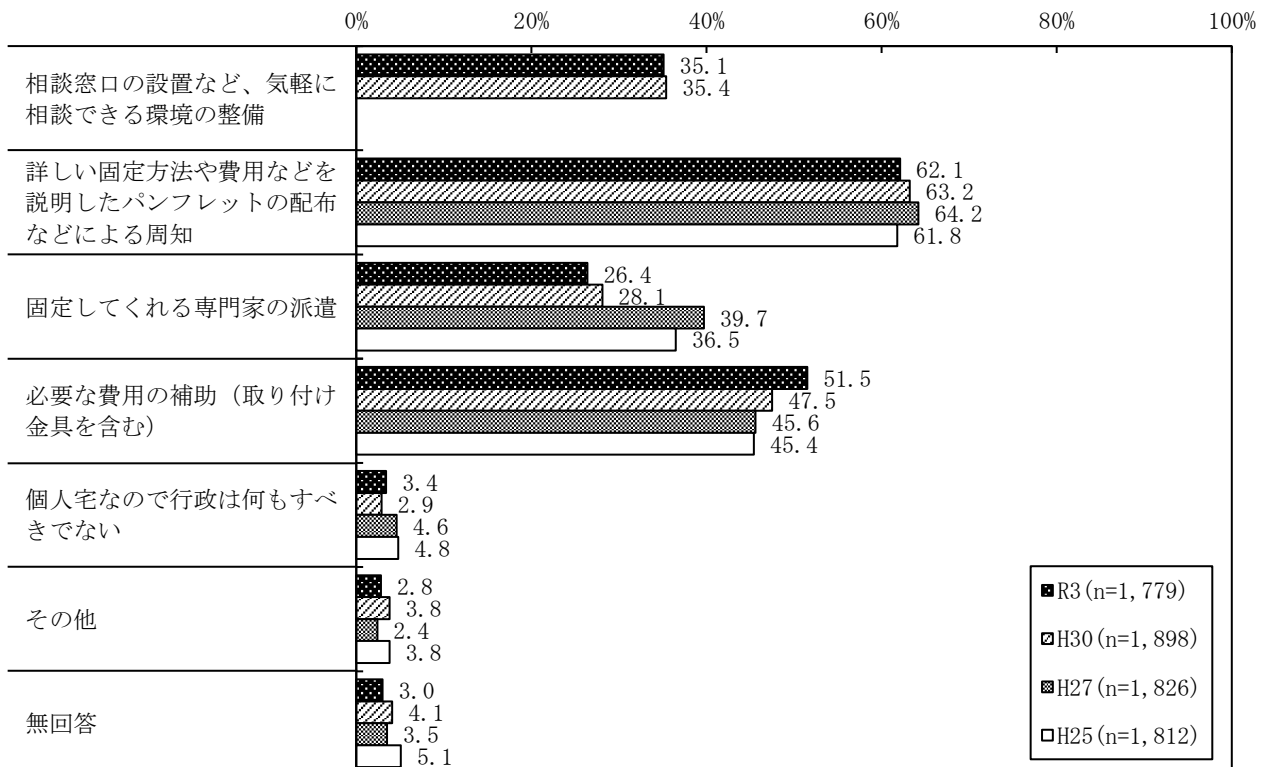
各年度とも「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっており、更なる周知徹底必要である。

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知 ^{※1}	固定してくれる専門家の派遣 ^{※2}	必要な費用の補助（取り付け金具を含む）	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R3	625 35.1	1,104 62.1	469 26.4	917 51.5	61 3.4	49 2.8	53 3.0	1,779
H30	672 35.4	1,200 63.2	533 28.1	901 47.5	55 2.9	72 3.8	78 4.1	1,898
H27	- -	1,173 64.2	725 39.7	833 45.6	84 4.6	43 2.4	63 3.5	1,826
H25	- -	1,119 61.8	661 36.5	823 45.4	87 4.8	69 3.8	92 5.1	1,812

上段：人数
下段：%

※1 平成27年度以前は「詳しい方法や費用の広報」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「無料で固定してくれる専門家の派遣」と答えた人数

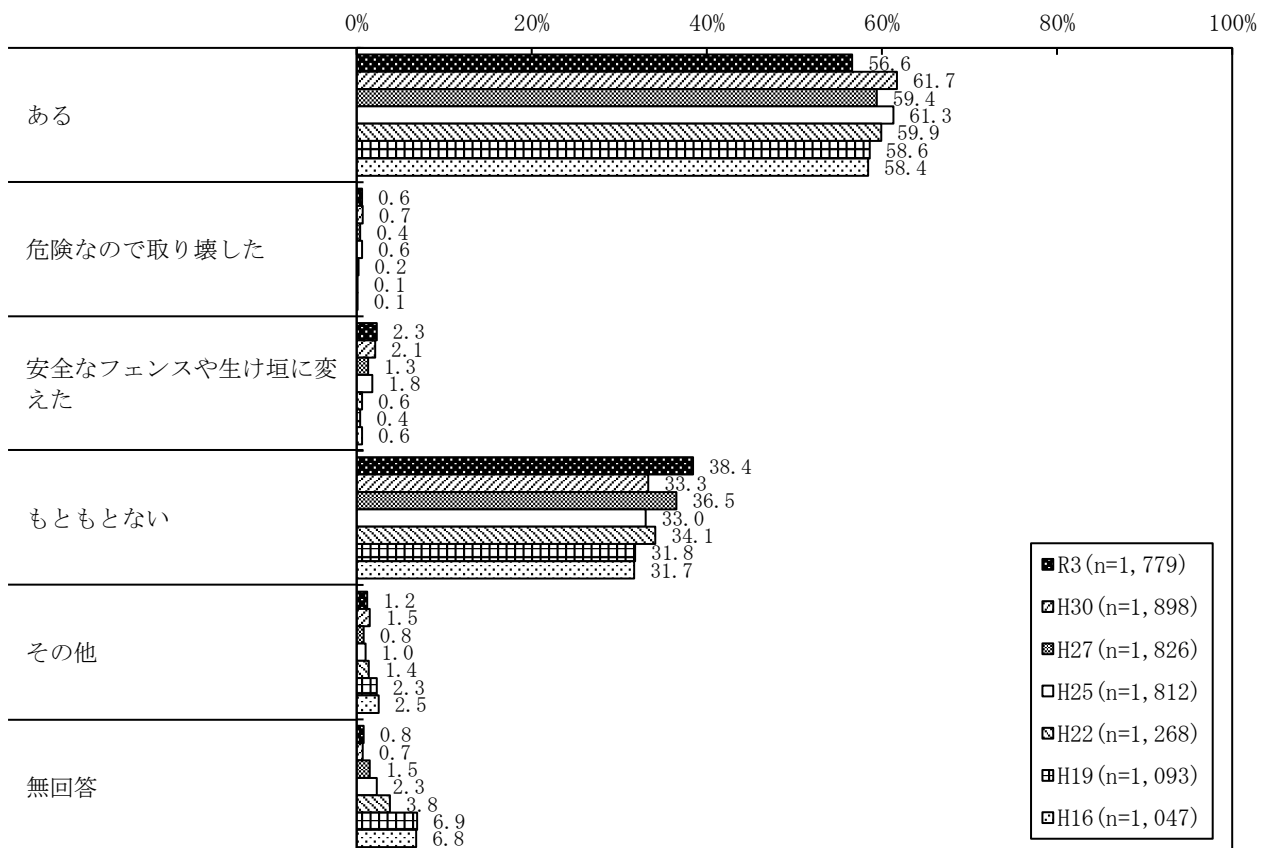


問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

各年代とも大きな差はないが、「ある」が56.6%と各年代の中で最も低くなっている。

	ある	危険なので取り壊した	安全なフェンスや生け垣に変えた	もともとない	その他	無回答	合計
R3	1,007 56.6	11 0.6	41 2.3	684 38.4	22 1.2	14 0.8	1,779 100.0
H30	1,172 61.7	13 0.7	39 2.1	632 33.3	28 1.5	14 0.7	1,898 100.0
H27	1,085 59.4	8 0.4	24 1.3	666 36.5	15 0.8	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,111 61.3	10 0.6	32 1.8	598 33.0	19 1.0	42 2.3	1,812 100.0
H22	760 59.9	3 0.2	8 0.6	432 34.1	18 1.4	48 3.8	1,268 100.0
H19	640 58.6	1 0.1	4 0.4	348 31.8	25 2.3	75 6.9	1,093 100.0
H16	611 58.4	1 0.1	6 0.6	331 31.7	26 2.5	71 6.8	1,047 100.0

上段：人数
下段：%



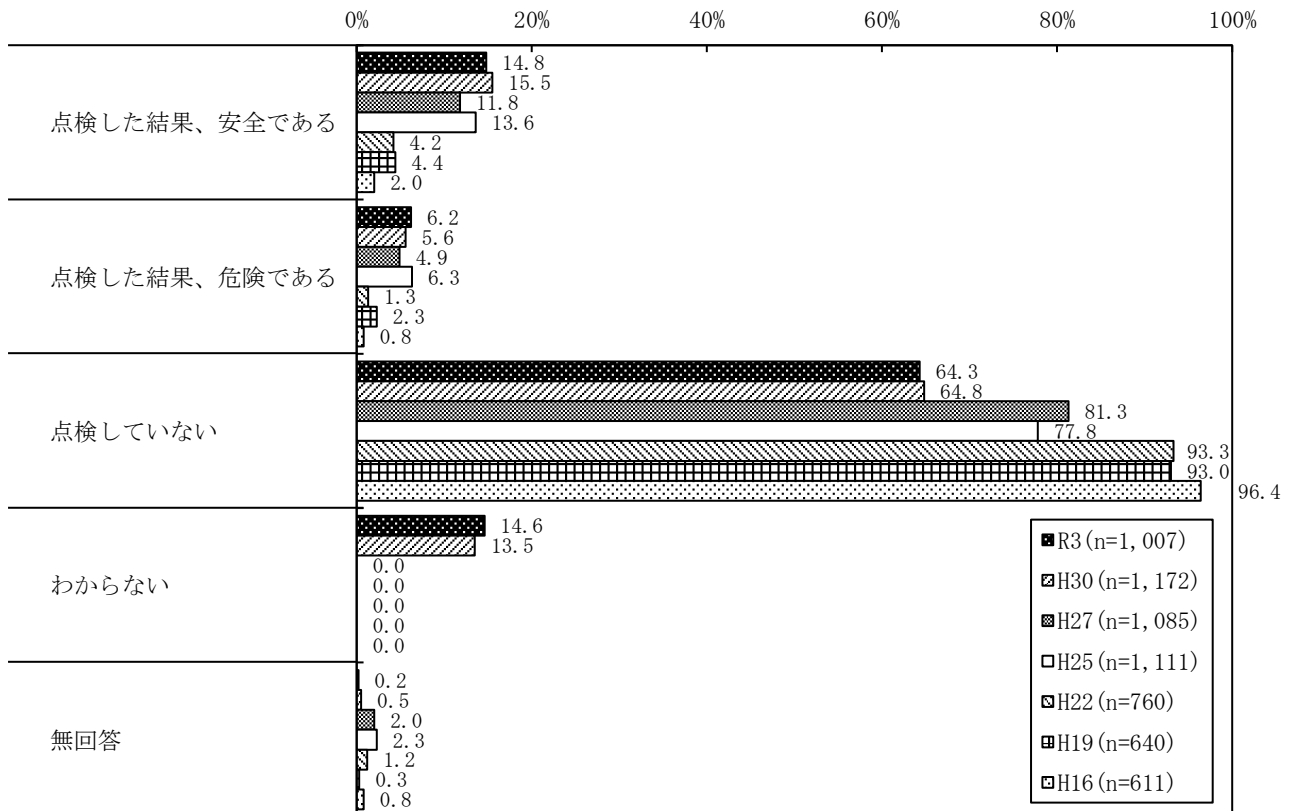
問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

各年度とも「点検していない」が最も高く、令和3年度でも64.3%となっているが、平成16年度以降減少の傾向にある。

	点検した結果、安全である	点検した結果、危険である	点検していない	わからない	無回答	合計
R3	149 14.8	62 6.2	647 64.3	147 14.6	2 0.2	1,007 100.0
H30 ^{※1}	182 15.5	66 5.6	760 64.8	158 13.5	6 0.5	1,172 100.0
H27 ^{※1}	128 11.8	53 4.9	882 81.3	-	22 2.0	1,085 100.0
H25 ^{※1}	151 13.6	70 6.3	864 77.8	-	26 2.3	1,111 100.0
H22	32 4.2	10 1.3	709 93.3	-	9 1.2	760 100.0
H19	28 4.4	15 2.3	595 93.0	-	2 0.3	640 100.0
H16	12 2.0	5 0.8	589 96.4	-	5 0.8	611 100.0

上段：人数
下段：%

※1 「敷地にブロック塀や石塀・門柱などがある」と答えた人数



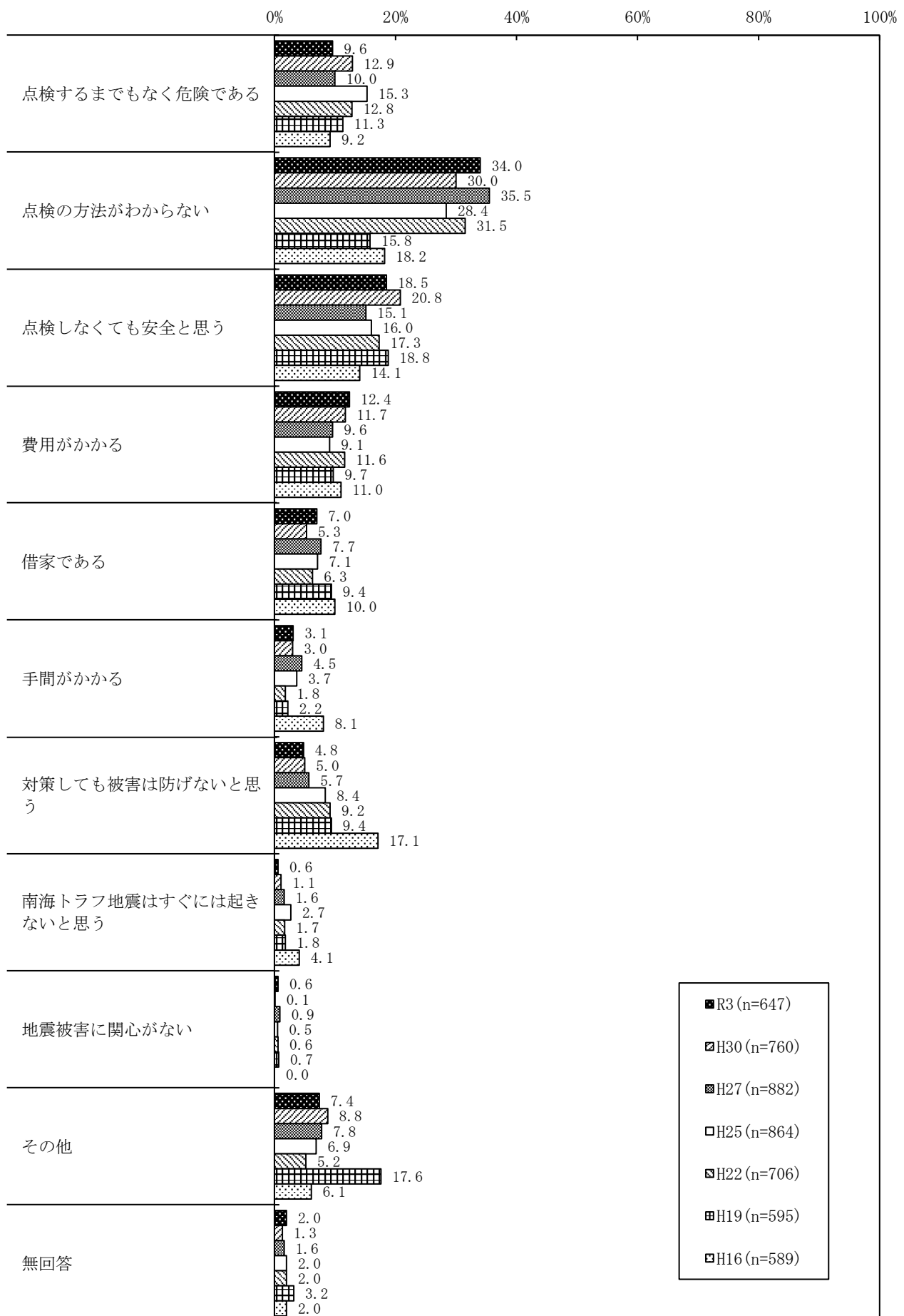
問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

「点検の方法がわからない」は令和3年度では、平成30年度と比べると4ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	点検するまでもなく危険である	点検の方法がわからない	点検しなくても安全と思う	費用がかかる	借家である	手間がかかる	対策しても被害は防げないと思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震被害に関心がない	その他	無回答	合計
R3	62 9.6	220 34.0	120 18.5	80 12.4	45 7.0	20 3.1	31 4.8	4 0.6	4 0.6	48 7.4	13 2.0	647 100.0
H30※1	98 12.9	228 30.0	158 20.8	89 11.7	40 5.3	23 3.0	38 5.0	8 1.1	1 0.1	67 8.8	10 1.3	760 100.0
H27※1	88 10.0	313 35.5	133 15.1	85 9.6	68 7.7	40 4.5	50 5.7	14 1.6	8 0.9	69 7.8	14 1.6	882 100.0
H25※1	132 15.3	245 28.4	138 16.0	79 9.1	61 7.1	32 3.7	73 8.4	23 2.7	4 0.5	60 6.9	17 2.0	864 100.0
H22※2	90 12.8	222 31.5	122 17.3	82 11.6	45 6.3	13 1.8	65 9.2	12 1.7	4 0.6	37 5.2	14 2.0	706 100.0
H19※2	67 11.3	94 15.8	112 18.8	58 9.7	56 9.4	13 2.2	56 9.4	11 1.8	4 0.7	105 17.6	19 3.2	595 100.0
H16※2	54 9.2	107 18.2	83 14.1	65 11.0	59 10.0	48 8.1	101 17.1	24 4.1	0 0.0	36 6.1	12 2.0	589 100.0

※1 「ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の点検をしていない」と答えた人数

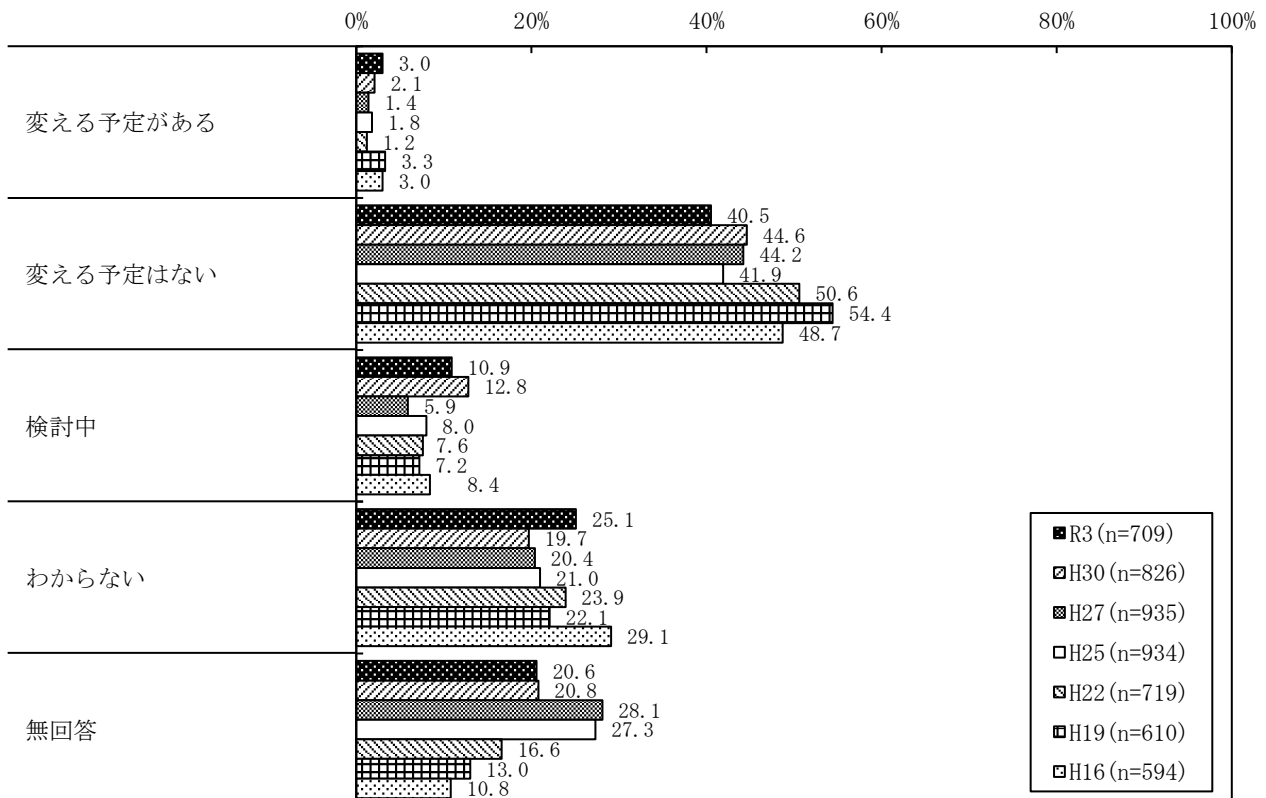


問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

「変える予定はない」は平成16年度以降で最も少なくなっている。
また、「わからない」は25.1%と平成19年度以降で最も高くなっている。

	上段：人数		下段：%			
	定がある予	定はない予	検討中	いわからな	無回答	合計
R3	21 3.0	287 40.5	77 10.9	178 25.1	146 20.6	709 100.0
H30 ^{※1}	17 2.1	368 44.6	106 12.8	163 19.7	172 20.8	826 100.0
H27 ^{※1}	13 1.4	413 44.2	55 5.9	191 20.4	263 28.1	935 100.0
H25 ^{※1}	17 1.8	391 41.9	75 8.0	196 21.0	255 27.3	934 100.0
H22	9 1.2	364 50.6	55 7.6	172 23.9	120 16.6	719 100.0
H19	20 3.3	332 54.4	44 7.2	135 22.1	79 13.0	610 100.0
H16	18 3.0	289 48.7	50 8.4	173 29.1	64 10.8	594 100.0

※1 ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の「点検をした結果、危険である」・「点検をしていない」と答えた人数

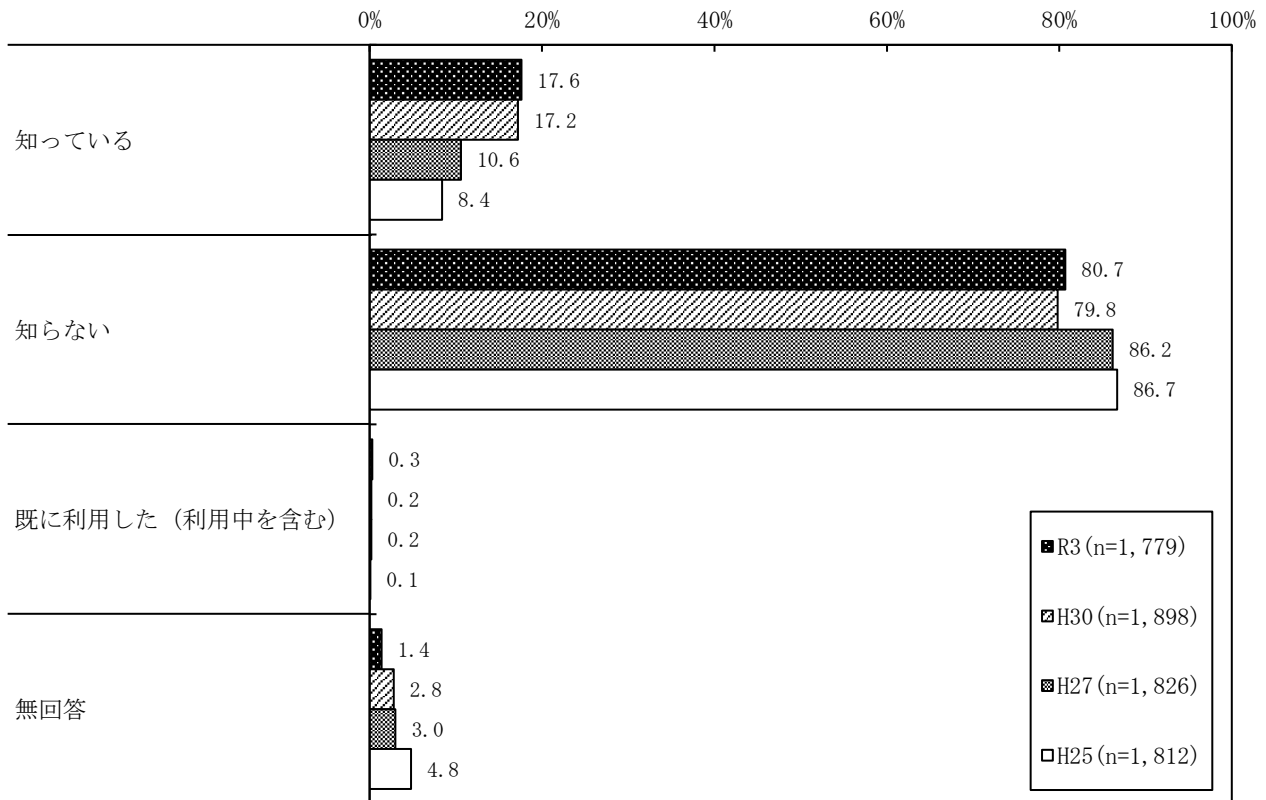


問42 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしていますがご存知ですか。（ひとつだけ○）

平成30年度と大きく変わっていない。

	知っている	知らない	既に利用した（利用中を含む）	無回答	合計
R3	313 17.6	1,435 80.7	6 0.3	25 1.4	1,779 100.0
H30	326 17.2	1,515 79.8	3 0.2	54 2.8	1,898 100.0
H27	193 10.6	1,574 86.2	4 0.2	55 3.0	1,826 100.0
H25	152 8.4	1,571 86.7	2 0.1	87 4.8	1,812 100.0

上段：人数
下段：%



問43 問42で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

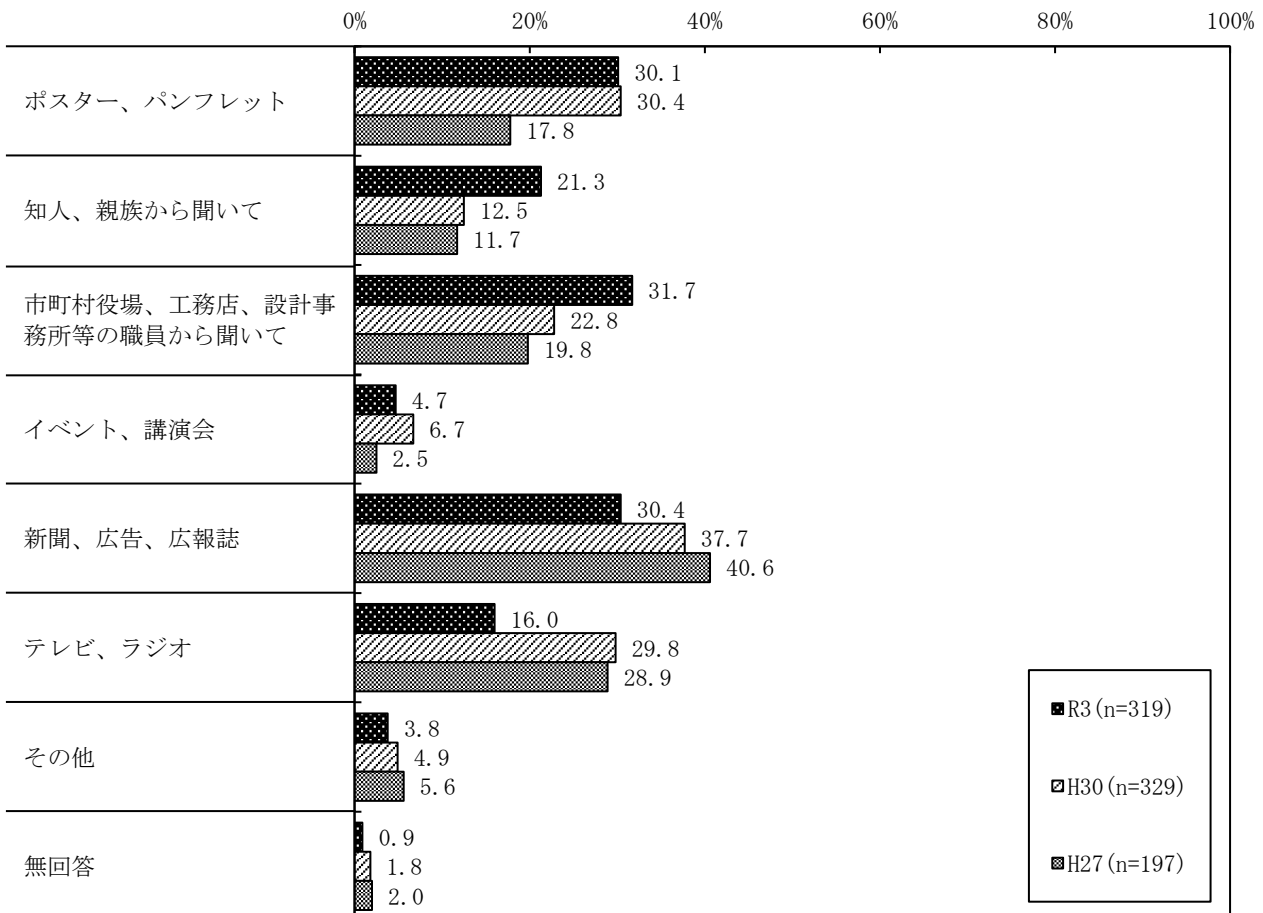
平成30年度と比較すると、「新聞、広告、広報誌」が7.3ポイント、「テレビ、ラジオ」が13.8ポイント減少している。

一方、「知人、親族から聞いて」は8.8ポイント、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が8.9ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて※1	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R3	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9	319
H30	100 30.4	41 12.5	75 22.8	22 6.7	124 37.7	98 29.8	16 4.9	6 1.8	329
H27	35 17.8	23 11.7	39 19.8	5 2.5	80 40.6	57 28.9	11 5.6	4 2.0	197

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数



問44 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

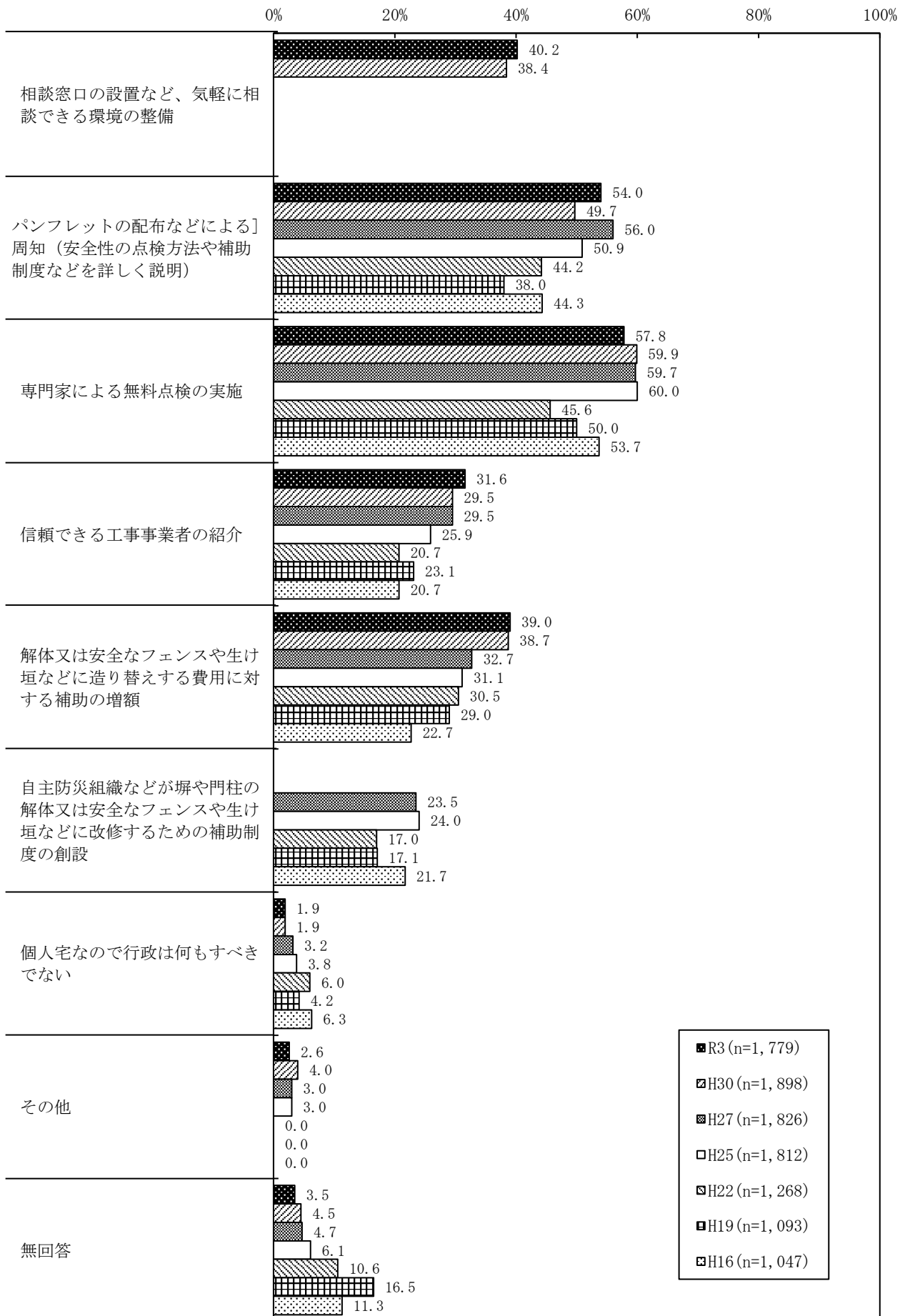
各年代で「専門家による無料点検の実施」が最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明)」が高くなっており、この順番は平成16年度以降変わっていない。

上段：人数
下段：%

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明) ^{※1}	専門家による無料点検の実施	信頼できる工事事業者の紹介	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額 ^{※2}	自主防災組織などが塀や門柱の解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修するための補助制度の創設	個人宅などで行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R3	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	- -	33 1.9	46 2.6	62 3.5	1,779
H30	728 38.4	944 49.7	1,137 59.9	560 29.5	734 38.7	- -	36 1.9	76 4.0	85 4.5	1,898
H27	- -	1,022 56.0	1,090 59.7	538 29.5	598 32.7	429 23.5	59 3.2	54 3.0	86 4.7	1,826
H25	- -	923 50.9	1,088 60.0	469 25.9	563 31.1	434 24.0	69 3.8	55 3.0	110 6.1	1,812
H22	- -	561 44.2	578 45.6	263 20.7	387 30.5	216 17.0	76 6.0	0 0.0	134 10.6	1,268
H19	- -	415 38.0	547 50.0	253 23.1	317 29.0	187 17.1	46 4.2	0 0.0	180 16.5	1,093
H16	- -	133 44.3	161 53.7	62 20.7	68 22.7	65 21.7	19 6.3	0 0.0	34 11.3	300

※1 平成27年度以前は「安全性の点検方法や解体、改修方法などを詳しく説明したパンフレットの配布」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対する補助の増額」と答えた人数



問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

「知っている」は令和3年度は55.3%と、平成30年度の60.5%より5.2ポイント減少しているが、依然として50%以上となっている。

「すでに利用した（利用中を含む）」は平成25年度以降増加している。

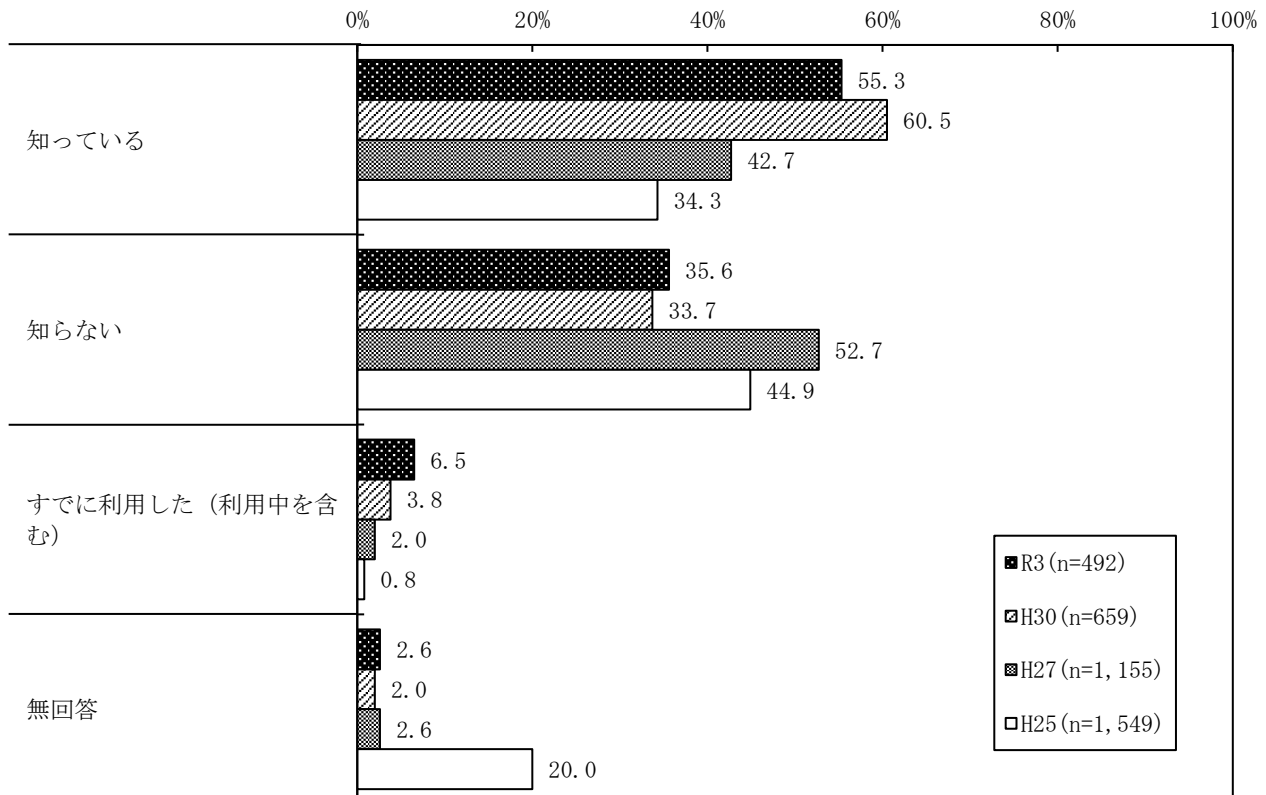
	知っている	知らない	すでに利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R3	272 55.3	175 35.6	32 6.5	13 2.6	492 100.0
H30※1	399 60.5	222 33.7	25 3.8	13 2.0	659 100.0
H27※2	493 42.7	609 52.7	23 2.0	30 2.6	1,155 100.0
H25※3	531 34.3	695 44.9	13 0.8	310 20.0	1,549 100.0

上段：人数
下段：%

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

「新聞、広告、広報誌」が7.3ポイント、「テレビ、ラジオ」は平成27年度以降減少している。
一方、「知人、親族から聞いて」、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」は平成27年度以降増加している。

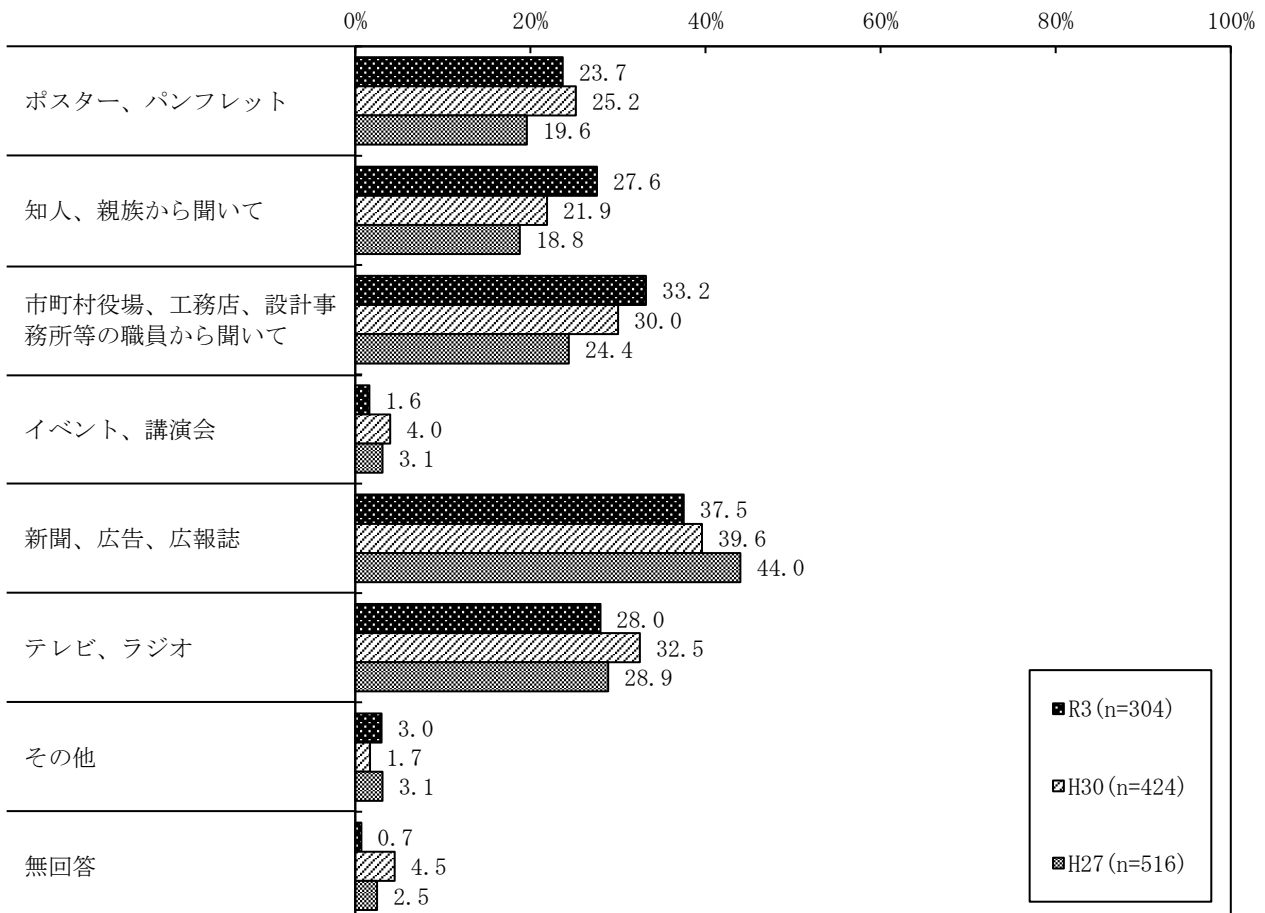
上段：人数
下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて ^{※1}	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R3	72 23.7	84 27.6	101 33.2	5 1.6	114 37.5	85 28.0	9 3.0	2 0.7	304
H30 ^{※2}	107 25.2	93 21.9	127 30.0	17 4.0	168 39.6	138 32.5	7 1.7	19 4.5	424
H27 ^{※3}	101 19.6	97 18.8	126 24.4	16 3.1	227 44.0	149 28.9	16 3.1	13 2.5	516

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数

※2 昭和56年5月以前建築の住宅に居住し、制度を「知っている」・「既に利用した（利用中を含む）」と答えた人数

※3 木造の持ち家に居住し、制度を「知っている」・「既に利用した（利用中を含む）」と答えた人数



問52 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

令和3年度では「0円」、「10万円まで」、「20万円まで」を合計すると57.7%となり、平成25年度以降の「20万円まで」で比較すると年々増加している。

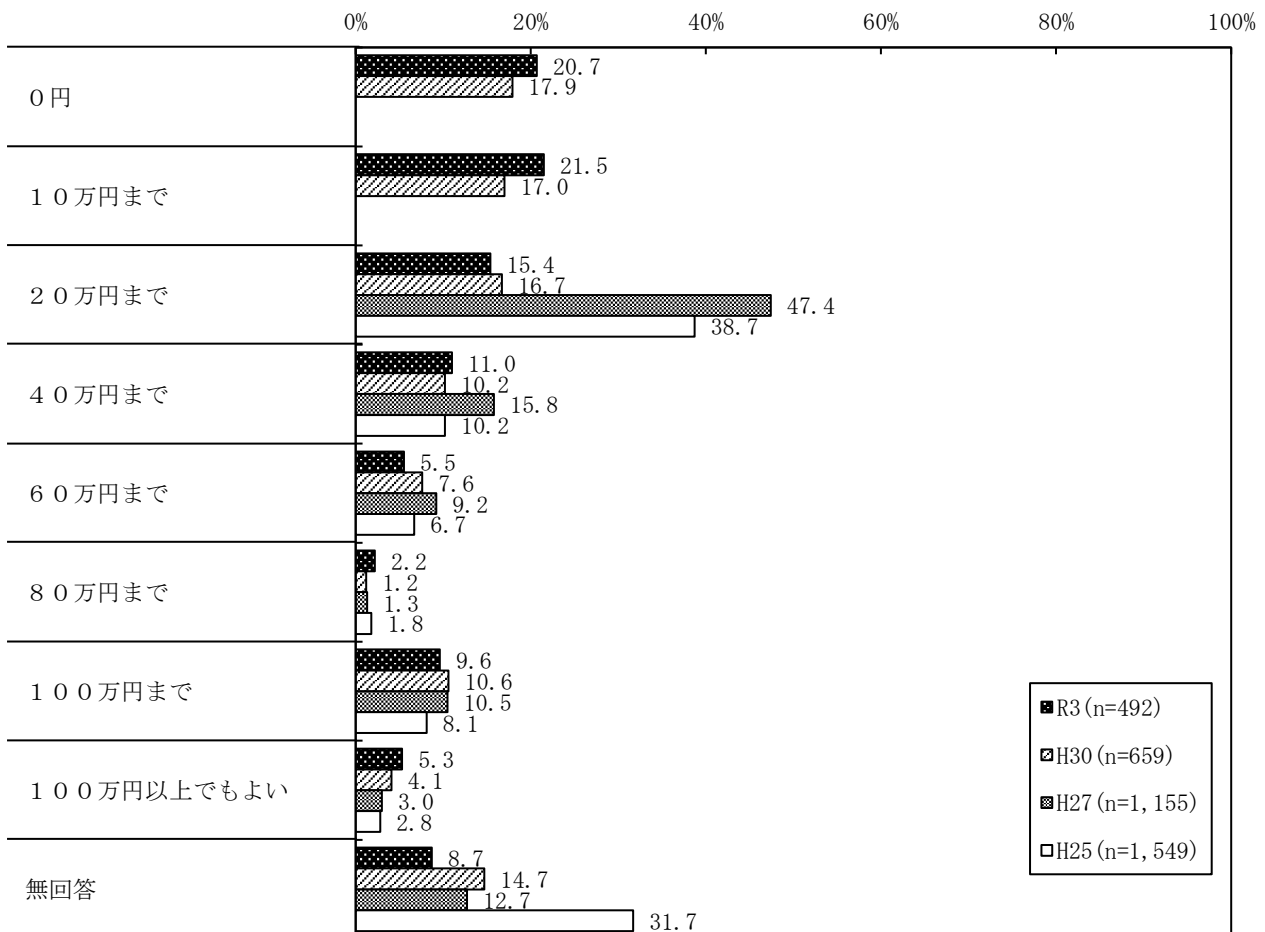
上段：人数
下段：%

	0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答	合計
R3	102 20.7	106 21.5	76 15.4	54 11.0	27 5.5	11 2.2	47 9.6	26 5.3	43 8.7	492 100.0
H30※1	118 17.9	112 17.0	110 16.7	67 10.2	50 7.6	8 1.2	70 10.6	27 4.1	97 14.7	659 100.0
H27※2	- -	- -	548 47.4	183 15.8	106 9.2	15 1.3	121 10.5	35 3.0	147 12.7	1,155 100.0
H25※3	- -	- -	599 38.7	158 10.2	104 6.7	28 1.8	125 8.1	44 2.8	491 31.7	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッドの設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

令和3年度の「0円」、「10万円」の合計は56.7%となっており、平成25年度以降の「10万円まで」と比較すると増加しており、平成30年度の48.2%と比較すると8.5ポイント増加している。

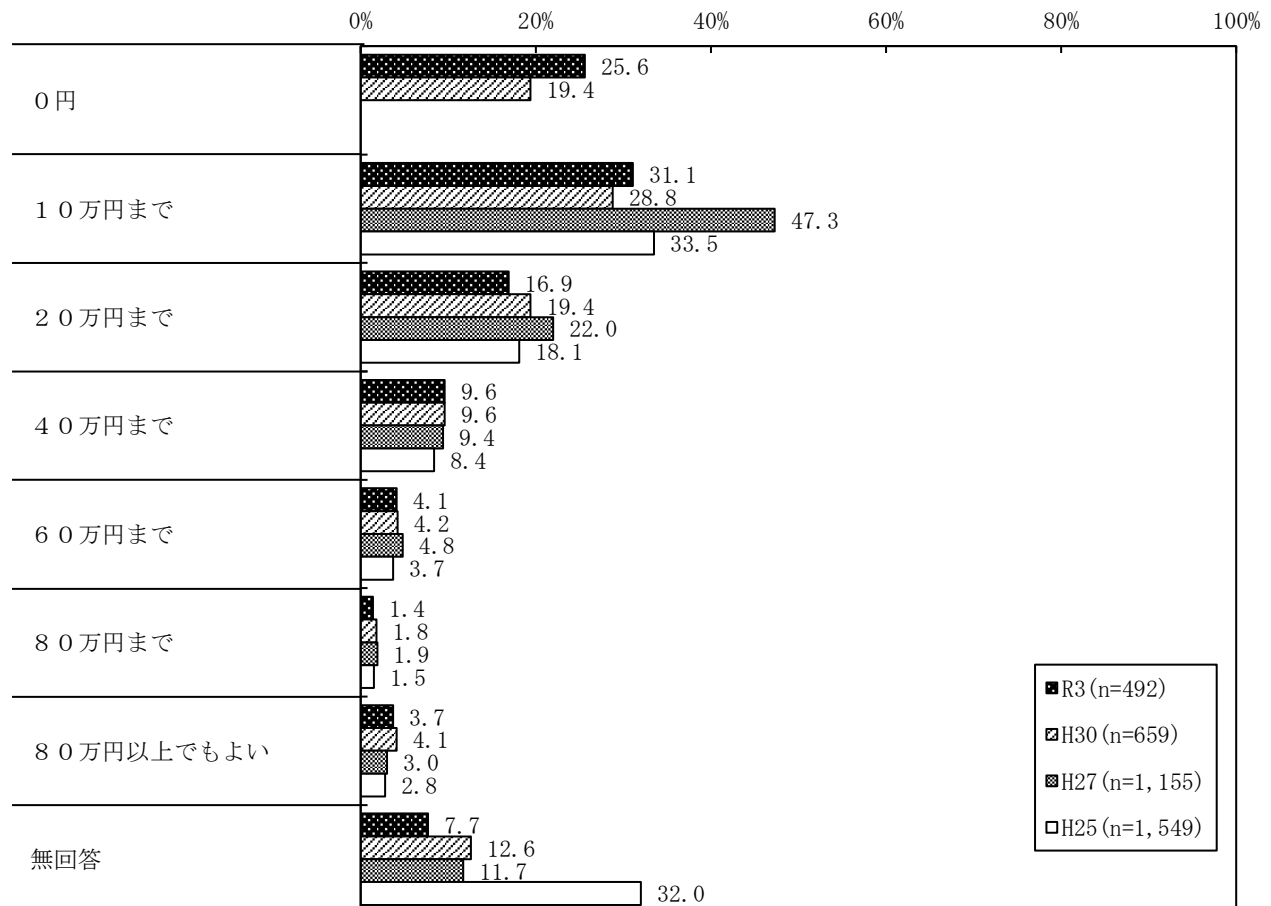
上段：人数
下段：%

	0円	で10万円まで	で20万円まで	で40万円まで	で60万円まで	で80万円まで	80万円以上でもよい	無回答	合計
R3	126 25.6	153 31.1	83 16.9	47 9.6	20 4.1	7 1.4	18 3.7	38 7.7	492 100.0
H30※1	128 19.4	190 28.8	128 19.4	63 9.6	28 4.2	12 1.8	27 4.1	83 12.6	659 100.0
H27※2	-	546 47.3	254 22.0	108 9.4	55 4.8	22 1.9	35 3.0	135 11.7	1,155 100.0
H25※3	-	519 33.5	280 18.1	130 8.4	58 3.7	24 1.5	43 2.8	495 32.0	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

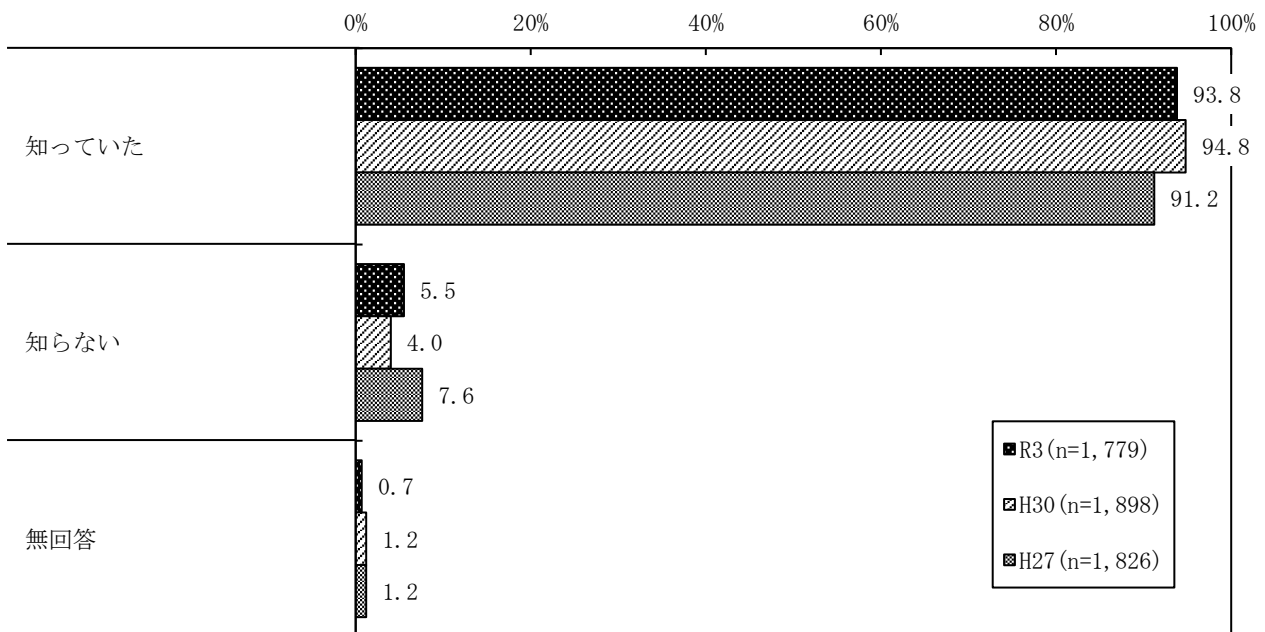
※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな差はない。

	上段：人数 下段：%			合計
	知っていた	知らない	無回答	
R3	1,669 93.8	97 5.5	13 0.7	1,779 100.0
H30	1,800 94.8	76 4.0	22 1.2	1,898 100.0
H27	1,666 91.2	139 7.6	21 1.2	1,826 100.0



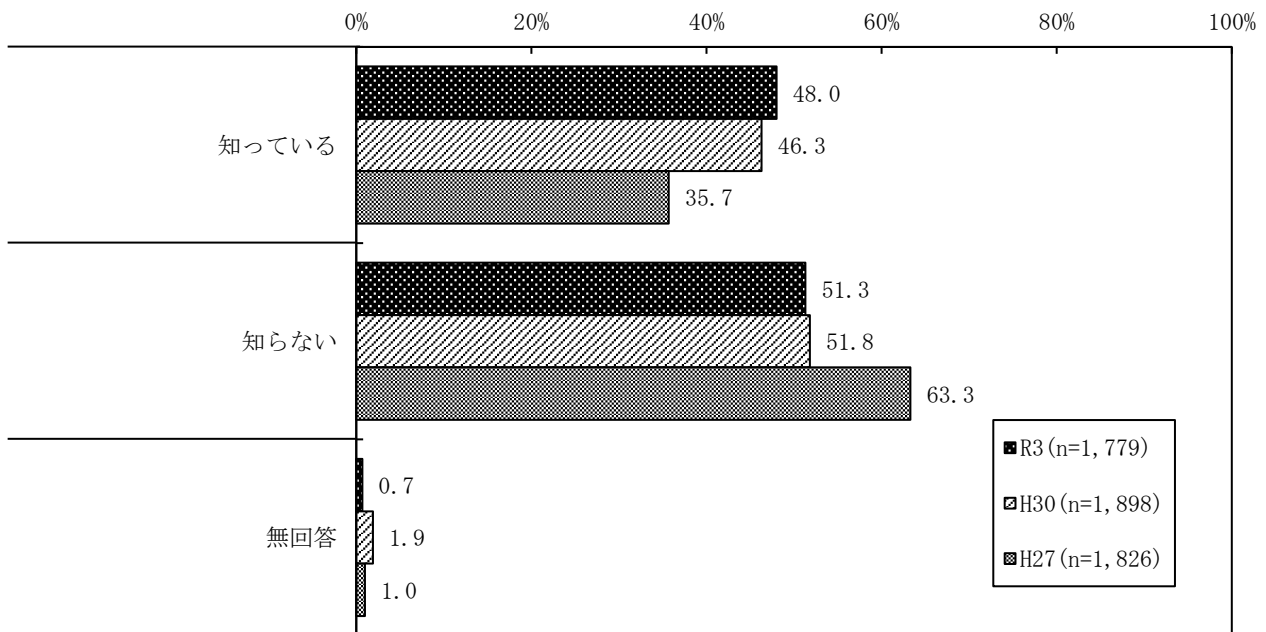
問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は平成27年度以降増加している。

上段：人数
下段：%

	知っている	知らない	無回答	合計
R3	854 48.0	913 51.3	12 0.7	1,779 100.0
H30	878 46.3	984 51.8	36 1.9	1,898 100.0
H27	651 35.7	1,156 63.3	19 1.0	1,826 100.0

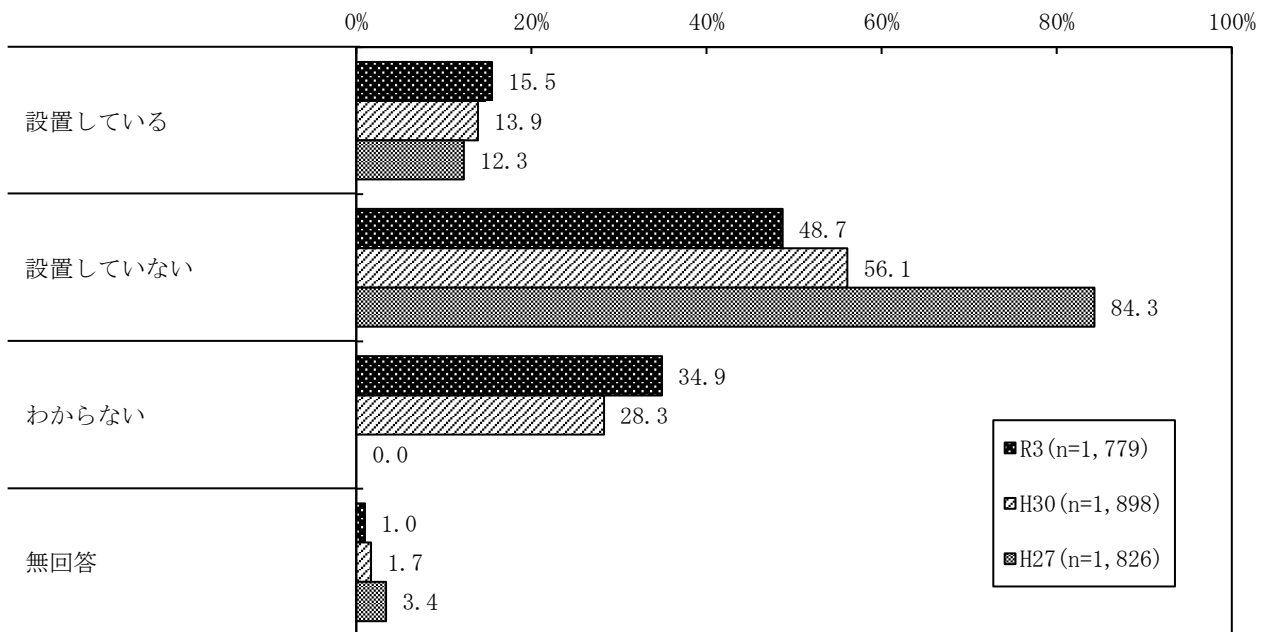


問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

「設置していない」の割合は、平成27年度は84.3%だったが、令和3年度では48.7%まで減少している。「わからない」は平成30年度から6.6ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	設置している	設置していない	わからない	無回答	合計
R3	276 15.5	866 48.7	620 34.9	17 1.0	1,779 100.0
H30	264 13.9	1,064 56.1	538 28.3	32 1.7	1,898 100.0
H27	225 12.3	1,539 84.3	- -	62 3.4	1,826 100.0

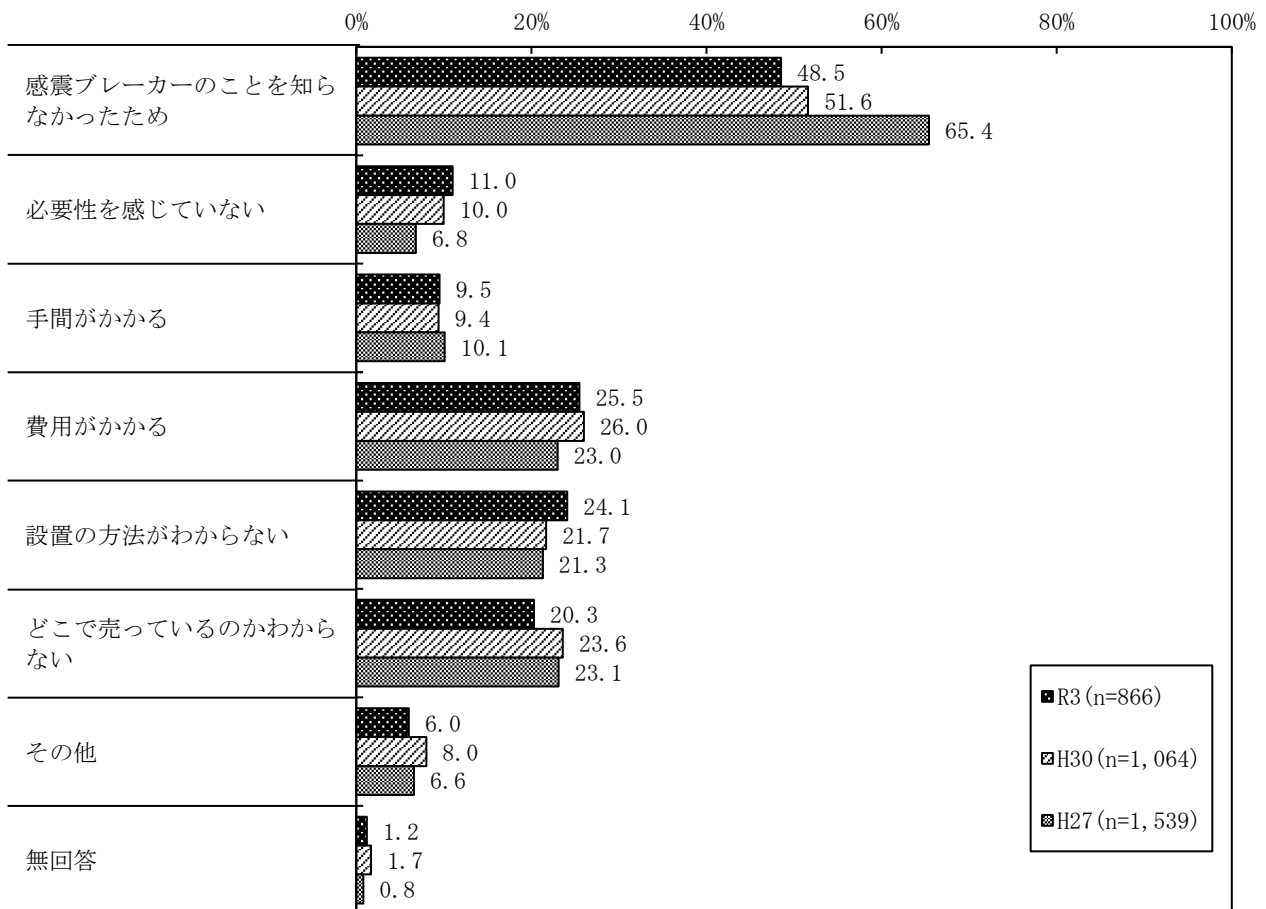


問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

「感震ブレーカーのことを知らなかったため」は平成27年度から割合が減少しており、平成27年度では65.4%だったが、令和3年度は48.5%と16.9ポイント減少している。

上段：人数
下段：%

	感震ブレーカーの ことを知らな かったため	必要 性を感 じて ない	手 間 が か か る	費 用 が か か る	設 置 の 方 法 が わ か ら ない	ど こ で 売 っ て い る の か わ か ら ない	そ の 他	無 回 答	合 計
R3	420 48.5	95 11.0	82 9.5	221 25.5	209 24.1	176 20.3	52 6.0	10 1.2	866
H30	549 51.6	106 10.0	100 9.4	277 26.0	231 21.7	251 23.6	85 8.0	18 1.7	1,064
H27	1,007 65.4	104 6.8	155 10.1	354 23.0	328 21.3	355 23.1	101 6.6	12 0.8	1,539



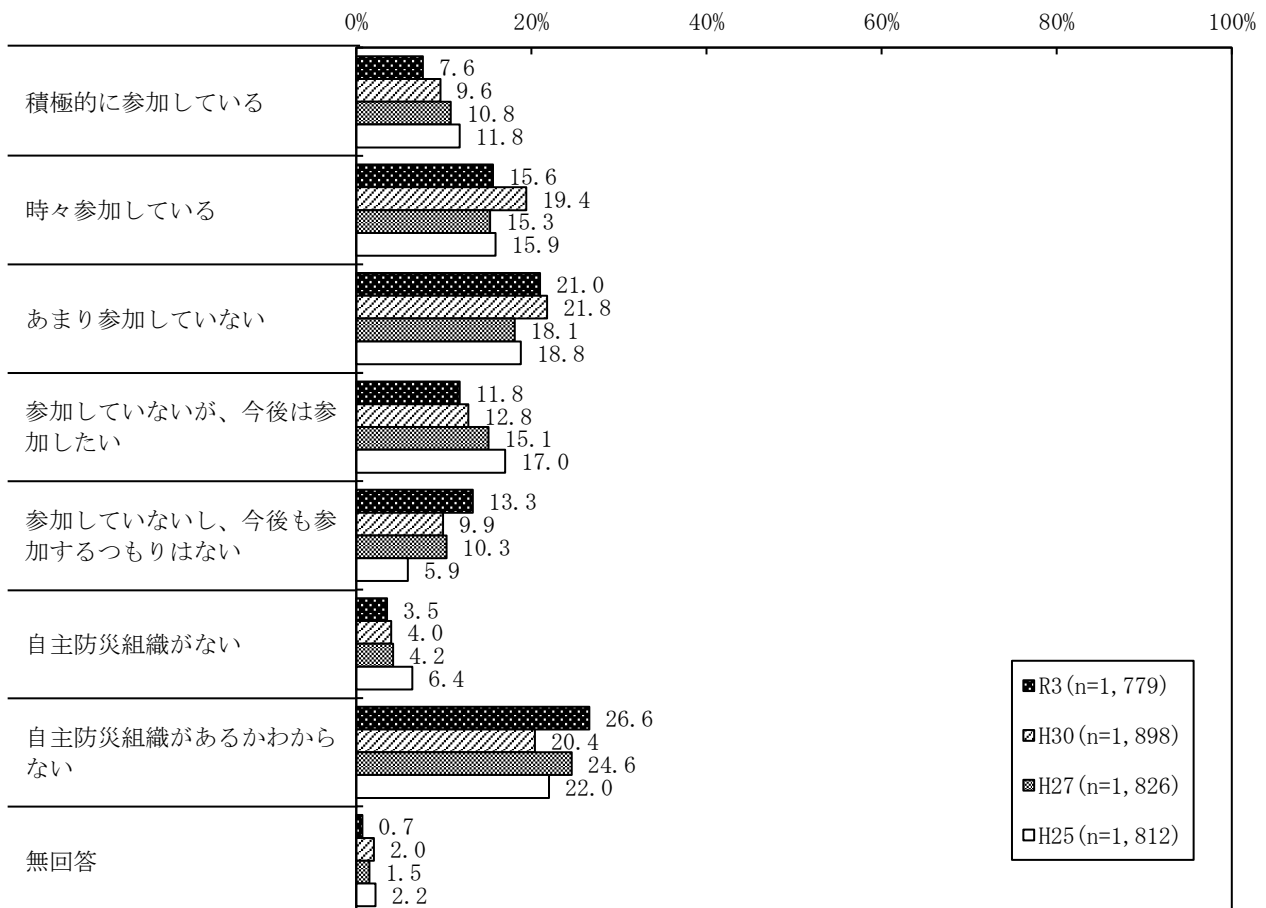
問64 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練、学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

「積極的に参加している」は平成25年度以降減少している。

「自主防災組織があるかわからない」は平成25年度以降最も高くなっており、関心が薄いと思われる。

上段：人数
下段：%

	積極的に参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していないが、今後は参加したい	参加していないし、今後も参加するつもりはない	自主防災組織がない	自主防災組織があるかわからない	無回答	合計
R3	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7	1,779 100.0
H30	183 9.6	369 19.4	413 21.8	243 12.8	188 9.9	76 4.0	388 20.4	38 2.0	1,898 100.0
H27	198 10.8	280 15.3	331 18.1	276 15.1	188 10.3	76 4.2	449 24.6	28 1.5	1,826 100.0
H25	213 11.8	289 15.9	341 18.8	308 17.0	107 5.9	116 6.4	398 22.0	40 2.2	1,812 100.0



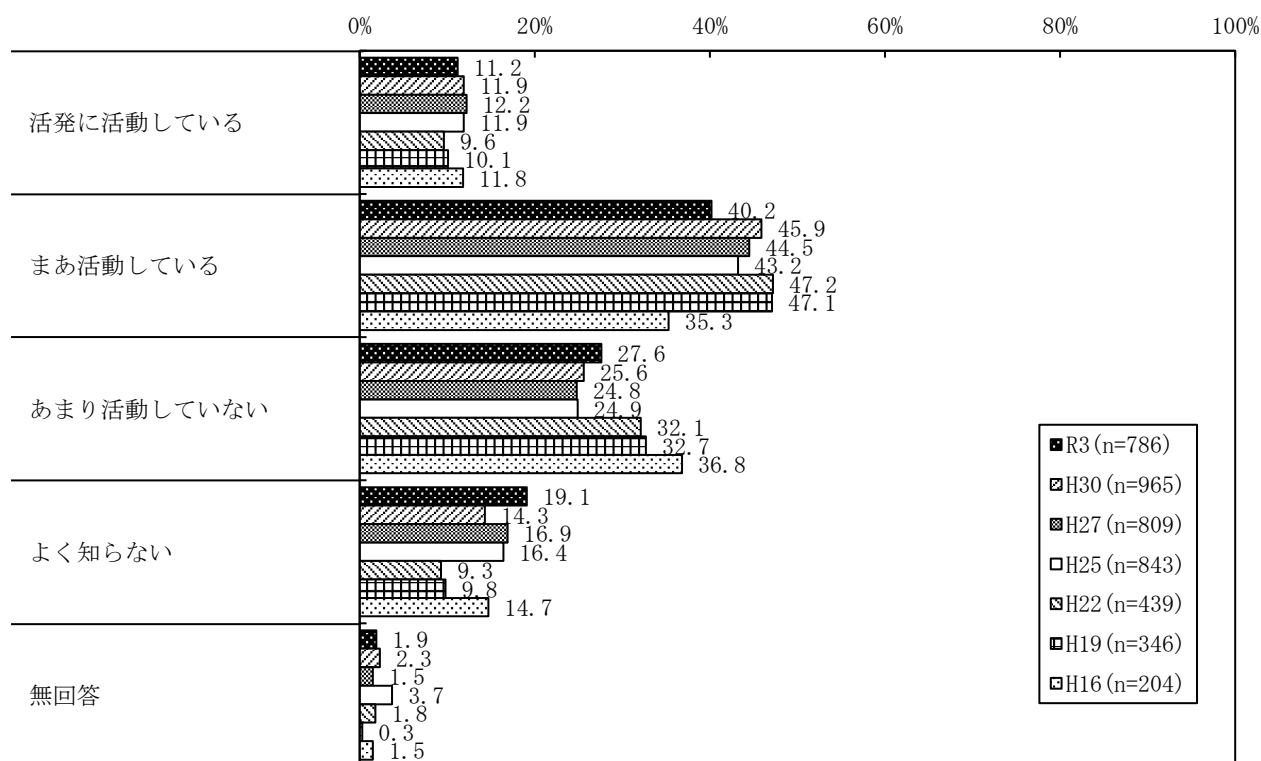
問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。

(ひとつだけ○)

「よく知らない」が平成30年度より4.8ポイント増加している。

	上段：人数					合計
	下段：%					
	活発に活動している	まあ活動している	あまり活動していない	よく知らない	無回答	
R3	88 11.2	316 40.2	217 27.6	150 19.1	15 1.9	786 100.0
H30*1	115 11.9	443 45.9	247 25.6	138 14.3	22 2.3	965 100.0
H27*1	99 12.2	360 44.5	201 24.8	137 16.9	12 1.5	809 100.0
H25*1	100 11.9	364 43.2	210 24.9	138 16.4	31 3.7	843 100.0
H22	42 9.6	207 47.2	141 32.1	41 9.3	8 1.8	439 100.0
H19	35 10.1	163 47.1	113 32.7	34 9.8	1 0.3	346 100.0
H16	24 11.8	72 35.3	75 36.8	30 14.7	3 1.5	204 100.0

※1 「お住まいの地域の自主防災組織の活動に参加したことがある」と答えた人数



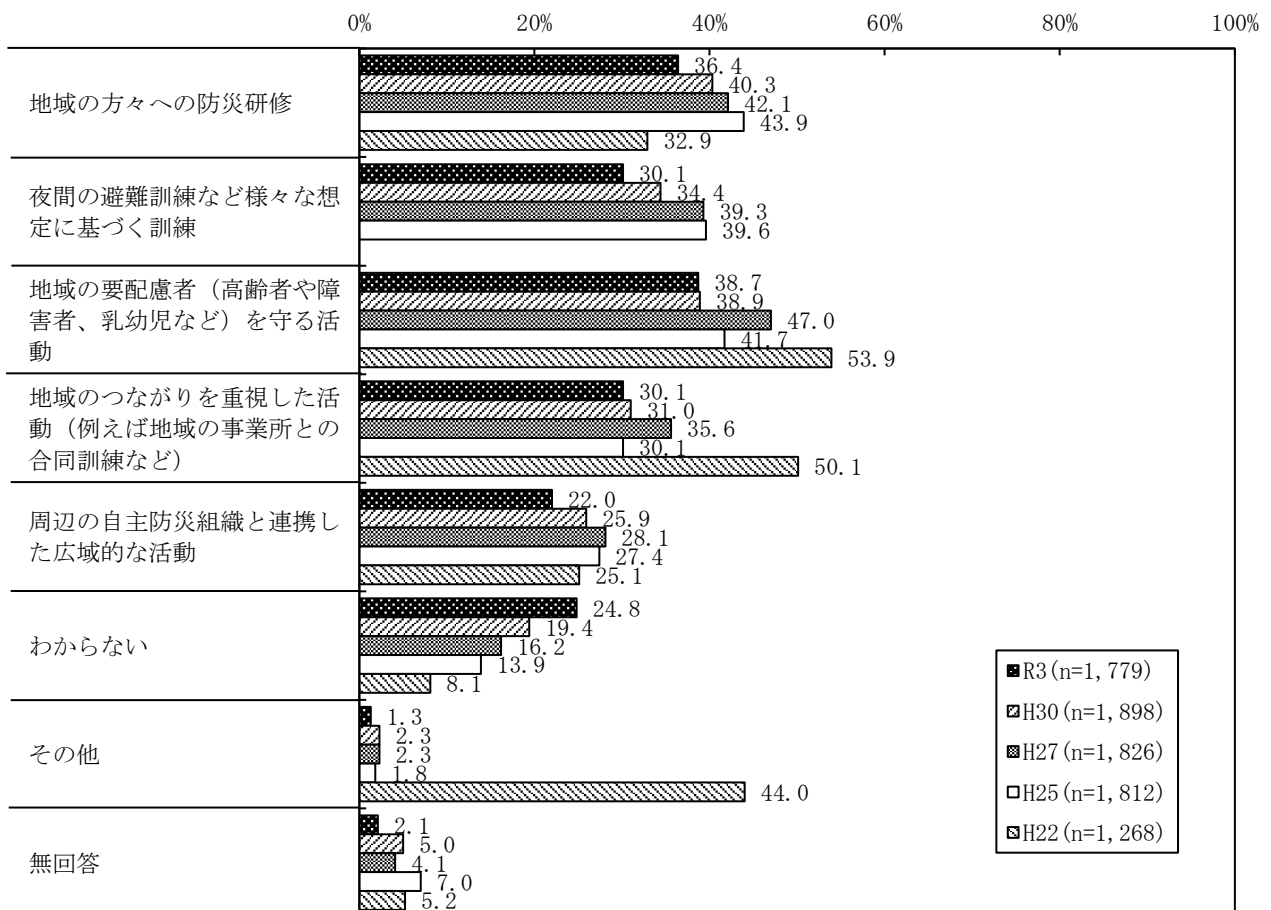
問66 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

それぞれの活動の割合は大きな変化見られないが、「わからない」の割合は、平成22年度の8.1%だったが、令和3年度では24.8%と、16.7ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	地域の方々への防災研修	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	わからない	その他	無回答	合計
R3	648 36.4	535 30.1	689 38.7	535 30.1	391 22.0	442 24.8	24 1.3	38 2.1	1,779
H30	764 40.3	653 34.4	738 38.9	589 31.0	492 25.9	368 19.4	43 2.3	95 5.0	1,898
H27	769 42.1	718 39.3	858 47.0	650 35.6	514 28.1	296 16.2	42 2.3	74 4.1	1,826
H25	795 43.9	717 39.6	755 41.7	545 30.1	497 27.4	252 13.9	33 1.8	126 7.0	1,812
H22	239 32.9	- -	391 53.9	364 50.1	182 25.1	59 8.1	319 44.0	38 5.2	726



問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

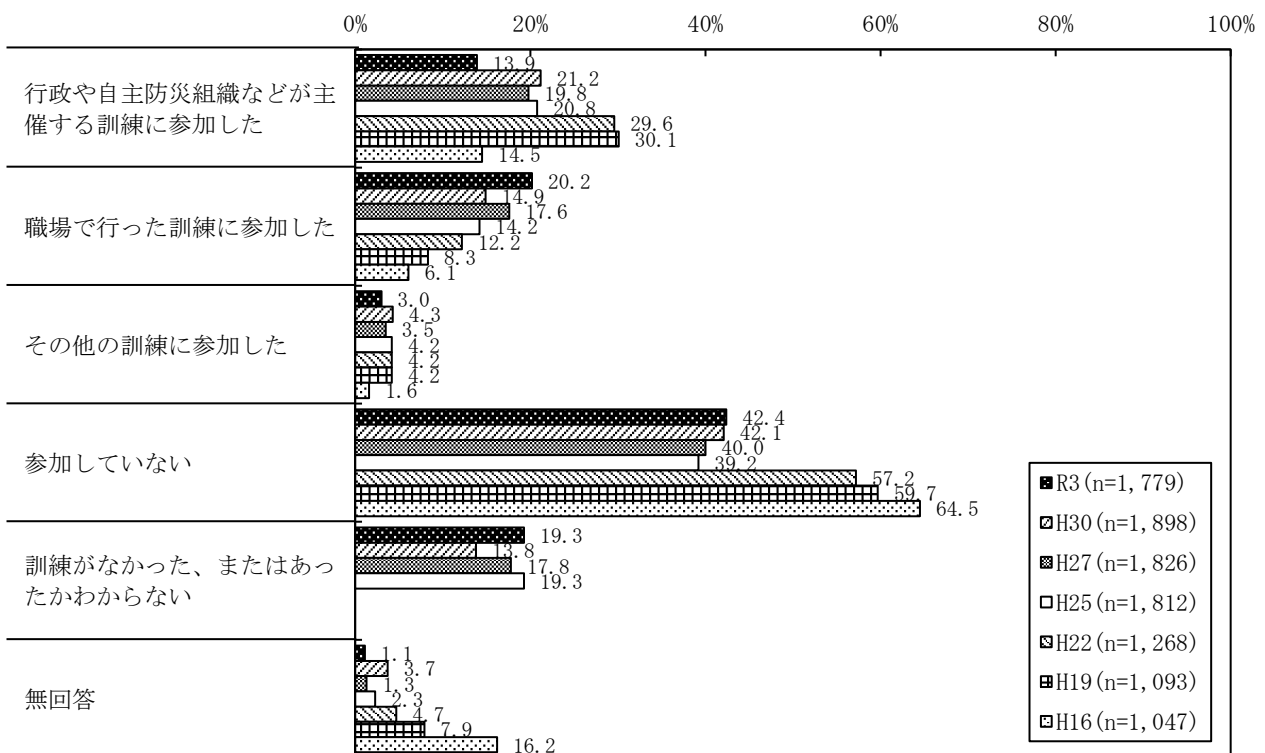
「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は、平成25年後以降は約20%で推移していたが、令和3年度では13.9%と6ポイント近く減少した。

「職場で行った訓練に参加した」は、令和25年以降は約15%程だったが、令和3年度では20.2%と5ポイント程度増加している。

「参加していない」は、各年度で最も高くなっており、防災訓練の参加者を増やす取り組みをさらに力を入れる必要がある。

	上段：人数						下段：%	
	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	職場で行った訓練に参加した	その他の訓練に参加した	参加していない	訓練がなかった、またはあったかわからない	無回答	合計	
R3	248	359	54	754	344	20	1,779	
	13.9	20.2	3.0	42.4	19.3	1.1	100.0	
H30	403	283	81	799	262	70	1,898	
	21.2	14.9	4.3	42.1	13.8	3.7	100.0	
H27	362	321	64	731	325	23	1,826	
	19.8	17.6	3.5	40.0	17.8	1.3	100.0	
H25	376	258	77	710	350	41	1,812	
	20.8	14.2	4.2	39.2	19.3	2.3	100.0	
H22 ^{*1}	349	137	40	686	-	56	1,268	
	29.6	12.2	4.2	57.2	-	4.7	100.0	
H19 ^{*1}	310	76	22	609	-	76	1,093	
	30.1	8.3	4.2	59.7	-	7.9	100.0	
H16 ^{*1}	147	60	19	664	-	157	1,047	
	14.5	6.1	1.6	64.5	-	16.2	100.0	

※1 平成16年度～平成22年度は複数回答

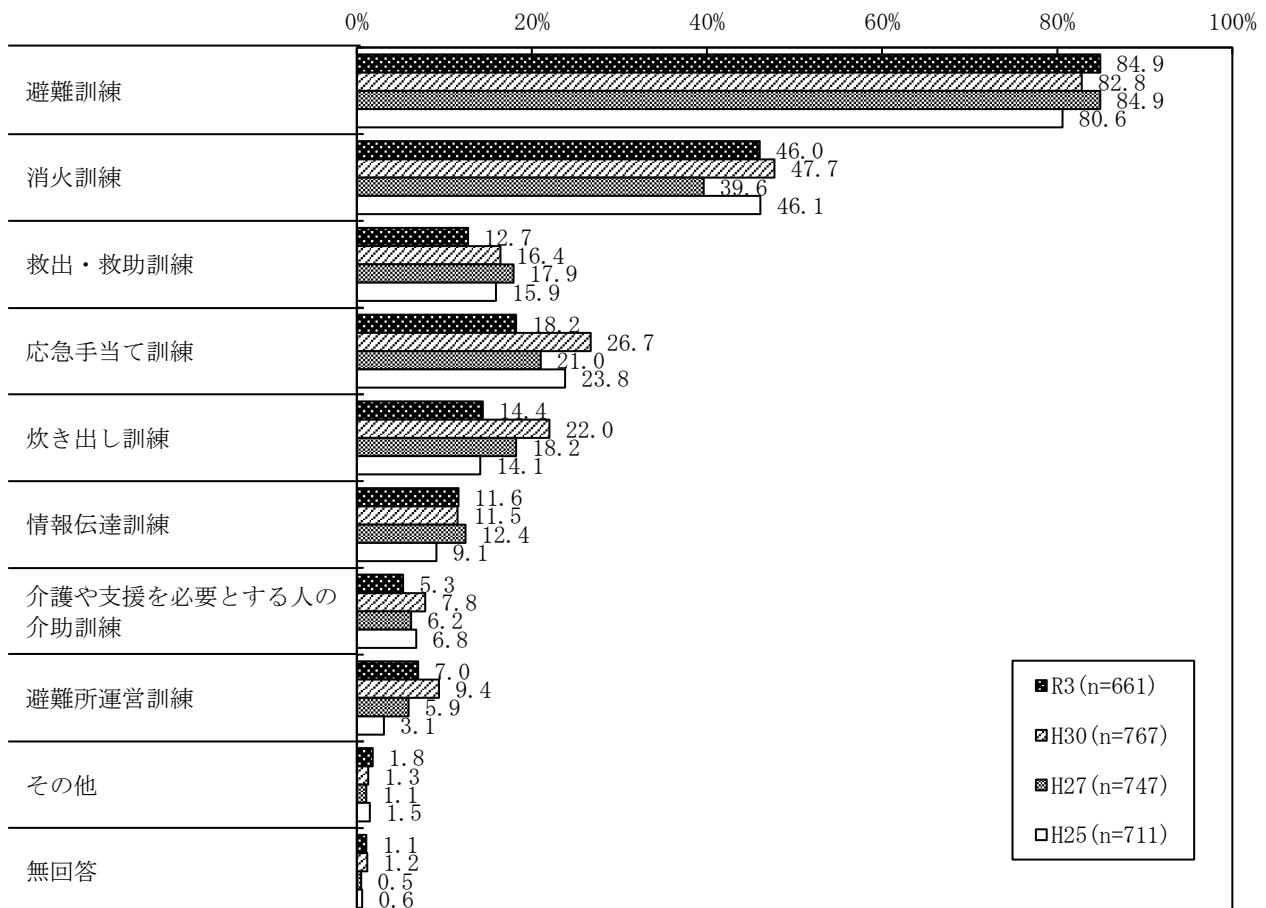


問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

平成30年度と比べ、令和3年度では、「応急手当て訓練」が8.5ポイント、「炊き出し訓練」では7.6ポイント減少している。

	避難訓練	消火訓練	救出・救助訓練	応急手当て訓練	炊き出し訓練	情報伝達訓練	介護や支援を必要とする人の介助訓練	避難所運営訓練	その他	無回答	合計
R3	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1	661
H30	635 82.8	366 47.7	126 16.4	205 26.7	169 22.0	88 11.5	60 7.8	72 9.4	10 1.3	9 1.2	767
H27	634 84.9	296 39.6	134 17.9	157 21.0	136 18.2	93 12.4	46 6.2	44 5.9	8 1.1	4 0.5	747
H25	573 80.6	328 46.1	113 15.9	169 23.8	100 14.1	65 9.1	48 6.8	22 3.1	11 1.5	4 0.6	711

上段：人数
下段：%



問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

(2つまで〇)

「参加賞（非常食）などを出す」の割合が、平成25年度以降増加傾向にある。

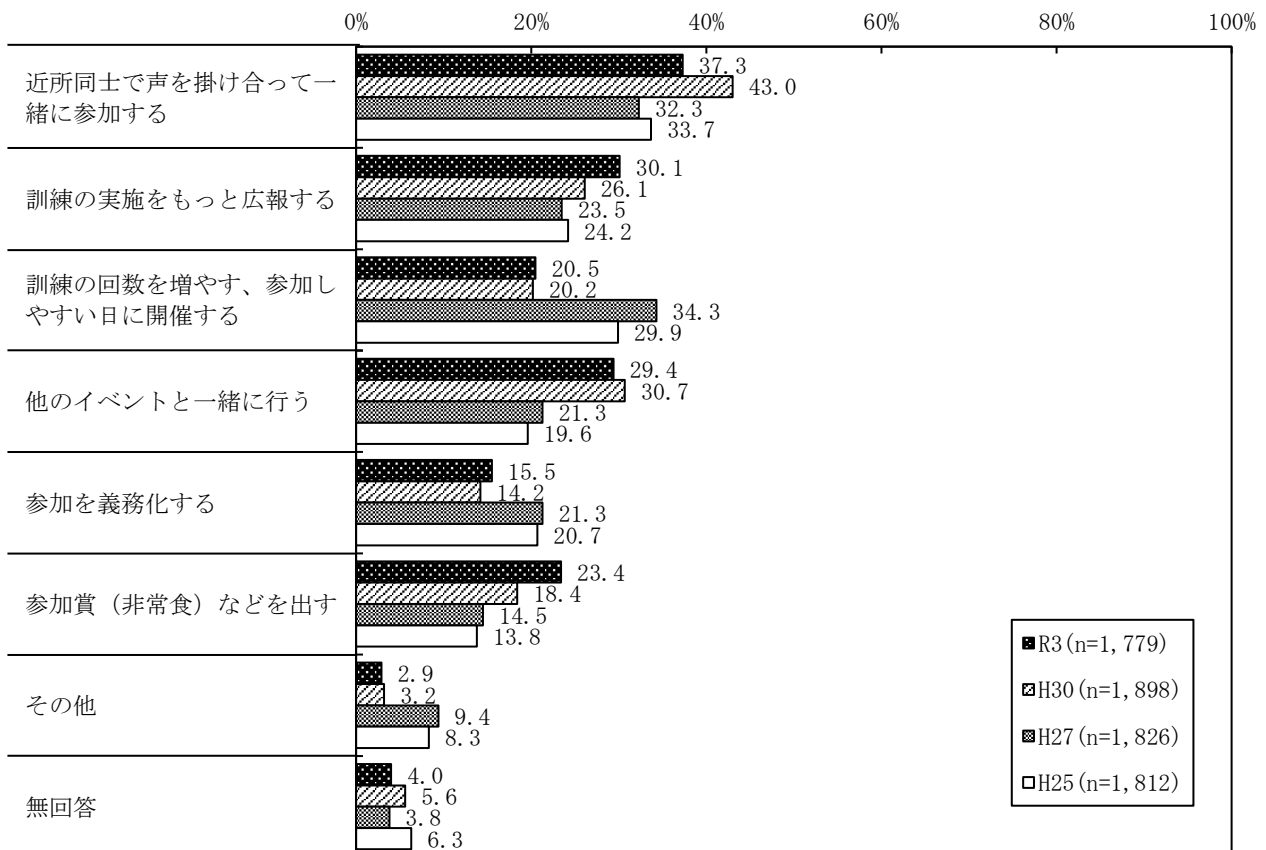
「訓練の実施をもっと広報する」が平成27年度では23.5%だったが、令和3年度では30.1%となっており、広報や周知徹底が不足が考えられ、更なる取り組みが求められる。

	上段：人数 下段：%								
	近所同士で声を掛け合っ て一緒に参加する	訓練の実施をもっと 広報する※ ¹	訓練の回数を増やす、参加し やすい日に開催する	他のイベントと一緒に 行う	参加を義務化する	参加賞（非常食）など を出す※ ²	その他	無回答	合計
R3	664 37.3	535 30.1	365 20.5	523 29.4	275 15.5	417 23.4	51 2.9	72 4.0	1,779
H30	817 43.0	496 26.1	383 20.2	583 30.7	270 14.2	349 18.4	61 3.2	106 5.6	1,898
H27※ ³	236 32.3	172 23.5	251 34.3	156 21.3	156 21.3	106 14.5	69 9.4	28 3.8	731
H25※ ³	239 33.7	172 24.2	212 29.9	139 19.6	147 20.7	98 13.8	59 8.3	45 6.3	710

※1 平成27年度以前は「パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「非常食などを出す」と答えた人数

※3 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に「参加していない」と答えた人数



問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

「地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり」が平成25年以降減少している。

「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」や「小中学校の防災教育の充実」は平成30年度より増加している。

上段：人数

下段：%

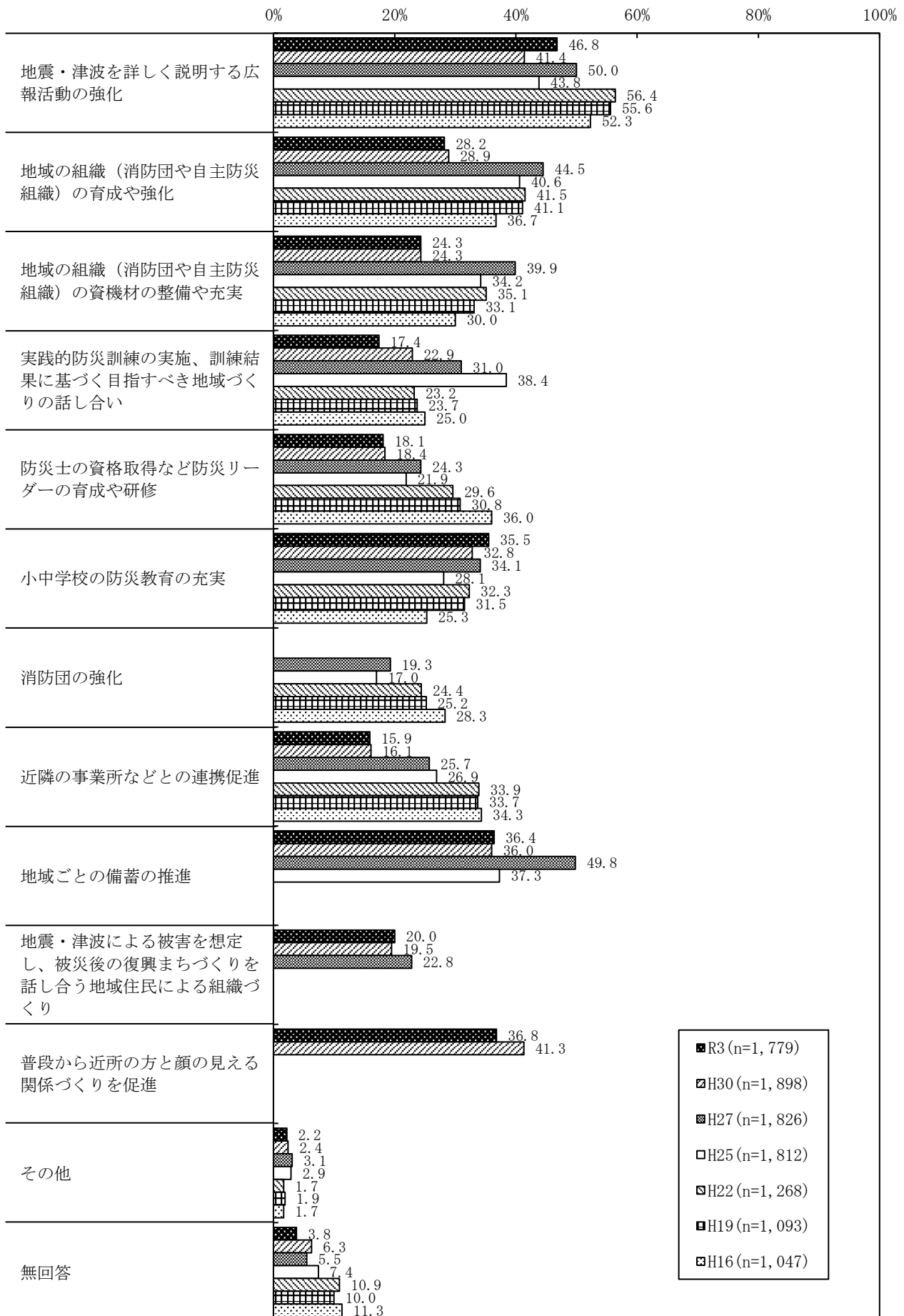
	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化※ ₁	地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実※ ₂	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	小中学校の防災教育の充実	消防団の強化	近隣の事業所などとの連携促進※ ₃	地域ごとの備蓄の推進※ ₄	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	その他	無回答	合計
R3	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	- -	283 15.9	648 36.4	356 20.0	655 36.8	39 2.2	67 3.8	1,779
H30	785 41.4	548 28.9	461 24.3	434 22.9	350 18.4	623 32.8	- -	306 16.1	683 36.0	371 19.5	783 41.3	45 2.4	119 6.3	1,898
H27	913 50.0	813 44.5	729 39.9	566 31.0	444 24.3	622 34.1	352 19.3	469 25.7	909 49.8	417 22.8	- -	57 3.1	101 5.5	1,826
H25	794 43.8	735 40.6	620 34.2	695 38.4	397 21.9	509 28.1	308 17.0	488 26.9	675 37.3	- -	- -	53 2.9	134 7.4	1,812
H22	710 56.4	519 41.5	443 35.1	291 23.2	380 29.6	405 32.3	304 24.4	431 33.9	- -	- -	- -	25 1.7	139 10.9	1,268
H19	612 55.6	448 41.1	360 33.1	262 23.7	338 30.8	349 31.5	273 25.2	371 33.7	- -	- -	- -	21 1.9	109 10.0	1,093
H16	156 52.3	111 36.7	90 30.0	75 25.0	108 36.0	75 25.3	84 28.3	102 34.3	- -	- -	- -	6 1.7	33 11.3	300

※1 平成27年度以前は「自主防災組織の育成や強化」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「自主防災組織の防災資機材の整備や充実」と答えた人数

※3 平成27年度以前は「消防団や近隣の事業所などとの連携促進」と答えた人数

※4 平成27年度以前は「地域ごとの備蓄」と答えた人数



XI 參考資料

[調查票]

地震・津波県民意識調査

【調査票】

◆回答にあたってのお願い◆

- この調査は、個人を対象としていますので、宛名のご本人がご回答ください。
(ご本人が病気などで記入できない場合は、ご家族がご本人の立場でご回答ください)
- この調査は、郵送またはオンラインで回答することができます。
- 郵送で回答する場合は、この調査票のあてはまる番号に○印をつけていただき、ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、8月10日(火)までにご投函ください。(切手は不要です)
- オンラインで回答する場合は、8月10日(火)までに下記の専用回答フォームからご回答ください。
 - ※ オンラインでご回答いただく場合は、調査票の郵送は必要ありません。
 - ※ 郵送とオンラインで重複して回答することはできません。
 - ※ 重複回答があった場合は、郵送の回答が優先されます。



たいさくくん

高知県防災キャラクター◎やなせたかし



ヘルパちゃん

◆オンライン回答はこちらから◆

【URL】

<https://www.pref.kochi.lg.jp/form/010201/kenminisikicyousa.html>

【二次元バーコード】



【調査票番号】

○ ○ ○ ○ ○

オンライン回答時にご入力ください。この番号から個人を特定することはありません。

回答者について

以下の問1①から⑤までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

問1 あなた自身のことについてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

①性別

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

②年齢

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 | | |

③職業（主なものにひとつだけ○）

- | |
|---|
| 1. 農林業 |
| 2. 漁業 |
| 3. 商工サービス業自営 |
| 4. 会社員（役員を含む）、公務員 |
| 5. 自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など） |
| 6. 主婦・主夫 |
| 7. パート、アルバイト |
| 8. 学生 |
| 9. 無職（すでに退職を含む） |
| 10. その他（ ） |

④同居しているご家族は何人いますか。

- | | | | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 1. 0人（独居） | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 |
| 5. 4人 | 6. 5人 | 7. 6人以上 | |

⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。

（当てはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------|
| 1. 3歳以下の乳幼児 |
| 2. 4歳以上で小学校入学前の子ども |
| 3. 小学生 |
| 4. 70歳以上の人 |
| 5. 日常生活で介護や支援を必要とする人 |
| 6. 妊産婦 |
| 7. 1～6の人はいない |

南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフを震源とする地震は、これまで概ね 90 年から 150 年ごとに発生し、高知県はそのたびに大きな被害を受けてきました。昭和 21 年（1946 年）12 月に発生した昭和南海地震から 70 年以上が経過し、南海トラフのどこかでマグニチュード 8 以上の地震が発生する確率は、今後 30 年以内に 70%～80%程度と公表されています。

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。（ひとつだけ○）

1. 知っていた
2. この調査票などを見るまで知らなかった

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 揺れで、建物に被害が出る | 2. 揺れで、家具が転倒する |
| 3. 火災 | 4. 津波 |
| 5. 山崩れ、がけ崩れ | 6. 危険はない |
| 7. その他（ | ） |

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報※をテレビなどで知ったときどうしますか。

（当てはまるものすべてに○）

※緊急地震速報とは、地震による強い揺れが発生することを事前（揺れる前）にテレビやラジオ、携帯電話などでお知らせするものです。

1. 机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る
2. 急いで外に出る
3. 家族に危険を知らせる
4. 何もしない
5. その他（
- ）

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。（2つまで○）

1. 新聞
2. テレビ
3. ラジオ
4. インターネット（パソコン、スマートフォン等）
5. 街頭のチラシ、ポスター、掲示板
6. その他（
- ）

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。

これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

1. 啓発テレビ番組、テレビCM
2. 啓発ラジオ番組、ラジオCM
3. 新聞広告
4. 路面電車、路線バスの吊り広告
5. 県のホームページ
6. 啓発冊子「南海トラフ地震に備えちよき」 ※R2年度に全戸配布済
7. イベント等に出展している高知県ブース
8. 起震車体験
9. その他()

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的で分かりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。(3つまで○)

1. 目を引くようなデザインで、映像を工夫する
2. 専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける
3. 県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする
4. タレントやスポーツ選手など、有名人に出演してもらう
5. マンガやアニメで制作する
6. 特に変える必要はない
7. わからない
8. その他()

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

1. 県の政策・取り組みをより詳しく紹介する
2. 県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する
3. 県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する
4. 県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する
5. 災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する
6. 県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する
7. 特にない
8. わからない
9. その他()

津波避難対策について

南海トラフ地震が発生すると強い揺れの後に津波が沿岸部を襲います。津波から命を守るためには、揺れがおさまったら、津波警報や市町村からの避難の呼びかけを待たずにすぐに逃げることや、避難場所を確認しておくことが大変重要となります。

問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 津波で浸水が予測される地域である | ⇒ 問10へ |
| 2. 津波で浸水が予測される地域ではない | } ⇒ 問18へ |
| 3. わからない | |

問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。

(ひとつだけ○)

※津波は30cmの深さで避難できなくなり、1mになると命を落とすと言われています。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 地域の津波避難計画*で知った | } ⇒ 問11へ |
| 2. 市町村のハザードマップ**で知った | |
| 3. 県のホームページで知った | |
| 4. 新聞で知った | } ⇒ 問12へ |
| 5. 知らない | |
| 6. その他() | |

※地域の津波避難計画とは、お住まいの地域の津波浸水予測や避難経路、避難場所などを明らかにし、いざというときに安全に避難するために作成するものです。

※※ハザードマップとは、津波浸水予測や避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したものです。

問11 問10で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|----------------|
| 1. 10分未満 |
| 2. 30分未満 |
| 3. 60分未満 |
| 4. 60分以上 |
| 5. 具体的な時間は知らない |

問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 揺れがおさまった後、すぐに | ⇒ 問14へ |
| 2. 津波警報が出たら | } ⇒ 問13へ |
| 3. 市町村から避難の呼びかけがあったら | |
| 4. 周りの人が避難したら | |
| 5. 家族が避難したら | } ⇒ 問18へ |
| 6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、
状況を判断してから | |
| 7. マンション等の高層階に住んでいるため避難しない | ⇒ 問13へ |
| 8. 避難しない | |

問13 問12で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。
すぐに避難しない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 津波が到達するまで時間があるため |
| 2. 本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため |
| 3. 避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため |
| 4. 自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため |
| 5. 家や家財を残して避難することに抵抗があるため |
| 6. その他 () |

問14 津波からの避難場所*を確認していますか。(ひとつだけ○)

*避難場所とは市町村が指定した高台や津波避難ビル、津波避難タワーなどのことです。

- | | |
|------------|--------|
| 1. 確認している | ⇒ 問15へ |
| 2. 確認していない | ⇒ 問16へ |

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。
あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------|
| 1. 行政や地域住民が決めた避難場所 |
| 2. 自宅近くの高台、高所 |
| 3. その他 () |

問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 避難場所への移動に時間がかかる
2. 避難場所への移動手段がない
3. 避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる
4. 避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる
5. 避難場所が低地にある
6. 避難場所の近くに崖がある
7. 不安はない
8. その他 ()

問17 同居するご家族の中に(ご自身を含む)、自力で避難することが難しい高齢者や障害者などの方がいらっしゃる場合、避難場所までの避難について家族以外の誰かの支援が必要ですか。(ひとつだけ○)

1. 必要がある
2. 必要はない
3. 支援が必要な方はいない

【参考】

※要配慮者：高齢者や障害者など災害時に支援が必要な方

※避難行動要支援者：要配慮者のうち、自力での避難が難しい方

問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制(自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等)ができていますか。(ひとつだけ○)

1. できている
2. できていないが検討している(直接関わっていないが、検討していることを知っている)
3. できていない
4. よく知らない

家庭での備えについて

南海トラフ地震が発生すると地域が孤立したり、被害が広範囲に及ぶため県外などからの支援がすぐには届かないことも想定されます。このため食料や飲料水などを家庭で備蓄することが大変重要となります。

※高知県としては3日以上以上の備蓄を推奨しています。

問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることを含みます。)(ひとつだけ○)

- | | | |
|------------------|---|--------|
| 1. 7日以上を備蓄している | } | ⇒ 問21へ |
| 2. 3日～6日分を備蓄している | | |
| 3. 1日～2日分を備蓄している | } | ⇒ 問20へ |
| 4. 備蓄していない | | |

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日以上以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 必要性を感じていない |) |
| 2. 費用がかかる | |
| 3. 置き場所がない | |
| 4. アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である | |
| 5. 保存期限ごとに買い替えるのが面倒である | |
| 6. その他 (| |
| 例：自給自足の生活をしている など | |

問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。
(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることを含みます。)
(ひとつだけ○)

※1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

- | | | |
|------------------|---|--------|
| 1. 7日以上を備蓄している | } | ⇒ 問23へ |
| 2. 3日～6日分を備蓄している | | |
| 3. 1日～2日分を備蓄している | } | ⇒ 問22へ |
| 4. 備蓄していない | | |

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。
(ひとつだけ○)

- 1. 必要性を感じていない
- 2. 費用がかかる
- 3. 置き場所がない
- 4. 保存用の飲料水を準備するのが面倒である
- 5. 保存期限ごとに買い替えるのが面倒である
- 6. その他 ()
例：井戸がある など

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

- 1. 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している
 - 2. 携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定
 - 3. 避難所のトイレを使用する
 - 4. 他に使用できる場所（避難所以外、屋外等）を探す
 - 5. 自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる
 - 6. 特に考えていない
 - 7. その他 ()
- ⇒ 問24へ
- ⇒ 問25へ

問24 問23で「3 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

どのくらい備蓄していますか。(ひとつだけ○)

※1人1日の平均排泄回数は5回とされています。

- 1. 1日～2日分を用意している
- 2. 3日～6日分を用意している
- 3. 7日分以上を用意している



ゆうどうくん

高知県防災キャラクター©やなせたかし

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている
2. 食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている
3. 安全に避難できるように枕元に靴などを置いている
4. 非常持ち出し品を用意している
5. 浴槽にいつも水をためている
6. 消火器を用意している
7. 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している
8. 調理用燃料を備蓄している
9. その他 ()

問26 普段から医師により処方された薬を服用していますか。また、服用している場合、南海トラフ地震が起きたら、すぐに持ち出せますか(外出時も含めます)。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------------------|----------|--------|
| 1. 服用していない | } ⇒ 問27へ | ⇒ 問28へ |
| 2. 服用しており、すぐに持ち出せる | | ⇒ 問27へ |
| 3. 服用しているが、すぐには持ち出せない | | |

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。

あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。(ひとつだけ○)

1. お薬手帳(紙版)を常に持ち歩いている
2. お薬手帳(電子版)を利用しており、スマートフォンを常に持ち歩いている
3. 携帯電話でお薬手帳の情報を写真に納め、常に持ち歩いている
4. 薬と一緒にもらった薬剤情報提供書を常に持ち歩いている
5. 記憶している
6. 特にない
7. その他 ()

問28 お薬手帳（電子版）は、スマートフォン内で情報管理ができるため、ご自身に加え、ご家族の服薬情報も保管でき、携帯性が高いため、災害時においては大変有用なツールとなりますが、あなたは利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

※お薬手帳（電子版）はスマートフォンでのみ利用可能

1. すでに利用している
2. 利用しようと思う
3. 利用したいが、やり方がわからない
4. スマートフォンを持っていないため、利用できない
5. 利用する予定はない

問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。（ひとつだけ○）

1. 加入している
2. 加入していない
3. わからない

※地震によって発生した火災は、火災保険では補償されません。地震による建物（住宅）や家財の損害に備えるためには、火災保険にセットして地震保険に加入する必要があります。（地震保険だけの加入はできません。）

問30 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。（ひとつだけ○）

1. 残量が半分くらいになった時
 2. 残量が4分の1程度になった時
 3. 残量がほとんど無くなった時
 4. 車を運転しないので、給油する機会はない
- } ⇒ 問31へ
⇒ 問32へ

問31 問30で「1. 残量が半分くらいになった時」、「2. 残量が4分の1程度になった時」、「3. 残量がほとんど無くなった時」と回答した人におたずねします。

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。（ひとつだけ○）

1. 満タンにする
2. 満タンにせずに、一定の量を入れる
3. 満タンにせずに、一定の金額分を入れる

地震の揺れ対策について

南海トラフ地震が発生すると、強い揺れにより建物が全半壊するなど、大きな被害を受けることが想定されます。さらに揺れによって建物が被害を受けた場合、すぐに襲ってくる津波から避難することが困難となり、被害をさらに拡大させることとなります。

このため住宅の耐震化や家具の固定、ブロック塀の倒壊防止など県民の皆様の備えが大変重要となります。

家具や家電などの固定について

強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ）などが倒れたり、飛んできてことがあります。耐震金具などにより家具や家電などを固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

問32 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 固定している | ⇒ 問35へ |
| 2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している | } ⇒ 問33へ |
| 3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない | |
| 4. 固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない | ⇒ 問35へ |

問33 問32で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

固定していない家具や家電などとは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---------|----------|--------|--------|
| 1. タンス | 2. 本棚 | 3. 食器棚 | 4. 戸棚 |
| 5. 冷蔵庫 | 6. 電子レンジ | 7. テレビ | 8. ピアノ |
| 9. その他（ | ） | | |

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 建物や家具を傷つける | 2. 固定の方法がわからない |
| 3. 借家である | 4. 費用がかかる |
| 5. 手間がかかる | 6. 固定しなくても大丈夫だと思う |
| 7. 固定しても被害は出ると思う | |
| 8. 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う | |
| 9. 地震災害に関心がない | |
| 10. その他（ | ） |

問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

- 1. 知っている
- 2. 知らない
- 3. 既に利用した(利用中を含む)

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備
- 2. 詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知
- 3. 固定してくれる専門家の派遣
- 4. 必要な費用の補助(取り付け金具を含む)
- 5. 個人宅なので行政は何もすべきでない
- 6. その他()

ブロック塀などの倒壊防止について

強い揺れにより倒壊した塀の下敷きになって死傷することや、倒壊した塀が避難や消火活動を妨げる場合があります。是非、ご自分でブロック塀などの安全性を点検してください。(添付のチラシに点検項目がございますのでご利用ください。)

点検後、危険な場合は、安全なフェンスや生け垣に変えるなど安全対策を行うことが重要となります。

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

- 1. ある ⇒ 問38へ
- 2. 危険なので取り壊した
- 3. 安全なフェンスや生け垣に変えた
- 4. もともとない
- 5. その他() ⇒ 問42へ

問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 点検した結果、安全である ⇒ 問42へ
- 2. 点検した結果、危険である ⇒ 問40へ
- 3. 点検していない ⇒ 問39, 問40へ
- 4. わからない ⇒ 問42へ

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。
安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

1. 点検するまでもなく危険である
2. 点検の方法がわからない
3. 点検しなくても安全と思う
4. 費用がかかる
5. 借家である
6. 手間がかかる
7. 対策しても被害は防げないと思う
8. 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う
9. 地震被害に関心がない
10. その他()

問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

1. 変える予定がある
2. 変える予定はない
3. 検討中
4. わからない

問41 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

1. 0円
2. 10万円まで
3. 20万円まで
4. 40万円まで
5. 60万円まで
6. 80万円まで
7. 100万円まで
8. 100万円以上でもよい

問4 2 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限 20.5 万円）をしていますか。ご存知ですか。（ひとつだけ○）
※市町村によっては補助制度がない場合があります。

- | | |
|-------------------|---------|
| 1. 知っている | ⇒ 問4 3へ |
| 2. 知らない | ⇒ 問4 4へ |
| 3. 既に利用した（利用中を含む） | ⇒ 問4 3へ |

問4 3 問4 2で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。
（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. ポスター、パンフレット | |
| 2. 知人、親族から聞いて | |
| 3. 市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて | |
| 4. イベント、講演会 | |
| 5. 新聞、広告、広報誌 | |
| 6. テレビ、ラジオ | |
| 7. その他（ | ） |

問4 4 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備 | |
| 2. パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明） | |
| 3. 専門家による無料点検の実施 | |
| 4. 信頼できる工事事業者の紹介 | |
| 5. 解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替えする費用に対する補助の増額 | |
| 6. 個人宅なので行政は何もすべきでない | |
| 7. その他（ | ） |

住宅の耐震化について

地震による住宅の倒壊は、命が失われる直接的な原因となるだけでなく、その後の地震火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れにつながるほか、倒壊した住宅のがれきが道路をふさいでしまうことによって消防活動や救急搬送が阻害され、さらに多くの命が失われることにもなります。

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は耐震診断を受け、耐震化が必要な場合は耐震改修を行いましょう。

問45 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（ひとつだけ○）

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 昭和56年5月以前の木造住宅 | ⇒ 問46へ |
| 2. 昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅 | } ⇒ 問54へ |
| 3. 平成12年6月以降の木造住宅 | |
| 4. 昭和56年5月以前の非木造住宅 | ⇒ 問50へ |
| 5. 昭和56年6月以降の非木造住宅 | } ⇒ 問54へ |
| 6. わからない | |

問46 問45で「1. 昭和56年5月以前の木造住宅」と回答した人におたずねします。
専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された | ⇒ 問47へ |
| 2. 診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された | ⇒ 問50へ |
| 3. 診断を受けたことはない | ⇒ 問49へ |

問47 問46で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。
（ひとつだけ○）

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 耐震改修工事を行った | } ⇒ 問50へ |
| 2. 今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定 | |
| 3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない | } ⇒ 問48へ |
| 4. 検討中 | |

問54 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備
2. 地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知
3. 戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明
4. 耐震診断士の無料派遣
5. 耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ
6. 一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援
7. 昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震設計、耐震改修工事)への費用の支援
8. 民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援
9. 信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策
10. 現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供
11. オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進
12. 行政には特に期待していない
13. その他()



住宅の耐震診断などの
補助金制度は市町村によって
異なるので、詳しくは
市町村に問い合わせるのじゃ!

トラフ博士

高知県防災キャラクター©やなせたかし

地震火災対策について

地震時には、複数の場所で火災が同時に発生し、消防の対応力を超えてしまうことや、家屋やブロック塀が倒壊して道路をふさぎ、火災現場へ消防車両が入っていけないことも想定されますので、大規模火災に発展する可能性があります。

また、地震火災は、ストーブなどが転倒したり、その上に可燃物が落ちてくることにより火災が発生していますが、なかでも、阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因の分かっている火災のうち、6～7割が、電気が復旧した時に、破損した電気製品や屋内配線に、再び電流が流れることにより発生したものでした。

揺れが収まったあと、避難する時にはブレーカーを落とすことが重要となります。

問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。
(ひとつだけ○)

1. 知っていた

2. 知らなかった

問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。(ひとつだけ○)

1. 知っている

2. 知らない

※感震ブレーカーとは、大きな揺れを感知した場合に、電気を自動的に遮断する装置です。

分電盤タイプやコンセントタイプ、分電盤に設置する簡易タイプなど用途に応じて選択でき、電気による火災の発生を防止します。

問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。(ひとつだけ○)

1. 設置している

⇒ 問59へ

2. 設置していない

⇒ 問58へ

3. わからない

⇒ 問59へ

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。
感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。
(当てはまるものすべてに○)

1. 感震ブレーカーのことを知らなかったため

2. 必要性を感じていない

3. 手間がかかる

4. 費用がかかる

5. 設置の方法がわからない

6. どこで売っているのかわからない

7. その他（

）

避難生活について

強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住民の皆さま自らが行っていただく必要があります。

問59 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. 知っている

2. 知らない

※避難場所：津波などの災害から一時的に避難を行う場所

避難所：自宅が全壊・半壊した場合やライフラインが使用できない場合に、一定期間生活するための場所

問60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

1. 最寄りの避難所

2. 県内の親せきや友人の家

3. 県外の親せきや友人の家

4. 自家用車の中(車中泊)

5. テント(野宿)

6. その他()

⇒ 問62へ

⇒ 問61へ

⇒ 問62へ

問61 問60で「4. 自家用車の中(車中泊)」、「5. テント(野宿)」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか(3つまで○)

1. 避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う

2. 避難所ではプライバシーが確保できないと思う

3. 自分や家族が高齢者であるため、避難所生活を送れるか心配

4. 自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活を送れるか心配

5. 家族に乳幼児がいるため、避難所生活を送れるか心配

6. ペットを飼っているため、避難所生活を送れるか心配

7. その他()

問62 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。
(3つまで○)

1. 食料や水の問題
2. 日用品の問題
3. プライバシーの問題
4. 人間関係の問題(知らない人が多く不安など)
5. トイレの問題
6. 洗濯・入浴の問題
7. 避難生活によるストレスや体調不良
8. 持病の治療や悪化
9. 自分や家族が高齢者であること
10. 自分や家族が障害者であること
11. 家族に乳幼児がいること
12. ペットの問題
13. 不安はない
14. その他()

問63 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

1. 関わりたい
2. 関わりたいが、やり方がわからない
3. できれば関わりたくない
4. 関わりたくない
5. わからない



じしんまん

高知県防災キャラクター©やなせたかし

消防団について

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。

「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問67 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|--------------------------|---|--------|
| 1. 入団し、積極的に参加している | } | ⇒ 問68へ |
| 2. 入団し、時々参加している | | |
| 3. 入団しているが、あまり参加していない | | |
| 4. 入団していないが、参加してみたい | } | ⇒ 問69へ |
| 5. 入団していないし、今後も参加する予定はない | | |
| 6. 住んでいる地域に消防団があるかわからない | | |

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。
(当てはまるものすべてに○)

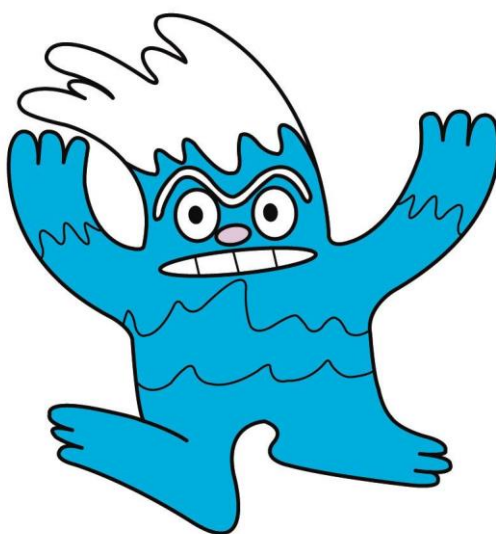
- | |
|-------------------------------|
| 1. 自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから |
| 2. 友人、知人に誘われたから |
| 3. 報酬に魅力を感じたから |
| 4. 人脈を広げられるから |
| 5. カッコいいと思ったから |
| 6. その他 () |

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 地域に密着した防災活動をしている |
| 2. 地域を守る意識の高い方が参加している |
| 3. 地元の人同士で和気あいあいと活動している |
| 4. 体力が必要 |
| 5. 会社員は仕事があるので参加しづらい |
| 6. 土日に訓練等の活動があり、大変 |
| 7. 若い人が不足している |
| 8. 規律が厳しい |
| 9. そもそも消防団とは何か知らない |
| 10. その他 () |

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

1. 団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる
2. 団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する
3. パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する
4. 訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する
5. 消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする
6. 消防団は必要ない
7. その他 ()



つなみまん
高知県防災キャラクター©やなせたかし

地域の防災力について

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。
(ひとつだけ○)

- | | | |
|----------------------------|---|--------|
| 1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した | } | ⇒ 問72へ |
| 2. 職場で行った訓練に参加した | | |
| 3. その他の訓練に参加した | | |
| 4. 参加していない | } | ⇒ 問73へ |
| 5. 訓練がなかった、またはあったかわからない | | |

問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 避難訓練 |
| 2. 消火訓練 |
| 3. 救出・救助訓練 |
| 4. 応急手当訓練 |
| 5. 炊き出し訓練 |
| 6. 情報伝達訓練 |
| 7. 介護や支援を必要とする人の介助訓練 |
| 8. 避難所運営訓練 |
| 9. その他 () |

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 近所同士で声を掛け合って一緒に参加する |
| 2. 訓練の実施をもっと広報する |
| 3. 訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する |
| 4. 他のイベントと一緒にやる |
| 5. 参加を義務化する |
| 6. 参加賞(非常食)などを出す |
| 7. その他 () |

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化
2. 地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化
3. 地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実
4. 実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い
5. 防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修
6. 小中学校の防災教育の充実
7. 近隣の事業所などとの連携促進
8. 地域ごとの備蓄の推進
9. 地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり
10. 普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進
11. その他（)

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、調査を開始した場合、調査結果から南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることとなっています。(平成29年11月1日 運用開始)

問75 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。(ひとつだけ○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 知らない

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合などに、気象庁から発表されます。詳しくは、高知県南海トラフ地震対策課ホームページをご覧ください。

問76 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。

お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------------|---|--------|
| 1. 事前避難対象地域である | } | ⇒ 問77へ |
| 2. 事前避難対象地域ではない | | ⇒ 問78へ |
| 3. わからない | | |

問77 問76で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。(ひとつだけ○)

1. 避難する
2. 避難しない

県の施策について

問78 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

1. 住宅の耐震化の強化
2. 津波からの避難場所や避難路の整備
3. 体育館などの避難所の確保や運営体制の充実
4. 支援物資が避難所に確実に届く体制づくり
5. 人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化
6. 前方展開型による医療救護体制の推進※
7. 防災教育の強化
8. 高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり
9. 地震火災・津波火災対策の推進
10. 津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備
11. 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進
12. 自主防災組織など人のつながりの強化
13. 発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策
14. 住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策
15. その他()

※ 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくり(地域ごとの医療救護計画の策定、医療支援チームが効果的に活動できるような受援態勢の整備など)を強化していくこと。

自由意見

県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。(自由記入)

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

この回答を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。